

2004(平成16)年度

講義内容

経営学部

人駒澤大學

講 義 内 容

目 次

経営学科フレックス A・第1部経営学科

I 全学共通科目

1	宗教教育科目	11
2	教養教育科目	23
3	外国語科目	85
4	保健体育科目	219

II	専門教育科目	265
----	--------	-----

III	他学部履修科目	377
-----	---------	-----

IV	「日本語」・「日本事情」科目	423
----	----------------	-----

経営学科フレックス B・第2部経営学科

I 全学共通科目

1	宗教教育科目	441
2	教養教育科目	449
3	外国語科目	479
4	保健体育科目	511

II	専門教育科目	525
----	--------	-----

III	他学部履修科目	587
-----	---------	-----

経営学科フレックス A・第1部経営学科	全学共通科目	宗教教育
		教養教育
		外国語
		保健体育
経営学科フレックス B・第2部経営学科	全学共通科目	宗教教育
		教養教育
		外国語
		保健体育
	科目	専門教育
	履修科目	他学部
	「日本語」	「日本事情」

(お知らせ)

配当学科欄の「経営A」の表記について、

14年度以降入学生は経営学科フレックスA

13年度以前入学生は第1部経営学科

とそれぞれ読み替えてください。

同様に、配当学科欄の「経営B」の表記について、

14年度以降入学生は経営学科フレックスB

13年度以前入学生は第2部経営学科

とそれぞれ読み替えてください。

経営学科フレックスA

第 1 部 経営学科

I 全学共通科目

1. 宗教教育科目

1. 宗教教育科目

仏教と人間	〈池田 練太郎〉	11
仏教と人間	〈吉村 誠〉	11
仏教と人間	〈伊藤 隆壽〉	12
仏教と人間〔再クラス〕	〈池田 魯參〉	12
仏教と人間〔再クラス〕	〈晴山 俊英〉	13
仏教と人間〔再クラス〕	〈福田 孝雄〉	13
仏教と人間〔再クラス〕	〈吉津 宜英〉	14
文化と宗教	〈長谷部 八朗〉	14
社会と宗教	〈池上 良正〉	15
自然と宗教	〈小川 順敬〉	15
坐禅	〈佐藤 秀孝・熊本 英人〉	16

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	池田 練太郎 <small>いけだ れんたろう</small>	経営A1必	4

講義のねらい

本講義は、駒澤大学の建学の理念に基づいておこなわれるものであり、本学で学ぶすべての学生が履修することになっている。この講義を通して、仏教に関する基本的な知識を身につけ、その思想を理解したうえで、複雑・多岐にわたる現代社会のさまざまな問題において、また人類の未来に向けて、仏教がどのような意義を持ち、いかなる有効性を発揮しうるか考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、宗教とは何か、そして世界の諸宗教と比較して仏教の独自性はどこにあるのかについて考え、その後、仏教の開祖であるブッダの生涯について説明する。後期には、ブッダの説いた教えの内容を中心に、日本やその他の地域に伝わった仏教の歴史的・思想的展開を概観し、同時に今日的な諸問題との関連を考えることにしたい。授業はおおむね、a. 宗教とは何か、b. 仏教の基本的な立場、c. 仏教の起こり、d. ブッダの生涯、e. ブッダの思想、f. インドにおける仏教の展開、g. 世界に広がった仏教、h. 現代社会と仏教、という次第で進めていく予定である。

履修上の留意点

自分の専門領域と無関係の内容と決めつけず、自らの日常生活や社会問題との関わりをつねに意識しながら受講する姿勢で臨んでほしい。

成績評価の方法

年度末におこなう筆記試験と出席等の平常点によって評価する。

教科書

教科書は特に用いない。必要に応じて資料等を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	吉村 誠 <small>よしむら まこと</small>	経営A1必	4

講義のねらい

この講義は、本学の建学の理念である「仏教」について理解を深めてもらうために設けられています。仏教は現代に生きる私たち人間にとっていかなる意味を持ち、いかなる役割を果たすのか、学問的見地から考察してゆきます。

前期は、仏教の開祖ブッダ（釈尊、前5世紀頃）の思想と、その後に展開した大乘仏教（紀元後1世紀以降）の特徴について概説します。後期は、日本人と仏教の関係について、空海（774-835）がもたらした密教の世界観と、道元（1200-1253）がきわめた禅の人間観を中心に検討します。

講義を通じて、自己が存在する意義や、自己と世界の関係について考えを深め、「行学一如」の精神を養ってください。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) ブッダの生涯 (2) ブッダ最初の説法（四諦・八正道） (3) ブッダの観たもの（中道・縁起） (4) 仏教の実践教義 (5) 業と輪廻 (6) 真理の言葉（無常・無我） (7) ブッダ最後の旅（涅槃） (8) 無我から空へ (9) 菩薩とは誰か (10) 仏像の誕生 (11) 大乘仏教の伝播 (12) お盆の話
- (後期) (1) お彼岸の話 (2) 日本への仏教伝来 (3) 国家と仏教 (4) 最澄と空海の入唐 (5) 密教のコスモロジー (6) 共生の世界 (7) 神と仏のシンクレティズム (8) 浄土への憧憬 (9) 禅と無の境地 (10) 栄西と道元の入宋 (11) 自己の探求 (12) 禅と日本文化 (13) 仏教と現代

履修上の留意点

授業は講義形式なので、ノートの準備が必要です。また、講義内容は仏教の理解が次第に深まるように構成してありますので、欠席をしないように注意してください。

成績評価の方法

出席状況とレポートを総合して評価します。

教科書

プリントを使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	伊藤隆壽	経営A1必	4

講義のねらい

本講座は、建学の理念に基づき、「仏教」や「禅」についての正しい知識を身につけることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 仏になる教え
2. 中道
3. 八正道
4. 菩薩の道
5. 成仏への道
6. 念仏
7. 唱題
8. 禅
9. 信仰と社会

履修上の留意点

教科書は早めに購入し、前期中に各自通読すること。

成績評価の方法

評価は年度末の試験によるが、授業への出席状況も考慮するので欠席しないこと。

教科書

松本史朗著『仏教への道』（東京書籍）1,400円

参考書等

主要参考書は、水野弘元著『仏教要語の基礎知識』（春秋社）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	池田魯参	経営A2・3・4年	4

講義のねらい

一年間の講義を通じて、世界の諸宗教と比較して仏教にはどのような特色があるのか考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、世界の代表的な諸宗教が成立する歴史的文化的背景を明らかにし諸宗教の特質を意義づけ、その上で仏教成立の史的意義を明らかにし、釈尊（ブツダ）の人間観はどういうものであったのか考えてみたい。

後期では、釈尊滅後の教団史的展開の諸問題を、インド・チベットを始め中国・朝鮮・日本などの東アジア諸地域における仏教の伝播と変容の歴史的意義を明らかにし、仏教信仰に生きた人々の人生観はどういうものであったのか、具体的に考えてみたい。

履修上の留意点

日頃から宗教の問題に関心を持って、宗教に関して見識のある教養人を目指して学んで欲しい。虚心に見聞し自分の頭で考える習慣を身につけて欲しい。

成績評価の方法

夏休みの課題レポートと学年末試験（論文形式）を中心に評価する。

教科書

適宜、講義資料をコピーして、課題毎に参考書等を紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	はれ やま しゆん えい 晴 山 俊 英	経営A2・3・4年	4

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点

仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法

期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。

参考書等

授業において適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	ふく だ たか お 福 田 孝 雄	経営A2・3・4年	4

講義のねらい

無数に存在する世界の諸宗教の中で、仏教とは一体どういう宗教であり、その特徴、特質は何であり、いかなる可能性をもっているのか。それらを学んでいく上でまず、一般的宗教現象を一通り学び、宗教の共通の要素や性格を知っておくことも必要であるから、宗教学的基礎を学ぶことから始め、最終的に、仏教の基本的特色や特質を概観していくことにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

宗教学的の基礎的な構造としての宗教現象、宗教経験、宗教儀礼などを概説し、最終的に仏教思想の基本構造、仏教々団、経典の組織などについて学んでいくことにする。

成績評価の方法

出席点及びレポートなどにより総合的に評価する。

参考書等

講義の進行に従って、その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	よし づ よし ひで 吉 津 宜 英	経営A2・3・4年	4

講義のねらい

先ず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」という位に広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどのようなイメージを抱き、どのような意見を持っているのでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もいるかもしれませんが、これまで関心の無かった人もあり、また宗教批判者もあるかもしれません。私は宗教に対して肯定的な人にも否定的な方にも先ず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古からいろいろな様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、他には多くの神を信仰したり、仏教のように仏を主張するものもあります。なぜ人間は宗教を求めのでしょうか。この講義では先ず様々な宗教の多様性の確認から始めます。そして、宗教は社会の中でどのような機能を果たしているのかを考えます。また、宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起こり、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると、公共の福祉に反する社会的問題を引き起こします。講義全体としては、仏教を含めた宗教の功罪両面を考えてゆくことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

前期には宗教の様々な形態について概説します。そして、世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会の様々な問題を取り上げます。新新宗教と呼ばれる存在にも注目します。また、政教分離などの宗教と政治の問題、民族紛争絡みの宗教戦争の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、遺伝子工学など生命倫理の問題と宗教との関わり等のテーマを順次取り上げます。毎回、必ずあるタイトルを明示して、講義を行います。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。質問は大歓迎です。講義中でも挙手して質問して下さい。ただ、私語は厳禁です。厳しく注意します。

成績評価の方法

毎回出席を取り、年間で2～3回の課題提出を御願ひし、最後に期末試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しないが、出来るだけ参考資料としてのプリントを配布します。

参考書等

授業の中で随時参考図書などを紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化と宗教	はせ べ はち ろう 長谷部 八 朗	経営A選	4

講義のねらい

本講義は、我が国の近代以降、各時代状況の中で、宗教が社会とどのようにかわり、近・現代の精神文化の形成に影響を及ぼしたかを、仏教を中心にみていく。具体的には、寺院の中でもいわゆる教会・結社組織に焦点を据え、それらが、仏教と民衆をつなぐ接点として果たしてきた役割を探ってみる。仏教諸宗派の中でも教会・結社活動の盛んであった曹洞宗や日蓮宗を主軸に講述する。

また、そうした教会・結社と新宗教・新新宗教を比較検討し、両者に対する民衆のニーズとそれに対する対応の仕方の類似点および相違点を明らかにしていきたい。

成績評価の方法

未定である。授業時に1、2回小論文を課し、評価の一部に加える予定である。

教科書

使用しない。

参考書等

授業の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会と宗教	いけがみ よし まさ 池上良正	経営A選	4

講義のねらい

宗教学・宗教社会学などの理論的成果をふまえて、「近代社会と宗教」というテーマを中心に講義する。近代という特異な時代が成立する過程において宗教はどのような関わりをもったのか、様々な問題を抱えた近現代社会のなかで宗教はどのような形態で存続し、またどのような意義や役割を担っているのか、といった問題を考える手がかりを探ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、宗教が近代社会の形成に果たした役割についての考察からスタートして、世俗化論、私事化論などの検討する。後期は、現代世界における宗教の動態的理解、近代日本の社会変動と民衆宗教の展開、といった問題を考える。近年の精神世界ブームや新宗教の動向などにも触れる予定。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然と宗教	おがわ とし ゆき 小川順敬	経営A選	4

講義のねらい

人間は古来から、自然のいとなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拜の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。

この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりを諸相を紹介していくことにしたいと思います。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日の評価・議論を概観、紹介する予定です。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

原則として教科書は用いません。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
坐 (前期) (後期) 禅	まとう しゅうこう くまもと えいじん 佐藤 秀孝・熊本 英人	経営A選	2

講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思い、この授業を進めるものです。

今、私たちの回りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を拠る所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考え培いたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしよう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。

講義の内容・授業スケジュール

半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3 「坐禅の作法指導」(坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法を修得)

4～13 「坐禅実習」(1回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です)

(道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『正法眼蔵-坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます)

履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。また、まじめに授業を受けられることを要望します。

成績評価の方法

出席数、出席態度、レポートを総合して成績評価とします。

教科書

適宜、プリントにて配布します。

参考書等

『坐禅-講本-』(更生社) 2,226円

2. 教 養 教 育 科 目

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、
フレックスBの頁を参照してください。(→P. 449)

教養教育

2. 教養教育科目

(1) 人 文 分 野

文 学〔日本文学「古典」〕	〈八 島 由 香〉	23
文 学〔日本文学「近代」〕	〈川 島 淳 史〉	23
歴 史 学〔日本中世史〕	〈栗 原 修〉	24
芸 術 学(1)〔日本美術〕	〈北 野 良 枝〉	24
芸 術 学(2)〔西洋美術〕	〈矢 野 陽 子〉	25
芸 術 学(3)〔音楽〕	〈赤 羽 由 規 子〉	25
哲 学〔近代の人間観と世界観〕	〈久 保 陽 一〉	26
論 理 学〔科学方法論と現代論理学〕	〈鈴 木 聡〉	26
論 理 学〔知の技法〕	〈箭 野 浩 司〉	27
論 理 学〔知の技法〕	〈伊 古 田 理〉	28
科 学 史〔近代科学の成立と展開〕	〈小 宮 山 隆〉	28
倫 理 学(1)〔人間観〕	〈古 田 知 章〉	29
倫 理 学(2)〔応用倫理学〕	〈黒 崎 剛〉	30
倫 理 学(3)〔価値観〕	〈滝 沢 正 之〉	30
倫 理 学(4)〔応用倫理学〕	〈箭 野 浩 司〉	31
倫 理 学(5)〔制度とモラル〕	〈滝 口 清 栄〉	31
倫 理 学(6)〔東洋倫理〕	〈末 木 恭 彦〉	32
宗 教 学(1)〔比較宗教文化〕	〈池 上 良 正〉	32
宗 教 学(2)〔聖と俗〕	〈田 中 か の 子〉	33
宗 教 学(3)〔思想と儀礼〕	〈小 川 順 敬〉	33
宗 教 学(4)〔組織と運動〕	〈洗 建〉	34
人 文 地 理 学(1)〔風土と文化〕	〈竹 林 和 彦〉	34
人 文 地 理 学(2)〔風土と文化〕	〈高 橋 健 太 郎〉	35
人 文 地 理 学(3)〔空間と行動〕	〈山 口 太 郎〉	36
人 文 地 理 学(4)〔空間と行動〕	〈伊 藤 修 一〉	37
※教 育 の 思 想	〈伊 藤 茂 樹〉	37
※教 育 の 思 想	〈坂 本 信 昭〉	38
※教 育 と 社 会	〈伊 藤 茂 樹〉	38
※教 育 と 社 会	〈坂 本 信 昭〉	39
※発 達 と 学 習 の 心 理 学	〈大 浜 幾 久 子〉	39
※発 達 と 学 習 の 心 理 学	〈川 田 三 夫〉	40
※発 達 と 学 習 の 心 理 学	〈山 本 政 人〉	41
※カ リ キ ュ ラ ム と 学 習	〈大 浜 幾 久 子〉	41
※カ リ キ ュ ラ ム と 学 習	〈川 田 三 夫〉	42
※カ リ キ ュ ラ ム と 学 習	〈夏 堀 睦〉	43

(2) 社 会 分 野

社 会 学	[現代文化を考える]	〈金澤朋広〉	43
統 計 学	[社会現象の統計的分析]	〈稲葉敏夫〉	44
文化人類学	[諸民族とコスモロジー]	〈杉井純一〉	45
文化人類学	[諸民族とコスモロジー]	〈鈴木一馨〉	46
法学・憲法	[法と社会生活]	〈沼田雅之〉	47
法学・憲法	[法と国家]	〈新田浩司〉	48
法学・憲法	[法と権利]—夏季集中—	〈藤本茂〉	49
政 治 学	[社会生活とデモクラシー]	〈大山礼子〉	50
社会科学論	[社会認識の思想]	〈大石雄爾〉	51
教 育 学	[デス・エデュケーション]	〈柳堀素雅子〉	52
教 育 心 理	[大学生の心理—教育臨床心理学の立場から—]	〈野中弘敏〉	53

(3) 自然分野

生物学〔生物と環境〕〈中村敏枝〉	54
地球科学〔変動帯としての日本列島〕〈藤井享〉	55
自然環境論〔生命と環境〕〈持丸真里〉	56
自然環境論〔環境と保全〕—夏季集中—〈山縣毅〉	57
自然誌〔現代の自然像〕〈清水善和・篠原正雄・持丸真里・山縣毅〉	58
数学(1)〔微積分学入門〕〈小沢誠〉	59
数学(2)〔線型代数学入門〕〈小沢誠〉	59
数学(3)〔現代数学入門〕〈福田賢一〉	60
情報数学〔情報と論理〕〈上原隆平〉	60
物理学〔光と物質〕〈篠原正雄〉	61
化学〔衣食住の化学〕〈持丸真里〉	62
宇宙科学〔星と銀河〕〈篠原正雄〉	62
人類学(1)(2)〔人類の進化〕〈遠藤萬里〉	63
心理学〔人間関係を考える〕〈鈴木順一〉	64
心理学〔人間関係を考える〕〈高橋良博〉	65
心理学〔心を科学する〕—夏季集中—〈堀内正彦〉	65

(4) 総合分野

総合Ⅰ(1)〔仏教と自然〕	〈四津谷 孝道〉	66
総合Ⅰ(2)〔仏教と社会〕	〈熊本 英人〉	66
総合Ⅱ	〈 休 講 〉	
総合Ⅲ(1)〔人権と社会問題〕	〈ピアス, D. M.〉	67
総合Ⅲ(2)〔欧米の教育と日本の教育〕	〈岡崎 寿一郎〉	68
総合Ⅲ(3)〔中国語圏文化の諸相〕	〈岩崎 皇〉	68
総合Ⅳ(1)〔現代アメリカ事情〕	〈林 明人〉	68
総合Ⅳ(2)〔米国シアトル NPO の経営研究〕	〈西村 祐子〉	69
総合Ⅳ(3)〔ポスト・モダンの世界〕	〈丸小 哲雄〉	70
総合Ⅴ	〈 休 講 〉	
総合Ⅵ(1)〔民族とは何か〕	〈大野 祐二〉	71
総合Ⅵ(2)〔イスラム〕	〈吉田 京子〉	71
総合Ⅵ(3)〔フェミニズム・ジェンダー〕	〈早川 紀代〉	72
総合Ⅶ(1)〔トラブルと法的解決〕	〈藤本 茂・他〉	73
総合Ⅶ(2)〔都市論〕	〈早川 純貴・他〉	74
総合Ⅷ	〈 休 講 〉	

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 〔日本文学「古典」〕	八島由香	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

『堤中納言物語』を読む。

講義の内容・
授業スケジュール

『堤中納言物語』は、十編の短い物語と一つの断章からなる、平安後期を中心とした短編物語集です。

これらの短編物語は、全体が短いため読みやすい上、展開がリズムカルなため、長い時間をかけることなく読み終えることができます。しかしその反面、短編であるがゆえに簡略化された無駄のない物語展開には、物語文学における様々なパターンが踏襲され、表現技法が駆使されていると考えられます。できる限り先行する物語の用例を多く提示することによって、そのパターンや表現技法を学び、当時の社会の習慣や風俗をふまえながら、ひとつひとつの物語を丁寧に読み解いていきたいと思ひます。

そのため、まずは平安時代に描かれた物語の概説をし、その後、所収されている物語内で唯一、成立年代と作者がわかっている「逢坂越えぬ権中納言」から読んでいきます。

履修上の留意点

一編ずつ時間をかけて読むため、『堤中納言物語』をすべて読むことはかたがたありませんが、できるかぎり多くの物語を読み解いていきたいと考えています。そのため、新しい物語に入る場合には、その物語を事前に通読してくることを望みます。

成績評価の方法

出席状況とレポートによって評価します。なお、出席数が年間を通じて講義数の三分の二に達しない場合、単位を認定しません。

教科書

大槻修校注『堤中納言物語』（岩波文庫）460円

その他

テキストを用いての講義形式です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 〔日本文学「近代」〕	川島淳史	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

日本の近代文学はどのように成立し、発展していったのか。明治から大正初めにかけての時代状況を見据えつつ、近代文学そのものの意義について考えていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

今年度は日清戦争前後から大逆事件前後までの文壇の動向を中心に考察していきたい。この時期、日本は政府の主導により、積極的に近代化を推進し、西洋の原理・思想・文明を摂取して、国民国家を形成していった。しかし、その性急な近代化は他方でさまざまな社会問題を引き起こす原因ともなったのである。そのような時代状況のなかで、文学者たちはそれをどのように見つめ、作品に書きあらわしていったのか。森鷗外、北村透谷、泉鏡花、川上眉山、広津柳浪、樋口一葉、内田魯庵などの作品を通して「日本の近代」の諸問題を検討していきたいと思う。

履修上の留意点

この講義では可能な限り多くの作品を取り上げたいと考えている。当然のことながら、予告された作品は事前に読んでおき、受講する際は必ず携行しておくこと。また、受講後は各自紹介された文献を探し、レポート作成の準備をしておくことが必要。

成績評価の方法

講義で提示した課題を各自が考察し、レポートを作成する。出席状況と三回ないし四回のレポートの内容によって評価する。期日を過ぎてしまった場合は受け取らないので注意すること。

教科書

詳しくは最初の時間に指示する。必要に応じてプリントを配布するが、文庫本に収録されている作品は、各自で購入してもらう。

参考書等

その都度、講義の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 〔日本中世史〕	栗原修 <small>くりはら おさむ</small>	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい	中世社会の歴史を講義します。とくに古代から中世への移行期を中心とし、時代の変化をとらえることをねらいとします。そのなかで、どのような要因で武士が出現し、政権を獲得していくのか、その過程をみていきます。
講義の内容・授業スケジュール	(前期) 中世社会の前提～王朝国家体制と武士の誕生～ (後期) 王朝国家体制の変質から鎌倉幕府の成立へ
履修上の留意点	年表や日本史事典を用意してほしい。
成績評価の方法	学年末試験の結果及び平常点により総合的に評価します。
教科書	プリントを随時配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 (1) 〔日本美術〕	北野良枝 <small>きたの よしえ</small>	経営A選	4

講義のねらい	室町時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。美術の歴史を解説するにあたっては、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回スライドを使用する。
講義の内容・授業スケジュール	(前期) 室町から桃山時代の絵画 (1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識 (3) ～ (7) 室町時代の水墨画 (8) ～ (10) 阿弥派、土佐派、狩野派 (11) ～ (12) 狩野永徳と桃山画壇 (後期) 江戸時代の絵画 (13) 江戸時代の狩野派 (14) ～ (17) 琳派 (18) ～ (19) 浮世絵 (20) 南蘋派 (21) 文人画 (22) 秋田蘭画と司馬江漢 (23) 伊藤若冲と曾我蕭白 (24) 江戸から明治へ
履修上の留意点	ペンライトなどを持参し、スライドで映写する内容についてもノートをとることが望ましい。
成績評価の方法	学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 (2) 〔西洋美術〕	矢野陽子	経営A選	4

講義のねらい

ひとつの美術作品が制作されるにあたっては、芸術家の個性や技術のみならず、その時代と地域の宗教・文化・政治状況などさまざまな要因も関係しています。この講義では私たちとは異なる文化から生まれた西洋美術のうち、およそ15世紀から18世紀までの美術、つまりイタリア・ルネサンス期からフランス革命期頃までの美術を対象とします。まず美術作品に表現された内容を理解し、その表現様式の特徴を考えながら、美術の主要な流れを把握することを目的とします。さらに芸術家と注文主や鑑賞者との関係、美術が社会のなかで占めていた位置についても考察していきます。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 15・16世紀の美術
イタリア初期ルネサンス／15世紀の北方美術／イタリア盛期ルネサンス／北方ルネサンス／マニエリスム
- (後期) 17・18世紀の美術
バロック美術（イタリア、ネーデルラント、スペイン、フランス）／ロココ美術／新古典主義美術

履修上の留意点

初回にガイダンスを行うので必ず出席してください。スライドで作品を見ながら時代順に講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席することが望めます。

成績評価の方法

夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験とを合わせて評価します。

教科書

高階秀爾監修『カラー版西洋美術史』（美術出版社）1,900円

参考書等

参考文献は授業中適宜紹介します。

その他

授業では毎回スライドを使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 (3) 〔音楽〕	赤羽由規子	経営A選	4

講義の内容・授業スケジュール

前期 民族音楽学——日本人の伝統的な音感覚について考えていく。焼き芋屋さんの売り声や子ども遊びの歌から芸術音楽にまで共通する日本のメロディーについて考察し、それらと外国の歌との共通性、異質性について具体的に音を聴きながら学び、音楽とは何かを考えていきたい。

後期 20世紀と音楽——20世紀における音楽に関する様々な新しい動きを追って行き、「ポスト・モダン」といわれる今日の音楽の在り方について考えて行く。音や映像を用いて、わかりやすく進めて行くつもりである。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

夏期レポートと学年末試験で採点する。

教科書

印牧由規子著『現代からの音楽史』（公論社）2,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔近代の人間観と世界観〕	久保陽一	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

今日我々は近代の科学技術のめざましい進歩によって多大な恩恵を蒙っている反面、環境問題、テロや道徳の荒廃などの問題に悩まされている。また人間の意識を原理とした近代哲学は現代の言語哲学によって置き換えられようとしている。このような近代以後の状況のなかで真の自己と世界の認識を持ち、望ましい生き方をするためには、まず近代の人間観と世界観から何を引き継ぎ、何を批判すべきかを、見極める必要がある。そこで講義では、西欧の近代の主要な哲学を取り上げ、その人間観と世界観の理解と検討をめざすことになる。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 合理論 (デカルト、スピノザなど)
- (2) 経験論 (ベーコン、ホブズ、ロックなど)
- (3) モラリストの哲学 (パスカル、ルソー)
- (4) ドイツ観念論 (カント、フィヒテ、シェリング、ヘーゲルなど)

履修上の留意点

よく出席し、ノートを取る事が大切である。その際、取り上げられた哲学者がどのような主張をし、どのような用語を用い、それは何を意味するかを理解し、分析する必要がある。さらにそのような思想を自分自身は受け入れられるか否かを、考えることが望ましい。

成績評価の方法

中間と期末のテスト、レポート等によって評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』(公論社)

参考書等

開講時に挙げる

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	鈴木聡	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

論理学の初歩の講義を、できるだけ丁寧にわかりやすく行う。我々は、日常生活において様々な文を用いて様々なタイプの推論を行う。多種多様な姿を持つ文にも、実は或る一定の構造が存在する。その構造を見極めることが論理学の課題である。また多種多様に見える推論にも、実は或る一定のタイプが存在する。この推論のタイプについての研究が論理学の主要課題である。論理学の習得は、正しい推論結果を導出するために、すべての学問において重要なことだからである。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は次のものを予定している。

1. 文論理
 - (a) 文論理の意味論
 - (b) 文論理の統語論
2. 第一階量化論理
 - (a) 第一階量化論理の意味論
 - (b) 第一階量化論理の統語論
3. メタ論理
 - (a) 健全性定理の意義
 - (b) 完全性定理の意義

履修上の留意点

毎回の出席が要求される。

成績評価の方法

成績は、中間試験・期末試験・小テスト・出席点で評価する。

教科書

配布プリント

その他

本講義は、講義→小テスト(チュートリアル)→前回の講義の復習→小テストの解説→……という形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔知の技法〕	矢野 浩司	経営A選	4

講義のねらい

ディベート、ディスカッション、プレゼンテーション、ネゴシエーションのスキルアップを目的とします。日本の教育制度はこの四つの能力を育成しませんが、民主主義社会の一員として、ビジネスパーソンとして、国際社会の一員として、これからの時代を生きてゆくためには武器となるスキルです。(ただし、この授業は伝える内容は育成しません。内容は自分で育成してください。この授業が育成するのはメッセージを伝達する形式に関わる部分のみです)
初めての参加者は、人に何かを伝えようとする前に、恥ずかしい、言うことがない、意見がない、何も思いつかないといった状況に直面することになるかもしれませんが、それを乗り越えることも目的の一つとします。

講義の内容・授業スケジュール

まずディベートから始めて、ディスカッション、プレゼンテーション、ネゴシエーションのどれか、あるいはすべてに挑戦してもらいます。オプションとして、司会術、情報分析、ビジネス戦略、ユーザー・クレーム、ビジネス・マナーを検討します。

履修上の留意点

単位よりも能力が欲しいことを参加条件とします。参加人数を減らすために、四回休んだら単位は出ません。単位のいない人の参加は歓迎します。この授業は今年で三年目となり、すでに単位を取っているのにスキルアップのために参加し続けている人がいます。そんな熱心な人たちのために今年は、有段者の黒帯、あるいはトーナメントの勝利者に与えられるトロフィーに相当するものを認定する制度をつくりたいと思います。それについてもプレゼン・バトルで決定しますので、アイデアを練っておいてください。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、やる気、スキルの修得度などで評価します。

教科書

プリントを配布します。

参考書等

その都度紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔知の技法〕	いこた まさる 伊古田 理	経営A選	4

講義のねらい

本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際のノウハウの習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず、最初に文献・資料集めのしかたについて、簡単に解説する。次にあるテーマについて異なる立場からの考察を読みこなすトレーニングを行う。そのうえでこうした読解をもとにして自分の考え、立場を文章としてまとめあげるトレーニングを行う。

履修上の留意点

以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。

成績評価の方法

随時課するレポート課題（問題演習＋文章要約、等々：年間10本以上はありうることを承知しておいてほしい。翌週提出厳守）のほかに、最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート（12月最終週講義時提出）によって判定。定期試験はいっさい実施しない。

教科書

本年度は、テーマとして「道徳の理由（なぜ道徳なんでものに従って行動しなければならないのか）」をとりあげる。

教科書：大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』（ナカニシヤ出版）

副読本：野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

参考書等

そのつど指示する。

その他

上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
科学史 〔近代科学の成立と展開〕	こみやま たかし 小宮山 隆	経営A選	4

講義のねらい

科学・技術の進歩の道筋は紆余曲折にみちたものであり、その成功だけでなく躓きも、われわれにとって示唆に富む内容を含んでいる。

そこで、いくつかの事例を取り上げ、具体的な科学理論の歴史的展開を、技術の進歩や各時代の支配的な思潮との相関のなかでとらえ、現代のわれわれにとっての意味を考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

今日の物理学、化学、生物学がそれぞれ近代科学として成立する過程を中心に、現代への展開を含めて概観する。

履修上の留意点

講義に対する積極的な取り組みが受講の要件であり、それ以外に自然科学的な知識等、予備知識は一切必要としない。

成績評価の方法

前・後期の試験と夏のレポートで評価する。

教科書

八杉龍一『図解・科学の歴史』（東京教学社）

参考書等

講義の際に、その都度紹介する。

その他

通常の講義形式をとるが、教科書掲載の図版をはじめ、できるだけ多くの図版・図表等もちいて講義を進めたい。必要に応じてビデオ等も使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (1) 〔人間観〕	ふるた ともあま 古田 知章	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答が示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。

- 〔前期〕人間観の形成の歴史
1. 人間と倫理 一人間であるために―
 2. 古代ギリシア思想における人間観の諸相
 3. 中世キリスト教思想における人間観
 4. 人間観の転換 ―ルネサンス・宗教改革―
- 〔後期〕新しい時代の人間観
1. 出発点としてのデカルト《思惟する私》
 2. 自己の内面性と他者の問題
 3. 人格 ―ロックを手がかりに―
 4. 人間存在と自由

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (2) 〔応用倫理学〕	くろ さき つよし 黒 崎 剛	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものとなっていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定
1. 生命の倫理—講義の課題概説
 2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
 3. 人工妊娠中絶
 4. 安楽死と尊厳死
 5. 脳死と臓器移植
 6. 「生殖革命」—人工生殖の現状と問題点
 7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (3) 〔価値観〕	たき ざわ まさ ゆき 滝 沢 正 之	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

倫理学の主要な潮流を概説する。
我々は日常、道徳的な善悪について語る。たとえば、親は子供に「それは悪いことだからしてはいけません」と言うだろう。しかし、少し反省してみると、道徳的な善悪というものはいくらも自明ではない。
そもそも、何が善いことで何が悪いことなのだろうか。たとえば、人は殺してはいけない、とよく言うが、世の中には死刑もあるし戦争もある。
また、少し前までは、性別や人種で差別することが当然のように行われていた。それが悪いことではない、と思われていたのだ。善悪は時代や場所によって変わってしまう、ただの決まりごとなのだろうか。
このように、道徳的な善悪の本性とは、実のところ、よくわからないものなのだ。そこで、道徳についての哲学的考察、すなわち倫理学が登場することになる。

講義の内容・授業スケジュール

倫理学の主要な潮流を互いに対決させつつ紹介する。具体的には、カントの義務論、功利主義、ニーチェの道徳批判、徳論の四つとなる予定。

成績評価の方法

基本的に中間試験および期末試験により評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (4) 〔応用倫理学〕	矢野 浩 司	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

例えば、自動車でスーパーマーケットに行き、パックされた牛肉を買って、ポリエチレン製の袋に入れてもらって、家に持って帰って食べる場合、人はさまざまな選択を行っています。多くの人は選択を行っているという意識を持っていません。それはシステムや文明によるマインドコントロールを受けている状態であり、考えて行動する力を奪われている状態であるとも言えます。この授業の目的は、そのような問題の存在に気づき、自分にインストールされた行動様式の外にいったん出ることによって、考えること、意見を持つこと、判断を下すことをシミュレートすることです。応用倫理学とは、論理の応用ではなく、問題に参加することで生き方を模索する学問です。

講義の内容・授業スケジュール

毎回異なる問題を扱います：安楽死、遺伝子操作、劣化ウラン弾、地雷、パレスチナ問題、アメリカとイラク、代理母、中絶、女性器切除、AIDS、18トリソミー、IT犯罪、IT汚染、天皇制、南京虐殺、教科書問題、自衛隊、自動車、食料、難民、刑務所、死刑、売買春、おたく、わいせつ、引きこもり、化粧、ファッション、美容整形、殺人、地域通貨、資本主義、徴兵制、温暖化、煙草、アイドル、アメリカ映画、内部告発、メディア倫理、ビジネス倫理など。

履修上の留意点

本年度は、授業終了後に希望者のみでグループ・ディスカッションを行います。この部分に関しては単位は出ませんが、意見を深めたい者、ディスカッション能力を高めたい者は参加してください。参加希望者がいない場合は行いません。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、リアクションペーパーとディスカッション能力で評価します。

教科書

プリントを使用します。

参考書等

その都度紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (5) 〔制度とモラル〕	滝口 清 栄	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的制度を生みだしてきた。そこには時代によりあるいは地域により違いが見られるが、そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代にあっても人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえなくなっている。歴史的視野をもち以上の思想的営みをふりかえっておくことが、今日の問題を考えていく上でも大切な土台となるであろう。本講義では、西洋倫理思想史のなかで古代、近代、現代からいくつかの思想をピックアップし、まず人間観の特徴をつかみ、そして人間のよりよき生活を可能にするよりよき制度をめぐり、その思案のあとを検討する。制度はもちろんそれを担うことのできる人間を必要とする。そこにはモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布する。

履修上の留意点

講義は平明を心がける。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。

成績評価の方法

中間テスト（10月上旬を予定）と学年末テストにより成績を評価する。

教科書

久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (6) 〔東洋倫理〕	すえ き やす ひこ 末 木 恭 彦	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

漢文古典はすべて「倫理」学と言っても過言ではない。それらを産み出した人々の主要な関心は、人と人の中で如何に生きるかにあった。従って、漢文古典を考えれば、自ずと倫理学となる。又、漢文古典が示す人の生き方は、東アジアの人々に等しく人生の指針であった。先人の積みあげた歴史の上に我々はいる。漢文古典の世界を知るとは、決して他人事ではなく、我々の心の奥底を知ることである。これを知るとは、我々の未来の生き方を開くことにもなる。この様な重要な意味を担う我々先人達の人生の思想を問い直し、そこから未来の手掛りを掴む—ここにこの講義の目標はある。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、東洋古典の智慧がどれだけ現代の問題を考えるのに役立つか検討を試みたい。環境倫理—環境問題にいかに対処してゆくかという問題を取り上げ、この問題に東洋の智慧がどのように光を投げかけるかを見てみたい。教科書は、この様な問題意識に基づいて開かれたシンポジウムの報告論文集である。講義は、教科書に収められた論文の中から講師が重要と考える論文を選び、順次読み進めながら考察を深めてゆく。

履修上の留意点

ノートは確実にとること。

成績評価の方法

基本は年二回以上の試験あるいはレポートにより判断する。それに、出席状況・受講への積極性（質問の有無—質問は原則書面で提出して貰う）などを加味して最終的な成績をつける。

教科書

『東洋的環境思想の現代的意義』（農山漁村文化協会）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教学 (1) 〔比較宗教文化〕	いけ がみ よし まさ 池 上 良 正	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」（マックス・ミュラー）という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール

大きなテーマとして、次の三つを考えている。①「宗教」概念の成立とその意義。②人類史と宗教。③現代社会に生きる「宗教」。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (2) 〔聖と俗〕	田 中 かの子	経営A選	4
		14以降入学生/経営B選	

講義のねらい

ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」という対立概念をみるのは、人間に固有の宗教的価値観がはたらいっているからにはかならない。「聖」と「俗」にいかなる内容を盛るかは、神の啓示や仏の理法、あるいは大自然の威力など、信仰対象の特質によって多様化する。それはあたかも諸宗教間の相違を生むものであるかのようにみえる。しかし「聖と俗」の観念が生活のなかで活かされると、それは、無力にして至らぬ自己を「不浄から清浄」「苦しみから救い」「罪から改悛」へのプロセスに向かわせるという、どの宗教にとっても重要な、ひいては日々新たに生まれかわろうと欲する人間に共通の問題となる。本講では、現代に生きる諸宗教の信奉者たちと「聖なるもの」との関わりを実際の見聞にもとづいて解説し、各宗教の特殊性よりは普遍性について講じてゆく。それにより、本来は聖俗不分の如実なる世界に立ち返り、日常の大切さ、いのちの尊さに思い到ることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、Ⅰ. 宗教学の基本的立場、Ⅱ. 原始時代の宗教、Ⅲ. 一宗教の諸相、多宗教の比較、Ⅳ. 諸宗教の構成要素一覧、Ⅴ. 聖なる母性の比較美術、Ⅵ. 仏陀とキリスト、後期は、Ⅶ. プロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化について解説する。

履修上の留意点

講義を聴き、板書を写すにとどまらず、その過程で考えたことをノートに取り、独創性や文章力を養うのに役立てよう。

成績評価の方法

各自の創意工夫と知識の応用力を問う論述式の学年末試験、レポート、出席状況。

教科書

田中かの子著『比較宗教学—「いのち」の探求—』（北樹出版）2004年

その他

講義担当者の現地調査によるスライドと録音テープを活用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (3) 〔思想と儀礼〕	小 川 順 敬	経営A選	4
		14以降入学生/経営B選	

講義のねらい

人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なのでしょう。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその思想について考えていこうと思います。一見、不可解な行動に見えても、その背後の思想を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずで。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

未定。授業開始後、紹介します。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (4) 〔組織と運動〕	あらい 洗 けん 建	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

宗教学は、宗教現象の実証的研究を通じて宗教の客観的理解を目指す学問である。宗教現象は、文化、社会、個人の人格などの各次元にわたって展開するが、この講義では宗教の社会的展開を中心に考察する。宗教は個人の内面において、単なる知識としてではなく、情意的にも真実として把握された世界認識である。しかし、それはまったく個人的な信念にとどまるものではなく、多くの人々に共有された文化として存在する。そして宗教を共有する人々は、集団を作り、共に礼拝その他の宗教的実践をするのが一般的である。そこに社会現象としての宗教の問題が生じる。社会現象としての宗教には、どのような集団が形成されるのかという、集団内部の組織の問題と、宗教集団の活動が、外部の一般社会とどのような関係を生じるのかという宗教運動の問題とがある。これらの問題を事実面に即して考察し、宗教現象の理解を目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

わが国の宗教伝統を形成する神道、仏教、儒教など、なかでもその基層をなしている神道的なるものが、わが国の社会や文化の形成に、いかにかかわっているのかを考察したい。

履修上の留意点

受講者の人数にもよるが、事実を覚えることより、問題を理解し共に考えることを目指したいと思っているので、とにかく出席して受講して貰いたい。原則として出席をとる。

成績評価の方法

定期試験と、出席点を総合評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人 文 地 理 学 (1) 〔風土と文化〕	たけ ぼやし かず ひこ 竹 林 和 彦	経営A選	4

講義のねらい

人文地理学の基本的概念や思考対象について、具体的な事例を取り上げながら検討していく。特に本講義のサブテーマである「風土と文化」について、文化地理学のアプローチを紹介しながら検討していく。講義でアジアを主に取り上げていくが、適宜ヨーロッパ・アメリカ等の地域と比較検討する。講義は、スライドやOHP等を使用し、事例として取り上げる地域を具体的にイメージできるように進める。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. ガイダンス | 10. 文化景観 |
| 2. 人文地理学の学問的性格 | 11. 文化伝播 |
| 3. 人文地理学の基本概念 | 12. 東南アジアの風土と文化 |
| 4. 人文地理学の思考対象とその方法 | 13. 東アジアの風土と文化 |
| 5. 人文地理学と地誌学 | 14. 市場の風景 |
| 6. 地理学にとって文化とは何か? | 15. 都市での居住(都市の文化) |
| 7. 地域とは(地域概念) | 16. 都市と農村 |
| 8. 文化地域 | 17. まとめ |
| 9. 文化生態～主に人間と自然環境のかかわり～ | |

履修上の留意点

授業には必ず地図帳(中学・高校で使用したものでもよい)を持参すること。

成績評価の方法

定期試験80%、平常点20%

教科書

特に指定しない。必要に応じて講義中に指示する。

参考書等

特になし。必要に応じて講義中にプリントにて配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (2) 〔風土と文化〕	たか はし けん たろう 高 橋 健太郎	経営A選	4

講義のねらい

人々の世界観や価値観、生活様式といった文化的側面と、地域社会の特徴や変容とを関連づけて考えるという、人文地理学の基本概念について理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

全体的には、自分の生活、または異文化について考える際に、空間的側面からの視点がいかにより重要であるかということについて検討する。具体的には、講義内容として以下の項目を予定している。◇人文地理学の位置づけ、◇文化伝播、◇文化生態、◇文化景観、◇文化変容、◇大衆文化、◇基層文化、◇居住、◇観光開発、◇地図、◇地名、◇空間認知、◇地域イメージ。

履修上の留意点

講義内容についての理解の程度を把握するため、また一部を講義の資料として使用するため、頻繁に、教場にてレポートを作成し提出してもらう。

成績評価の方法

教場レポートの内容（30％）と定期試験の結果（70％）で採点する。

教科書

使用しない。授業時にプリントを配布する。

参考書等

高校で使用した地図帳を持参のこと。その他、参考書については、適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学 (3) 〔空間と行動〕	やまぐち たろう 山口 太郎	経営A選	4

講義のねらい

都市を歩くことによって都市を体験し、都市への批判的なまなざしを養うことを目的とする。本講義は、受講生の都市でのフィールドワークに対し、地理学的な切り口を提示していく。前期はまち歩きをするための準備という位置付けで、東京に関する地理的知識と先達の都市観察・記述を紹介する。渋谷、原宿、新宿、田園調布など、東京のさまざまな場所を事例に進めていく。後期は都市に関する諸理論・さまざまなテーマ別に、都市を批判的に見つめるまなざしを養う。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期)
- I 東京の自然史
 - II 東京の歴史社会地理
江戸から東京へ、モダニズム・大衆文化、高度経済成長、都市論ブーム、バブルの時代、郊外居住、都心回帰
 - III 先達による都市観察・記述
小田内通敏、今和次郎、陣内秀信、正井泰夫、路上観察学会、江波戸昭、川本三郎、泉麻人、石井實、奥田道大、ライフヒストリー
- (後期)
- IV 都市の中の差異
都市計画、時間地理学、認知地図
 - V 都市民の憂鬱
選好地図、まなざしの権力性、都市と故郷、都市の集団の風景
 - VI 商品としての都市
場所のイメージ、ディズニーランド化、創られた伝統、住民参加のまちづくり

履修上の留意点

出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課することがある。

成績評価の方法

夏休みのレポートと後期試験で評価する。平常点も若干評価の対象とする。

教科書

前期に以下のテキストを使用する。
正井泰夫監修2003『図説歴史で読み解く東京の地理』（青春出版社）1,000円

参考書等

講義中に随時紹介していくが、さしあたり以下の文献を挙げておく。
エドワード、レルフ著（高野・神谷・岩瀬訳）『都市景観の20世紀』（筑摩書房）
田島則行・久野紀光・納村信之編『都市／建築フィールドワークメソッド』（INAX 出版）
若林幹夫『都市への／からの視線』（青弓社）

その他

講義は受講生のまち歩きを楽しくし、批判的なまなざしを身につけるための一助の場と位置付けたい。そのため、この1年間自発的にまち歩きをして欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学(4) 〔空間と行動〕	伊藤修一 <small>いとう しゅういち</small>	経営A選	4

講義のねらい

日常生活の中の多くの場面で、我々は個々の意思の基に行動しています。ところがその行動には規則性や一般性が認められることが少なくありません。特に、都市には多様な人々が活動しており、そこには都市のもつ特徴が大きく反映されていることは明らかです。ここでの目的は、次のような講義を通じて、都市や空間・距離がもつ意味をより深く理解することです。前期には、都市がどのように形成されて今日のように分布することとなったかについて、地理学ではどのように説明しているかを概説します。後期には、都市の形成や変化に不可欠な人口動態と移動の傾向を把握し、都市に関する既存の実証研究を紹介し、個人の行動と都市をめぐる理論との結びつきの理解をねらいます。

講義の内容・授業スケジュール

[前期] イントロダクション (1)、地図 (2)、都市の分布と立地 (3~7)、地域の結びつき (8・9)、都市の内部構造 (10)
[後期] 人口変動と分布・人口移動 (1・2)、都市の居住構造の形成過程とその変化-郊外化・再都市化 (3~8)、都市と余暇活動 (9)、都市空間における知覚と認知 (10)

履修上の留意点

講義では簡単な数式を用いることがありますので、高校数学や統計学などの知識を持つているとより理解が深まるでしょう。

成績評価の方法

原則として学年末の試験結果から評価しますが、出席状況も考慮する予定です。

教科書

講義では資料を随時配布します。

参考書等

坂本英夫・浜谷正人編『最近の地理学』(大明堂) 1985
富田和暁・藤井 正編『図説 大都市圏』(古今書院) 2001
なお、高校などで利用した地図帳を準備することが望ましいです。

その他

プロジェクターを用いて講義を行います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	伊藤茂樹 <small>いとう しげき</small>	経営A2選 12以降入学生/経営B2選	2

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的帰納について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
・近代社会と教育
・学校という場

履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	さかもと のぶ あき 坂本 信 昭	経営A 2選 12以降入学生/経営B 2選	2

講義のねらい

民主主義的教育思想はルソー、ペスタロッチ、フレーベル、エレン・ケイ、デューイなど多くの思想家によって生み出され、継承されて今日に至り、教育思想と実践の面で多様な展開を示した。

20世紀の教育思想を生み出し、継承することに貢献した思想家たちの教育思想・教育目的を概観することを手初めに、次のようなテーマを取り上げて進める。

講義の内容・授業スケジュール

- ・教育の理想と目的
- ・わが国の教育目的の変遷
- ・現代・社会の変化と教育目的
- ・その他（大村はま、林竹二などから学ぶものは何か）

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

教科書

西村絢子他著『現代教育を考える』（昭和堂）2,600円

参考書等

デューイ著『学校と社会』（岩波文庫）410円
林竹二・灰谷健次郎著『教えることと学ぶこと』（小学館）460円

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	いとう しげ き 伊藤 茂 樹	経営A 2選 12以降入学生/経営B 2選	2

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

- とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
- ・現代の教育問題
- ・教育改革の現在

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	坂本信昭	経営A 2選 12以降入学生/経営B 2選	2

講義のねらい

人間の社会に余暇をもつ少数の人々が生まれたときに学校は生まれた。いわば余暇とともに学校は生まれたのである。もし余暇がすべての人々のものとなると、それは、社会そのものが全体として学習と教育の場所、つまり学校になるときであるかも知れない。

講義の内容・
授業スケジュール

講義で取り上げるテーマとしては、次のようなものを考えている。

- ・学校教育のあゆみ
- ・学校の社会的機能
- ・学校教育の現実と課題
- ・その他（教師論集）

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

教科書

西村絢子他著『現代教育を考える』（昭和堂）2,600円

参考書等

デューイ著『学校と社会』（岩波文庫）410円

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	大浜幾久子	経営A 2選 12以降入学生/経営B 2選	2

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした評価の予定である。

教科書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	かわだみつお 川田三夫	経営A 2選 12以降入学生/経営B 2選	2

講義のねらい

- 1) 子供の成長・発達の概要を理解する。
- 2) 学習心理学の基本的な事項を理解する。
- 3) 発達に影響を与える広義の環境の問題について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) ガイダンス、発達や学習をめぐる現状と問題点
- 2) 発達や学習の理論、乳児期・幼児期の発達の特徴と留意点
- 3) 児童期の発達の特徴と留意点
- 4) 青年期の発達の特徴と留意点
- 5) 青年後期・成人期の発達の特徴と留意点
- 6) 人格の発達と問題点
- 7) 社会性の発達と問題点
- 8) 情緒や性意識の発達と問題点
- 9) 交友・対人関係の発達と問題点
- 10) 若者文化や社会風俗の歴史の変遷と現状の問題点
- 11) 青少年の非行等の問題行動
- 12) 人格障害、情緒障害、神経症的な問題行動等
- 13) 学校生活をめぐる諸問題
- 14) 試験

履修上の留意点

- 1) 教科書は指定せずレジメ、資料等を配布し講義を行う。
- 2) 板書を少なくして、学生自身がノートを取るようにさせている。
- 3) 日頃から努力して言葉や文章力を高めてほしいと思っている。

成績評価の方法

- 1) 学期末に定期試験を行う。
- 2) それ以外にも不定期に小試験（論述、レポート）を行うことがある。
- 3) 授業の際に口頭試問や提出物もあり、評価の際に考慮される。
- 4) 以上の合計得点で所定の基準に従い評価される。

教科書

『よくわかる発達と学習』（福林書店）2,400円

参考書等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

その他

- 1) 授業の方法は講義が中心だが、毎回何らかの形でいろいろ質問される。
- 2) 現実を見聞しながら色々なことを考えてほしいと思っている。
この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
この科目は、平成11年度までに「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	やまもとまさひと 山本政人	経営A 2選	2
		12以降入学生/経営B 2選	

講義のねらい

児童・生徒の発達と学習のメカニズム、およびそれらへの援助、指導のあり方について、教育心理学の見地から概説する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①発達とは何か
- ②発達の要因
- ③発達理論
- ④人格発達
- ⑤認知発達
- ⑥学習理論
- ⑦学習の要因
- ⑧発達と学習
- ⑨発達と教育
- ⑩発達・学習と臨床

履修上の留意点

不定期に小レポートを課すことがある。

成績評価の方法

学期末試験の成績に小レポートの成績を加味して行う。

その他

講義形式で行う。教科書は指定しない。参考書は授業で紹介する。授業で資料を配布することがある。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	おおはまきくこ 大浜幾久子	経営A 2選	2
		12以降入学生/経営B 2選	

講義のねらい

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、現行の新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした評価の予定である。

参考書等

『(小学校・中学校・高等学校) 学習指導要領』文部科学省
その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。
この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
カリキュラムと学習 (後期)	かわ だ みつ お 川 田 三 夫	経営 A 2 選	2
		12以降入学生/経営 B 2 選	

講義のねらい

- 1) 教授-学習過程に関わる基本的な事項を学習する。
- 2) 教育目標、教育課程を中心に学習活動の効果的な展開について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) ガイダンス、発達と学習（教育）をめぐる現状と問題点
- 2) 発達と学習
- 3) 学習理論の基本と応用
- 4) 教育学・教育心理学の基本と応用
- 5) 教育理論や方法の歴史的変遷、現状と課題
- 6) 教育目標
- 7) 教育課程（学校教育の基本について）
- 8) 教授-学習過程（学習指導、学級集団、生徒指導）
- 9) 教育評価の歴史的変遷、現状と課題
- 10) 学習指導要領（改訂の歴史、『学校教育法』、『学校教育法施行規則』等）
- 11) 総合的学習、職業教育、生涯学習、障害児教育
- 12) 学校、教師、生徒の諸問題（授業時間、教科書検定、等）
- 13) その他（教員養成、教員採用の問題、教育制度・教育行政等の問題、等）
- 14) 試験

履修上の留意点

- 1) 教科書は指定せずレジメ、資料等を配布し講義を行う。
- 2) 板書を少なくして、学生自身がノートを取るようにさせている。
- 3) 日頃から努力して言葉や文章力を高めてほしいと思っている。

成績評価の方法

- 1) 学期末に定期試験を行う。
- 2) それ以外にも不定期に小試験（論述、レポート）を行うことがある。
- 3) 授業の際に口頭試問や提出物もあり、評価の際に考慮される。
- 4) 以上の合計得点で所定の基準に従い評価される。

教 科 書

『よくわかる発達と学習』（福林書店）2,400円

参 考 書 等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

そ の 他

- 1) 授業の方法は講義が中心だが、毎回何らかの形でいろいろ質問される。
- 2) 現実を見聞しながら色々なことを考えてほしいと思っている。
前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	なつ ぼり ちか 夏 堀 睦	経営A 2選 12以降入学生/経営B 2選	2

講義のねらい

今日、教育実践のなかで相対評価から絶対評価への移行や総合学習の導入に伴い、教育評価の問題が重要となってきています。教育心理学の領域では、これまでにさまざまなテスト開発や教育実践の分析を通じて、教育評価の問題にアプローチがなされてきました。

この講義では、過去の教育評価の知見を紹介するとともに、児童期の発達の特徴と重ね合わせながら、子どもの教育評価の問題を考えていきます。そして、児童への評価の方法とともに、授業分析および授業評価の方法、教師の自己評価の問題も取りあげます。具体的には、まず児童期の発達の特徴をさまざまな発達理論から概観します。第二に、形成的評価、到達度評価等これまでの教育評価の方法と問題点、また評価の心理的影響についての知見を紹介します。第三に、授業分析と授業評価に関する方法論と教師の自己評価について、さまざまな研究から得られた知見を紹介します。最後に、最近創造活動に関わる分野で注目されているポートフォリオ評価の内容と実践例について検討します。

講義の内容・授業スケジュール

①児童期の発達の特徴と評価内容 ②児童と学校文化 ③評価の心理的影響 ④教育評価の方法論 ⑤ポートフォリオ評価の内容 ⑥ポートフォリオ評価に基づく実践

履修上の留意点

実践案を考えてもらう課題を出します。書籍、雑誌、テレビ等で具体的な教育実践が紹介されていると思いますので、積極的に実践例を収集しておいてください。

成績評価の方法

出席点、レポートによる総合評価。

教科書

特に指定しません。

参考書等

梶田 叡一『教育評価【第2版補訂版】』（有斐閣双書）
B. D. シャクリー/N. バーバー/R. アンブローズ/S. ハンズフォード著 田中耕治監訳
『ポートフォリオをデザインする—教育評価への新しい挑戦—』（ミネルヴァ書房）

その他

パワーポイントを使い、講義形式で行います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 [現代文化を考える]	かな ぎわ とも ひろ 金 澤 朋 広	経営A 選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

現代社会と文化についていくつかの事例を扱いながら、社会学における基本的な考え方に對する理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

「現代文化」を取り巻く状況を医療・福祉・組織・情報の分野での題材を、「社会学」というフィルターを通して考えていく。社会学の基本的な考え方を学びながら、これまでとは違ったものの見方を身につけられるようにしていく。

成績評価の方法

講義の中で扱った内容について学年末に行う試験によって評価する。

教科書

開講時に指定。

参考書等

講義時に指定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
統計学 〔社会現象の統計的分析〕	稲葉敏夫 <small>いなばとしお</small>	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

情報化時代においては、情報洪水の中で何が必要な情報で、何が不必要かの適切な選択が益々大切となってくる。どの様にしたら統計を適切に利用できるかを主眼に授業を進める。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は基本的な概念を説明する。平均値、標準偏差、2変量間の関係を表す相関係数、そして回帰直線を扱う。また、確率概念を導入することによって、平均値、標準偏差をとらえ直す。後期は統計的推測の基礎を講義する。世論調査における政党支持率の変化は統計的に意味があるのか、新薬は旧薬よりもはたして効き目があるのかなど、身近な例を取り上げる。

成績評価の方法

平常点とレポートによって評価する。再試験は実施しない。

教科書

稲葉三男・稲葉敏夫・稲葉和夫著『経済・経営 統計入門』（共立出版）2,100円

その他

授業は講義の形態をとるが、時々ごく簡単な計算を受講者にもしてもらおう。数式の使用はできるだけ避け、主として図や表を使用して説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文化人類学 〔諸民族とコスモロジー〕	すぎ い じゅん いち 杉 井 純 一	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしぐみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解する」ことの面白さ、そして、難しさを味わいながら、「異質なものとの共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

- I 文化人類学の基礎
 - 1. 文化人類学とは何か
 - 2. 文化人類学の歩み (1)
 - 3. 文化人類学の歩み (2)
 - 4. 文化とコミュニケーション
 - 5. 環境と人間 (1) 狩猟採集民
 - 6. 環境と人間 (2) 牧畜民
 - 7. 環境と人間 (3) 農耕民
 - 8. ジェンダー
 - 9. セクシュアリティ
 - 10. 婚姻の形態
 - 11. 家族の多様性
 - 12. 親族と社会
- II 民族とコスモロジー
 - 1. 呪術と宗教
 - 2. アニミズム
 - 3. シャーマニズム
 - 4. シンクレティズム
 - 5. 儀礼の構造
 - 6. コスモロジー
 - 7. 神話
 - 8. 政治組織
 - 9. 民族とエスニシティ
 - 10. 民族紛争と戦争
 - 11. 開発と文化
 - 12. 移動の民族誌

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

成績評価の方法

夏期レポート (20%)、期末試験 (60%)、平常点 (20%) で評価します。

教科書

特に指定しません。適宜、プリントを配布します。

参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書) 800円
 山下晋司ほか『文化人類学キーワード』(有斐閣) 1,700円
 佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』(新曜社) 2,200円

その他

できるだけ、ビデオを利用します (年に4~5回程度)。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔諸民族とコスモロジー〕	すずき いっけい 鈴 木 一 馨	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

文化人類学は、人類の特徴的な活動とその表現である「文化」というものを、さまざまな方向から検討して「人類とはなにか」を問う学問である。これを学ぶことは、多様な文化を理解する術を得るばかりではなく、自己の存在意義を問うことにもつながる。

この講義では、前期にまず「文化」とそれを研究する「文化人類学」、また文化の共通性を帯びる「民族」について基礎的な知識を得た上で、コスモロジーとはどのようなものを学ぶ。この基礎に立って、後期には、コスモロジーの具体的事例として「風水」の文化現象としてのあり方と、それが人類にとってどのような意味を持つのかを学んでいくことにする。

講義の内容・
授業スケジュール

- (前期) 第1部、「文化人類学」の基礎的知識
 (1~3)「文化」と「文化人類学」 (4~5)「民族」とはなにか
 第2部、民族とコスモロジー
 (6~7)「コスモロジー」とはなにか (8~12)さまざまなコスモロジー
 (後期) 第3部、「風水」のコスモロジーとひとびと
 (13~20)風水をつくる要素 (21~24)風水と人間社会

履修上の留意点

学生諸君が授業中の質問に答えたり、レポート提出などで見せる積極的な姿勢、そして社会人予備軍としての常識性を重視する。なお、復習をきちんとしないといけない。

成績評価の方法

出欠状況・期末試験・小テスト・受講態度など、評価につながるものは全て考慮する。

参考書等

- 祖父江孝男『文化人類学入門 (増補改訂版)』(中公新書560) 800円
 国立歴史民俗博物館編『異界談義』(角川書店) 1,400円
 鈴木一馨『陰陽道一呪術と鬼神の世界一』(講談社選書メチエ244) 1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と社会生活〕	沼田 雅之 <small>ぬま た まさゆき</small>	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

法学は難しい学問であるけれども（なぜなら法律用語というのは一見難解であるから）、決して堅苦しいものではありません。なぜなら、社会で起きている問題をどのように評価するかという手段の一つに過ぎないからです。つまり法学的アプローチを身につけるには、社会を見る適切な「目」を育てること、「教養」をたくさん身につけることが必要です。この講義では、抽象的で難解な法律用語の解説に終始するのではなく、社会を見渡せる「リアリティ」を大切にしてゆこうと考えています。したがって、公務員受験などに役立たせようと考えているみなさんには物足りないと感じられるかもしれませんが、物事を「考える」ことに重点をおいているみなさんには、いい刺激となるようなものを目指しています。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. (1) ガイダンス | 2. (2・3) 法と法学 |
| 3. (4～6) 人権と統治 | 4. (7～9) 市民と財産 |
| 5. (10～12) 企業と経済 | |

後期

- | | |
|--------------------|---------------|
| 6. (13～15) 犯罪と刑罰 | 7. (15・16) 裁判 |
| 7. (17～19) 労働と社会保障 | 8. (20・21) 国際 |
| 9. (22～24) 法の新しい展開 | |

履修上の留意点

注意点は特にありませんが、感想・要望、また法学を履修する上での疑問点など、みなさんの意見には率直に耳を傾けますので、講義中、講義終了後を問わず、積極的に意見を言っていたきたいと考えています。

成績評価の方法

基本的には後期試験（筆記）のみで評価します。出席はとりません。なお、向学心のある学生、または後期試験だけでは不安な学生向けに、任意提出のレポート課題を出す場合もあります。この場合、そのレポートの得点は後期試験に加点いたします。

教科書

教科書として次のものを指定します。プリント等は配布しません。各自テキストを要してください。野村豊弘編『法学キーワード（第2版）』（有斐閣）1,800円。また、コンパクトなもので結構ですから、最新の六法を用意してください。

その他

水曜日・3時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と国家〕	新田 浩 司 <small>に た こう し</small>	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

法は社会のルールであり、憲法は政府と我々国民の関係という国家生活の基本的ルールを決めたものといえる。我々の生活にとって法や憲法を無視することは不可能である。法や憲法を良く知ることは、とりもおさず我々日本国民がより幸福に生きるために不可欠な作業である。

ここでは、我々が国民として住民として生活する上で必要な法というものの考え方、及び国家の根本法である憲法について、現実には発生する様々な問題にも言及しつつ講義を進める。

講義の内容・授業スケジュール

- | | | | |
|------|---------------|-------|-----------|
| 第1回目 | ガイダンス | 第9回目 | 精神的自由権① |
| 第2回目 | 法学の基礎知識① | 第10回目 | 精神的自由権② |
| 第3回目 | 法学の基礎知識② | 第11回目 | 経済的自由権 |
| 第4回目 | 法学の基礎知識③ | 第12回目 | 社会権 |
| 第5回目 | 憲法の基礎知識 | 第13回目 | 参政権、国家請求権 |
| 第6回目 | 日本国憲法の制定過程 | 第14回目 | 統治機構① |
| 第7回目 | 日本国憲法の基本原理 | 第15回目 | 統治機構② |
| 第8回目 | 国家の安全保障（戦争放棄） | | |

履修上の留意点

社会で起こる様々な問題は、憲法をはじめとする法律問題でもあり、この講義を履修して法的思考を養ってもらいたい。

成績評価の方法

夏期レポート及び学年末試験の成績により評価する。
なお、授業の出席状況も参考とする。

教科書

佐伯宣親・酒井憲郎・高乘正臣編『現代法学と憲法』（成文堂）2,500円＋税
※小六法（何でも可）があれば持参することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕(夏季集中)	ふじもと 藤本茂	経営A選	4
		14以降入学生/経営B選	

講義のねらい

本講義は、法についての基礎的事項の学習や新聞などによる身近な法的問題の解説を通して、以下のことを学んでもらうことを目的としている。

- ・高校までの学習法とは違う、法学の学び方にふれてもらう。
- ・法学や法を学ぶうえで必要な基礎知識を身につけてもらう。
- ・我々と法との関わりを現代的問題を手がかりに学んでもらう。

講義の内容・授業スケジュール

できるだけ具体的な問題・事例にふれながら、法に触れて感じてもらうことにつとめたいと思う。教科書を順次説明するという形式はとらない。もっぱら、プリントを配布するなどして授業を進める。

出席することが重要になる。

講義スケジュールについては、

- ・法的思考を形成する基本的な諸概念
- ・現代法にいたる法の発展（西欧近代法の形成をふくむ）の概観
- ・近現代法の原理の概観。特に憲法の諸原理
- ・基本的人権
- ・現代社会問題に対する法的視角からの検討 などなど

なお、これは予定であり、講義開始時にあらためて伝える。また受講者の反応に応じて、変更することがある。

履修上の留意点

講義中、質問は歓迎。私語はNO、携帯電話はOFF、内職はNO、用なく席を立つのはNOなど、授業でのマナー厳守のこと。

成績評価の方法

記述式試験。また、出席を重視する。レポート等を実施することもある。これらを総合して評価する。

教科書

伊藤正巳・加藤一郎編『新版現代法学入門』（有斐閣双書）。学習の道しるべとして大いに活用してもらいたい。また、講義で言及できない部分を教科書の記述に委ねることがある。そうした場合は口頭、板書で触れなかったことがらでも試験の範囲となりうると考えて欲しい。

参考書等

参考書として、たとえば、道垣内正人『自分で考えるちょっと違った法学入門』（有斐閣）、渡辺洋三『法とは何か』（岩波新書）。その他授業で、読んでほしい文献を紹介する。

その他

六法は、毎回は使わないが、持参して授業に臨んでほしい。

授業日程

前半		1	2	3	4	5	後半		1	2	3	4	5
8月2日	月	○	○	○	○	○	8月20日	金					
8月3日	火	○	○	○	○	○	8月23日	月					
8月4日	水	○	○	○	○	○	8月24日	火					
8月5日	木	○	○	○	○	○	8月25日	水					
8月6日	金	○	○	○	○	○	8月26日	木					
8月9日	月	○	○	○	○	○	8月27日	金					

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 〔社会生活とデモクラシー〕	おのやま れいこ 大山 礼子	経営A選	4
		14以降入学生/経営B選	

講義のねらい

この講義の目的は、一人一人が良き有権者として、選挙での投票をはじめとするさまざまな機会に政治と適切に関わっていくための基礎づくりにある。政治学の基本的な知識を身につけることによって、マスメディアの政治報道を鵜呑みにせず、自分自身で考える力を養っていただきたい。

1年間をとおして受講すれば、テレビや新聞の政治関連ニュースが面白くなるはずである。

講義の内容・
授業スケジュール

基本的には教科書の順序にしたがって2回で1章を読むペースで講義を進めるが、そのときどきの時事的な問題も扱う。わかりやすい教科書なので、必ず事前に一読し、予習しておくこと。また、一方的に講義を聴くだけでなく、毎回、感想や簡単なレポートなどの提出を求めるので、積極的な参加を期待する。

主な講義内容は次のとおり。1) 政策決定、2) 規制緩和、3) 企業と政治、4) 選挙、5) 地方分権、6) マスメディア、7) 国会、8) 内閣と首相、9) 官僚、10) 国際政治。

履修上の留意点

新聞の政治面に目をとおす習慣をつけること。

成績評価の方法

受講者の人数にもよるが、定期試験は行わず、レポートや小テストの結果、質問・感想票の提出状況によって評価する予定である。

教科書

真淵勝、久米郁男、北山俊哉『はじめて出会う政治学（新版）』（有斐閣アルマ）2003

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会科学論 〔社会認識の思想〕	おおいしゆうじ 大石雄爾	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はいまだに「複合不況」とよばれる深刻な経済スランプから抜け出せていません。近年、危機に見まわれたアジア諸国の人も、貧困にあえいでいるばかりか、好調に推移してきたアメリカ経済も大きくゆらいでいます。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようと前向きな姿勢を示しているときに、他方では、中東などの地域には戦闘の火だねが残っているのです。こうした問題を私たちはどのように扱えばよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることを通して、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。

社会科学は、17世紀におけるイギリス資本主義経済の発展とともに芽生え、19世紀、機械制大工業の確立とともに体系的なものへと発展してきました。社会の変化とともに、社会を支配する法則の認識も発展してきたのです。

この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点をあてて、社会的諸関係を把握する方法について考えてゆきます。とくに、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および思想をとり上げ、現代的な意味について考えます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 思考する楽しみ
2. 社会科学とは何か
3. 社会の歴史的発展と社会思想
4. 社会科学の生誕：ホップスとロック
5. 資本主義経済の把握：スミスとリスト
6. 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
7. 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
8. 現代社会の思想的諸潮流

なお、現代社会の時事的な諸問題についても時折とり上げ、解説してみるつもりです。

履修上の留意点

講義を聴きながらノートをとるという作業を1年間続けることによって、皆さんの理解力、書写能力も飛躍的に高まります。講義には、毎回欠かさず出席することを望みます。

成績評価の方法

授業中に小レポートを作成してもらうことがあります。成績は、この小レポートと後期に行なわれる定期試験の点数の合計点で評価します。再試験は実施しません。

教科書

特に指定しない。

参考書等

高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）
 平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）
 城塚登編著『社会思想史の構図』（八千代出版）
 大石雄爾『商品の価値と価格』（創風社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育学 〔デス・エデュケーション〕	やなぎ ぼり 柳 堀 素雅子	経営A選	4

講義のねらい

死の問題をさまざまな視点から考えていく。病気による死、殺人による死、事故による死、戦争による死、自殺死など死の原因はさまざまである。いずれにしても「人間の死」には変わらないが、死んでいく本人、そして遺族をはじめとする周囲の人々に与える影響は異なってくる。

現在のところ「デス・エデュケーション」あるいは「死生学」という形で、これらを総合的に取り扱っている文献はほとんど見あたらないが、講義の中ではこれらの死を総合的に扱う予定である。あらゆる分野、多くのパースペクティブを必要とする内容なので、読書力、思考力、創造力、分析力などを働かせて、真剣に取り組んでもらいたい。人間の死を考えるには、それだけの人格を備えている必要があります。

講義の内容・授業スケジュール

- ①先端医療と死の問題—生命倫理の視点から取り扱う。医療の進歩と患者の人権。
 - ②戦争と死の問題—平和とは何か。核と人類。ヒロシマ、ナガサキ、沖縄、アウシュヴィッツ
 - ③環境倫理と死の問題—水俣病と公害問題。レイチェル・カーソンの警告。環境ホルモン。遺伝子組み換え食品の問題等。
 - ④自殺と死の問題—自殺者の心理と自殺防止の問題。遺族の気持ちとグリーフケア
 - ⑤犯罪事件と死の問題—犯罪者の分析。犯罪被害者および遺族のケア、犯罪防止の問題。
- ①～⑤のテーマをすべて取り扱うとは限らないが、講義のはじめに参加者と協議の上決めていく。

履修上の留意点

授業中に何回もレポートを提出してもらうので、講義に出席する意欲のない人は履修しないほしい。

成績評価の方法

レポートの提出状況と出席状況など総合的に評価する。

参考書等

講義中にその都度お知らせします。

その他

ビデオ、OHPも使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育心理 〔大学生の心理・教育臨床心理学の立場から〕	野中弘敏 <small>の なか ひろ とし</small>	経営A選	4

講義のねらい

「心の健康」なる言葉を耳にすることがありますが、人がいろいろな意味でできる限り「豊かに」生きていこうとするのはなかなか大変なことのようです。そして様々ないきさつから、人が「心のつまずき」を経験することも少なからずあるようですし、それぞれ生い立ちや出会った人々、とりまく環境も様々な人間の「心を理解する」といっても、それについてただ一つの公式があるというわけでもなさそうです。

「心理学」と一口に言っても、人間の心の作用や行動などに関して、焦点を当てる領域や研究方法はきわめて多岐にわたっています。この講義では、主に臨床心理学の立場から、「心のつまずき」に対する広い意味での「心理臨床的援助」の実際と、そのような援助の手がかりとなる基本的な考え方を紹介したいと思います。また、心理臨床的援助の実際のありようを通じて、人のこころや他者との関係の構造・成り立ち・はたらきについて、これまでの理論でどのような仮説が与えられてきたか、などをお話できればと思います。

講義の中で紹介する理論や話題を、自分の体験や身の回りで触れる出来事などについて考えてみるきっかけに生かしてもらえたら幸いです。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね以下のトピックをとりあげる予定です。

- ・「心理的異常」の考え方をめぐって
- ・人間の心理－社会的発達
- ・人格の構造と機能
- ・心理臨床的アセスメント（心理検査など）
- ・心理療法の基本的考え方
- ・さまざまな心理臨床現場での実際

成績評価の方法

夏休み（前）のレポートと年度末の試験（持込不可）とを併せて考慮します。

参考書等

一読をお勧めしたい文献などは、その都度の講義の中で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生物学 〔生物と環境〕	なかむらとしえ 中村敏枝	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

この地球が誕生したのは46億年の昔といわれる。40億年前にはすでに生命が誕生し、以後それは地球の環境を変えつつ、自らも進化の歴史を歩みながら現在に至っている。この長い歴史の中で、種の構成は変わり、あるものは絶滅してしまったけれど、現存する生物は40億年の間、生まれ・成長し・繁殖し・死ぬ ということを営々と繰り返してきた。この生物たちの営みをいろいろな段階（細胞・個体・個体群・生態系）で紹介したい。

後期には、環境問題を取りあげる。地球温暖化についてその背後にある社会・経済問題も視野にいれながら考察したい。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1-5) 地球の歴史と生命の期限
(6-13) 生態系のしくみ
- (後期) (14-21) 生物の生活-植物群落の遷移・動物の生殖行動
(22-26) 地球温暖化-生態系に与える影響・代替エネルギー

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教科書

赤堀他著『生物学-地球に生きるいのちを考える』（宣協社）2,700円

参考書等

授業時間内に随時紹介します。

その他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地球科学 〔変動帯としての日本列島〕	藤井 享 <small>ふじい すすむ</small>	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

地球科学は、地形、岩石、地質、火山、地震、重力など地球に関するさまざまな現象を研究する分野であるが、地殻の変動や地形・地質の形成史を究明することが特に重要である。日本列島はユーラシア大陸と太平洋に挟まれており、島弧―海溝系（海溝を伴う弧状列島）の変動帯である。日本列島付近は4種類のプレートが衝突しあっており、火山活動、地震が多発、地形の起伏が大きく地質構造も複雑である。したがって、日本列島は世界でも第一級の変動帯とって過言ではない。

日本列島は火山活動や地震の頻発する自然条件下にあるため、否応なしにそれらに遭遇することも止むを得ない。したがって、これらの自然現象を正しく理解し、日頃から関心を抱くとともにその対策を講じることが重要である。本講義は、以下のような変動地形と日本列島の地形の由来を十分理解できるように展開したいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

授業は地図を多用して、世界で最も活動的な変動帯としての日本列島の地形を多角的に扱ってみたい。主な内容とスケジュールは次のとおりである。

- ① 地球上の変動帯とプレートテクトニクス
- ② 島弧―海溝系の変動帯と日本列島
- ③ 島弧と火山帯
- ④ 本州中部の地形とフォッサマグナ
- ⑤ 第四紀の地殻変動と変動地形
- ⑥ 関東平野の地形と造盆地運動
- ⑦ 中部地方の傾動運動
- ⑧ 西南日本弧の曲動運動
- ⑨ 日本列島の活断層
- ⑩ 日本列島の巨大地震と変動地形
- ⑪ 火山活動と火山地形
- ⑫ 最終氷期と後氷期の日本列島

スケジュールは前期：①～⑤、後期：⑥～⑫を予定

履修上の留意点

「地球科学」は、地球の内部や地表で行われる自然現象を扱うために、地図を多用するため、「地図帳」（高校で使用したもので可）を準備すること。また、講義ノートをとることは重要。地図やその他の図を書くことが多いので、色鉛筆（12色）を準備してほしい。

成績評価の方法

テスト、レポート、出席状況を総合して評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

貝塚爽平著『日本の地形―特質と由来』（岩波新書）1977年
貝塚爽平著『発達史地形学』（東大出版）

その他

講義形式であるが、必要によりビデオ・スライド等を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔生命と環境〕	もち丸真里 持丸真里	経営A選	4
		14以降入学生/経営B選	

講義のねらい

生物を中心とした自然環境の仕組みを理解した上で、現代の人間活動が生態系へもたらしている諸問題について考えることを目的とする。講義では、基礎知識として、生物の基本構造と多様性、物質及びエネルギー代謝、生態系の成り立ちなどについて解説した上で、生化学・生態学的な視点を要求される現代の諸問題について各論的に取り上げてゆく。また、これらの事例を通して、生態系の保全のためにどのような姿勢が要求されるか考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期) (1) 生態系の成り立ち (2・3) 生物とは何か (4・5) 生命の誕生と地球環境
(6・7) 地球温暖化 (8・9) 生態系内の物質循環 (10) 生産者の働きと生態系
(11・12) 森林破壊 (13) 前期まとめ
(後期) (14・15) 生態系の浄化作用 (16~18) 化学物質による生態系汚染
(19・20) ダイオキシン問題 (21・22) 環境ホルモン (23) オゾン層破壊
(24・25) 近代農業の問題 (26) まとめ

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度にあわせて進度を調整したり、途中でニューストピックスを取り上げるなど、柔軟に勧めて行く。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

教科書

なし

参考書等

大石正道『入門ビジュアルエコロジー-生態系と地球環境のしくみ』(日本実業出版社) 1,500円
その他、講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論〔環境と保全〕 (夏季集中)	やまがた 山 縣 教授	経営A選	4
		14以降入学生/経営B選	

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきています。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が自然環境に与える影響、環境保全の意義について考えてもらうことを目標としています。実生活で体験したり、各種報道により伝えられる地球環境に関する諸事象を正しく理解するための教養を、受講者に身につけてもらえるように、講義を進めていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 地球表層の環境変遷とその要因
2. 人間活動による環境変化
(地球温暖化、大気酸性化、オゾン層の破壊)
3. 資源・エネルギーと環境
4. 地質変動による環境変化と自然災害
(地震、火山活動、崖崩れ)
5. 地球環境に対する海の影響
6. 環境保全

成績評価の方法

レポートと出席状況で評価します。

教科書

特に定めない。

参考書等

講義の中で紹介します。

その他

OHP、スライド等を使用します。
授業日程

前半	1	2	3	4	5	後半	1	2	3	4	5
8月2日 月	○	○	○	○	○	8月20日 金					
8月3日 火	○	○	○	○	○	8月23日 月					
8月4日 水	○	○	○	○	○	8月24日 火					
8月5日 木	○	○	○	○	○	8月25日 水					
8月6日 金	○	○	○	○	○	8月26日 木					
8月7日 土	○	○	○	○	○	8月27日 金	△	△	△	△	△

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然誌 〔現代の自然像〕	清水善和・篠原正雄 持丸真里・山縣毅	経営A選	4

講義のねらい

我々は何者か、なぜ、今ここにいるのか？大宇宙の中で人類存在の意味を問う本質的には哲学的なこの問いに対して、20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは、我々を取り巻く自然環境が100億年を越える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえのないものであることを語っている。一方で、今世紀の科学技術の発展は、このかけがえのない自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえない。社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。本講義では自然科学教室の専門を異にする4人の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。それは自然界全体を総合的、統一的にとらえるナチュラール・ヒストリー（博物学、自然誌）の伝統を現代的に蘇らせる試みでもある。地球の未来に向けいかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員4人により、1人6回程度の輪講形式で行われる。宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、21世紀の重要課題となる地球環境問題の本質とその解決の方向についても考察する。

- 第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄
- (1) 宇宙の起源（自然の階層構造、膨張する宇宙、ビッグバンと元素の起源）
 - (2) 星の進化と物質の進化（星の一生、星間物質の進化、銀河の渦と星生成領域）
 - (3) 太陽系と地球の起源（太陽系起源仮説、牡牛座T型星、宇宙の有機化合物）
 - (4) 太陽と地球の進化（地球の核の形成、大気と海の起源、太陽の進化と地球環境）
 - (5) 宇宙の中の地球（太陽放射の変動、地球軌道の変化、隕石、銀河系）
- 第2講 地球の地殻変動と災害 山縣毅
- (1) 地球のシステム（地球内部・表層での現象）
 - (2) 地震のメカニズムと災害
 - (3) 火山活動のメカニズムと災害
- 第3講 生命の起源と進化 清水善和
- (1) 生命の起源（生物体を作る物質、遺伝暗号とタンパク質合成、生命起源仮説）
 - (2) 生物の進化と進化論（生物進化40億年の歴史、進化のメカニズム、現代進化論）
 - (3) 人類の進化（霊長類の系統、ヒトの発展段階、ホミニゼーション）
 - (4) 生物の多様性（分類体系、生物多様性、植生帯、動植物の分布）
- 第4講 産業の発達と環境の変化 持丸真里
- (1) 人口増加とエネルギー消費の歴史
 - (2) エネルギー消費と「豊かさ」
 - (3) 化石燃料の化学
 - (4) 大気環境の変化（古典的大気汚染からグローバルな環境問題へ）
 - (5) 未来へ向けて－石油代替エネルギーの開発とその評価

履修上の留意点

本科目は1年間の継続的な講義を通じて総合的な自然像を養うことを目的としているので、毎回出席するのが困難な卒業年次生や運動部員等は履修を控えてほしい。一般の通年科目と異なり、4回の評価（テストやレポート等）を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。

成績評価の方法

各担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に4人の採点を合算して成績評価とする。

参考書等

各担当者がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学 (1) 〔微積分学入門〕	お <small>さわ</small> 沢 <small>まこと</small> 誠	経営A選	4

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである微積分学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、関数の極限と導関数・いろいろな関数の導関数・関数の変動・いろいろな応用を、後期に、定積分と不定積分・積分の計算・面積・曲線の長さ・体積・いろいろな応用を扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

『新訂 微積分 I』(大日本図書) 1,524円

参考書等

適宜紹介する。

その他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学 (2) 〔線形代数学入門〕	お <small>さわ</small> 沢 <small>まこと</small> 誠	経営A選	4

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである線形代数学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、平面のベクトル・空間のベクトル・行列・連立1次方程式と行列を、後期に、行列式の定義と性質・行列式の応用・線形変換・固有値とその応用を扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

『新訂 線形代数』(大日本図書) 1,619円

参考書等

適宜紹介する。

その他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
数 学 (3) 〔現代数学入門〕	福 田 賢 一 <small>ふく だ けん いち</small>	経営A選	4

講義のねらい

現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会・経済現象に応用例を求め、具体的かつ基礎的な事例から無理のない数理的抽象化を計る。情報基礎数理、経済数理に力点を置き、実践な応用力の養成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期： 論理の基礎、論理と言語、情報理論と数理、論理回路、線型代数とその応用、
後期： 線型計画法、確率現象と社会現象、微積分とその応用、数値解析とその応用

履修上の留意点

予備知識は特に必要としない。高校数学の基礎的な知識があれば十分理解できる。しかし、数学は系統性の強い分野であるから、基本的な定義、性質を明確にする必要がある。

成績評価の方法

前後期試験結果を中心に、レポート、出欠状況を加味し、総合的に判断する。

教科書

使用しない。プリントを配布する。

参考書等

必要となり次第指示する。

その他

教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。再配布ができない事もあるので注意。講義に対する要望、質問等は積極的に行うこと。疑問点、理解不十分なところを放置しないように努める事。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情 報 数 学 〔情報と論理〕	上 原 隆 平 <small>うえ はら りゅう へい</small>	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

形式言語理論、中でも特にオートマトン理論を学ぶ。オートマトンとは「状態を持った機械」をモデル化したもので、情報科学分野で正規表現、正規言語などと呼ばれるものと同等である。情報科学や言語理論における基礎的分野である。

講義の内容・授業スケジュール

まず始めに基礎的な数学を学ぶ。次に形式言語理論の初歩的な知識を学び、形式的な記述に慣れる。そしてオートマトン理論に的を絞り、現実の問題がどのようにオートマトンとしてモデル化されるかを学ぶ。そしてオートマトンで表現できるものと、情報科学分野で正規表現、正規言語などと呼ばれるものが同等であることを学ぶ。本授業の中では実際のプログラミングは行なわない。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参考書等

J.ホップクロフト、R.モトワニ、J.ウルマン共著、野崎昭弘、高橋正子、町田元、山崎秀記共訳『オートマトン 言語理論 計算論 I 〔第2版〕』（サイエンス社）2,800円（2003年発売の〔第2版〕であることに注意）

科目名	担当者名	配当学科	単位
物理学 〔光と物質〕	篠原まさお <small>しのほらまさお</small>	経営A選	4

講義のねらい

地上の天文学者は天体から来る光などの電磁波を分析して、手の届かない天体を作る物質の種類、温度、運動などを読み取ります。この天体物理学の方法は物質と光の関係の物理学的研究に伴って発展してきました。

本講では「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げます。「光学」に限定せず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及びます。

講義の目的は、光について学ぶことを通して、物理学的な目で世界を見ることを体験していただくことです。数式は物理学に不可欠な言葉ですが、数式により表現された物理的な意味の方が大切です。数式の使用は極力避け、用いる場合はその意味をできるだけ平易に説明するので、数学的な予備知識はいりません。

講義の内容・授業スケジュール

次のような項目について講義します。

波としての光

光線 影 鏡 屈折 気球 透明人間

光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色

電磁波としての光

電気と磁気 電磁波 光の速度と電磁気学 電波望遠鏡 電子レンジ

色即ち波長？ 虹の七色 vs 三原色 茶色い光の波長？ X線とガンマ線

光子 熱と光 星の色 人の光 原子構造と光 光波は粒子・電子は波

光と宇宙

光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光の旅

履修上の留意点

十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

学年末に実施する簡単な期末試験を受けた人だけが成績評価の対象となります。しかし、期末試験の比重は10%程度です。数回のテストを含む平常点を中心に評価します。

教科書

藤城敏幸著『生活の中の物理』（東京教学社）1,800円

参考書等

本間三郎・山田作衛著『電気の謎をさぐる』（岩波新書）563円
その他、講義の中で適宜紹介します。

その他

理解を深めるためにはほぼ毎回問題を考えてもらいます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
化学 〔衣食住の化学〕	もち丸真里 持丸真里	経営A選	4

講義のねらい

現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の適用の可否や環境問題について、正確な基礎知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。講義では、はじめに、生体への化学物質の作用を理解するために必要な有機化学及び生化学の基礎について解説する。その後、衣食住の化学として、各論の解説を行う予定である。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1) 有機化学・生化学の導入 (2・3) 物質の成り立ち (4) 水の性質 (5～7) 有機化学の基礎 (8・9) 合成繊維 (10) 染料 (11・12) 合成洗剤と水質汚濁 (13) 前期まとめ
後期 (14・15) タンパク質 (16・17) 遺伝子 (18) 遺伝子情報の社会への影響 (19・20) 遺伝子組み換え食品 (21) 食品の安全性 (22) 住環境の化学物質汚染 (23) まとめ

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度にあわせて進度を調整したり、途中でニューストピックスを取り上げるなど、柔軟に進めていく。講義は、基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意の上、履修すること。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宇宙科学 〔星と銀河〕	しのはらまさお 篠原正雄	経営A選	4

講義のねらい

現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介します。観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展しています。星と銀河についての知識のほとんどは20世紀になって明らかにされました。前世紀の成果をふり返り、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進めます。宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は恒星をとりあげます。
太陽： 構造 エネルギー源
恒星： 研究の手法 恒星の分類 恒星の進化 太陽系の起源
後期は銀河をとりあげます。
銀河系： 星団 星雲 恒星の運動 星生成領域
銀河： 銀河の距離 分類 銀河団 宇宙の大規模構造
宇宙： 宇宙膨張 ビッグ・バン

成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

教科書

高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』（地人書館）1,800円

その他

講義を中心とするが、天体の映像などを多用する予定です。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人 類 学 (1) (2) 〔人類の進化〕	えん どう ばん り 遠 藤 萬 里	経営A選	4

講義のねらい

人類を理解し、その進化を知るには骨やその化石のことを聞くだけではほとんど意味をなさない。生物としてのヒトが自然界でどういう位置にあり、どのように分類され、身体の構造や機能がどうなっているかをきちんと考えることが重要である。進化史は年々書き替えられているが、このような基礎が不十分なためもある。しっかりとした基礎知識を持つように期待する。

講義の内容・
授業スケジュール

ヒトが生物のなかでどのような位置にあり、動物としてどこに分類されるか、現在のようになったヒトの特異性とは何か、身体のださまな構造・機能にどのような特徴があるのか、文化も含めてどのように進化してきたと現在考えられているのか等について進めて行く。毎年新しい知識が加わるので注意。

履修上の留意点

できるだけ出席すること。内容の進行に応じて時々小テストを行なう。これは理解度を知るためでもある。なお、体育系運動部の学生であまり出席できない学生には、この講義の一部についてのレポートを提出してもらい採点したいので、学年度初めに申出ること。

成績評価の方法

成績は年度末試験と小テストで行なう。また上記の学生はレポートで加点する。

教 科 書

遠藤万里編『人類生物学入門』（てらべいあ）

参 考 書 等

進化については 遠藤万里『人類学百話一話』（てらべいあ）2,000円、アンドリュース・ストリンガーイラスト・ガイド『私たちヒトの進化』（てらべいあ）2,400円 他の分野については難しすぎるか、古すぎるので紹介しない。

そ の 他

スライドを多く使い、身近な例を引き合いに出して楽しく進めたい。質問は歓迎する。これまでの人体や人類進化の通俗的常識は通用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔人間関係を考える〕	鈴木 順一 <small>すずき じゅんいち</small>	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受け身のバケツ的学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方向的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める（勉強すること）ではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証（反証）し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を持った人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩み出すようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスと、遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見から得られるモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具（理論と技法）を体験的に学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

学習計画は、進行状況により変更することがあります。

- [前期] (1) 学習とは？ 授業方針 (2) 心とは何か (3) 性格検査による自己理解 (4) パーソナリティ理論 (5) 精神分析的人格理論 (6) グループ形成とエンカウンター (7) コミュニケーションの促進 (8) 対人関係の真理 (9~10) カウンセリングの理論と技法 (11) 生涯発達の心理 (12) 親子関係の心理
- [後期] (13) 青年の心理 (14) 交流分析による自己理解 (15) 自他肯定の人間関係 (16~17) 学習理論と行動療法 (18) relaxation 法 (19) 職場の人間関係 (20) 恋愛と結婚の心理 (21) 流行とマス・コミュニケーション (22) 社会病理と犯罪

履修上の留意点

単独・聴講学習ではなく、グループによる協力学習・相互学習・体験学習ですので、毎回、グループごとに自筆で出席をとります。欠席しがちな人は履修しないでください。

成績評価の方法

出席点と平常の小試験、小レポート、グループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。

教科書

速見将敏・小山望編著『人間関係の心理学—体験をとおして学ぶ心理学—』（福村出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 [人間関係を考える]	高橋 良博 <small>たか 橋 よし ひろ</small>	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。
特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間関係にかかわるトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。
また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなどもとり上げ、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学立場からの人間関係に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）など総合して評価を行う。

教科書

講義の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 [心を科学する](夏季集中)	堀内 正彦 <small>ほり うち まさ ひこ</small>	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解も含むが、そればかりではなく、人間が一般的にもつ特性を知ることを含む。例えば、物の見え方や判断の仕方などのような様々な場面で何気なく行なっている活動全般について理解するということである。

講義の内容・授業スケジュール

心理学の概略、行動の基本様式、感覚・知覚、記憶、学習、思考、発達、社会的行動などについて講義する予定である。

履修上の留意点

この講義に限らず何かを学ぶということの根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいうべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。なお、その他の細かい点については以下の通りである。
① 私語は厳禁である。
② 講義中に分からないことがあった場合には、講義をさえぎって質問してもよい。また、E-mailでの質問も受け付ける。
③ 1回の講義において2回目以降に私語を中止された学生は、その講義に限り退場とする。

成績評価の方法

試験の結果を重視する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義の中で紹介する。

その他

授業日程

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月2日 月	○	○	○	○	○		8月20日 金						
8月3日 火	○	○	○	○	○		8月23日 月						
8月4日 水	○	○	○	○	○		8月24日 火						
8月5日 木	○	○	○	○	○		8月25日 水						
8月6日 金	○	○	○	○	○		8月26日 木						
8月9日 月	○	○	○	○	○		8月27日 金	△	△				

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合 I (1) 〔仏教と自然〕	よつや こう どう 四津谷 孝 道	経営 A 選	4

講義のねらい

「エコロジー」というものが、大きな社会的な且つ学問的な課題になって久しいが、仏教学の分野においても「エコロジー」との関連ですでに多くの研究が蓄積されつつある。本講座では、それらの研究を参照しながら、いくつかの具体的テーマに焦点をしばって、仏教と自然に関する検討を進めてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、本講座において扱うところの「仏教」並びに「自然」というものについて明確な説明を加える。
それを前提にして、「仏教と菜食主義」というテーマを、インド思想全体の関連の中で検討する。もう一つのテーマは「仏教と医学」である。このテーマの下に、特にインド・チベット伝統医学の中にその自然観・人間観を探ってみる。

履修上の留意点

外国語の文献を扱うことが多いので、受講生は英語、ドイツ語、フランス語のある程度の語学力を有することが望ましい。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

特になし。必要と思われるものは、授業において適宜に指示をする。

参考書等

特になし。必要と思われるものは、授業において適宜に指示をする。

その他

特になし。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合 I (2) 〔仏教と社会〕	くま もと えい にん 熊 本 英 人	経営 A 選	4

講義のねらい

日本の社会の諸問題を、仏教とのかかわりから考える。

講義の内容・授業スケジュール

社会とは、人間の言語、慣習、規範、制度などによって規定された世界であり、人間は、その社会のあり方を思索し、理想的な社会の実現に努力している。
仏教は、社会とどのようにかかわり、影響を与え、あるいは運動を起こしてきたか。生死、人権、女性、家族、平和といったキーワードから、仏教の立場、仏教への期待、社会の現実などをみていくことで、現代への問題提起を行いたい。

成績評価の方法

適宜レポートを課す。年度末の筆記試験と合わせて評価する。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ (1) 〔人権と社会問題〕	ピアス, D. M.	経営A選	4

講義のねらい

This being the most advanced English course available, its first intention is to prepare for studying abroad. Students will get a partial experience of what it is like to take a university-level course in a foreign country, and thereby have more success from studying abroad. Students will not study English; they will study something *in* English. Lectures, compositions, and conversation practice will concentrate on international social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. Alternatively, programs in the history of economic and political thought, and in American sociology, may be used as lecture material.

講義の内容・授業スケジュール

Elementary level English conversation will not be taught, but there will be intensive practice every period in spoken English on, quotidian, opinion exchange, and intellectual levels. Emphasis is placed on learning to converse *intelligently*, that is, to communicate thought in spoken language. Time will be devoted to English composition and to listening comprehension practice.

The format of the course is not based fundamentally upon the lecture series; during most of the class time students will be actively producing, in writing and speaking.

履修上の留意点

ATTENDANCE: Attendance and active participation are most important; only practice improves English. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

EXAMINATIONS: Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

GRADING: Your final grade is the quality of the employment that you can find after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for a job; you will get better employment if you improve your English this year. This is an extremely important point; you are taking a high-quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

GRADING, AGAIN: Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for intellectual English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A", because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

Textbook and materials: We will probably use *Social Practices*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or an electronic dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ (2) 〔欧米の教育と日本の教育〕	おが ざき といちろう 岡 崎 寿一郎	経営A選	4

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって改変されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのバカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ (3) 〔中国語圏文化の諸相〕	いわ ざき ひろし 岩 崎 皇	経営A選	4

講義のねらい

同じ漢字文化圏の国として、中国の、漢字に関する言語政策を紹介します。

講義の内容・授業スケジュール

文字改革と80年以降の情報化社会に対応する政策を中心に解説します。

成績評価の方法

出席及び授業態度で判断します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ (1) 〔現代アメリカ事情〕	はやし あき と 林 明 人	経営A選	4

講義の内容・授業スケジュール

現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード（abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Bill等）を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

成績評価の方法

前・後期のレポート、出席の総合評価。

教科書

プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合Ⅳ 〔米国シアトルNPOの経営研究〕	にしむら ゆうこ 西村 祐子	経営A選	4

講義のねらい

アメリカのNPO, NGO(非営利組織)は日本に比べ、非常にアクティブであるといわれるが、なかでもまちづくり(コミュニティビルディング)において市民と自治体の協同がとりわけて盛んでユニークな発展を続けているワシントン州、シアトル市の事例をとりあげてみる。さらに日本におけるまちづくりのありかたとの比較を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は通年で以下のようなテーマを中心におこなわれる。

アメリカの非営利組織と日本の非営利組織との違い
 コミュニティ・ビルディングとまちづくり
 シアトルのまちづくり
 シアトル・アジア系住民のまちづくり
 自治体とNPOの協同について
 日本のまちづくりとシアトル

成績評価の方法

平常点(出席率、レポート内容)重視。

教科書

教場にて指定。

参考書等

教場にて指定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 IV (3) [ポスト・モダンの世界]	丸 小 哲 雄	経営A選	4

講義のねらい

本講義の狙いは、受講生の既成概念に対して挑発することで、既視感に対して違和感を抱くように講義します。それを念頭において、近代化の啓蒙思想を批判し、それを乗り越えるための主体性としての自己組織の確立を目指すことにあります。ポストモダン概念を整理し、そのような学際的な知の最前線として、固有なものに出会うための批判の方法によって権力の座(特権化された場所)を移動・転倒させつつ、歴史的過渡期の思想的表現としての近現代史の思想を批判すること(帝国主義と植民地化に対する批判)にあります。そのために「大きな物語」の終息後に、どのようにして世界を再構築していくかが現代的な問題となります。本講義においては、基本的に、近代の思想を担った思想家たちをモデルにして、その論理的枠組み、哲学・宗教の思想的な特徴、経済・政治におけるメカニズムと思想的な特徴などのさまざまなキーワードを手がかりにして、近代思想の根拠を跡づけて、ポストモダンの現象と批判的立場を明確化していきます。前期では、近代建築史、広告批評史、エロスの解放問題、ファッション・モードの変遷、映画の変遷過程の特徴、文学と文学理論の特徴、近代を乗り越える根拠を原理的に見出すように講義していきます。従って、受講生がどのようにして主体性を形成するかが受講生の課題となります。

講義の内容・授業スケジュール

講義に際して、関連文献リストを配布し、事前に読むテキストを指示します。また、クラス外では文庫本・新書版を読んで、前期と後期にレポートを作成します。講義の骨子は以下の通りです。

1. 「モダン」の定義とポストモダンの特質について
2. 近代言語観の変遷について
3. 現代という時代の捉え方；「今ここ」における自己言及のパラドックスについて
4. 近代における人間観、宇宙観、社会観の変遷について
5. 西洋の理性批判(啓蒙思想批判)について
 - 1) ソクラテス、デカルト、ヘーゲルとマルクス、ショーペンハウエル、
 - 2) ニーチェとハイデガー 3) マック・ヴェーバー 4) ミュシエル・フーコー
6. トランスモダン
横断的近代：アメリカン・イデオロギーとグローバリズムに対するナショナル意識とリージョナル意識との対抗性について
7. レビュー：冷戦後における自己組織と反省の人間の特質について

成績評価の方法

出席、前期・後期の読書レポート(リストから選択)、ターム・ペーパー作成などの総合評価。

教科書

- ・読書リスト配布
- ・プリント配布

参考書等

リーディング・リスト配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ(1) [民族とは何か]	大野祐二 <small>おおの ゆうじ</small>	経営A選	4

講義のねらい

この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論(文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など)についてが中心になります。

後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などとの関連から考察を進める予定です。

履修上の留意点

講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとりまします。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。

成績評価の方法

前後期の定期試験(またはレポート)、および小テストで評価します。

教科書

詳細については授業中にプリントで伝える予定です。

参考書等

原尻英樹著『コリアンタウンの民族誌』(筑摩書房)
吉野耕作者『文化ナショナリズムの社会学』(名古屋大学出版会)
李孝徳著『表象空間の近代』(新曜社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ(2) [イスラム]	吉田京子 <small>よしだ きょうこ</small>	経営A選	4

講義のねらい

現在、最も注目される思想、文化体系としてのイスラムに関する日本人の知識不足を補うための授業。国際社会の一員として最低限知っておくべき教養としての範囲のイスラムに関する知識を習得することが本講義の最大の目的である。多様な「イスラム」認識の方法論の中から、イスラムの宗教的側面、信仰の概略、思想の根本を理解するため宗教学的アプローチを中心に講義を行う。従って、国際関係論的、政治学的、社会学的、文化人類学的視座に基づくイスラム概説とは異なる点を注意されたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期、後期を通じ、イスラムの信仰の核である、クルアーン、預言者ムハンマド、イスラム法学、イスラム神学、歴史的分派、スーフィズム等々の思想トピックごとに概論的授業を行う。

履修上の留意点

宗教学的、思想的側面からのイスラム論なので、社会学的、歴史学的、政治学的、国際関係論的アプローチの前段階の内容となる。そのため、そのような意味でのイスラム論を期待する学生には不相当である場合もある。

成績評価の方法

年間を通じ、出席率、提出物、後期末の試験により成績を決定する。

教科書

特になし

参考書等

授業中紹介

その他

数回のビデオ上映を予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VI (3) 〔フェミニズム・ジェンダー〕	はやかわのりよ 早川紀代	経営A選	4

講義のねらい

この世の中はあたり前のことだけれども、男性と女性、女性と男性の両性から成りたっている。この両性の関係はどんな風に私たちの社会の中で構成されているだろうか。それをつぎの分野でみなさんとともに考えます。私たちはどんな両性関係を望んでいるのか。私たちが理想とする両性関係を創造するには、どんなことが必要か、みなさんと考えます。

講義の内容・
授業スケジュール

前期

a. ジェンダーってなに？

フェミニズムやジェンダーという考え方が誕生した歴史背景と私たちがもっているジェンダー観を考えます。

b. セクシュアリティとジェンダー

性同一性障害、ドメスティックバイオレンス、ホモセクシュアルとヘテロセクシュアル、生殖技術の発展と人間の歴史などを考えます。

後期

c. 家族の過去、現在、未来

日本の家族の歴史をふり返りながら、みなさんが生まれ、現在にいたるまでの間に、どんな風に家族の機能や形、人間関係、家族観が変わったか、今後の家族のあり方をさぐります。

d. 労働とジェンダー

2003年10月の新卒の就職率は60パーセント。企業の雇用戦略が変貌する過程で男女の配置はどうなっているのか。男女がともに家族と労働の生活をおくるには何が必要か、考えます。

成績評価の方法

前期 夏休みに課題のレポートをまとめて提出する。

後期 論述式試験。

そ の 他

随時、感想文などを提出してもらおう。なるべくみなさんの間で意志交換できるようにする。資料を随時配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅶ(1) 〔トラブルと法的解決〕	<small>ふじもと</small> 藤本 茂 <small>しげる</small> 竹中 智香 <small>あらぎ</small> 荒木 正孝 <small>まさたか</small> 原田啓一郎 <small>ひるぎ</small> 日笠 完治 <small>くにお</small> 山口 邦夫	経営A選	4

講義のねらい

日常生活は、常に順調と言うわけにはいかない。社会生活につきまとうトラブルを法的に解決することを考える。

法的トラブルにはどのようなパターンがあるか。それをどう解決すればよいのか、あるいは、トラブルを未然に防ぐにはどうすればよいのか。これらの点について、市民として知っておくべき基礎的知識を、各法領域の教員が交替で講義する。

講義の内容・授業スケジュール

第1回目の講義で、履修上の注意点と各法領域での講義内容の概要を説明する。受講希望者は必ず、出席すること。

担当教員の順番や講義内容は、「詳細情報画面」を参照すること。各領域3回から4回を予定している。ここでは、各担当教員のテーマを上げるに止める。

- 1 日笠 完治 トラブルを憲法的観点から考える
- 2 山口 邦夫 刑事事件と法定手続
- 3 竹中 智香 変化する市民生活と民法
- 4 荒木 正孝 現代社会と商法
- 5 藤本 茂 現代雇用社会と労働法
- 6 原田啓一郎 大学生生活と社会保障の法的トラブル

履修上の留意点

各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。私語は慎むこと。携帯電話のスイッチはOFFにすること。

成績評価の方法

各担当教員がそれぞれの担当枠の最後実施する試験の成績を総合して評価する。講義に出席することはもとより、各担当教員の実施する試験は必ず受け、レポートが出されれば必ず、その担当期間内に提出すること。

追・再試験は、講義の形態上、行わない。

教科書

特に指定しない。

参考書等

各担当教員が講義に際し、必要に応じて、その都度開示する。六法は毎回忘れずに、持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅶ 〔都市論〕 (2)	早川純貴・浦田卓苗 坂井文・品田知美 保坂尚郎	全学科選	4

講義のねらい

いま大都市は多くの問題を抱えている。過密化と空洞化、住宅難、犯罪、失業と貧困、ホームレス、ゴミ問題、再開発、あるいは国際化と多文化主義。しかしこれらは独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返すと都市社会が示す多様な表象にほかならない。都市の現状を政治学や経済学、あるいは社会学や建築学の観点から概観し、都市の将来を考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義は5名の講師により、各々4～6回ずつ行う。その順序/時期と講義内容は以下の通り。

早川純貴『都市論』のガイダンス (1回/4月)

品田知美『都市の変容と生活様式』(6回/4・5月)——都市には、多くの人々が集う場として独特の生活様式が見いだせる。本講義では、日本の大都市の変容過程を、主に2つの視点から振り返る。①環境：都市のかたちは、エネルギーや資源の消費とどう関係するのか。

②家族：都市はいつも新しい家族のかたちを生み出す。異質な人々にとって、都市とはどういう場であるのか。2つの視点を、生活様式というキーワードで結びながら、近未来の都市のゆくえを考えたい。

保坂尚郎『都市と労働』(6回/6・7月)——労働による肉体的負担は、労働時間に通勤時間、乗り物の混雑なども加わり、都市部ほどその負担が大きい。また都市では居住環境の制約から核家族が多く、両親が就労しながら子育てする場合、保育施設の整備が不可欠であるが、現実には絶対数が不足している。この講義では、裁量労働制、時差通勤、SOHOワークなどの新たな働き方と、駅周辺保育施設の整備などを組み合わせ、快適・効率的で、子育てと両立できる都市労働のあり方を考える。

坂井文『都市オープンスペースの公共性』(4回/9月・10月)——公共性の概念は、時代・文化とともに変容していく。本講座は、都市施設の一要素である都市オープンスペース整備の政策に注目しながら、その公共性のあり方について考察することを目的とする。具体的には、ロンドンと東京の歴史的な都市オープンスペースの概念の形成について考察したうえで、現在の政策について検証する。

早川純貴『「まちづくり」と住民参加』(4回/10・11月)——いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取り組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。

浦田早苗『イギリスの都市はおいしい』(4回/11・12月)——イギリス一般市民の都市生活を、食事、娯楽、住居などの面から観察し、日英の都市文化の比較を試みる。

履修上の留意点

日本や海外の都市問題に強い関心を持つ学生の受講を歓迎する。もちろん学生諸君が「都市」に居住しているかどうかは問わない。

成績評価の方法

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判定し、それらを早川が総合して評価する。

3. 外 国 語 科 目

外
国
語

3 . 外国語科目

[英 語]

英語 I A	〈池上賀英子〉	85
英語 I A	〈三芳康義〉	85
英語 I A	〈川崎浩太郎〉	86
英語 I A	〈三輪久恵〉	86
英語 I A	〈水崎野里子〉	87
英語 I A	〈塚本利男〉	87
英語 I A	〈横森正彦〉	87
英語 I A	〈川崎笑佳〉	88
英語 I A	〈牧野輝良〉	88
英語 I B	〈影山なおみ〉	89
英語 I B	〈田中保〉	89
英語 I B	〈亀田三重子〉	90
英語 I B	〈矢島直子〉	90
英語 I B	〈松堂啓子〉	90
英語 I B	〈田中保〉	91
英語 I C (会話)	〈ノーラン, D. J.〉	92
英語 I C (会話)	〈ハバード, W. D.〉	92
英語 I C (会話)	〈ロンゴ, T.〉	93
英語 I C (会話)	〈ヘラー, P. S.〉	93
英語 I C (会話)	〈ロビン, G. F.〉	93
英語 I C (会話)	〈ラッセル, S. J.〉	94
英語 I C (会話)	〈ピアス, D. M.〉	95
英語 I C (会話)	〈ササキ, M.〉	96
英語 I C (会話)	〈レイン, R. V.〉	96
英語 II A	〈江田幸子〉	97
英語 II A	〈長谷川公一〉	97
英語 II A	〈佐藤勝〉	98
英語 II A	〈川崎笑佳〉	98
英語 II A	〈高柳文江〉	98
英語 II A	〈塚本利男〉	99
英語 II A	〈西原克政〉	99
英語 II A	〈手島敬子〉	99
英語 II A	〈三幣友行〉	100
英語 II C (会話)	〈ササキ, M.〉	101
英語 II C (会話)	〈ラッセル, S. J.〉	101
英語 II C (会話)	〈レイン, R. V.〉	102
英語 II C (会話)	〈ロビン, G. F.〉	102
英語 II C (会話)	〈ノーラン, D. J.〉	102
英語 II C (会話)	〈ハバード, W. D.〉	103
英語 II C (会話)	〈ロンゴ, T.〉	103
英語 II C (会話)	〈ヘラー, P. S.〉	103
英語 III A	〈小布施圭佐三〉	104
英語 III A	〈佐藤孝一〉	104
英語 III A	〈甲斐捷子〉	105
英語 III A	〈広川治〉	105

英語	Ⅲ	A	〈山口 晃〉	105
英語	Ⅲ	A	〈伊藤 美代子〉	106
英語	Ⅲ	A	〈萩原 輝〉	106
英語	Ⅲ	A	〈落合 和昭〉	107
英語	Ⅲ	A	〈伊藤 幸一〉	107
英語	Ⅲ	A	〈吉江 正雄〉	107
英語	Ⅲ	A	〈高橋 寛〉	108

〔ドイツ語〕

ドイツ語	I	A	〈栗原 万修〉	109
ドイツ語	I	A	〈野島 利彰〉	109
ドイツ語	I	A	〈五十嵐 信子〉	110
ドイツ語	I	B	〈栗原 万修〉	110
ドイツ語	I	B	〈岡本 時子〉	110
ドイツ語	I	B	〈杉本 正俊〉	111
ドイツ語	I	C	〈会話〉〈松岡 晋〉	111
ドイツ語	II	A	〈柴野 博子〉	111
ドイツ語	II	C	〈会話〉〈野島 利彰〉	112
ドイツ語	III	A	〈百済 勇〉	112

〔フランス語〕

フランス語	I	A	〈井田 清子〉	113
フランス語	I	A	〈小玉 齊夫〉	113
フランス語	I	A	〈遠山 博雄〉	114
フランス語	I	B	〈竹田 正純〉	114
フランス語	I	B	〈浜崎 設夫〉	114
フランス語	I	B	〈桑田 禮彰〉	115
フランス語	I	C	〈会話〉〈佐藤 久美子〉	115
フランス語	II	A	〈遠山 博雄〉	116
フランス語	II	C	〈会話〉〈桑田 禮彰〉	116
フランス語	III	A	〈前田 祝一〉	116

〔中国語〕

中国語	I	A・I B	〈布施直子・胡 玉華〉	118
中国語	I	A・I B	〈福地桂子・前川 亨〉	119
中国語	I	A・I B	〈工藤早恵・布施直子〉	119
中国語	I	A・I B	〈釜屋 修・下出宣子〉	119
中国語	I	A・I B	〈塩 旗 伸一郎〉	120
中国語	I	A・I B	〈佐藤 普美子〉	120
中国語	I	A・I B	〈天野 節・曹 泰和〉	120
中国語	I	C	〈会話〉〈秋 元 翼〉	121
中国語	I	C	〈会話〉〈工藤 早恵〉	121
中国語	II	A	〈松本 丁俊〉	121
中国語	II	A	〈福地 桂子〉	122
中国語	II	A	〈岩崎 皇〉	122
中国語	II	A	〈弘兼 加奈子〉	122
中国語	II	C	〈会話〉〈天野 節〉	123
中国語	III	A	〈天野 節〉	123
中国語	III	A	〈王 聡〉	123

〔スペイン語〕

スペイン語 I A	〈上野勝広〉	124
スペイン語 I A	〈宮地達郎〉	124
スペイン語 I A	〈亀山晃一〉	125
スペイン語 I A	〈佐藤麻里乃〉	125
スペイン語 I A	〈米田博美〉	126
スペイン語 I A	〈栗林ゆき絵〉	126
スペイン語 I C (会話)	〈ルイズティノコ, C.〉	127
スペイン語 II A	〈真下祐一〉	127
スペイン語 II C (会話)	〈真下祐一〉	128
スペイン語 III A	〈真下祐一〉	128

〔ロシア語〕

ロシア語 I A	〈杉山秀子〉	130
ロシア語 I B	〈廣田英靖〉	131
ロシア語 I C (会話)	〈佐野朝子〉	131
ロシア語 II A	〈木村英明〉	132
ロシア語 II C (会話)	〈クロチコフ, Y.〉	132
ロシア語 III A	〈クロチコフ, Y.〉	132

〔英語〕

英語 I A	[再クラス] 〔西村祐子〕	133
英語 I A	[再クラス] 〔岩井洋美〕	133
英語 I A	[再クラス] 〔林孝憲〕	133
英語 I A	[再クラス] 〔牧野輝良〕	134
英語 I A	[再クラス] 〔朝川真紀〕	134
英語 I A	[再クラス] 〔佐藤アヤ子〕	134
英語 I A	[再クラス] 〔吉江正雄〕	135
英語 I A	[再クラス] 〔埴美智子〕	135
英語 I A	[再クラス] 〔塚本利男〕	136
英語 I A	[再クラス] 〔川島弘之〕	136
英語 I A	[再クラス] 〔尾上典子〕	137
英語 I A	[再クラス] 〔外池一子〕	137
英語 I A	[再クラス] 〔高柳文江〕	137
英語 I A	[再クラス] 〔熊沢和明〕	138
英語 I A	[再クラス] 〔岩原康夫〕	138
英語 I A	[再クラス] 〔西原克政〕	138
英語 I B	[再クラス] 〔手島敬子〕	139
英語 I B	[再クラス] 〔林孝憲〕	139
英語 I B	[再クラス] 〔木村克彦〕	139
英語 I B	[再クラス] 〔武藤久緒〕	140
英語 I B	[再クラス] 〔江田幸子〕	140
英語 I B	[再クラス] 〔甲斐捷子〕	141
英語 I B	[再クラス] 〔石原孝哉〕	141
英語 I B	[再クラス] 〔真砂久晃〕	141
英語 I B	[再クラス] 〔高柳文江〕	142
英語 I B	[再クラス] 〔熊沢和明〕	142
英語 I B	[再クラス] 〔町田成男〕	142
英語 I B	[再クラス] 〔飯沼好永〕	143

英語 I C (会話) [再クラス]	〈ノーラン, D. J.〉	143
英語 I C (会話) [再クラス]	〈ハバード, W. D.〉	143
英語 I C (会話) [再クラス]	〈ロンゴ, T.〉	143
英語 I C (会話) [再クラス]	〈ヘラー, P. S.〉	143
英語 I C (会話) [再クラス]	〈ロビン, G. F.〉	143
英語 I C (会話) [再クラス]	〈ラッセル, S. J.〉	144
英語 I C (会話) [再クラス]	〈ピアス, D. M.〉	144
英語 I C (会話) [再クラス]	〈ササキ, M.〉	144
英語 I C (会話) [再クラス]	〈レイン, R. V.〉	144
英語 II A [再クラス]	〈佐藤 明子〉	144
英語 II A [再クラス]	〈宇都宮 秀和〉	145
英語 II A [再クラス]	〈岡崎 寿一郎〉	145
英語 II A [再クラス]	〈佐藤 江里子〉	145
英語 II A [再クラス]	〈岡崎 寿一郎〉	146
英語 II A [再クラス]	〈井伊 順彦〉	146
英語 II A [再クラス]	〈川崎 浩太郎〉	146
英語 II A [再クラス]	〈矢島 直子〉	147
英語 II A [再クラス]	〈相馬 美明〉	147
英語 II A [再クラス]	〈河内 賢隆〉	147
英語 II A [再クラス]	〈古富 猛〉	148
英語 II A [再クラス]	〈三浦 眞理〉	148
英語 II A [再クラス]	〈山岸 二郎〉	148
英語 II C (会話) [再クラス]	〈ササキ, M.〉	149
英語 II C (会話) [再クラス]	〈ラッセル, S. J.〉	149
英語 II C (会話) [再クラス]	〈レイン, R. V.〉	149
英語 II C (会話) [再クラス]	〈ロビン, G. F.〉	149
英語 II C (会話) [再クラス]	〈ノーラン, D. J.〉	149
英語 II C (会話) [再クラス]	〈ハバード, W. D.〉	149
英語 II C (会話) [再クラス]	〈ロンゴ, T.〉	149
英語 II C (会話) [再クラス]	〈ヘラー, P. S.〉	150
英語 III A (営 A) [再クラス]	〈小布施 圭佐三〉	150
英語 III A (営 A) [再クラス]	〈佐藤 孝一〉	150
英語 III A (営 A) [再クラス]	〈甲斐 捷子〉	150
英語 III A (営 A) [再クラス]	〈広川 治〉	150
英語 III A (営 A) [再クラス]	〈山口 晃〉	150
英語 III A (営 A) [再クラス]	〈伊藤 美代子〉	150
英語 III A (営 A) [再クラス]	〈萩原 輝〉	151
英語 III A (営 A) [再クラス]	〈落合 和昭〉	151
英語 III A (営 A) [再クラス]	〈伊藤 幸一〉	151
英語 III A (営 A) [再クラス]	〈吉江 正雄〉	151
英語 III A (営 A) [再クラス]	〈高橋 寛〉	151

〔ドイツ語〕

ドイツ語 I A [再クラス]	〈柴野 博子〉	152
ドイツ語 I A [再クラス]	〈志真 斗美恵〉	152
ドイツ語 I A [再クラス]	〈本橋 右京〉	152
ドイツ語 I A [再クラス]	〈杉本 正俊〉	153
ドイツ語 I B [再クラス]	〈飯塚 公夫〉	153
ドイツ語 I B [再クラス]	〈野島 利彰〉	154

ドイツ語 I B〔再クラス〕〈井村行子〉	154
ドイツ語 I B〔再クラス〕〈本橋右京〉	154
ドイツ語 I C (会話)〔再クラス〕〈松岡晋〉	155
ドイツ語 II A〔再クラス〕〈松岡晋〉	155
ドイツ語 II A〔再クラス〕〈織田繁美〉	155
ドイツ語 II A〔再クラス〕〈栗原万修〉	156
ドイツ語 II C (会話)〔再クラス〕〈野島利彰〉	156
ドイツ語 III A〔再クラス〕〈百濟勇〉	156

〔フランス語〕

フランス語 I A〔再クラス〕〈竹田正純〉	157
フランス語 I A〔再クラス〕〈芦原春〉	157
フランス語 I A〔再クラス〕〈小玉齊夫〉	157
フランス語 I A〔再クラス〕〈遠山博雄〉	158
フランス語 I A〔再クラス〕〈谷川かおる〉	158
フランス語 I B〔再クラス〕〈菅谷暁〉	158
フランス語 I B〔再クラス〕〈今関アーン〉	159
フランス語 I B〔再クラス〕〈小玉齊夫〉	159
フランス語 I B〔再クラス〕〈長谷川光明〉	160
フランス語 I C (会話)〔再クラス〕〈佐藤久美子〉	160
フランス語 II A〔再クラス〕〈畑中千晶〉	160
フランス語 II A〔再クラス〕〈沼倉広子〉	161
フランス語 II A〔再クラス〕〈長谷川光明〉	161
フランス語 II C (会話)〔再クラス〕〈桑田禮彰〉	161
フランス語 III A〔再クラス〕〈前田祝一〉	162

〔中国語〕

中国語 I A・I B〔再クラス〕〈江林英基〉	163
中国語 I A・I B〔再クラス〕〈戸張嘉勝〉	163
中国語 I A・I B〔再クラス〕〈杉山静〉	163
中国語 I A・I B〔再クラス〕〈佐藤普美子〉	164
中国語 I A・I B〔再クラス〕〈塩旗伸一郎〉	164
中国語 I A・I B〔再クラス〕〈根岸政子〉	164
中国語 I A・I B〔再クラス〕〈櫻庭和典〉	165
中国語 I A・I B〔再クラス〕〈曹泰和〉	165
中国語 I A・I B〔再クラス〕〈村松哲文〉	165
中国語 I A・I B〔再クラス〕〈三田村圭子〉	166
中国語 I A・I B〔再クラス〕〈小川隆〉	166
中国語 I A・I B〔再クラス〕〈胡玉華〉	166
中国語 I A・I B〔再クラス〕〈弘兼加奈子〉	167
中国語 I A・I B〔再クラス〕〈蘭明〉	167
中国語 I C (会話)〔再クラス〕〈秋元翼〉	167
中国語 I C (会話)〔再クラス〕〈工藤早恵〉	167
中国語 II A〔再クラス〕〈平石淑子〉	168
中国語 II A〔再クラス〕〈岩崎皇〉	168
中国語 II A〔再クラス〕〈大久保明男〉	168
中国語 II C (会話)〔再クラス〕〈天野節〉	169
中国語 III A〔再クラス〕〈天野節〉	169
中国語 III A〔再クラス〕〈王聡〉	169

[スペイン語]

スペイン語 I A・I B [再クラス] 〈真下 祐一〉	170
スペイン語 I A・I B [再クラス] 〈大岩 功〉	170
スペイン語 I A・I B [再クラス] 〈上野 勝広〉	171
スペイン語 I A・I B [再クラス] 〈亀山 晃一〉	171
スペイン語 I A・I B [再クラス] 〈宮地 達郎〉	172
スペイン語 I A・I B [再クラス] 〈荻野 恵〉	172
スペイン語 I A・I B [再クラス] 〈ナバロ, ホアン J.〉	172
スペイン語 I A・I B [再クラス] 〈佐藤 麻里乃〉	173
スペイン語 I C (会話) [再クラス] 〈ルイズティノコ, C.〉	173
スペイン語 II A [再クラス] 〈福本 久美子〉	173
スペイン語 II A [再クラス] 〈大岩 功〉	174
スペイン語 II A [再クラス] 〈亀山 晃一〉	174
スペイン語 II C (会話) [再クラス] 〈真下 祐一〉	174
スペイン語 III A [再クラス] 〈真下 祐一〉	175

[ロシア語]

ロシア語 I A・I B [再クラス] 〈廣田 英靖〉	176
ロシア語 I A・I B [再クラス] 〈佐野 朝子〉	176
ロシア語 I A・I B [再クラス] 〈木村 英明〉	177
ロシア語 I A・I B [再クラス] 〈安德 ニーナ〉	177
ロシア語 I C (会話) [再クラス] 〈佐野 朝子〉	177
ロシア語 II A [再クラス] 〈高木 美菜子〉	178
ロシア語 II A [再クラス] 〈クロチコフ, Y.〉	178
ロシア語 II A [再クラス] 〈安德 ニーナ〉	178
ロシア語 II C (会話) [再クラス] 〈クロチコフ, Y.〉	179
ロシア語 III A [再クラス] 〈クロチコフ, Y.〉	179

《 選 択 科 目 》

英 文 講 読	〈林 明 人〉	180
英 文 講 読	〈矢 島 直 子〉	180
英 文 講 読	〈牧 野 輝 良〉	180
時 事 英 語 研 究	〈竹 村 恵 都 子〉	181
時 事 英 語 研 究	〈林 明 人〉	181
時 事 英 語 研 究	〈岸 本 茂 和〉	181
時 事 英 語 研 究	〈丹 治 弘 昌〉	182
時 事 英 語 研 究	〈矢 島 直 子〉	182
マ ル チ ・ メ デ ィ ア	〈大 庭 直 樹〉	183
マ ル チ ・ メ デ ィ ア	〈落 合 和 昭〉	184
マ ル チ ・ メ デ ィ ア	〈西 村 祐 子〉	184
英 会 話 II	〈ジトウィッツ, P. D.〉	185
英 会 話 II	〈プラスキー, J. C.〉	185
英 会 話 II - 夏 季 集 中 -	〈ピアス, D. M.〉	186
英 会 話 III	〈ウエルズ, J. K.〉	187
英 会 話 III	〈ラージ, R.〉	188
英 会 話 III - 夏 季 集 中 -	〈レーン, C. M.〉	189
英 語 L L II	〈太 田 雅 子〉	190
英 語 L L II	〈外 池 一 子〉	190
英 語 L L II	〈西 村 祐 子〉	191
英 語 L L III	〈久 保 ひ さ 子〉	192
英 語 L L III	〈西 村 祐 子〉	192
英 語 L L III	〈レーン, C. M.〉	193
時 事 ド イ ツ 語	〈野 島 利 彰〉	194
上 級 ド イ ツ 語	〈栗 原 万 修〉	194
ド イ ツ 語 L L I	〈小林ゲアリンデ〉	194
ド イ ツ 語 L L II	〈小林ゲアリンデ〉	195
ド イ ツ 語 I A (選)	〈五十嵐 信 子〉	195
ド イ ツ 語 I B (選)	〈野 島 利 彰〉	196
ド イ ツ 語 II (選)	〈松 岡 晋〉	196
時 事 フ ラ ン ス 語	〈大 野 英 士〉	197
上 級 フ ラ ン ス 語	〈小 玉 齊 夫〉	197
フ ラ ン ス 語 L L I	〈ラリア・三倉, M.〉	198
フ ラ ン ス 語 L L II	〈ラリア・三倉, M.〉	198
フ ラ ン ス 語 I A (選)	〈井 田 清 子〉	198
フ ラ ン ス 語 I A (選)	〈伊 藤 な お〉	199
フ ラ ン ス 語 I B (選)	〈大 野 英 士〉	199
フ ラ ン ス 語 I B (選)	〈菅 原 猛〉	200
フ ラ ン ス 語 II (選)	〈桑 田 禮 彰〉	200
時 事 中 国 語	〈塩 旗 伸 一 郎〉	201
上 級 中 国 語	〈釜 屋 修 修〉	201
中 国 語 L L I	〈佐 藤 普 美 子〉	202
中 国 語 L L II	〈小 川 隆 隆〉	202
中 国 語 I A (選)	〈釜 屋 修 修〉	202
中 国 語 I A (選)	〈宮 本 厚 子〉	203
中 国 語 I B (選)	〈蘭 明 明〉	203
中 国 語 II (選)	〈松 本 丁 俊〉	203

時事スペイン語	〈真下 祐一〉	204
上級スペイン語	〈上野 勝広〉	204
スペイン語 LL I	〈ナバロ, ホアン J.〉	204
スペイン語 LL II	〈ナバロ, ホアン J.〉	205
スペイン語 IA (選)	〈宮地 達郎〉	205
スペイン語 IB (選)	〈亀山 晃一〉	205
スペイン語 II (選)	〈荻野 雅司〉	206
時事ロシア語	〈木村 英明〉	207
上級ロシア語	〈クロチコフ, Y.〉	207
ロシア語 LL I	〈安德 ニーナ〉	207
ロシア語 LL II	〈安德 ニーナ〉	208
ロシア語 IA (選)	〈クロチコフ, Y.〉	208
ロシア語 IB (選)	〈木村 英明〉	209
ロシア語 II (選)	〈佐野 朝子〉	209
朝鮮語 IA (選)	〈宋 美玲〉	210
朝鮮語 IB (選)	〈宋 美玲〉	210
朝鮮語 II (選)	〈宋 美玲〉	211

英 語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	いけ がみ か え こ 池 上 賀 英 子	経 営 A 1 年	2

講義のねらい

入学時の英語力を基礎として英語の運用能力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

ヒヤリング、スピーキング、ライティングの、より高度な運用能力練習をする。ビデオ (VHS、DVD) 等も使用する。

履修上の留意点

3分の2以上出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

発表を中心とする平常点と定期試験の成績を総合し評価する。

教科書

プリント教材を適宜配布、使用する。教科書は未定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	み よし やす よし 三 芳 康 義	経 営 A 1 年	2

講義のねらい

この科目の目的は、TOEIC*のような学外の英語検定試験に出題される文法事項を確認しながら、実用英語の総合的な運用能力の向上を目指します。授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとるので、積極的な授業参加を求めます。

成績評価の方法

授業中の口頭発表、出席率、前・後期小テスト (4回~6回) などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。

教科書

島本たい子/宮野智靖/Jodi Flowers 著『TOEIC テスト基礎文法トレーニング』(マクミラン ランゲージハウス)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	川崎 浩太郎 <small>かわさき こうたろう</small>	経営A1年	2

講義のねらい

入学時の英語力を基礎として、英語運用能力の向上を目的とする。最終的にはセンテンス単位の作文ではなく、パラグラフ単位で自分の意見を具体的かつ論理的に表現できるようになることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、アウトライニング→ドラフティング→ブルーフリーディングという、エッセイを書く一連の流れ、及び、イントロダクション、ボディ、コンクルージョンというパラグラフの基本構成を学習してもらう。以後それを踏まえた上で、教科書のUnitごとに適切な課題を出すので、それにしたがってエッセイライティングをおこなってもらう。また、口語表現の学習のため、TOEIC®のリスニングなどもおこなう。

履修上の留意点

毎時間辞書を必ず持ってくること。

成績評価の方法

出席点、発表点40%、授業中のレポート60%。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

教科書

『Thoughts into Writingーパラグラフライティング入門』(成美堂) 1,700円(税別)
ISBN-7919-5038-0C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	三輪 久恵 <small>みわ ひさえ</small>	経営A1年	2

講義のねらい

海外へ出た時に独力でコミュニケーションをとることが出来る英語能力を養う。対処の仕方等を通して日本とは異なる文化・物の考え方をも学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

旅行中に出会う様々な場面で役立つ英語表現の習得をめざす。DialogのListeningを中心に、練習問題形式で語彙・英語表現の習得を主眼とし、合わせて文化的・民族的背景等をも学習する。

履修上の留意点

予習をして授業に臨んで下さい。辞書は、中辞典程度のもの必携。

成績評価の方法

単元が終る毎に30分程度のクイズ・小テストを実施。必然的に、出席及び平常点重視となります。

教科書

Joseph S. Cravotta 他著 *Trouble-Free Travel* (郁文堂) 1,800円+税

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	水崎野里子 <small>みずさきのりこ</small>	経営A1年	2

講義のねらい

ヒアリング、スピーキングの練習をする。英語を聞き取れ、話せるようになって欲しい。

講義の内容・授業スケジュール

指定のテキストを使用し、ネイティブ・スピーカーの吹き込んだテープを活用しながら、授業を進めて行く。テキストは前期で終了し、後期は新たな教材を使用する予定。また、年間を通じて、副教材を使用する。

履修上の留意点

授業態度を平常点として加味する。特に出席には、学生は留意して欲しい。

成績評価の方法

前期後期二度の平常試験に平常点（出席率）を考慮し、総合評価する。

教科書

湯川和也他著『リスニングマスターコース・英語で聴く世界事情』（金星堂）1,900円
水崎野里子訳『現代アメリカアジア系詩集』（土曜美術社）1,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	塚本利男 <small>つかもととしお</small>	経営A1年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、語彙力の増強を図りながら、基本的な文法知識を復習・強化して英語の運用の能力を向上させる。

講義の内容・授業スケジュール

各章が、読み物、文法事項の解説と英作文から構成されていますので、1回の授業で1章を読み終えるようにします。毎回、授業の最後に、予習を兼ねる意味で作文の問題を提出する。テキストの問題以外にも100語～200語程度で自分の考えや意見を短文にまとめて、提出してもらう事もあります。

履修上の留意点

授業の予習をして下さい。

成績評価の方法

授業における発表・小テストと前・後期の定期試験に基づく。特に、平常授業を重視しますので、全授業の3分の2以上は、必ず出席して下さい。

教科書

『エンジョイ・イングリッシュ』（朝日出版）1,700円＋税 ISBN4-255-15390-6C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	横森正彦 <small>よこもりまさひこ</small>	経営A1年	2

講義のねらい

日米の文化の差異について会話からはじまり、文法事項を復習。Exerciseで英語力を養成。センテンス・レベルの作文能力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに従って、前半 Letters から Vacation、後半 Drinking から Loan Words まで。

履修上の留意点

予習をしてくること。なお「ビジネスマンのための職場の英語表現」（授業内でプリントにして学生にわたす。）を小テスト形式で行う。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、小テスト、前・後期テストによる総合的評価とする。

教科書

『異文化の理解に向けて』（旺史社）1,360円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	川崎笑佳	経営A1年	2

講義のねらい

入学時の英語能力を基盤として、意志伝達能力の向上を目指す。授業では、テキスト、又は必要に応じてその他の教材を用いて指導を行い、基本的な表現から、より効果的な表現へとステップアップすることを最終目標とする。

履修上の留意点

毎回授業中に英作文を書いて提出してもらうので、辞書持参が望ましい。

成績評価の方法

3分の2以上の出席および英作文、発表、授業態度、テストの結果をもとに総合的に評価する。

教科書

Thoughts into Writing 〈パラグラフ・ライティング入門〉(成美堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔基礎英語特別クラス〕	牧野輝良	経営A1年	2

講義のねらい

英文を理解するのに必要な英文の構造、語句等を年間を通じ、しっかりと学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

英文をよりよく理解するために英語の例文をよく読み、試訳を参考に自分で和訳し、英語と日本語の表現の違いを知ること。

履修上の留意点

毎時間例文を和訳し、提出すること。

成績評価の方法

授業中の課題の提出、3～5課毎の小テスト、期末テスト及び2/3以上の出席を総合して評価する。

教科書

『大学英文法 A to Z』(金星堂) 1,300円 ISBN4-7647-3697-7C1082

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	かげ やま 影 山 なおみ	経営A1年	2

講義のねらい 映画やニュース映像などを扱ったテキストでリーディング、リスニングの総合能力を養います。

講義の内容・授業スケジュール テキストを進めると同時に、並行してTOEIC®の学習も取り入れる予定。

履修上の留意点 予習をしてください。積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法 前期後期の試験結果、出席、授業態度から総合的に評価します。

教 科 書 未定

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	た なか たもつ 田 中 保	経営A1年	2

講義のねらい 入学時の英語力を利用して、より高度な英文の構文を理解し、また、文章の段落・大意を把握する力を培う。さらには、総合的な英語運用能力を身につけるように学習します。

講義の内容・授業スケジュール 授業はテキストにそって進めますが、予習を前提とした発表形式によって行います。

履修上の留意点 必ず予習をして授業に臨むこと。

成績評価の方法 授業時の発表・前期後期の試験・出席・レポート等を総合的に検討して評価します。

教 科 書 『素顔のアメリカ』(成美堂) 1,680円 ISBN4-7919-4009-1

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	かめ だ み え こ 亀 田 三重子	経営A1年	2

講義のねらい

英語によって楽しくお金の事や経済の事を学びます。又、経済関係の基本的用語や文章に親しめるようにします。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを読んだり、皆さんが普段出会うお金に関する出来事を取り上げ、話し合ったりします。又、最新の新聞記事やニュースも取り上げ、経済に関する英作文も行います。

履修上の留意点

“Reading”は必ず予習する事。専門分野ですから、積極的な授業への関わりを希望します。

成績評価の方法

発表を含む日常点、出席、試験結果などを総合的に判断し、評価します。

教科書

『英語で学ぶやさしい経済』（金星堂）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	や しま なお こ 矢 島 直子	経営A1年	2

講義のねらい

時事的な内容の英語に慣れることを目標にします。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書を読み、ただ意味を知るだけでなく、内容・構成を把握する練習をします。

履修上の留意点

授業中、学生にどんどんあててやってもらいますから、予習をしてくること。初回から教科書を持ってくること。

成績評価の方法

平常点を考慮に入れ、前期末・後期末試験とともに総合的に評価します。

教科書

竹前文夫（注釈者）『As I See It: ST Opinions（あなたの意見、私の見方）』（南雲堂）1,800円 ISBN4-523-17358-3

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	まつ どう ひろ こ 松 堂 啓子	経営A1年	2

講義のねらい

入学時の英語力を土台として大意把握と構文の正確な理解を中心に長文の読解を行なう。

履修上の留意点

要予習。

成績評価の方法

日常の発表及び演習を重視し、試験の結果等を含めて総合的に評価する。

教科書

『Emergency!（救命救急センター24時）』（マクミラン・ランゲージハウス）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔基礎英語特別クラス〕	た な 中 なもつ 田 中 保	経営A1年	2

講義のねらい

入学時の文法力を利用して、基礎から徐々に高度な構文の理解と文章の段落・大意を把握する力を培う。

講義の内容・
授業スケジュール

授業はテキストにそって進めますが、発表形式によって行います。

履修上の留意点

必ずテキスト・辞書（英和辞典）を持参して授業に臨むこと。

成績評価の方法

出席・発表を重視し、前期後期の試験等を総合的に検討して評価します。

教 科 書

『基本英語表現法』（成美堂）1,680円 ISBN4-7919-4907-2

英語 I C (会話)

〈英語 I C の授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。ネイティブスピーカーの英語が聞きとれて、基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英会話の授業です。達成目標の目安は英検2級合格、TOEFL®のスコアー450点、TOEIC®のスコアー500点程度。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I C (会話)	ノーラン, D. J.	経営 A 1 年	2

講義の内容・授業スケジュール

英会話を中心とし、ともに聴解力を育てるコースである。各レッスンのゴールを明確にし、学生同士、または個人で使用できる教材をもとにし、日常生活において英会話能力を高めようとする。自己紹介、情報交換、意志表示、好き嫌いを表現すること、またその他の身近な課題などが含まれている。

授業年間計画：1回の授業で教科書一章の予定。

履修上の留意点

原則的に遅刻は認めない。学生は、自分自身の教科書、英和・和英辞書、筆記具を持参すること。受講する学生は期日までに各自の写真(2×3cm、スナップ可)を提出すること。

成績評価の方法

出席(評価の30%、但し、通年五回以上欠席の学生には単位を与えない)、授業参加(30%)、期末試験(面接方式、40%)。

教科書

John Soars/Liz Soars *New Headay English Course : Elementary Student Book* (Oxford)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I C (会話)	ハバード, W. D.	経営 A 1 年	2

講義のねらい

Students are expected to increase their English listening ability through interaction with the teacher and to acquire a basic ability to express themselves in day to day conversations.

講義の内容・授業スケジュール

- ・ Personalized tasks to help students develop real-life communicative skills
- ・ built-in task-planning time to improve fluency and accuracy
- ・ exercises that consistently highlight and recycle lexis to help students build a bigger active vocabulary
- ・ imaginative activities based around songs, book extracts and magazine articles to maximize motivation
- ・ a discovery approach to grammar that enables students to deepen their understanding of language use

履修上の留意点

This is an introductory course for students who are not used to conversing in English.

成績評価の方法

Final grade will be based on attendance, class work, and test results.

教科書

Peter Maggs, Sue Kay, Vaughn Jones and Philip Kerr *Inside English Low Intermediate* (Macmillan LanguageHouse)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 IC (会話)	ロンゴ, T.	経営A1年	2

講義のねらい

The students will work on improving their communicative and listening skills.

履修上の留意点

4 absences in one semester is poor attendance. Come to every class and your English will improve!

成績評価の方法

Regular attendance and participation is expected of each student.

教科書

The textbook will be assigned at the first class meeting.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 IC (会話)	ヘラー, P. S.	経営A1年	2

講義のねらい

ペアワーク、グループワークを通し、リスニング力、会話力を上げます。

講義の内容・授業スケジュール

教材のサンプルカンパセションを聞き、理解し、会話練習で使いこなす練習をする。

履修上の留意点

教室内では英語で話すこと。

成績評価の方法

出席率、授業中のクイズ、前期、後期のテスト、スピーキングテスト、授業に参加しているか等を総合して評価します。

教科書

【LET'S TALK 1】 ISBN0-521-77695-3

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 IC (会話)	ロビン, G. F.	経営A1年	2

講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities and will be graded

成績評価の方法

According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test which will be given at the end of each term.

教科書

- ① Warren Wilson, Roger Bernaro *FIFTY-FIFTY: Student book 1* (Longmans) ISBN0-13-9200-2
- ② Dale Fuller/Timothy Kiggell *iTALK Everyday topics for communication* (Macmillan Languagehouse)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I C (会 話)	ラッセル, S. J.	経営 A 1 年	2

外
国
語

講義のねらい

English Conversation I C is for students who really want to improve their listening and speaking ability in English.

講義の内容・
授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教 科 書

Fifty - Fifty Book 1 ISBN0 - 13 - 920000 - 2 (Published by Longman)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I C (会話)	ピアス, D. M.	経営A 1年	2

講義のねらい

Please join this class together with your friends, or make new friends in class! During most of the class period you will be talking to each other in groups. You will not be learning any more English; all you have to do is to start using what you already know. By the end of the course you should be able to speak enough English to travel in foreign countries, talk with foreigners, and communicate about all the usual things in everyday life. Our textbook will guide you through everything. You will learn all the conversation patterns for everyday situations such as buying things, getting information, making reservations. The course also aims at helping you to find good employment in the future, and so we will concentrate on TOEFL®, EIKEN, AND TOEIC®. There will also be a lot of intensive practice in English composition, which you can practice together in groups. It's a lot of fun!

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter - grade less than what the student would otherwise have received.

Apart from the two final - semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have come together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade is the quality of the employment that you can find after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for a job; you will be able to get better employment if you improve your English this year. This is an extremely important point; you are taking a high - quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A" because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

We will probably use *American Sociology*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English - Japanese dictionary or a battery - powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I C (会話)	ササキ, M.	経営 A 1 年	2

講義のねらい

Do you like to travel? Then please join my class. We will study English conversation for a specific purpose: TRAVEL. Through watching video, you will experience how to use airport transportation, check into a hotel, and ask for directions, etc. You will be graded on assignments, interview tests and pop-quizzes.

成績評価の方法

You must attend at least 2/3 of the classes in which attendance is taken in order to pass.

教科書

Text: "Viva! San Francisco".

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I C (会話)	レイン, R. V.	経営 A 1 年	2

講義のねらい

This course will help the student to : 1]use conversational English language patterns and idioms with increased confidence, and 2]improve their presentation - skills.

講義の内容・授業スケジュール

The first half of the class is devoted to textbook speaking activities[done in pairs]to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to students giving presentations in both small groups and in front of the class. Students are expected to participate actively in class and practice the activities at home.

履修上の留意点

Students should be aware that attendance is important. If the student is absent for 1/3 of the scheduled classes[approximately eight times], the student will fail the class.

成績評価の方法

Students will be tested orally on the textbook activities twice a month and will be given a grade for both group and class presentations.

教科書

author : Steven Molinsky and Bill Bliss
 title : *Side by Side, 3rd Edition, LEVEL 3*
 publisher : Pearson Education
 date : 2001

英 語 Ⅱ A

〈英語ⅡAの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 Ⅱ A	江 田 幸 子	経 営 A 2 年	2

講義のねらい

このクラスでは、読む、聞く、書く、の三要素を重点的に学習します。今日的なトピックを扱った簡潔な英語文を多様な分野に渡って読みます。そこで使われている基礎的な英語構文を使えるようにします。英語文は英文を書くためのお手本として読みますのでテキスト中の使用頻度の高い単語句は徹底的にマークして覚えます。そしてそれ等の構文、単語句を用いて短い英文を書く練習を行います。

準備としてはまず各章の英語文を日本語に訳したノートを各自作ります。その日本語から原文の英語が書けるようにします。その上で重要な構文や表現方法を用いて応用英作文を実践します。

成績評価の方法

一年間を通して最低5回テストを行い、平均点60点以上に欠席回数5回迄を以って合格点とします。欠席が5回以上になった人は、試験の平均点が70点以上を以って合格とします。欠席が5回以上の人は英語の実力で評価します。

教 科 書

Hidehiko Konaka 著 *Easy Everyday English Through Sentence Patterns* (南雲堂) 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 Ⅱ A	長 谷 川 公 一	経 営 A 2 年	2

講義のねらい

作文上達の確実な方法は、短文(といっても基本的文型のもの)を暗記しておくことだと思う。超ロングセラーとして首都圏の多くの大学教師から認知されているこのテキストは、日常生活で使用する短文を覚えることによって、英作文能力と英会話能力の双方の向上を目指している。学生諸君も、この点を理解して、テキストと取組んで欲しい。

成績評価の方法

出席率プラス前後期2回のテストによって採点する。

教 科 書

『ホームステイ・イングリッシュ』(英潮社) 820円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	佐藤 勝	経営A2年	2

講義のねらい

インターネット時代を迎えた現在の日本では英作文力は実用英語の面で非常に重要と言えます。基本英文法を踏まえた正確な英作文力の充実を図ります。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の進度は原則1回で1課とします。

履修上の留意点

予習をして下さい。辞書を持参下さい。年度初回の授業ガイダンスで本授業の詳細を述べます。

成績評価の方法

平常点（出席状況・授業態度等）＋レポート＋定期試験。

教科書

Murata, Otani *“English Composition Workbook”* (Macmillan Languagehouse)
1,800円＋税 ISBN4-89585-460-4

参考書等

推薦辞書『ジーニアス英和辞典』『ジーニアス和英辞典』（大修館書店）、『プログレッシブ英和辞典』『プログレッシブ和英辞典』（小学館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	川崎 笑佳	経営A2年	2

講義のねらい

1年次の Writing 能力を基礎として、更に高度な意志伝達能力を身につける。単文の英作文からステップアップし、自由作文を書けるようになることを最終目標とする。

履修上の留意点

毎回授業中に英作文を書いてもらうので、辞書持参が望ましい。

成績評価の方法

3分の2以上の出席および英作文、発表、授業態度、テストの結果をもとに総合的に評価する。

教科書

Skills for Better Writing 〈構造で書く英文エッセイ〉（南雲堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	高柳 文江	経営A2年	2

講義のねらい

自分の思っている事を英語でいかに適切に表すのか、Writing、及び、Speaking の両面から表現できる事をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の中の演習問題、会話を中心に皆さんが度々出くわす様々な状況でどのように英語で表現していくかを学びます。Writing 能力だけでなく Speaking 能力も重視され、毎時間 Speaking による発表が課されます。

履修上の留意点

授業の内容上、予習は必ず必要です。2/3以上の出席が課されます。座席指定。

成績評価の方法

試験（前期試験・後期試験）60%、日常点（出席、小テスト、提出物、授業への取り組み方等）40%。

教科書

『*Lively Writing: English Composition Through Dialogues*』（南雲堂）1,800円
ISBN4-523-17388-5 C0082

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	つかもととしお 塚本利男	経営A2年	2

講義のねらい

絶えず文法・語彙力などの知識の増強を図りながら、英語で自分の考えや意見を表現できるように文章構成法を学び、習得することを目標にします。

講義の内容・
授業スケジュール

各課の本文を読み、1. 英語の文章構成法を学ぶ、2. その英文を踏まえて読解と英作文を統合して演習する。以上の段階を踏みながら1回の授業の総仕上げとして、授業の最後に、100語～200語程度で自分の考えや意見を短文にまとめて、提出する。

履修上の留意点

授業の予習をして下さい。

成績評価の方法

授業における発表・小テストと前・後期の定期試験に基づく。特に平常授業を重視しますので、全授業の3分の2以上は、必ず出席して下さい。

教 科 書

『発信するパラグラフ・ライティング』（桐原書店）1,500円＋税 ISBN4-342-77460-7C9082

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	にしほらかつまさ 西原克政	経営A2年	2

講義のねらい

日本の近代詩の英訳の一例を参考にしながら、翻訳という文化の移植が抱えているさまざまな言葉の問題点を考察していくつもりである。比較文化と比較文学の視点を導入して広い視野に立って眺めたいと考えている。

成績評価の方法

出席が授業回数の3分の2以上であること。日常のプレゼンテーションをその都度評価する。前期・後期試験は行わない。

教 科 書

Yamamoto Kenkichi *The Singing Heart* (Katydid Books) 2001

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	てしまけいこ 手島敬子	経営A2年	2

講義のねらい

本科目は単語から単語への置き換え、単文から単文への置き換えに陥りがちな「英作文」から一歩進み、実際に日常生活の中で活用できる「ライティング」力を習得することを目指します。

履修上の留意点

随時課題の提出が義務づけられます。教室以外でも積極的に学習に取り組まなければなりません。和英辞典を必ず持参。

成績評価の方法

中間・定期試験、課題、出席状況、授業への参加度などにに基づき総合的に行います。

教 科 書

English Composition Workbook 『基本文法からはじめる発信型英作文』
(マクミラン ランゲージハウス) 1,800円
ISBN4-89585-460-4

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	三幣友行	経営A2年	2

講義のねらい

英語ⅠAで学んだ英語を基礎として、英語による意志伝達能力のさらなる向上を目指す。

履修上の留意点

予習を前提として授業を進める。

成績評価の方法

出席、発表、授業態度などの平常点と定期試験を総合的に評価する。出席が全授業の2/3に満たない場合は単位を認めない。

教科書

未定。

外国語

英語ⅡC（会話）

＜英語ⅡCの授業内容と履修上の留意点＞

I Cのレベルを修得またはそれに相当する力を持っていることを前提とした英会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFL®のスコアー480点、TOEIC®のスコアー700点程度。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡC（会話）	ササキ, M.	経営A2年	2

講義のねらい

Would you like to study abroad? Then please join my class. We will study English conversation for a specific purpose: STUDYING ABROAD and HOMESTAY. You will experience what it is like to have a home stay and study at a university in America. You will be graded on assignments, interview tests and pop-quizzes.

成績評価の方法

You must attend at least 2/3 of the classes in which attendance was taken in order to pass.

教科書

Viva! San Francisco

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡC（会話）	ラッセル, S. J.	経営A2年	2

講義のねらい

English Conversation II C is for students who really want to improve their listening and speaking ability in English.

講義の内容・授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required. We will also use a range of audio and video materials to prompt class discussion.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a good dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書

I Talk (Published by Macmillan Language House)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡC(会話)	レイン, R.V.	経営A2年	2

講義のねらい

This course will help students to : 1]use conversational English language patterns and idioms with increased confidence, and 2]improve their presentation - giving skills.

講義の内容・授業スケジュール

The first half of the class is devoted to textbook speaking activities[done in pairs]to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to students giving presentations in both small groups and in front of the class. Students are expected to participate actively in class and practice the activities at home.

履修上の留意点

Students should be aware that attendance is important. If the student is absent for 1/3 of the scheduled classes[approximately eight times], the student will fail the class.

成績評価の方法

Students will be tested orally on the textbook activities twice a month and will be given a grade for both group and class presentations.

教科書

Steven Molinsky and Bill Bliss *Side by Side, 3rd Edition, LEVEL 4* (Pearson Education) 2001

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡC(会話)	ロビン, G.F.	経営A2年	2

講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills acquired from the first year. A text book will be used but will be heavily supplemented with additional materials. according to the students abilities. Some reading materials will be used to enhance vocabulary for the purpose of conversation as in the freshman course, pair and group activities will be the focus of the course.

成績評価の方法

There will be a midterm and final oral test. Grading will depend upon classroom participation, homework assignments and performane on the oral exams.

教科書

David Peaty "ALL TALK Book 1" "ALL TALK Book 2" (Macmillan Languagehouse)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡC(会話)	ノーラン, D.J.	経営A2年	2

講義の内容・授業スケジュール

英会話を中心とし、ともに聴解力を育てるコースでもある。各レッスンのゴールを明確にし、学生同士、または個人で使用できる教材をもとにし、日常生活において英会話能力を高めようとする。自己紹介、情報交換、意思表示、好き嫌いを表現すること、またその他の身近な課題などが含まれている。

授業年間計画：1回の授業で教科書1章の予定。

履修上の留意点

原則的に遅刻は認めない。学生は自分自身の教科書、英和・和英辞書、筆記具を持参すること。受講する学生は期日までに各自の写真(2×3cm、スナップ可)を提出すること。

成績評価の方法

出席(評価の30%、ただし、通年五回以上欠席の学生には単位を与えない)、授業参加(30%)、期末試験(面接方式、40%)。

教科書

John Soars / Liz Soars *New Headway English Course Pre - intermediate Student's Book* (Oxford)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II C	ハバード, W.D.	経営A 2年	2

講義のねらい

Students are expected to increase their English listening ability through interaction with the teacher and to improve their conversation skills to express topics of their own interest.

講義の内容・
授業スケジュール

- ・ Personalized tasks to help students develop real-life communicative skills
- ・ built-in task-planning time to improve fluency and accuracy
- ・ exercises that consistently highlight and recycle lexis to help students build a bigger active vocabulary
- ・ imaginative activities based around songs, book extracts and magazine articles to maximize motivation
- ・ a discovery approach to grammar that enables students to deepen their understanding of language use

外国語

履修上の留意点

Students taking this course are expected to have passed conversation I in the previous year

成績評価の方法

Final grade will be based on attendance, class work, and test results

教科書

Peter Maggs, Sue Kay, Vaughn Jones and Philip Kerr *Inside English Intermediate* (Macmillan Language House)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II C (会話)	ロンゴ, T.	経営A 2年	2

講義のねらい

The students will work on improving their communicative and listening skills.

履修上の留意点

4 absences in one semester is poor attendance.
Come to every class and your English will improve!

成績評価の方法

Regular attendance and participation is expected of each student.

教科書

The textbook will be assigned at the first class meeting.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II C (会話)	ヘラー, P.S.	経営A 2年	2

講義のねらい

ペアーワーク、グループワークを通し、リスニング力、会話力を上げます。

講義の内容・
授業スケジュール

教材のサンプルカンバセーションを聞き、理解し、会話練習で使いこなしていく。

履修上の留意点

教室内では英語で話すこと。

成績評価の方法

出席率、授業中のクイズ、前期、後期のテスト、スピーキングテスト、授業に参加しているか等を総合して評価します。

教科書

HIGH IMPACT
ISBN962-00-1357-3

英 語 Ⅲ A

〈英語ⅢAの授業内容と履修上の留意点〉

ⅡAを基礎として高度な英語の運用能力を身につける。(例：時事社会科学系のテキストを使用する。)

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 Ⅲ A	おぶせ けさぞう 小布施 圭佐三	経営A3年	2

講義のねらい

この授業の目的は、英文和訳や訳読ではなく、読むためのスキルとして、語彙力、内容予測力、大意把握などを養うことで、英語による内容理解力を高めることにあります。

講義の内容・
授業スケジュール

《前期》
Chapter1(Open All Hours)～Chapter11(What Is Psychology?)
《後期》
Chapter12(The Appeal of Shakespeare)
～Chapter22(Japanese Search for Identity in Names)

履修上の留意点

授業形態は演習形式で行います。

成績評価の方法

出席点/授業の貢献度/平常点/レポート/定期試験(前・後期)などを加味して総合評価します。

教 科 書

土屋武久/花光理香/B. Benfield: *Read UP—22 Steps to Strategic Reading* (成美堂) 1,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 Ⅲ A	さとう こういち 佐藤 孝一	経営A3年	2

講義のねらい

授業では、基本的に英文を正しく読めて、正しく理解できたかをチェックしていきます。授業中に英語を学習していくのは困難であると思います。予習・復習を通して段々に英語力を高めていく意欲や動機付けを自覚し、実行してもらいたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストはアメリカの文化や社会など多種多様な内容を学んでいきます。異文化理解に関してアメリカの文化が学生に身近に感じられると思っています。全体で100章ありますので、毎時間5章を消化するのをノルマにします。発表者は事前に内容をテープに吹き込んできて下さい。希望者には、テキストのテープをコピーします。授業以外でも自主的にテープを用いた学習を強く望みます。リーディングの他に、リスニング能力の向上を計り TOEIC®教材を用いる予定です。毎時間5人に発表をしてもらいますが、事前に割り振りします。

成績評価の方法

基本的に前期・後期の試験と発表点、レポート等で総合的に評価します。出席点はありません。

教 科 書

授業で指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅢA	甲斐捷子	経営A3年	2

講義の内容・授業スケジュール

テキストはABC放送のアメリカ国内向けニュース番組、“World News Tonight”です。この多岐にわたる報道内容をビデオで学び、英語の運用能力を高めることを目的とします。毎回の授業は、「聞き」、「話し」、「読み」、「書く」、徹底的な総合演習です。全15課を前後期で終了する予定です。

履修上の留意点

一単元終るときに小テストを必ず行います。これはA4判2頁にわたる詳細な復習のためのテストで、本試験と同じような傾向のもので、このテストで70%以上得点できるように、復習に重点をおいて勉強して下さい。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。総合点が基準に達しなかった場合、欠席が三分の一を超えた場合、および前後期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから、特に欠席をしないよう、十分注意して下さい。

教科書

山根繁/Kathleen Yamane 著 *ABC World News 6* (金星堂) 1,950円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅢA	ひろかわおさむ治	経営A3年	2

講義のねらい

映画のシナリオをテキストに用い、会話表現等を修得することを目的とする。

履修上の留意点

遅刻、居眠等は欠席扱いとするなど、授業態度は厳しくチェックする。

成績評価の方法

平常点と前後期試験で評価。

教科書

プリント配布の予定 (必要に応じて購入を指示)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅢA	やまぐちあきら晃	経営A3年	2

講義のねらい

英語の学習を通して、今年度は環境の問題を考え、表現する方法を身に付ける。ⅢAである事を考え、とりわけこうした問題での表現方法に重点をおきたい。

講義の内容・授業スケジュール

毎回英文のプリントを配布する。それを使って具体的な表現を徹底してマスターする。

履修上の留意点

辞書は毎回必ず持ってくる事。
遅刻は、他の学生の学習を妨げるので、遅れないように注意する事。

成績評価の方法

前期、後期それぞれにレポート提出とテスト。それに平常点を加えて評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅢA	伊藤美代子	経営A3年	2

講義のねらい	I A、II A からさらに進んで高度な英語の運用能力をめざす。実際の経済ニュース記事を学ぶことにより、実社会の経済動向の理解も深めることも目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	原則として和訳は行わず、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用するが、構文等の説明は日本語で行う。本文を理解した後、和文英訳により英語力を強化する。また、内容についての英語による質疑応答、さらにヒヤリングの訓練も行う。
履修上の留意点	予習が絶対条件である。また、半期に4回以上欠席したものには、単位を与えない。また、遅刻2回で欠席1回と数える。
成績評価の方法	各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、小テスト、平常点と提出物により計算する。
教科書	Dave Hara, Yoko Okayama, Hayley Davies『経済ニュースを読む(国内編)』『経済ニュースを読む(国際編)』(南雲堂)1,600円(国内編)、1,500円(国際編)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅢA	萩原輝	経営A3年	2

講義のねらい	英字新聞を読むことで、英語の運用能力を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	毎回、新しい新聞記事を1つ読む。
履修上の留意点	英和辞典(大学生としてふさわしいレベルのもの)を必ず持参することを条件とする。
成績評価の方法	3分の2以上の出席、授業態度、試験の結果、等の総合評価。
教科書	岩政伸治著『Different Voices (日本と世界の情勢を知る12の記事——リーディングとリスニング)』(金星堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅢA	おちあいかずあき 落合和昭	経営A3年	2

講義のねらい

このクラスは様々なオフィスで話される典型的な会話を、ヒアリングを通して学び、さらに、経済・貿易・商業に関する読み物を読む。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、主として、ビジネスに関する会話表現と経済・貿易・商業に関するリーディングからなる。講義は、通常、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は、リーディングによって、正確な意味をとる。第三段階は、リーディングの内容に関する練習問題等をする。第四段階は、発音練習である（一人の場合と、対話形式の場合がある）。

履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の積極的な参加を前提に進める。

成績評価の方法

前期試験は20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等は60%（課題は年間約10回前後提出。授業中の発表等に関しては、全員が一回の授業に最低一回は当たるように心がける）。出席率は3分の2を越えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

『20 オフィス・ダイアログス』（鷹書房弓プレス）1,000円 ISBN4-8034-1133-6
『ライフスタイルとニュービジネス』（成美堂）1,600円 ISBN4-7919-4049-0 C1082
プリント

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅢA	いとうこういち 伊藤幸一	経営A3年	2

講義のねらい

使用テキストの日本語タイトルと副題通りの「躍進する日本のベンチャー企業-新たなビジネスを築き上げた起業家のサクセス・ストーリー」を、その「まえがき」通りの「さわめて歯切れの良い明解な文体で」学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、着席順に当てるので予習して出席されたい。また、復習の為に3回（5月末、夏休み、大学祭後）宿題レポートを課し、「まとめ」として最終授業時にテストの予定。

成績評価の方法

以上の3点、予習・復習・まとめの成果による。詳細は最初の授業時に説明する。

教科書

Top Entrepreneurs and the Road to Success (マクミラン ランゲージハウス)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅢA	よしえまさお 吉江正雄	経営A3年	2

講義のねらい

英文を正しく読み、発音し、その上で英文を正しく理解することを目標とする。しかし、そこには当然、構文の理解、文法的な正しい解釈も伴われなければならない。これらのことを総合的に学びながら、文明の黎明期、言語の発達段階等についても学ぶことになる。

講義の内容・授業スケジュール

一講時に進む範囲は大体決まってくるので、その範囲の読みと、解釈を中心に掘え、後に文法・構文の説明を加える。小説家による美しい文章に触れ、美しい英文の書き方に繋がたい。

履修上の留意点

大体決まってくる一講時に進む範囲の予習をしてくることを望む。

成績評価の方法

前・後期の試験の平均点をベースに、授業参加の積極度、発表回数等を鑑みて評価を出す。ただし、授業総数の三分之一を越える欠席のある学生の評価は出ないから注意すること。

教科書

"A Short History of the World" (こびあん書房)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 III A	<small>たか</small> 高 <small>はし</small> 橋 <small>ひろし</small> 寛	経営A3年	2

講義のねらい

英語を通じたコミュニケーションの力をつけるために、リスニングと英作文の練習を中心に行います。

成績評価の方法

出席点と定期試験の結果を総合して出します。なお出席数が全講義数の2/3に満たない場合は不合格とします。

教科書

Everyday Talk (朝日出版)

外国語

〔ドイツ語〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I A	栗原 万修 <small>くり はら かず のぶ</small>	経営A1年	2

講義のねらい

ドイツ語履修では、IAは文法です。このクラスではドイツ語初級文法を学びますが、できるだけ丁寧に、わかりやすく説明します。ただし、初習の外国語は継続して勉強しないと習得できませんから休まないように。

成績評価の方法

成績評価は、平常の小テストや宿題を中心に、学習意欲なども含め総合的に判断します。

教科書

大岩信太郎『英語対照新ドイツ文法14時間』（三修社）2,000円

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I A	野島 利彰 <small>の しま とし あき</small>	経営A1年	2

講義のねらい

ドイツ語は言葉の組み立てがとてもしっかりした言語です。それを理解するには文法から入るのが近道です。ヨーロッパの言語は親戚同士なので、ドイツ語の文法を知ることはヨーロッパの他の言語を理解する上にも役に立ちます。

講義の内容・授業スケジュール

原則として1日1課進みます。授業は練習問題から始め、残った時間で次の課の説明をします。動詞変化に慣れるため発音練習には動詞の変化表を使います。

履修上の留意点

練習問題を予習して授業に出席してください。ドイツ語作文問題は宿題とします。毎回授業時に提出してください。

成績評価の方法

練習問題をやってきているか否かがまず成績評価の大きな基準になります。そして夏と冬の定期試験の成績、臨時の小テストの成績を総合して評価します。

教科書

馬上・里村著『ドイツ語へのアプローチ』（郁文堂）2,500円

参考書等

ドイツ語の辞書は最初は引きにくいのですが、すぐに慣れます。二年度でもドイツ語を履修する人、将来大学院まで進む人は簡単な辞書を買わず、しっかりした辞書を購入してください。

その他

語学はまず量の問題です。ラジオやテレビのドイツ語講座も活用してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A	い がらし のぶ 五十嵐 信子	経営A1年	2

講義のねらい 1年間でドイツ語の基礎的な力をつけることを目指します。発音からはじまり、動詞、冠詞、名詞、形容詞、前置詞…とすすんで一通りの文法を学び、1年の最後には、辞書を引きながらやさしいドイツ語の文章を読むことができるようになるでしょう。ドイツ語を身につけることは、ドイツ語圏への鍵を手に入れることになるのです。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) ドイツ人の発音のテープを聞き、それを声に出して発音することで、ドイツ語を聞き取り、また正しく発音することを学びます。
- 2) ドイツ語の文法をしっかりと理解し、くりかえし練習して身につけます。
- 3) 同時に良いドイツ語の例文に多く触れて、楽しくそのルールを感得します。
- 4) やさしいドイツ語会話を学びます。

履修上の留意点 新しい言葉を学ぶことは、本来楽しいことです。それは新しい世界への発見の旅だからです。しかし言語はどの部分も不可欠な建造物のようなものです。それゆえこの時間は、休まず出席して下さい。

成績評価の方法 年2回の試験および時間内の小テストを行ない、これに出席、授業への参加態度などを加味して評価します。

教科書 橋本政義・橋本淑恵著『楽しく身につくドイツ文法』(白水社) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B	くり ほら かず のぶ 栗原 万修	経営A1年	2

講義のねらい ドイツ語履修ではI Bは講読となっていますが、このクラスでは初級の実用的な会話を中心に授業をすすめます。ただし、初習の外国語は継続してやらないと習得できませんから、授業は休まず出席して下さい。欠席がつづくとな名前を名簿から抹消します。

成績評価の方法 定期試験は行なわず、平常の小テストを中心に、授業中の学習意欲等を含め総合的に判断します。

教科書 テキストは特定せず、手作りの教材をその都度教場で配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B	おか もと ととき こ 岡本 時子	経営A1年	2

講義のねらい 初心者を対象に、ドイツ語が使えるようになるための基礎的学力、知識の養成を目指し、併せてドイツ語圏の文化、社会、歴史等についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール 前期はドイツ語の発音・文法の基礎を中心に簡単な挨拶や文が言えるようにする。後期は辞書を引ながら平易なドイツ語の文章を読めるようにし、口頭では複文や重文が組み立てられるようにする。

履修上の留意点 受身に「教わる」授業ではなく、積極的に自分から「学び、考える」授業にしたい。

成績評価の方法 期末筆記試験・授業への出席・参加等を総合して評価する。

教科書 教科書については開講時に指定します。

参考書等 参考書・辞書等については第一回目の授業で説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I B	すぎもとまさとし 杉本正俊	経営A1年	2

講義のねらい

ヨーロッパ文化の重要な一翼を担い、現代日本とも深い関係を持つドイツ語圏の言語、ドイツ語を、発音、文法、語彙、文など、様々な角度から学び、ドイツ語への入門を果たしてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に従った授業を行う。

履修上の留意点

初めのうちは特に、予習は必要でないが、授業中は、教師の話に耳を傾け、しっかり学んで頂きたい。

成績評価の方法

前後2回の期末テストも無論重要だが、授業にきちんと参加する事を重視します。当てられた問いには、必ずよく考えて答えて下さい。その際、正しい答えをしたかどうか、より、自分なりに考えて答えを出せたかどうか、という点をより重視します。

教科書

大岩信太郎『覚えるドイツ語』(同学社) 1,900円
ISBN-4-8102-0937-7

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I C (会話)	まつおかすすむ 松岡晋	経営A1年	2

講義のねらい

初級ドイツ語会話の授業です。ドイツ語の発音規則の説明・練習から始め、基本的パターンの学習を積み重ねて、一年後には自分に関する事柄をドイツ語で述べるできるようになり、日常的によくある状況にもドイツ語で対応できるようになれば、と考えております。

講義の内容・授業スケジュール

授業は下に掲げられる教科書に基づいて行われます。口頭練習のほか、カセットテープを用いてのヒアリング訓練も行う予定でおります。

履修上の留意点

会話のクラスですので、毎回出席して口頭練習することが出発点となります。是非とも定期的に出席するように！

成績評価の方法

成績評価は、学期末その他に行われる口頭試験および平常点(定期的に出席して、口頭練習に積極的に参加しているかどうか等々)によって行います。

教科書

入谷幸江ほか著『ドイツ語コミュニケーション』(三修社) 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 II A	しばのひろこ 柴野博子	経営A2年	2

講義の内容・授業スケジュール

この授業は、初級文法で習った事柄を復習しながら、ある程度まとまった、やさしい文章を読んでゆきます。
また、時々ビデオを使って、バイエルンの美しい町と芸術を紹介します。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強には、一步一步積み重ねてゆくことが非常に大切です。できるだけ休まずに出席して下さい。

成績評価の方法

試験は年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

教科書

黒崎 勇『バイエルンの町と芸術』(朝日出版社) 1,942円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 Ⅱ C (会 話)	野 島 利 彰 <small>の じま とし あき</small>	経 営 A 2 年	2

講義のねらい

ドイツ語の文に慣れ、音に慣れ、今度はそれを使ってドイツ語で自己表現ができるよう練習します。

講義の内容・
授業スケジュール

口頭練習が授業の中心です。

履修上の留意点

CD付きの教科書を使いますので自宅でそれをよく聞いてください。

成績評価の方法

随時行うヒアリングテストと、年2回期末に行う面接試験で成績を評価します。

教 科 書

高田・中村・湯浅・阿部著『とっっても欲ばりなドイツ語教科書』（郁文堂）2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 Ⅲ A	百 濟 勇 <small>もも ずみ いさむ</small>	経 営 A 3 年	2

講義のねらい

自分が客員研究員をしている「ベルリン・ドイツ経済研究所」(DIW)のドイツ人の経済専攻院生は勿論のこと、フランス、ロシアなどの学生・院生は、明白な問題意識をもって勉強をしていると同時に、それに必要な外国語学修得が前提となっていることだ。そうした学習方法を学ぶ必要がある。

講義の内容・
授業スケジュール

受講生は経営学部の3年、4年である。それ故に諸君が、ヨーロッパ経済を学習対象とする場合には、ドイツ語の履修が不可欠だ。その修得には、まず徹底して声をだして読むことだ。経営学部の学生を対象としている授業故に、ドイツの新聞の経済記事なども、テキストとして使用する。

履修上の留意点

ドイツ人が英国訪問をした際の「ドイツ人の為の英語会話」をテキストを使うので、毎回の授業出席が前提になる。そしてこうした学習方法は、結果として英会話も力がつくだろう。熱心な学生の受講を希望する。

成績評価の方法

前期、後期の定期試験は行わないが、毎時間、一人一人数回当てるの徹底した口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教 科 書

日本で作成した教科書は使わず、その都度、既に指摘したプリントを配布する。その際に初年度で使用したドイツ辞書、ドイツ語教科書を持参すること。

[フランス語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A	井田 清子 <small>い だ きよ こ</small>	経営A1年	2

講義のねらい

フランス語をはじめて学ぶ学生のための文法中心の授業です。文章を理解するための基本的な文法事項(動詞、名詞、冠詞、形容詞の用法など)を一年間で習得し、生きたフランス語を、無理なく学び、使えるようにするのが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

文法と共に、実際に使われている基本的な表現に慣れるように、平易な例文を選び、フランス語が身につくようにわかりやすく構成されたテキストです。こうして獲得した文法知識を、例文の中で実際に応用しながら、各種の文章も理解できるようにしましょう。

履修上の留意点

辞書をひく手間を惜しまず、自分で面白さを味わってください。

成績評価の方法

前期・後期の試験を中心に、通常点も加味します。

教科書

山田他著『初級フランス文法案内(改訂版)』(第三書房) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A	小玉 齋夫 <small>こ だま なり お</small>	経営A1年	2

講義のねらい

初歩のフランス語文法の授業として、基本的な文のしくみを、なるべく多くの例文を読みとおすことによって理解していきたいと思います。一年次の目標は、自分で辞書をひいて、音読を試みながら読解していくことですが、そのためには、覚えている単語、表現の数が多く、聞き取りの場面でも有利になるはずですが、つとめて、記憶機能と、記憶を呼び起こす機能を鍛えるようにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な表現を重視して、各課の課題をこなしていきたいと思っています。一回の授業で、一課あるいはそれ以上、進んで行く予定です。

履修上の留意点

上のようなことも考慮すれば、特別な場合を除いて、授業には毎回出席し、そのつど、覚えるべきことを確認していくようにしてください。

成績評価の方法

随時行う小テスト、それに、前・後期の試験によって、成績評価をします。出席は、毎回、出ることが原則です。

教科書

川辺 著 『アミ・アミ』(第三書房) 2,100円
ISBN4-8086-2090-1 C1085

参考書等

辞書等については、最初の授業時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A	<small>とお やま ひろ お</small> 遠 山 博 雄	経営A1年	2

講義のねらい

基礎的な文法事項をきちんと身につけること。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめに詳しい説明をし、その後で練習問題をやります。単純な事項から複雑な事項に順を追って進んでいきます。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、自分で問題に取り組む姿勢が必要です。遅刻をして説明を聞きもらさないこと。

成績評価の方法

3回の筆記試験を行いません。

教科書

天羽均他著『初級フランス語文法（改訂2004年度版）』（朝日出版社）2,200円

参考書等

最初の授業で仏和辞典のガイダンスをします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I B	<small>たけ だ まさ ずみ</small> 竹 田 正 純	経営A1年	2

講義のねらい

フランス語の音を大切にしながら、基礎的な文法項目の修得を目指したい。

講義の内容・
授業スケジュール

初歩的な読む・書く・話すができるよう反復練習を中心に授業をすすめていく。

履修上の留意点

度々小テストをおこなうので授業を休まないこと。

成績評価の方法

前後期2度の試験と、上記小テストの結果で評価する。

教科書

藤田裕二『彼女は食いしん坊！』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I B	<small>はま さき せつ お</small> 浜 崎 設 夫	経営A1年	2

講義のねらい

文法読本の教科書を使い、文法を復習しつつ初級の文章を読解できるようにする。またフランス文化に対する関心を強めてもらう。

講義の内容・
授業スケジュール

発音の練習から始めて、約25回の授業で、最終段階の接続法まで進みたい。1課ごとにまず文法を説明し、文章の和訳と練習問題を宿題にする。レポートを2度出してもらう。

履修上の留意点

なるべく遅刻欠席をしないこと。必ず復習すること（予習は必要なし）。ノートを用意すること。毎回辞書を持って来ること。辞書は最初の授業で紹介する。

成績評価の方法

出席回数、宿題をやって来た回数、前後期の試験の成績、レポートの内容等に基づいて評価する。

教科書

山下『カイエ・ド・フランス』（駿河台出版）

参考書等

前もって買う必要はない。授業中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I B	くわ た のり あき 桑 田 禮 彰	経営A1年	2

講義のねらい

フランス語の基礎の習得。

講義の内容・授業スケジュール

まず発音の基本をしっかりと確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。

履修上の留意点

発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

北山研二他『パリ・セズイエム』（駿河台出版社）2,500円

参考書等

そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I C (会話)	ま とう くみこ 佐 藤 久美子	経営A1年	2

講義のねらい

フランス語を初めて学ぶ学生を対象とし、挨拶の表現から始めて、日常会話を中心にコミュニケーション力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

発音練習と応答訓練に重点を置く。文法解説は必要最小限にとどめ、繰り返しのよってフランス語に慣れてもらうことを目指す。

履修上の留意点

出席を重視する。会話の授業であるので、出席しなければ何の意味もないことをよく理解し、授業に臨んでもらいたい。年間授業回数の三分の一以上欠席した場合は評価の対象からはずす。ただし出席さえしていればよいというのではなく、積極的に授業に参加することが肝要。音声教材を用意するので、授業時以外にも自主的に聞き取り・発音練習をすることが上達への道である。

成績評価の方法

前・後期の試験の結果、授業への参加度などから総合的に判断する。試験の内容は、聞き取り、応答、発音を予定している。

教科書

Marie-Emmanuelle Muramatsu 著『ピコティ・ピコタ』（駿河台出版社）定価2,625円

参考書等

文法のクラスの教科書をそばにおいて参照することを勧める。

その他

教科書にはCDが付属しているので、授業時以外にも積極的に聞くように心がけてほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA	とお やま ひろ お 遠 山 博 雄	経営A2年	2

講義のねらい	辞書を使ってやさしいフランス語の文章を読み、発音すること。あわせて口語的な表現を覚えること。
講義の内容・授業スケジュール	1年次でやり残した文法事項の説明をまずすませ、その他の文法事項は復習したり、追加しながら、辞書を片手に熟読していきます。後期は短い読み物に挑戦します。
履修上の留意点	必ず辞書を持って出席すること。
成績評価の方法	2回の筆記試験を行いません。リスニングも含まれます。
教科書	浜名エレヌ著『ア・ラ・カルト』（駿河台出版社）2,625円 ISBN4-411-01336-3 C1085

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡC(会話)	くわ た のり あき 桑 田 禮 彰	経営A2年	2

講義のねらい	フランス語会話中級
講義の内容・授業スケジュール	まず発音の基本をしっかりと確認した上で、生きたフランス語会話の習得をめざします。文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。
履修上の留意点	最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
成績評価の方法	ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。
教科書	倉方秀憲他『ヌーヴォーオブジェクティブ』（早美出版社）2,500円
参考書等	そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅢA	まえ た のり かず 前 田 祝 一	経営A3年	2

講義のねらい	テキストを講読しつつ、フランス文化の理解が広がり、深められればと願っています。
講義の内容・授業スケジュール	3年目のフランス語の学習ですから、初級・中級の勉強がある程度完了していることを前提にしています。
履修上の留意点	初級フランス語の単位の取れていない人、あまり自信のない人は、自分で参考書などを入手して、勉強をやり直す決意でいて下さい。
成績評価の方法	前・後期のペーパー・テストを中心に成績評価しますが、出席状況・授業中の課題も考慮します。
教科書	フロベール作・斉藤昌三編『純な心』（白水社）1,260円

中国語

中国語ⅠA・ⅠB

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・文型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

ⅠA－ⅠBという週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。ⅠA－ⅠBの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、中間・定期試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、定期試験のときだけ一夜漬けで乗り切るということは絶対に不可能である。

中国語ⅠC（会話）

「聴く、話す」といった会話中心に構成される。ⅠA－ⅠBで学ぶ基礎的な文法と語彙を、口と耳の反復練習を通じて音声的に定着させ、3年次まで必修となる1カ国語集中学習の基礎を築くことを目標とする。

中国語ⅡA

ⅠA－ⅠBの学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

授業は、各担当者によって多彩な内容が用意される。文学的なもの、中国の社会や文化の理解に役立つもの、文法学習を主とするもの、またいろいろな文章の抜粋を読むもの、1～2篇の、まとまった作品をじっくり読み上げるもの、等々である。いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中区勇程度の語彙・文法・文型の学習、そして長文の論理展開や文章構成の把握、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内在的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

中国語ⅡC

音声による言語運用能力の更なるブラッシュアップを目指す。基礎会話から応用会話へという方向性は言うまでもないが、新たな文法上の知識は特に必要とせず、むしろ1年次に習った語彙や文法に基づいて自分の言いたいことを形にしていくための反復練習が教室での作業の主要部分となる。

中国語ⅢA

これまでの学習の蓄積の上に、主として中国語の読み書き能力の向上を図る。授業数は週1回に減るので、教材は音声よりも長文読解や作文が中心となる。時には読み方が判らぬ字があっても停まらずに読み進めて大意をつかんだり、少しまとまった思考内容や状況説明を口頭でなく文章で相手に伝えたりするシミュレーションを通じて、中国語の処理における一定のスピードを体感し、部分的に中国語を介した情報収集や商務に可能性を拓くことを目指す。

【辞書について】

1年次の授業は辞書の購入を前提とせずに進められる。最初から中国語の勉強は1年限りと決めてしまいうなら、辞書なしで済ませることはできる。しかしそういう人にとっても、1年間の学習をより実りのあるものとするために、次の辞書は役に立つことだろう。

相原茂『はじめての中国語学習辞典』（2002年 朝日出版社）2800円

2年次以降も中国語学習を続ける場合、辞書の購入は必須である。近年は中国語の辞書の出版が相次いだが、特に以下の2点が薦められる。

商務印書館・小学館『中日辞典〔第2版〕』（2003年小学館）語法解説や図版豊富。6300円

相原茂『講談社中日辞典〔第二版〕』（2002年 講談社）全例文にピンイン付き。6500円

より手軽なサイズと価格では次の2点も推薦できる。しかし、学習の伴侶として息長くおつきあいすることを考えれば、思いきって奮発したほうが結局は「得」である。

松岡榮志『クラウン中日辞典』（2001年三省堂）4000円

武信彰『プログレッシブ中国語辞典』（1998年小学館）3500円

また、これらよりさらに小型のものや、中日・日中を1冊で間に合わせる類の辞書は薦められない。

なお、下の2点も、初心者向けではないが、中級から上級以降の学習や研究に十分耐え得る内容をもつ優れた辞書である。

伊地智善継『白水社中国語辞典』（2002年白水社）7800円

愛知大学中日大辞典編纂処『中日大辞典〔増訂第二版〕』（1987年大修館書店）8600円

日中辞典は授業では必須としないが、次のものが手元があれば重宝するであろう。

対外経貿大学・商務印書館・小学館『日中辞典〔第2版〕』（2002年小学館）7000円

倉石武四郎・折敷瀬興『岩波日中辞典〔第2版〕』（2001年岩波書店）5000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	布施直子	経営A1年	2
中国語 I B	胡玉華		

講義のねらい

中国語の初級段階の学習を内容とする。中国語の発音のしかたを覚え、中国語の文の構造を理解することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

二人の教員が連携して授業を進める。基礎となる発音をしっかりマスターした後、基本的な語彙や文法、言い回しを身につける。

履修上の留意点

初めて学ぶ言語なので、授業での文法等の説明をしっかりと聞き、音声練習や作文練習に取り組むことが非常に大切である。欠席せずに毎回の出席を心がけてほしい。

成績評価の方法

出席状況、平常点、小テスト・中間テスト、期末テストによって総合的に評価する。

教科書

相原茂 陳淑梅著『語学三十六景』（東方書店）2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	福地桂子	経営A1年	2
中国語 I B	前川 亨		

- 講義のねらい 福地 (A)、前川 (B) が同一教科書で授業を行う。発音、ピンイン表記、基本文法の習得を目標とする。
- 講義の内容・授業スケジュール 正確な発音、簡単な文章の音読・解釈と作文、基本会話の実践をめざす。
- 履修上の留意点 自主的な予・復習、前向きな学習姿勢、外国語への大胆なとりくみを求める。授業を阻害する行為（私語、携帯電話の受信等）は許さない。出席は初級段階ゆえ皆出席を原則とする。
- 成績評価の方法 年間数回の小テスト、宿題、前・後期の期末考査、平常点、出席状況等から総合的に判定する。
- 教科書 牧田英二・楊立明『新編・例文中心初級中国語』（同学社）2,300円
- 参考書等 辞書については、開講後に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	工藤早恵	経営A1年	2
中国語 I B	布施直子		

- 講義のねらい 中国語の初級段階の学習を内容とする。中国語の発音のしかたを覚え、中国語の文の構造を理解することを目指す。
- 講義の内容・授業スケジュール 二人の教員が連携して授業を進める。基礎となる発音をしっかりマスターした後、基本的な語彙や文法、言い回しを身につける。
- 履修上の留意点 初めて学ぶ言語なので、授業での文法等の説明をしっかり聞き、音声練習や作文練習に取り組むことが非常に大切である。欠席せずに毎回の出席を心がけてほしい。
- 成績評価の方法 出席状況、平常点、小テスト・中間テスト、期末テストによって総合的に評価する。
- 教科書 相原茂 陳淑梅著『語学三十六景』（東方書店）2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	釜谷修	経営A1年	2
中国語 I B	下出宣子		

- 講義のねらい 入門科目として中国語標準語の発音の基礎を習得し、文法の概要を把握することを目標とする。とりわけ発音表記のピンインの確かな学習に力点を置く。
- 講義の内容・授業スケジュール 二人の教師が同一テキストにより週二回のセット授業を展開する。下出が文法の解説を中心に、釜屋が表現能力開発を中心に担当する。
- 履修上の留意点 皆出席、積極的学習姿勢、大胆率直な疑問の提起を要望する。
- 成績評価の方法 出席点、課題・小テストや期末テストの成績と授業への参加姿勢により総合的に判断する。
- 教科書 鄭萍・安力『チャイニーズ・ガーデン』（白帝社）2,500円
- 参考書等 開講後指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	塩旗 伸一郎	経営A1年	2
中国語 I B	塩旗 伸一郎		

講義のねらい 中国語の音声的魅力を体感するとともに、その構造的特徴や文化的表現、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解し、私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすこと。

講義の内容・授業スケジュール 音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の約半分は音声により出題する。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを盛大に行う。
なお教科書には、遊び感覚で単語が身につく CD-ROM「中国語入門300語ワールド」が附いているので活用してほしい。

履修上の留意点 中国語 IA と IB が連動するので、必ずセットで履修すること。
なお、携帯電話&メールの電源を切らぬ者は、そこにいないのと同じ。退席を命じ、欠席扱いとする。

成績評価の方法 定期試験+小テスト+平常点-欠席点。前・後期とも欠席3回を超えると10点ずつ減点する。

教科書 相原・陳・飯田『300語ワールド版：一年生のころ』（朝日出版社）2,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	佐藤 普美子	経営A1年	2
中国語 I B	佐藤 普美子		

講義のねらい 中国語の基礎になる文法と発音のしかたを学ぶ。

履修上の留意点 4・5月は発音のためのローマ字表記（ピンイン）を重点に学ぶ。この最初の関門をぜひ突破してほしい。

成績評価の方法 平常点（出席及び小テスト）と学期末テストを合わせて評価。

教科書 牧田英二・楊立明『新編・例文中心初級中国語』（同学社）2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	天野 節	経営A1年	2
中国語 I B	曹 泰和		

講義のねらい 中国語に興味と関心を持ってもらうこと。

講義の内容・授業スケジュール 単語の発音と意味の確認、文法の説明及び例文の発音と意味を IA で行い、文法の復習と会話文の発音と意味及び会話練習を IB で行う。

履修上の留意点 予習、復習を行い、必ず出席して声を出して発音練習すること。

成績評価の方法 出席、課題、授業態度、テストで総合評価する。

教科書 牧田英二『新編・例文中心初級中国語』（同学社）2,300円

参考書等 授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I C (会話)	あきもと たすく 秋元 翼	経営A1年	2

講義の内容・
授業スケジュール

中国語には我々が聞くと似たような発音がたくさんある。それを正しく聞き分け、発音し分けることが必要だ。耳と口とを大いに働かせて練習し、簡単な日常会話ができるようにする。音声面での基礎を作り、I A B、II A Bの学習にとっても役立つ能力を身につける。

履修上の留意点

目（漢字）に頼らず、耳と口を働かせることを第一にするので、授業中は特に大きな声を出して発音してほしい。4分の3以上の出席を要する。

成績評価の方法

平常の学習態度・到達度を重視し、各期末の試験と合わせて評価する。

教科書

山内智恵美・高芳著『会話でスタート!』（同学社）2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I C (会話)	くどう さえ 工藤 早恵	経営A1年	2

講義のねらい

中国語学習の基礎となる発音をしっかりマスターした後、基本的な語彙や文法事項を含んだ文の音声練習等を行い、中国語会話能力の土台作りをする。

履修上の留意点

会話能力を養う授業なので、特に授業での音声練習に参加することが非常に大切である。欠席せずに毎回の出席を心がけてほしい。

成績評価の方法

出席状況、平常点、暗唱テスト、定期試験によって総合的に評価する。

教科書

相原茂・郭雲輝・保坂律子共著『学ビテ時ニ之ヲ習フ』（好文出版）2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 II A	まつもと あつとし 松本 丁俊	経営A2年	2

講義のねらい

初級中国語から一段あげた中級中国語のレベルに到達する事。

講義の内容・
授業スケジュール

単なる中国紹介ではなく、1人の女性の体験を通して中国にふれる。

1. 「重点」には、対話形式の例文
2. 「比較」には、類義語、類義表現
3. 「詞句」には、常用される多義語、関連表現
4. 「練習」には、ピンインの漢字変換、穴埋め、並べ替え、作文

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点とし、通常授業中に発音のチェック、練習などと小テスト、さらには出席点を加味する。

教科書

荒川清秀・周闊『中国見たり聞いたり15章』（光生館）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	福地桂子	経営A2年	2

講義のねらい

自分で辞書をひいて、簡単な文章が読めることを目指す。
文法は中国語Ⅰで学んだ基礎を定着させ、さらに接続詞を使った複文表現を学ぶ。
中国語Ⅰに引き続き、正確な発音の練習に力を入れる。
中国の社会文化に対する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

中国の最新事情を紹介した文章を読む。
文法事項を体系的に把握する。
下記の教科書を用い、だいたい3週間に2課の進度で進めていく。

履修上の留意点

必ず予習してくる。授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

期末テスト(前後期各1回)、小テスト、授業での発表内容(予習してあるかどうかを重視)を総合して評価する。

教科書

王曙光『中文大世界』(白帝社)2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	岩崎皇	経営A2年	2

講義のねらい

中国語の文章を読むための文法知識の獲得及び語彙量を増やすことが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、始めに本文を各自訳してもらった後、解説をするという形になります。
単語のプリントを配布しますが、まず自分で訳さなければなりません。その際、疑問点は自由に質問して構いません。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、クラブ活動等)により欠席する場合でも、6回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。

成績評価の方法

試験の成績により評価します。試験は前期2回、後期2回行う予定です。

教科書

原田松三郎『エベンディのとんち話』(金星堂)1,850円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	弘兼加奈子	経営A2年	2

講義の内容・授業スケジュール

めざましい発展をとげている現在の中国を「住宅の話」「結婚の話」等の十二の項目に分けて授業を行なう。
翻訳が中心となるが、発音・声調も重視していく。

成績評価の方法

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

三瀧正道・楊光俊 新訂版『現代中国 走馬看花』(朝日出版社)2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡC(会話)	あまの 天野 せつ 節	経営A2年	2

講義の内容・授業スケジュール

初級の学習を踏まえ、会話文で色々な表現を学習。単語、語句の発音練習、意味の確認後、新しい表現を取り出して学習し、会話文を読み解き練習する。

履修上の留意点

欠席せず、予習、復習を必ずやる。

成績評価の方法

出席率、授業態度、課題、期末テストで総合評価する。

教科書

荒川清秀『美香 in China』(同学社) 1,900円

参考書等

授業の中で紹介。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅢA	あまの 天野 せつ 節	経営A3年	2

講義のねらい

中国語学習を通じて、中国事情の一端を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

単語・語句の発音と意味の確認後、近年の中国事情に関する短文の読みと意味を確かめ、中国事情を学習していく。

履修上の留意点

予習、復習をする。

成績評価の方法

出席率、授業態度、課題、期末テストで総合評価する。

教科書

孟広学・本間史『中国は今』(白水社) 1,900円

参考書等

授業の中で紹介。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅢA	おう 王 ちゆう 聡	経営A3年	2

講義のねらい

中国語の読解力の向上を目標とすると同時に、日中文化の違いに対する理解を深めることも授業のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

中国の最新事情を話題とする文章をテーマごとに学んでいく。

履修上の留意点

予習を済ませてあることを前提に授業をする。

成績評価の方法

最終評価は平常点・中間テスト・期末テストの3つの成績で構成する。欠席時間数が授業時間数の4分の1を超えた者は試験を受けられない。

教科書

三瀨正道他『現代中国走馬看花』(朝日出版社) 2,000円

〔スペイン語〕

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A	うえ の かつ ひろ 上 野 勝 広	経営A1年	2

外国語

講義のねらい

スペイン語の基礎（発音・文法・語彙）を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は導入部から5課まで、後期は6～10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習を行います。

履修上の留意点

少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましよう。
また最低限の復習も欠かせません。

成績評価の方法

年間4回のテストの結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。

教科書

上野勝広『新世紀のスペイン語』（同学社）2,200円

参考書等

初回の授業で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A	みや ち たつ ろう 宮 地 達 郎	経営A1年	2

講義のねらい

スペイン、中南米の国語スペイン語は国連の公用語6ヶ国語の一つでもあり、米国ではヒスパニックの人口比率が黒人を抜き最大となっている。米国におけるスペイン語の必要性は現在でも大きく、さらに増大することは必至である。従って、国際社会におけるスペイン語の重要性を認識させ興味を持続させることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

基礎文法の徹底が目的。前期は英語との違い、特に性数一致、動詞の変化（現在形）に重点を置く。後期は過去形、未来形、できれば接続法まで入ることが目的。

履修上の留意点

欠席が多い場合、前回の授業内容が分からなければ、その回の授業についていけなくなる。スペイン語は他の外国語より易しいという先入観を持ったり、英語が苦手だからという簡単な理由で受講しても単位取得は簡単ではないことを認識して受講してほしい。

成績評価の方法

出席率、授業中の態度、テストの3点を総合して評価する。

教科書

宮本博司著『ようこそスペイン語の世界へ』（大学書林）

参考書等

推薦辞書：『現代スペイン語辞典（西和および和西）』（白水社）
『スペイン語ミニ辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A	がめ やま こう いち 亀 山 晃 一	経営A1年	2

- 講義のねらい

 初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。
- 履修上の留意点

 決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。
- 成績評価の方法

 数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。
- 教科書

 開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A	さ とう まりの 佐 藤 麻里乃	経営A1年	2

- 講義のねらい

 文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。
- 講義の内容・授業スケジュール

 教科書にそって解説と練習を行う。性数変化、動詞の変化（現在形・過去形）、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。また必要に応じて適宜小テストを行う。
- 履修上の留意点

 教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。宿題が出たら必ずやってくる。
- 成績評価の方法

 各学期末の試験、小テスト、授業中の態度を総合して評価する。
- 教科書

 教科書：未定
辞書：『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）
- 参考書等

 宮本博司『超入門スペイン語』（大学書林）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A	よね だ ひろ み 米 田 博 美	経営A1年	2

講義のねらい

情報のグローバル化には目をみはるものがあり、世界各地で発信される情報がインターネットを通じて瞬時に得ることができます。スペインやラテンアメリカ諸国で4億以上の人々が話すスペイン語を理解できれば自らの世界は大きく広がることでしょう。自動翻訳機、自動通訳機なども近未来において、日常的なものとなるであろうが、原語で解読し、直接、言葉によりコミュニケーションを図ることは、より深い理解と大きな満足につながるものです。来年度には南北アメリカ全域を対象とした自由貿易協定が結ばれる可能性もあり、スペイン語を母国語とする多くのラテンアメリカ諸国の発展が予想され、日本との結びつきも益々深まることでしょう。その意味で、スペイン語の重要性は確実に増しています。強い目的意識と希望をもって新たな挑戦をしてください。

講義の内容・授業スケジュール

年間スケジュールとして、下記テキストの1～7課までの範囲を学習します。

履修上の留意点

スペイン語は、発音しやすく聞きとりやすいと言われますが、語学の学習は、基礎の積み重ねが特に大切であり、欠席をしないように。

成績評価の方法

成績は、一般の授業態度、出席、テストなどにより総合的に判断します。

教科書

細川幸夫著『英語からスペイン語へ』（芸林書房）

参考書等

辞書は、各自自由に選択して下さい。参考までに、『現代スペイン語辞典』（白水社）、『和中西辞典』（小学館）、『新スペイン語辞典』（研究社）などを推薦しておきます。

その他

一方的な文法的説明に終わることなく、スペイン語圏の文化や社会についても関心を深めることができるようコメントをしたり、ビデオ鑑賞をできる機会もつくる考えです。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A	くり ばやし え 栗 林 ゆき絵	経営A1年	2

講義のねらい

年間で約50の基本会話表現を修得する。そのために必要な基本的な文法事項を整理して、スペイン語のことばのしくみを学習する。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、文法事項の説明と、それを応用した練習問題、という構成で進める。前期は現在形、後期は過去形、未来形、現在完了を中心に学習する。随時、課題、小テストを実施。

履修上の留意点

指示された課題（単語の意味、和訳、作文等）は必ずやってくること。

成績評価の方法

平常点（出席・課題）6割以上、試験（小テストおよび前後期末）6割以上で合格とする。出席が6割に満たない者は試験の受験を認めない。

教科書

堀田英夫『現代感覚でおぼえるスペイン語のエッセンス』（朝日出版社）1,900円

参考書等

〈辞書〉『プログレッシブ スペイン語辞典』（小学館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I C (会話)	ルイズティノコ, C.	経営A1年	2

講義のねらい

この授業ではスペイン語の文章を読んで、基本的な文法を学び、練習をしながらスペイン語の構造や表現になれ、会話能力を高めることを目指します。
毎回の出席や練習は重要なので積極的に参加してください。

成績評価の方法

前期と後期の成績と授業参加の状態で評価します。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 II A	真下 祐一 <small>ましも ゆういち</small>	経営A2年	2

講義のねらい

一年次に学んだスペイン語の基礎を完成し、以降の学習につなげていくための授業です。復習にも力を入れましょう。読み、書き、聞き、話す四つの能力の総合的なトレーニングです。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1~4) 復習 直説法現在不規則動詞・目的格人称代名詞・現在完了 (5・6) 再帰動詞 GUSTAR (7・8) 直説法点過去 (9・10) 直説法線過去 (11・12) 直説法過去完了 比較 (13) 試験
後期 (14・15) 直説法未来・未来完了 (16・17) 過去未来 関係代名詞 (18・19) 接続法現在・1 (20・21) 接続法現在・2 (22・23) 接続法過去 (24・25) 命令 (26) 試験

履修上の留意点

予習・復習は欠かせません。また常にスペイン語圏のニュースに注意していること。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストの結果で評価します。

教科書

西川 喬 『スペイン語の基礎』(第三書房)

参考書等

西和辞典を一冊。『改訂版現代スペイン語辞典』(白水社) など

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡC(会話)	真下祐一	経営A2年	2

講義のねらい

旅先で、また日々の暮らしの中で、あなたがスペイン語に接する機会はますます増えていくでしょう。実際の場面で簡単でも適切な表現が自然と口について出てくるくらいスペイン語に親しんでください。すぐに答えられるドリル形式の問題に大きな声ではっきりと答える練習を通して自由な会話力の基礎を固めます。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1~3) 復習 現在完了 進行形 未来形 (4・5) 再帰動詞 (6・7) 線過去 (8・9) 時の経過の表現 (10) TENER QUE (11・12) 不定語・否定語 (13) 試験
後期 (14・15) 点過去・規則動詞 (16・17) 点過去・不規則動詞 (18・19) 関係代名詞・1 (20・21) 関係代名詞・2 (22・23) 感嘆文 (24・25) 線過去と点過去 (26) 試験

履修上の留意点

予習・復習を忘れずに。大きな声でしっかり練習しましょう。また自分の言いたいことだけを言うのではなく、相手の言うことがよく理解できるよう、聴解力を養う努力もしましょう。初級のおさらいにも役立つテキストを選びました。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残りの60点は二回の期末試験と聞き取りや発話の小テストの結果で評価します。

教科書

サンチェス、リオス、ドミンゲス『エスパニョル エン ディレクト』(原題西語)(S.G.E.L.)

参考書等

西和辞典を一冊。『改訂版現代スペイン語辞典』(白水社) など

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅢA	真下祐一	経営A3年	2

講義のねらい

三年目のスペイン語です。これまでに学んだスペイン語の基本を確かなものとしながら、以降各人が勉強を続けていくための土台作りにも努めます。はじめに各課のテーマについて解説を行い、次に練習問題によって理解を確実にします。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1・2) 感嘆文 (3・4) 直説法点過去と線過去 (5・6) 直説法過去完了 (7・8) 間接話法・1 (9・10) 間接話法・2 (11・12) 過去未来 (13) 試験
後期 (14・15) 接続法現在 (16・17) 接続法過去 (18・19) 接続法まとめ (20・21・22) 総復習 (23・24・25) 読解 (26) 試験

履修上の留意点

復習を随時取り入れます。これで最後というより、さあこれからといった姿勢で勉強に取り組みましょう。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は二回の期末試験と小テストの結果で評価します。

教科書

サンチェス、リオス、ドミンゲス『エスパニョル エン ディレクト』(原題西語)(S.G.E.L.)

参考書等

西和辞典を一冊。『改訂版現代スペイン語辞典』(白水社) など

ロシア語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学べば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキア語、セルビア語、マケドニア語等、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです。これからの国際化時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多に価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。

なお、一週間に学ぶロシア語の時間は現状では圧倒的に不足していますが、与えられた時間を最大限に有効に使うために次のような目標をたて、年間スケジュールで授業はすすめられます。

I A・I B：発音や聞きとり、発話を中心に学び、やさしい基本文法を一年間で修了させます。細目は以下の授業内容を参考にしてください。なお、一部のクラスはパソコンによるロシアサイトをリアルタイムでみたり、聞いたりする時間ももちます。

I C（会話）：会話中心の授業です。I A、I Bで学んだ基礎ロシア語を踏まえ、やさしいロシア語会話を定着させる授業です。経営学部では3年次まで必修となる一カ国語集中の基礎を築くことをめざします。

II A：一年のI A・I Bのロシア語を基礎にさらに会話や聞きとり、読解力をつけます。また一年でのこした文法の能動・被動、副動詞、などの事項や、より複雑な文章を理解する練習をします。

II C：基礎会話の上にさらに会話能力を発展させるための授業です。より複雑な内容を伝達できるように会話力を高めることに留意します。文法知識は初等程度で充分です。

III A：基礎ロシア語の文法を踏まえ、ロシア語の読み書きの力をさらに向上させます。インターネットでリアルタイムのロシア語を読んだり、聞いたりすることも授業のなかでとりあげ、総じて生のロシア語を理解することに努めます。

なお、最後に参考として辞典の紹介を若干しておきます。

- 『露和辞典』（研究社）東郷 正延他著
- 『露和辞典』（岩波書店）和 久利他編
- 『博友社ロシア語辞典』（博友社）木村 彰一他編
- 『和露辞典』（研究社）藤沼 貴著
- 『和露辞典』（講談社）佐藤 勇著

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 I A	^{すぎ} 杉 ^{やま} 山 ^{ひで} 秀 ^こ 子	経営A1年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・
授業スケジュール

二名の教員が連携しながら週に二回授業をします。
前期はイントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教 科 書

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

参 考 書 等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I B	ひろ た ひて やす 廣 田 英 靖	経営A1年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期では発音、アクセント、イントネーションに重点をおき、後期では短文の読み初級文法のエッセンスを学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I C (会話)	さ の あさ こ 佐 野 朝 子	経営A1年	2

講義のねらい

このクラスはロシア語をはじめて学ぶ学生を対象とします。文法を学び、辞書を使ってテキストを読んでいくクラスよりロシア語をより身近に感じるよう、500ぐらいの単語だけを使って、発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。

会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡA	木村英明	経営A2年	2

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

1年次に使用した教科書と文法表。

その他

プリント配布。教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡC(会話)	クロチコフ, Y.	経営A2年	2

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習テキストを用い、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に、時々、簡単なテストを行います。

教科書

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林) 1,751円、その他。プリント配布。ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅢA	クロチコフ, Y.	経営A3年	2

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習用テキストを用い、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に、時々、簡単なテストを行います。

教科書

学生の学力に応じて教科書を選びます。プリント配布。ビデオ、オーディオ等を使用します。

《再履修クラス》〔英語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	にしむらゆうこ 西村祐子	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

英語による電子メールの書き方を修得しながら「苦手な英語」から「使える英語」を習得することをめざす。基本的なタッチタイピングから指導し、インターネットをつかって英語で海外の各地の情報を得たり電子メールでといあわせたりしてみる。

講義の内容・授業スケジュール

前期：自己紹介の仕方、確認、問い合わせ、お礼の英文メールなど基本的な英語表現を学ぶ。
後期：より複雑な内容のメールの書き方を学ぶ。

履修上の留意点

学生への要望：大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なもので、かならず事前におこなっておくこと。タッチタイピング修得用にフロッピーディスクを用いるので、はじめの授業から、かならず一枚持参のこと。

成績評価の方法

成績評価：平常点重視。定期試験はおこなわない。

教科書

Subject: E-mail: writing effective messages (南雲堂)

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	いわいひろみ 岩井洋美	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

基礎的な文法を再確認し、英語で表現できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

テキストで語彙や文法を確認後、英作文などの問題に取り組む。

履修上の留意点

取り組み姿勢を重視するので、遅刻と欠席は評価に大きく響く。

成績評価の方法

出席と授業態度を重視。そのほか、小テストと前、後期試験で評価。

教科書

『会話作文のための復習英文法』(朝日出版社) 1,800円 ISBN4-255-15389-2

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	はやし たかのり 林孝憲	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

日常生活で必要な英作文(手紙なども含む)を短文から学んでゆく。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを用いて授業内で作文を行なう。必要に応じてプリントも使用する。

履修上の留意点

各自の必要に応じて、高校で使用した「英文法」の教科書などを持参するとよい。

成績評価の方法

出席、発表、前後期の試験の結果で総合的に評価する。

教科書

『自然な日本語から自然な英語へ』(成美堂) 1,500円 ISBN4-7919-5028-3

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	まきの てるよし 牧野輝良	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

英文を理解するのに必要な英文の構造・語句等を年間を通じ、しっかりと学習すること。

講義の内容・
授業スケジュール

英文をよりよく理解するために英語の例文をよく読み、訳読を参考に自分で和訳し、英語と日本語の表現の違いを知ること。

成績評価の方法

授業中の課題の提出、3～5課毎の小テスト、期末テスト及び2/3以上の出席を総合して評価する。

教科書

『大学英文法A to Z』（金星堂）1,300円 ISBN4-7647-3697-7C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	あさかわ まさき 朝川真紀	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

日常生活におけるコミュニケーションに必要な基本的英語表現力を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

大学で英語を学ぶために必要な最低限の文法事項を確認しながら、あらゆる場面での会話表現を学び、聞く力、話す力、書く力を伸ばし定着させていくための演習を繰り返す。

履修上の留意点

予習は毎回行うこと。辞書は必ず持参すること。遅刻した者は授業開始30分まで入室を認めるが、遅刻3回で1回欠席とする。全授業数の3分の2以上出席していない者は不合格とする。

成績評価の方法

平常点、小テスト、定期試験の総合評価。

教科書

浅川和也著『リスニングマスターコース英語で聴く世界事情』（金星堂）1,900円 ISBN4-7647-3782-5 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	さとう あやこ 佐藤アヤ子	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

英語でのE-mailの書き方を学習します。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回様々な話題の通信文を練習し、大切な表現を暗記します。

履修上の留意点

毎週、前週に学んだ表現の暗写テストをします。

成績評価の方法

毎回の暗写テスト、前期・後期の試験結果、平常点を総合的に評価します。

教科書

松居 司、Philip Hinder 著『はじめてのEメール英作文』（南雲堂）ISBN4-523-17321-4C0082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	よし え まさ お 吉 江 正 雄	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

英文を正しく読み、発音し、その上で英文を正しく理解することを目標とする。しかし、そこには当然、構文の理解、文法的な正しい解釈も伴われなければならない。これらのことを総合的に学びながら、文明の黎明期、言語の発達段階等についても学ぶことになる。

講義の内容・授業スケジュール

一講時に進む範囲は大体決まってくるので、その範囲の読みと、解釈を中心に据え、後に文法・構文の説明を加える。小説家による美しい文章に触れ、美しい英文の書き方に繋げたい。

履修上の留意点

大体決まってくる一講時に進む範囲の予習をしてくることを望む。

成績評価の方法

前・後期の試験の平均点をベースに、授業参加の積極度、発表回数等を鑑みて評価を出す。ただし、授業総数の三分之一を超える欠席のある学生の評価は出ないから注意すること。

教科書

A Short History of the World (こびあん書房)

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	はなわ みちこ 埴 美智子	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

英語の運用能力養成をめざす。日常基本表現から多様な会話表現の理解と運用能力の養成をめざす。同時に文章表現も学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの中から多様な英語表現を習得する。日本語に訳さないで英語の表現として身につける習慣をつけていく。

履修上の留意点

辞書を使う場合も出来るだけ英英辞典を使う習慣を身につけていく。

成績評価の方法

日常の出席状況を重視し、普段の授業態度、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書

『*Effective reading & listening—Learning About Different Cultures—* 読解・聴解のための効果的学習ブック』(松柏社) 1,800円

参考書等

その都度黒板に板書し案内する。

その他

大切なことばを一つでも多く頭に入れ必要な時すぐに使える様に毎日の生活の中で英語のことばについても関心を持っているようにする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	塚本利男	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

語彙力の増強を図りながら、基本的な文法知識を復習・強化して英語の運用の能力を向上させる。

講義の内容・授業スケジュール

各章が、読み物、文法事項の解説と英作文から構成されていますので、1回の授業で1章を読み終えるようにします。毎回、授業の最後に、予習をかねる意味で作文の問題を提出する。テキストの問題以外にも100語～200語程度で自分の考えや意見を短文にまとめて、提出してもらう事もあります。

履修上の留意点

授業の予習をして下さい。

成績評価の方法

授業における発表・小テストと前・後期の定期試験に基づく。特に、平常授業を重視しますので、全授業数の3分の2以上は、必ず出席して下さい。

教科書

『エンジョイ・イングリッシュ』（朝日出版）1,700円＋税 ISBN4-255-15390-6C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	川島弘之	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

英語を楽しんでもらうことを目指す。学生が強い関心と興味を抱いているロック音楽を教材として使う。学生にもロック音楽等のリクエスト曲を出してもらう。現代の若者にとって、ロック音楽の歌詞はかつての英詩にとって代るものであり、現代詩の一翼をになっている。その歌詞の中には「生きがい」や「Love」についての深い考え方や感性がこめられているので味わってもらいたい。

ロック音楽を通して、人間の心が揺さぶられ、英語音声の感性が磨かれ、人間と社会、人間と自然、人間と人間を見る眼が深まることを望む。

履修上の留意点

他の学生の発表に関心、興味、理解を抱くよう努力することを望む。

成績評価の方法

他の学生の発表に関心をもつこと、日常の発表、レポート、前後期の定期試験等、総合的に評価します。前期のテストは英語の歌を歌うことで行うこともできる。授業の欠席が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教科書

『ロックの心』（大修館書店）1,339円 ISBN4-469-24066-4
その他 DVD の映像を使用する。

参考書等

『ロックで読むアメリカ』（近代文芸社）
『ロックの意味』（草思社）
『ロック・ミュージックとアメリカ』（シンコーミュージック）
『ロック音楽と現代社会』（マクミラン・ランゲージハウス）

その他

DVD の映像を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	おのりのこ 尾上典子	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

日本と西洋の文化を比較したテキストを使用して、言語理解に必要な文化的・社会的背景知識を習得させるとともに、実践的な英語運用能力の向上をはかる。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを翻訳させながら、同時に欧米と日本の文化を正しく理解するのに役立つ様々な資料を配布し、読解・聴解・作文などの英語運用能力の向上を目標とする。

履修上の留意点

正当な理由なくして年間の出席率が2/3に満たない者および授業態度の著しく悪い者は落第させる。

成績評価の方法

評価は、授業態度、出席率、年2回の前・後期試験・小テストなどによって総合的に判断する。

教科書

飛岡 健・David Burleigh 共著 *Japanese and Westerners* 『日本人と欧米人』（マクミラン・ランゲージハウス）

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	とのいけかずこ 外池一子	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

日常生活の様々な場面をテーマにした会話の聞き取りを中心にリスニング力の向上と共に、それを基にスピーキングの力をつけることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

授業はテキストに沿って進めます。

履修上の留意点

予習は当然ですが、復習をきちんとすること。各レッスンのポイントとなる表現は必ず覚えること。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（日安は前期・後期各2回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	たかやなぎふみえ 高柳文江	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

この授業においては、現代社会が抱えている様々な問題について書かれた簡潔な文章を基に、まずそのListeningとComprehensionを行います。その後、章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法を理解し、それを基に、writing, speaking 両面から文章を作る事を学びます。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には2/3以上の出席が要求されます。座席指定。

成績評価の方法

試験（前期試験・後期試験）60%、日常点（出席、提出物、授業への取り組み方等）40%

教科書

第一回の授業にて発表します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	くま まわ かず おき 熊 沢 和 明	経営A2・3・4年	2

講義のねらい	基礎的な国語英語の教材を使い、日常基本表現からダイアログに至る会話表現の理解と運用能力の向上をめざす。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを中心に学習しながら、プリントの副教材も使用します。
履修上の留意点	ペアワークやプレゼンテーションなどの活動もします。予習が必要です。
成績評価の方法	前期・後期の試験をしますが、出席点と日常の発表点を重視します。単語小テスト、レポート課題など、様々な活動を総合評価します。
教科書	開講時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	いわ はら やす お 岩 原 康 夫	経営A2・3・4年	2

講義のねらい	英語による日常的なコミュニケーション力の向上を狙いとする。そのために、一定の基本的な動詞の構文と用法を学習する。
講義の内容・授業スケジュール	クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらう。
履修上の留意点	学生諸君の予習を前提にしてクラスを進める。
成績評価の方法	前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける予習及び発表によって判断する。
教科書	<i>Cultivating Writing Skills</i> (朝日出版) 2,000円 ISBN4-255-15280-2

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	にし はら かつ まさ 西 原 克 政	経営A2・3・4年	2

講義の内容・授業スケジュール	英語を話すときに役立つ表現力を中心にした作文の演習用のテキストを用いる。外国人が英語を学習する際に役立つと考えられている Basic English (850語で大体日常生活の必要な表現がすべてできるという考え方) を基本にしている。英語が書けるということは、英語が話せるということと直結しているので、その基礎を自分のものとして、会話に応用していただいたいと考えている。
履修上の留意点	受講者には第一回目の授業で、成績評価方法も含めて説明するので、必ず出席のこと。
成績評価の方法	出席が授業回数の3分の2以上であること。日常のプレゼンテーションをその都度評価する。前期・後期試験は行わない。
教科書	『英語表現トレーニング』(北星堂書店)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	てじま けいこ 手島敬子	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

本科目は発音・リズム等の音声面の指導に留意しながら、標準的な英語で書かれた文章を読む力を養うことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは比較的平易な英語で書かれたものを使用し、短時間に効率良く、また適切に内容を読み取る練習を行っていきます。

履修上の留意点

英和辞典を必ず持参。

成績評価の方法

中間・定期試験、課題、出席状況、授業への参加度などに基づき総合的に行います。

教科書

『Reading Culture and Comprehension (2) 基礎英文講読法 (2)』
(マクミラン ランゲージハウス) 1,800円
ISBN4-89585-451-5

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	はやし たかのり 林孝憲	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

現代の我々の日常生活におけるエコロジーと経済に関する中級レベルの読解を行なう。またテーマ別のリスニングも行なう。

講義の内容・授業スケジュール

読解とリスニングを平行して行なう。

履修上の留意点

単語調べ等、予習が必要。

成績評価の方法

出席、発表、前後期の試験の結果で総合的に評価する。

教科書

『エコロジーとビジネス』(南雲堂) 1,900円 ISBN4-523-17430-X
『5分間ヒアリング』(南雲堂) 700円 ISBN4-523-17151-3

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	きむら かつひこ 木村克彦	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

やや平易な英文を精読することにより、徐々に実際の運用面も補っていきたい。テキストには各課ごとに練習問題があるが、これらを、本文を再読せずに解ければ、最も望ましいであろう。また、適宜、「エコノミスト誌」や「フォーチュン誌」の記事も訳読してゆきたい。

成績評価の方法

基本的には、前・後期の定期試験に因るが、それ以上に授業態度を重視する。私語厳禁。

教科書

Developing Reading Skills (朝日出版社) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	武藤 久緒	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

英語学力の基礎となるのは読解力です。標準的で平明な英語を正しく理解できるよう、必要文法事項を説明しながら精読します。

講義の内容・
授業スケジュール

- 前期
1. Too Many People? or Too Few?
 2. A Relative Problem
 3. Terrorists or Freedom Fighters?
 4. Fighting in the Name of God.
 5. Judging People the Wrong Way.
 6. The Emptiness Inside
 7. An All-American Planet
 8. The Enemy of Everybody
- 後期
9. A Big, Mean Teacher
 10. The Battle of the Sexes
 11. Trying to Cure the World
 12. When Conservation Isn't Enough
 13. The Fight for Rights
 14. The Issue You Seldom See
 15. Problems that Know No Borders

履修上の留意点

毎回、受講者に順次、訳読をしてもらいます。積極的に学習にとりくむよう努めて下さい。

成績評価の方法

成績評価は前・後期の期末テスト、授業中の発表、出席状況などを考慮して行います。

教科書

Peter Weid, *The World Ahead* (金星堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	江田 幸子	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

英語の基本的な構文の読み取り方を重点的にチェックしながら一ページ程度の英文を精読します。トピックの違う内容を15編読みます。今年度はハリウッド映画の内容を要約した英文を読みます。時折ビデオを観て話される英語を聞いてみます。各々に面白い映画が扱われているので、楽しく英文を読めたら、と思っています。

英語は一見平易ですが読解力をつけるのに勉強になる構文や表現法が使われていて、楽しく読みながら読解力をつけるのには適しているでしょう。

講義の内容・
授業スケジュール

クラスでは授業中が自宅学習のようにして英語学習を進めていきますので必ずテキスト、辞書、ノートを持参して下さい。解らないところは授業中に辞書をひいて、皆で学習して解るようにしていきます。

成績評価の方法

再履修クラスは出席を特に重視します。ほとんど毎回、辞書を使いながら小テストをして平常評価点とします。前期・後期の期末テストよりこの平常点を重視して評価点を出していきます。10回行う小テストの内、上位5回分の成績の平均点を最終評価点とします。欠席回数が多い人は平均点が当然悪くなりますので注意して下さい。出席者には最低50点を出しますが欠席者は0点になります。

教科書

John S. Lander, *Hollywood Dialogs* (ASAHI PRESS) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	甲斐捷子	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

今年のI B再クラスは、やさしい英語で書かれた面白い小説を読みます。ただし、言葉の解釈は英語で行い、語彙を増やしながら、口語英語の運用能力も高めるような授業内容となります。

講義の内容・授業スケジュール

テキスト一冊終了後時間が余れば、著者のインタビュー記事を読みます。これはハンドアウトとして配布します。

履修上の留意点

一単元終わるごとに小テストを行います。これは詳細な復習のためのテストで、本試験と同様の内容のものです。このテストで70%以上得点できるよう、復習に重点を置いて学習して下さい。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。総合点が基準に達しない場合、欠席が三分の一を超えた場合、および前後期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから、特に欠席をしないよう、十分注意して下さい。

教科書

The Summer after the War and A Family Supper (鶴見書店) 900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	石原孝哉	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

このクラスでは国際共通語としての英語にスポットを当てます。具体的にはアメリカ、イギリスばかりでなく、オーストラリア、インド、ドミニカ、ナイジェリアなど世界各地で使われている英語を、短編を教材にして学びます。教科書は全て英語、練習問題も英語なので英英辞典があると便利です。

成績評価の方法

成績は中間試験、期末試験のほかレポート等から総合的に評価し、出席を重視します。レポートはe-mailで提出することも可能で、提出先は教場で指示します。

教科書

Longman *The Whole Story* (南雲堂フェニックス)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	真砂久晃	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

英文読解の基礎力をつける。

講義の内容・授業スケジュール

初回の授業でオリエンテーションをする。必ず出席すること。

履修上の留意点

出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。但し、正当な理由のある欠席に関しては考慮する。

成績評価の方法

成績 = (前期の成績 + 後期の成績) ÷ 2
前期、後期共、成績は(100点満点) = 出席点(20~30%) + テスト(70~80%)となる。

教科書

THE BEATLES (南雲堂フェニックス) 980円 + 税

参考書等

THE BEATLES の CD、DVD など。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	たか やなぎ みみ え 高 柳 文 江	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

英文の逐一の翻訳ではなく英文を速やかに、かつ、正確に理解する事をめざします。

講義の内容・
授業スケジュール

世界の中で現在生じている様々な問題について書かれた簡潔な文章を基にまずそのListeningとComprehensionを行います。その後、章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法についての演習問題を行い、更なる理解を深めます。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には2/3以上の出席が要求されます。座席指定。

成績評価の方法

試験（前期試験、後期試験）60%、日常点（出席、小テスト、提出物、授業への取り組み方等）40%。

教科書

『World Today—文化の諸相』（鳳書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	くま さわ かず あき 熊 沢 和 明	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

総合教材のテキストを使い、主に読解の能力を向上させるのをめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを中心に学習しながらプリントの副教材を使用します。

履修上の留意点

ペアワークやプレゼンテーションなどの活動もします。予習してくることを。

成績評価の方法

前期、後期の試験をします。出席と日常の発表なども重視。単語小テストなどもやります。総合評価です。

教科書

開講時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	まち た しげ お 町 田 成 男	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と速読の基礎を身につける。また、リスニングでは聞きながら文章の大意を把握する。

講義の内容・
授業スケジュール

原則としてテキストにしたがって読みすすめる。

履修上の留意点

テキストと辞書は忘れずに持参すること。

成績評価の方法

出席＋発表＋試験の総合評価とする。

教科書

検討中のため、第一回の授業時に、オリエンテーションの中で発表する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	飯沼 好永 <small>いいぬま よしなが</small>	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

様々な英語の文章を読みながら、より正確な内容理解と、それに必要な基本的な文法事項も合わせて習得することに努める。

履修上の留意点

リーディングの力を向上させるには、多くの英文に触れることが大切であるが、受身の姿勢では、自己の英語力を向上させることは難しいので、積極的に授業に参加してください。特に英語に対して苦手意識のある人は、予習に力を入れてください。

成績評価の方法

出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価（50%）、前期・後期試験（50%）

教科書

Reading Landmarks of the world（三修社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I C（会話） 〔再クラス〕	ノーラン, D. J.	経営A2・3・4年	2

(P.92) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I C（会話） 〔再クラス〕	ハバード, W. D.	経営A2・3・4年	2

(P.92) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I C（会話） 〔再クラス〕	ロンゴ, T.	経営A2・3・4年	2

(P.93) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I C（会話） 〔再クラス〕	ヘラー, P. S.	経営A2・3・4年	2

(P.93) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I C（会話） 〔再クラス〕	ロビン, G. F.	経営A2・3・4年	2

(P.93) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I C (会話) 〔再クラス〕	ラッセル, S. J.	経営A2・3・4年	2

(P.94) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I C (会話) 〔再クラス〕	ピアス, D. M.	経営A2・3・4年	2

(P.95) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I C (会話) 〔再クラス〕	ササキ, M.	経営A2・3・4年	2

(P.96) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I C (会話) 〔再クラス〕	レイン, R. V.	経営A2・3・4年	2

(P.96) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 II A 〔再クラス〕	佐藤明子 さとうあきこ	経営A3・4年	2

講義のねらい

リーディング・リスニング問題を中心に英語の運用能力を高めることを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは、内容読解やリスニングの問題も入った総合テキストです。1回の授業で、1章程度進む予定です。

履修上の留意点

授業ではなるべく多くの学生を指名します。毎回予習を十分にしてくることを望みます。

成績評価の方法

前期・後期試験、平常点、出席状況を総合的に評価します。(ただし出席が3分の1に満たない場合は「不合格」とします)

教科書

『*Real Life in Britain* (イギリスを感じてみよう)』(三修社) 1,850円(税別) ISBN4-384-33246-7C1082

参考書等

必ず辞書を持ってきて下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	うつのみや ひでかず 宇都宮 秀 和	経営A 3・4年	2

講義のねらい

再履修のクラスを数年受けもって受ける印象は、a)出席数が不足している、b)理解していない部分を、理解するまで十分に掘り下げないで、あいまいな理解でやり過ごして来た、以上の2点である。

講義の内容・授業スケジュール

以上のことを考慮して、解らない部分を中心に授業をすすめていきたい。

履修上の留意点

進み方は、遅くともよいから基本的なことをしっかりと理解しながらすすむ。

成績評価の方法

毎回、毎回、小テストを行い、それらを積み重ねた平常点。

教科書

プリント使用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	おかざき としちろう 岡 崎 寿一郎	経営A 3・4年	2

講義のねらい

語学教育は、人間の能力の開発と完成を目指す大学教育の場にある学生たちに必須の教育過程といえます。授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密な読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席 (50%)、前期試験に代わる夏季レポート (25%)、後期試験 (25%) の総合評価とします。

教科書

村田薫『英語で学ぶ知の原点』(鶴見書店) 1,500円

その他

月曜日・5時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	さとう えりこ 佐 藤 江里子	経営A 3・4年	2

履修上の留意点

必ず予習をし、辞書を用意して授業に参加すること。

成績評価の方法

出席、発表、小テスト、授業態度などの平常点と、前期後期試験による総合評価。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	岡崎 寿一郎 <small>おかざき としちろう</small>	経営A3・4年	2

講義のねらい

語学教育は、人間の能力の開発と完成を目指す大学教育の場にある学生たちに必須の教育過程といえます。授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密な読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）の総合評価とします。

教科書

岡崎寿一郎『禅と日本文化』（太陽社）1,470円

そ の 他

火曜日・4時限

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	井伊 順彦 <small>い い のぶ ひこ</small>	経営A3・4年	2

講義のねらい

日米の文化の差異について会話からはじまり、文法事項を復習。Exerciseで英語力を養成。センテンス・レベルの作文能力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストに従って、前半 Letter から Vacation, 後半 Drinking から Loan Words まで。

履修上の留意点

授業の予習復習をすること。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、小テスト、前・後期のテストによる総合的評価とする。

教科書

『異文化の理解に向けて』（旺史社）1,360円（本体）＋税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	川崎 浩太郎 <small>かわさき こうたろう</small>	経営A3・4年	2

講義のねらい

IAを基礎としてさらに高度な意思伝達能力の向上を目的とする。最終的には数パラグラフからなるエッセイで自分の意見を具体的かつ論理的に表現できるようになることをめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストをもとに、パラグラフを書く手順、パラグラフの基本構成、論理展開等を学習する。それを踏まえた上で、教科書のUnitごとに適切な課題を出すので、それにしたがってエッセイライティングをおこなってもらおう。また、口語表現の学習のため、TOEIC®のリスニングなどもおこなう。

履修上の留意点

毎時間必ず辞書を持ってくること。

成績評価の方法

出席点、発表点40%、授業中のレポート60%。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

教科書

『Skills for Better Writing—構造で書く英文エッセイ』（南雲堂）1,800円（税別）ISBN4-523-17448-2

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	矢島直子 やしま なおこ	経営A3・4年	2

講義のねらい

英語のリスニングに慣れることを目標にします。

講義の内容・授業スケジュール

教科書とCDを使って、英語を聞き取る練習をします。

履修上の留意点

授業では、学生にどんどんあててやってもらいますから、予習をしてください。二回目から教科書を使いますから、それまでに教科書を手に入れること。

成績評価の方法

平常点を考慮に入れ、前期末・後期末試験とともに総合的な評価をします。

教科書

James Bean『Listen to this! Intermediate リスニングスキルの総合演習 中級』(成美堂) 2,400円 ISBN4-7919-4579-4

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	相馬美明 そうま よしあき	経営A3・4年	2

講義の内容・授業スケジュール

I Aの英語を基礎として、様々な英語の運用能力(発話・読解・聴解)を身につける。また、様々な検定試験などにも対応すべく、TOEIC[®]、TOEFL[®]のリスニング・セクションの問題等にも触れ、聴解力を高めてゆく。

成績評価の方法

出席に関しては、基本的に全出席を期待し、前期・後期に行う試験、および授業で課すレポート、また授業態度等を総合的に評価する。

教科書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	河内賢隆 かわうち けんりゅう	経営A3・4年	2

講義のねらい

ここで扱われている題材は、さまざまなメディアから取った最新のものです。それを表現している語法も新しく、いわば生きた英語です。テープを多用しながら授業をすすめますので、耳の訓練も目指しています。

履修上の留意点

再履修クラスなので、出席と発表は重視します。

成績評価の方法

出席点+発表点=50点、残りの50点を二回のテストで評価します。とにかく真面目な授業態度で学習して下さい。

教科書

『メディア英語で読む現代社会2004』(金星堂) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	こ とも たけし 古 富 猛	経営A3・4年	2

講義のねらい

講座上の点で、英語を使える様な素養を身につけるべく方向付けて欲しい。情報伝達の発展した今日、その渦の中で冷静さを失うわけにはゆかないので、国際化の中、外国語習得は重要ではないかと思われる。

講義の内容・授業スケジュール

日本人の資質にそった習得法を私なりに実践している。そのやり方は最近、活躍している著名人のものと極めて酷似しており、自信を深めているので、講義中に話をしたい。テキストにも重点を置き、一年間、多読を目指したい。

履修上の留意点

最近とみに言われているが、学生諸君の学力低下の傾向は事実であると自らも、教壇で実感している。語学の習得は、本来地道な努力の積み重ねが、基本であることを認識してもらい、もう一度復習をしてもらいたい。

成績評価の方法

成績はあくまでもテキストによる予習発表を平常点とし、出席と前後期のペーパー・テストによって判断する。

教科書

テキストは教場にて指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	み うら まり 三 浦 眞 理	経営A3・4年	2

講義のねらい

英文法の基礎事項を学習し、日本人には分かりにくい点や、まちがいがやすい点を中心に学習し、文法的に誤りのない文が書けるように、豊かに表現できるようになることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にそって基礎的な英文構造、成句、熟語をできるだけ多く学習し、それを基礎にして英作文を色々工夫しながら作成してみたいと思います。そして、実際に活用できるように学習していこうと思います。

履修上の留意点

予習しておくこと。授業には必ず辞書を携帯すること。

成績評価の方法

テストは学習した章を中心に分割して授業時間中に行い、後期最後に総まとめ試験を実施します（授業時間中の小テスト重視）。評価は、3分の2以上の出席（厳守）、小テスト、授業中の発表（50～60%）及び後期試験の結果を入れて総合的に評価します。

教科書

Essential English Grammar for Writing (弓プレス) 1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	やま ぎし じ ろう 山 岸 二 郎	経営A3・4年	2

講義のねらい

英文構造の理解に努めつつ、いろいろな英文表現力の向上を計る。

講義の内容・授業スケジュール

「文法事項」に目を通してから「練習問題」「発展問題」更に「復習問題」へと学習をすすめる。

履修上の留意点

必ず予習をしておくこと。

成績評価の方法

平常の学習を重視する。前期後期のテスト、小テスト等総合して評価する。

教科書

『語順が身につく英作文』（朝日出版社）1,800円 ISBN4-255-15360-4C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡC(会話) 〔再クラス〕	ササキ, M.	経営A3・4年	2

(P.101) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡC(会話) 〔再クラス〕	ラッセル, S. J.	経営A3・4年	2

(P.101) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡC(会話) 〔再クラス〕	レイン, R. V.	経営A3・4年	2

(P.102) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡC(会話) 〔再クラス〕	ロビン, G. F.	経営A3・4年	2

(P.102) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡC(会話) 〔再クラス〕	ノーラン, D. J.	経営A3・4年	2

(P.102) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡC(会話) 〔再クラス〕	ハバード, W. D.	経営A3・4年	2

(P.103) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡC(会話) 〔再クラス〕	ロンゴ, T.	経営A3・4年	2

(P.103) 参照

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡC(会話) 〔再クラス〕	ヘラー, P. S.	経営A3・4年	2

(P.103) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅲ A 〔再クラス〕	おぶせ けいぞう 小布施 圭佐三	経営A4年	2

(P.104) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅲ A 〔再クラス〕	さとう こういち 佐藤 孝一	経営A4年	2

(P.104) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅲ A 〔再クラス〕	かづこ 甲斐捷子	経営A4年	2

(P.105) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅲ A 〔再クラス〕	ひろがわ ときむね 広川 治	経営A4年	2

(P.105) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅲ A 〔再クラス〕	やまぐち あきら 山口 晃	経営A4年	2

(P.105) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅲ A 〔再クラス〕	いとう みよこ 伊藤 美代子	経営A4年	2

(P.106) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅲ 〔再クラス〕 A	萩原 輝 <small>はぎ わら てる</small>	経営A4年	2

(P.106) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅲ 〔再クラス〕 A	落合 和昭 <small>おち あい かず あき</small>	経営A4年	2

(P.107) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅲ 〔再クラス〕 A	伊藤 幸一 <small>い とう こう いち</small>	経営A4年	2

(P.107) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅲ 〔再クラス〕 A	吉江 正雄 <small>よし え まさ お</small>	経営A4年	2

(P.107) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅲ 〔再クラス〕 A	高橋 寛 <small>たか はし ひろし</small>	経営A4年	2

(P.108) 参照

外国語

〔ドイツ語〕

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	柴野 博子 <small>しばのひろこ</small>	経営A2・3・4年	2

講義のねらい この授業は、初級文法の最も基本的な事柄のみを重点的に教え、ドイツ語の大枠がつかめるようにすることを目標にしています。

履修上の留意点 ドイツ語の勉強には、特に初級では、一步一步積み重ねて行くことが非常に大切です。従ってできるだけ休まずに出席することを希望します。

成績評価の方法 試験は、年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

教科書 大岩信太郎『ドイツ文法のかなめ（新装版）』（三修社）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	志真 斗美恵 <small>しまとみえ</small>	経営A2・3・4年	2

講義のねらい ABCの発音からはじめて、ドイツ語の初級文法の基礎を学習します。

講義の内容・授業スケジュール 教科書にしたがって、文法事項を説明した後、その内容を理解するための練習問題を課し、提出していただきます。（毎回実施）

履修上の留意点 さまざまな理由で再履修になった方たちが受講していると思います。授業に参加していれば理解できる内容です。休まず出席してください。

成績評価の方法 平常点（練習問題の提出、小テスト。重視）と前・後期試験で総合的に評価します。

教科書 西本美彦・西本アンゲリカ著『エクセ12——ドイツ文法』（朝日出版社）2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	本橋 右京 <small>もと はし うきょう</small>	経営A2・3・4年	2

講義のねらい 伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがって、やさしい文章にできるだけ多く触れることで、運用能力の涵養を期します。

講義の内容・授業スケジュール 文法を初めから復習し、ドイツ語の仕組みを把握します。これをドリル式練習問題で確実なものとしましょう。必要に応じて補助練習プリントを配布します。

履修上の留意点 予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法 前期・後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書 諏訪田 清 『新訂・ドイツ文法18歩』（同学社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	すぎもとまさとし 杉本正俊	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

ヨーロッパ文化の重要な一翼を担い、現代日本とも深いかわりを持つドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイスの一部など)の言語、ドイツ語を、発音、文法、語彙、文など様々な角度から学び、ドイツ語への入門を果たしてもらおう。授業の性質上、文法に重要な力点を置いた授業を行う。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に従った授業を行う。

履修上の留意点

予習より、授業中の集中力に重点を置いて要領良く学んで下さい。教師のことばにしっかり耳を傾け、よく理解する事が重要です。こちらも必要事項は学生が理解しているかどうかを確認しながら繰り返し説明するつもりです。

成績評価の方法

前後2回の期末テストも重要だが、授業にきちんと参加しているかどうかを非常に重視します。当てられた問いには必ず自分なりによく考えて答えを出して下さい。その際に、結果的に正しい答えを出したかどうかより、自分なりに考えて答えを出せたのかどうか、という点をより重視します。

教科書

藤代幸一・保阪靖一『ワンポイント・ドイツ文法』(郁文堂) 1,800円 ISBN4-261-01185-9

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	いいづかきみお 飯塚公夫	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

正規の授業と同じで、ドイツ語の基本を振り出しからやっていきますが、発音と内容の読み取りを重視します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書通りに、文法説明・発音練習・文章の読解といった手順でやっていきます。

履修上の留意点

出席しただけでは単位になりません。日常から頭をきりっとして生きている必要があります。あとはまじめであれば十分です。(授業中にものを飲んだり、ヘッドフォンを頭につけたまま、あとから教室に入ってくる神経には、ドイツ語のみならず、まともな知識は入っていかないでしょう。)

成績評価の方法

前期後期各一回の筆記試験と平常点 (= 発表点)。

教科書

大久保進他著『ポータルサイト：ドイツ語』(朝日出版社) 2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	野島 利彰 <small>の じま とし あき</small>	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

文法をある程度踏まえながら、耳からドイツ語を学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

付属のCDを自宅で聞いてあることを前提として授業を進めます。教室では音読と練習問題に答えてもらうことを主眼にします。3課に1回程度ヒアリングテストを行います。

履修上の留意点

練習問題がたくさんあります。よく予習をして答えられるようにしておいてください。

成績評価の方法

予習してあるか否か、2回の期末試験、ヒアリングテストなどを総合的に判断して成績を評価します。

教科書

荻野・ラープ著『ベルリン・キャンパスライフ』（朝日出版）2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	井村 行子 <small>い むら ゆき こ</small>	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎を復習します。

講義の内容・
授業スケジュール

文法事項を確認しながら、簡単なテキストを読んでいます。

履修上の留意点

なにはともあれ出席を心がけてください。

成績評価の方法

学期末に試験を行います。場合によっては授業内に小テストを行うかもしれません。

教科書

教科書販売時まで決定して、書店の方に連絡しておきます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	本橋 右京 <small>もと はし う きょう</small>	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがった、やさしい文章をできるだけ多く読み、運用能力の涵養を期します。

講義の内容・
授業スケジュール

文法を初めから復習します。文法によってドイツ語の仕組みを把握し、これをやさしいテキストで確認します。さらに多くの練習問題で理解を確実なものとし、できればユーモアに富む読章で、学ぶ楽しさを味わえればと願っています。

履修上の留意点

予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期・後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

春日正男 『トア！トア！トア！ーサッカーで学ぶドイツ語』（郁文堂）2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I C (会話) 〔再クラス〕	まつ おか すすむ 松 岡 晋	経営 A 2・3・4 年	2

(P.111) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 II A 〔再クラス〕	まつ おか すすむ 松 岡 晋	経営 A 3・4 年	2

外国語

講義のねらい

下に掲げた教科書を用いてドイツ語の現代文を読みます。ドイツ語の新聞、雑誌等を読むための基礎訓練になれば、と思っております。

講義の内容・授業スケジュール

教科書は、各課とも、現代ドイツの生活や社会に関する2～3ページのドイツ語の文章、関連する文法事項の説明および練習問題からなっています。ドイツ語の文章には注解も付いており、比較的容易に読みこなせるはずです。合計10章からなっていますので、各章を2～3回分の授業で終えることを一応の目安とします。

履修上の留意点

多少は予習をお願いいたします。また、毎回、独和辞典を持参してください。ドイツ語に限らず、外国語のテキストを読むには、最初のうちは時間と忍耐力が必要です。すぐに諦めないで、粘り強く続けてください。再履修となった理由のほとんどは、途中で勉強を諦め、出席しなかったことです。今年はそのようなことのないように切に願います。

成績評価の方法

成績評価は最低二回以上おこなう筆記試験の結果および平常点（出席率、授業に取り組む姿勢、分担箇所の和訳をきちんと準備したかどうかなど）によっておこないます。したがって、試験結果もさることながら、定期的出席、授業中の熱意なども重視します。

教科書

石井寿子ほか『時事ドイツ語 '03トピックス』（朝日出版社）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 II A 〔再クラス〕	おだ しげ み 織 田 繁 美	経営 A 3・4 年	2

講義のねらい

この授業は、ドイツ社会の身近な話題、様々なジャンルの分野を扱った文章に触れながら、初級文法を見ていこうというものです。

講義の内容・授業スケジュール

授業初めの30分、40分は授業で扱う分野の説明に当てるので、遅刻しないように留意して下さい。

履修上の留意点

一回一回の積み重ねがドイツ語の力になっていくので、授業を休まないようにして下さい。辞書を必ず持参のこと。

成績評価の方法

前期末、後期末のテストの外に、平常点が重視される。

教科書

プリントを授業の都度渡す。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語Ⅱ A 〔再クラス〕	くりはら かつ のぶ 栗原 万 修	経営A 3・4年	2

講義のねらい

再履修クラスなので、できるだけやさしく、わかりやすい授業にしたいと思います。ただし語学は継続的にやらないと習得できませんから出席を重視します。休まないように。

成績評価の方法

成績評価は、平常の小テストや宿題を中心に、授業中の学習意欲等も含め総合的に判断します。

教科書

テキストは特定せず、受講者の学力に合わせ、最適と思われる教材をその都度教場で配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語Ⅱ C (会話) 〔再クラス〕	の じま とし あき 野 島 利 彰	経営A 3・4年	2

(P.112) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語Ⅲ A 〔再クラス〕	もも ずみ いまむ 百 済 勇	経営A 4年	2

(P.112) 参照

〔フランス語〕

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A 〔再クラス〕	たけだ まさずみ 竹 田 正 純	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

フランス語の音を大切にしながら、基礎的な文法事項の修得を目指す。

履修上の留意点

文法事項などの小テスト、発音テストを毎授業おこなうので休まないこと。

成績評価の方法

上記テストのほか、前後期2度の試験をもとに評価する。

教科書

竹内信夫・工藤 進『フランス文法カレントパージュ』（白水社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A 〔再クラス〕	あしはら けん 芦 原 眷	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。

履修上の留意点

教科書と同時に辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。

教科書

野村二郎著『キャロット』（白水社）1,325円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A 〔再クラス〕	こだま なりお 小 玉 齊 夫	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

フランス語の規則を、しっかりと覚えていきます。辞書を活用し、読み方を確実にして、簡単なフランス語文を読み解けるようになることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

一回の授業で、一課を学習する、という速度で、進んでいきます。各課終了時に、まとめとしての小テストを行い、より確実な記憶・学習をめざします。

履修上の留意点

特別な事情がないかぎり、毎回必ず出席すること。知識の確認を、授業のたびごとに、行うこと。

成績評価の方法

上記の小テストならびに前期・後期の試験によって、判定します。

教科書

小畑・寺家村 著 『快速フランス語』（駿河台出版社）1,600円
ISBN4-411-00752-5 C1085

参考書等

辞書については、初めの授業時に、説明します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	とお やま ひろ お 遠 山 博 雄	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

基礎的な文法事項をきちんと身につけること。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに詳しい説明をし、その後で練習問題をやります。単純な事項から複雑な事項に順を追って進んでいきます。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、自分で問題に取り組む姿勢が必要です。遅刻をして説明を聞きもらさないこと。

成績評価の方法

2回ないし3回の筆記試験、動詞活用の小試験を行ないます。

教科書

佐藤久美子他著『フロレゾン』（白水社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	なに がわ か 谷 川 かおる	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

フランス語の基礎をゆっくりと学び直します。

講義の内容・授業スケジュール

文法の基礎を学んだ後に、なるべく数多くの練習問題を行い、基礎力を養います。毎回、小テストを行い、重要な項目を暗記します。

履修上の留意点

出席重視。辞書は毎回持参すること。

成績評価の方法

前期・後期試験、および小テストなど。

教科書

明石伸子著『パリで会いましょう』（白水社）2,200円

参考書等

授業中に紹介する。

その他

全員参加の演習方式ですので、積極的に参加してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	すが や さとる 菅 谷 暁	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

初歩のフランス語を、コミュニケーション能力の学習に重点を置いて勉強します。

履修上の留意点

休まずに出席すること、継続的な努力を望みます。

成績評価の方法

前期末と後期末の試験、および小テストによります。

教科書

藤田著『彼女は食いしん坊!』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	いま ぜき 今 関 アン	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

一年時に習得できなかった箇所を確実にものにし、フランス語検定4級程度の力を付ける。

講義の内容・
授業スケジュール

テープの聞き取り、単語調べ、その場での会話訓練および訳読、練習問題など。

履修上の留意点

3/2の出席は最低条件である。なお教科書・辞書も携行せず、漫然と椅子に座っていて出席点を貰おうなどと考えるのは言語道断である。予習し、積極的に授業に参加し、課題の提出を持って初めて出席と見なす。就職活動・疾病などでやむを得ず欠席する場合は、出席に相当する課題を出す。

成績評価の方法

2/3以上の出席 (25%) + 夏休みの課題『ふらんす夏休み学習号』白水社の実力テスト (25%) + 前・後期定期試験 (50%)

教科書

清岡智比古著『ボンボン・ショコラ』(白水社) 2,100円

参考書等

仏和辞典、『ふらんす夏休み学習号』(白水社) (7月中に大学内紀伊國屋書店で購入)
清岡智比古著『フラ語入門、わかりやすさにもホドがある』(白水社) 1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	こ だま なり お 小 玉 齊 夫	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

音としてのフランス語の習得を中心に、可能であれば、会話の基礎をつくりあげたい、と思います。

講義の内容・
授業スケジュール

一時間に一課という進度で、そのつど、確実に、表現のかたちを確かめていく予定です。前期に、まとめとしての試験、後期に全体の試験を行い、また、随時、知識確認のための書き取りを行います。

履修上の留意点

必ず毎回出席すること。文法事項よりも、フランス語表現のかたちを覚えること。授業ごとに必ず自分が発声するつもりで来ること。

成績評価の方法

前述の諸試験で総合的に判定します。

教科書

藤田 著『彼女は食いしん坊!』(朝日出版社) 2,500円
ISBN4-255-35151-1 C1085

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I B 〔再クラス〕	ほせがわ みつあき 長谷川 光 明	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

初級文法を復習しながら、フランス語の表現能力を徐々に高めていくことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。試験は前期二回と後期二回の計四回行います。

履修上の留意点

基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。

成績評価の方法

前期二回、後期二回の試験と平常点。

教科書

岩間直文『話したくなるフランス語 全面改訂版』（朝日出版社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I C (会話) 〔再クラス〕	さとう くみこ 佐 藤 久美子	経営A2・3・4年	2

(P.115) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 II A 〔再クラス〕	はた なか ちあき 畑 中 千 晶	経営A3・4年	2

講義のねらい

初級文法を復習しつつ、会話、和文仏訳の力を伸ばす。また、フランス文化について書かれた文章を読みながら読解力を高める。その際、音読できるようになることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

初回の講義の際に年間スケジュールを配布します。

履修上の留意点

自宅学習とクラスでの活動を連動させることで、力が伸びていきます。宿題には必ず取り組むようにしてください（CDを活用します）。

成績評価の方法

前期末試験30%、学年末試験30%、平常点（宿題、小テストなど）20%、夏期休暇の課題10%、出席10%。

教科書

澤田直之、リリアンヌ・ラタンジオ、黒川学著『アミカルマン—フランス語・フランス文化への誘い—（改訂版、CD付）』（駿河台出版社）2004年 2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語Ⅱ A 〔再クラス〕	ぬま くら ひろ 子 沼 倉 広 子	経営A3・4年	2

講義のねらい 辞書を使いこなして、文章を読む力をつける。

講義の内容・授業スケジュール 文化、地理などを題材にフランスの現在を知る。

履修上の留意点 文法の説明など随時行うので、休まないことが肝要。

成績評価の方法 前後期とも試験を行うが、平常点も重視する。

教科書 野村二郎著『フランス、言葉と歴史の旅』（第三書房）2,400円
ISBN4-8086-2099-5 C1085

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語Ⅱ A 〔再クラス〕	はせがわ みつ あき 長谷川 光 明	経営A3・4年	2

講義のねらい ビデオ教材を用いながら、フランス語初級文法を復習していきます。

講義の内容・授業スケジュール 下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。試験は前期と後期二回行います。

履修上の留意点 基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は毎回持参してください。

成績評価の方法 前期後期試験および平常点。

教科書 中山真彦他『ボンジュール・パリ』（白水社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語Ⅱ C (会話) 〔再クラス〕	くわ た のり あき 桑 田 禮 彰	経営A3・4年	2

(P.116) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語Ⅲ A 〔再クラス〕	まえだのりかず 前田 祝一	経営A 4年	2

外国語

講義のねらい	テキストを講読しつつ、フランス文化の理解が広がり、深められればと願っています。
講義の内容・ 授業スケジュール	3年目のフランス語の学習ですから、初級・中級の勉強がある程度完了していることを前提にしています。
履修上の留意点	初級フランス語の単位の取れていない人、あまり自信のない人は、自分で参考書などを入手して、勉強をやり直す決意でいて下さい。
成績評価の方法	前・後期のペーパー・テストを中心に成績評価しますが、出席状況・授業中の課題も考慮します。
教科書	フロベール作・斉藤昌三編『純な心』（白水社）1,260円

[中国語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	江 ^{こう} 林 ^{りん} 英 ^{ひで} 基 ^{もと}	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

授業は発音とピンイン表記を再学習後、各課の文法を解説しながら本文と会話の文型を説明し、学生諸君に順番に朗読させ、正しい発音と声調を求める。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは中国人が日常生活でよく使用する単語と簡単な文型を内容とするものであり、全20課、各課の本文のあとに基礎文法の解説と会話の例文を付してある。その内容も易から難へと自然な順序で配列されている。

成績評価の方法

小テスト、宿題、年2回の定期試験及び出席状況と学習態度を総合して判定する。

教科書

上野恵司『標準中国語（基礎編）』（白帝社）2,000円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	戸 ^と 張 ^{ばり} 嘉 ^{よし} 勝 ^{かつ}	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

中国語の発音と基礎的な文法（文型）・会話を修得する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①中国語と日本語との異同を簡単に解説し、学習上の注意事項と学習要領を認識する。
- ②発音と声調の反復練習によって正確な発音を覚える。特に日本語にない発音や発音上の約束事を徹底して練習する。
- ③基礎的な文法（文型）や実用会話は教科書の展開に沿って行なう。

成績評価の方法

前期と後期の中間試験、前期と後期の期末試験、授業態度や発表などの平常点と出席率によって評価する。

教科書

劉郷英・嘉瀬達男・豊後宏記著『中国語精選サラダ（単語と基本文型）』（朝日出版社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	杉 ^{すぎ} 山 ^{やま} 静 ^{やすし}	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

本講義は初級中国語の修得を目的とする。中国語の基礎的なものの履修を通じて、基本的な中国語の学力、読む、聞く等の力の育成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

最初の2～3週間は、中国語の最も重要かつ基本的な拼音・発音の知識について集中講義を行う。

発音の力を付けてから、教科書内の基礎句型、更に常用語彙等を重点的に授業を進めながら、簡単な文法の知識も講義に含まれる。

履修上の留意点

中国語の発音を学ぶには必ず“漢語拼音方案”という北京語の音声のローマ字綴りのシステムの勉強に力を注ぐべきである。それに漢字の簡体字や発音、意味等に留意し、日本の漢字と比較して見ること。

成績評価の方法

出席率を高く評価するが、授業に臨む態度も評価のポイントとなる。
年間約3回の筆記試験；前期末、中間試験と年末のテストを予定している。外に発音テストを1回行う。

教科書

渡辺晴夫・徐祖瓊著『はじめて習う中国語』（白水社）2,100円

参考書等

辞書を用意する必要がある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	佐藤 普美子	経営A2・3・4年	2

講義のねらい 中国語の基礎になる発音、語彙、基本文法をしっかりと身につける。中国式ローマ字表記（ピンイン）を正確に読み、書けるようにする。

履修上の留意点 授業時は、耳、口はもちろん、手もフルに活用して言葉の整理定着をはかるので、気力及び体力がないと継続受講は難しくなるだろう。覚悟が必要。私語厳禁。

成績評価の方法 学期末テストも行うが、小テスト、平常点（出席、授業時の意欲）を重視する。

教科書 戸沼市子ほか『縁日はとてにぎやか』（郁文堂）2,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	塩旗 伸一郎	経営A2・3・4年	2

講義のねらい とにかくピンインを声に出して読めるようになろう。そして中国語の音声的魅力を体感するとともに、その構造的特徴や文化的表現、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解し、私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすことが目的。

講義の内容・授業スケジュール 音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の約半分は音声により出題する。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを行う。

履修上の留意点 携帯電話&メールの電源を切らぬ者は、そこにいないのと同じ。退席を命じ、欠席扱いとする。

成績評価の方法 定期試験+小テスト+平常点-欠席点。
欠席は前期・後期それぞれ3回目から10点づつ減点。遅刻は2回で欠席1回に相当。

教科書 戸沼市子他『縁日はとてにぎやか』（郁文堂）2,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	根岸 政子	経営A2・3・4年	2

講義のねらい 中国語の発音と基本文法を習得する。

履修上の留意点 最初の3、4回は中国語の発音を中心に進めるので、必ず出席すること。やさしい教科書なので、3回に2課のペースで進む。学習したことが力になっているかを確認するために随時小テストを行う。
第1時限の授業であるが、遅刻をせずに、きちんと4分の3以上出席すること。

成績評価の方法 前期後期のテスト、小テスト、出席状況などで評価する。

教科書 徐祖瓊著『はじめて習う中国語』（白水社）2,100円（CD付）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	さくらば かずのり 櫻庭和典	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

日常生活でよく使う表現を選び、実生活に役立つ基礎的な中国語会話の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

始めは、発音（四声）・ピンイン表記（中国式ローマ字）の習得に重きをおき、初歩的な語法にはいり、平易な文型を通して表現力を高める。中国語文の反復・応用練習・暗誦により基礎語学の向上を計る。

履修上の留意点

授業の開始までに、教科書を必ず購入すること。

成績評価の方法

平常評価（授業態度・出席日数）、小テスト、学期末テスト（前期、後期各一回）出席日数の足りない場合受験資格を失うため注意すること。欠席・遅刻は日数により減点する。

教科書

小川郁夫著『中国語初級対話64』（白帝社）1,550円

参考書等

辞書は当分必要ないが、必要になったら授業のなかで紹介する。

その他

授業中の私語は厳禁とする。携帯電話の電源は必ず切っておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	そう たい わ 曹泰和	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

バラエティに富む楽しいテキストで、実際に役立つような会話文を習う。基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。

履修上の留意点

元気よく、積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。

教科書

相原茂・陳淑梅・飯田敦子『恋する莎莎』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	むら まつ てつ ふうみ 村松哲文	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

中国語で簡単な日常会話ができ、平易な文章が読めるようになることを目標に、基本的な短文の暗記と徹底した発音訓練をする。

講義の内容・授業スケジュール

はじめは発音をマスターするために、中国語の発音表記（ピンイン）を反復練習し、その後、文法事項を確認しながら多くの文章を読みこなしてゆく。

履修上の留意点

授業は真剣勝負の時間である。特に語学は積み重ねが大切なので、真摯な態度で授業に臨むこと。

成績評価の方法

前期・後期の試験、授業中の小テスト、出席率などを総合評価する。

教科書

陳洲拳・劉光赤・水野麗子編著『耳留学中国語』（陸美出版）2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	み たむら けい こ 三田村 圭 子	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

中国語の発音と文法の基礎を短い文例を学びながら、習得する。

講義の内容・授業スケジュール

最初の2ヵ月は、「ピンイン」の表記と、発音を中心に進める。その後は、配布するプリントと練習問題で文法の基礎を固める。

履修上の留意点

前回の失敗を繰り返さないこと。宿題は毎回提出すること。

成績評価の方法

前期・後期テストと2回の中間テストを行う。また、5題ほどの小テストを6回行い、出席等と合わせて評価する。

教科書

讀井唯允『着実にまなぶ中国語 入門編』（朝日出版社）2,300円

参考書等

第1回の授業時に。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	お がわ たかし 小 川 隆	経営A2・3・4年	2

履修上の留意点

発音と文法の基礎をゼロから学び直す。1年生のとき、なぜ失敗したか、自分でその原因をしっかりと反省して授業にのぞむこと。やり直しだからといってしよげる必要はないが、同じ失敗はくり返さないでほしい。授業ではまったくの基礎からていねいに学び直すので、やり直しの良い機会だと考えて、前向きに取り組みたい。

成績評価の方法

年間4~5回のテストと平常点。出席是最重視。必ず第1回の授業から出席すること。当たり前だが、遅刻・私語は厳禁。とくに卒業年次生は必ず初回に指示を受けること。

教科書

楊凱榮・張麗群『中国語への船出』（朝日出版社）2,200円（CD付）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	こ ぎょく か 胡 玉 華	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

- (a) 中国語の発音の方法、中国式ローマ字の発音表記（ピンイン）を理解しながら、繰り返し聞き発音し、中国語の発音の仕方を修得する。
- (b) 音声を通して、基礎的な単語や単語の結び付き方、配列順序、基本的な文句や表記を学ぶ。
- (c) 簡単な文章や会話を「聞き」・「話す」基礎力を養成する。
- (d) コトバだけでなく、コトバの勉強を通して中国或いは中国文化への理解を高める。

講義の内容・授業スケジュール

前期の前半は、発音の修得が中心となり、ピンイン表記の通りに正確な発音ができるようにする。後半は、発音を復習しながら、本文を通して簡単な日常会話をできるようにする。後期は、本文の学習によって、初級レベルに相当する語彙、文法を修得し、聞き、話し、読み、書く能力を総合的に身につけることを目標とする。

成績評価の方法

平常の学習態度、成果を重視し、各期末のテストとあわせて評価する。より楽しい授業を目指すため、授業の出席率と授業中の積極性を高く評価したい。

教科書

渡辺晴夫・徐祖瓊著『はじめて習う中国語』（白水社）2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	ひろ かね かなこ 弘 兼 加奈子	経営A2・3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

当初は、発音や基本的な文法の内容の確認を行なう。学生の理解度をみながら、ゆっくりと進めていく予定である。

履修上の留意点

中国語が苦手な学生も、とにかく欠席せず積極的に授業に参加してほしい。

成績評価の方法

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

八木章好・鄭麗媚『はじめての中国語 ぶうとんほあ』（朝日出版社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	らん めい 蘭 明	経営A1年	2

講義の内容・
授業スケジュール

前期は最初の一ヶ月において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語 北京篇1』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I C（会話） 〔再クラス〕	あきもと たすく 秋 元 翼	経営A2・3・4年	2

(P.121) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I C（会話） 〔再クラス〕	く どう き え 工 藤 早 恵	経営A2・3・4年	2

(P.121) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ A 〔再クラス〕	ひら いし よし こ 平 石 淑 子	経営A3・4年	2

講義のねらい

中国語の基礎を確認しながら、やや長い文章に慣れると同時に、それを通して現代の中国に対する知識を深める。

講義の内容・授業スケジュール

現代の中国事情に関する知識を深められるようなテキストを選び、発表形式で講読を進める。

履修上の留意点

①四分の三以上の出席を求める。②必ず予習・復習をすること。③授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

小テスト、レポートなどを含む平常点、及び期末試験による。

教科書

磯部祐子・郭明輝著『中国語で中国を読む』（白帝社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ A 〔再クラス〕	いわ さま ひろし 岩 崎 皇	経営A3・4年	2

講義のねらい

中国語の文章を読むための文法知識の獲得及び語彙量を増やすことが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、始めに本文を各自訳してもらった後、解説をするという形になります。単語のプリントを配布しますが、まず自分で訳さなければなりません。その際、疑問点は自由に質問して構いません。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、クラブ活動等）により欠席する場合でも、6回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。

成績評価の方法

試験の成績により評価します。試験は前期2回、後期2回行う予定です。

教科書

原田松三郎『エベンディのとんち話』（金星堂）1,850円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ A 〔再クラス〕	おおくぼ あさお 大久保 明 男	経営A3・4年	2

講義のねらい

中国語の「聴く」「話す」「読む」「書く」、各方面のバランスのとれた表現力を身につけることを目指す。

履修上の留意点

積極的に授業に参加すること。毎回予習、復習すること。

成績評価の方法

出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。

教科書

尹景春・竹島毅『中国語さらなる一歩』（白水社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡC（会話） 〔再クラス〕	あまのせつ 天野節	経営A3・4年	2

(P.123) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅢA 〔再クラス〕	あまのせつ 天野節	経営A4年	2

(P.123) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅢA 〔再クラス〕	おうそ 王聡	経営A4年	2

(P.123) 参照

外国語

[スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	ま しょう いう いち 真 下 祐 一	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

世界中で用いられているスペイン語の初歩を学びます。読み書きの練習を通し文法や語彙に関する知識を少しずつ蓄えていながら、正確な発音で生き生きとした表現ができるよう、また話し相手の言うことが確実に理解できるよう、総合的なスペイン語能力の開発を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1) アルファベット・文字と発音 (2) 人称代名詞 動詞SER (3) 冠詞 形容詞 (4) 動詞ESTAR・1 (5) 動詞ESTAR・2 (6) 時間・曜日・日付 (7) 規則動詞 (8) 動詞IR (9) Yoの活用が不規則な動詞 (10) 天候の表現 (11) 目的語人称代名詞 (12) 現在分詞 時の経過の表現 (13) 試験
後期 (14) 語根母音変化動詞 (15) その他の不規則動詞 (16) 動詞GUSTAR (17) 比較 (18) 再帰動詞 (19) 不定主語文 (20) 命令1 (21) 命令2 (22) 過去未来形 (23) 現在完了 (24) 感嘆文 (25) 試験

履修上の留意点

初級の授業ゆえ根気よく勉強を続ける必要があります。学習の動機を保てるよう常日頃スペイン語圏のニュースに注意していきましょう。また、大きな声ではっきりと話す習慣が身につくよう積極的な姿勢で授業にのぞんでください。毎回かならずあたります。練習用プリントも随時配布するのでファイルを用意しておくこと。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストの結果で評価します。

教科書

上野勝広 『新世紀のスペイン語』(同学社)

参考書等

西和辞典を一冊。『改訂版現代スペイン語辞典』(白水社) など。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	おお いわ いさお 大 岩 功	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

文法事項の解説を演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点

予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、かならず予習をして授業に臨むよう心がけてください。予習して損をすることは絶対にありません。なお、授業には辞書を必ず持参してください。

成績評価の方法

数回のテストと日頃の出席状況、受講態度を総合して評価します。

教科書

寿里順平他著『スペイン語-基礎と演習-』(教材マルコ社)
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

辞書
有本紀明編『西和辞典』(白水社) 4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社) 4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』(研究社) 4,860円
桑名一博編『西和中辞典』(小学館) 6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	うえ の かつ ひろ 上 野 勝 広	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

スペイン語の基礎（発音、文法、語彙）を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課～6課まで、後期は7課～12課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。

履修上の留意点

少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。
また最低限の復習も欠かせません。

成績評価の方法

年間4回のテストの結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。

教 科 書

小池和良・上野勝広『太郎と学ぶスペイン語』（朝日出版社）2,100円

参 考 書 等

初回の授業で紹介します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教 科 書

開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	みやち たつろう 宮 地 達 郎	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

スペイン、中南米の国語スペイン語は国連の公用語6ヶ国語の一つでもあり、米国ではヒスパニックの人口比率が黒人を抜き最大となっている。米国におけるスペイン語の必要性は現在でも大きく、さらに増大することは必至である。従って、国際社会におけるスペイン語の重要性を認識させ興味を持続させることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

基礎文法の徹底が目的。前期は英語との違い、特に性数一致、動詞の変化（現在形）に重点を置く。後期は過去形、未来形、できれば接続法まで入ることが目的。

履修上の留意点

欠席が多い場合、前回の授業内容が分からなければ、その回の授業についていけなくなる。スペイン語は他の外国語より易しいという先入観を持ったり、英語が苦手だからという簡単な理由で受講しても単位取得は簡単ではないことを認識して受講してほしい。

成績評価の方法

出席率、授業中の態度、テストの3点を総合して評価する。

教科書

宮本博司著『ようこそスペイン語の世界へ』（大学書林）

参考書等

推薦辞書：『現代スペイン語辞典（西とおよび和西）』（白水社）
『スペイン語ミニ辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	おぎの めぐみ 荻 野 恵	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

スペイン語文法の基礎を固めると同時に、イベリア半島の文化に関する平易な文章を通じて講読力を培う。

成績評価の方法

成績は出席、課題、年2回のテストを総合して評価する。

教科書

荻野・浜岡『イベリア文化への誘い』（大学書林）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	ナバロ, ホワン J.	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

よく用いられる規則動詞、不規則動詞の活用、定冠詞、不定冠詞、主格および目的格人称代名詞といったスペイン語の基礎を学びます。授業中にプリントを配布します。各課短い読解が最初にあり、次に文法のまとめと練習、最後に会話の練習です。

成績評価の方法

各回におわりに小テストを行います。その結果の集計により評価します。特別試験も実施します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	佐藤 麻里乃	経営A2・3・4年	2

- 講義のねらい

 文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。
- 講義の内容・授業スケジュール

 教科書にそって解説を行い、関連する練習問題を解いて提出後、答え合せをする。性数変化、動詞の変化（現在形・過去形）、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。
- 履修上の留意点

 教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。授業時の提出物により評価するので、欠席をしないこと。
- 成績評価の方法

 提出物の出来具合により評価する。
- 教科書

 未定
辞書『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）
- 参考書等

 宮本博司『超入門スペイン語』（大学書林）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠC(会話) 〔再クラス〕	ルイズティノコ, C.	経営A2・3・4年	2

(P.127) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA 〔再クラス〕	福本 久美子	経営A3・4年	2

- 講義のねらい

 基礎文法を一通り終えることを目標とする。
- 講義の内容・授業スケジュール

 始業時に、「授業方針」のプリントを配布する。
- 履修上の留意点

 初心に戻り、やる気を持って授業を受けていただきたい。始業時は必ず出席して欲しい。
- 成績評価の方法

 前・後期テストと、授業時の小テストの合計に拠る。
- 教科書

 西川喬著『やさしく くわしいスペイン語の基礎』（第三書房）2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA 〔再クラス〕	おお いわ いさお 大 岩 功	経営A3・4年	2

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

教科書

寿里順平他著『スペイン語－基礎と演習－』（教材マルコ社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

辞書
有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA 〔再クラス〕	かの やま こう いち 亀 山 晃 一	経営A3・4年	2

講義のねらい

基礎的な文法知識と日常会話によく出て来る表現を確実に身に付け、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って困らない為のコミュニケーション能力を養成する。演習の機会を多くすることにより習得した知識を定着させる。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡC(会話) 〔再クラス〕	ま しも ゆう いち 真 下 祐 一	経営A3・4年	2

(P.128) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅢA 〔再クラス〕	ま しょう ゆう いち 真 下 祐 一	経営A4年	2

(P.128) 参照

外国語

〔ロシア語〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語 I A・I B 〔再クラス〕	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つ型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボディ・ランゲージを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしくないことが大切。

講義の内容・ 授業スケジュール

前期は発音、イントネーションに力点をおき、後期はやさしい短文の聞きとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教 科 書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円

参 考 書 等

『露和辞典』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語 I A・I B 〔再クラス〕	さ の あま こ 佐 野 朝 子	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいます。
会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教 科 書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A・I B 〔再クラス〕	木村英明	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいます。
会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A・I B 〔再クラス〕	安徳 二一	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

基本的な文法、発音、読み、書き、が出来る事を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に基づいて講義を進める。

履修上の留意点

要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法

講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教科書

桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I C (会話) 〔再クラス〕	佐野朝子	経営A2・3・4年	2

(P.131) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語Ⅱ A 〔再クラス〕	高木美菜子 <small>たかぎ みなこ</small>	経営A3・4年	2

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

プリント配布。

参考書等

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語Ⅱ A 〔再クラス〕	クロチコフ, Y.	経営A3・4年	2

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

プリント配布。学生の学力に応じて教科書を選びます。

参考書等

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語Ⅱ A 〔再クラス〕	安徳 二一 <small>あん とく</small>	経営A3・4年	2

講義のねらい

一般的な文法、発音、読み、書き、ができる事を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に基づいて講義を進める。

履修上の留意点

要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法

講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教科書

桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡC(会話) [再クラス]	クロチコフ, Y.	経営A3・4年	2

(P.132) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅢA [再クラス]	クロチコフ, Y.	経営A4年	2

(P.132) 参照

外国語

《選択科目》

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 文 講 読	はやし 林 明 人	経営A選	4

講義の内容・
授業スケジュール

現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから鑑賞できるようになれば幸いです。

成績評価の方法

試験、発表、レポート、出席の総合評価。

教 科 書

教員が作成したものを用います。

外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 文 講 読	や 矢 島 直 子	経営A選	4

講義のねらい

イギリス現代戯曲を読んで、現代の英語に慣れるとともに、想像力を働かせて読むことを学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストとして使う戯曲を、きちんと読んでいきます。

履修上の留意点

ほぼ毎回あたりますから、必ず辞書をよく引いて予習をしてください。教科書の手配は、出席する学生数を確認してからなので、初回の授業から出席してください。教科書が書店に入るまで、プリントで授業を行ないます。

成績評価の方法

平常点を考慮に入れ、前期末・後期末試験とともに総合的に評価します。

教 科 書

Anthony Neilson, *The Lying Kind*, Methuen, £7-99, ISBN0-413-77314-0

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 文 講 読	まさ 牧 の 野 輝 良	経営A選	4

講義のねらい

英語の長文の内容理解に努める。

講義の内容・
授業スケジュール

英文の構造をしっかりと学習し、毎時間3頁読み進めることを目安とする。

履修上の留意点

テキストの文章がかなり長いから、履修者は指名されたら内容の発表、和訳が出来るようによく自習しておくこと。

成績評価の方法

授業中の発表、和訳、期末テストを総合的に評価するが、英語の理解力に力点をおく。

教 科 書

『真の国際化とは』(成美堂) 980円 ISBN4-7919-1236-5C1382

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語研究	竹村 恵都子	経営A選	4

講義のねらい

今後の情報化時代に伴い、世界の動きに目を向け、国際社会の実状を的確に把握する必要があります。本授業では、基礎的な英語力を土台に、英文ニュースを学びます。新聞に使用される英語表現は、斬新な語句やイディオム、字句の省略など様々な特徴があります。日頃から内外の英字新聞を読むよう心掛けて下さい。十全な予習を望みます。

成績評価の方法

評価は前期・後期の試験を主とし、平常点（授業態度・発表も含む）、出席率及びレポートなどを総合的に判断し評価します。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語研究	林 明 人	経営A選	4

講義のねらい

CNN, Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読みます。尚、履修希望者が70名を越えた場合は、4月の第1回目の授業で抽選となります。

成績評価の方法

試験、レポート、出席の総合評価です。

教科書

教員が作成したものを用います。

参考書等

Sanseido's Dictionary of News English（三省堂）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語研究	岸本 茂 和	経営A選	4

講義のねらい

racism（人種差別主義）、sexism（性差別主義）、ethnicity（少数民族）などを鍵のことばとして、現代アメリカを読みときつつ、“September 11, 2001”——2001年9月11日の、あの悲劇の日までいたる。

講義の内容・授業スケジュール

「研究」と銘打っているが、いわゆる講義ではなくふつうの英語の授業だ。

履修上の留意点

授業にはかならず英和辞書をもってくる。テキストの英語はそうとう密度が高いのでその点を留意しておくこと。

成績評価の方法

試験は、前期・後期の2回。出席はとる。欠席が授業日数の3分の1をこえたばあい「不可」とする。

教科書

『現代アメリカの〈美德〉』（朝日出版社）1,400円

その他

受講者は70人を上限とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	たんじひろまさ 丹治弘昌	経営A選	4

講義のねらい

時事英語の講座を担当してまず痛切に感ずるのは、学生の修得している語彙と実際に新聞、雑誌あるいは放送においてニュースに使われる英単語の間にはかなりの差があることである。これは習得語彙の量的な不足もさることながら、質的な面での個々の単語の意味を包括的にとらえていないことからきていることと思われる。一つの単語について一つの語義をもって事足りると思ひ込んでいたり、また頻度数の低い意味にこだわって、ニュース全体の意味を取り違えたりすることが良く見受けられる。そこで時事英語の単語を段階的に、同時にジャンル（分野）ごとに分けて、かなり整理してみることにした。時事英語というと、むやみに英単語を暗記し、語彙数をふやさなければならないと思われがちだが、むしろ基礎的な語彙の活用や応用に習熟し、簡単なコメントを表現できることから始めて、段階的に語彙修得を重ねていって、質と量の両面から時事英語の学習をすすめることが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席とそれぞれの期末テストによって行います。

教科書

『よくわかるニュース英語』（朝日出版社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	やしまなおこ 矢島直子	経営A選	4

講義のねらい

時事英語の読み方を学び、慣れることを目標にします。

講義の内容・授業スケジュール

教科書で時事英語を読み、記事の内容・構成を学びます。慣れてきたら、時に、英字新聞の記事も使います。

履修上の留意点

学生にどんどんあててやってもらいますから、必ず予習をしてくること。学生にあててやってもらいために、一クラスの人数を60名までとしますから、初回の授業に必ず出席してください。できれば初回から教科書を持ってくること。

成績評価の方法

平常点を考慮に入れ、前期末・後期末試験とともに総合的に評価します。

教科書

馬場彰、佐藤和哉『Current English (『時事英語2004/2005年版』)』（成美堂）1,800円 ISBN 4-7919-4826-2

科目名	担当者名	配当学科	単 位
マルチ・メディア	おほばなおき 大庭直樹	経営A年	2

講義のねらい

このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。
 第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいく、ことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。
 第二の課題は、研究、文献・資料整理等、カード型のデータベースの作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。具体的には、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使い、自分用の英語彙データベースをつくる。
 第三の課題として、Wordと電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。
 第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらおう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
マルチ・メディア	おちろ あい かず あき 落合 和 昭	経営A選	2

講義のねらい

このクラスにタイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級（二級、準一級）程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC[®]、TOEFL[®]、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、ヒヤリングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、ヒヤリングを向上させる。第二段階は、その会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞（せりふ）を再現しながら、会話練習をする。授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

履修上の留意点

このクラスの受講生はすでに口語英語を一年以上学んでいることが望ましい。始めて口語英語を学ぶ学生には、かなりつらい授業になるかもしれない。課題、小テスト、授業中の発表等で、かなりのことを要求するので、そのつもりで受講するように心がけてもらいたい。また、受講を希望する学生は、最初の授業の時に、必ず、担当者の許可を得なければならない。教場は40名しか入れないLL教場を使用するので、40名以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

定期試験が全評価の40%とする。その内訳は前期試験が10%（現代口語英語の和訳と会話英作文）、後期試験は30%（ヒヤリングが10%、会話英作文が20%）である。課題、小テスト、授業中の発表は60%とする。課題は、一回の量はそれほど多くはないが、年に20回程度（ちなみに、去年の場合は、約15回だった）、小テストは5～10分程度のものを10回程度（去年は8回）、授業中の発表、一回の授業に、全員が最低一回は当てるように努める（去年の場合は、一人約20回）。出席率が3分の2を超えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

- 1) 『句動詞の実用総合演習』（マクミラン）1,650円 ISBN4-89585-108-7C3082
- 2) 『スモーク』（松柏社）1,750円 ISBN4-88198-457-8C3082
- 3) 『Oxford Phrasal Verbs Dictionary for Learners of English』（オックスフォード大学出版局）2,200円 ISBN0-19-431543-6

科目名	担当者名	配当学科	単位
マルチ・メディア	にしむらゆうこ 西村 祐 子	経営A選	2

講義のねらい

インターネットやオーディオビジュアル機器を使用して、英語とコンピュータ操作の初歩を身につけるクラス。

講義の内容・授業スケジュール

- 4-7月：インターネットによる英語サイトを利用した読解・作文。
- 9-12月：英語によるプレゼンテーションをまとめたビデオをコンピュータで製作。

履修上の留意点

あくまでも英語のクラスなので、コンピュータソフトについて詳しく学ぶよりも英語習得をめざす学生の履修を進める。

成績評価の方法

平常点（出席点、提出物など）で評価。定期試験は行わない。

教科書

教場にて指定。

参考書等

特になし。

英 会 話 II

〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の日安は英検準1級合格、TOEFL®のスコア480点、TOEIC®のスコア700点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	ジトウィッツ, P. D.	経営A 2・3・4選	2

講義のねらい

To build upon the skills mastered in English 1 by giving students intensive practice in listening, reading, writing and speaking.
 To help students learn techniques for increasing their vocabulary and their reading skills.
 To help prepare students who are interested in advanced English study for my advanced or study abroad.

講義の内容・授業スケジュール

Students will participate in debates, prepare speeches and practice scenes from plays and films.

成績評価の方法

Students are expected to attend at least 80% of all classes and to positively participate in class.

教 科 書

The Spirit of Broadway, The Spirit of America—An Introduction to the Broadway Musical by Philip Zitowitz, Eihosha, 2000.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	プラスキー, J. C.	経営A 2・3・4選	2

講義のねらい

The goal of this course is for students to begin to express themselves beyond the basic level of proficiency about themselves and other topics about which they are familiar.

講義の内容・授業スケジュール

This class will primarily consist of student discussions about themselves, school, family and friends. Emphasis will be placed on the exchange of information and the negotiation of meaning. These activities will be supplemented with grammar, pronunciation, intonation, stress and rhythm exercises as well as listening practice.

履修上の留意点

Students will be required to complete homework assignments before each class.

成績評価の方法

Students will be evaluated on the basis of class participation (50%), homework (30%) and a final oral test (20%) given during the last class meeting.

教 科 書

None.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II (夏季集中)	ピアス, D.M.	経営A2・3・4選	2

外国語

講義のねらい

This is a special intensive class for English conversation that advances students to a high level of speaking ability within a short period of time. It provides continuous conversational practice in quotidian conversational situations. It supplies special vocabulary and speech patterns for every sort of circumstance such as travel, banking, telephone, business exchange, etc. To the purpose of high scores in the important examinations intensive weekly review will be made of the major language aspects tested in TOEFL®, EIKEN, and TOEIC®. English composition and listening comprehension will be practiced by means of having students correct and improve materials they themselves have produced. The core of class activity will consist in accelerated practice in conversation. The method of the course is to render students active throughout the ninety minute period. Students will have opportunity to carry on intelligent dialogues about interesting topics at a level above ordinary conversation. The advanced conversation practice is especially good for students who need to show their English speaking ability when searching for employment. Short lectures will be given on sociological contrasts between Japan and America, following which students will develop personal reactions to the ideas conveyed in those topics.

履修上の留意点

ATTENDANCE: Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter - grade less than what the student would otherwise have received.

EXAMINATIONS: Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

GRADING: Your final grade is the quality of the employment that you can final after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for a job; you will be able to get better employment if you improve your English this year. This is an extremely important point; you are taking a high-quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Your academic grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A," because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

We will probably use *Social Practices*, publisher Themis Research Group, by Adam Pelagius, 2003, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or an electronic dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

授業日程

前半	1	2	3	4	5	後半	1	2	3	4	5
8月2日 月	○	○	○	○	○	8月20日 金					
8月3日 火	○	○	○	○	○	8月23日 月					
8月4日 水	○	○	○	○	○	8月24日 火					
8月5日 木	○	○	○	○	○	8月25日 水					
8月6日 金	○	○	○	○	○	8月26日 木					
8月9日 月	○	○	○	○	○	8月27日 金					

英 会 話 Ⅲ

〈英会話Ⅲの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを習得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFL®のスコアー500点以上、TOEIC®のスコアー900点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ	ウェルズ, J. K.	経営A 2・3・4選	2

講義のねらい

Welcome to my class! This is not a class to be shy. It is a chance to speak openly.
Students must have taken English conv. II to be a member of the class. A short interview will be given the first day of class. If you speak well already, please join the class and get better attendance is important!
I'm waiting to meet you and to improve your English. . .

成績評価の方法

However, attendance is very important! Small tests and quizzes will also be given.
LET'S HAVE FUN

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ	ラーズ, R.	経営A2・3・4選	2

外
国
語

講義のねらい

The goal of this class is to give students fluency and confidence in English conversation by developing listening skills, and by discussing simple to moderately abstract / complex subjects. Students read stories and articles and extrapolate content verbally through questions and answers. Special attention is given to improvement in pronunciation and grammar.

講義の内容・
授業スケジュール

Conversations using present, past and future tense: talking about oneself, other people, families, one's likes and dislikes, professions and neighbors; forms of communication and communities around the world, cultural patterns and traits, travel; human interests and hobbies, habits, possessions; going shopping, shopping districts and specialties, currencies and numbers; crime; asking and giving directions; feelings and needs, etc. Some introductory explanation of word roots, English slang and commonly used phrases.

The class meets once a week for 90 minutes. After roll call, students follow the text that has a number of stories or essays with questions and answers and grammar exercises. Additional vocabulary is introduced and explained. After modeling a few examples, the text is discussed through pair-work and group-work. To enhance listening skills 'conversations on tape' are played. Students listen and answer relevant questions. Homework consists of revising, memorizing new vocabulary, written assignments and completing exercises in the Workbook. Extra materials including vocabulary and conversation games, and grammar exercises are used in addition to the text.

履修上の留意点

Students must be punctual. They must bring their Textbooks and Workbooks for every class. They should be ready for unannounced quizzes and tests.

成績評価の方法

There is no final exam. Students will be marked for (i) Speeches (on predetermined topics) and answering questions on the speech (ii) written tests and papers (iii) effort and class participation (hard work and improvement over the year). Students absent for more than 2/3 of the year will fail the course.

教 科 書

I) *New Headway English Course Pre-Intermediate Student's Book* by John and Liz Soars. Published by Oxford University Press. ISBN#0-19-436670-7

II) *New Headway English Course Pre-Intermediate Workbook* by John and Liz Soars. Published by Oxford University Press. ISBN#0-19-436672-3

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ (夏季集中)	レーン, C. M.	経営A 2・3・4選	2

講義のねらい

The main aim of this class is to help students take control of their own learning and to help them gain confidence speaking English in front of groups of people. This will be achieved through presentations and small group discussions. The course will also concentrate on cultural and/or controversial issues and will teach the students to view value systems, which are different from their own.

講義の内容・授業スケジュール

Each week one student will be in charge of the content of the class. This means that they will at the beginning of the class they will give a presentation on their chosen subject. Then they will provide a discussion sheet related to their topic, which will be discussed either as a class activity or else in small groups. Students will be required to give two such presentations during the academic year.

The teacher will prepare some discussion subjects as well. How many will depend on how many students decide to enrol in the class. Also, the teacher will choose the material to be discussed only after consultation with the students as a whole. This is because it is felt that students tend to contribute much more when they are actually interested in the topic up for discussion.

履修上の留意点

1. The presentations and discussion sheets must be shown to the teacher at least one week before the student's presentation, so that the teacher can help the student with corrections and ideas.
2. Students must be able to communicate, or at least be willing to try to participate, within group discussions. Failure to do so will result in the student failing the course.

成績評価の方法

There is no exam for this course. However, students will be graded by the quality of their presentations and by the amount of their week-to-week participation.
 20% two take home essays (10% each essay)
 40% two presentations, with discussion sheet (20% each presentation)
 40% participation within the class (20% each semester)

教科書

There is no required textbook for this course. However students will be required to have a good dictionary and to buy a binder to keep the handouts and presentation copies in.

授業日程

前半		1	2	3	4	5	後半		1	2	3	4	5
8月2日	月	○	○	○	○	○	8月20日	金					
8月3日	火	○	○	○	○	○	8月23日	月					
8月4日	水	○	○	○	○	○	8月24日	火					
8月5日	木	○	○	○	○	○	8月25日	水					
8月6日	金	○	○	○	○	○	8月26日	木					
8月9日	月	○	○	○	○	○	8月27日	金					

英 語 L L II

〈英語 LL II の授業内容と履修上の留意点〉

中級：LL I 程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準1級合格、TOEFL®のスコア480点、TOEIC®のスコア700点程度をめざします。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	おお たい まさこ 太 田 雅 子	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

90分の授業の前半は、テキストを用いて英語の難しい音のききとりを徹底的に学習する。そして後半は、映画の中の英語をききとれるように練習を重ねる。又、その中の表現を応用して、英語での自己表現力を養成する。

履修上の留意点

全授業回数の3分の1以上欠席した者には単位を認定しない。その他履修上の注意点は、第一回目の授業で指示するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

教 科 書

Listenig Theory and Practice（開文社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	との いけ かず こ 外 池 一 子	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

最初はVOA、その後CNN・BBCなどの最新のニュースを教材にリスニング力の向上を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

前期はテキストに沿って進み、授業の進度に合わせて最新のニュースを取り入れて行きます。

履修上の留意点

英語ニュースの聞き取りにはニュースに関する背景知識が欠かせません。毎日新聞を読むこと。予習は当然ですが、復習をきちんとすること。カセットテープを必ず持参すること。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教 科 書

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	にしむら ゆうこ 西村 祐子	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

基本的な会話と英語表現を学んだレベルIを終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベルIIではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得していく。授業はすべて英語でおこない、質問もすべて英語でおこなう。学生同士の英語での話し合いなどとりいれ、インターアクティブに授業をすすめる。到達目標はTOEIC[®]700-750程度。LLIにくらべ、難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：基本的な会話表現の復習と聞き取り、プレゼンテーション。
9-12月：LLIIIへの橋渡しとして、書き方とプレゼンテーションに力点をのいた授業となる。

履修上の留意点

学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを取得しておいてほしい。
テープ録音をするので、カセットテープ（90分程度）をもってくること。

成績評価の方法

定期試験はおこなわない。平常点重視（出席率、発表内容など）

教科書

テキスト：*Headway pre-intermediate* (Oxford Univ. Press.)
使用ビデオ：Headway elementary、および pre-intermediate、その他。（いずれも本学 LL 事務室に備え付けのものなので、予習、復習用に借り出して活用してほしい。）

参考書等

使用ビデオ：Headway (elementary)、および (pre-intermediate)、その他。（いずれも本学 LL 事務室に備え付けのものなので、予習、復習用に借り出して活用してほしい。）

その他

学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを取得しておいてほしい。
電子メールアドレスは商業プロバイダーのものを持ちてきつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、かならず事前におこなっておくことがのぞましい。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。はじめの授業からききとり力をつけるためにテープ録音をするので、カセットテープ（90分程度）をもってくること。

英 語 L L III

〈英語 LL III の授業内容と履修上の留意点〉

上級：LL II を修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が聞き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検1級、TOEFL®のスコアー500点以上、TOEIC®のスコアー900点程度を目指した訓練コースです。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L III	久保 ひさ子	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

英文のレクチュアが、聞き取れ、ディベートできる程度をめざしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを、聞き取り、書き取り、反復練習、録音、再生する。ビデオやスピーチや、ディスカッションを含む。

履修上の留意点

LL 授業は、ラボによる実習の、授業のため、欠席しないようにお願いします。

成績評価の方法

試験と授業実習点

教 科 書

World Times of Japan, "Michigan Action English Step 6"

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L III	西村 祐子	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

基本的な表現をつかってまず「話すこと」からはじめたLLIのレベルに対して、レベルIIでは日常的なテーマを掘り下げ、より高度な表現をききとることをめざした。このレベルIIIはそれより一層高度な会話表現力を習得することをめざす。LLI同様、授業はすべて英語でおこなわれ、質問も英語でのみ受けつける。毎回英語でのプレゼンテーションが要求され、教員との応答によって授業がすすめられる。LLレベルIIを終了し、英検一級程度 (TOEIC®800以上の学生を対象とする。このレベルに達していない学生はレベルIIを受講することをすすめる。

講義の内容・
授業スケジュール

4-7月：アメリカの大学教養レベルの社会科学系ビデオを素材として用いて英語でのサマリーの仕方を中心とする授業。

9-12月：英語での発表とエッセイ・ライティングを中心とした授業。

履修上の留意点

学生への要望：学生は課題提出用に全員電子メールアドレスを取得しておいてほしい。レベルIIIは例年高度なクラスなので途中で落伍しないためにも履修を決める場合にLLIIの内容とよく比較して決定してほしい。

成績評価の方法

平常点重視 (出席率、プレゼンテーションなど)。定期試験はおこなわない。

教 科 書

教場で指示 (主にプリントを使用)。

参 考 書 等

使用カセットテープ：Open University Program シリーズ (LL 事務室備え付け)。
使用ビデオ：Mapping the Landscape (ジェムコ出版、LL 事務室備え付け) その他社会科学系教育ビデオを適宜使用。

そ の 他

学生への要望：聞き取り練習用にテープ録音をするので、カセットテープ (90分程度) をもってくる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L Ⅲ	レーン, C.M.	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

The main aim of this class is to help students gain confidence in speaking and listening to English. This will be achieved using a special interactive listening video course. The course will concentrate on cultural and news items. It will teach students to be able to understand and view American Television without subtitles.

The problem with most listening courses is that many English as a second language tapes or videos slow down the speech to help students understand every word.

However, when the students go out into the 'real world' they suddenly find that they are consequently unable to understand anything. This course, therefore, teaches students, not only to listen, but also to watch and guess from context. This is because about 40% of what people generally say is actually conveyed through body language, gestures or can be guessed due to the context of the situation.

This course will also teach basic conversational structures helping students to gain confidence speaking and having fun expressing their ideas.

講義の内容・授業スケジュール

Each week students will watch one ABC news story and through the use of specially designed vocabulary and listening exercises will by the end of the lesson be also to completely understand the related news story.

The teacher will also sometimes prepare other listening exercises, using real material, such as, music or popular TV dramas.

Students will also have time to practice speaking and to try to express their ideas using all the facilities of the new language laboratory.

履修上の留意点

1. To really improve their listening students must be prepared to attend every class and actively participate within the classroom setting.
2. Since the lesson is only once a week, students must also 'take control' of their own learning and must be prepared to study other listening activities outside of the classroom. They should ideally get into the habit of listening to some form of English everyday. Only then will students see a marked improvement in their listening skills.

成績評価の方法

- 20% attendance
- 40% exams
- 40% participation within the class

教科書

There is no textbook as photocopies will be provided. However, students need to buy a folder to keep all the copies together.

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事ドイツ語	野島利彰 <small>の じま とし あき</small>	経営A3・4選	4

講義のねらい

今年度はドイツやオーストリアが抱えている様々な社会問題を取り上げます。失業、世代間の紛争、麻薬などあまり明るい話題はありませんが、日本でも同じように問題となっている、あるいはこれから問題となるであろうことです。ドイツやオーストリアがそれらの問題をどのように解決しようとするのか、その努力を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

フランクフルター・アルゲマイネ新聞を中心とし、ドイツ・オーストリアの有力紙からの記事を読みます。

履修上の留意点

予習しやすいよう、授業終了の少し前に次回分の時事用語および文法事項の説明をします。訳読は希望者に任せます。

成績評価の方法

成績評価は授業に対する貢献度によります。

教科書

教材には記事のコピーを配布します。

参考書等

初級用の辞書では載っていない単語が多いと思います。出来る限り前もって説明しますが、余裕のある人はより高度の辞書を持つことを望みます。

その他

テーマとは別に記事にはこれまで高校や大学で学んできたさまざまな事柄が登場します。いわば皆さんはこれまで得た知識全体で記事を読むことになります。新聞記事のみならずさまざまなテーマを日本語でよく読んでいることが、ドイツの記事を理解する早道です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級ドイツ語	栗原万修 <small>くり はら かず のぶ</small>	経営A3・4選	2

講義のねらい

上級ドイツ語クラスは、3、4年生を対象にしたクラスです。1、2年次で習得した語学力をのばし、さらに内容を文法的にも正確に読みとり、より高度なドイツ語が身につくようにするのがねらいです。継続的に1年間つづければ、かなり力がつくはずですので、欠席しないでつづけてください。1年間が終わって、受講してよかったと思えるような内容にしたいと思います。

成績評価の方法

成績評価は、試験ではなく、平常の勉学経過を中心に総合的に判断します。

教科書

テキストは特定せず、受講者の語学力に合わせ、また受講者の希望も聞きながら、最適と思われるものをその都度、コピーして配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語LLI	小林ゲアリンデ <small>こばやし</small>	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。

成績評価の方法

定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書

テキストは教室で配布する。

その他

ビデオ、カセットを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 LL II	^{こばやし} 小林ゲアリンデ	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語を1年(LLまたは他のドイツ語科目)で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を拡げることが目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

話す力、とくに正しい発音を習得する。ややこみ入った状況での会話、中級テキストを読む練習をする。

成績評価の方法

定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書

Themen I neu

その他

ビデオを使用する。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I A (選)	^{い がらし のぶ こ} 五十嵐 信子	経営A選	2

講義のねらい

1年間でドイツ語の基礎的な力をつけることを目指します。発音からはじまり、動詞、冠詞、名詞、形容詞、前置詞…とすすんで一通りの文法を学び、1年の最後には、辞書を引ながらやさしいドイツ語の文章を読むことができるようになるでしょう。ドイツ語を身につけることは、ドイツ語圏への鍵を手に入れることになるのです。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) ドイツ人の発音のテープを聞き、それを声に出して発音することで、ドイツ語を聞き取り、また正しく発音することを学びます。
- 2) ドイツ語の文法をしっかりと理解し、くりかえし練習して身につけます。
- 3) 同時に良いドイツ語の例文に多く触れて、楽しくそのルールを感得します。
- 4) やさしいドイツ語会話を学びます。

履修上の留意点

新しい言葉を学ぶことは、本来楽しいことです。それは新しい世界への発見の旅だからです。しかし言語はどの部分も不可欠な建造物のようなものです。それゆえこの時間は、休まず出席して下さい。

成績評価の方法

年2回の試験および時間内の小テストを行ない、これに出席、授業への参加態度などを加味して評価します。

教科書

橋本政義・橋本淑恵著『楽しく身につくドイツ文法』(白水社) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B (選)	野島利彰 <small>のじまとしあき</small>	経営A選	2

講義のねらい	CDつき教科書を使い、音からドイツ語を学びます。ドイツ語は発音と文字とが一致しており、また難しい音も少ないので、練習すればすぐ上手に発音できるようになります。
講義の内容・授業スケジュール	教場ではCDを聞きません。授業でテキストの音読を指名します。自宅で十分CDを聞き、音読練習もしておいてください。
履修上の留意点	教科書には多数の練習問題があります。答えられるよう予習をしてください。
成績評価の方法	3課ごとに1回ヒアリングテストを行います。このテストと定期試験(筆記試験)の成績が評価の大きな基準になります。
教科書	三空・シュレヒト著『ドイツ・プラクティッシュ<グリーン>』(三修社) 2,500円
参考書等	ドイツ語の辞書は最初は引きにくいのですが、すぐに慣れます。二年次でもドイツ語を履修する人、将来大学院まで進む人は簡単な辞書を買わず、しっかりした辞書にしてください。
その他	ラジオやテレビのドイツ語講座も役に立ちます。ぜひ視聴してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 II (選)	松岡晋 <small>まつおかすすむ</small>	経営A2・3・4選	2

講義のねらい	初等文法の知識を基礎にして、より多くのドイツ語の文章を読んでみようというのがこの授業のねらいです。
講義の内容・授業スケジュール	授業は下に掲げる教科書に即して行われます。各課は読章(1~2ページからなるドイツ語の文章)、文法説明および練習問題からなっています。文法説明は最小限度にとどめ、ドイツ文の読解に専念します。独和辞典を毎回、必ず持参してください。なお教科書が早く終わった場合には、他の教材(短い新聞記事など)をコピーで配布して読む予定でおります。
履修上の留意点	ドイツ語の文章に慣れてもらい、今後、新聞・雑誌等のより難しい文章を読むための基礎を築きたいと考えております。さほど難しくない教科書をゆっくり進めますので、定期的な出席と最低限度の予習をお願いします。
成績評価の方法	成績評価は、最低限二回以上行われる筆記試験および平常点(出席率、担当箇所の和訳をきちんと行ったかどうか等々)によって行います。
教科書	諏訪功ほか著『文法読本——ヨーロッパとは何か(新訂版)』(郁文堂) 2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 フ ラ ン ス 語	おおのひでし 大 野 英 士	経 営 A 3 ・ 4 選	4

講義のねらい

『ル・モンド』『ル・ヌーヴェル・オブセルヴァトゥール』など、フランスを代表する新聞、雑誌から抜粋した記事を読むことで、文法力・語彙力をアップすると共に、フランスの現代社会の諸相を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

教室でプリントを配布し、ポイントや難解な表現についてあらかじめ説明しますので、出席者は十分予習してきてください。それをもとに出席者にあてて、順番に訳してもらいます。内容について互いに議論したり、適宜、関連した話題に関するテレビ・ニュースなども活用したいと思います。

履修上の留意点

分からないことは遠慮なく質問してください。何度でも丁寧に説明します。一方的に教師の説明を聞くのではなく、学生の主体的・積極的な授業への参加を期待します。

成績評価の方法

出席、平常点、前期末のテスト、定期試験の総合点で評価します。

教科書

教室でプリントを配布します。

参考書等

『ロワイヤル仏和辞典』（旺文社）

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上 級 フ ラ ン ス 語	こだまなりお 小 玉 齊 夫	経 営 A 3 ・ 4 選	2

講義のねらい

「上級フランス語」クラスでは、フランス語検定試験に合格することをめざして、文法事項の再確認とともに、聞きとり、作文、ならびに会話についての実力を養うことを目指しています。さしあたっては4級および3級に受かるように、1、2年次の知識を復習し、視聴覚教材も用いて、可能なかぎり、総合的なフランス語能力を身につけるよう、勉強していく予定です。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書を用いますが、他に、こちらで準備するプリント教材あるいはビデオ教材なども、使っていく予定です。前期は、主として、これまでの復習に、後期は、その展開という風に、段階を追って進んでいくつもりです。

履修上の留意点

出席するのが楽しい授業、でなくては、会話などに心を配る余裕が出てきません。つとめて、そのようにしたいと思いますので、「遊び心」も持って参加して下さい。フランス語の聞き取りは、「ある日、突然に」、それまで理解できなかった表現も、分かってくるものです。初めの「難しさ」にめげずに、突然訪れて来る「その日」をめざして、地道に練習を続けていく心構えがたいせつです。

成績評価の方法

随時提出する宿題や、年末の試験で評価しますが、仏検に合格することも目標なので、従って評価に含まれることにもなります。

教科書

石野、松山 等 著 『フランス語21』（白水社）2,400円
ISBN4-560-06026-6 C3085

参考書等

『現代和仏小辞典』（白水社）。フランス語彙を増やすためにも、必要です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 L L I	ラリア・三倉 ^{みくら} , M.	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

フランス人講師や教材のフランス語を聞きながら、学生が簡単なフランス語で表現力を身につけることを学ぶ。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と簡単な口頭面接評価。

教科書

H. TAKAHASHI, S. GIUNTA 『P.P.P (ペーパーペーパー) *Présenter Pratiquer Produire*』 (第三書房) 2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 L L II	ラリア・三倉 ^{みくら} , M.	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語の基礎学習の経験のある学生のためのクラスです。生徒は小さなグループにわかれ、フランス語会話をたくさんすることで発音、表現力の向上をめざします。尚、ビデオで現在のフランスの若者の生活パターンが多く紹介されているので、それに触れながら楽しく学習できます。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と口頭面接評価。

教科書

MONNERIE 著 *BIENVENUE EN FRANCE TOME 1* (Didier HATIER)
プリント資料を学生に与えますので、学生は、格別に教科書を買う必要がありません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A (選)	井田 ^い 清子 ^{きよこ}	経営A選	2

講義のねらい

フランス語の初級文法を中心に基本的知識をマスターできるように学習します。文法事項のみにかたよらず、パリの生活情景を主題とした読本としても楽しめます。文章体と会話体とを同時に身につけましょう。

講義の内容・授業スケジュール

パリを中心とした生活が身近に感じられるよう、文章と会話を生きたフランス語として習得します。

履修上の留意点

辞書をひく手間を惜まず、自分で面白さを味わってください。

成績評価の方法

前期・後期の試験を中心に、通常点も加味します。

教科書

山崎庸一郎他『パリのどこかで』 (第三書房) 1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A (選)	伊藤 なお	経営A選	2

講義のねらい

一年間かけてフランス語文法の基礎を習得し、実際に運用できるようになるための基礎固めをします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、簡単な対話文をもとに基本単語と平易な日常表現によってフランス語の基礎を習得するよう組み立てられています。テキストにそって各文法事項を理解したうえで、聴き取り問題も含めた練習問題に取り組みます。発音練習と音読には力を注ぎます。テキストに付属する現地ロケによるビデオも観てみましょう。

履修上の留意点

選択科目ではありますが、できるだけ毎回出席し、授業には積極的に参加してください。

成績評価の方法

平常点、前・後期試験によって判定します。

教科書

藤田祐二『彼女は食いしん坊!』(朝日出版社) 2,500円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B (選)	大野 英 士	経営A選	2

講義のねらい

フランス語を全く知らない初心者を対象に、フランス語の基礎的な文法知識を学習しつつ、特に、話す、聞く、読む、書く能力を無理なく、バランスよくつけてもらうことを目標として授業を行います。

講義の内容・授業スケジュール

『新エスカルゴ』は、各課ごとにそれぞれ「挨拶する」「自己紹介する」「家族・年齢を言う」などと、日常生活のなかで遭遇する実践的な課題を設定し、それを言うために必要な文法事項や、関連表現を学ばせるといってきわめて合理的な構成になっています。1年で1冊を終わらせます。習った知識を確認するため『練習問題ABC』を適宜併用します。

履修上の留意点

授業中は、恥ずかしがらないで、大きな声で積極的に授業に参加してください。その上で、教科書に出てくる会話は暗記するくらい声を出して、何度も読んでください。「練習」はできれば予習の段階で、あらかじめ準備してきてください。

成績評価の方法

授業中の小テスト、前期末のテスト、定期試験の三つの総合点で評価します。

教科書

藤田裕二著『新・えすかるご1』(朝日出版社) 2,500円
加賀山孝子他『フランス語練習問題ABC』(早美出版社) 2,000円

参考書等

『フランス語動詞活用表』(駿河台出版社) 800円

その他

辞書等は、授業の開始時に簡単なガイダンスを行います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B (選)	菅原 猛	経営A1・2・3・4選	

講義のねらい	英語以外にも外国語の一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。
講義の内容・ 授業スケジュール	I A を補完するかたちで授業を進め、1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。
履修上の留意点	教科書・辞典を持参し、可能なかぎり出席すること。
成績評価の方法	平常の授業、平常試験と学年末試験をプラスし、総合的な評価を出す。
教科書	澤田直之・黒川学他著『アミカルマン—フランス語・フランス文化への誘い—』（駿河台出版社）2,500円 ISBN4-411-01093-3 C1085

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 II (選)	桑田 禮彰	経営A2・3・4選	2

講義のねらい	フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。
講義の内容・ 授業スケジュール	比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一歩踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。
履修上の留意点	最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
成績評価の方法	ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。
教科書	長谷川公昭他著『時事フランス語（2004年度版）』（朝日出版社）
参考書等	そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事中国語	しお 塩 ほか 旗 伸一郎	経営A3・4選	4

講義のねらい

インターネットで中国の各サイトを訪れ、速読と精読の2種のアプローチにより、様々な文体を読み解く力を養う。併せて中国語入力や検索の体験学習も行う。

講義の内容・授業スケジュール

見出しとリード中心の速読は、ピンインのルビを振るソフトの導入により、その場で声に出して読むことができる。精読は、じっくりと文の構造を捕える練習を積む。

履修上の留意点

精読教材は予習が不可缺。
教材等、授業に関する情報は下記 URL に掲示するので常時チェックすること。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~siop/jiji.html>

成績評価の方法

平常点。

教科書

ネット上で採取し、上記 URL に掲示。

参考書等

辞書は『中日辞典』（小学館）、『中日大辞典』（大修館書店）、『講談社中日辞典』、『白水社中国語辞典』を推奨する。これらより薄いものや、中日・日中を一冊で兼ねる安あがりの辞書は、役に立たない。

その他

PC教場使用を要望しているが、教場変更の可能性もあるので、掲示に注意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級中国語	かま 釜 ほか 屋 修	経営A3・4選	2

講義のねらい

比較的長い文章の解釈、実的な会話能力の向上をめざす。新聞文体、短篇小説、随筆等多様な文体に挑戦してもらう。

講義の内容・授業スケジュール

参加者が自らの関心の所在に沿って担当分野を選択し、朗読、翻訳を行う。教材を通して現代中国のさまざまな状況を理解し、討論する。

履修上の留意点

出席し、予習をきちんと行い、問題点の整理を行うこと。

成績評価の方法

平常点、授業態度を中心に判定。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

中辞典以上の辞典を必要とする。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 L L I	佐藤 普美子	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

初級用のテープ教材を用い、会話と聴き取りの基礎訓練を行う。すでにIA-IBの単位を取得しているか、それと同程度の学習経験のある人を対象とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では基礎的な文法・文型の徹底的な習得を目ざす。耳と口の反復練習を大量に行い、中国語の基礎を、文字でなく音で身につけてほしい。

履修上の留意点

予習は必要ないが、復習と自習は不可欠。また教科書付録のCDを活用して、毎日、中国語を口にし耳にしてほしい。

成績評価の方法

平常点（出席及び授業への参加意欲）を重視。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語 北京篇3』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 L L II	小川 隆	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

最初に発音の復習を行い、その後テープを使って、中級でいどの会話と聴き取りの練習をする。週1回、年20数回の授業では、練習量が絶対的に不足なので、授業のほかに毎日の音読と暗誦を課す。それさえ怠らないなら、現在の基礎学力に自信がない人でも、充分について行けると思う。

履修上の留意点

短期・長期の留学をめざす人は、ゼヒこの科目をとるようにして下さい（個別に学習の相談に応じます）。

成績評価の方法

出席および毎回の暗誦の成果をもとに平常点評価。

教科書

楊凱栄『表現する中国語』（白帝社）2,400円（CD付）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A (選)	釜屋 修	経営A選	2

講義のねらい

中国語発音の基礎、語法のしくみについての基本理解の獲得を中心とする。ピンインの習得と正確な発音の学習に重点をおく。

講義の内容・授業スケジュール

週一回の授業なので学習量の不足が心配となる。課題の消化、テキストについているCDを活用した家庭学習が望まれる。

履修上の留意点

IB(選)とあわせて受講できるが、この科目のみを履修する人は、学習機会が週一回となるので欠席は大敵である。

成績評価の方法

出席状況、平常の学習の積極性、平常点と期末テストの成績等を総合的に判定する。

教科書

守屋宏則『フォーアップ初級中国語』（同学社）2,500円

参考書等

開講後指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A (選)	みやもとあつこ 宮本厚子	経営A選	2

講義の内容・
授業スケジュール

発音を学んだ後、会話文を通して、基本的な文法を学び、語彙を増やしてゆく。

履修上の留意点

毎回暗唱あるいは聞き取り（小テスト）を行うので十分に復習をして授業に臨むことが求められる。

成績評価の方法

年に4回の筆記試験（前後期末試験を含む）と平常点（暗唱・小テストを含む）で評価する。

教科書

『〈新版〉中国語はじめの一步』（白水社）2,200円。

その他

詳細は開講時に説明する。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I B (選)	らんめい 蘭 明	経営A選	2

講義の内容・
授業スケジュール

前期は最初の一カ月（4回に分け）において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心に、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語（北京篇1）』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 II (選)	まつもとあつとし 松本丁俊	経営A2・3・4選	2

講義の内容・
授業スケジュール

外国人である日本人が中国人に接したとき言うべき言葉、言うべき表現など実用面の中国語。中国語を学んでもない田中さん夫婦の北京旅行という設定で、挨拶から始まり、買物、食事といった日常生活に限られた会話を学ぶ。

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点とし、普段授業中の発音、練習問題、さらには出席点も加味する。

教科書

王元武・鶴島俊一郎『北京旅行』（白帝社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事スペイン語	ま しょう めい いち 真 下 祐 一	経営A3・4選	4

講義のねらい

新聞記事や雑誌のコラムを読みながら、スペイン語の報道言語、論説文に親しみます。日本で発行されているスペイン語新聞やインターネットを通して、日本の出来事がどのように伝えられているかにも注意しましょう。予習してきた文書を読むほか、その場での速読も課します。

講義の内容・授業スケジュール

前期 1～3) 新聞記事のスペイン語 (スペイン) 4～6) 新聞記事のスペイン語 (メキシコ) 7～9) 新聞記事のスペイン語 (アルゼンチン) 10～13) 新聞記事のスペイン語 (その他の地域)
後期 14～16) 雑誌コラム (国際情勢) 17～19) 雑誌コラム (文化) 20～22) 雑誌コラム (その他) 23～26) スペイン語で見た日本

履修上の留意点

予習・復習は欠かせません。スペイン語圏に真面目に関心のある学生の受講を期待します。

成績評価の方法

毎回の授業参加と、各回の達成度チェックによります。

教科書

随時プリントを配布します。インターネットも活用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級スペイン語	うえ の かつ ひろ 上 野 勝 広	経営A3・4選	2

講義のねらい

このクラスでは、スペイン語検定試験 (3級・4級) に合格することを目標にします。既習の文法事項を随時復習しながら、聴解・会話・読解・作文の各技能を伸ばし、総合的なスペイン語力を身につけられるようレッスンを進めます。

講義の内容・授業スケジュール

作文については年間を通じ下記のテキストを用いて、1回の授業で10ページくらい進めます。読解はインターネットのオンライン教材およびプリント、聴解・会話はビデオ・CD等の視聴覚教材を利用してゆきます。

履修上の留意点

「継続こそ力なり」です。休まずさぼらず目標に向かって頑張れる意欲に満ちた受講者を歓迎します。また授業の学習成果を最大限あげるために、何より集中力が大切です。

成績評価の方法

年間4回の試験の結果 (60%) と平常点 (40%) を総合して評価します。

教科書

小池和良『スペイン語作文の方法・構文編』(第三書房) 2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語LLI	ナバ口, ホワンJ.	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 L L II	ナバロ, ホワン J.	経営 A 2・3・4 選	2

講義のねらい

スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A (選)	<small>みやま</small> 宮地 <small>たつろう</small> 達郎	経営 A 選	2

講義のねらい

スペイン、中南米の国語スペイン語は国連の公用語 6ヶ国語の一つでもあり、米国ではヒスパニックの人口比率が黒人を抜き最大となっている。米国におけるスペイン語の必要性は現在でも大きく、さらに増大することは必至である。従って、国際社会におけるスペイン語の重要性を認識させ興味を持続させることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

基礎文法の徹底が目的。前期は英語との違い、特に性数一致、動詞の変化（現在形）に重点を置く。後期は過去形、未来形、できれば接続法まで入ることが目的。

履修上の留意点

欠席が多い場合、前回の授業内容が分からなければ、その回の授業についていけなくなる。スペイン語は他の外国語より易しいという先入観を持ったり、英語が苦手だからという簡単な理由で受講しても単位取得は簡単ではないことを認識して受講してほしい。

成績評価の方法

出席率、授業中の態度、テストの 3 点を総合して評価する。

教科書

宮本博司著『ようこそスペイン語の世界へ』（大学書林）

参考書等

推薦辞書：『現代スペイン語辞典（西和および和西）』（白水社）
『スペイン語ミニ辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B (選)	<small>かめやま</small> 亀山 <small>こういち</small> 晃一	経営 A 選	2

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 Ⅱ (選)	おぎ の まさ し 荻 野 雅 司	経営A2・3・4選	2

外
国
語

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習したものをさらに広く深く学ぶことで実際に使えるスペイン語を習得し、3億人といわれるヒスパニック圏の人々を行う communication の術を身に付けることを狙いとしています。

講義の内容・
授業スケジュール

上記の目的を達成するために、一方でスペイン語Ⅰで得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んでいきます。この過程では教科書以外に、プリント、テープ、ビデオ等を通じて実際に使われている、生きたスペイン語にも接して行きます。

履修上の留意点

言葉の学習には継続が肝要ですから、年間を通じて、コンスタントに出席できる学生の受講を期待します。

成績評価の方法

成績の評価に当たっては、テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。

教 科 書

佐藤玖美子著『新・何を話しましょうか』(芸林書房)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事ロシア語	木村英明	経営A3・4選	4

講義のねらい

1991年のソ連邦崩壊以降、長く政治的、経済的に迷走を続けてきたロシア社会だが、この数年はプーチン政権下で一定の安定を取り戻しつつある。豊かな天然資源、人的資源に恵まれたロシアの国際政治に及ぼす影響力や、21世紀の文化創造に向けて秘めている潜在力は看過できない。この授業では、そんなロシアの動向にじかにロシア語で触れていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

ロシアの政治、経済、文化に関する平易な記事や論文を講読する予定だが、ビデオ等の映像教材も用いることにする。テキストは適宜プリントの形で配布する。

履修上の留意点

各自が、授業を通じて自分の問題意識と出会えるよう、アクティブな授業参加を望む。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上級ロシア語	クロチコフ, Y.	経営A3・4選	2

講義のねらい

会話練習。
簡単な新聞、雑誌の記事、文学書を辞書を用いて講読します。
講読した内容について自由会話を行う。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書

教場にて指示します。プリント配布。
学生の要望も考慮してテキストを選びます。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語LLI	安徳 二一	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

ロシア語I、IIで学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。
日常の話題等についても自由に会話が出来ようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にもとづいて会話形式に講義を進めます。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

S, KHAVRONINA 著 *RUSSIAN AS SPEAK IT* (ナウカ社)

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 L L II	安徳 二一ナ	経営A2・3・4選	2

講義のねらい	日常会話からロシア文学への入門、新聞、雑誌を読みこなせることを目標とします。また自由に会話ができるようになることをめざします。
講義の内容・授業スケジュール	資料にもとづいて会話形式に講義を進めます。
成績評価の方法	講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。
教科書	新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します。(学生の希望も考慮します。)
その他	講義の状況に応じビデオ等を使用し「現在のロシアとロシア語について」説明と話もします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A (選)	クロチコフ, Y.	経営A選	2

講義のねらい	<ol style="list-style-type: none"> 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボディー・ランゲージを含む)を身につけます。 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。 4) 基礎的な初等文法を学びます。 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。 <p>はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に慣れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切。</p>
講義の内容・授業スケジュール	前期は発音やアクセントに重点をおき、後期は短文の読みや文法をくり返し学びます。
成績評価の方法	テストは行わず、平常点で評価。
教科書	『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円、プリント配布。ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語 I B (選)	木村英明	経営A選	2

講義のねらい

日本の隣国ロシアはソ連崩壊後の長い混迷から抜け出し、21世紀の経済的、文化的飛躍の道をたどり始めています。ロシアの人々とじかにコミュニケーションできる機会、必要性は日本でも高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの習慣や文化にも触れていきたいと思ひます。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声面を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

桑野隆『エクスプレス・ロシア語』(白水社)をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語 II (選)	佐野朝子	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

ロシア語Iで学んだことを基に、ロシア文学を理解できることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にもとづいて会話を主体的に講義を進めます。

履修上の留意点

講義で時々行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書

S.KHAVRONINA 著 RUSSIAN AS WE SPEAK IT (ナウカ社)

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
朝鮮語 I A (選)	宋美玲 <small>ソンミリン</small>	経営A選	2

講義のねらい

同一の教員が同一の教科書をもって週2回の授業を行う。Aクラスは会話中心、Bクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。

講義の内容・授業スケジュール

文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはAクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、Bクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点

最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語(会話編1)』(白帝社)1,890円

参考書等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社)1,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
朝鮮語 I B (選)	宋美玲 <small>ソンミリン</small>	経営A選	2

講義のねらい

同一の教員が同一の教科書をもって週2回の授業を行う。Aクラスは会話中心、Bクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。

講義の内容・授業スケジュール

文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはAクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、Bクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点

最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語(会話編1)』(白帝社)1,890円

参考書等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社)1,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
朝鮮語Ⅱ(選)	宋美玲 <small>ソンミリン</small>	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

初級における基本的な文法の内容をふまえ、日常生活での基礎会話が話せるようにする。また、韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試み、資料の読解及びビデオの鑑賞を通して、実践的な習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

初級のテキストをもって、基本的な文法及び表現に基づいた文型練習を行う。また、口頭練習を通して聞き取り及び書き取りの能力を、プリントの資料をもって読解の能力を強化していく。

履修上の留意点

テキストの復習・予習など、積極的な授業への参加が望ましい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

- 1) 野間秀樹著『至福の朝鮮語』(朝日出版社) 2,900円
- 2) 野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社) 1,000円

その他

書き取りと聞き取りの練習のため、ノートを必ず持参すること。
『暮らしの単語集 韓国語』で単語のテストを行う。

外国語

4. 保健体育科目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種日を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

4. 保健体育科目

健康・スポーツ実習 (トレーニング)	〈光 永 吉 輝〉	219
健康・スポーツ実習 (サッカー)	〈秋 田 浩 一〉	220
健康・スポーツ実習 (ジョギング)	〈森 本 葵〉	221
健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)	〈竹 田 幸 夫〉	222
健康・スポーツ実習 (卓 球)	〈秋 田 浩 一〉	223
健康・スポーツ実習 (室内球技)	〈山 口 良 博〉	224
健康・スポーツ実習 (テニス)	〈江 口 淳 一〉	225
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	〈村 松 誠〉	226
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	〈森 本 葵〉	227
健康・スポーツ実習 (ハンドボール)	〈村 松 誠〉	228
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	〈田中佳孝・長濱友雄〉	229
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	〈鈴 木 淳 平〉	230
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(簡化太極拳)	〈大 石 武 士〉	230
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース(サ ッ カ ー)	〈秋 田 浩 一〉	231
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース(卓 球)	〈川村正義・山口良博〉	232
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース(バドミントン)	〈牧 野 茂〉	233
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース(ソフトボール)	〈高橋俊介・村松 誠〉	234
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース(室内球技)	〈鈴 木 淳 平〉	235
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース(トレーニング)	〈山 口 良 博〉	236
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/基礎(簡化太極拳)	〈大 石 武 士〉	237
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/基礎(バドミントン)	〈長 濱 友 雄〉	238
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/基礎(室内球技)	〈鈴 木 淳 平〉	238
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/基礎(卓 球)	〈牧 野 茂〉	239
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/基礎(バスケットボール)	〈牧 野 茂〉	240
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/応用(簡化太極拳)	〈大 石 武 士〉	241
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/応用(ニュースポーツ)	〈大 石 武 士〉	242
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/応用(バドミントン)	〈長 濱 友 雄〉	243
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/応用(室内球技)	〈鈴 木 淳 平〉	243
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/応用(バドミントン)	〈鈴 木 淳 平〉	244
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/応用(卓 球)	〈牧 野 茂〉	245
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/応用(バスケットボール)	〈牧 野 茂〉	246
生涯スポーツ実習(集中前期)(テニス集中)	〈江 口 淳 一〉	247
生涯スポーツ実習(集中後期)(テニス集中)	〈江 口 淳 一〉	248
生涯スポーツ実習(集中後期)(ゴルフ集中)	〈三 幣 晴 三〉	249
生涯スポーツ演習(シーズン前期)(ゴルフ)	〈森本 葵 他〉	250
生涯スポーツ演習(シーズン後期)(スキー・スノーボード)	〈鈴木 淳平 他〉	251
健康・スポーツ論 1	〈江 口 淳 一〉	252
健康・スポーツ論 1	〈光 永 吉 輝〉	253
健康・スポーツ論 2	〈大 石 武 士〉	254
健康・スポーツ論 2	〈村 松 誠〉	255

健康・スポーツ論 2 〈牧野 茂〉	256
余暇学 〈秋田 浩一〉	257
余暇学 〈田中 佳孝〉	258

「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

		2時限 (経営-1)		3時限 (経営-2)	
木曜日	※光永	トレーニング	※竹田	体操・トランポリン	
	秋田	サッカー	秋田	卓球	
	竹田	体操・トランポリン	光永	トレーニング	
	森本	ジョギング	森本	ゴルフ	
	江口	テニス	江口	テニス	
	山口	室内球技	山口	室内球技	
	村松	ハンドボール	村松	ソフトボール	

※は、科目の主担当者

保健体育

「生涯スポーツ実習 I ~ IV」開講種目一覧

(於：本校体育館)

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日		
1時限								
2時限	長	前期・基礎	大	前期・応用	牧	前期・応用		
		バドミントン		ニュースポーツ※		卓球	牧	前期・応用
	後期・基礎	後期・応用	後期・応用	野		後期・応用		
	バドミントン	ニュースポーツ※	卓球	野		後期・応用		
3時限	長	前期・応用	大	鈴	牧	前期・基礎		
		バドミントン				簡化太極拳※	室内球技	牧
	後期・応用	後期・基礎	後期・応用	野		後期・基礎		
	バドミントン	簡化太極拳※	室内球技	野		卓球	野	後期・基礎
4時限	大石	前期・応用		鈴	木	前期・応用		
		簡化太極拳※				前期・基礎	前期・応用	
		後期・応用				室内球技	バドミントン	
		簡化太極拳※				後期・基礎	後期・応用	
						室内球技	木	バドミントン

※印の科目は、本校修道館（第2体育館）にて実施し、それ以外は、本校第1体育館で実施します。

保健
体育

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	みつながよし 光永吉輝	経営A1必	2

講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の状態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないしていると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容・ 授業スケジュール

始めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

授業計画

- 1 時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2 時限目：カイザーカムⅡ最大筋力測定
- 3 時限目：
- 4 時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう
- 5 時限目：トレーニング
- 6 時限目：トレーニング
- 7 時限目：トレーニング
- 8 時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 9 時限目：トレーニング
- 10 時限目：トレーニング
- 11 時限目：トレーニング
- 12 時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 13 時限目：トレーニング
- 14 時限目：トレーニング
- 15 時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ（室内専用）を用意すること。

成績評価の方法

出席、トレーニング内容（毎時間記録をする）、授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

そ の 他

ストレッチ体操の各種、器具のいないトレーニング方法（単独法、対人法）などを各時間に詳しく講義する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (サッカー)	あき た こう いち 秋 田 浩 一	経営A1必	2

講義のねらい

サッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（とらッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間基本技術とゲームを行ない、サッカーの楽しさを実感する。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことへの理解度を高める。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容、服装等の説明
- 2 時限目：班分け、インサイドキック、トラッピング（グランダー）
- 3 時限目：インサイドキック、練習ゲーム
- 4 時限目：浮玉のとらッピング1、リーグ戦1
- 5 時限目：インステップキック、リーグ戦2
- 6 時限目：インフロントキック、リーグ戦3
- 7 時限目：オフサイドルールの理解、リーグ戦4
- 8 時限目：浮玉のとらッピング2、リーグ戦5
- 9 時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦6
- 10 時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦7
- 11 時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦8
- 12 時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦9
- 13 時限目：基礎技術の応用練習、優勝決勝戦
- 14 時限目：基礎技術の応用練習、優勝決勝戦
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装が良いが必ずアップシューズもしくはゴム底のスパイクシューズを用意すること（6本ポイントのスパイクは不可）。靴下は厚手のものがよい。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点はチーム対抗リーグ戦の結果と受講態度により採点する。個人に実技テストは、行わない。

そ の 他

雨天の場合は、室内にて他種目の運動もしくは、ルールの説明、ビデオによるプロゲームの観戦

注) 運動服装は雨天でも持参すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ジョギング)	もりもと まもる 森 本 葵	経営A1必	2

講義のねらい

健康、体力の維持増進を目的として行なわれる走運動、それがジョギングである。普及し始めて約25年位になる比較的新しい種目でもある。健康作りの運動はひとりひとりの体力に応じた運動処方が必要であり、指導者任せのトレーニングにすることなく、その処方を自分自身の手によって立案し、安全に実施することのできる能力を高めることを学習目標とする。実際の内容については、エクササイズ・ウォーキング（速歩）によってジョギングに必要な技術と体力を高めながら、30～60分程度のジョギングを実施することとする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：心拍数測定・諸注意・体重測定
- 2 時限目：エクササイズ・ウォーキング（速歩）
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：〃
- 5 時限目：ジョギング（時間走、距離走、初歩のインターバルランニング）
- 6 時限目：〃
- 7 時限目：〃
- 8 時限目：12分間走
- 9 時限目：ジョギング（前半より幾分高度な時間走、距離走、初歩のインターバルランニング、
野外走、クロスカントリー）
- 10時限目：〃
- 11時限目：〃
- 12時限目：〃
- 13時限目：〃
- 14時限目：12分間走
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

事前にメディカルチェック（心電図、負荷心電図、その他）を受けることが望ましいが、体調を整えて受講とする。（食事をとること、睡眠時間の充分なこと）ジョギングによって相当量の発汗を伴うため着替えの用意が必要である。

成績評価の方法

出席を最重視するが、12分間走に於ける走行距離を得点に加えて評価する。

そ の 他

雨天時は走のための補強トレーニング

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)	たけだ 竹田 幸夫	経営A1必	2

講義のねらい

「体操」という種目を広義に捉え、健康体操やストレッチ体操、ならびに器械運動を含めた体操の実技を行なう。健康体操については、体のバランスをチェックし矯正するための体操とマッサージ法を紹介する。器械運動では、マットや鉄棒、さらにトランポリンという種目を中心にして、初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に技を修得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび（バック転）まで発展させる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限目：健康体操とストレッチ体操
- 3 時限目：ク
- 4 時限目：マッサージ法
- 5 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 6 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 7 時限目：ストレッチ体操・男子：あん馬／女子：平均台
- 8 時限目：ストレッチ体操・男子：つり輪／女子：トランポリン
- 9 時限目：ストレッチ体操・男子：トランポリン／女子：鉄棒
- 10 時限目：ストレッチ体操・男子：平行棒／女子：トランポリン
- 11 時限目：ストレッチ体操・男女とも鉄棒
- 12 時限目：発展技の練習
- 13 時限目：自主練習
- 14 時限目：自主練習
- 15 時限目：まとめと評価

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川体育館1階アリーナの体操場で行なう。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、授業時間内の指示を守ること。

成績評価の方法

健康体操および器械運動ともに、毎回授業に出席して実践することに大きな意味がある。とくに器械運動は、技を習得していく過程にも魅力を見い出すことのできるスポーツ種目である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、男女それぞれに課題の達成度によって評価していく。易しい技から難しい技まで約40～50の課題を設定するので、受講生はそこから自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。技の達成度の評価は、受講生同士で行なう。

その他

授業の進行状況に応じて、課題となっている技のビデオ、ならびに体操競技の競技会のビデオを観る。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 (卓球)	あき た こう いち 秋 田 浩 一	経営A1必	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10 時限目：ダブルスゲームのやり方。ダブルスゲームの練習
- 11 時限目：ダブルスゲーム（5人組でのリーグ戦）
- 12 時限目：ダブルスゲーム（5人組でのリーグ戦）
- 13 時限目：ダブルスゲーム（5人組でのリーグ戦）
- 14 時限目：ダブルスゲーム（5人組でのリーグ戦）
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装が良いが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。とくにゲームの班分けをした後の授業参加は認めない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (室内球技)	やまぐち よしひろ 山 口 良 博	経営A1必	2

講義のねらい

バスケットボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
- 2 時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフコート2対1、ゲーム (1次リーグ)
- 4 時限目：ハーフコート3対2、ゲーム (1次リーグ)
- 5 時限目：ハーフコート4対3、ゲーム (1・2次リーグ)
- 6 時限目：ハーフコート3対3、ゲーム (2次リーグ)
- 7 時限目：ゲーム (2次リーグ)
(バレーボール)
- 8 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム (リーグ戦)
- 9 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム (リーグ戦)
- 10 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム (リーグ戦)
- 11 時限目：ゲーム (トーナメント)
(バドミントン)
- 12 時限目：ラケットティング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13 時限目：クリアー、ネットショット、ダブルスのルール
- 14 時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点 (70点)、実技点 (20点)、態度点 (10点)、60点以上を合格とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (テニス)	え ぐち しゆん いち 江 口 淳 一	経営A1必	2

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツを生活化する態度を養うことを目指す。さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り社会性を養うと共に、総合的な人間形成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ミニラリー
- 3 時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本記述
- 4 時限目：バックハンドグラウンドストロークの基本記述
- 5 時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6 時限目：スマッシュ、サーブ、ストロークの応用
- 7 時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8 時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 10 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 11 時限目：ダブルスのルールとポジショニング
- 12 時限目：ダブルスゲームを楽しむ
- 13 時限目：より高度なダブルスのゲームへ
- 14 時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

1. 服装は一般的な運動服装とする。
2. テニスシューズを必ず用意すること。
3. ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうか、または、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	むら まつ 村 松 誠	経営A1必	2

講義のねらい

ソフトボールは野球と同様1チーム9名で2組が得点を争うゲームである。野球が体育実技で取り上げづらいのは、ある種の経験を要するからであり、ソフトボールは、チームの中で1~2名の未経験者がいてもゲームはある程度成立する。野球は、9回の攻守に対してソフトボールは7回と、時間の区切られた実技に適している。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：基本練習(キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：トス・ハーフ・フリーバッティング、走塁練習、その他)
- 2 時限目：　　〃
- 3 時限目：試合(勝ち点制)
- 4 時限目：　　〃
- 5 時限目：　　〃
- 6 時限目：　　〃
- 7 時限目：　　〃
- 8 時限目：審判の仕方(球審、1・3塁審)
- 9 時限目：　　〃
- 10時限目：試合(勝ち点制)
- 11時限目：　　〃
- 12時限目：　　〃
- 13時限目：　　〃
- 14時限目：　　〃
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

用具：貸与
 服装：ユニフォームの着用が必要はないが、実技のできる服装とする。
 シューズ：ランニングシューズ、アップシューズは可。野球のスパイクシューズは不可とする。

成績評価の方法

出席を重視し、試合毎の勝ち点も加えて評価する。

そ の 他

雨天時は、視聴覚室において、ルール解説とビデオ観戦とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	もり もと まもる 森 本 葵	経営A1必	2

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。
生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時 限 目：オリエンテーション
- 2 時 限 目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時 限 目：打撃練習 (7・9アイアン)
- 4 時 限 目：打撃練習 (7・9アイアン) ・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時 限 目：打撃練習 (5アイアン)
- 6 時 限 目：打撃練習 (5アイアン)
- 7 時 限 目：打撃練習 (W1・W3)
- 8 時 限 目：打撃練習 (W1・W3)
- 9 時 限 目：打撃練習 (アプローチ)
- 10 時 限 目：打撃練習 (アプローチ)
- 11 時 限 目：打撃練習 (バッティング) ・ルールの解説
- 12 時 限 目：打撃練習 (バッティング) ・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13 時 限 目：ラウンド (模擬コース)
- 14 時 限 目：ラウンド (模擬コース)
- 15 時 限 目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点(実技テストを含む)30%の割合で評価する。

そ の 他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 (ハンドボール)	むら まつ 村 松	経営A1必	2

講義のねらい

ハンドボール競技の面白さを体験するため、ゲームを中心とした展開を行なう。
パスキャッチ、シュートなどの基礎技能の習得から、2対1、2対2などのグループ戦術まで高めていく。また、ルールと審判法を理解し、グループで協力してゲームが運営できることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：コート準備とパスキャッチ
- 3 時限目：ジャンプシュート
- 4 時限目：基本的なルールとリードアップゲーム
- 5 時限目：チーム分けとミニゲーム
- 6 時限目：ランニングパスとミニゲーム
- 7 時限目：速攻2対1とミニゲーム
- 8 時限目：リターンパスとミニゲーム
- 9 時限目：1対1の突破とミニゲーム
- 10時限目：速攻法とミニゲーム
- 11時限目：ゴールキーピングとミニゲーム
- 12時限目：審判法とミニゲーム
- 13時限目：リーグ戦
- 14時限目：リーグ戦
- 15時限目：実技テストとリーグ戦

履修上の留意点

服装は動きやすいものとし、運動靴を用意すること。必ず爪を短く切っておくこと。また、金具類、ネックレス、ピアスなどは、身につけないこと。

成績評価の方法

出席状況、受講態度、ゲームへの貢献、実技テストを加味して評価する。

そ の 他

雨天の場合は、室内でボールを使ったトレーニングを行なう。また、ハンドボールのビデオ鑑賞や詳細なルールにより、ハンドボール競技の理解を深める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	たなか よしたか ながはま ともお 田中 佳孝・長濱 友雄	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

室内で行なう球技（卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール）の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

【前期】

- 1 時 限 目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時 限 目：卓 球（ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム）
- 3 時 限 目： 〃 （サービスとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム）
- 4 時 限 目： 〃 （シングルスゲーム）
- 5 時 限 目： 〃 （シングルスゲーム）
- 6 時 限 目： 〃 （ダブルスゲームの進め方、ゲーム）
- 7 時 限 目： 〃 （ダブルスゲーム）
- 8 時 限 目： 〃 （まとめと評価）
- 9 時 限 目：バドミントン（ラケットの握り方、フットワーク、半面コートでのミニゲーム）
- 10 時 限 目： 〃 （ストローク、ドロップショット、スマッシュの練習、シングルス）
- 11 時 限 目： 〃 （ルール解説、シングルスゲーム）
- 12 時 限 目： 〃 （ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲーム）
- 13 時 限 目： 〃 （ダブルスゲーム）
- 14 時 限 目： 〃 （ダブルスゲーム）
- 15 時 限 目： 〃 （まとめと評価）

【後期】

- 1 時 限 目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時 限 目：バレーボール（パスとサーブの技術、ミニゲーム）
- 3 時 限 目： 〃 （アタックとブロックの技術、ルール解説）
- 4 時 限 目： 〃 （フォーメーション、ゲーム）
- 5 時 限 目： 〃 （ゲーム）
- 6 時 限 目： 〃 （ゲーム）
- 7 時 限 目： 〃 （ゲーム）
- 8 時 限 目： 〃 （まとめと評価）
- 9 時 限 目：バスケットボール（パス、ドリブル、ショットの基本技術）
- 10 時 限 目： 〃 （レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説）
- 11 時 限 目： 〃 （ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム）
- 12 時 限 目： 〃 （ゲーム）
- 13 時 限 目： 〃 （ゲーム）
- 14 時 限 目： 〃 （ゲーム）
- 15 時 限 目： 〃 （まとめと評価）

履修上の留意点

遅刻は認めない。実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

そ の 他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項』を確認の上履修すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	すずき じゅん べい 鈴 木 淳 平	経営A2・3・4年	2

- 講義のねらい** 室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。
- 講義の内容・授業スケジュール** バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。
スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。
- 履修上の留意点** ○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。
- 成績評価の方法** 出席率、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(簡化太極拳)	おお いし たけ し 大 石 武 士	経営A2・3・4年	2

- 講義のねらい** 太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。
- 講義の内容・授業スケジュール**
- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| 1時限目：オリエンテーション | 16時限目：太極拳動作について説明 |
| 2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動 | 17時限目：総合 |
| 3時限目：第一組 起勢・左右野馬分負・白鶴亮翅 | 18時限目：総合 |
| 4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱 | 19時限目：総合 |
| 5時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾 | 20時限目：総合 |
| 6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭 | 21時限目：総合 |
| 7時限目：第五組 高探馬・右擱脚・双峰貫耳・轉身左擱脚 | 22時限目：総合 |
| 8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立 | 23時限目：総合 |
| 9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂 | 24時限目：総合 |
| 10時限目：第八組 轉身搬蓄捶・如封似閉・十字手・収勢 | 25時限目：総合 |
| 11時限目：総合 | 26時限目：総合 |
| 12時限目：総合 | 27時限目：総合 |
| 13時限目：総合 | 28時限目：総合 |
| 14時限目：総合 | 29時限目：総合 |
| 15時限目：テスト | 30時限目：テスト |
- 履修上の留意点**
- 1) 定員：40名とする。
 - 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
 - 3) 教場：修道館2階
- 成績評価の方法** 出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(サッカー)	あき た こう いち 秋 田 浩 一	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

サッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間基本技術とゲームを行ない、サッカーの楽しさを実感する。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことの理解度を高める。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1日目午前：基本技術練習(キック、トラップ、ヘディング、ドリブル) チーム分け
- 1日目午後： 〃
- 2日目午前：パス練習、ゲーム
- 2日目午後：ロングキック、ゲーム
- 3日目午前：ドリブル、ゲーム
- 3日目午後：シュート、ゲーム
- 4日目午前：ルールの解説、ゲーム
- 4日目午後：ゲーム(リーグ戦)
- 5日目午前： 〃
- 5日目午後： 〃

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装が良いが必ずアップシューズもしくはゴム底のスパイクシューズを用意すること(6本ポイントのスパイクは不可)。靴下は厚手ものがよい。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(日)～22日(木)
(後期) 12月21日(火)～25日(土)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：午前10：00～12：00
午後13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(卓球)	かわむら まさよし やまくち よしひろ 川村 正義・山口 良博	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール(シングルス、ダブルス)を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、フォアハンドの基本形。
- 1日目午後：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 2日目午前：バックハンドショットの打ち方、バックハンドゲーム
- 2日目午後：カットの打ち方と返球の方法、シングルスゲーム
- 3日目午前：シングルスゲーム、ダブルスゲームのやり方
- 3日目午後：ダブルスゲームの練習
- 4日目午前：ダブルスゲーム
- 4日目午後：ダブルスゲーム
- 5日目午前：トーナメント形式の試合
- 5日目午後：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(日)～22日(木)
(後期) 12月21日(火)～25日(土)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 集中授業コース(バドミントン)	まきの 牧野 茂	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、ストロークの基本技術（回内、回外）
- 1日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク
 - ①（スマッシュ、ドロップ）、コート反面のシングルス・ゲーム
- 2日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
 - ②（スマッシュ、クリアー、ドライブ）、サービス
- 2日目午後：アンダー・ハンド・ストローク
 - ①（クリアー、ヘアピン・ショット）、サービス、コート反面のシングルス・ゲーム
- 3日目午前：アンダー・ハンド・ストローク
 - ②（ロブ、クロス、ネットショット）、シングルス・ゲーム
- 3日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、サービス、シングルス・ゲーム
- 4日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
 - ③（カット、プッシュ）、総合練習、ダブルス・ゲーム
- 4日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム
- 5日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム
- 5日目午後：総合練習、トーナメント型式のゲーム

保健体育

履修上の留意点

- (1) 服装は、一般的な運動服とする。
- (2) 体育館シューズを用意すること。
- (3) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

その他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(日)～22日(木)
(後期) 12月21日(火)～25日(土)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(ソフトボール)	<small>たかはし しゅんすけ むらまつ まこと</small> 高橋 俊介・村松 誠	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

第1日目 午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、走塁練習、その他）
午後：同上
第2日目 午前：ゲーム
午後：〃
第3日目 午前：〃
午後：審判法・ゲーム
第4日目 午前：〃
午後：〃
第5日目 午前：〃
午後：〃

保
健
体
育

履修上の留意点

一般的体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

そ の 他

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(日)～22日(木)
(後期) 12月21日(火)～25日(土)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 集中授業コース(室内球技)	すずき じゅん べい 鈴 木 淳 平	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる基礎的な技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・
授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・バドミントンを行なう。チームスポーツ、個人スポーツに必要とされる要素（体力的・技術的）を意識してゲームを多く消化していく。
スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

そ の 他

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(日)～22日(木)
(後期) 12月21日(火)～25日(土)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(トレーニング)	やまぐち よしひろ 山 口 良 博	経営A2・3・4年	2

講義のねらい

基礎的な体力要素である筋力、持久力、柔軟性、敏捷性を高めることを目的にして、さまざまなトレーニングを実践する。また、自分の体力の特徴を知ることによって、それに応じたトレーニングの方法を学ぶことを主なねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目 午前：オリエンテーション、体力測定
 1日目 午後：カイザーカムⅡの使用法の説明、最大筋力の測定
 2日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
 2日目 午後：トレーニング
 3日目 午前：ストレッチ体操、マッサージ法
 3日目 午後：トレーニング
 4日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
 4日目 午後：12分間走
 5日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
 5日目 午後：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意すること。実技は、おもに体育館地下のトレーニング場で行なうので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(日)～22日(木)
 (後期) 12月21日(火)～25日(土)
 7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：午前 10：00～12：00
 午後 13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	おお いし たけ し 大 石 武 士	経営A1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・基礎)		経営A2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・基礎)		経営A3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (簡化太極拳)		経営A4選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攏雀尾・右攏雀尾
- 6 時限目：第四組 單鞭・雲手・單鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右攏脚・双峰貫耳・轉身左攏脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬蓄捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (バドミントン)	なが はま とも お 雄 長 濱 友 雄	経営A1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			経営A2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			経営A3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			経営A4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。

また、技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
 (1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
 (2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4時限目：反面での簡易ゲーム
- 5時限目：
- 6時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8時限目：
- 10時限目： } 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 11時限目： } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15時限目：

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (室内球技)	すず き じゅん べい 平 鈴 木 淳 平	経営A1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			経営A2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			経営A3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			経営A4選	

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (卓球)	まきの野 牧野 しのぶ	経営A1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			経営A2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			経営A3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			経営A4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. 卓球の技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り込むことが出来る基本的技能を身につける。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
 - (1) フォアバンド、バックハンドとも使うことが出来る。
 - (2) スマッシュを打つことが出来る。
 - (3) ゲームの中で各種技術を使うことが出来る。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
 - 2 時限目：ラケットの持ち方、サーブ
 - 3 時限目：サーブ、サーブレシーブ、ラリー
 - 4 時限目：サーブ、フォアハンドドライブ
 - 5 時限目：サーブ、バックハンドの使い方、ラリー
 - 6 時限目：サーブ、フォアハンド、バックハンド
 - 7 時限目：シングルスゲームの練習
 - 8 時限目：
 - 9 時限目：
 - 10 時限目：
 - 11 時限目：
 - 12 時限目：
 - 13 時限目：
 - 14 時限目：
 - 15 時限目：
- 総合練習、シングルスゲーム練習
- 総合練習、ダブルスゲーム

履修上の留意点

1. 定員は50名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽で動きやすいものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (バスケットボール)	まさの野 しげる茂	経営A1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			経営A2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			経営A3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			経営A4選	

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、基本的な技術やルールを学びながらゲームの楽しみ方を身につけるとともに、体力や運動能力の向上をはかる。また、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともにスポーツを生涯にわたって、生活の中に取り入れ実践していく基礎的能力をも養うことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、ハーフコート2マン・パス
- 3 時限目：フルコート2マン・パス①、ハーフコート2対1、ミニゲーム
- 4 時限目：フルコート2マン・パス②、ハーフコート3対2、ミニゲーム
- 5 時限目：フルコート3マン・パス、シューティング・ドリル、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：2マン・ファースト・ブレイク①、フルコート2対1、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：2マン・ファースト・ブレイク②、フルコート2対1、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10 時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE①ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11 時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE②ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12 時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE③ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 13 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15 時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	おお いし たけ し 大 石 武 士	経営A1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		経営A2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		経営A3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (簡化太極拳)		経営A4選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分貞・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攢雀尾・右攢雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・單鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右擱脚・双峰貫耳・轉身左擱脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬擋捶・如封似閉・十字手・收勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	おお いし たけ し 大 石 武 士	経営A1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		経営A2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		経営A3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (ニュースポーツ)		経営A4選	

講義のねらい

現在、ニュースポーツとして注目されている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやミニサッカー・バウンドテニスなど、それぞれのスポーツを余暇ゲーム感覚で楽しみながら、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 時限目：スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 時限目：スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 時限目：スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 時限目：スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 時限目：スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ミニサッカー
- 8 時限目：スポーツチャンバラ：　　　　　　　　　　　　　　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　　〃
- 9 時限目：スポーツチャンバラ：　　　　　　　　　　　　　　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　　〃
- 10 時限目：スポーツチャンバラ：　　　　　　　　　　　　　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　〃
- 11 時限目：スポーツチャンバラ：　　　　　　　　　　　　　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　〃
- 12 時限目：スポーツチャンバラ：　　　　　　　　　　　　　　　〃　　　　　　　　　　　　　　　〃
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

保健
体育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	なが はま とも お 雄 長 濱 友 雄	経営A1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		経営A2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		経営A3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (バドミントン)		経営A4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通じて体験することから、これからの活動欲求を高める。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度をを養う。
また技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) スマッシュ、ドロップショットを打つことが出来る。
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドライブ
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 4 時限目：総合練習
- 5 時限目：総合練習
- 6 時限目： } 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10時限目： }
- 11時限目： } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15時限目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	すず き じゅん べい 平 鈴 木 淳 平	経営A1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		経営A2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		経営A3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (室内球技)		経営A4選	

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。
スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (バドミントン)	すず き じゅん べい 鈴 木 淳 平	経営A1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			経営A2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			経営A3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			経営A4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。
また、技術課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4時限目：反面での簡易ゲーム
- 5時限目： }
- 6時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8時限目： }
 } 総合練習・シングルスゲーム
- 11時間目： }
- 12時間目： }
 } 総合練習・ダブルスゲーム
- 15時間目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	まきの野 しのぶ	経営A1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ		経営A2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ		経営A3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ		経営A4選	

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) 卓球の楽しさやゲームを通して、これからの活動欲求を高める。
- (3) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
 2 時限目：サーブ、サーブレシーブ
 3 時限目：サーブ、ラリー
 4 時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
 8 時限目： }
 9 時限目：総合練習、ダブルスゲーム練習
 10 時限目： } 総合練習・ダブルスゲーム
 13 時限目： }
 14 時限目：総合練習、シングルス勝ち抜き戦
 15 時限目：総合練習、ダブルス勝ち抜き戦

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館で行なう。
- (3) 服装は身軽で動きやすいものがよい。
- (4) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (5) その他のものは用意しなくてよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (バスケットボール)	まきの野 しげる茂	経営A1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			経営A2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			経営A3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			経営A4選	

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、-halfコート2対1
- 3 時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
- 4 時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
- 5 時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：著名なマンツーマン・オフense①-half・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：著名なマンツーマン・オフense②-half・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：著名なマンツーマン・オフense③-half・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10 時限目：モーション・オフense①-half・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11 時限目：モーション・オフense②-half・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12 時限目：モーション・オフense③-half・コート4対4、ゲーム（リーグ戦）
- 13 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15 時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習 (集中前期・基礎/応用) テニス集中	え くち じゅん いち 江 口 淳 一	経営A選	1

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。

本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって、生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通して、スポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、スポーツを自律的に生活化する態度を養うことを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知る。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

1日目午前：ラケットイング、フォアハンド・バックハンドグラウンドストロークの基本技術

1日目午後：ミニラリー、ラリーを楽しむ

2日目午前：フォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ、ストロークの応用

2日目午後：ラリーの応用とミニゲーム

3日目午前：半面でのシングルスゲーム (ゲームを楽しむ)

3日目午後： (戦術と応用)

4日目午前：ダブルスのルールとポジショニング

4日目午後：ダブルスのゲームを楽しむ

5日目午前：トーナメント形式の試合

5日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況 (出欠は午前午後の二回確認する。)、授業参加態度から総合的に判断する。

その他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：7月18日 (日)～22日 (木)

7月18日更衣の上、午前10時にテニスコート集合

- (2) 実施時間：午前10：00～12：00

午後13：00～15：30

- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート

- (4) 定 員：40名とする。

- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届 (事前登録)』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時間で提出すること。
特・4時間 (前期)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) テニス集中	え ぐち じゅん いち 江 口 淳 一	経営A選	1

講義のねらい

テニスは、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習では、フォアハンド・バックハンド グラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど打球技術の習得と、ゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより高度な次元でテニスに関わる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニス兼打球技術の習得ばかりでなく《あがり》や《プレッシャー》といったメンタル面を克服することが重要視される心理ゲームで、それゆえに奥が深く、勝敗の行方が読めないスポーツとなっている。本実習においては、このテニスにおけるメンタルトレーニングの重要性を実技と解説を交えながら理解し、さらなるステップアップを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知ることを目標とする。

(基礎)…初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用)…エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1日目午前：フォアハンド・バックハンド グラウンドストロークの基本技術の確認
- 1日目午後：ラリーの応用練習
- 2日目午前：より高度なフォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ
- 2日目午後：より正確でスピーディーなテニスを目指す。
- 3日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
- 3日目午後：ダブルス（平行陣への移行）
- 4日目午前：ダブルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 4日目午後：シングルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 5日目午前：団体戦形式の試合
- 5日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況（出欠は午前午後の二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：12月21日（火）～25日（土）
12月21日更衣の上、午前10時に玉川テニスコート集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
特・4時限（後期）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) ゴルフ集中	み ねさ はる み 三 幣 晴 三	経営A選	1

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。

本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講者同士とのコミュニケーションも重要なねらいである。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 H日 実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）
講義：スイングの基本
- 2 H日 実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習）
講義：マナーとエチケット
- 3 H日 実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習）
講義：ゴルフルール
- 4 H日 実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習）
講義：ゴルフコースとラウンドについて
- 5 H日 実技：打撃練習（総合的打撃練習）

履修上の留意点

- (1) 服装・用具
 - ① 一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）
 - ② グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。

そ の 他

- (1) 実施期間：12月21日（火）～25日（土）
12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎グラウンド集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川校舎グラウンド
- (4) 費 用：受講者の上達度によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、2,000円程度必要である。
- (5) 定 員：40名
- (6) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
特・4時限（後期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎/応用) ゴルフ	もりもと 森本 葵 他	経営A選	2

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一歩進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。
生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション 1回目 4月10日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2回目 4月17日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 7月23日(金) 13:00~16:00 2研-102教場「ゴルフの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
1日目 9月6日(月) 実技:12:50~17:20 打撃練習
講義:10:40~12:10 17:30~18:00《ゴルフスイングの基本》
※注意:1日目は、玉川校舎で実施する。
2日目 9月7日(火) 実技:13:30~16:30 打撃練習
講義:19:00~21:00《ゴルフのマナーやエチケット》
3日目 9月8日(水) 実技:9:00~16:30 打撃練習・ラウンド
講義:19:00~21:00《ゴルフのルール・ラウンドについて》
4日目 9月9日(木) 実技:9:00~16:30 打撃練習・ラウンド
講義:19:00~21:00《ラウンドの反省と総括》
5日目 9月10日(金) 実技:9:00~12:00 ラウンド

履修上の留意点

- 生涯スポーツ演習 シーズン前期・基礎/応用 ゴルフを履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。
- 1) 実習日程: 9月6日(月)~9月10日(金)の3泊5日(現地集合解散)
 - 2) 場 所: ①宿 泊 ホテル安比グランド 電話0195-73-6400 FAX0195-73-5025
岩手県岩手郡松尾村安比高原
②練習場 玉山ゴルフクラブ 電話019-683-3100 FAX019-683-3100
③コース 安比高原ゴルフクラブ 電話0195-73-5311 FAX0195-73-5044
 - 3) 定 員: 40名
 - 4) 集合解散: 現地(ホテル安比グランド)
※希望者多数であれば、格安なバスの利用も可能です。詳細については、オリエンテーションにおいて説明します。
 - 5) 受講料: 39,500円(左記金額には、交通費は含まれない)
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間: 5月24日(月)~6月5日(土)
 - 6) 服装・用具
① 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
② ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
③ グローブは、必ず各自で用意すること。
※ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)によって2単位が認められる。成績は、講義・実技の出席状況、講義・実技テスト、実習参加態度等、総合的に評価される。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階資料室)に連絡すること。なお、受講料の一部は、返却されないことがあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎/応用) スキー・スノーボード	すずき じゅん べい 他 鈴木 淳平 他	経営A選	2

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

○スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。

○スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション 1回目 4月10日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2回目 4月17日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業 12月20日(月) 13:00~16:00 2研-102教場「スノースポーツの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目 2月14日(月)
午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目 2月15日(火)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
 - 3日目 2月16日(水)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
 - 4日目 2月17日(木)
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5日目 2月18日(金)
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習 シーズン後期・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成17年2月14日(月)~2月18日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話 (0195) 73-5019
- 3) 定員：スキー 30名
スノーボード 20名(但し、初心者に限る)
- 4) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間：平成16年5月24日(月)~6月5日(土)
- 5) 用具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生の追再試、1~3年生の追試験と重なっているので特に注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

その他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論1(前期)	え ぐち じゅん いち 江 口 淳 一	経営A1選	2

講義のねらい

現代文明は、経済性、利便性、効率性の名の下に人間を身体運動から遠ざけ、結果として運動不足症候群と呼ばれる様々な現象を生んできた。本講義では、このような社会において、より良く、たくましく生きて行く為に人間生活の基本である健康、体力、身体運動に対する理解を科学的アプローチで深め、さらには身体運動を自立的に生活の中に位置づけていく態度と能力の育成を図ることを目的とする。また、運動・スポーツの文化的意義について学ぶことで、Quality of life を実践するための基礎を養うことを主眼に講義を進めるつもりである。

人が生きて行くためには、自らの身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であると考えられる。スポーツを単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また身体を認識する手段としてとらえ、更に、スポーツを享受する能力とゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを本講義の目標とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：講義の目標の説明、学生の学習目標設定
- 2 時限目：ゆとり時代の LIFE STYLE (To have or To be)
- 3 時限目：生涯学習社会と大学保健体育科目の意義
- 4 時限目：現代社会と健康・スポーツ（余暇社会、高齢化社会と健康阻害要因）
- 5 時限目：健康と体力の概念
- 6 時限目：人体 1) 骨格の構造
- 7 時限目： 2) 筋肉の構造
- 8 時限目： 3) 運動と呼吸循環器系
- 9 時限目： 4) 運動と代謝
- 10 時限目： 5) 運動エネルギー供給の仕組み
- 11 時限目：スポーツ・トレーニングの筋、骨格に及ぼす効果
- 12 時限目：スポーツ・トレーニングの呼吸循環器系に及ぼす効果
- 13 時限目：運動処方計画のための基礎（パワートレーニング、エアロビクストレーニング）
- 14 時限目：スポーツ科学分野におけるトピックス、21世紀に向けての健康づくり
- 15 時限目：まとめ－学生自身による授業評価－

成績評価の方法

出席状況および授業最終日に行うアンケートにて評価する。

参 考 書 等

配布プリントにより授業を進めるため教科書はないが、以下の文献は参考図書となる。
『運動処方』（朝倉書店）3,500円
『運動生理学20講』（朝倉書店）2,884円
『「ゆとり」時代のライフスタイル』（日本経済新聞社）1,300円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論1(前期)	みつなが よしてる 光 永 吉 輝	経営A1選	2

講義のねらい

健康と長寿を願う心は、太古の昔より人類普遍の願望であるが、日常生活においては自分が現在健康である事を意識して行動している人は少ないのではないだろうか、病气やけがをしてはじめて健康の重要性を知るのではなく、常日頃から健康を意識し健康に関心の目を向けることが必要である。

文明先進国における疾病や運動不足に起因するさまざまな健康阻害を、スポーツ医学の面から人体を運動器としてとらえ、骨格、筋肉、靭帯を中心に、頭部、体幹、手、足と各部の身体的特長や、その欠点とスポーツ障害について講義する。

自己や他人の生命そして健康は何物にもまして大切なものである事の理解を深める事を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：講義の概要説明
- 2 時限目：骨格と障害 1) 頭蓋
- 3 時限目：　　　　　2) 体幹
- 4 時限目：　　　　　3) 体幹
- 5 時限目：　　　　　4) 下肢
- 6 時限目：　　　　　5) 下肢
- 7 時限目：　　　　　6) 上肢
- 8 時限目：身体運動と健康
- 9 時限目：運動不足の害
- 10時限目：運動の効果・骨と健康
- 11時限目：トレーニング論 1)
- 12時限目：トレーニング論 2)
- 13時限目：運動と栄養
- 14時限目：健康管理
- 15時限目：まとめ

成績評価の方法

出席および筆記試験によって行なう。またレポートなど提出物によって試験に変える場合もある。

教 科 書

『保健体育概論』（カツサ出版部）
教科書は指定するが、必ずしも教科書に沿って講義を進めるわけではない。

参 考 書 等

医学面の人体解剖図などその他必要な資料は、こちらで配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論2(前期)	おおいし たけし 大石 武士	経営A選	2

講義のねらい

生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はどこかで、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならない処置、とっさの処置が生命の別れ日になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病氣や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病氣・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：講義内容の説明
- 2 時限目：体育の概念
- 3 時限目：身体運動と体育運動
- 4 時限目：健康の概念、身体運動の効果
- 5 時限目：人体構造の概略、エイズ問題
- 6 時限目：救急処置の目的、一次救命処置
- 7 時限目：一次救命処置
- 8 時限目：一次救命処置実習
- 9 時限目：出血多量、ショック
- 10 時限目：熱中症、やけど(熱傷)、凍傷
- 11 時限目：R・I・C・E処置、創傷、創傷のない障害
- 12 時限目：挫滅傷、打撲、刺し傷
- 13 時限目：中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14 時限目：体力について
- 15 時限目：テスト

成績評価の方法

出席・実習および学期末試験で評価する。

参 考 書 等

- 1 駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』(カヅサ出版) 1,700円
- 2 『最新図解救命救急-応急手当の手引き-』(小学館) 700円

そ の 他

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 2	むら まつ 村 松 誠	経営A選	2

講義のねらい

現代は健康の時代の不健康な時代と言われる。健康に関する情報は、テレビに、雑誌にと、世に溢れている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、健康とは何であるかという、しっかりした健康観をもつことは、間違った選択をしないためにも大切なこととなる。そして、学生時代は人生の中でもっとも健康な時期と言われるが、現代の健康問題とされる生活習慣病は、この学生時代より多くは始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯に渡っての健康を考えて行く。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康観の変遷
- 3 時限目：現代の健康観
- 4 時限目：健康の成立要因
- 5 時限目：健康の成立条件
- 6 時限目：病気の原因
- 7 時限目：疾病構造の変遷と病気の予防
- 8 時限目：現代の感染症
- 9 時限目：喫煙と健康
- 10時限目：飲酒と健康
- 11時限目：ストレスと健康
- 12時限目：食べ物と健康
- 13時限目：運動と健康
- 14時限目：環境と健康
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

数回の小テストを行なう予定。

成績評価の方法

定期試験とその他を加味して評価する。

教 科 書

教科書は特に指定しないが、保健体育部編『保健体育概論』を参考図書とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論2(前期)	まきの 野 茂 牧 野 茂	経営A選	2

講義のねらい

現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：目的と課題の把握 全体ガイダンス、アンケートとその解説
- 2 時限目：健康とは何か① 語源・定義・性格
- 3 時限目：健康とは何か②
- 4 時限目：健康とは何か③
- 5 時限目：恒常性と適応 ストレス学説
- 6 時限目：健康の成立条件 健康を規定する条件
- 7 時限目：健康の保持増進① 科学的研究、健康教育
- 8 時限目：健康の保持増進② 保健衛生サービス、健康の獲得
- 9 時限目：健康指標 WHOの総合健康指標
- 10時限目：日常生活と健康① 運動・栄養・休養①
- 11時限目：日常生活と健康② 〃・〃・〃 ②
- 12時限目：日常生活と健康③ 嗜好品と健康
- 13時限目：感染症について① インフルエンザ、結核
- 14時限目：感染症について② 性行為感染症
- 15時限目：筆記試験

成績評価の方法

筆記試験において、60点以上を合格とする。

教 科 書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

参 考 書 等

『保健体育概論』（カズサ出版部）1,700円
他は、講義のなかで紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
余暇学 (前期)	あき た こう いち 秋 田 浩 一	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

世界のサッカーをリードするヨーロッパ。特にオランダ、イタリア、ドイツ、イングランドの現状と将来について考える。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ヨーロッパサッカーの歴史
- 3 時限目：オランダサッカーの現状
- 4 時限目： の考え方
- 5 時限目：イタリアサッカーの現状
- 6 時限目： の将来
- 7 時限目：ドイツサッカーの現状
- 8 時限目： の将来
- 9 時限目：イングランドサッカーについて
- 10時限目：フランスサッカーについて
- 11時限目：ヨーロッパのクラブの運営と組織について
- 12時限目：東ヨーロッパ・トルコのサッカーについて
- 13時限目：オランダサッカーの実習
- 14時限目：イタリア
- 15時限目：まとめ レポート提出

履修上の留意点

講義は教室で、実習は主として第1体育館で実施する。用具等はすべて貸与する。実習時は運動着、体育館用シューズを用意。

成績評価の方法

平素の学習態度とレポート提出および授業内の小テストで成績評価を行う。

参考書等

不要。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
余 暇 学 (前期)	た な か よ し な か 田 中 佳 孝	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

「余暇」が勤労の付け足しとして扱われた時代から一つの生活のテーマとして見直され始めた現在、真の自由時間としての余暇の本質を探り、種々の生涯スポーツと自然の中での様々な遊びの知識を学び、将来の個々の余暇生活を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限目：余暇学とは
- 3 時限目：日本の社会と余暇の歴史
- 4 時限目：これからの余暇
- 5 時限目：生涯スポーツ
- 6 時限目：ダイエットのウソ・ホント
- 7 時限目：春の里山遊び
- 8 時限目：秋の里山遊び
- 9 時限目：キノコ狩り
- 10 時限目：和式蚊鉤釣法（テンカラ）と西洋毛鉤釣り（フライフィッシング）
- 11 時限目：ネイチャー・スキー
- 12 時限目：「私の余暇」発表
- 13 時限目：予備日

履修上の留意点

1. 遅刻は認めない。
2. 授業中の携帯電話の使用は厳禁。違反者は不合格とする。

成績評価の方法

2/3以上の出席をした者に対し、個人発表とレポート提出により、優～不可の評価を行なう。出席回数が不足した者は不合格とする。

教 科 書

特になし

Ⅱ 専 門 教 育 科 目

経営学科フレックス A・第1部経営学科

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、
フレックスBの頁を参照してください。(→P. 525)

科
專
門
教
育
目

II. 專門教育科目

經濟學概	說	滝田公一	265
簿記學	學	岩淵昭子	265
簿記學	學	片桐伸夫	266
簿記學	學	猿山義広	267
簿記學	學	小田田幹雄	268
簿記學	學	大野滿奈	268
簿記學	學	中村公一	269
簿記學	學	高木克己	270
簿記學	學	近藤禎夫	271
簿記學	論	明石博行	272
簿記學	論	西村和夫	273
簿記學	論	飯田哲夫	274
簿記學	論	河内谷幸子	275
簿記學	論	加藤武信	275
簿記學	論	地引昌弘	276
簿記學	論	遠山正朗	277
簿記學	論	依田聖	277
簿記學	論	河内谷幸子	278
簿記學	論	加藤武信	279
簿記學	論	地引昌弘	280
簿記學	論	遠山正朗	281
簿記學	論	依田聖	282
簿記學	論	明石博行	282
簿記學	論	阿部一人	283
簿記學	論	飯田哲夫	283
簿記學	論	小沢利久	284
簿記學	論	各務洋子	284
簿記學	論	鹿嶋秀晃	285
簿記學	論	片桐伸夫	286
簿記學	論	兼村榮哲	286
簿記學	論	高木克己	287
簿記學	論	滝田公一	287
簿記學	論	長岡強	288
簿記學	論	中川淳平	288
簿記學	論	中村公一	289
簿記學	論	永田智則	289
簿記學	論	西村和夫	290
簿記學	論	羽鳥茂	290
簿記學	論	羽田尚健	291
簿記學	論	日野健太	292
簿記學	論	藤原篤志	293
簿記學	論	宮城徹	294
簿記學	論	山田勝	294
簿記學	論	渡邊惠一郎	295
簿記學	論	中川淳平	295

專門教育
科目

専科
教育目

ア	メ	リ	カ	經	管	学	〈宮	城	徹	296
下	イ	ツ	經	管	学	学	〈高	橋	成	297
經	營	管	理	論	論	論	〈鈴	木	幸	298
經	營	組	織	論	論	論	〈日	野	健	299
生	産	管	理	論	論	論	〈鹿	嶋	秀	300
マ	一	ケ	テ	イ	ン	グ	論	兼	原	301
經	營	財	務	論	論	論	〈高	村	榮	302
国	際	經	營	論	論	論	〈茂	田	光	304
經	營	戰	略	論	論	論	〈休	垣	広	305
企	業	形	態	論	論	論	〈各	務	洋	306
ベ	ン	チ	ャ	ー	企	業	論	休	講	307
公	益	企	業	論	論	論	〈園	田	哲	307
環	境	經	營	論	論	論	〈休	講	講	307
經	日	本	營	史	史	史	〈前	田	和	307
日	商	業	營	史	史	史	〈大	島	久	308
保	險	行	業	論	論	論	〈石	名	坂	308
銀	行	業	營	論	論	論	〈服	部	邦	309
商	上	級	簿	記	論	論	〈大	塚	雪	310
財	務	理	會	計	論	論	〈渡	邊	惠	311
管	理	計	監	査	論	論	〈猿	山	義	312
會	原	稅	務	會	計	論	〈阿	部	一	312
稅	務	營	分	析	論	論	〈近	藤	禎	313
經	国	情	報	會	計	論	論	休	講	314
經	濟	政	策	論	論	論	〈片	桐	伸	315
財	金	融	論	論	論	論	〈速	水	昇	316
国	際	經	濟	論	論	論	〈北	見	良	316
日	証	本	市	場	論	論	〈永	田	智	317
証	計	券	經	濟	学	学	〈羽	鳥	茂	318
イ	ノ	ベ	ー	シ	ョ	ン	論	佐	藤	319
日	本	經	濟	史	史	史	〈吳	逸	尚	320
情	報	処	理	應	用	Ⅱ	論	羽	田	321
情	報	処	理	應	用	Ⅱ	論	北	島	321
情	報	処	理	應	用	Ⅲ	論	長	谷	322
情	報	処	理	應	用	Ⅲ	論	長	谷	322
情	報	処	理	應	用	Ⅲ	論	長	谷	323
情	報	処	理	應	用	Ⅲ	論	長	谷	324
情	報	処	理	應	用	Ⅲ	論	西	村	325
經	營	科	学	論	論	論	〈小	沢	利	326
經	營	情	報	論	論	論	〈高	井	徹	327
シ	ス	テ	ム	論	論	論	〈宇	谷	明	328
統	計	原	論	論	論	論	〈山	内	慎	329
經	營	統	計	論	論	論	〈長	国	強	330
民法	I	〔	總	則	・	物	權	法	〕	331

商法 I (総則・会社法)	〈荒木正孝〉	332
労働	法〈藤本茂〉	333
税	法〈奥村正博〉	334
演習	II 〈明石博行〉	335
演習	II 〈阿部一人〉	335
演習	II 〈飯田哲夫〉	336
演習	II 〈石名坂邦昭〉	336
演習	II 〈小沢利久〉	337
演習	II 〈各務洋子〉	337
演習	II 〈鹿嶋秀晃〉	338
演習	II 〈片桐伸夫〉	339
演習	II 〈兼村栄哲〉	339
演習	II 〈鈴木幸毅〉	340
演習	II 〈猿山義広〉	340
演習	II 〈高井徹雄〉	341
演習	II 〈高木克己〉	341
演習	II 〈高田光明〉	342
演習	II 〈滝田公一〉	342
演習	II 〈長国強〉	343
演習	II 〈中川淳平〉	343
演習	II 〈中村公一〉	344
演習	II 〈永田智則〉	344
演習	II 〈西村和夫〉	345
演習	II 〈羽鳥茂〉	345
演習	II 〈羽田尚子〉	346
演習	II 〈日野健太〉	347
演習	II 〈藤原篤志〉	348
演習	II 〈前田和利〉	349
演習	II 〈宮城徹〉	349
演習	II 〈山田勝〉	350
演習	II 〈渡邊惠一郎〉	350
民法 II (債権法)	〈上井長久〉	351
商法 II (商行為、手形・小切手法)	〈島原宏明〉	352
外書講読 (英書)	〈藤原篤志〉	352
外書講読 (英書)	〈山田勝〉	353
外書講読 (英書)	〈羽田尚子〉	353
外書講読 (独書)	〈松岡晋〉	354
外書講読 (仏書)	〈遠山博雄〉	354
外書講読 (中国書)	〈杉山静〉	355
外書講読 (スペイン書)	〈上野勝広〉	355
外書講読 (ロシア書)	〈杉山秀子〉	355
ビジネス英語	〈町井靖〉	356
特殊講義 (前期)	〈代田純〉	356
特殊講義 (後期)	〈休講〉	
演習	III 〈明石博行〉	357
演習	III 〈阿部一人〉	357
演習	III 〈飯田哲夫〉	358
演習	III 〈石名坂邦昭〉	358
演習	III 〈小沢利久〉	358

科
專
門
教
育
目
錄

演	習	Ⅲ	〈各	務	洋	子〉	359
演	習	Ⅲ	〈鹿	嶋	秀	晃〉	360
演	習	Ⅲ	〈片	桐	伸	夫〉	361
演	習	Ⅲ	〈兼	村	榮	哲〉	361
演	習	Ⅲ	〈近	藤	禎	夫〉	362
演	習	Ⅲ	〈鈴	木	幸	毅〉	362
演	習	Ⅲ	〈猿	山	義	広〉	363
演	習	Ⅲ	〈高	井	徹	雄〉	363
演	習	Ⅲ	〈高	田	光	明〉	364
演	習	Ⅲ	〈高	木	克	己〉	364
演	習	Ⅲ	〈日	野	健	太〉	365
演	習	Ⅲ	〈滝	田	公	一〉	365
演	習	Ⅲ	〈長	田	国	強〉	366
演	習	Ⅲ	〈永	田	智	則〉	366
演	習	Ⅲ	〈中	川	淳	平〉	367
演	習	Ⅲ	〈中	村	公	一〉	367
演	習	Ⅲ	〈西	村	和	夫〉	368
演	習	Ⅲ	〈羽	鳥		茂〉	368
演	習	Ⅲ	〈藤	原	篤	志〉	369
演	習	Ⅲ	〈前	田	和	利〉	369
演	習	Ⅲ	〈宮	城		徹〉	370
演	習	Ⅲ	〈山	田		勝〉	370
演	習	Ⅲ	〈渡	邊	惠	一 郎〉	371

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学概説	たき たい こう いち 滝 田 公 一	経営A1必	4

講義のねらい

経済学の入門用の講義を行います。経済学の知識は、将来、経営学や会計学を学ぶ際に役に立ちます。前期はマイクロ経済理論を、後期にはマクロ経済理論を講じる予定です。

講義の内容・授業スケジュール

1. 消費者行動 2. 個人需要と市場需要 3. 生産と費用 4. 完全競争下の企業 5. 独占と寡占 6. 生産要素市場 7. 一般均衡と経済厚生 8. 市場の失敗 9. 不確実性と情報 10. GNPと物価指数 11. 国民所得決定の理論 12. 貨幣市場の理論 13. IS-LM分析 14. 消費関数の理論 15. 投資関数の理論 16. 財政政策と金融政策 17. 失業とインフレーション 18. 国際マクロ経済理論 19. 景気変動の理論 20. 経済成長

履修上の留意点

特にありません。

成績評価の方法

学年度末の筆記試験によって評価します。

教科書

ブレア&ケニー『現代マイクロエコノミクス』（多賀出版）（前期用）
マンキュー『マクロ経済学Ⅰ』（東洋経済）（後期用）

参考書等

倉沢資成『入門価格理論』（日本評論社）
中谷巖『入門マクロ経済学』（日本評論社）

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
簿記学	い わ ぶ ち し ょ う こ 岩 渕 昭 子	経営A1必	4

講義のねらい

簿記とは、企業の経営活動を貨幣価値的に把握し、一定の記帳原理によって記録・計算・整理する方法です。今日、コンピュータによる会計処理が増えておりますが、その基本は複式簿記にあります。前期では、勘定各論を中心に、後期は、個人企業の決算手続きと財務諸表の作成まで学習します。

講義の内容・授業スケジュール

簿記は「手で考える学問」です。設例を実際に解くことが理解を早く深めます。講義の内容は次のとおりです。

- ① 簿記の基礎
- ② 商品売買の処理
- ③ 現金預金取引の処理
- ④ 手形取引の処理
- ⑤ 有価証券と固定資産の処理
- ⑥ その他の債権債務
- ⑦ 試算表の作成
- ⑧ 決算
- ⑨ 財務諸表の作成
- ⑩ 帳簿組織

履修上の留意点

簿記の学習は、記憶することよりもペンと電卓を片手に反復学習によって修得していくものと思います。可能な限り出席を心掛けて、経営学部の学生にとって重要な基礎的専門学問の一つである簿記学を身につけられることを期待いたします。

成績評価の方法

前期と後期の試験に平常点(出席・課題・小テスト)を加味して、総合評価により行います。

教科書

大橋信定編著『三訂版簿記基礎講座』（創成社）1,500円

その他

必要に応じて紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
簿 記 学	かた ぎり のぶ お 片 桐 伸 夫	経営A1必	4

講義のねらい

簿記は、とくに企業の経済活動を貨幣金額で記録するための方法です。簿記とは「帳簿記入」の略語であり、文字通り「書いて覚える」科目です。したがって、授業を休まず、毎回の課題をていねいに記帳し、確実に学習することが大切です。学習の成果は、次第に「企業の経営成績と財政状態が分かる」ようになることです。

講義の内容・授業スケジュール

- ①「簿記学とは?」、貸借対照表と損益計算書の構造
 - ②仕訳と転記 ③決算まで
 - ④現金預金・商品 ⑤補助元帳・有形固定資産
 - ⑥引出金・試算表 ⑦売上原価
 - ⑧貸倒引当金・減価償却・有価証券など
 - ⑨手形 ⑩費用・収益の見越・繰延 精算表 (以上、日商3級レベルまで)
 - ⑪2年次の会計学(株式会社会計)の準備として、日商2級レベルの内容も若干学習します(3級は個人商店の簿記です)。
- ☆ 詳しいスケジュールは、開講時に配付します。

履修上の留意点

ともかく記帳をおっくうがらないことです。簿記は「書いて覚える」科目であることに、とくに留意ください。

成績評価の方法

成績評価は平常点(宿題、小テスト)で行います。
☆ 質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいで下さい。

教科書

『新検定簿記ワークブック3級 商業簿記』(中央経済社)

参考書等

必要に応じて紹介します。

専
門
教
育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
簿 記 学	さる やま よし ひろ 猿 山 義 広	経営 A 1 必	4

講義のねらい

この講義では、会計学の初心者を対象として日商簿記3級レベルの商業簿記を学びます。簿記を通して企業の経済活動の実態が見えてきます。また簿記は、企業社会のみならず、広く社会一般において役立つ計算技術です。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1章 簿記の意味・目的・種類
- 第2章 簿記の基本概念
- 第3章 取引と勘定記入
- 第4章 仕訳と転記
- 第5章 仕訳帳と総勘定元帳
- 第6章 試算表と精算表
- 第7章 決算と財務諸表の作成
- 第8章 現金・預金
- 第9章 商品売買
- 第10章 売掛金と買掛金
- 第11章 その他の債権・債務
- 第12章 手形
- 第13章 貸倒損失と貸倒引当金
- 第14章 有価証券
- 第15章 固定資産
- 第16章 費用・収益
- 第17章 資本と税金
- 第18章 帳簿と伝票
- 第19章 決算

科 専
目 門
教 教
育 育

履修上の留意点

「簿記学」は計算科目なので、かならず電卓を持参すること。

成績評価の方法

期末試験に平常点を加味して評価します。ただし、中心になるのは期末試験の結果です。

教 科 書

加古宜士・穠山幹夫監修『段階式日商簿記3級商業簿記』（税務経理協会）

参 考 書 等

加古宜士・穠山幹夫監修『段階式日商簿記ワークブック3級商業簿記』（税務経理協会）

科目名	担当者名	配当学科	単位
簿記学	小田 幹雄	経営A1必	4

講義のねらい

簿記を初めて学ぶ学生のために設けられた、簿記の基礎知識を理解してもらうクラスです。簿記は日常の経済活動の状態を数値的に把握し、記録するための大切な手段であるので、本講座では「簿記とはどのようなものか」ということを認識してもらうために、プリントや練習問題により、簿記学習の基礎である資産・負債・資本の概念や、収益・費用の意味について理解してもらいたい。また、いろいろな勘定科目の意味を理解し、簿記一連の流れである仕訳・転記・試算表・決算修正・決算等についての基本的問題について正確に理解してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 講義の内容は次のようになります。
- I 複式簿記の原理：複式簿記の計算構造・簿記一巡の手順
 - II 期中取引の処理：現金預金、商品売買、売掛金・買掛金、受取手形・支払手形など
 - III 決算に必要な処理：決算修正仕訳・残高試算表の作成など
 - IV 帳簿処理の合理化：伝票制度

履修上の留意点

簿記の学習は「自分自身がペンと電卓をもって練習問題を数多く解くこと以外にはない」との私の教育方針から、練習問題を解かせるし、テストや宿題を出すこともある。テスト用紙は必ず提出すること。出欠席のチェックは毎回行う。

成績評価の方法

講義時のテストおよび、宿題の点数を合計し、更に、定期試験の点を加算し、再び平均点を出して評価する。そのため、講義中のテストや宿題の未提出者は当然平均点が下がることになるから注意すること。

教科書

羽瀧信宏監修『簿記テキスト—商業簿記—初級編』（共栄出版）2,000円程度
中村義彦編著『基本簿記演習』（プレスウェーブ）1,524円

参考書等

鶴剣哲夫・中村義彦著『簿記イントロダクション』（森山書店）2,625円

科目名	担当者名	配当学科	単位
簿記学	大野 満奈	経営A1必	4

講義のねらい

簿記は会計学の基本であり、複式簿記の計算構造は、会計学のどの分野を学ぶにしても前段的に理解されることが必要である。この意味において、簿記の基本原則を理解し、経営学部に学ぶ者が最低必要とされる簿記知識を修得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|---|--|
| <p>前期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 簿記・会計の意義と目的 2. 企業の財政状態—貸借対照表 3. 企業の経営成績—損益計算書 4. 取引と仕訳 5. 勘定記入と元帳の締め切り 6. 帳簿・伝票・証ひょう 7. 試算表の作成 (1) 8. 精算表の作成 (1) 9. 現金・預金 10. 小口現金 11. 商品売買の処理と仕入帳・売上帳 12. 総合復習 13. 総合復習 | <p>後期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 商品有高帳 2. 売掛金・買掛金と人名勘定 3. 有形固定資産の取得と売却 4. 資本金と引出金 5. 試算表の作成 (2) 6. 売上原価の計算と決算仕訳 7. 貸し倒れの見積りと減価償却 8. 精算表の作成 (2) 9. 有価証券 10. 手形取引 11. 費用・収益の見越しと繰り延べ 12. 精算表の作成 (3) 13. 総合復習 |
|---|--|

履修上の留意点

簿記は自分で練習問題を解き、照合することによって初めて修得できるものであるから、原則として毎回出席して要点を理解し、自宅では毎回の復習に心掛けること。また、疑問点は、積極的に質問することによって早期に解決しておくこと。

成績評価の方法

試験の点数・出席回数・提出物の三点をもって総合的に評価する。

教科書

『要点整理 日商簿記検定練習問題集』3級（一橋出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営学	なかむらこういち 中村公一	10以降入学生/経営A1必	4
		9以前入学生/経営A2必	

講義のねらい

我々が日常生活をしていく上で、企業は必要不可欠な存在となっている。例えば、洋服を買う場合を考えてみたい。洋服をデザインし、生地から商品を作り、在庫として管理し、各店舗に必要なものを運搬し、販売する。そして、我々の手に届くのである。この一連の流れの中心には、企業が関わっており、より良い商品や、販売までの仕組みを作ることを課題としている。さらに、卒業後は企業に就職を希望する人たちが大半であろう。経営学は、そのような企業の分析を中心に展開されてきた。

本講義では、今まで培われてきた豊富な経営学の理論と、できる限り身近な企業の実例を用いながら、理論と事例の融合を図り、経営学とは一体何を勉強する学問なのかということを常に問い続けたい。1回の講義で1つの重要テーマに関する内容を扱い、さらなる専門科目の学習への基盤になるような知識と考え方の習得を目指していく。

したがって、この講義は、経営学関連科目の基礎として位置付けられるものである。

講義の内容・授業スケジュール

第1部 経営学の基本課題

- 1、経営学を学ぶ意義
 - 2、経営学の対象（経営とは何か、経営の概念）
 - 3、経営学の展開（経営学の過去と現在）
 - 4、企業・組織とは何か
 - 5、経営者とは何か
 - 6、日本と海外の企業（経営的特徴の比較）
 - 7、企業を取り巻く諸問題
- ・前期では、経営学に関する基礎知識の習得を目的に学習していく。

第2部 経営学の諸課題

- 1、組織をつくる（組織に関わる問題）
 - 2、組織を管理する（管理に関わる問題）
 - 3、組織を成長させる（戦略に関わる問題）
 - 4、組織とヒト（労務に関わる問題）
 - 5、組織とモノ（生産、販売に関わる問題）
 - 6、組織とカネ（財務に関わる問題）
- ・後期では、経営学の各論部分を学習していく。多くの関連専門科目につながっていく内容である。

履修上の留意点

経営学を勉強する上では、日頃から新聞や雑誌、テレビなどで関連する情報にはできる限り目を通すことが効果的である。我々の周りではどのようなことが起きているのか、常に把握していくことが、経営学への学習意欲の向上につながるだろう。

本講義は、大教室で行われ、多数の学生が受講するので、他人の迷惑になる私語は絶対にしないように注意すること。

成績評価の方法

学年末定期試験を中心に、授業中に行う復習テスト、小レポートなど、多面的な尺度から評価する。

教科書

特定の教科書は用いずに、配布プリントによって講義を進める。経営学の基本書や参考書、用語辞典などの紹介は講義の中で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計学	たかき かつみ 己	14以降入学生/経営A1必 13以前入学生/経営A2必	4

講義のねらい

今日、企業活動の国際化に伴い、会計制度も大きく変わろうとしている。その中で、我々は、個人又は組織体としていろいろな経済活動を行なっている。このような経済活動を営む主体を経済主体というが、会計の役割は、この経済主体が行なう経済活動及びこれに派生して起こる経済事象を、主として貨幣額で測定・記録・報告することにある。会計学は、通常、株式会社の会計を研究対象とする学問である。

本講義では、簿記学を学ぶ上でも参考になるように、企業会計の仕組みを明らかにしていくことにする。特に、企業会計に大きな影響を及ぼしている国際会計基準(国際財務報告基準)、商法、証券取引法、法人税法等の規定との関係、あるいは、近時、次々と公表されている会計処理基準についても、できるだけやさしく説明しながら、その根拠、背景を明らかにしていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 会計の意義・役割等
2. 貸借対照表と損益計算書、利益処分計算書
3. 企業会計の理論構造
 - (1) 会計公準
 - (2) 企業会計原則
 - (3) 国際会計基準
4. 会計の制度的枠組み
 - (1) 商法による会計規定
 - (2) 証券取引法による会計規定
 - (3) 法人税法による会計規定
5. 資産会計
 - (1) 意義と分類
 - (2) 評価基準
6. 負債会計
 - (1) 意義と分類
 - (2) 引当金、社債等
7. 資本金会計
 - (1) 意義と分類
 - (2) 利益剰余金、資本剰余金、自己株式
8. 損益会計
 - (1) 意義と分類
 - (2) 損益の認識基準
9. 財務諸表の作成
10. 連結財務諸表

履修上の留意点

簿記学での学習と常に平行しながら、受講するとより理解が深まると思われる。この分野の勉強をより深めるには、2年次以降履修可能な財務会計論を履修するとよい。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。

教科書

講義で使用する教科書、参考書等については開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計学	近藤 禎夫 <small>こん どう さだ お</small>	14以降入学生/経営A1必	4
		13以前入学生/経営A2必	

講義のねらい

普通、企業会計というときそれは財務会計を指す。財務会計は、商法、証券取引法、および法人税法などの法律制度に拘束されるので制度会計ともいう。また、企業とりわけ独占大企業は、企業活動の詳細を会計数値によって利害関係者（経営者はいうまでもなく、株主、投資家、税務当局等々）に報告・開示が義務づけられており、公表会計ないし外部報告会計とも称したりする。

会計学および会計実務も、21世紀の企業を取り巻く国際的な政治情勢・経済情勢の劇的な変化にともない、日本の証券・金融市場や経済界全般が国際会計基準に調和せざるを得なくなってきた。まさに幕末の黒船出現のように、わが国に金融ビッグバンとともに会計ビッグバンをもたらした。例えば、企業グループ全体の業績を重視した連結財務諸表およびキャッシュフロー計算書の導入、年金制度の変革と退職給付会計、金融派生商品会計（デリヴァティブ）、税効果会計の導入等々と枚挙にいとまがない。

前期においては、初心者を対象にした財務会計の基本的な仕組みや会計制度の概要を講義する。それをふまえて、後期には最先端の日本の現代会計制度およびとくに注目すべき上記の個別問題に取り組むように計画している。

科
専
門
教
育

講義の内容・授業スケジュール

〔会計の基本構造〕

1. 会計の対象と方法
2. 会計の歴史
3. 企業の計算構造と複式簿記
4. 貸借対照表と損益計算書、利益処分計算書

〔企業会計制度〕

5. 日本の企業会計制度の特質
6. 商法、法令による企業会計制度
7. 証券取引法による企業会計制度
8. 財務情報の開示と監査制度

〔会計の国際化と会計制度の変革〕

9. 連結財務諸表の計算書
10. キャッシュフロー計算書
11. 退職給付会計
12. 金融商品・金融派生商品会計
13. 国際会計基準・米国会計制度

履修上の留意点

1年次生は簿記学をしっかり履修しつつ受講すること。また2年次生も簿記学の知識は必ず必須要件であり、さらに商法などの履修をすることが望ましい。

成績評価の方法

夏季休暇前の中間試験（またはレポート）ならびに学年末試験（とくに重視）により評価する。必修科目なので真剣に受講して頂きたい。

教科書

学期の始めに指示する。

参考書等

中央経済社編『会計法規集』最新版（2004年7月頃発売）
その他の参考書および参考文献は、随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	あか し ひろ ゆき 明 石 博 行	経営 A 2 選必	4

講義のねらい

資本制の経済社会（資本制社会）を対象とする経済社会学の基礎理論について、入門的な講義をします。講義では、近代から現代にかけて生まれ発展し変化してきた、そして現在わたしたちがそのなかで日々暮らしている資本制社会をめぐる、どのような経済的な仕組みと運動法則がそこにあるのか、個々の国や社会における思想・法律・政策などは資本制の経済によってどのように規定されるのか、資本制の国々や社会の思想・法律・政策などの相対的な独自性は経済にどのような影響を与えるのか、といった問題に取り組みます。この取り組みをつうじて、わたしたちの社会生活を支えている経済の仕組みや、わたしたちの社会行動を支配し規制している法則の基礎について、科学的かつ系統的な理解を得られるよう援助することが、本講義の目的であり課題です。

講義の内容・ 長スケジュール

講義は、序論的な解説を行う序章ののち、7つの章からなる本論の第1章から4章までに重点をおいて進めます。

序章では、経済社会と経済社会学に関する基礎的な解説をします。予備的知識の修得をめざし、人類社会の特徴である経済を土台とする社会構成の把握、人類史におけるさまざまな経済社会の興亡と区分、経済社会学の研究史の概要など、資本制の経済社会を理解するうえでの基礎となることから説明するのです。

第1章では、市場と個人について説明します。本章では、市場はどのような生産の様式を基礎として発生し発展するのか、市場で売買される商品とはどのようなものなのか、商品が発生し発展するとともに貨幣が発生し発展するのはなぜなのか、貨幣はどのような機能をもつものなのかを説明します。また、市場で貨幣を仲立ちとする商品の売買がなされることを基礎として、自立した所有者としての私的個人という人間類型と市民社会が形成され発展してくることにについても説明します。

第2章では、資本としての貨幣の運動について説明します。本章では、資本および資本家とは何か、資本としての貨幣の運動が可能となるための条件は何かを探求し、労働力の商品化が市場の一般化と近代的な資本発生条件であることを明らかにします。

第3章では、労働と資本について説明します。資本制社会は、資本としての貨幣を投ずる階級に属する人々が、労働をしなければならない階級の人々の労働力を商品として市場で買い、生産の過程でその労働力を使用し、最初に投じられた資本価値を越える剰余価値を獲得することによって成立します。階級社会としての資本制社会の法則や制度はこの仕組みを基礎として生まれ発展し変化することを、本章で明らかにします。

第4章では、資本の再生産と蓄積について説明します。資本の再生産とともに階級関係の再生産および階級の分化・再編がなされること、資本の蓄積により資本制の経済社会が発展し変化してゆくことを、この部分で論じます。

資本の流通の問題を扱う第5章、資本と利潤の問題を扱う第6章、資本の諸姿態の問題を扱う第7章については、十分な説明はできません。しかし、第4章までの関連部分と最後の部分で、これらの諸章で論ずべきことについても簡単に言及する予定です。

履修上の留意点

講義に出席して、ノートをとる必要があります。

成績評価の方法

講義のさいに適時提出してもらったレポートと年度末の定期試験の結果を総合的に判断し、評価をします。

教 科 書

教科書は使用しません。しかし、適時プリントを配布し、講義を理解できるよう援助します。参考書等は講義のさいに紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営科学概論	にしむらかずお 西村和夫	経営A2選必	4

講義のねらい

生産活動には、本来の物作りの技術のほかに、高能率、高品質、低コスト、短納期を達成するための効率的な生産システムの設計・改善および維持管理の技術が必要である。わが国の産業界は、いち早くQC（品質管理）、IE（経営工学）・OR（オペレーションズリサーチ）をはじめとする経営管理技術を導入することによって生産、品質、コスト面で飛躍的發展を成し上げた。

この講義ではQC、IE、ORを中心に、経営管理技術の基本的な理論と方法を概説する。また、今後本学部において経営科学系の科目を受講する上での基礎を学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

全体を大きく1、2、3の部分に分けて講義を行う。1ではこの講義で扱う学問領域（一般に経営工学と呼ばれている）を概観する。2では経営工学が対象とする経営管理の諸分野を取りあげる。3では経営管理のなかで用いられている技術的な各種手法について解説していく。ただし、2と3は相互に関連するものであり、必要に応じて順番を入れ替え、両者が有機的に結びつくよう講義を進めていく。

1. 経営工学の概略と歴史
2. 経営工学が対象とする諸分野
 - 経営計画：経営計画の策定、経営情報のシステム化
 - 販売管理：マーケティング活動、販売計画
 - 生産管理：生産方式、設備配置計画、日程計画
 - 品質管理：統計的品質管理、総合的品質管理
3. 経営管理技術の各種手法
 - インダストリアルエンジニアリング：メソッドエンジニアリング、作業測定
 - バリューエンジニアリング：価値のとらえ方、発想法
 - 経済性工学：資金の時間的価値、設備投資案の経済計算
 - データ解析：需要予測、推定と検定、回帰分析
 - オペレーションズリサーチ：線形計画法、PERT/CPM、待ち行列理論、在庫管理モデル、シミュレーション、システムの信頼性解析
 - システム解析：システム概念、情報処理システム

科 専 目 門 教 育

履修上の留意点

履修に際して予備的な知識は必要としない。理解を深めるために適宜演習を行う。教科書はあくまで参考として用いるものなので、毎回出席してきちんとノートをとること。また、手法についての理解を深めるために適宜演習を行う。

成績評価の方法

演習課題と試験（前期末、後期末）により総合評価

教科書

秋庭雅夫他著『経営工学概論』（朝倉書店）3,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営数学	飯田哲夫	経営A1・2・3・4選 14以降入学生/履修B1・2・3・4選	4

講義のねらい

企業経営上の諸問題を扱う際、問題を定量的に分析したり、合理的な意思決定を行うために数理的な方法論を用いることがしばしばある。また、近年の情報化の発展に伴い、多種大量のデータを収集し、企業経営に活用することが容易になっており、そのための情報利用技術もまた発展してきている。

合理的な意思決定を支援する方法論や情報利用技術については、経営科学や経営情報学といった専門科目で学ぶことになるが、それらを理解する上で、ある程度の数学的素養があることが望ましい。

この講義では、経営科学や経営情報学、そして、その他の経営学関連の専門科目に関係する数学的知識のみを対象とし、数学をあまり得意としない人でも理解できるように、応用例を交えて、数学がどのように用いられるのかを具体的に紹介しながら基礎的なことから講義を進めていく。

講義の内容・授業スケジュール

講義は高校で習った数学の復習を含めて基本的な内容から始め、微分および線形代数を扱う。具体的には以下の内容を予定している。

1. 1次関数、2次関数
2. 分数関数、指数関数
3. 数列、極限
4. 微分法とその応用
5. 多変数関数、多変数関数の微分とその応用
6. ベクトル、行列、逆行列
7. 連立1次方程式、連立1次不等式
8. 確率の基礎

ただし、応用例などを紹介するにあたり、関連性の強いいくつかの内容をまとめて説明することもあるため、必ずしも上記の順番で講義を行うものではない。

履修上の留意点

講義では理解を助けるために例を用いて説明を行うけれども、数学を学ぶ上では、抽象的な概念に慣れることが必要であり、かつ、講義の積み重ねを経ないと理解できないことも多いため、毎回出席すること。

成績評価の方法

前期・後期それぞれに数回小テストを行う。必要に応じてレポートの提出を求めることもある。それらの成績を年度末の筆記試験に加味して評価する。

教科書

特に指定しない。プリントを適宜配布する。

参考書等

講義中に適宜紹介する。

その他

〔関連科目〕経営科学概論、経営科学、経営情報論、情報理論、経営統計、統計原論

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理基礎(前期)	かわちや まち こ 河内谷 幸 子	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

この講義のねらいは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、1人1台コンピュータを使って実習を行います。初心者者を前提として、パソコンの電源の入れ方からはじめます。その後、タイプ練習、日本語入力、ワープロソフト、ホームページ検索、ホームページ作成入門、情報倫理などを実習していきます。

履修上の留意点

コンピュータ実習授業は1回休むと次の実習内容がわからなくなるので、休まないようにしましょう。出席は必ずとります。

成績評価の方法

コンピュータを使って解くレポート課題を2～3回出し、その結果と出席状況の総合評価によって成績を評価します。

教 科 書

毎回プリントを配布しますので、教科書は使用しません。

参 考 書 等

その都度授業で指示します。

そ の 他

1人1台コンピュータを使った実習形式です。
 [クラス定員] 60名
 [関連科目] 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
 ※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理基礎(前期)	か どう たけ のぶ 加藤 武 信	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

情報化社会の電子文房具であるパソコンは、個人レベル、組織レベルおよび社会レベルで益々必要性を増している。ここではパソコンの原理とその活用法の基礎部分を総合的に学習し、それを自在に使用して、インターネットを用いた情報検索やワープロによる文書の作成、表計算によるデータ加工の技法などを修得する。パソコンの実習環境は、Windowsを用いる。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) コンピュータの仕組みと Windows の基本操作
 アクセサリとペイントの活用、タイピング、ファイルシステムの操作を含む
- (2) ワープロソフト Word による文書作成
 日本語入力、手紙、納品書、履歴書などの作成、図形描画の活用
- (3) 表計算ソフト Excel による作表・作図 (基本レベル)
 売上集計、成績処理と各種グラフ、納品書、履歴書、精算表の作成
 基本関数、論理関数、データベースの活用
- (4) インターネットと電子メールの活用
 Web ページの検索、ダウンロード、メールの送受信など

履修上の留意点

パソコン実習が全体の80%を占めるので、欠席せず、熱意をもって受講することを望む。習熟するためには、時間外のパソコン実習が必須である。また、テキストや配布教材を熟読しなければならない。

成績評価の方法

出席、レポートおよびテストにより評価する。

教 科 書

加藤武信他『コンピュータ活用』(サンウェイ出版) 2,300円 (改訂版を使用)

そ の 他

授業の方法：パソコン実習
 [クラス定員] 60名
 [関連科目] 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
 ※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理基礎(前期)	じ びき まさ ひろ 地 引 昌 弘	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

本講義では、経営の様々な場面で出会う意思決定やその問題解決の手段として、コンピュータを自分自身で活用できるための基礎の習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- ・イントロダクション
講義内容概説／情報教育センターに関するオリエンテーション／コンピュータ科学と経営学について(プロローグ)
- ・コンピュータの構成と基本操作
初めてコンピュータに触れる人が戸惑わないために、コンピュータを使う上での最初の一步から説明を始める。続いて、基本的な入力装置であるキーボードおよびマウスの操作に慣れることを目標に、ワープロソフトを用いた文書の作成を行なう。
- ・ホームページによる情報発信
電子メールを用いたコミュニケーションやWWWブラウザを用いた情報収集、最後に自らのホームページを作成して情報を発信できることを目指す。

専
門
教
育
目

履修上の留意点

本講義は、コンピュータの初心者が、コンピュータを補助として利用できるようになることを、そして何か問題が起きた場合でも自分自身で対処を行なえるようになることを最終的な目標にしています。

従って、上記の基本スケジュールと並行して、適宜コンピュータに関する様々な知識や最新情報なども解説していく予定です。

また、この目標に向けてのどのような質問／疑問でも大いに歓迎致します。

成績評価の方法

まずは、上記に述べた本講義の趣旨より、単位の取得だけが目的の者は遠慮していただきたい(出席免除などは認めない)。

実習が中心なので、基本的には毎回出席し、出席の確認として実習内容を提出させることを予定している。また、実習の状況に応じて課題を提出させる場合がある。

期末には、履修を終えた項目を応用したレポートを提出させる。

成績評価は、出席および課題／レポートを統合して行なう。

そ の 他

教科書などは特に指定しないが、必要に応じて各項目ごとの参考図書を紹介する。状況が許せば、コミュニケーション手段の一つとしてE-mail(電子メール)を利用する予定。

[クラス定員] 60名

[関連科目] 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論

※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理基礎(前期)	とお やま まさ お 遠 山 正 朗	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

本講義の目的は、大学生として必要不可欠なコンピュータの活用能力を身に付けてもらうことです。その活用能力とは、コンピュータを単体で活用する能力、コンピュータをネットワーク上で活用する能力の2つに大別できますが、それらを着実に習得できるよう、コンピュータの基本的な使い方から始めて、企業に関する情報の収集・処理などの応用的な使い方の導入まで、段階的に学習していきます。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りです。
 (1) コンピュータの基本的な使い方
 (2) Windowsの基本操作
 (3～5) インターネットの基礎
 (6～9) ワードプロセッサによる文書作成
 (10～13) 表計算ソフトによるデータ処理

履修上の留意点

授業は、コンピュータを使用した実習によって進め、各回ごとに授業内容に応じた演習を課すので、遅刻、欠席をしないように努めてください。

成績評価の方法

出席・演習課題(毎回実施)50%
レポート50%

教科書

特に指定しません。必要に応じてレジメ等を配布します。

参考書等

授業時間中に適宜紹介します。

その他

〔クラス定員〕60名
 〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
 ※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科 専
門 教
育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理基礎(前期)	よ だ きよし 依 田 聖	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

コンピュータなしでは社会生活を遂行してゆくことは困難になりつつある。コンピュータの基本的な操作方法をマスターする中で、コンピュータの機能について理解し、情報を大学生活に活用する能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

大学あるいは企業でPCを道具(情報収集、情報伝達、レポートの作成等)として使う基本的な方(コンピュータ・リテラシー)を養う。演習を中心に進めるが、コンピュータ化の問題点と情報倫理等の講義も行う。演習の主要な点は①PCの操作(Windowsの基本操作)②WWW(ブラウザの使用方法、情報検索・収集)③電子メール(送受信、添付ファイル、アドレス帳)④ワープロ(操作法、文書作成、印刷)

履修上の留意点

本科日は積み重ねが必要。欠席した場合必ず休んだ部分を勉強し、次回にのぞむように。分らないことは恥ずかしがらず聞き、その場で解決のこと。また復習をしっかりすること。演習は結果としてハードなものになるので熱意を持って取り組むこと。休まず、遅刻はしないこと(出欠は必ずとる)。

成績評価の方法

出席(毎回の課題を提出)50%、レポート50%。特にメールを習った後は毎回の課題はメールで提出する。

教科書

太田忠一編『文科系のためのコンピュータリテラシ』(サイエンス社)1997年 2,200円

その他

〔クラス定員〕60名
 〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
 ※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理応用 I (後期)	かわちや さち こ 河内谷 幸 子	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に全く新種のソフトが世間的に普及するような場合が生じても適応できるように、積極的に新しいものに取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回、1人1台コンピュータを使って実習を行います。「情報処理基礎」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。表計算ソフト、自分のホームページ作り、プレゼンテーションソフトの使い方などを実習します。

履修上の留意点

「情報処理基礎」をあらかじめ履修しておくことをおすすめします。また、コンピュータ実習授業は1回休むと次の実習内容がわからなくなるので、休まないようにしましょう。出席は必ずとります。

成績評価の方法

コンピュータを使って解くレポート課題を2～3回出し、その結果と出席状況の総合評価によって成績を評価します。

教 科 書

毎回プリントを配布しますので、教科書は使用しません。

参 考 書 等

その都度授業で指示します。

そ の 他

1人1台コンピュータを使った実習形式です。
〔クラス定員〕 60名
〔関連科目〕 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎」への事前登録申請のみでは履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理応用 I (後期)	かとう たけのぶ 加藤 武 信	経営 A1・2・3・4 選	2

講義のねらい

「情報処理基礎」の授業で確立したパソコンに関する知識・技術をさらに発展させ、実社会で応用できる活用能力に高める。すなわち Excel による応用処理と PowerPoint を用いたプレゼンテーション、さらに関係データベース Access を活用した「仕事の仕組み」の具体化を試みる。パソコンの実習環境は、Windows を用いる。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 表計算ソフト Excel による応用処理
データベース応用、ピボットテーブルの活用、各種計算モデルの活用、管理資料の作成
- (2) プレゼンテーションソフト PowerPoint によるデータの視覚化
表題、箇条書き、組織図、表、グラフ、挿絵入りスライドなどの作成
- (3) データベースソフト Access による成績処理業務の設計と処理
テーブルの設計、フォームによるデータ入力、テーブルの結合、クエリによる各種集計、SQL の基礎

履修上の留意点

パソコン実習が全体の80%を占めるので、欠席せず、熱意をもって受講することを望む。習熟するためには、時間外のパソコン実習が必須である。また、テキストや配布教材を熟読しなければならない。

成績評価の方法

出席、レポートおよびテストにより総合評価する。

教科書

加藤武信他『コンピュータ活用』（サンウェイ出版）2,300円（改訂版を使用）

参考書等

授業の中で示す。

その他

授業の方法：パソコン実習
〔クラス定員〕60名
〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎」への事前登録申請のみでは履修できません。

科 専
門 教
育 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理応用 I (後期)	じ びき まさ ひろ 地 引 昌 弘	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

本講義では、コンピュータの操作方法を単に習得するだけに偏らず、コンピュータ自体の知識や経営における実際の問題などに対応させながら、意思決定／問題解決の手段として活用できる能力の習得を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

・表計算の基本
経営の場における情報分析に際して、ワープロ以上に重要なツールである表計算ソフトに慣れることを目標に、代表的な表計算ソフトである MS-EXCEL を利用した表計算やグラフの作成、基礎的な統計分析などの各機能について学ぶ。

・オフィス統合ツールの基本
表計算ソフトの基礎的な利用方法をベースに、より実践的な経営の問題への応用を目指す。まずは、ワープロソフトやデータベースソフトとの連携を目標に、作成したグラフを文書に組み込んだり、データベースからデータを取り出して解析を行なう技術を習得する。

最後に、表計算ソフト上の簡易プログラミング機能であるマクロを利用して、各オフィスツールを統合した環境における応用方法について学ぶ。

・コンピュータの応用
コンピュータを自分自身で使いこなせることを目標に、プログラミングやアーキテクチャ、トラブル時の処理などコンピュータへの理解を深めるための実習／解説を行なう。まずは、簡単なプログラムを自分で開発できることを目指して、オフィス統合ツール上で利用される Visual Basic を対象にプログラミングの基礎を習得する。続いて、複雑なプログラムを作成するための作法や実際のデバッグ手法を学ぶ。最後に、OS やネットワークの仕組みについて解説を行ない、今後コンピュータを独力で使いこなしていける能力の習得を目指す。

履修上の留意点

本講義は、情報処理基礎の履修者が日常の活動にコンピュータを自在に活用できることを最終的な目標にしています。

従って、上記の基本スケジュールと並行して、適宜コンピュータに関する様々な知識や最新情報なども解説していく予定です。また、この目標に向けてのどのような質問／疑問でも大いに歓迎致します。

成績評価の方法

まずは、上記に述べた本講義の趣旨より、単位の取得だけが目的の者は遠慮していただきたい（出席免除などは認めない）。

実習が中心なので、基本的には毎回出席し、出席の確認として実習内容を提出させることを予定している。

また、実習の状況に応じて課題を提出させる場合がある。
期末には、履修を終えた項目を応用したレポートを提出させる。
成績評価は、出席および課題／レポートを統合して行なう。

そ の 他

教科書などは特に指定しないが、必要に応じて各項目ごとの参考図書を紹介する。状況が許せば、コミュニケーション手段の一つとして E-mail (電子メール) を利用する予定。

〔クラス定員〕60名

〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論

※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の1月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎」への事前登録申請のみでは履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報処理応用 I (後期)	とお やま まさ お 遠 山 正 朗	経営 A1・2・3・4 選	2

講義のねらい

本講義の目的は、前期開講の情報処理基礎とあわせ、大学生として必要不可欠なコンピュータの活用能力、すなわち、コンピュータを単体で活用する能力と、コンピュータをネットワーク上で活用する能力を身に付けてもらうことです。それらを着実に習得できるよう、コンピュータの基本的な使い方の確認から始めて、企業に関する情報の収集・処理などの応用的な使い方、そして処理した情報の発信の仕方まで、段階的に学習していきます。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りです。
 (1~3) プレゼンテーションソフトによる資料作成
 (4~7) 表計算ソフトによるデータの応用的処理
 (8~10) インターネットの活用による情報収集・処理
 (11~13) 情報発信のためのホームページ作成

履修上の留意点

授業は、コンピュータを使用した実習によって進め、各回ごとに授業内容に応じた演習を課すので、遅刻、欠席をしないように努めてください。

成績評価の方法

出席・演習課題（毎回実施）50%
 レポート50%

教科書

特に指定しません。必要に応じてレジユメ等を配布します。

参考書等

授業時間中に適宜紹介します。

その他

〔クラス定員〕60名
 〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
 ※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎」への事前登録申請のみでは履修できません。

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理応用 I (後期)	依田 聖	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい	コンピュータなしでは社会生活を遂行してゆくことは困難になりつつある。コンピュータの基本的な操作方法をマスターする中で、コンピュータの機能について理解し、情報を大学生活に活用する能力を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	前期で養った基本的な力をベースにして、コンピュータを実践的に使えるような力を養う。演習を中心に進めるが、情報倫理やITビジネス等の講義も行う。演習の主要な点は①表計算(エクセル)(操作法、表計算、グラフ)②www-ワープロ-エクセルの連携(アプリケーション間でのデータのやり取り、情報検索・収集とその解析)③HPの作成(HTML言語でHPを作成)④パワーポイント入門
履修上の留意点	本科目は積み重ねが必要。欠席した場合必ず休んだ部分を勉強し、次回にのぞむように。分からないことは恥ずかしながら聞き、その場で解決のこと。また復習をしっかりとすること。演習は結果としてハードなものになるので熱意を持って取り組むこと。休まず、遅刻はしないこと(出欠は必ずとる)。
成績評価の方法	出席(毎回の課題を提出)50%、レポート50%。毎回の課題はメールで提出する。
教科書	太田忠一編『文科系のためのコンピュータリテラシ』(サイエンス社)1997年 2,200円
その他	[クラス定員]60名 [関連科目]経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論 ※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎」への事前登録申請のみでは履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	明石 博行	経営A2選	4

講義のねらい	本演習では、WORDを使った情報整理能力と英語の読解力の育成を図りつつ、経済社会学の基礎的学習に取り組みます。
講義の内容・授業スケジュール	演習は前期と後期にわけて行います。前期には、WORDの基礎的な操作方法、およびノートとレポートの作り方の基本について学習し、課題図書とのノートとレポートを作成します。後期には、作成したノートとレポートを利用し、課題図書の学習に取り組みます。課題図書の学習にさいしては、報告レジュメを使った報告の仕方について学び、さまざまな角度から討論をするなかで参加者のディベート能力を磨いてゆきます。夏には3年生との合同合宿を行います。なお、2年次には、高校の政治・経済レベルから、経済社会学の基礎理論をあわせて学びます。
履修上の留意点	演習参加者の問題意識をふまえて3、4人の班を編成し、班ごとの補習を行います。補習では、インターネットを通じて入手したFinancial Timesの最新記事を読むことにより、英語の読解力の育成を図ります。また、補習も含めた演習全体への参加が求められます。
成績評価の方法	成績は、通常の演習および補習への参加状況を基本としつつ、課題修得の到達度の判断を加えて評価をします。
教科書	WORDの学習のために『超図解WORD2002(基礎編)』(エクスメディア、950円)を使用し、その他の課題図書は演習参加者の問題意識を聞いたうえで決定します。また、2、3年次の学習用テキストとして、『ノートの作り方』と『レポートの作り方』を配布し、使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	阿部一人	経営A2選	4

講義のねらい

本演習では、財務会計を中心に、企業会計の基礎研究をおこなう。

講義の内容・授業スケジュール

この財務会計の基礎知識を習得するために、簿記の学習を初歩程度からはじめて日本商工会議所簿記検定試験の合格を目標に（すでに3級に合格している者は2級にむけて）これから簿記会計を学習・研究しようとする人達を対象に学習する。後期では、報告形式により報告者のレジュメ（報告要旨）にそって、演習を進める。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、報告発表、レポート等により総合的に判定する。

教科書

開講後、指示する。

参考書等

授業中において適宜指示する。

科専門教育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	飯田哲夫	経営A2選	4

講義のねらい

この演習では、問題解決のための「モデル」による分析および意思決定をテーマとしています。分析とは、物事や現象の本質を捉え理解するプロセスのことであり、解決したい問題の構造を明らかにし対策を見つけ出す（意思決定を行う）ことを目的としています。その中で最も強力な分析が、モデルによる分析です。モデル分析は、古くは物理学のニュートン力学が代表的な成功例ですが、近年ではビジネスの様々な問題解決に利用されています。モデルは、しばしば数学的な形式で表されることがありますが、数学的なモデルを用いることで、企業が蓄積している大量のデータ・情報を利用した定量的な分析が可能となり、それは、データに裏付けられた合理的な意思決定へと通じていきます。その際、コンピュータの利用は必須となります。この演習では、モデルとコンピュータを利用した分析技術を学習していきます。

講義の内容・授業スケジュール

モデルによる意思決定・分析の基礎的知識の習得のために、入門書の輪読を行います。また、コンピュータの利用に関する基礎的知識も習得します。

履修上の留意点

このゼミでは、学生の主体的・積極的な参加を前提としています。1年次において経営数学を受講し、そこで学んだ知識を応用してみたいと思っている意欲のある学生の参加を希望します。

成績評価の方法

平常点（出席とゼミへの積極性）、課題のレポートと発表により総合的に評価します。

教科書

最初の授業のときに紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	小 沢 利 久 <small>お ざわ とし ひさ</small>	経営A 2選	4

講義のねらい

人は様々な場面で次を取るべき行動の選択（意思決定）を迫られています。例えば、投資家は日々変動する株価と付加的な情報を基に資金の投資配分を決めています。電話会社は携帯電話機数の伸びや通話時間の伸びを考慮しながら次の設備投資判断をしています。本演習では、このような問題に対処するための学問的基礎として、経営科学の各種手法とコンピュータリテラシについて学んでいきます。経営科学とは、経営活動などにおいて生じる様々な意思決定を科学的に支援するための方法論を考える学問であり、モデルを用いて対象を定量的に分析する点に特徴があります。

講義の内容・授業スケジュール

データ分析と予測、在庫管理、生産計画、輸送計画、階層化意思決定法などの経営科学の基本的な手法について学ぶとともに、それら手法を用いた評価（計算）をExcel上で行うためのやや高度なExcelの使い方について学んでいきます。また、プレゼンテーション能力を高めるための商品企画発表会などを行います。

履修上の留意点

演習については、演習Ⅱ（3年生）、演習Ⅲ（4年生）と継続して受講することを前提としています。よって、演習Ⅱ及び演習Ⅲの内容についても該当する講義内容で確認しておいて下さい。演習の内容をより良く理解するために、情報処理基礎・応用、経営科学概論、経営科学など、経営科学系の科目を並行して履修することを勧めます。

成績評価の方法

出席状況、受講態度や理解度を勘案して評価します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	各 務 洋 子 <small>か が み よう こ</small>	経営A 2選	4

講義のねらい

大学は、学問追究の場です。しかし、単に高度な学術知識を与えるだけの場ではありません。3年間の演習を通して、大学時代に身につけるべき個人の貴重な資産（能力）を知的交流を通して培うことを目指します。具体的には、(1)高度な学術性と同時に、創造的な理解力を身につけ、多様な価値観から常に自由な立場であり続けるための批判的知性を育てること。(2)多くの知識を幅広く学ぶということではなく、幅広い知識を深く学ぶための確固たる主体性を育てること。(3)生涯、知的に成長を続けるために備えておくべき力を、習慣化すること。これらを実現するために、様々なプログラムを用意しています。常に、ワクワクドキドキする知的緊張感を研ぎ澄ませ、楽しみながら現実と理論の融合を試みます。

現代企業に焦点をあて、企業の所属する業界構造、利害者集団との関わり、競争状態などの外部環境分析、ヒト・モノ・カネ・情報などの内部環境分析を通して、企業の採るべき行動、戦略、組織構造、経営管理形態などを考察する。企業をウチ側とソト側から、経営学の視点に立ち、複眼的、立体的に観察・分析・研究する。

講義の内容・授業スケジュール

理論研究では、経営環境、経営戦略、経営者の役割など、経営学の基本を研究する。テキストを精読し、担当者がレジュメを作成し、報告。質問者数人を中心に議論する。理論研究と並行して、現実の企業研修に利用されているビジネス・シミュレーション・ゲーム（企業経営の模擬実験）をチームに分かれて行う。会社の創立から、株主総会の開催（ゲームの最終段階）、経営幹部反省会（コンパ）まで、企業経営の一連の流れを体感し、意思決定の難しさ、チームワークの重要性を実感してもらう。後期の業界研究では、チームに分かれ、実際の企業訪問、インタビューを通じた生の情報を収集。データの分析方法、グループでの効果的にプレゼンテーションの力を養う。

成績評価の方法

ほぼ毎週の小レポート。年度末のグループワーク：ゼミ論（業界構造分析）提出。平常点（ゼミでの発表力、議論への貢献度等）。

教 科 書

伊丹敬之・加護野忠男著「ゼミナール経営学入門」日本経済新聞社他、年に数冊。

そ の 他

合宿は、年1～2回。後期の研究に関連した会社訪問、工場見学など。コンパは、課題の山終了毎に随時開催。

ゼミ情報は、ホームページに掲載：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kagami>

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	かしま ひであき 鹿 嶋 秀 晃	経営 A 2 選	4

講義のねらい

研究テーマは現代日本の人事労務管理。大学生活の中で、ゼミは最も勉強に打ち込み、一番思い出になるところだと考えます。よって、学力に関係なく、積極的に勉強し、行事を企画し、みんなで楽しくゼミを過ごしたいという学生を採用します。ゼミがより広い知識や考え方を得、友人関係を築く場となることを願います。

講義の内容・授業スケジュール

現代の日本企業とそこに働くサラリーマンが抱える問題に関して、入門書と専門書を読みます。企業と労働、社会について幅広い関心を持ち、科学的に考える力を養います。サブテーマは「終身雇用」「年功賃金と能力主義」「年俸制」「人事考課」「日本的経営」「女性労働」「日本的労使関係」「会社人間」「過労死」ほか。2ヵ月に1冊のペースで本を読みます。受講者全員はあらかじめテキストを熟読しておくこと。その中から報告者（レジュメを作成）、コメンテーターを決め、その2人を中心に議論をしていきます。報告者とコメンテーターは順番。毎回の「新聞発表」では担当者が最近の新聞から企業経営や労務に関するものを切り抜き、自分のコメントを加えてプレゼンテーション。

履修上の留意点

出席重視。無断欠席は2度目で単位認定なし。欠席は3度を越えると単位認定しません。ただし、特別な事情には個別に対応します。レジュメはワープロで作成すること。ゼミ以外の工場見学、コンパ、合宿等の時間割以外の行事もゼミの一環なので必ず出席するように。

成績評価の方法

出席点、講義中の発表・発言、レポートを総合して判定。

教科書

適宜指定する。ちなみにこれまで使用したテキストは、高橋俊介『成果主義は怖くない』、玄田有史『仕事のなかの曖昧な不安』、熊沢誠『女性労働と企業社会』、日本経済新聞社編『できれば幸せに働きたい』など。

参考書等

演習時に適宜紹介。

その他

履修希望者は、可能な限り講義「経営労務論」を履修のこと。その他のゼミ活動には、卒業論文集の発行、個人ホームページの作成、ゼミ書評、全国コンテスト参加などがあります。ゼミHPも合わせて参照のこと。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/index.html>

科 専
門 教
育

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	かたがはのびのお 片桐伸夫	経営A2選	4

講義のねらい

このゼミは3・4年次(演習Ⅱ・Ⅲ)で「就職希望会社の経営分析」を行うことを目的とします。

経営分析とは、文字通り「企業の経営を分析すること」であり、きわめて範囲の広いものです。具体的には、皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか(安定性分析)、
 - 2 「儲け」はどうだろうか(収益性分析)、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか(生産性分析)、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか(成長性分析)、
- といった内容です。

履修上の留意点

このゼミでは、経営分析の中でも、とくに財務諸表(貸借対照表や損益計算書など)の分析を中心とします。したがって、1年次の簿記学に興味を感じた人向けのゼミです。

成績評価の方法

成績評価の方法は平常点です。

2年次(演習Ⅰ)では、6月は日商簿記検定2級(or1級)、11月は2級(or1級)にチャレンジしてもらいます。

その他

プレゼミや合宿も行います。

ゼミ入室の決定方法は面接[志望理由書(500字程度)事前提出]とテスト(演習Ⅰは1年次学習中の簿記)によります。

なお、いうまでもなく無断欠席と遅刻は厳禁です。以上の方針に見合う、学習意欲十分な学生諸君の参加を希望します。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	かねむらえいとつ 兼村栄哲	経営A2選	4

講義のねらい

受講生の1人1人が、マーケティングにかかわる諸現象を体感し、自分なりに論理的に説明できるようになることを主な目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

以下の3つを主な内容とする。

- (1) マーケティング論に関する基本的なテキストを全員で輪読し、基礎的な概念や理論を学んでもらう。これは、各受講生が、事前に割り当てられた担当箇所について作成したレジュメを発表し、その後討論するという形式をとる。
- (2) 年に数回、4~5人のグループで、マーケティング(論)にかかわるいくつかのテーマについて調べてきてもらい、その内容を発表してもらおう。
- (3) 年に数回、工場見学を予定している。工場見学後、レポートを提出してもらおう。

履修上の留意点

以上の3点をとくに要望する。

- (1) 積極的に参加すること(通常の演習のみならず、合宿その他の課外活動にも積極的に参加すること。また、単に出席するのではなく、自発的に自分なりの疑問や意見を示すこと。)
- (2) お互いの親睦を深めること
- (3) 授業開始後、諸般の事情で履修を取りやめる場合にも、必ず事前にその旨を申し出ること

成績評価の方法

授業態度、発表内容、レポート内容等を総合的に評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

適宜、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	高木 克己 <small>たか き かつ み</small>	経営A2選	4

講義のねらい

本ゼミナールでは、3年間を通じて、法人税の対象となる企業の課税所得の算定過程を明らかにすることを中心に研究を行います。

なお、毎回報告者の発表に対し討論を行うという形式で進めていくので、その中で十分に自分の意見が主張できるようになって欲しいと考えています。

2年次では、企業の税金の問題を扱う前提として、簿記、会計理論の基礎的な知識を習得します。本年度は会計学の基礎を中心に勉強をします。ただし、最低限、6月の日商検定試験3、2級に向けて3カ月間だけ簿記検定の勉強をします。(すでに3級を取得している者は2級に向けて、初めての方は3級の合格を目的にします。)

なお、合宿は11月全学年合同で行っています。その内容は、ディベートが中心になります。その他、年2回程度、全学年で集まる機会を持っています。

ゼミ運営の基本的な考え方として、一生懸命勉強している人や各種の試験等をめざして勉強している人が、居心地の悪いような雰囲気は絶対つくらないようにしています。明るくて、好奇心が強く、夢をたくさん持っている人が志望してくれたらいいなと思っています。

成績評価の方法

出席及び報告により評価します。

参考書等

最初の授業で紹介します。

科
専
門
教
育
目
録

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	滝田 公一 <small>たき た こう いち</small>	経営A2選	4

講義のねらい

本年度は次の文献を利用して演習を行う予定です。

[1] 東北大学経営学グループ著、『ケースに学ぶ経営学』(有斐閣ブックス)1998(2,500円)
文献[1]は、「企業とは何か?それはどのように経営されているのか?」と言う問題を幾つかの現実の事例(例えば、スカイマークエアライン社の設立、マクドナルドとモスバーガーの競争戦略など)をとうして考察したものです。此の教科書を題材として、学生諸君には、課題報告(例えば、1970年代から80年代に架けて、日本の自動車企業は、アメリカの自動車企業に追いつき追い越していきますが、なぜそのようなことが起こったのか、環境と戦略について調べましょう、など)をしてもらう予定です。このような課題報告を通じて、レポートの書き方と文献・資料の探し方に習熟していただくことも演習Iの狙いの一つです。

また、文献[1]とあわせて、代表的な表計算ソフトであるExcelを使った経済データの情報処理をも勉強する予定です。簡単な計算によるデータの変換、グラフの作成、最小二乗推定、確率分布、線形計画法、簡単な経済理論のシミュレーション、などが取り扱われる予定です。特別な予備知識は必要ありませんが、「情報処理基礎」を前もって、または、同時に履修されると理解が一層深まるのではないかと思います。

成績評価の方法

成績評価は、学年末に、課題に基づくレポート(通常、computer assignment)を提出してもらい、それによって行います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	ながこ 長国強	経営A 2選	4

講義のねらい

現代は情報化社会といわれ、新聞・雑誌・インターネットを開いてもそこに大量の経済・経営データが見られる。ところで、経済・経営などのデータをそのまま見れば、単なる数字の山にすぎず、大切なことはそこから正しい見通しを得ることであろう。実際のデータから経済・経営など社会的な動きをどのように読みとるのかといった能力を養成できるようにすることを目的として、本演習はコンピュータを使つてのデータ解析の基本技術を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

演習 I (2年生) : WORD と EXCEL…コンピュータ初心生のために
 初心生にコンピュータの基本知識やタイピングの基礎を学んだ後、コンピュータ上の代表的なワープロソフト-WORDと表計算ソフト-EXCELをマスターできるよう、実際の記事や統計表を取り入れながら徹底的に実習していく。

成績評価の方法

平常点：出席・レポートの成績などで総合的に評価する。

その他

演習 I の選抜方法は自己紹介文 (A4、1枚) と面接によって行う。
 演習 I は学生諸君のまだ慣れていないコンピュータ上の演習のうえ、毎回の実習アイテンの連続性があり、1回欠席すると、次回の実習についていけなくなることも考えられる。したがって、理由なく年間5回以上欠席した場合、自動的に除名されることにする。また、現代社会に通用するための常識的な素質と思うが、協調的であつ永遠に新しいものに取り込みたい、という意欲を持つ学生諸君の参加を特に望む。

専科
 専門
 教育
 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	なが がわ じゅん べい 中 川 淳 平	経営A 2選	4

講義のねらい

この演習では、企業、そして企業をめぐる社会・経済現象について参加者が多角的な理解が得られるようにしたいと考える。併せて、報告の仕方、文章のまとめ方について習得する。

講義の内容・授業スケジュール

経営学・経済学の基本的な文献を読み、討論してゆく。文献は開講時にこちらで指定する文献のなかから参加者に選択してもらい、その概要を発表してもらう。さらに、一年間の学習のまとめとして、レポート (小論文) を作成する。

履修上の留意点

多量の文献を読む予定なので、積極的に勉強する、意欲ある学生の参加を望みます。

成績評価の方法

発表や討論の内容、レポート、学習態度によって総合的に評価する。

教科書

開講時に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	なかむらこういち 中 村 公 一	経営 A 2 選	4

講義のねらい

本ゼミでは現代企業の置かれている環境とそれに対する経営戦略を紐解いていき、実践的な場面でも応用できる知識と考え方を身に付けるために、文献購読・資料調査・ケーススタディ・ビジネスプランニングなど多彩な課題に取り組みます。

ゼミは、単位を採るだけのものではなく、個人の「知的トレーニングの場」であり、他のゼミ生達と切磋琢磨する場であると考えて下さい。私の役割は、ゼミ生がゼミでの勉強をきっかけにして豊かな学生時代を築こうとする時のお手伝いをするだけに過ぎません。運営の主体は君達にあります。

- (1) 文献購読やケーススタディなどを通して、企業の置かれている環境とそれに対する戦略を的確に理解する専門知識の習得、分析力、洞察力の強化を図ります。
- (2) レポート作成を通してのアウトプット能力、論述能力、論理構成力の強化を図ります。
- (3) 毎週の報告や議論などを通じてプレゼンテーション能力やディスカッション能力の強化を図ります。
- (4) 実際にビジネスプランの策定を通して、事業戦略を構築する企画力と構想力の強化を図ります。

講義の内容・授業スケジュール

演習 I (2 年生)

前期；経営戦略論に関する入門書の購読+資料などの調査方法、企業研究・分析

後期；現在の経営環境の解説作業、競争企業分析の実践

合宿；ビジネスプランニング大会

履修上の留意点

ゼミの理念は「知的トレーニング」にあるので、毎週レポートを宿題として課し、相当の勉強時間の確保が必要になります。また、ゼミでは議論が中心になるために、事前の準備も必要となります。入ゼミに当たっては、ホームページにも詳しい内容が掲載されていますので参考にして下さい。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~nakamura/>

成績評価の方法

遅刻の常連、無断欠席、各種課題や提出物の期限の遅れ、ひどい内容のレポートを提出した場合は、厳しくチェックします。成績は平常点によって判断します。なお、4 年次にはゼミ論文があります。

科 専
門 教
育 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	ながたともりのり 永 田 智 則	経営 A 2 選	4

講義のねらい

当ゼミナールは国際経済学にかかわる事象を研究対象としている。

近年の国際的相互依存関係の緊密化は、どの国の経済にとっても、国際経済とのかかわりがいかに重要であるかを認識させてきた。ある国で生じた経済問題は、その影響が全世界に波及し、世界経済の流れを変え、各国経済に变革を迫る。この流れに対応できない経済は取り残され、困難に直面する。

当ゼミナールでは、世界の各地で生じている諸現象の中から、経済発展と貿易の関係に焦点を絞り、この問題の研究を通して、国際経済の仕組みやメカニズムについて理解を深めることを目標としている。

講義の内容・授業スケジュール

「演習 I」では国際経済学の初歩的な分析道具の習得を目的とし、テキストを中心に授業を行う。ここで学ぶ分析道具を使って、現実の世界経済の出来事を学生諸君が自分なりに分析できるよう心がける。

履修上の留意点

無断欠席、遅刻は厳禁。授業中は積極的に発言をすること。

成績評価の方法

授業中の発言や提出レポート等を含め、ゼミ活動にどの程度積極的に参加したかを最大の評価ポイントにする。

教 科 書

教科書及び参考文献等については必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	にしむらかずお夫 西 村 和 夫	経営 A 2 選	4

講義のねらい

【テーマ：コンピュータ科学】 文書（英論文など）の読みかた、書きかた、発表のしかた、コンピュータの利用のしかたを体得し、論理的な思考力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

入ゼミ手続き（1年次）

面接と文章完成法テストによって選考する。説明会に出席しないと、面接が受けられない。“情報処理基礎”をすでに履修している人を優先する。

演習 I

- ・タッチタイプ
- ・書誌情報の検索のしかたと検索演習 ⇒ レポートや論文の作成に役立つ。
- ・言語によるプログラミング
- ・問題の発見と解決
- ・コンピュータの基礎知識
- ・論文の読み方と発表のしかた（1）

その他

- ◆就職活動についてのアドバイス。面接の実習。ビジネス文書の書きかた[2]。
- ◆情報処理技術者試験の受験のための学習。
- ◆合宿（年1度）・イベント（年1～2度）。

履修上の留意点

テーマは“コンピュータ科学”であって、コンピュータの操作方法ではない。コンピュータの知識がある人ではなく、やる気と実行力のある人を求む。入ゼミ者は、2年次までに“情報処理基礎”を必ず履修すること。

成績評価の方法

出席のほかに
演習 I：タッチタイプ、検索課題、レポート

参 考 書 等

- [1] R. Graham, D. Knuth and O. Patashnik, *Concrete Mathematics*, Addison - Wesley, 1989.
- [2] 吉田幸生『仕事の文章が面白いほど書ける本』（中経出版）1992

そ の 他

西村ゼミのページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/du/nis/>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	はとりしげる 羽 鳥 茂	経営 A 2 選	4

講義のねらい

現在の日本経済のさまざまな姿を基本データによって確認し、新しい動きを理解することが本演習の主要な課題である。

また、2002年3月にスタートした経済学検定試験（ERE）に諸君がチャレンジすることを薦めたいので、出題科目の学習についても指導する予定である。

履修上の留意点

積極的にゼミに参加することを学生諸君に要望する。

成績評価の方法

出席状況とゼミでの積極性ならびに年度末に提出する課題レポートによって成績を評価する。

教 科 書

開講時に指示します。

参 考 書 等

経済セミナー編集部編『経済学検定試験－ポイント解説と演習－』（日本評論社）2002
1,680円

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	はねだしょうこ 羽田尚子	経営A2選	4

講義のねらい

企業はなぜ存在するのか、どのような行動をとるのか（とるべきか）、どのように組織されているのか（いるべきか）、どのような影響を市場経済に与えているのかなど、企業に関連するさまざまな問題を経済学的に考えられる力を身につけることを目的とします。前期では、企業とは何か、経済学における企業理論の基礎からはじめます。後期では市場での企業に注目し、企業行動や企業組織に関する理論を読みます。実際のデータを使った実証的な分析も紹介していきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 【前期】(1-3) イントロダクション、レジュメの書き方、財務諸表の見方など
 (4-6) ミクロ経済学基礎 (7-10) 投資理論 (11-13) 企業理論
 【後期】(14-16) 産業組織と企業競争 (17-19) 技術革新をめぐる企業行動
 (20-22) 企業間関係（企業集団、垂直統合など）
 (23-25) 経営組織（多角化、合併など） (26) まとめ

履修上の留意点

研究開発活動や技術マネジメントなどの企業行動、技術政策やベンチャーキャピタルなどイノベーションに関するさまざまな研究を行います。自分でデータを集め、ソフトウェアを用いて計量的に分析するのが最終目標です。多少の数学を使います。ミクロ経済学の基礎があると望ましいので、近代経済学、計量経済学を選択（予定）されることを希望します。

科専門教育

成績評価の方法

担当箇所の予習と報告、議論への参加状況および最終レポートで総合的に評価します。レポートには、産業（企業）を各自選び、その特徴や企業行動について新聞・雑誌記事およびデータをもとに、産業の組織と行動の観点から分析・評価したものを提出してもらいます。

教科書

小田切宏之『企業経済学』（東洋経済新報社）。補足箇所はプリントを随時配布します。

その他

テキストの輪読をします。毎回担当者はレジュメ等準備し、報告してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	ひの 野 健 太	経営 A 2 選	4

講義のねらい

好むと好まざると、ひとは学校、職場、地域をはじめとする組織と無関係に過ごすことはできない。いかに組織とつき合うかは、現代人の究極のテーマといってよい。そこでこのゼミでは組織が直面するさまざまな問題を取り上げ、多角的に分析する。組織論の問題を中心に取上げていくが、経営学全般について理解できるように配慮する。

演習 I では、まず、経営組織論の基本的な文献を輪読し、組織論の見地から論じられるようになることを目的とする。理論にとどまらず、同時に具体的な問題を取り上げ、理解を深めたい。また、自分の関心のあるテーマを見つけてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

文献輪読とディスカッションによって経営組織論の内容を学ぶとともに、工場、職場の見学、実務家によるレクチャーを行い、現実の組織のイメージを持てるように進める。

必要に応じて、夏、秋の合宿を行う。

学年末には、1万字程度のゼミ論文を提出してもらう。

履修上の留意点

ディスカッションに参加するためには、レポーター以外の学生も予習は必須であるし、自分の考えをまとめるために、小レポート（原稿用紙2枚以下）を頻繁に課す。

成績評価の方法

出席とゼミへの積極性、レポート内容による。

教科書

開講時に指示する。参考までに、昨年度の演習 I で読破した本は、以下の3冊である。

フライバーグ&フライバーグ『破天荒!』

野中郁次郎・竹内弘高『知識創造企業』

佐藤俊樹『不平等社会日本』

参考書等

有斐閣の『経済辞典』はなにかと重宝である。手元に置き活用してもらいたい。

その他

わたくし自身も、学部学生時代のゼミの友人とはいまだにつきあいが深い。そういった友人を得る機会となるように望む。

無断欠席、遅刻は認めない。教室でのディスカッションのみならず、コンパ（コンパニーの略。学生などが費用を出し合って催す懇親会（広辞苑より）のことである。）等の親睦活動にも積極的に参加する学生が望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	藤原篤志	経営A2選	4

科
専
門
教
育
目

講義のねらい

本演習ではテーマを「企業における生産・技術・労働」としている。ゼミ生各人がこのテーマ・領域に関連して自分の興味・関心のあるテーマを選び、それについて研究を行い、4年のゼミ終了の時点までにゼミ論文を作成・完成させることを最大の目的としている。また授業の中で、ゼミ生には自分の論文の経過・成果についてプレゼンテーション（発表・報告）をしてもらい、それに対する質疑応答や議論・討論を他のゼミ生と活発に行うことにしている。以上のゼミ論文作成、プレゼンテーション、質疑応答、議論・討論を通じて、当該領域の知識を吸収することはもちろん、ゼミ生各人が物事に対して疑問や意見を持ち、それらを論理的に思考し、自分の意見を的確に表現することを目指している。なお参考のために本演習のテーマに関連するキーワードを一部挙げるとすると以下の通りである。生産管理、作業管理、品質、生産性、製造業、生産の機械化、オートメーション、環境問題、大量生産、多品種少量生産、生産システム、フォードシステム、トヨタ生産システム、一人屋台生産方式、チーム生産方式、日本の生産システム、メーカーとサプライヤーの関係、下請システム、生産のリードタイム、生産の海外移転、ME技術、小集団活動、労働の単純化、労働強化、労働の豊富化、労働の人間化、自動車産業、家電産業、生産のアウトソーシング、モジュール生産方式、技能変化、熟練労働、教育訓練、製造業の労使関係など。

講義の内容・
授業スケジュール

2年生（演習I）では、いきなりゼミ論文の作成や専門的な勉強を始めるのではなく、まずは基礎固めとして経営学全般の基本的な内容を学習することを目的としている。ゼミ生各人にはこちらから勉強テーマが与えられるので、それについてゼミの中でプレゼンテーション（発表・報告）をしてもらい、それに対する質疑応答、議論・討論を行う。その中で、報告・発表、思考、発言・表現等の能力を養っていく。また上記のように授業自体はプレゼンテーション、質疑応答、議論・討論が中心となるので、ゼミ内に全員が積極的に発言できる雰囲気を作りたい。そのため、授業時間以外のイベント（工場見学、合宿、コンパなど）には全員が参加することが原則である。その他、一層の学習および親睦を深めるためのサブゼミの開講も予定している。

履修上の留意点

以上のような内容なので、中途半端な気持ちで志願する学生には遠慮してもらいたい。また毎回少なくとも1回は発言することが求められるので、消極的な姿勢でゼミに参加する者にとっては苦痛でしかないであろう。勉強にしろその他のイベントにしろ、自分から常に積極的に参加・参画する姿勢が求められる。本ゼミでは何よりもやる気のある学生を歓迎する。

成績評価の方法

特に出席を重視。規定の欠席回数に達したものは即除籍にする。その他、ゼミでの報告内容や参加態度も成績評価に入る。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	みやぎ 徹	経営A 2選	4

講義のねらい

演習 I (2年)

ゼミ生は、ゼミナールという、いわば学問的コミュニティの枠を形成し、学友間の人間的なつながりのなか一緒にディベートを重ね、かつ相互に新鮮な学問的刺激と影響をあたえあい、そのことによって、よりよい学問的環境を展開し、生活するのだからなければならないのは、言うまでもない。その一環として、このゼミの2年次と3年次のゼミ生は、それぞれ年2回のゼミ合宿を行い、親睦を深めている。

さて、このゼミは、企業という経営学の認識対象を正しく理解することを目的とし、「現代経営理論の研究」という統一テーマの下で、4年次ゼミまで3年間一貫して上述の目的達成を進める。一口に現代経営理論と言っても、さまざまな理論があるが、ここでは、企業を正しく理解するための分析枠組として大いに役立つと思われる、諸理論の研究構想・方向という程度に限定して考えてよい。

この目的のために、2年次ゼミ生は、英語圏とドイツ語圏の代表的な「組織理論」であると同時に、3年次ゼミの研究領域へのインプットと成っている、という二重の意義をもつ文献(邦訳書)を熟読し、その基本的内容や考察方法をきちんと理解し、理論認識を深めるよう努力してほしい。

※ ゼミは、毎回1人あるいは複数のリポーターが与えられた範囲をレジュメに基づいて報告し、その他のゼミ生もそれを中心にして活発にディベートするように進める。

※ ゼミの中心的素材はゼミの開始時に指示する。

※ 斉藤 孝著『学術論文の技法』日本エディタースクール出版部、平成9年、を入手のこと。

成績評価の方法

平常点評価。その際、(a)出席を重視する。(b)自分の思うところを述べ、他人の意見に注意深く耳を傾ける能力があるかどうかを重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	やまだ まさる 勝	経営A 2選	4

講義のねらい

特に商業経営を中心にする。経営者(商人)の役割と資質を勉強する。商人を勉強の対象としながら、自分との比較を行い、自ら事業を起こす可能性とそのために必要な学習をしてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

経営の基礎として、年度始めに各ゼミごとに指定する教科書・副読本を読みレポートする。日本経済新聞(毎朝夕)は必読とする。毎週英語の経済雑誌からCover Storyなどのコピーを配布するので読んできてもらい、内容についてディスカッションする。英語を学ぶのではなく、英語で(国際的センスで)現下の経営環境と問題を理解してもらう。ボーダレス時代に入り、グローバルな経営を理解し、そこで活躍するには国際語としての英語は必須であることを肝に銘じ、英語力の乏しい学生にはアルバイトではなく、英語力の強化に課外時間を充ててもらう。

成績評価の方法

平素の発表を評価していく。

その他

- (I) 商業活動には簿記・会計、商法、手形・小切手法の知識、パソコンの使用が必要である。授業時間外に学習してもらう。
- (II) 授業時間はディスカッションに充てるので、十分な予習、欠席をしないこと、積極的な発表を求める。
- (III) 時間外に出来るだけ補講として企業見学などを実施する。履修希望者にはそれらも授業の一部として理解してもらう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	わた なべ えいちろう 渡 邊 恵一郎	経営 A 2 選	4

講義のねらい

会計の主な役割は、特定の経済主体（家計、企業、官公庁その他）の経済状況を計数（貨幣）的に表現すること、財産を管理保全することそれにこれを利用する人々に伝達することにある。私の演習では、特に現代の経済社会の重要な経済主体である企業の資金会計を中心に、実務に役立つ基礎知識が得られるよう指導する。

講義の内容・授業スケジュール

簿記の基礎を涵養し、次に資金会計の体系的な研究および有価証券報告書の見方などを修得させる。
2年次……私の財務会計論の講義を受講しながら、日商簿記検定試験2級（工業簿記および商業簿記）を学修する。

履修上の留意点

2年次から4年次まで一貫して段階的に学修するので、出席率を重視し、3年間継続して履修すること。なお、授業時間外では、前述のゼミナール大会（11月関東、12月全国）に出場のため、夏合宿などを行う。

成績評価の方法

成績評価は、平常点、協調性および出席率を総合して判定する。

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営学 史	なか がわ しゅん べい 中 川 淳 平	経営 A 2・3・4 選 14期繰入学生/経営 B 2・3・4 選	4

講義のねらい

この講義では、100年あまりにわたる経営学の歴史上、重要なものと位置づけられる学説の展開を、企業経営の背景にある社会経済システムの動きと関連させながら検討する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 経営理論のジャングルの状況
2. 科学的管理法と人間関係論
3. 所有と経営の分離
4. 近代組織論の展開
5. 社会経済構造の変動と経営学説の変容
6. 経済学の企業理論
7. 企業と社会（ドイツ経営学の発展）

履修上の留意点

講義中の私語は慎んで下さい。

成績評価の方法

試験による。また必要に応じてレポートの提出を求めることがある。

教科書

適宜プリントを配布する。

参考書等

配布するプリントに適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ経営学	みやぎ 徹	経営A2・3・4選 14以降入学生/経営B2・3・4選	4

講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必修科目である「経営学」の授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の7つの要目について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

講義の内容・授業スケジュール

マイクと板書。教科書は指定しない。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数（ただし、期末試験日を入れて）から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコ内の授業回数（合計29回）で完結する予定である。

なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当る場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

〈2004年度『アメリカ経営学』授業計画〉

- I 1年間の授業の概要 (1)
- II 経営学の対象と方法 (2)
- III 意思決定と権力（パワー）(8)
- IV 戦略（特に提携、グループ、ファミリー）(4)
- V コンティンジェンシー理論 (4)
- VI 取引コスト理論 (6)
- VII プロパティ・ライツ理論 (2)
- VIII プリンシパル-エージェント理論 (2)

参考書等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』（税務経理協会）1997
- 2 宮城徹『企業制度とプロパティ・ライツ理論』『商学研究科紀要』（早大、第20号）1985
- 3 宮城徹『情報と企業経営の理論的諸問題』日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』（千倉書房）1987
- 4 宮城徹『経営者論』鈴木英寿編『経営学総論』（第2版）（成文堂）1998
- 5 宮城徹『経営学の歴史』藤芳誠一編『新版・新時代の経営学』（学文社）1993
- 6 宮城徹『組織の経済理論の基礎構造』日本経営学会編『現代経営学の課題』（千倉書房）1997
- 7 宮城徹（単独訳書）『情報時代の企業管理の教科書—組織の経済理論の応用—』（税務経理協会）2000（A. Picot u. a., Die grenzenlose Unternehmung, Gabler, 1998）
- 8 宮城徹（共訳書）『新制度派経済学による組織入門』（白桃書房）1999（A. Picot u. a., Organisation. Eine ökonomische Perspektive, Schaffer - Poeschel, 1997）

ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文・訳書だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介しておく。

成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確かめるために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

〈期末試験の出題形式〉

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 経 営 学	たかほししげお夫 高橋成夫	経営A2・3・4選 14以降入学生/経営B2・3・4選	4

講義のねらい

ドイツ経営学の性格や内容を、この学問の歴史の中で明らかにするとともに、現代のドイツの企業経営制度の特徴を解明することにある。

講義の内容・
授業スケジュール

- I. ドイツ経営学の生成
- II. ドイツ経営学の展開
 - (1) 科学的私経済学と技術論的私経済学
 - (2) 私経済学的企業経済学と規範的・技術的経営経済学
 - (3) 理論科学的経営経済学と応用科学的経営経済学
- III. ドイツ経営学の動向
 - (1) 意思決定志向的経営経済学
 - (2) システム志向的経営経済学
 - (3) 労働志向的経営経済学
- IV. ドイツの企業経営制度

履修上の留意点

積極的に出席することが望ましい。

成績評価の方法

定期試験や出席状況等を総合して評価する。

教 科 書

特定の教科書は使用しない。

参 考 書 等

北野利信編『経営学説入門』（有斐閣新書）
北村健之助『経営経済学』（学文社）

科 専
門 教
育 目 録

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営管理論	すずき こうき 鈴木 幸毅	経営A2・3・4選 14以降入学生/経営B2・3・4選	4

講義のねらい

経営管理の理論と現実について、経済社会の動向、資本主義企業の現在の姿を視野に入れつつ、説明する。

講義の内容・
授業スケジュール

下記の1、2、3を前期にとりあげ、それとの関連において後期には4を中心に講義する。

- 1 古典的理論
 - (1) テイラーの科学的管理論
 - (2) 管理過程論（職能論）
 - (3) 管理構造論（組織論）
- 2 新古典的理論
 - (1) ホーソン実験と人間関係論的管理論
 - (2) 行動科学的管理論
 - (3) 管理開発論
- 3 近代理論
 - (1) バーナード革命
 - (2) 組織論的管理論
 - (3) 意思決定論的管理論
- 4 現代理論
 - (1) 環境適応的管理論
 - (2) 戦略的管理論
 - (3) 環境問題と企業責任論

専科
専門教育
目

履修上の留意点

自主的学習を期待するので、特に出欠をとることはしないが、中間試験に代わるレポート提出を求め、その成績を期末テスト結果に加味して評価する。

成績評価の方法

定期テスト結果に、夏期課題レポートの成績を加味して評価する。

教科書

鈴木幸毅著『企業と管理の理論』（税務経理協会）2001年4月（前期）
後期は、別の教科書を使う。

参考書等

鈴木幸毅著『バーナード組織理論の基礎』（税務経理協会）1998年
鈴木幸毅著『地球環境問題と各国・企業の環境対応』（税務経理協会）2001年6月

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営組織論	ひのけんた 日野健太	経営A2・3・4選 14以降入学生/経営B2・3・4選	4

講義のねらい

組織論のフレームワークによって、企業をはじめとする組織を分析できるようになることを目的とする。そのため、この講義では、組織論で扱われる基本概念を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

経営組織論の内容は、大きく分けて、組織の環境適応を扱うマクロ組織論と、組織における集団、個人を扱うマイクロ組織論に大別される。ここでは、マイクロ組織論、マクロ組織論の順序で講義を進める。学生諸君が具体的なイメージを持てるように、何回かケースを取り上げる。また、学年末の数回は、組織論の分野の新しい理論やトピックについて扱い、全体的な理解が深まるように配慮する。

講義の対象は以下の通り（番号と講義の回数是对応しない。また必要に応じて順序を入れ替えることがある。）。

- (1) 組織論における組織観と人間観
- (2) モチベーション
- (3) 組織文化
- (4) リーダーシップ
- (5) 組織の環境適応
- (6) 戦略と組織構造
- (7) 情報処理の理論
- (8) 知識創造理論
- (9) 資源依存モデル
- (10) まとめ

科
専
門
教
育
目
録

履修上の留意点

特に、前提となる特別の知識は必要としないが、自分の所属する組織や見聞する組織を思い浮かべながら学習すると理解が深まるであろう。また、授業中質問することがあるが、そんなに難しいことを訊くつもりはないので、大きな声で答えてほしい。

成績評価の方法

前期授業の最終回にテストを行う。このテストのウエイトが30%程度、学年末の定期テストのウエイトが70%程度。大まかには、この二つが成績を決める。前期のテストを欠席するのは、即不可ではないが、致命的である。

授業中に小テストを行ったり、講義の内容に対してフィードバックを得るために出席をとることがあるが、必要に応じて成績評価に加味する。

教科書

金井壽宏『経営組織』（日経文庫）

参考書等

桑田・田尾『組織論』（有斐閣）

大月・藤田・奥村『組織のイメージと理論』（創成社）

田尾『モチベーション入門』（日経文庫）

経営学辞典の類、例えば、二神編著『ビジネス・経営学辞典』（中央経済社）などもなにかと重宝である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 労 務 論	か しま ひで あき 鹿 嶋 秀 晃	経営A 2・3・4選 14以降入学生/経営B 2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。具体的には経営学と経営労務論、戦後日本経済と日本的経営論、終身雇用、年功序列賃金、企業別組合制度、福利厚生制度、異動と昇進、人材形成、労働時間問題、ホワイトカラーの労働問題、女性労働問題、新しい労働法制と労働問題などの小テーマを設けて講義していく。学生には経営労務論を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は1コマ1テーマの原則。各回の最初に「日本は本当に終身雇用なのか？」といったような問題点を掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。

履修上の留意点

詳細は最初の講義で説明する。出席は取らないので、出席点は無し。(1) 私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるのでしないこと。(2) 携帯電話は消音すること。ひどいときには退室してもらい、単位の認定をしない。

成績評価の方法

評価は学期末試験とレポート提出の合計点で成績評価を実施する。

教 科 書

テキストは特に指定しない。

参 考 書 等

参考図書としては、津田眞激『人事労務管理』（ミネルヴァ書房）1993（定価3,000円程度）、労務学説史をわかりやすく説明したものとして渡辺峻『企業組織の労働と管理』（中央経済社）1995（定価2,600円程度）、経営労務をより体系的に深く学習するのにより白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』（東洋経済新報社）1992（定価3,500円程度）をあげておく。この他にも講義の中で適宜いろいろな文献を紹介していく。

そ の 他

授業は講義形式でおこなうが、図表やグラフを多用し、ただ聞いてノートを取るだけでなく「頭をつかう」ような形にする。ホームページでも授業に関する情報提供をしていく。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 産 管 理 論	ふじ 藤 原 あつ し 志	経営A2・3・4選	4
		14以降入学生/経営B2・3・4選	

講義のねらい

本講義では企業における経営管理の一部門としての生産管理と、生産に関する諸活動、諸現象、諸問題を幅広く取り上げ解説する。

生産管理は財務管理、販売管理、労務管理とならぶ企業における経営管理の部門管理の一つである。それは文字通り、企業の経営活動における生産の管理であり、財の生産に投入する生産諸要素（資材、設備、労働力）を総合的に調整することにより、企業の生産効率を最大にすることを目的として展開されている。このような生産管理は職能・機能別の多様な管理・活動から成る総合的な管理機能である。本講義ではこのような様々な管理・活動から成る生産管理を体系的に解説したい。

また本講義では企業内の管理機能としての生産管理に留まらず、企業内外での生産に関する諸活動、諸現象、諸問題を幅広く取り上げ解説する。

最後に、企業における生産活動は言うまでもなく労働者による労働なくしては成り立たない。企業における生産活動と労働者は密接な関係にある。それゆえ、企業において展開される生産管理や生産システムが労働者に及ぼす影響もまた本講義での対象となっている。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、まず最初に企業の実業活動に関する基本的な用語の解説・確認を行う。その後、生産管理を体系的に解説したい。より具体的には、まず企業の利益計画と生産管理との関連について解説した後、生産管理の構成内容である生産計画、設備管理、資材管理、作業研究、工程管理、品質管理、原価管理について資料を用いて講義する。次に、生産システムの歴史的展開として、テイラー・システム（科学的管理法）、フォード・システム、トヨタ生産システムについて解説したい。

後期では、まず生産の機械化、自動化・オートメーションの展開について講義を行う。その後、TQM、新たな生産方式（セル生産方式、モジュール生産方式）、日本の生産システムの海外移転と生産のグローバル化について解説し、時間があれば製造業の現状紹介として日本の自動車産業や家電産業についての話をしたい。また後期ではビデオを用いた講義も予定している。

履修上の留意点

講義ではできるだけわかりやすくゆっくりと解説し、かつ極力板書するが、前期の内容は複雑なものも含むので、講義に対する受講者の熱心な姿勢が不可欠である。そのため講義中の私語は厳禁である。私語や携帯電話の呼出音等、講義を妨げる者は即座に退室扱いになり、また場合によっては減点や単位取得不可になることもあるので注意すること。

成績評価の方法

主として定期試験で行う。またレポートの課題が出ることもあるが、その場合は事前に通知する。

教科書

指定しない。

参考書等

山下高之『体系 生産管理論』（中央経済社）1990
その他の参考書は講義の中で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マ ー ケ テ ィ ン グ 論	かねむらえいつ 兼 村 栄 哲	経営A2・3・4選 14以降入学生/経営B2・3・4選	4

講義のねらい

社会的な分業体制が成立している今日の経済においては、生産と消費の間にさまざまな隔たりが発生しており、そのために、円滑な交換が阻害されていることが少なくない。こうした隔たりは、一般に、「経済的懸隔」ないし「経済的隔離」と呼称されている。

マーケティング論は、この経済的懸隔を架橋し、円滑な交換を実現するメカニズムを研究する学問であり、マクロ・マーケティング論とミクロ・マーケティング論の2つに大別される。前者は、社会経済的な視点から、経済的懸隔を架橋するメカニズムを把握しようとするものであり、「流通論」とほぼ同義である。後者は、個別企業のマネジメントの視点から、所定企業の商品についての経済的懸隔を架橋するメカニズムのあり方を検討するものであり、当該企業の商品を消費者に効率的かつ効果的に到達させるにはどうすればよいかを考察する。なお、「マーケティング論」といえば、通常、このミクロ・マーケティング論を指している。

マクロ・マーケティング論とミクロ・マーケティング論は密接に関連しており、一方をより深く理解するためには、他方を理解しておくことが必要不可欠である。そこで、本講義では、主として、前半にマクロ・マーケティング論を、後半にミクロ・マーケティング論を扱っていく。

専科
教育
目

講義の内容・
授業スケジュール

〔オリエンテーション〕

- 1) オリエンテーション
- 2) マーケティングの2義性
 - ・経済的懸隔の意義と内容
 - ・マーケティングの2義性

〔マクロ・マーケティング論〕

- 1) 流通機能
 - ・流通機能の意義と領域
 - ・流通フロー
- 2) 流通機構
 - ・流通機関の意義と内容
 - ・卸売業者の意義と分類
 - ・小売業者の意義と分類
 - ・流通の客体
 - ・流通機構を取り巻く環境
 - ・流通経路
- 3) (ミクロ・) マーケティングの台頭
 - ・商業者の存立根拠
 - ・流通における商業者の地位の後退
 - ・伝統的流通経路と垂直的マーケティング・システム

〔ミクロ・マーケティング論〕

- 1) 企業におけるマーケティングの役割
 - ・経営戦略
 - ・マーケティングの役割
 - ・マーケティング・コンセプト
 - ・マーケティング概念の拡張傾向
- 2) マーケティング管理
 - ・マーケティング管理過程
 - ・環境分析
 - ・市場細分化
 - ・マーケティング・ミックス
- 3) 市場概念
 - ・市場の2義性
 - ・消費財市場と産業財市場の比較
 - ・市場構造
- 4) 製品戦略の領域
 - ・製品の意義
 - ・製品ミックス
 - ・新製品の意義
 - ・新製品開発プロセス
 - ・製品ライフ・サイクル
 - ・製品廃棄と計画的陳腐化
 - ・ブランドの意義と役割
 - ・ブランドの分類
- 5) 価格戦略の領域
 - ・価格の設定方法
 - ・新製品導入時の価格設定方法
 - ・価格の管理方法
- 6) チャンネル戦略の領域
 - ・チャンネル・タイプ
 - ・チャンネルの構築方法
 - ・チャンネルの管理方法
- 7) プロモーション戦略の領域
 - ・広告活動
 - ・人的販売活動
 - ・セールス・プロモーション活動
 - ・パブリシティ活動
- 8) マーケティング・リサーチ

履修上の留意点

- 1) 出席すること。
- 2) 携帯電話や私語など、講義の妨げになるような行為は絶対にしないこと。
- 3) 講義中にプリントを配布することがあるが、このプリントは当該講義時間内にしか配布しないので注意すること。

成績評価の方法

テスト-90点、出席状況など-10点

教 科 書

兼村栄哲編著『マーケティングの基礎知識』（白桃書房）2003年発行予定。

参考書等

兼村栄哲他4名著『現代流通論』（八千代出版）1999年
宮澤永光監修『基本流通用語辞典』（白桃書房）1999年
宮澤永光・亀井昭宏監修『マーケティング辞典』（同文館）1998年
その他の参考書などについては、適宜紹介する。

その他

マーケティング論も、他の学問からまったく独立しているわけではない。実際に、さまざまな学問における概念や手法を援用ないし応用している。そこで、事前に履修しておいたり、並行して履修するのが望ましい科目を示しておく。

〔マーケティング論全般〕

商業経営論

〔マクロ・マーケティング論〕

企業形態論-とくに、「2）流通機構 小売業者の意義と分類」において。

〔ミクロ・マーケティング論〕

経営戦略論-とくに、「1）企業におけるマーケティングの役割 経営戦略」において。

経済学概説・近代経済学-とくに、「3）市場概念 市場の2義性」、「同 市場構造」、

「5）価格戦略の領域 価格の設定方法」において。

統計学・統計原論・経営統計-とくに、「8）マーケティング・リサーチ」において。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 財 務 論	たか だ みつ あき 高 田 光 明	経営A 2・3・4選	4
		14以降入学生/経営B 2・3・4選	

講義のねらい

〔財務の意味〕

経営財務は、企業という組織体の財務を研究する学問分野である。企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態では通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを生産して販売するという営業活動を遂行し、その結果として資本が自己増殖することを旨とする。このことが資本の運用であり、企業の営業活動を通じた資本の自己増殖分が利益である。企業の財務とは、現在では、企業による以上のような資本の調達と運用をいっている。

〔資本調達の位置〕

企業が資本を調達するのは、調達資本をできるだけ効率的に運用して自己増殖させ、利益を生み出すためである。その意味では、資本の運用あつての調達であるといつてよい。しかしながら、企業は、用途に合った種類の資本を、必要とする額だけ必要ときに調達できなければ、資本の運用を意図したように行い難くなる。資本運用の効率性は、企業が、資本の運用に合わせた調達をいかに行えるかに制約される。資本の運用がうまくいくかどうかの出発点は、資本をどのように調達するかにあるといえる。

資本の調達問題は、経営財務において、依然として重要な位置を占めていることに変わりがない。資本の運用あつての調達であるからといって、そのことは、資本の調達面の意義が小さくなることをけつして意味してはいないのである。この授業では、以上のような問題意識のもとで、資本の調達を中心に、必要に応じて資本の運用面と関連させながら講義するつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

基礎知識を体系的に理解し、この学問の基本的考え方を身に付けられるようにするために、まず基礎的・総論的事項から講義していく。

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 資金調達の基本原則
6. 流動・固定分類法的重要性
7. 資金概念
8. 企業利益の概念
9. キャッシュ・フロー
10. リスクとリターン
11. 資本のコスト
12. 内部資金
13. 株式資本と他人資本との相違
14. レバレッジ
15. 資金調達の手順

履修上の留意点

経営財務論を理解する上で必要となる最小限の会計的知識も授業では説明する。しかし、簿記学と会計学を前もって履修してあることが望ましい。

成績評価の方法

原則として、期末筆記試験により評価し、出席点を加味する。

参 考 書 等

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）
 染谷恭次郎著『資金計画の手引き』（日経文庫）

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際経営論	茂垣広志	経営A2・3・4選 14以降入学生/経営B2・3・4選	4

講義のねらい

国際経営とは、国境を越えて事業を展開している企業（多国籍企業）の戦略およびマネジメントの課題に取り組んでいる経営学の一領域である。本講義のねらいとしては、経営戦略論、管理論、組織論をベースとして、比較経営や異文化マネジメントの視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントの特徴を理解することにある。つまり、国内的企業ではあまり問題とならないような、企業の国際化、多国籍化にかかわる諸問題を企業経営の視点から多面的に捉え、検討することを通じて国際経営に関する基本的理解を深めることを講義の目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

日本企業を念頭において授業を進めるが、欧米系多国籍企業との比較、ケースを用いて理解が深められるような講義の内容を予定している。授業のスケジュールに関しては、下記のような構成となっている。

1. 国際経営論入門、2. 経営戦略の基礎と国際経営戦略、3. 企業の国際化と国際経営環境、4. 企業の多国籍化と国際化の発展段階、5. 国際競争戦略のパターン、6. 国際戦略提携、7. 国際経営組織、8. 国際経営のモデル、9. 日本企業の国際経営（日米欧多国籍企業比較）、10. 海外子会社のマネジメント、11. 異文化マネジメント、12. 海外派遣（出向）者の育成・選抜・処遇、13. 日本企業の国際経営上の課題と展望

科 専
門 教
目 育

履修上の留意点

教科書を用いて講義を進めるため、授業に教科書を携帯のこと。

成績評価の方法

成績は、期末試験の結果によるが、その際、出席状況を加味する。

教科書

茂垣広志『グローバル戦略経営』（学文社）2,800円

参考書等

必要に応じて指示する。

その他

プロジェクターを用いて講義形式で授業を進行する。また、必要に応じて資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
企業形態論	かがみ ようこ 各務洋子	経営A2・3・4選 1(物理入学生/経営B2・3・4選)	4

講義のねらい

企業形態論は、経営学において早くから成立した学問領域の一つである。企業形態を単に企業規模の区分として捉えるのではなく、企業制度の歴史的発展の過程、進化の段階として動的に捉える。資本主義経済の支配的な企業形態である株式会社を中心に据え、歴史的発展の過程、株式会社制度の基本、所有と経営との関係、現代株式会社の特質、株式会社支配論等の理論的特質を学び、現代社会における企業行動の理解を深める。企業に関する時事ニュースも同時に取り上げ、現代経営の諸現象を考察するための基本的知識の修得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

取り上げるテーマは以下の通りである。

1. 企業論と企業形態論：企業概念（企業理論への道程）
 - ・企業法律形態（個人企業、組合企業、会社企業）
 - ・企業形態の本質的意味・企業の資本調達メカニズム
2. 単独出資者の企業：経済形態としての個人企業
 - ・法律形態としての個人企業・個人企業の実態
3. 少数出資者の企業：少数集団企業の特質（人的集団企業と混合的集団企業）
 - ・合名会社と合資会社の制度と本質・有限会社の制度と本質
4. 出資者多数の企業：株式会社
 - ・株式会社制度の特質・株式会社制度の歴史的変遷・株式会社の実態
 - ・株式会社とガバナンス（コーポレート・ガバナンスの意味、ガバナンス論争の背景、ガバナンス制度導入の実態—執行役員制度、持株会社制度等）
5. 株式公開会社と資本市場：株式公開の意味、企業成長と市場評価
6. 株式会社のトップ・マネジメントの制度と実態：日本のトップ・マネジメント組織
 - ・株主総会・取締役会・監査役会・執行役員と取締役会改革・諸外国のトップ・マネジメント制度とその実態
7. 中小企業の企業形態：中小企業の特質
 - ・中小企業の類型化・下請け企業・ベンチャー企業、地域における中小企業集積・中小企業の組織化・組合制度の現状と課題
8. 企業結合の諸形態：市場経済における企業結合の必要性
 - ・企業の境界と取引費用・企業結合形態の多様性・企業結合形態の国際比較・M&Aと戦略的提携
9. 企業の国際化と多国籍企業：企業の国際化の背景と推移
 - ・多国籍企業の戦略と組織・国際化と経営課題
10. 公企業と公的サービスの供給方法の多様化：公企業の本質
 - ・公企業の存在意義と固有の属性・公企業の経営原則・公企業の経営形態・公的サービスの供給方法の多様化
11. 公企業の民営化：民営化の概念
 - ・世界的潮流としての民営化とその背景、目的
 - ・日本の公企業民営化

成績評価の方法

年2回の定期試験と、講義の終わりに小レポート（複数回）を実施する。小レポートの合計点（30%）、前期試験（30%）、後期試験（40%）によって総合評価する。

教科書

増地昭男・佐々木弘編著『最新・現代企業論』（八千代出版）2001年
その他、参考文献は適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
公益企業論	園田哲男	経営A2・3・4選	4
		14以降入学生/経営B2・3・4選	

講義のねらい

公益企業論の主要内容は、企業規制に関連する諸問題であり、とくに一般的企業規制と区別された意味における公益企業規制である。つまり、公益企業は、料金およびサービスに関し、規制をうけている問題であり、また、公益企業概念が、本来、制度的色彩の濃いものである。本講では、今日、企業の社会的責任の問題が論じられ、国民福祉という観点から、企業のあり方が問われ、政策事項として企業規制が問題とされている中で、公益企業の規制とは何か、また、公益企業の特質とは一体どのようなものかについて理解を深めることにある。

講義の内容・授業スケジュール

講義のすすめ方としては、前期に、公益企業概念の発達と、その問題点、および公益企業概念の再検討を行なう。後期は、公益企業における持株会社の形成（前期と後期）および評価について考察し、その上で公益企業の特質について理解させる。

履修上の留意点

学問は、単に知識だけを増殖するのではなく、適切な判断と意思決定を行なうための基礎となるものと考えている。本当に学ぶ意思のある学生だけが履修してくれることを望む。

成績評価の方法

成績評価は、單元ごとに小テストやレポートを課し、総合評価とするが、大学卒業レベルの知識と問題解決能力を養う努力をしない者は厳しい評価を行なうつもりである。

教科書

園田哲男著『企業論』（八千代出版）2,800円
適宜プリントの配布を行う。

科専門教育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営史	前田和利	経営A2・3・4選	4
		14以降入学生/経営B2・3・4選	

講義のねらい

経営史を学ぶことによって企業経営の変化のダイナミズムを理解することが可能となる。本講義では、方法論を検討したうえで、経営発達史における各段階の典型国をとりあげて講義するが、その際できるだけ産業・企業の歴史や国際比較の視点をふまえて論じていく。その結果、日本の企業経営の特質を鮮明に浮かび上がらせることができよう。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 経営史研究の課題と方法
- II. 企業経営発達史
 1. 企業経営の生成
商人資本の経営、マニファクチュア経営
 2. 企業経営の確立
産業革命、工場制度、企業経営の諸様相－企業経営者のタイプと理念、企業・経営諸機能
 3. 企業経営の発展
市場と技術、大量生産システム、大企業の形成と戦略・組織、巨大企業の成立と管理機構
 4. 企業経営の変容
以上のうち、前期において企業経営の確立のうち企業経営の諸様相の一部まで終える。なお、後期には事例研究をとりあげることがある。

履修上の留意点

教科書は使用しないので、下記の参考書を参照し、必ずノートを整理しておくこと。年に数回簡単な問題等を提示して回答してもらう予定である。適宜資料を授業開始時に配布する。

成績評価の方法

学年末試験による評価を原則とするが、出席時に提出した回答を多少加味する。

教科書

使用しない。

参考書等

榎本悟『アメリカ経営史学の研究』（同文館）、大河内暁男『経営史講義』（第2版）（東京大学出版会）、米倉誠一郎『経営革命の構造』（岩波新書）、安部悦生『経営史』（日経文庫）、宮本又郎ほか『日本経営史』（有斐閣）その他随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 経 営 史	おおしま ひさゆき 大 島 久 幸	経営A 2・3・4選 14以降入学生/経営B 2・3・4選	4

講義のねらい

株主との利害調整、持株会社の機能、経営者の役割など現代企業が直面する様々な問題に対処するうえで、近代以降の企業経営の歴史から多くの示唆を得ることができよう。本講義では、近代日本において経済発展を担う主体として、また日本的な企業類型の主要なルーツとして中心的な地位を占めてきた財閥に着目して、それら財閥が、どのようなプロセスで誕生し、日本の経済発展とともにどのように成長していったのかという点を考察し、そこから日本経済の歴史的な期限や日本の経済発展を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 【前期】 1. 財閥の定義 2. 幕末維新の危機 3. 資本生社会論 4. 政商の誕生 5. 政商と華族資本 6. 政商からの脱皮 7. 運輸・通信システムの建設 8. 産業化の光と影 9. 家政改革と家憲 10. コンツェルンと持株会社 6. 専門経営者の登場① 12. 専門経営者の登場② 13. 前期のまとめ
- 【後期】 1. 第一次大戦期における商社ブームと破綻 2. 三井物産の形成 3. 鈴木商店と金融恐慌 4. 都市化の進展と大衆生活の洋風化 5. 三大財閥の覇権 6. 恐慌とドル買い事件 7. 財閥の転向 8. 戦時体制と財閥 9. 財閥解体 10. 企業集団の形成 11. 高度成長期の日本経済 12. 高度成長期の専門経営者 13. 後期のまとめ

成績評価の方法

前期レポートと定期試験で総合的に評価する。

教科書

武田晴人『財閥の時代』（新曜社）1996年

参考書等

宇田川勝・中村青志『マテリアル日本経営史』（有斐閣）1999年。老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史』（税務経理協会）2002年。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 史	やま だ まさる 山 田 勝	経営A 2・3・4選 14以降入学生/経営B 2・3・4選	4

講義のねらい

商業経営の歴史的発展の過程を、文化との関係に留意しながら講義する。

講義の内容・授業スケジュール

- 講義内容の主なテーマは次のとおりである。
- (1) 商業史の視点 (6) 継続性
 (2) 歴史研究とパラダイム論 (7) 流通量
 (3) 利潤 (8) 大衆消費社会の特質
 (4) 商品 (9) 価格革命
 (5) 市場 (10) 情報社会と商業

履修上の留意点

講義を聴くことのみが学習の方法ではないが、講義は各自の学習の導きとしては有益であると思う。出席はとらないが、聴講に努めて欲しい。質問は歓迎する。教場での私語は他人の迷惑となるので厳禁とする。必要があれば教場から出て話すこと。

成績評価の方法

成績評価は定期試験による。

教科書

山田勝著『現代商業の歴史と展開』（創成社）2,850円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 險 経 営 論	いしなざがくにあき 石名坂 邦 昭	経営A2・3・4選	4
		14以降入学生/経営B2・3・4選	

講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた、「危機管理論」(リスク・マネジメント)研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は、理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況および授業時の質疑応答と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教 科 書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』(白桃書房) 3,500円

参 考 書 等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメントと保険』(白桃書房)
石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』(白桃書房)

科 専 門 教 育
目 録

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
銀 行 経 営 論	はつ どり よし ひさ 服 部 昌 久	経営A2・3・4選	4
		14以降入学生/経営B2・3・4選	

講義のねらい

金融制度は一国の歴史的発展の産物であり、その国の繁栄を築くための社会的インフラである。社会が今日のように大きな変革期にあるときには、長期的な展望に立って変化を先取りして新たな制度を構築しなければならない。経営環境が大きく変化した中で、銀行は新たな道を求めて模索しているが、本講義においては、戦後のわが国の金融システムの変遷を振り返るとともに、欧米主要銀行の動きにも注目しながら、利用者のニーズに応える銀行のあるべき姿を探りつつ、時事問題も含め、銀行経営にかかわる諸問題を、わかりやすく解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義はおおよそ次のような内容を予定している。

- ① わが国の金融制度の沿革と特徴
- ② 銀行の機能
- ③ 銀行の業務
- ④ 銀行経営と不良債権問題
- ⑤ 銀行経営とリスク管理
- ⑥ 信用秩序の維持と諸規制
- ⑦ これからの銀行経営のあり方

履修上の留意点

講義は基本的な事柄を取り上げ、わかりやすく解説するよう心がけるが、それでも不明な点があれば、質問を歓迎する。

成績評価の方法

学年末の定期試験(50%)、読書感想文(20%)、授業への出席(30%)を総合して評価する。読書感想文の課題図書は開講時に指示する。

教 科 書

服部昌久『日本型金融システムの転換』(財外国為替貿易研究会)2001年 2,700円

参 考 書 等

- ・高木仁、高月昭年『入門 日本の金融機関』(東洋経済新報社)2000年 2,900円
- ・鹿野嘉昭『日本の金融制度』(東洋経済新報社)2001年 3,200円
- ・藪下史郎、武士俣友生『中小企業金融入門』(東洋経済新報社)2002年 2,800円
- ・全国銀行協会金融調査部『図説わが国の銀行(2003年版)』(財経詳報社)2003年 2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級簿記	おおつがゆきこ 大塚雪子	経営A2・3・4選	4
		14以降入学生/経営B2・3・4選	

講義のねらい

この講義では、1年次の必修科目である「簿記学」で修得した基本的な簿記の知識を、より総合化・体系化させつつ、高度の簿記理解を目指して行います。具体的には、特殊取引・本支店会計・株式会社会計・個別財務諸表・連結財務諸表・キャッシュフロー計算書等の一連の応用簿記を学んでいきます。技術的管理技法としてのこうした高度の簿記の学習を企業の決算書理解に結びつけて取り扱い、実践的な計算管理により関心を深めてもらいたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- ・簿記の一巡の手続と財務諸表
- ・特殊取引：
 - 特殊商品売買取引、手形取引、固定資産取引
- ・本支店会計：
 - 本支店取引、合併財務諸表
- ・株式会社会計：
 - 株式会社の資本、利益処分（損失処理）、社債・繰延資産、株式会社の税金
- ・計算と財務諸表
 - 決算整理と財務諸表（個別財務諸表・連結財務諸表・キャッシュフロー計算書）

履修上の留意点

高度の簿記の修得には、継続と復習につきます。毎回の出席と学んだことを自分の力にする努力とを期待します。

成績評価の方法

前期・後期の試験に平常点を加味し、総合評価で行います。

教科書

加古宜士・渡部裕亘編著『新検定簿記ワークブック（商業簿記）』2級（中央経済社）600円
 その他教科書については、開講時に指示します。

参考書等

必要に応じて紹介していきます。

科専門教育
目録

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財 務 会 計 論	わた なべ えいちろう 渡 邊 恵一郎	経営A2・3・4選 14以降入学生/経営B2・3・4選	4

講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者に、投資者、債権者その他企業と利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業財務情報を提供させることにある。この主たる手段が、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理（測定）と表示方法（伝達）を中心的課題とし、またこれに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の内容はおおむね下記の教科書によることとし、この授業スケジュールは次のとおりである。

- ① 4～5月 財務会計の機能と制度、利益計算の仕組み、会計理論と会計原則
- ② 6～7月 利益計算と資産評価の基本原則、現金預金と有価証券、売上高と売上債権、棚卸資産と売上原価
- ③ 9～10月 固定資産と減価償却、繰延資産、負債、資本
- ④ 11～12月 財務諸表の作成と公開、連結財務諸表、外資建取引等の換算

履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出（年1回）を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び定期試験点数の総合による。

教 科 書

桜井久勝著『財務会計講義』（中央経済社）

参 考 書 等

日本公認会計士協会編『監査小六法』（中央経済社）

そ の 他

(1) 授業の方法は、講義による。(2) 簿記学・会計学の単位を修得していること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
管 理 会 計 論	さる やま よし ひろ 猿 山 義 広	経営A2・3・4選 14以降入学生/経営B2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、すでに「簿記学」の単位を修得していることを前提として、企業における管理会計の基本思想を学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 管理会計の意義と体系
2. 短期利益計画のためのC-V-P分析と経済性計算
3. 意思決定のための原価概念と利益概念
4. 原価管理会計
5. 予算統制
6. 投資意思決定

履修上の留意点

「管理会計論」は計算科目なので電卓を持参すること。

成績評価の方法

期末試験、夏季休業中のレポート、および平常点を考慮して、総合的に評価する。ただし、中心になるのは期末試験の結果である。

教 科 書

開講時に指定します。なお、適宜、プリントを配布します。

参 考 書 等

中原章吉編著『管理会計論』（税務経理協会）
櫻井通晴著『管理会計（第二版）』（同文館）
岡本清・廣本敏郎・尾畑裕・挽文子著『管理会計』（中央経済社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計監査論	あべかずひと 阿部一人	経営A2・3・4選 14以降入学生/経営B2・3・4選	4

講義のねらい

“監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ”
もともと監査論は、その言葉自体がもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。

監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。

監査は、僕れて社会的・人間的な用具として生みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実には存在することは、過去の事例からも明らかであるけれども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。

まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！

監査論は財務諸表監査として特徴づけられている。

これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。

本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

専門教育
科目

講義の内容・
授業スケジュール

- 会計監査の意義と目的（総論）(1)
 - ①監査の必要
 - ②監査の意義
 - ③監査の対象
- 会計監査の意義と目的（2）
 - ①監査の目的
 - ②監査思想の変遷
 - ③監査の効用
- 監査の機能
- 会計上の誤謬と不正
- 監査の種類
- 会計監査と財務諸表監査
- 我国の監査制度
 - ①証券取引法監査
 - ②商法監査
 - ③その他の監査制度
- 監査基準（1）
 - ①必要性
 - ②生成と展開
- 監査基準（2）
 - ①意義
 - ②体系
 - ③一般基準
 - ④実施基準
 - ⑤報告基準
- 監査人
 11. 監査証拠
 12. 監査計画
 13. 内部統制
 14. 試算
 15. 監査技術と監査手続
 16. 監査調査
 17. 監査報告書
 18. 連結財務諸表の監査
 19. 中間財務諸表の監査
 20. システム監査
 21. 国際監査基準
 22. 現代監査論の動向
 - ①監査概念の拡大化
 - ②監査保証に程度の差を認める監査概念

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」の科目を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

評価の方法は、前期と後期の定期試験、レポート（夏季）および出席状況を考慮して、総合的に判定する。なお、最初の講義時に詳細な講義内容、試験の方法および評価の方法等について説明するので、受講希望者は必ず出席すること。

教科書

小関・柳田共著『監査論セミナー』（東京経済情報出版）3,200円

参考書等

- 田島四郎『最新監査論』（税務経理協会）2,900円
 高田正淳『最新監査論』（中央経済社）2,800円
 鳥羽至英『監査基準の基礎』（白桃書房）3,900円
 三澤 一『会計監査の理論』（中央経済社）2,800円
 山俣忠恕・松田信男『監査基準精鋭精説』（税務経理協会）3,500円
 脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』（中央経済社）3,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原 価 計 算 論	こん どう さだ お 近 藤 禎 夫	経営A2・3・4選 14以降入学生/経営B2・3・4選	4

講義のねらい

《科目の位置づけ》

原価計算論は、たんに製造原価の算定方法を取扱うというのではなく、日常の国民生活と直接に結びついた重要な役割を果たすものであるから、その対象領域はきわめて広いといえる。たとえば価格形成問題、原価管理、予算統制、利益計画および公表会計などに関連する。このような会計と経営の両分野を包摂した科学である。

《科目の概要》

原価計算は会計領域の全般にかかわり機能している。とりわけ経営管理活動と有機的に関連づけられ測定・情報伝達・利用がなされている。企業の経営管理活動とは通常大きく二つに分けて認識される。一つは社会的存在としての企業が、それをとりまく利害関係者（株主、債権者、投資家、徴税当局、労働組合、および広くは国民大衆）に対し社会的責任を遂行する分野である。いま一つは、企業活動について意思決定と業績評価を行ない、企業を活性化させ利益の獲得機会を拡大させるための活動分野である。

原価計算の役割は、前者においては公表財務諸表作成のための原価情報の提供にある。また後者についてはきわめて幅が広く、経営管理の全領域にわたって原価情報が提供される。いずれにせよ、企業経営の要となる会計情報が提供される。

本講義では、“授業の内容”等でもふれるように、「企業会計原則」を補完する「原価計算基準」の示す範囲に力点を置いて取組むことになる。したがって、まず原価計算の基本概念および基本的計算構造をしっかりと身につけるよう講義することになる。講義のはじめに際しては、商業簿記から工業会計への橋渡しを平易に展開したい。

前期においては、原価計算が制度会計の枠組みのなかで重要な役割を担っている売上原価の算定、たな卸資産（原材料、製品、仕掛品、貯蔵品など）の評価といった技術的側面を取扱う。具体的には、製造原価計算の算定プロセスを理解しやすいように説明していきたい。順序としては原価の費目別計算、部門別計算、製品別計算の算定手続きを展開することになる。この場合、当初は実際原価計算制度を前提として述べるが、後期には管理手段としての原価計算にもふれるので標準原価計算にも及ぶ。なお、さらに一歩立ち入って、原価計算の管理会計分野での適用問題にもふれる。

原価計算論は製造工業を中心とした計算体系ではあるが、サービス業（電力、ガス、鉄道などの公益事業の運賃・料金問題）など適用範囲は多様にわたる。現実の事例などを紹介しながら講義をすすめていく予定である。

講義の内容・授業スケジュール

原価計算論を学習するにあたっては、制度会計の側面と管理会計の側面との両者に関連を有するので、会計法規集を常に携帯していただきたい。

とりわけ講義は「原価計算基準」（旧大蔵省・企業会計審議会中間報告、昭和37年）を中心に行なう予定である（テキストを補うプリント類は随時配布する）。さきの《講義のねらい》で述べた方針とともに、モットーは、「高度な内容をやさしく」である。

2004年度においては、以下に示す内容を講義する。

1. 原価計算の現代的役割とその考え方
2. 原価計算の概要
3. 原価の費目別計算
4. 原価の部門別計算
5. 個別原価計算の方法
6. 総合原価計算の方法
7. 標準原価計算
8. 経営計画と原価計算
9. 原価計算の新しい問題
10. 原価計算の歴史

成績評価の方法

基本的には平常の出席状況と学年末試験で評価する。

教科書

学期の始めに指示する。

参考書等

敷田礼二・近藤禎夫著『原価公開』（新日本出版社）1976年（絶版、図書館での閲覧を乞う）
中央経済社編『会計法規集』最新版（2004年7月頃新版発売）

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営分析論	かたがひのぶ 片桐伸夫	経営A2・3・4選 14以降入学生/経営B2・3・4選	4

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
 - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
 - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析を取りあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にあふれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

*レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」

：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆提出日（授業はじめに配布するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

*テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

教科書

開講時、指示します。

参考書等

随時、紹介します。

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名	担当者名	配当学科	単位
財政学	速水昇	経営A2・3・4選 14以降入学生/経営B2・3・4選	4

講義のねらい

私たちの日常生活は、そのほとんどの側面で直接・間接的に政府の経済活動の恩恵を受けている。たとえば、出掛けに傘を持っていくべきか否かは、適確な天気予報によって判断できるし、病気や怪我をしたときにかかる医療費は医療保険のおかげで実際に支払った額の数割程度ですむ。また、道路・港湾などの社会資本整備は公共部門が供給しているなど、政府はさまざまな役割を担っている。さらに金融不安、国債の累積残高、高齢化・少子化社会、規制緩和など政府が解決しなければならない問題が非常に多くある。

その反面、わが国の政府は、平成15年度末で国債の発行残高が約450兆円、地方公共団体の赤字が約199兆円、これに約28兆円の旧国鉄の債務や「隠れ借金」といわれる林野事業等の特別会計の借金などを加えると、財政赤字は実に約686兆円になる。この数字は15年度わが国のGDP見込みの137.6%に相当する。EU（ヨーロッパ連合）の基準だと健全な国家の財政赤字はGDPの60%とされているから、わが国の財政はいかに不健全な状態であるかが理解できる。最近の景気低迷、これから高齢化・少子化社会に向けて、納税者としての立場、あるいは日本国民としての立場から財政の問題を考えていくことが大切であるという認識に立って授業を行う。尚授業中に勉強したことについて10回程度の小テストを予定しているの、出席に自信のある学生を希望する。

成績評価の方法

試験、授業中の小テスト、レポート（小テスト、レポートで成績の半分を評価する）

教科書

速水昇著 要説『財政学』第三版（学文社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
金融論	北見良嗣	経営A2・3・4選 14以降入学生/経営B2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は、担当教官の金融実務経験を踏まえて、金融に関心のある学生、将来金融界での勤務を希望する学生を対象に、①金融の基礎からスタートして、金融システム、銀行行動と金融政策、国際金融取引、現代の金融問題までを幅広くカバーして、金融にかかる一通りの知識を与えるとともに、②現代の金融問題の中で、金融システム安定のためのプルーデンス政策（金融検査マニュアル、自己資本比率規制、預金保険制度）、金融システム改革に向けての新しい動き（証券化、デリバティブ）について若干の掘下げた説明を行うことを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

授業の冒頭（30分程度）において、日本経済新聞掲載記事から話題となっているテーマを取上げて題材とするほか、以下のとおりの内容とします。

（前期）下掲テキストを中心に、上記①の金融にかかる一通りの説明を行います。

（後期）前期の積み残し分に加えて、上記②の現代の金融問題にかかる若干の掘下げを行います。

履修上の留意点

履修者は、マクロ経済学の基礎知識のあることが望まれます。また、授業の前の予習は不可欠です。

成績評価の方法

前期末に中間レポートの提出を課すほか、期末に筆記試験を行います。なお、授業の出席状況も参考材料とします。

教科書

貝塚・奥村・首藤『エッセンシャル経済学シリーズ-金融（第2版）』（東洋経済新報）2002

参考書等

授業の進行に伴い、適宜紹介します。

その他

参加人員数にも依りますが、原則対話形式を取り入れた講義形式とします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 経 済 論	<small>なが</small> 永 <small>た</small> 田 <small>とも</small> 智 <small>のり</small> 則	経営A 2・3・4選 14以降入学生/経理B 2・3・4選	4

講義のねらい

現在の国際経済は、各国経済の急速なグローバル化の進展にともなって、ダイナミックに変動しています。その中で、各国経済は緊密な相互依存関係を構築することによって国際社会から大きな利益を得ています。同時に、相互依存関係の緊密化は、ややもすれば国際間に相互対立を生み出し、さまざまな国際経済現象を引き起こします。どの国の経済も国際経済の動向と無縁であることはできませんし、逆にどの国の出来事も国際経済に影響を及ぼします。

本講義の目的は現実に生じている国際経済現象の解明に役立つような基礎的理論を簡潔に提示することにあります。「なぜ貿易が行われるのか」から説き起こし、最近の東アジアの経済発展に大きな役割を演じている「直接投資」まで題材にして講義する予定です。

授業で展開される分析道具を習得すれば、現実の国際経済現象を自ら解明するのに役立つはずです。

講義の内容・授業スケジュール

本年度の講義内容は以下の6つのテーマを予定します。

1. 国際分業論
2. 貿易政策
3. 経済成長と貿易
4. 国際マクロ経済学
5. 外国為替と国際収支
6. 資本の国際移動

科 専
門 教
目 育

履修上の留意点

授業中は他の受講生に迷惑が及ばないように、私語を謹み、携帯電話の電源を切るなど全員が授業に集中できるように心がけて下さい。授業内容で不明な点や疑問点があれば遠慮なく質問して下さい。

成績評価の方法

成績評価は、原則として学年末の定期試験で評価しますが、授業への出席も重視します。途中、検討課題を出すことも考えていますので、総合的な評価になることもあります。

教科書

仙頭佳樹著『最もやさしい国際経済学』（多賀出版）2,800円

参考書等

随時必要に応じて紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本経済論	は <small>とり</small> 鳥 <small>しげる</small> 茂	経営A 2・3・4選 14以降入学生/経営B 2・3・4選	4

講義のねらい

日本経済の現状と課題について以下の12のテーマを中心に、データと経済理論にもとづいて講義します。経済理論の最近の発展は著しく、それらについても現実経済への応用を重視しながら解説します。またデータ解析の方法についても基礎的な知識は説明します。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- (1・2) 日本経済の全体像と国民経済計算
- (3・4) 成長と変動の理論と実際
- (5・6) 資産価格の決定とバブル
- (7・8) 雇用・賃金と労働経済
- (9・10) 企業とコーポレート・ガバナンス
- (11・12) デフレ・スパイラルとインフレーション・ターゲティング
- (13) まとめ

後期

- (14・15) 為替レートの変動とデリバティブ
- (16・17) 日本経済空洞化論と直接投資
- (18・19) 財政赤字とサステナビリティ
- (20・21) 金融と不良債権および金融政策
- (22・23) 人口構造の変化とマクロ経済
- (24・25) 社会保障と年金
- (26) まとめ

履修上の留意点

経済は誰にとっても生活の1つのきわめて重要な要素であるからテレビや新聞で報道される経済ニュースに日頃から接するように心がけて、問題意識を養うようにしてください。

成績評価の方法

原則として年度末の定期試験によって評価します。

教科書

小峰隆夫『最新日本経済入門』第2版(日本評論社)2003年、2,500円

参考書等

必要に応じてプリントを配布します。また参考文献の詳しい紹介を講義のなかで行います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
証 券 市 場 論	さ とう のぼる 佐 藤 昇	経営A2・3・4選 14以降入学生/経営B2・3・4選	4

講義のねらい

従来、わが国の金融システムは銀行等を仲介者とする間接金融を中心として発展してきた。しかしながら、近年、銀行等の不良債権の大量発生によりこの方式がやや機能不全の様相を呈するとともに、有価証券を発行して投資家から資金を調達する手段である直接金融システムへの比重移行の必要性が提言されている。講義では有価証券市場の機能や市場構成など基礎的な解説とともに将来への展望についても検討し、経済動向に関する報道等を正しく理解し、みずから判断する能力を培うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

最初に証券市場で取り扱う対象である有価証券を定義し、その機能等を解説する。そのうえで伝統的有価証券である債券や株式の種類や機能、発行・流通市場について考察するが、わが国の財政事情と国債市場の動向あるいは株式市場動向と経済全般との関わり、など経済社会における重要な課題についても触れておきたい。

また、資金運用手段としての証券市場の役割も重要であるので、債券利回りの意味と計算の方式、株式の投資尺度やその利用方法、あるいは企業の債務返済能力を示す格付け制度の概要と活用方法など、いわば実務的側面についても解説する。

なお、近年における金融・証券市場のグローバル化にともなって、資金の動きが速くなり、移動の範囲も急速に拡大しているため、市場改革のテンポも極めて遠くなっている。今後も、内外共に市場の激変が予想されるため、証券市場に関連して重要な事態が発生した際には、その都度背景や影響などを解説する。

科 専
目 門
教 教
育 育

履修上の留意点

証券や金融市場に関するニュースに関心を持って欲しい。その上で、疑問点や不明な用語等があれば積極的に質問してもらいたい。授業に際しては出来るかぎり質問の時間を設ける予定である。

成績評価の方法

原則として学年末の定期試験によって評価する。

教 科 書

佐藤昇ほか著『入門 現代の証券市場 (第2版)』(東洋経済新報社) 2,800円

参 考 書 等

授業中に指定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
計 量 経 済 学	呉 逸 良 <small>いつりょう</small>	経営A2・3・4選	4
		14以降入学生/経営B2・3・4選	

講義のねらい

現実の経済データを用いた例題を実際に解くことを通じて、計量経済学を学ぶ。パソコンを利用して演習を行うことにより、抽象的になりがちな計量経済学を分かりやすく理解し、実際のデータ分析の能力を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

前 期

Excelを利用して例題を解きながら、以下の内容を講義する。

1. 統計学の基礎知識 (I)
2. 統計学の基礎知識 (II)
3. 単純回帰モデル
4. 重回帰モデル
5. 回帰モデルの仮説検定

後 期

TSPを利用して前期の例題を再計算することを通じて、TSPの扱いをマスターする。その上で、以下の内容を講義し、TSPを用いて演習を行う。

6. TSPの基礎
7. ダミー変数
8. 系列相関
9. 連立方程式

履修上の留意点

経済理論をある程度勉強していることと、統計原理と経営数学を履修すること。

成績評価の方法

日頃の宿題、レポート、学期末試験の結果により総合的に判断する。期末試験は授業中に行い、試験での持ち込みは自由。

教 科 書

白砂堤津耶『例題で学ぶ 初歩からの計量経済学』(日本評論社) 1999 2,800円(税別)

参 考 書 等

山本拓『計量経済学』(新世社)
 囊谷千風彦『計量経済学』(東洋経済新報社)
 G.S. マダラ著・和合肇訳『計量経済分析の方法』(シーエーピー出版)
 唯是康彦『Excelで学ぶ計量経済学入門』(東洋経済新報社)
 縄田和満『Excelによる回帰分析入門』(朝倉書店)
 囊谷千風彦等『パソコンによる数量分析・ExcelとTSP入門』(多賀出版)
 縄田和満『TSPによる計量経済分析入門』(朝倉書店)
 和合肇、伴金美『TSPによる経済データの分析』(東京大学出版会)

科目名	担当者名	配当学科	単位
イノベーション論	はねだしょうこ 羽田尚子	経営A2・3・4選 14以降入学生/経営B2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、経営学および経済学の知見を中心にイノベーションをとらえ、イノベーションとはどのような特性をもつ現象なのか、どのようにして生まれるのか、経済社会にいかなる影響を与えるのかといったイノベーションを理解するうえで重要かつ基礎的なトピックについて学びます。イノベーションの特性とメカニズムを知ることにより、企業がどのように進化するのか考える能力を身につけることが本講義の目的です。実際のイノベーションは幅広い形で企業経営や経済発展に関わるため、トピックは多岐に渡ります。前期では、産業発展における役割といった歴史的アプローチ、企業戦略や技術マネジメントといった経営的アプローチを中心にします。後期では、市場構造と経済発展といった経済学的アプローチ、知的財産権のような法制度的アプローチ、産学連携のような政策論的アプローチを中心にします。

講義の内容・授業スケジュール

- 【前期】(1-4) イノベーションとは何か (5-8) イノベーションと企業戦略
(9-12) イノベーションと企業間システム (13) まとめ
【後期】(14-17) 経済発展とイノベーション (18-20) 知的財産権
(21-25) 技術政策、ベンチャーキャピタル制度、大学の役割 (26) まとめ

履修上の留意点

一部経済学的な考え方が基礎となるため、近代経済学や経済原論といった経済学の基礎を受講することが望ましいと考えます(必須ではありませんが)。

成績評価の方法

成績は各期の学期末試験で評価します。履修人数によっては試験ではなく、興味ある産業のイノベーションメカニズムの分析に関するレポート提出に替える場合もあります。

教科書

一橋大学イノベーション研究センター編『イノベーション・マネジメント入門』(日本経済新聞社)2,800円

科専門教育
目録

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本経済史	きたじままんじ 北島万次	経営A2・3・4選 14以降入学生/経営B2・3・4選	4

講義のねらい

第Ⅰ部 日本における無階級社会(原始社会)から階級社会(奴隷制社会・封建制社会・資本制社会)にいたるまでの経済史発展の移り変わりについて、そのあらましを述べる。

第Ⅱ部 幕藩体制社会の経済のしくみとその発展

- 幕藩体制社会の経済構造とその特質について述べる。
- その前提として、幕藩体制社会(封建社会の経済)のもとで、近代へ向けての経済発展がどのように展開したかについて述べる。その事例としてつぎのことについてふれる。
 - 江戸時代後期、畿内における棉作の展開とその実態
 - 開港直前における信州諏訪製糸業の展開
 - 江戸時代後期、上州における地主制とその経営

第Ⅲ部 幕末維新期の経済変動

- 明治維新と外圧についてのあらまし
- 幕末貿易の展開とその実態
- 日本における資本の形成
 - 秩禄処分過程
 - 銀行資本の創出
- 資本の投資
- 地租改正の実態とからくり

成績評価の方法

出席点とテスト。(注)出席の著しく悪い受講者には単位を認定しない場合がある。

教科書

教材はその都度配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理応用Ⅱ(前期)	なが 長 こ 国 強	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

実際のデータから経済・経営など社会的な動きをどのように読みとるのかといった能力を養成できるようにすることを目的として、本講義はEXCELを使ってのデータ解析の技術を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。
 1. データベース、データ整理(度数分布表、グラフ表現)
 2. 統計特性値、経営指数
 3. 回帰モデル、時系列モデル

履修上の留意点

毎回の演習アイテンに連続性があり、1回欠席すると、次回の実習についていけなくなることを考えられる。

成績評価の方法

平常点：出席・レポートの成績などで総合的に評価する。

教 科 書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

そ の 他

〔クラス定員〕60名
 〔関連科目〕経営統計、経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
 ※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理応用Ⅱ(前期)	う 宇 たに 谷 あき 明 ひで 秀	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

本講義では、単純なデータ処理であるならば、市販のデータ処理ソフトに頼ることなく、自らプログラムを作成してデータ処理できるようにすることを黙唱に、プログラミングの基礎を学ぶ。演習で簡単なデータ処理ソフトを作成する。

講義の内容・授業スケジュール

1. プログラミング講義(6～7回)
 C言語について、そのすべてを説明する。
 2. プログラミング演習(5～6回)
 C++Builderを使って、実際に幾つかの簡単なデータ処理プログラムを作成する。

履修上の留意点

・情報処理基礎及び応用Ⅰを履修しておくことと良い。
 ・情報処理系の科目、特にプログラミングは暗記科目ではない。
 ・講義は演習中心になるので、欠席は極力避けること。

成績評価の方法

中間試験と期末試験に出席状況を加味して評価する。

教 科 書

特に教科書は使用しない。講義内容をまとめた資料を配布する。

参 考 書 等

授業の中で必要に応じて紹介する。

そ の 他

〔クラス定員〕60名
 〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
 ※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理応用Ⅲ(後期)	なが 長 こ 国 きょう 強	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

本講義では、Cプログラミング(C言語)について学んでいく。

講義の内容・
授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

- 1.Cプログラミング入門
- 2.C言語による簡単なデータ処理ソフトの作成

履修上の留意点

毎回の演習アイテンに連続性があり、1回欠席すると、次回の実習についていけなくなる
ことが考えられる。

成績評価の方法

平常点：出席・レポートの成績などで総合的に評価する。

教 科 書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

そ の 他

〔クラス定員〕60名
 〔関連科目〕経営統計、経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
 ※この科目を履修するためには、「情報処理応用Ⅱ」の4月初回授業時に担当教員の受講許可
 を得た上で、履修登録してください。「情報処理応用Ⅱ」への事前登録申請のみでは履修でき
 ません。

科 専
門 教
育 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理応用Ⅲ(後期)	宇 谷 明 秀 <small>う たに あき ひで</small>	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

インターネットの普及やコンピュータの性能向上によって、情報の収集・蓄積が容易になってきている。現在、多くの企業では、日々膨大なデータを収集し、収集したデータを分析して企業経営に役立てている。この講義では、

- ・基本的なデータ分析手法の習得
- ・プログラミング技術の習得

を主たる目的として、基本的なデータ分析手法を紹介し、C++Builder を使って実際にデータ分析ソフトを開発する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. データ分析手法の講義 (3～4回)
いくつかの基本的なデータ分析手法を紹介する (様々なデータを用い、そのデータにどのような意味が隠されているのかを探る)。
2. プログラミング技術の講義 (4～5回)
演習を中心に進める。
3. データ分析ソフトの開発 (3～4回)
C++Builder を使って実際にデータ分析ソフトを開発する。

履修上の留意点

- ・情報処理基礎及び応用Ⅰ、Ⅱを履修しておく和良好的。
- ・C言語の基本的知識を前提として講義を進める。
- ・授業は演習中心になるので、欠席は極力避けること。

成績評価の方法

中間試験と期末試験に出席状況を加味して評価する。

教 科 書

特に教科書は使用しない。講義内容をまとめた資料を配布する。

参 考 書 等

授業の中で必要に応じて紹介する。

そ の 他

[クラス定員] 60名
[関連科目] 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目を履修するためには、「情報処理応用Ⅱ」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理応用Ⅱ」への事前登録申請のみでは履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報理論	にしむらかずお 西村和夫	経営A2・3・4選 14以降入学生/経営B2・3・4選	4

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量(情報量)を定義したシャノン(C. E. Shannon)流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として(シャノンという単位で)計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報を記録するために十分なフロッピーディスクの枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値(平均値)であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後で、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をします。現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

講義の内容・授業スケジュール

- 4月3回 授業内容概説、情報とは、情報量への要求
- 5月3回 対数の原理と性質、計算練習
- 6月4回 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
- 7月3回 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解読
- 9月2回 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
- 10月2回 符号化(JISコード、国際符号化文字集合)、対数・情報量の間試験
- 10月2回 確率過程およびマルコフ過程
- 11月2回 遷移確率と同時確率
- 11月1回 エントロピーの定義
- 12月2回 冗長度、言語のエントロピー
- 12月1回 価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
- 12月1回 検査術(CD)、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

科専門教育
目

履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2～3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています(上表5月参照)。

成績評価の方法

10月の中間試験(30%)と定期試験(70%)との合計点によります。

教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクトとプリントを使います。適当な教科書はありません。

参考書等

そのつど紹介します。

その他

〔関連科目〕→ 経営情報論 この科目は、再試験を実施しません。

講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Nis/lecture/info.html>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 科 学	お ざわ とし ひさ 小 沢 利 久	経営A 2・3・4選 14以降入学生/経営B 2・3・4選	4

講義のねらい

経営科学とは、経営活動において生じる様々な意思決定を科学的に支援するための方法論を考える学問である。また、モデルを用いて対象を定量的に分析する点に特徴がある。本講義では、経営科学的な問題のとらえ方と問題解決のための代表的な手法について学んでいく。

講義の内容・
授業スケジュール

前半は、最適化のための手法を扱う。生産計画問題とは、使用可能な資源の量が限られている場合に利益を最大化する方法を求める問題であるが、このような最適化問題を扱う手法として線形計画法とネットワーク計画法を取りあげる。ゲームの理論では、競争下における最適な戦略について考えていく。後半は、不確実性を伴う状況下での意思決定と不規則に変動する現象を分析するための手法を扱う。不確実性の下で情報を多面的に分析するための考え方を示すのが意思決定の理論である。オプションの価格付け理論では、不規則に変動する株価をモデルに取り込んだ分析法を示す。待ち行列理論では、不規則に発生するサービス要求を処理するためのコンピュータシステムなどを解析する。以下は今年度の講義予定である。

1. 線形計画法：定式化、シンプレックス法、感度分析
2. ネットワーク計画法：最短経路問題、最小木問題、最大流問題
3. ゲームの理論：ナッシュ均衡、有限ゼロ和2人ゲーム
4. 意思決定の理論：意思決定の基準、情報の価値、階層的意決定法
5. オプションの価格付け理論：コールオプション、1期間モデル、裁定定理
6. 待ち行列理論：ケンドールの記号、リトルの式、M/M/Sモデル

履修上の留意点

理解を深めるために適宜演習を行う。

成績評価の方法

試験（前期末と後期末の2回）を主とし、それに演習課題と出席状況を加味して評価する。

教 科 書

プリントを配付する。

参 考 書 等

田畑吉雄『経営科学入門』（牧野書店）
森雅夫他『オペレーションズリサーチ I、II』（朝倉書店）

そ の 他

経営数学と経営科学概論を先または同時に履修しておくことが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営情報論	高井 徹雄	経営A2・3・4選 14以降入学生/経営B2・3・4選	4

講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供することに外ならない。本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関する体系的な観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

I. 経営情報とシステムの観点（前期）

(1) 科学とシステムの観点（4月～5月：4週）

情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法とシステムのなものの見方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。

(2) 情報学の基礎と周辺領域（5月～6月：5週）

情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。

(3) 情報環境の発展と経営における利用（6月～7月：5週）

経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。まず、企業における情報利用の形態の歴史の変遷を概観する。次いで、今日から近未来において、インターネット環境下の戦略的な情報の利用はどうあるべきか。すなわち、ITを用いた意思決定と管理のあり方、また電子商取引の現在と今後の発展について考察する。

II. 情報の利用技術（後期）

(1) 多変量データ解析（9月～10月：7週）

調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで初めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化I、II、III類法について、その原理と適用方法を学ぶ。

(2) シミュレーション（11月～12月：4週）

複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。まず、社会経済系に関するシステム・ダイナミックス、工学的システムに関する有限要素法などの数値シミュレーション、待ち行列現象の解析に威力を発揮する離散系シミュレーションなど、代表的な手法についてその特徴を概観する。次いで、乱数を用いるモンテカルロ法の基礎的方法に触れた後、離散系シミュレーションの原理とモデル構築の方法について学ぶ。

(3) DSSとES（12月～1月：3週）

人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）の概要について学ぶ。

科専門教育

履修上の留意点

「情報処理基礎」と「経営数学」を履修済みまたは同時に履修していることを前提として授業を行う。また、「統計原論」か「経営統計論」のいずれかを履修済みまたは同時に履修することが望ましい。

成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験に基づき評価する。その他、出席状況も評価に反映させる。

教科書

教科書は指定せず、授業の各テーマに沿って適宜プリントを配布する。

参考書等

本講義のテーマに関わりの深い参考書として、高原康彦・高津信三編、高井徹雄他著『経営情報システム』（日刊工業新聞社）3,200円を推奨しておく。

その他

この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
シ ス テ ム 論	う たに あき ひで 宇 谷 明 秀	経営A2・3・4選 14以降入学生/経営B2・3・4選	4

講義のねらい

この科目では、複雑で大規模なシステムを理解し、構築し、運用するための方法論を学ぶ。なるべく具体的な事例をとりあげ、システム思考、システム論への理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 〔前期〕 | 〔後期〕 |
| 1. システム論（その歴史） | 1. システムの評価 |
| 2. システム論（分類と展望） | 2. システムの故障と信頼性 |
| 3. モデル化の方法論（分類と特徴） | 3. 危機管理と対策 |
| 4. 数理モデリング | 4. 不確実な事象とシステム設計 |
| 5. コンピュータシヨナルモデリング | 5. システム導入における経済性の評価 |

履修上の留意点

特定分野の事前の知識は要求しないが、基本的な数学の学力が必要である。

成績評価の方法

講義への出席状況及びレポートの内容により評価する。

教 科 書

授業の中で指示する。

参 考 書 等

授業の中で必要に応じて紹介する。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
統計原論	やまの 山内 慎二	経営A2・3・4選	4
		14以降入学生/経営B2・3・4選	

講義のねらい 大雑把に言えば、統計学は「確率と分布」の性質を用いたデータ処理を通して、「母集団」及び「標本」という2つの親子関係の言葉を繋げて、知識や技術を議論する学問である。
本講義では、最初に簡潔に確率論の基礎を紹介し、次にデータ処理によって母集団と標本の関係を捉え、最後に統計的推測として推定と検定等を丁寧に説明する。本講義では、実用性を重視し、統計の方法や概念を豊富な例題や数値例によって説明し、数式の使用も必要最小限に止めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール 講義内容は以下の通りです。

序説	生活のなかの統計学、量的データと質的データ	1回
基礎的概念	階乗と総和、順列と組合せ	2回
記述統計	度数分布表、平均と分散、相関係数	3回
確率論の基礎	集合、標本空間、確率、2項分布、正規分布	6回
前期復習と中間試験（7月中旬）		2回
標本分布	カイ2乗分布、t分布、F分布	2回
統計的推定	点推定（不偏推定、モーメント法、最尤法）	4回
仮説検定	片側と両側検定、有意水準、棄却域、適合度検定	4回
回帰と相関	線形回帰モデル、相関係数の標本分布	2回
後期復習と定期試験（翌年1月中旬）		2回

科 専
目 門
教 教
育 育

履修上の留意点 年間数回程度の練習問題を適時に配布します。これを本講義内容の基礎的部分をもとに、独自に解ければ、中間試験と定期試験は大丈夫でしょう。

成績評価の方法 講義への出席状況及び中間試験と定期試験の結果により総合的に判断します。

教科書 佐和隆光著『初等統計解析 改訂版』（新曜社）2001 1,500円（税別）

参考書等 数値表としての参考書：
森口繁一編『新編 日科技連数値表』（日科技連出版社）1996 510円（税別）
P.G.ホエル著、浅井晃・村上正康共訳『初等統計学』（培風館）1996 1,700円

その他 授業の方法－講義（OHPを使用する場合があります。）

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営統計	ながこ くにさき 長 国 強	経営A2・3・4選 14以降入学生/経営B2・3・4選	4

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意思決定をサポートすることである。経営的意思決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微・積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

経営統計について：経営統計の役割、基礎概念

統計特性値：平均、分散、正規分布

市場調査と統計整理：調査の諸段階、標本設計、データ整理

経営時系列：傾向成分の測定、季節指数の計算、時系列予測

経営指数：物価指数、数量指数

統計的意思決定理論：意思決定基準、期待効用理論

履修上の留意点

年間5回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

その他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。
この科目は、再試験を実施しません。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
民法 I (総則・物権法)	おおみや たかし 大宮 隆	経営 A 2・3・4 選	4

講義のねらい

民法という法律は、日常の社会生活(財産関係と家族関係)を規律の対象とし、総則・物権・債権・親族・相続の五編に編別されている。本講の対象は、第一編総則、第二編物権である。なかでも総則は、全編に共通な規定と、どの編にも入れることができない規定を集めて構成されているので、抽象的な法文形式が多い。よって講義においては、具体例を挙げてわかりやすく説明したいと思っている。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 民法の意義
- ② 民法典の編別
- ③ 民法の指導原理とその修正
- ④ 自然人
- ⑤ 法人
- ⑥ 物
- ⑦ 法律行為
- ⑧ 期間
- ⑨ 時効
- ⑩ 物権変動
- ⑪ 占有権
- ⑫ 所有権
- ⑬ 地上権
- ⑭ 永小作権
- ⑮ 地役権
- ⑯ 留置権
- ⑰ 先取特権
- ⑱ 質権
- ⑲ 抵当権

科 専 門 教 育
目 録

履修上の留意点

講義には六法持参のこと。講義終了時に次週の予告をするので、教科書を読んてくること。

成績評価の方法

年度末の定期試験と出席状況を総合して評価する。

教科書

『新民法概説 (1) 総則・物権』(有斐閣双書) 1,900円

参考書等

講義の中で随時紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 法 I (総則・会社法)	あら き まさ たか 荒 木 正 孝	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、会社法（総則、合名会社、合資会社、有限会社、株式会社）の基礎的かつ基本的な事項について解説するが、とくに現代の経済活動において重要な役割を果たしている株式会社の法規制について多くの時間を割くつもりである。

講義の内容・
授業スケジュール

大企業は全て株式会社の形態をとり、その株式会社が現代の経済を担い、商品やサービス、そして労働の場を提供するという社会的機能を通して国民の生活に計り知れない大きな影響を及ぼしている。そこで、この講義では、株式会社の生成、機能、構造、消滅などの私法的側面を中心に規制する株式会社法に重点を置き、そこでの重要問題を探り上げ、判例や学説の対応、実務の取り扱いなどを検討し、会社法の基本原理を理解してもらうつもりである。

履修上の留意点

会社法は商法の重要な部分であり、その中心は、商法第二編会社、有限会社法などの規定である。ところで、商法は、民法を一般法とする特別法であるから、商法を学ぶ際には、その基礎となる民法総則、物権法、債権法などの知識があると一層分かりやすい。もっともここでは、講義の内容を理解するために必要な範囲で民法＝財産法の規定や基本概念にも触れるつもりであるから、財産法の全てを履習していなくても受講には差し支えない。

なお、平成13年、14年及び15年と会社法の改正が続いたので、授業には平成16年度版の六法を持って出席して下さい。

成績評価の方法

年度末のペーパーテストの点数で評価します。

教 科 書

荒木正孝著『新企業法』（成文堂）2003年

参 考 書 等

鴻・落合・江頭編『会社判例百選』第5版（有斐閣）
奥島・中島編『商法演習 I（会社法）第3版』（成文堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労 働 法	ふじもと しげる 藤 本 茂	経営A2・3・4選 14以降入学生/経営B2・3・4選	4

講義のねらい

今日、雇用社会は、雇用調整・リストラや能力主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。現在は、変動期にあるといえましょう。
 労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。
 この変動期において、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。たとえば、労働基準法改正、労働時間、解雇法制や男女雇用平等などです。
 本講義ではこの雇用関係法領域を中心に、基礎的な知識を身につけてもらうことを念頭に置いています。

講義の内容・授業スケジュール

下記事項について、基礎的な知識を学びつつ、現代的課題に言及します。
 詳細は第1回目の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (10) 賃金、賞与、退職金
- (11) 労働時間、時間外・休日労働
- (12) 休憩、休日、休暇
- (13) 労働災害など

履修上の留意点

出席を心がけてください。私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo。そして無断で席を立つこともNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。
 憲法、民法、社会保障法、社会政策は履修してほしい科目です。

成績評価の方法

成績は、学年末試験がメインで、レポートなどとともに、総合的に評価します。
 追・再試験は実施します。

教科書

道しるべとして、浜村彰ほか著『ベーシック労働法』（有斐閣）か浅倉むつ子ほか著『労働法』（有斐閣）のうち1冊を購入して自宅学習に使ってください。受講者は必ず、1冊は用意してください。

参考書等

概説書・参考書をいくつか、第1回目の授業において紹介します。
 六法は最新のもの（法律改正があるので特に注意）。そして、労基法施行規則の載っているものを用意してください。

その他

各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を挙げながら授業を進めます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
税 法	おくむらまさろう 奥村正郎	経営A2・3・4選 14以降入学生/経営B2・3・4選	4

講義のねらい

租税は、我々納税者が、税法の定めるところにしたがって、国や地方公共団体（都道府県及び市町村）に納付すべきものであり、それは公共サービスの資金となり、我々の生活に影響する。しかしながら税法は、多数の法律とそれを施行するための政令、省令で成り立ち、さらに多くの通達があり、しかも法律の解釈や手続きは難解で、改正も毎年ある。このような事情からその重要性は認識していても、将来その専門家になりたいという人以外、積極的に税法の知識を身につけようとする人は少ないように思われる。このようなことから本講義により、我々の身近な法律である税法に、関心をもち、具体的事例、計算を通じてその基本的知識を修得してもらいたい。

また将来、税理士試験を目指すものにとっても有用な知識が提供できるような内容にした。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の内容は以下ようになります。I～V前期、VI～X後期。

- I 財政の役割と租税
- II 税法の基本原則
- III 租税の種類と分類
- IV 税制改革…シャープ税制改革以降、今日までの税制改革
- V 相続税・贈与税…相続時精算課税制度他
- VI 所得税…各種所得の計算等
- VII 法人税…所得金額と税額計算等
- VIII 消費税…消費税額の計算等
- IX その他の国税・地方税
- X その他…徴収手続と納税者の権利他

履修上の留意点

本講義では簿記会計の知識は必須ではないが、上級簿記等の講義も受講することを勧める。

成績評価の方法

出席、期末試験により評価する。再試験は実施する。

教 科 書

大淵博義著『知っておきたい国税の常識』〔第6版〕（税務経理協会）

参 考 書 等

授業を進める中で適宜紹介する。

そ の 他

計算演習等プリントを随時配布する。電卓を使用することがあるので持参すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	あか し ひろ ゆき 明 石 博 行	経営 A 3 選	4

講義のねらい

本演習では、3年次の共通研究テーマである多国籍企業の研究を中心に、経済社会学の応用分野の学習に取り組みます。また、決算書とマクロ経済データの分析における EXCEL を利用法について学習しつつ、英語の読解力のさらなる向上を図ります。そのうえで、卒業論文の作成にむけた各自の研究領域をしばってゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

演習は前期と後期にわけて行います。前期には、EXCEL および PowerPoint の操作能力を育成しつつ、2年次とは異なる方法による課題図書ノート、および決算書の分析・マクロ経済データ分析のための基礎資料を作成します。後期には、課題図書ノートと基礎資料を利用した学習に取り組み、多国籍企業にかんする学習と研究を深めます。夏には2年生との合同合宿を行います。3年次にはなお、時事問題の報告と討論が演習における一つの課題となります。

履修上の留意点

班ごとの補習を行いながら、班による学習・研究と演習参加者全員による学習・研究とを組み合わせるゆきます。補習では、Financial Times の最新記事を読み続けるとともに、インターネットを利用した情報の収集能力のさらなる向上を図ります。補習を含めた演習全体への参加が求められます。

成績評価の方法

成績は、通常の演習および補習への参加状況を基本としつつ、課題修得の到達度の判断を加え、評価をします。

教科書

多国籍企業にかんする課題図書とともに、EXCEL の学習のために『超図解 EXCEL2002 (基礎編)』(エクスメディア)を使用します。また、3、4年次の学習用テキストとして、『NIKKEI NET・景気ウオッチの活用法』と『決算書分析の基本』を配布し、使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	あ べ かず ひと 阿 部 一 人	経営 A 3 選	4

講義のねらい

演習 I に引きつづきテキストにそって財務会計の基礎を体系的に学習する。後期は、企業会計の領域の中から各自がテーマを選び、それにもとづいて研究発表を行う。また、学年末に卒業論文としてまとめたテーマを選定し、研究計画書(テーマ、理由、枚数など)を提出してもらう。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、報告発表、レポート等により総合的に判定する。

教科書

広瀬義州著『財務会計』(白桃書房) 3,500円

参考書等

授業中において適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	い だ て お 飯 田 哲 夫	経営A 3選	4

講義のねらい

この演習では、問題解決のための「モデル」による分析および意思決定をテーマとしています。分析とは、物事や現象の本質を捉え理解するプロセスのことであり、解決したい問題の構造を明らかにし対策を見つけ出す（意思決定を行う）ことを目的としています。その中で最も強力な分析が、モデルによる分析です。モデル分析は、古くは物理学のニュートン力学が代表的な成功例ですが、近年ではビジネスの様々な問題解決に利用されています。モデルは、しばしば数学的な形式で表されることがありますが、数学的なモデルを用いることで、企業が蓄積している大量のデータ・情報を利用した定量的な分析が可能となり、それは、データに裏付けられた合理的な意思決定へと通じていきます。

その際、コンピュータの利用は必須となります。

この演習では、モデルとコンピュータを利用した分析技術を学習していきます。

講義の内容・
授業スケジュール

モデルによる意思決定・分析の習得のために、関連文献の輪読を行います。また、コンピュータの利用に関する応用的知識も習得します。

履修上の留意点

このゼミでは、学生の主体的・積極的な参加を前提としています。「経営数学」を受講した程度の数学的知識を持っていることが望ましい。その数学的知識を応用してみたいと思っ
ている意欲のある学生の参加を希望します。

成績評価の方法

平常点（出席とゼミへの積極性）、課題のレポートと発表により総合的に評価します。

教 科 書

最初の授業のときに紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	い し な さ か く に あ き 石名坂 邦 昭	経営A 3選	4

講義のねらい

企業の安定経営をはかる上でリスク・マネジメントは欠かすことのできない理論となっている。今日の複雑多岐にわたるビジネス・リスクにどのように対処すべきかは企業経営者の一番の関心事と言える。本演習においては、ビジネス・リスクへの対処を理論的・技術的に考察していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

リスク・マネジメントを学ぶ上で、必要不可欠となる保険について、各課題ごとに毎週レポートを提出してもらい、数名の受講生に報告してもらい、そのことにつき討論を行う。また、リスク・マネジメントの基本的なことにつき講義も行う。

履修上の留意点

毎週、定められたテーマについて全員が参加してディスカッションを行うため無断欠席はしないでもらいたい。

成績評価の方法

出席およびレポートによる総合評価を行う。

教 科 書

講義に必要な資料等はコピーして配布する。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	小沢利久	経営A3選	4

講義のねらい

人は様々な場面で次を取るべき行動の選択（意思決定）を迫られています。例えば、投資家は日々変動する株価と付加的な情報を基に資金の投資配分を決めています。電話会社は携帯電話機数の伸びや通話時間の伸びを考慮しながら次の設備投資判断をしています。本演習では、このような問題に対処するための学問的基礎として、経営科学の各種手法とコンピュータシミュレーションについて学んでいきます。経営科学とは、経営活動などにおいて生じる様々な意思決定を科学的に支援するための方法論を考える学問であり、モデルを用いて対象を定量的に分析する点に特徴があります。

講義の内容・授業スケジュール

株価や需要の変動など、不確定要素を含む問題を確率的なモデルとして表して解析していくための手法について学ぶとともに、VBAによるプログラミングなどより高度なExcelの使い方について学んでいきます。具体的な内容としては、多変量解析などによるデータ分析またはコンピュータシミュレーションを扱う予定です。また、プレゼンテーション能力を高めるためのビジネス企画発表会などを行います。

履修上の留意点

演習については、演習Ⅲ（4年生）を継続して受講することを前提としています。よって、演習Ⅲの内容についても該当する講義内容で確認しておいて下さい。演習の内容をより良く理解するために、情報処理基礎・応用、経営科学概論、経営科学など、経営科学系の科目を事前または並行して履修することを勧めます。

成績評価の方法

出席状況、受講態度や理解度を勘案して評価します。

科専門教育

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	各務洋子	経営A3選	4

講義のねらい

大学は、学問追究の場です。しかし、単に高度な学術知識を与えるだけの場ではありません。3年間の演習を通して、大学時代に身につけるべき個人の貴重な資産（能力）を知的交流を通して培うことを目指します。具体的には、(1)高度な学術性と同時に、創造的な理解力を身につけ、多様な価値観から常に自由な立場であり続けるための批判的知性を育てること。(2)多くの知識を幅広く学ぶということではなく、幅広い知識を深く学ぶための確固たる主体性を育てること。(3)生涯、知的に成長を続けるために備えておくべき力を、習慣化すること。これらを実現するために、様々なプログラムを用意しています。常に、ワクワクドキドキする知的緊張感を研ぎ澄ませ、楽しみながら現実と理論の融合を試みます。

現代企業に焦点をあて、企業の所属する業界構造、利害者集団との関わり、競争状態などの外部環境分析、ヒト・モノ・カネ・情報などの内部環境分析を通して、企業の採るべき行動、戦略、組織構造、経営管理形態などを考察する。企業をウチ側とソト側から、経営学の視点に立ち、複眼的、立体的に観察・分析・研究する。

講義の内容・授業スケジュール

理論研究では、演習で学んだ経営学の基本を中心に、企業理論を深める。テキストを精読、レジュメを作成し、報告する。更に、学習した内容を、自分の言葉で表現し直し、議論を通して深く理解することを実現するために、毎週、理論の重要なポイントをテーマとしてとりあげ、30分ディベートを実施。この独自のプログラムは、毎年夏合宿で、徹底的に身体で身に付け、演習Ⅱ&演習Ⅲでツールとして利用している。また個人研究を開始する。経営学や企業に関連した個人の興味・関心を探究することから始める。演習終了時には、取り上げたテーマについての専門家になることを目指す。

成績評価の方法

個人研究の定期的な提出。個人研究のプレゼンテーション。平常点（ゼミでの発表力、議論への貢献度等）。

教科書

ゼミ内で適宜指示する。

その他

合宿は、年1～2回。後期の研究に関連した会社訪問、工場見学など。コンパは、課題の山終了毎に随時開催。

ゼミ情報は、ホームページに掲載：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kagami>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	かしまひであき 鹿嶋秀晃	経営A3選	4

講義のねらい

研究テーマは現代日本の人事労務管理。大学生活の中で、ゼミは最も勉強に打ち込み、一番思い出になるところだと考えます。よって、学力に関係なく、積極的に勉強し、行事を企画し、みんなで楽しくゼミを過ごしたいという学生を採用します。ゼミがより広い知識や考え方を得、友人関係を築く場となることを願います。

講義の内容・
授業スケジュール

現代の日本企業とそこに働くサラリーマンが抱える問題に関して、入門書と専門書を読んでいます。企業と労働、社会について幅広い関心を持ち、科学的に考える力を養います。サブテーマは「終身雇用」「年功賃金と能力主義」「年俸制」「人事考課」「日本的経営」「女性労働」「日本の労使関係」「会社人間」「過労死」ほか。2ヵ月に1冊のペースで本を読みます。受講者全員はあらかじめテキストを熟読しておくこと。その中から報告者（レジュメを作成）、コメントーターを決め、その2人を中心に議論をしていきます。報告者とコメントーターは順番。毎回の「新聞発表」では担当者が最近の新聞から企業経営や労務に関するものを切り抜き、自分のコメントを加えてプレゼンテーション。

専
門
教
育
目

履修上の留意点

出席重視。無断欠席は2度目で単位認定なし。欠席は3度を超えると単位認定しません。ただし、特別な事情には個別に対応します。レジュメはワープロで作成すること。ゼミ以外の工場見学、コンパ、合宿等もゼミの1環なので必ず出席するように。

成績評価の方法

出席点、講義中の発表・発言、レポートを総合して判定。

教 科 書

適宜指定する。ちなみにこれまで使用したテキストは、高橋俊介『成果主義は怖くない』、玄田有史『仕事のなかの曖昧な不安』、熊沢誠『女性労働と企業社会』、日本経済新聞社編『できれば幸せに働きたい』など。

参 考 書 等

演習時に適宜紹介。

そ の 他

履修希望者は、可能な限り講義「経営労務論」を履修のこと。その他のゼミ活動には、卒業論文集の発行、個人ホームページの作成、ゼミ書評、全国コンテスト参加などがあります。ゼミHPも合わせて参照のこと。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/index.html>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	かたぎり のぶお 片 桐 伸 夫	経営A 3選	4

講義のねらい

このゼミは3・4年次（演習Ⅱ・Ⅲ）で「就職希望会社の経営分析」を行うことを目的とします。

経営分析とは、文字通り「企業の経営を分析すること」であり、きわめて範囲の広いものです。具体的には、皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
 - 2 「儲け」はどうかだろうか（収益性分析）、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうかだろうか（成長性分析）、
- といった内容です。

履修上の留意点

このゼミでは、経営分析の中でも、とくに財務諸表（貸借対照表や損益計算書など）の分析を中心とします。したがって、1年次の簿記学に興味を感じた人向きのゼミです。

成績評価の方法

成績評価の方法は平常点です。

3年次（演習Ⅱ）では、各自が決めたテーマに取り組み、そのレポートを検討する形式で授業を進めます。

そ の 他

プレゼミや合宿も行います。

ゼミ入室の決定方法は面接（志望理由書（500字程度）事前提出）とテスト（演習Ⅰは1年次学習中の簿記、演習Ⅱは日商簿記検定2級程度）によります。

なお、いうまでもなく無断欠席と遅刻は厳禁です。以上の方針に見合う、学習意欲十分な学生諸君の参加を希望します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	かねむら い てつ 兼 村 栄 哲	経営A 3選	4

講義のねらい

受講生の1人1人が、マーケティングにかかわる諸現象を体感し、自分なりに論理的に説明できるようになることを主な目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

以上の3つを主な内容とする。

- (1) マーケティング論に関する専門的なテキストを全員で輪読し、基礎的な概念や理論を学んでもらう。これは、各受講生が、事前に割り当てられた担当箇所について作成したレジュメを発表し、その後討論するという形式をとる。
- (2) 年に数回、4～5人のグループで、マーケティング（論）にかかわるいくつかのテーマについて調べてきてもらい、その内容を発表してもらう。
- (3) 年に数回、工場見学を予定している。工場見学後、レポートを提出してもらう。

履修上の留意点

以下の3点をとくに要望する。

- (1) 積極的に参加すること（通常の演習のみならず、合宿その他の課外活動にも積極的に参加すること。また、単に出席するのではなく、自発的に自分なりの疑問や意見を示すこと。）
- (2) お互いの親睦を深めること
- (3) 授業開始後、諸般の事情で履修を取りやめる場合にも、必ず事前にその旨を申し出ること

成績評価の方法

授業態度、発表内容、レポート内容等を総合的に評価する。

教 科 書

開講時に指定する。

参 考 書 等

適宜、紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	鈴木 幸 毅	経営A 3選	4

講義のねらい

我々の生きる現代は、企業社会といわれ、また組織社会とも言われている。この社会において企業は、経済的権力を握り社会的及び政治的権力を行使しているが、国際化の真価を問われ、著しく進んだ情報化・技術革新によって革命的影響を受け、そして成熟化社会における価値観の多様化によって社会との関係枠組みの変革を求められている。こうした状況は、経営管理（論）の理論的及び実践的研究に対して影響を及ぼす。

以上の認識のもとに、今年度は、「企業責任と環境問題」について検討する。
 〈テーマ〉 「企業責任と環境問題」

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 企業概念と理論について学習し、それを基礎に「企業責任」を考える。
- (2) 企業の環境問題とは何かについて現実的に捉え、それを理論的に整理し、「企業責任」と「社会的貢献」を明らかにする。

成績評価の方法

個人又は共同論文作成を中心に成績を評価する。

参考書等

鈴木幸毅著『環境問題と企業責任（増補版）』中央経済社（平成6年）
 同 『環境経営学の確立に向けて』税務経理協会（平成11年）

専
門
教
育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	猿山 義 広	経営A 3選	4

講義のねらい

中級レベルの管理会計に関する知識を一通り習得したうえで、ブランドをはじめとする無形資産、広告予算、および投資家向け広報活動(IR)に関係する基本的な考え方を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 経営者と管理会計
- (2) 業績評価のための管理会計
- (3) キャッシュ・フロー経営
- (4) 事業部制と分権的組織の会計
- (5) 損益分岐点分析と直接原価計算
- (6) 経営戦略と中・長期経営計画
- (7) 利益管理と予算管理
- (8) 標準原価計算とコスト・コントロール
- (9) インテグレートド・コストマネジメント
- (10) 原価企画と戦略的コストマネジメント
- (11) ABCによる間接費管理
- (12) 経営意思決定と会計
- (13) 戦略的・戦術的価格決定
- (14) 戦略的意思決定と投資決定
- (15) 物流費、販売促進費の管理
- (16) 情報技術とソフトの管理
- (17) 研究開発費の管理
- (18) 海外事業の管理

履修上の留意点

上手な報告ではなく誠実な報告を心がけて下さい。

成績評価の方法

平常点（出席および報告の出来）によって評価します。

教科書

櫻井通晴著『管理会計〔第二版〕』（同文館）を予定しています。

参考書等

必要に応じてプリントを配布します。

その他

とにかく休まないこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	高井 徹雄	経営A3選	4

講義のねらい

IT（情報技術）が社会のキーワードとされる今日、我々は、真の意味で情報が価値を持ち、情報が価値を生み出す、高度情報社会に生きています。皆さんが、企業や官庁の有能なスタッフとして「情報エリート」を目指すならば、少なくとも、

- 1) 発見力：与えられるのではなく、自ら問題を発見する能力。
- 2) 洞察力：必要な情報を選び、情報に基づき分析し、問題の本質を解明する能力。
- 3) 解決力：他社と協力しあって、具体的な問題解決策を提案し、実行化する能力。
- 4) 表現力：自らの提案を解り易く表現し、情報発信する能力。

が要求されるはずです。

3年次ゼミでは、毎週の演習を通じて、また、ゼミ合宿においてはグループのリーダー役として、養ってきた能力を実践的に発揮していただく場を用意します。

講義の内容・授業スケジュール

経営における意思決定の問題に、科学的・系統的にアプローチすること。これを念頭において、各週の題材を選んで行きます。どの題材についても、概念→理論→技法→道具、の4つのフェーズを通過します。

およそのスケジュールは以下のとおり。受講生とコミュニケーションをとりながら、理解度や興味の方角を見極めながら進めて行きます。

- 4-10月：輪読…メンバーの要望もお聞きして適切な文献を1冊選び、全員で輪読会
- 6月：ソフトシステム方法論…演習Ⅰと合同ゼミ合宿、SSMで社会的問題を扱う
- 11-12月：ゼミ論テーマの作成

履修上の留意点

ゼミ合宿など課外活動を含め、主体的にゼミに参加されることを願っています。

成績評価の方法

出席状況など平常点の他、前期・後期各1回与える課題により評価します。

教科書

ゼミ在籍者とも相談の上、輪読用の教科書を開講後に指定します。

参考書等

授業中に適宜紹介します。

科 専 門 教 育 目 録

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	高木 克己	経営A3選	4

講義のねらい

3年次では、前期において卒業論文作成に向けてのテーマ決定するために、法人税関連のテキストを読みます。なお、「税務会計論」も必ず並行して、受講してください。

3年次後期から4年次終了時までの予定としては、各自選定したテーマを数回に分けて報告することになります。例えば、制度の意義、概要、沿革、ケース・スタディ、問題点の整理、その解決策あるいは方向性、などです。

3年次終了時には、各自選定したテーマで進級論文（10枚以上、400字）の作成を行います。特に3年次では、各自のテーマの沿革、制度導入の背景等、現行の制度の内容、諸外国の制度との比較等に重点を置いて、作成することになります。

なお、合宿等の行事は、2年次と同じく例年通りです。

成績評価の方法

出席及び報告により評価します。

参考書等

最初の授業で紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	たか だ みつ あき 高 田 光 明	経営 A 3 選	4

講義のねらい

この演習では、企業が行う財務活動に関して、資本調達面から重点的に研究する。今日、企業の財務という場合、企業による資本の調達と運用を指す。企業は、その活動を営むに際し、機械、建物、原材料などの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならない。そのために元手となる資本を企業は必要とする。資本の調達とは、この元手としての資本を集めることをいう。そして、調達した資本で、企業は、上で述べた原材料などの生産要素を取得して、製品を生産し販売するという活動を遂行する。これが資本の運用である。当演習の目的は、資本の運用面にも配慮しつつ、このテーマでの研究を通して、企業の財務活動がどのような原理・原則にもとづいて行われるべきか考察することにある。

大学でみなさんが教育を受ける目的は、自己学習能力を身に付けられるような学び方を通して、論理的思考能力を培うことにある。そこで大学では、授業をきっかけにして、関心のある分野を自発的に学習し、自ら考えながら学ぶという姿勢が肝心である。そうすれば、卒業後に、仕事上の必要に応じて、また自らの関心・興味にしたがい、自分で主体的に学んでいける自己学習能力を身に付けられるようになる。そして、そのような能力を身に付けられるようにと学ぶ過程で、物事を自分なりに筋道立てて考える力が育ってくるはずである。演習では、通常の授業よりも深く掘り下げた学び方をしてもらおう。そのため、主体的・自発的に学ぶことが何よりも求められる。したがって、この大学教育目的を達成するための経験を積める場所として最適なのが、演習の授業であるといえる。

履修上の留意点

企業が実施する財務活動に伴う資本の増減・変化は、企業の会計システムによって記録・測定される。したがって、企業の財務活動に関する情報を理解し、企業の財務を研究するために、企業会計に関する初歩的知識は必要である。

成績評価の方法

適宜提出を求めるレポートにより評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	たき た こう いち 滝 田 公 一	経営 A 3 選	4

講義のねらい

本年度は、文献[1]のほかに、代表的なデータ処理ソフトである SPSS (the Statistical Package for the Social Sciences) を利用して演習を行う予定です。もう一つの代表的な処理ソフトである SAS がどちらかと言えば、理科系のためのデータ処理ソフトであるのに対して、SPSS は、文字通り社会科学のために開発されたデータ処理ソフトであります。この演習では、米国の National Opinion Research Center によってなされた、アメリカの成人2090人を対象とした世論調査 General Social Surver を分析することによって、アメリカ人の宗教観、政治に対する姿勢、墮胎に対する考え方、などを調べます。

また、RATS、TSP といった計量経済学用のソフトを用いて、capital asset pricing model や、生産費用の測定、製品の品質の変化の測定、賃金差別の問題などについても学習する予定です。

成績評価の方法

成績評価は、学年末に、課題に基づくレポート（通常、computer assignment）を提出してもらい、それによって行います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	<small>ながこ</small> 長 国強	経営A3選	4

講義のねらい

現代は情報化社会といわれ、新聞・雑誌・インターネットを開いてもそこに大量の経済・経営データが見られる。ところで、経済・経営などのデータをそのまま見れば、単なる数字の山にすぎず、大切なことはそこから正しい見通しを得ることであろう。実際のデータから経済・経営など社会的な動きをどのように読みとるのかといった能力を養成できるようにすることを目的として、本演習はコンピュータを使ってのデータ解析の基本技術を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅱ（3年生）：HTML言語とEXCEL…コンピュータ上の情報発信とデータ解析
WORDとEXCELの入門を既に果たされ、これからコンピュータのことを、情報通信やデータ解析などの実践を通じてもっと知りたいという学生のための演習です。インターネットの斬新さは、誰もが簡単にホームページなどで情報を発信できることにあると思う。演習Ⅱの前期は、ホームページのレイアウトや仕掛けを記述するHTMLと呼ばれる言語を中心に展開する。後期は、近い将来学生諸君に直面されるはずの市場調査・予測、品質・生産管理などの課題をコンピュータ上、データ解析手法を使い、企業現場の具体例を交えて細かく分析する。

成績評価の方法

平常点：出席・レポートの成績などで総合的に評価する。

その他

継続性ということから、演習Ⅱの新規募集はいたしません。
演習Ⅱは毎回の実習アイテんに連続性があり、1回欠席すると、次回の実習についていけなくなることも考えられる。したがって、理由なく年間5回以上欠席した場合、自動的に除名されることにする。また、現代社会に通用するための常識的な素質と思うが、協調的かつ永遠に新しいものに取り込みたい、という意欲を持つ学生諸君の参加を特に望む。

科 専
門 教
目 育

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	<small>なか がわ じゅん ぺい</small> 中 川 淳 平	経営A3選	4

講義のねらい

この演習では、経営学説について考察する（したがって、演習での研究テーマとしては、経営学説のなかから1つないし複数の学説から選択することとなる）。併せて、文献・資料の調査の仕方、報告のあり方、文章のまとめ方について習得する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、参加者が知識を共有できる様、経営学史の基本文献を輪読する。したがって、毎回担当者を決め、報告をする。報告後、参加者で討論を行なう。後期は前期で学んだ諸学説の中から、適宜テーマを選択し、その研究内容を報告してもらい、討論を行なう。そして、一年間の学習の成果として、論文を提出してもらう。

履修上の留意点

予習・復習、あるいは論文作成のために多くの時間を割く必要があるので、積極的に勉学する、意欲ある学生の参加を望みます。

成績評価の方法

発表や討論の内容、論文、学習態度によって総合的に評価する。

教科書

宮田矢八郎『経営学100年の思想—マネジメントの本質を読む』（ダイヤモンド社、3,200円）

参考書等

参加者が選択したテーマに応じ、適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	<small>なが むら こう いち</small> 中 村 公 一	経営 A 3 選	4

講義のねらい

本ゼミでは現代企業の置かれている環境とそれに対する経営戦略を紐解いていき、実践的な場面でも応用できる知識と考え方を身に付けるために、文献購読・資料調査・ケーススタディ・ビジネスプランニングなど多彩な課題に取り組みます。

ゼミは、単位を採るだけのものではなく、個人の「知的トレーニングの場」であり、他のゼミ生達と切磋琢磨する場であると考えて下さい。私の役割は、ゼミ生がゼミでの勉強をきっかけにして豊かな学生時代を築こうとする時のお手伝いをするだけに過ぎません。運営の主体は君達にあります。

- (1) 文献購読やケーススタディなどを通して、企業の置かれている環境とそれに対する戦略を的確に理解する専門知識の習得、分析力、洞察力の強化を図ります。
- (2) レポート作成を通してのアウトプット能力、論述能力、論理構成力の強化を図ります。
- (3) 毎週の報告や議論などを通じてプレゼンテーション能力やディスカッション能力の強化を図ります。
- (4) 実際にビジネスプランの策定を通して、事業戦略を構築する企画力と構想力の強化を図ります。

講義の内容・授業スケジュール

演習 II (3 年生)

前期；ビジネススクールで使う比較的容易な経営戦略論に関する文献購読（日本語版）
後期；ケーススタディ中心（各ゼミ生が興味のあるものを選択）、ケース分析レポート
合宿；ビジネスプランニング大会

履修上の留意点

ゼミの理念は「知的トレーニング」にあるので、毎週レポートを宿題として課し、相当の勉強時間の確保が必要になります。また、ゼミでは議論が中心になるために、事前の準備も必要となります。入ゼミに当たっては、ホームページにも詳しい内容が掲載されていますので参考にして下さい。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~nakamura/>

成績評価の方法

遅刻の常連、無断欠席、各種課題や提出物の期限の遅れ、ひどい内容のレポートを提出した場合は、厳しくチェックします。成績は平常点によって判断します。なお、4 年次にはゼミ論文があります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	<small>なが た とも のり</small> 永 田 智 則	経営 A 3 選	4

講義のねらい

当ゼミナールは国際経済学にかかわる事象を研究対象としている。

近年の国際的相互依存関係の緊密化は、どの国の経済にとっても、国際経済とのかかわりがいかに重要であるかを認識させてきた。ある国で生じた経済問題は、その影響が全世界に波及し、世界経済の流れを変え、各国経済に変革を迫る。この流れに対応できない経済は取り残され、困難に直面する。

当ゼミナールでは、世界の各地で生じている諸現象の中から、経済発展と貿易の関係に焦点を絞り、この問題の研究を通して、国際経済の仕組みやメカニズムについて理解を深めることを目標としている。

講義の内容・授業スケジュール

「演習 II」では視野を広げ、貿易が経済発展に果たしている役割を検討し、東アジア地域の経済発展と日本経済との関係を中心に研究する。

履修上の留意点

無断欠席、遅刻は厳禁。授業中は積極的に発言をすること。

成績評価の方法

授業中の発言や提出レポート等を含め、ゼミ活動にどの程度積極的に参加したかを最大の評価ポイントにする。

教 科 書

教科書及び参考文献等については必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	にしむらかずお 西村和夫	経営A3選	4

講義のねらい

【テーマ：コンピュータ科学】 文書（英語論文など）の読みかた、書きかた、発表のしかた、コンピュータの利用のしかたを体得し、論理的な思考力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

入ゼミ手続き（1年次）

面接と文章完成法テストによって選考する。説明会に出席しないと、面接が受けられない。“情報処理基礎”をすでに履修している人を優先する。

演習Ⅱ

- ・論文の読み方と発表のしかた(2) スタンフォード大学でも使っている“Concrete Mathematics” [1]の第1章を輪講する(レジюмеと書画カメラを使う)。⇒“再帰的な考え方”を理解する。
- ・“再帰的なプログラム”の作成。ゼミ論文のテーマの決定。
- ・仕様書の書きかた
- ・ゼミ論文中間報告書の提出。

その他

- ◆就職活動についてのアドバイス。面接の実習。ビジネス文書の書きかた[2]。
- ◆情報処理技術者試験の受験のための学習。
- ◆合宿(年1度)・イベント(年1～2度)。

履修上の留意点

テーマは“コンピュータ科学”であって、コンピュータの操作方法ではない。コンピュータの知識がある人ではなく、やる気と実行力のある人を求む。入ゼミ者は、2年次までに“情報処理基礎”を必ず履修すること。

成績評価の方法

出席のほかに
演習2：輪講のレジюмеと発表、小テスト、ゼミ論文中間報告書

参考書等

- [1] R. Graham, D. Knuth and O. Patashnik, *Concrete Mathematics*, Addison - Wesley, 1989.
[2] 吉田幸生、仕事の文章が面白いほど書ける本、中経出版、1992。

その他

西村ゼミのページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/du/nis/>

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	はとりしげる 羽鳥茂	経営A3選	4

講義のねらい

現在の日本経済のさまざまな姿を基本データによって確認し、新しい動きを理解することが本演習の主要な課題である。
また、2002年3月にスタートした経済学検定試験(ERE)に諸君がチャレンジすることを薦めたいので、出題科目の学習についても指導する予定である。

履修上の留意点

積極的にゼミに参加することを学生諸君に要望する。

成績評価の方法

出席状況とゼミでの積極性ならびに年度末に提出する課題レポートによって成績を評価する。

教科書

古川顕『テキストブック・現代の金融(第2版)』(東洋経済新報社)2002年 2,500円

参考書等

経済セミナー編集部編『経済学検定試験-ポイント解説と演習-』、日本評論社、2002年 1,680円

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	はね だ しょう こ 羽 田 尚 子	経営A3選	4

講義のねらい

経済理論を実際の産業に適用し、ある産業の構造、企業および消費者の行動、そしてそれらのもたらす市場成果を分析・評価する「産業組織論」を学びます。前期は産業組織論の基本となる考え方について、後期は企業戦略の観点から、企業行動に関するいくつかの理論（技術開発に関する企業行動をやや詳しく）を読み、実際のデータを使った実証的な分析を紹介します。企業行動を経済学的に考え分析するための基礎的な力を身につけることが本演習の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

- 【前期】(1) イントロダクション：産業組織論について
 (2-3) 産業組織論の基礎 (SCPパラダイム、集中度など)
 (4-6) 市場構造 (7-10) 参入障壁 (11-13) 企業行動：広告
- 【後期】(14-19) 企業行動：技術開発 (20-22) 企業間関係、経営組織
 (23-25) 計量分析のすすめ方について (26) まとめ

履修上の留意点

研究開発活動や技術マネジメントなどの企業行動、技術政策やベンチャーキャピタルなどイノベーションに関するさまざまな研究を行います。自分でデータを集め、ソフトウェアを用いて計量的に分析するのが最終目標です。多少の数学を使います。ミクロ経済学の基礎があると望ましいので、近代経済学、計量経済学を選択（予定）されることを希望します。

成績評価の方法

担当箇所の予習と報告、議論への参加状況および最終レポートで総合的に評価します。レポートには、産業（企業）を各自選び、その特徴や企業行動について新聞・雑誌記事およびデータをもとに、産業の組織と行動の観点から分析・評価したものを提出してもらいます。

教科書

プリントを随時配布しますが、産業組織論のテキストを使う予定です。初日に紹介します。

その他

テキストの輪読をします。毎回担当者はレジユメ等準備し、報告してください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 II	ひのけんた 日 野 健 太	経営A3選	4

講義のねらい

好むと好まざると、ひとは学校、職場、地域をはじめとする組織と無関係に過ごすことはできない。いかに組織とつき合うかは、現代人の究極のテーマといってよい。そこでこのゼミでは組織が直面するさまざまな問題を取り上げ、多角的に分析する。組織論の問題を中心に引き上げ、組織論のものの見方を身につけることを目的とするが、経営学全般についての理解が深まるように、配慮する。

演習IIでは、自分の関心のあるテーマを明確にし、組織論の見地から論じられるようになることを目的とする。文献の輪読によって、分析のための概念を得るとともに、関心の所在について報告してもらう。

講義の内容・授業スケジュール

文献輪読とディスカッションによって経営組織論の内容を学ぶとともに、工場、職場の見学、実務家によるレクチャーを行い、現実の組織のイメージを持てるように進める。また、後期を中心に、それぞれの関心の所在について報告してもらう。

必要に応じて、夏、秋の合宿を行う。

学年末には、1万字のゼミ論文を提出してもらう。

履修上の留意点

ディスカッションに参加するためには、レポーター以外の学生も予習は必須であるし、自分の考えをまとめるために、小レポート（原稿用紙2枚以下）を頻繁に課す。

成績評価の方法

出席とゼミへの積極性、レポート内容による。

教科書

開講時に指示する。参考までに、昨年度の演習IIで読破したのは、以下の3冊である。
ディール・ケネディー『シンボリックマネジャー』
藤本隆宏『能力構築競争』
梅津光弘『ビジネスの倫理学』

参考書等

開講時に指示する。

その他

わたくし自身も、学部学生時代のゼミの友人とはいまだにつきあいが深い。そういった友人を得る機会となるように望む。

無断欠席、遅刻は認めない。教室でのディスカッションのみならず、コンパ等の親睦活動にも積極的に参加する学生が望ましい。

科 専 門 教 育
目 録

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 II	藤原篤志	経営A3選	4

講義のねらい

本演習ではテーマを「企業における生産・技術・労働」としている。ゼミ生各人がこのテーマ・領域に関連して自分の興味・関心のあるテーマを選び、それについて研究を行い、4年のゼミ終了の時点までにゼミ論文を作成・完成させることを最大の目的としている。また授業の中で、ゼミ生には自分の論文の経過・成果についてプレゼンテーション（発表・報告）をしてもらい、それに対する質疑応答や議論・討論を他のゼミ生と活発に行うことにしている。以上のゼミ論文作成、プレゼンテーション、質疑応答、議論・討論を通じて、当該領域の知識を吸収することはもちろん、ゼミ生各人が物事に対して疑問や意見をもち、それらを論理的に思考し、自分の意見を的確に表現することを目指している。なお参考のために本演習のテーマに関連するキーワードを「一部」挙げるとすると以下の通りである。生産管理、作業管理、品質、生産性、製造業、生産の機械化、オートメーション、環境問題、大量生産、多品種少量生産、生産システム、フォードシステム、トヨタ生産システム、一人屋台生産方式、チーム生産方式、日本的生産システム、メーカーとサプライヤーの関係、下請システム、生産のリードタイム、生産の海外移転、ME技術、小集団活動、労働の単純化、労働強化、労働の豊富化、労働の人間化、自動車産業、家電産業、生産のアウトソーシング、モジュール生産方式、技能変化、熟練労働、教育訓練、製造業の労使関係など。

専門教育目

講義の内容・授業スケジュール

3年次・4年次では、先述のように各人がゼミ論文のテーマを設定し、論文作成のための研究を進めていく。2年をかけて最終的にゼミ論文を完成させ提出するべく自律的に研究・執筆に取り組むことになる。また授業自体はゼミ生各人によるプレゼンテーション（発表・報告）、質疑応答、議論・討論を中心に行われる。その中で、報告・発表、思考、発言・表現等の能力を養っていく。このような研究報告や議論・討論を活発に効果的に進めるために、ゼミ内に全員が積極的に発言できるような雰囲気を作りたい。それゆえ授業以外のイベント（工場見学、合宿、コンパなど）には全員が参加することが原則である。その他、一層の学習および親睦を深めるためのサブゼミの開講も予定している。

履修上の留意点

以上のような内容なので、中途半端な気持ちで志願する学生には遠慮してもらいたい。2年という時間の中で、一定水準以上の論文を完成させるのは、継続的な努力と意欲が必要になるからである。また毎回少なくとも1回は発言することが求められるので、消極的な姿勢でゼミに参加する者にとっては苦痛でしかないであろう。勉強にしろその他のイベントにしろ、自分から常に積極的に参加・参画する姿勢が求められる。本ゼミでは何よりもやる気のある学生を歓迎する。

成績評価の方法

特に出席を重視。規定の欠席回数に達したものは即除籍にする。その他、ゼミでの報告内容や参加態度も成績評価に入る。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	まえ だ かず とし 前 田 和 利	経営 A 3 選	4

講義のねらい

明治期から現在に至るまでの間、それぞれの段階でどのような産業企業がどのような企業家達によって作りだされたのか、そして成功した企業がなぜ存続・成長(ないしは停滞・挫折)したのか。本演習では「企業(経営)は人なり」という視点から検討していく。

 講義の内容・
授業スケジュール

演習Ⅱ前期では日本経営史のうえでイノベティブな行動をとった代表的企業経営者の足跡を検証する。後期においては、ケースを用いて企業間比較の研究を行ない、リビング・カンパニー(長寿企業)の性格的特徴を見出していく。なお、並行して個人・グループによる研究のプレゼンテーションを行なう。

履修上の留意点

演習を優先できる人の参加を希望する。

成績評価の方法

平常点(出席と授業態度)とレポート提出(2回)による。

教 科 書

演習Ⅱ前期——佐々木聡編『日本の企業家群像Ⅱ』(丸善)2,100円。
その他については後日紹介する。

参 考 書 等

適宜紹介する。

そ の 他

担当者による要旨報告と問題提起、質疑応答という形式で進めるが、事前の要旨・資料の配布が求められる。
なお、ビデオを使用することがある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	みや ぎ てつ 宮 城 徹	経営 A 3 選	4

講義のねらい

演習Ⅱ(3年)

3年次ゼミ生は、2年次ゼミの研究成果を基礎にして英語圏とドイツ語圏(邦訳書)と日本の代表的な「新しい制度学派」の文献を素材として、2年次ゼミの場合と同様のやり方で、企業について一層突っ込んだ研究を行う。

こうして、ゼミ生は、2年次から3年次のゼミへというステップを踏んだ学習・研究を通じて、「組織理論」(特に意思決定理論とコンティンジェンシー理論=状況的アプローチ)と「新しい制度学派」の双方の組織(=企業)についての理解の共通性や相違点などを少しでも見分けることができるようになれば、それに越したことはない。それはともあれ、3年次ゼミ生は各自、同ゼミの最後の段までに、「ゼミ論文」のテーマを設定し、私に提出しなければならない。

- ※ ゼミは、毎回1人あるいは複数のリポーターが与えられた範囲をレジュメに基づいて報告し、その他のゼミ生もそれを中心にして活発にディベートするように進める。
- ※ ゼミの中心的素材はゼミの開始時に指示する。
- ※ 齊藤 孝著『学術論文の技法』(日本エディタースクール出版部)平成9年、を入手のこと。

成績評価の方法

平常点評価。その際、(a)出席を重視する。(b)自分の思うところを述べ、他人の意見に注意深く耳を傾ける能力があるかどうかを重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	山田 勝 <small>やま だ まさる</small>	経営A3選	4

講義のねらい

特に商業経営を中心にすえ、経営者（商人）の役割と資質を勉強する。商人を勉強の対象としながら、自分との比較を行い、自ら事業を起こす可能性とそのために必要な学習をしてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

経営の基礎として、年度始めに各ゼミごとに指定する教科書・副読本を読みレポートする。日本経済新聞は（毎朝夕）は必読とする。
毎週英語の経済雑誌から Cover Story などのコピーを配布するので読んできてもらい、内容についてディスカッションする。英語を学ぶのではなく、英語で（国際的センスで）現下の経営環境と問題を理解してもらう。ポータレス時代に入り、グローバルな経営を理解し、そこで活躍するには国際語としての英語は必須であることを肝に銘じ、英語力の乏しい学生にはアルバイトではなく、英語力の強化に課外時間を充ててもらう。

成績評価の方法

平素の発表を評価していく。

その他

- (Ⅰ) 商業活動には簿記・会計、商法、手形・小切手法の知識、パソコンの使用が必要である。授業時間外に学習してもらう。
- (Ⅱ) 授業時間はディスカッションに充てるので、十分な予習、欠席をしないこと、積極的な発表を求める。
- (Ⅲ) 時間外に出来るだけ補講として企業見学などを実施する。履修希望者にはそれらも授業の一部として理解してもらう。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	渡邊 恵一郎 <small>わた なべ えいちろう</small>	経営A3選	4

講義のねらい

会計の主な役割は、特定の経済主体（家計、企業、官公庁その他）の経済状況を計数（貨幣）的に表現すること、財産を管理保全することそれにこれを利用する人々に伝達することにある。私の演習では、特に現代の経済社会の重要な経済主体である企業の資金会計を中心に、実務に役立つ基礎知識が得られるよう指導する。

講義の内容・授業スケジュール

簿記の基礎を涵養し、次に資金会計の体系的なおよび有価証券報告書の見方などを修得させる。
3年次……資金会計の基礎理論およびキャッシュ・フロー会計と経営との関係について学修する。これには、3～4人を1チームとして編成し、レジュメを作成して発表し、質疑応答してもらう。
（この間、日本学生経済ゼミナール大会へ出場のための論文を学生が自主的に作成する。）

履修上の留意点

2年次から4年次まで一貫して段階的に学修するので、出席率を重視し、3年間継続して履修すること。なお、授業時間外では、前述のゼミナール大会（11月関東、12月全国）に出場のため、夏合宿などを行う。

成績評価の方法

成績評価は、平常点、協調性および出席率を総合して判定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
民法Ⅱ（債権法）	うえい たいひさ 上井長久	経営A3・4選	4

講義のねらい

本講義は、他人に対して、或る物を交付させること、または、或ることを為すことを要求する権利、すなわち債権についての実体的権利関係を総合的に考察するが、それを通して、債権をめぐる問題に対して精通するとともに、柔軟に解決できるように導くことを目標とする。そのように人が人に対して或る事柄を要求することを正当と認め、その請求の実現が当事者間ではかかることが出来ない場合に、当事者の一方の訴えに基づき他方の責任を追求するために裁判所が力を貸す関係が債権関係である。そのような人と人の関係は、封建的な身分関係から生じるのではなく、周知のように近現代では多くは契約関係から生じる。その他に、契約関係がなくとも相互扶助、公平、損害補填等の要請に基づく事務管理、不当利得、不法行為などからも債権関係が生じる。

債権法は、その全てについて言えることではないが、合意優先ないし契約自由の原則の及ぶ領域においては、その規定が任意法規性のゆえに日常の経済生活では往々にして、合意により債権法規と異なる生活規範が設定され、また、それが許される法の範疇である。この範疇においては、日常生活の一定の基準たる債権法規の解釈と、その法規を排除した、より有益な準則を設定した生活関係の両方を理解することが必要である。

講義の内容・授業スケジュール

この講義は、債権総論と債権各論を講義の対象とする。まず債権法全体の仕組み、内容をひとつと説明したうえで、債権一般の通則たる債権総論、次いで債権発生の原因にあたる契約、事務管理、不当利得、不法行為などの債権各論について逐条的かつ重点的に解明する。講義の内容および進行は、具体的には、以下の予定である。

- ① 債権の意義・性質・社会的機能、債権法の法源、債権法の特質・体系（前期）（第1回）
- ② 債権の目的・内容（第2回）
- ③ 債権の効力——債務と責任、履行強制（第3回）
- ④ 債務不履行責任（第4、5回）
- ⑤ 債権の対外的効力——債権者代位権（第6回）
- ⑥ 詐害行為取消権（債権者取消権）（第7回）
- ⑦ 多数当事者の債権関係——債権の共有・合有・総有、分割・不可分債権（第8回）
- ⑧ 連帯債務、保証債務（第9、10回）
- ⑨ 債権の譲渡、債務の引受（第11回）
- ⑩ 債権の消滅（第12、13回）
- ⑪ 契約総則——債権発生原因、契約自由の原則、契約の種類（後期）（第14回）
- ⑫ 契約の成立（第15回）
- ⑬ 契約の効力——同時履行の抗弁権（第16回）
- ⑭ 危険負担、（第17回）
- ⑮ 第三者のためにする契約（第18回）
- ⑯ 契約の解除（第19回）
- ⑰ 贈与、売買、交換（第20回）
- ⑱ 消費貸借、使用貸借、賃貸借（第21回）
- ⑲ 雇傭、請負、委任等の契約（第22回）
- ⑳ 事務管理、不当利得（第23回）
- ㉑ 不法行為（第24、25回）

履修上の留意点

債権法は、民法学の一分野であるから、必然的に民法の他の分野にも関連する。とくに債権を担保するための担保物権や民法全体の基本原則である民法総則などを扱う「民法I」も併せて履修することが望ましい。

成績評価の方法

学年末の定期試験で行う。

教科書

遠藤浩・川井健他編『民法（4）～（7）』（有斐閣双書）

参考書等

我妻栄・有泉亨共著水本浩補訂正『民法2債権法』（一粒社）および稲本洋之助・上井他共著『民法講義5契約』（有斐閣大学双書）

科目名	担当者名	配当学科	単位
商法Ⅱ (商行為、手形・小切手法)	しま はら ひろ あき 島 原 宏 明	経営A3・4選	4

講義のねらい

現代の経済社会における企業間の取引では、手形や小切手等の有価証券が数多く使用されている。中でも手形と小切手は典型的な有価証券であって、その流通に関する法規制の多くは商法上の他の有価証券にも及んでいる。したがってその体系の理解は有価証券全般を理解する上で不可欠なものである。また、手形や小切手は金銭債権と結びついた証券であるため、これに関する法体系は債権法の一部として把握され、民法の債権総論と密接な関係にある。

講義の内容・授業スケジュール

手形法は第一編が替手形と第二編が約束手形の二編から成り立っており、為替手形についての規定の多くを約束手形に準用するという構成になっている。ただし、わが国においては為替手形がほとんど用いられていないという現実があり、また為替手形に比べて約束手形の方が仕組みが単純であるため、条文の順序とは一致しないが講義では約束手形を中心に説明を行い、適宜が替手形、および為替手形と基本的な仕組みを同じくする小切手についての説明を付け加えていくという形をとる。

なお、企業活動に関わったことのない学生諸君には手形や小切手の世界は現実感が乏しく興味が起こりにくいいため、なるべく具体的な判例を示して解説をしていくつもりである。

成績評価の方法

期末試験による。

教科書

島原宏明『手形法学への誘い』（八千代出版）2,500円

参考書等

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読（英書）	ふじ わら あつ し 藤 原 篤 志	経営A3・4選	4

講義のねらい

本講義では経営に関する文献の中でも生産や労働の領域に関する英語文献を講読する。その際、速いスピードで英語文献を多読し翻訳をするのではなく、むしろ文献を精読してその内容を理解し、それについて思考・思索することを意図している。すなわち外国文献をじっくりと読み進め、その意味を言外の意味も含めて把握し、若干の考察を加えることを目指したい。それゆえ受講者は文献の翻訳以外に、内容に関連して意見の発言も求められる。

講義の内容・授業スケジュール

講読する文献はこちらから提示するが、受講者の興味・関心との関連で選定する。選定対象文献のキーワードとしては、Production System, Work Organisation, Teamworking, Toyota Production System, Lean Production System, Manufacturing, New Management Techniques, Total Quality Management, Human Resource Management, Industrial Relations, Employee Relations, Japanisationなどが挙げられる。

履修上の留意点

講義への出席を重視する（評価の大半）。また最終講義あたりで簡単な試験を行う。

成績評価の方法

講読文献は受講者との相談のうえ、担当者が選定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 書 講 読 (英書)	やま だ まさる 山 田 勝	経営 A 3・4 選	4

講義のねらい

この授業は単に外国語としての英語を学ぶのではなく、英語で書かれた資料をもとに、英語圏文化から構想される「経営に関わる事柄の考察」を学習することを目的とする。従って、相応の英語力とともに経営に関する専門的な知識を必要としている。

講義の内容・授業スケジュール

毎時間、前の週に与えられた英文資料を読んでくるとともに、そこに書かれている内容に関する経営・経済の知識を予習してきてもらうことが必須となる。その上で内容についての発表とディスカッションを全員で行う。

履修上の留意点

学生には毎時間の出席・発表・予習を課すので相当の勉強時間を予定してほしい。予習し、出席し、発表して始めて加点となるので、「出席していれば単位になる」という考えは捨てること。

成績評価の方法

成績評価は毎時間の成績を加算したものとなる。

教 科 書

教材は毎週、経営の英文雑誌の記事を選択して配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 書 講 読 (英書)	は お だ し ょ う こ 羽 田 尚 子	経営 A 3・4 選	4

講義のねらい

本講義は、経済や経営のトピックを「英語で読む」力を養うことを目的とします。ビジネスの場において目にする機会の多い経済や経営の用語に多少なりとも慣れる機会になると考えています。

講義の内容・授業スケジュール

Economics や Business 系の雑誌 (Harvard Business Reviews, Economist 他) や企業戦略のケーススタディなどの論文、書籍の抜粋記事を教材として用意しますが、皆さんが各自興味ある記事を1週間前に持参し、それをもとに報告してもらうことも考えています。

成績評価の方法

担当箇所の予習と報告、議論への参加状況および最終レポートで総合的に評価します。レポートには各自興味ある記事 (Economics や Business 系の雑誌、論文等ある程度のボリュームがあるもの) を図書館で探し、その内容をまとめたものを提出してください。

そ の 他

輪読形式をとります。報告してもらう記事を割り当てますので、各担当者は(必要であれば)レジュメ等準備し、報告してください。報告内容を参加者で議論しますので、予習は前提です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 書 講 読 (独書)	まつ おか すすむ 松 岡 晋	経営A3・4選 14以降入学生/経営B3・4選	4

講義のねらい

受講者の関心のある経済、経営、現代ドイツ語圏社会に関する原テキストを最新の新聞、雑誌等から抜粋して読み、ドイツ語の読解能力を身に付けると共に、現代ヨーロッパ社会についての知識を得ることを目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

授業はドイツ語文の講読が主な内容です。従ってある程度の予習は必要です。また受講者は少数だと予想されますので、ほぼ毎回ある程度の分量の独文和訳を引き受けていただくこととなります。各回でその都度あるテーマに関するまとまった知識が得られるように授業を組み立てるつもりです。

履修上の留意点

毎回出席して一定程度の分担分を和訳していただきます。是非とも定期的に出席するように！

成績評価の方法

成績評価は平常点（定期的に出席して、口頭練習に積極的に参加しているかどうか等々）によって行います。

教 科 書

受講者と相談のうえで決め、コピーで配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 書 講 読 (仏書)	とお やま ひろ お 遠 山 博 雄	経営A3・4選 14以降入学生/経営B3・4選	4

講義のねらい

比較的平易なフランス語で書かれた時事関係のテキストを読みます。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめは、文法事項などフランス語の基本を確認しながら、ゆっくり読解していきます。慣れたら、少しテンポを速めましょう。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教 科 書

講読するテキストは、授業初回に、受講者の関心・希望を聞き取った上で、決定し、こちらで用意する予定です。

参 考 書 等

そのつど授業で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 書 講 読 (中国書)	すき やま やすし 杉 山 静	経営 A 3・4 選	4
		14以降入学生/経営 B 3・4 選	

講義のねらい

中国語初級または中級位の学力をもつ者を対象に、中国語の閲読能力、及び会話の力のアップを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

中国の歴史、文化及び近況、とくに経済・経営の現状に関する書物・新聞・雑誌等の資料を教材として講読する。

履修上の留意点

授業はセミナーの形を取りますので、履修者は授業前の準備や心構えが必要である。

成績評価の方法

出席率及び授業中の態度を最重要視するが、テストは予定しておりません。その代わり、多少の作業（翻訳・作文等）を宿題としてやってもらう。

教 科 書

最初の授業時間に指定するが、教材はこちらが用意する。

そ の 他

辞書は必ず用意すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 書 講 読 (スペイン書)	うえ の かつ ひろ 上 野 勝 広	経営 A 3・4 選	4
		14以降入学生/経営 B 3・4 選	

講義のねらい

スペイン語の基本的な商業通信文を中心に講読します。

講義の内容・
授業スケジュール

Business Spanish の入門書を中心に、会話文を含め精読します。進度は受講者の理解力に応じて調整してゆきます。

履修上の留意点

Business Spanish に必要な語彙や表現を中心に説明しますので、受講者は文章全体の内容理解に努めてもらいます。

成績評価の方法

数回の課題レポート (50%) と平常点 (50%) を総合して評価します。

教 科 書

プリント使用、授業時に配布します。

参 考 書 等

必要に応じて授業時に紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 書 講 読 (ロシア書)	すき やま ひで こ 杉 山 秀 子	経営 A 3・4 選	4
		14以降入学生/経営 B 3・4 選	

講義のねらい

やさしいロシア語の実用的文章をできるだけ多く読み、その中から日常よくつかわれる表現をとりあげ、日常会話で応用できるように学んでいきたい。ビデオや映画なども積極的に活用し、その中でとりあげられてるオフィシャルなロシア語表現に慣れ、ロシア人とのコミュニケーションを円滑なものにするべく努力してみたい。

成績評価の方法

出席を重視します。出席率プラス年二回の小テストの総合点で判断します。

教 科 書

プリント配布。
ビデオと映画をみるチャンスをつくります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ビジネス英語	まちい 町井 靖	経営A3・4選 14以降入学生/経営B3・4選	4

講義のねらい

「商品の輸出入に関する英文の手紙」を学習する。テキスト『ビジネス英語』に従って、取引先の発見からカタログの送付、オファ、見積り、交渉、注文、船積み、クレームなど、貿易取引の各段階で良く使用される表現を学ぶ。実際の輸出入業務では英文の手紙を書く必要があるため、英作文演習には力を入れたい。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは貿易取引の各段階で良く使用される表現を英文解釈で学び、それらの重要表現を使用して英作文をするようになっている。英作文は授業中に1題やり、数題が宿題となるが英文解釈、[研究]、[注]を良く読返して英作文を考え、それらの表現をしっかりと修得していただきたい。

貿易の専門用語の理解も必要なので、テキストの付録「貿易用語集」により、定型取引条件、為替相場、複合運送、信用状、手形買取り、海上保険などを講義する。

履修上の留意点

全員授業に参加していただくので予習（英文解釈）、復習（英作文）が必要である。英作文は間違いを恐れず挑戦していただきたい。個人的に添削指導する。

成績評価の方法

前期、後期の試験成績と出席による。

教科書

町井靖著『ビジネス英語』（創成社）1,600円（本体価格）

参考書等

教室で指示する。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
特殊講義（前期）	しろた 代田 純	経営A3・4選	2

講義のねらい

野村證券株式会社の提供による本講座は、「資本市場の役割と証券投資」をテーマとし、野村證券および野村総合研究所の現役スタッフによって前期13回で講義される。講義では、証券市場に密接に関連する経済情報の捉え方からスタートし、株式や、債券、投資信託などの基礎を解説した後、資産運用とライフプランニング、資本市場と投資家心理などの実践的課題に接近し、最後にはベンチャービジネスにも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 ガイダンス
- 2 経済情報の捉え方
- 3 経済成長と金融資本市場について
- 4 証券投資のリスク・リターンについて
- 5 株式市場の役割と投資の基礎知識について
- 6 債券市場の役割と投資の基礎知識について
- 7 投資信託の役割とその仕組みについて
- 8 ポートフォリオ・マネジメントについて
- 9 市場のグローバル化と証券投資について
- 10 資産運用とライフプランニング
- 11 資本市場における投資家心理について
- 12 個人投資家と証券ビジネスについて
- 13 ベンチャービジネスとIPOについて

履修上の留意点

遅刻、途中退室は認めない。講師の都合でテーマが変更されることもある。

成績評価の方法

定期試験による。再試験はない。但し、レポート提出者には加点する。

教科書

毎回、講義資料が配布される。指定参考書として、代田純『日本の株式市場と外国人投資家』（東洋経済新報社）2002年を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	あかしひろゆき 明石博行	経営A4選	4

講義のねらい

本演習では、今年度の研究テーマである平成不況の研究を深めるとともに、卒業論文を執筆します。

講義の内容・授業スケジュール

演習は前期と後期にわけて行います。前期には、PowerPointの操作能力、企業分析と景気動向分析のプレゼンテーション用資料を作成します。また、班ごとの取り組みを中心に、卒業論文の執筆準備を進めます。後期には、PowerPointを使って研究成果のプレゼンテーションを行うとともに、卒業論文についての報告と討論をしつつ、卒業論文を完成させます。こうした卒論への取り組みと関連させて、インターネットを通じた情報収集能力と情報の整理能力のさらなる向上を図り、秋にはPowerPointを用いたプレゼンテーションと卒業論文の中間報告・検討のための合宿を行います。

履修上の留意点

4年次には、卒業論文のテーマに即して班を再編します。卒論の作成にさいしては、班ごとあるいは個人ごとに、演習時間外に補足的な相談会を行います。

成績評価の方法

成績は、通常の演習および相談会などへの参加状況を基本としつつ、卒業論文の取り組みにかんする判断を加えて評価をします。

教科書

卒業論文の作成に必要なすべての文献が、教科書・参考書となります。また、4年次の学習用テキストとして、『NIKKEINET・景気ウォッチの活用法』と『決算書分析の基本』に加え、『卒論作成の手引き』を配布し、使用します。

科
専
門
教
育

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	あべかずひと 阿部一人	経営A4選	4

講義のねらい

各自の選択したテーマにそって、卒業論文の作成とその検討を行う。

成績評価の方法

成績評価は、報告発表、レポート、出席状況により総合的に判定する。

教科書

授業中において適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	飯 田 哲 夫 <small>い い だ て つ お</small>	経営 A 4 選	4

講義のねらい

この演習では、問題解決のための「モデル」による分析および意思決定をテーマとしています。分析とは、物事や現象の本質を捉え理解するプロセスのことであり、解決したい問題の構造を明らかにし対策を見つけ出す（意思決定を行う）ことを目的としています。その中で最も強力な分析が、モデルによる分析です。モデル分析は、古くは物理学のニュートン力学が代表的な成功例ですが、近年ではビジネスの様々な問題解決に利用されています。モデルは、しばしば数学的な形式で表されることがありますが、数学的なモデルを用いることで、企業が蓄積している大量のデータ・情報を利用した定量的な分析が可能となり、それは、データに裏付けられた合理的な意思決定へと通じていきます。その際、コンピュータの利用は必要となります。この演習では、モデルとコンピュータを利用した分析技術を学習していきます。

講義の内容・授業スケジュール

各自が、モデルによる意思決定・分析に関するテーマを決め、そのテーマに沿って論文を作成します。

履修上の留意点

自ら問題意識を持ち、積極的にテーマに沿った調査・研究を行うことが求められます。

成績評価の方法

論文の内容とそのプレゼンテーションにより評価します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	石 名 坂 邦 昭 <small>い し な が さ く に あ き</small>	経営 A 4 選	4

講義の内容・授業スケジュール

各自のテーマについて論文を作成し、全体の論文集を作成する。

成績評価の方法

論文をもって評価する。

参 考 書 等

論題に必要な資料を紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	小 沢 利 久 <small>お ざ わ と し ひ さ</small>	経営 A 4 選	4

講義のねらい

人は様々な場面で次取るべき行動の選択（意思決定）を迫られています。例えば、投資家は日々変動する株価と付加的な情報を基に資金の投資配分を決めています。電話会社は携帯電話機数の伸びや通話時間の伸びを考慮しながら次の設備投資判断をしています。本演習では、このような問題に対処するための学問的基礎として、経営科学の各種手法とコンピュータリテラシについて学んでいきます。経営科学とは、経営活動などにおいて生じる様々な意思決定を科学的に支援するための方法論を考える学問であり、モデルを用いて対象を定量的に分析する点に特徴があります。

講義の内容・授業スケジュール

経営科学の分野から各自テーマを決め、それについて調査、モデル化、分析を行い、論文にまとめてもらいます。そのために、前期は興味のある対象を選び、順番にその調査結果を発表してもらいます。後期は、前期の調査結果をもとに論文にまとめるべき問題を設定し、自分なりの答えを論文としてまとめてもらいます。最後に、論文発表会を行います。

履修上の留意点

演習の内容をより良く理解するために、情報処理基礎・応用、経営科学概論、経営科学など、経営科学系の科目を事前に履修することを勧めます。

成績評価の方法

論文の提出を必須とし、その内容に、出席状況、受講態度や理解度を勘案して評価します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 Ⅲ	かがみ ようこ 各 務 洋 子	経営 A 4 選	4

講義のねらい

大学は、学問追究の場です。しかし、単に高度な学術知識を与えるだけの場ではありません。3年間の演習を通して、大学時代に身につけるべき個人の貴重な資産（能力）を知的交流を通して培うことを目指します。具体的には、(1)高度な学術性と同時に、創造的な理解力を身につけ、多様な価値観から常に自由な立場であり続けるための批判的知性を育てること。(2)多くの知識を幅広く学ぶということではなく、幅広い知識を深く学ぶための確固たる主体性を育てること。(3)生涯、知的に成長を続けるために備えておくべき力を、習慣化すること。これらを実現するために、様々なプログラムを用意しています。常に、ワクワクドキドキする知的緊張感を研ぎ澄ませ、楽しみながら現実と理論の融合を試みます。

現代企業に焦点をあて、企業の所属する業界構造、利害者集団との関わり、競争状態などの外部環境分析、ヒト・モノ・カネ・情報などの内部環境分析を通して、企業の採るべき行動、戦略、組織構造、経営管理形態などを考察する。企業をウチ側とソト側から、経営学の視点に立ち、複眼的、立体的に観察・分析・研究する。

講義の内容・授業スケジュール

理論研究では、最新の経営学の領域で出版された専門書を取り上げる（適宜指示する）。発表方法は、演習Ⅱと同様。重要なポイントをテーマとして取り上げる30分ディベートを、毎週実施する。個人研究は、演習で問題提起され、分析を続けている個人個人の研究をまとめあげる。年度末には、演習Ⅰ&Ⅱの履修者も交えて、パワーポイントで作成したプレゼンテーション資料をもとに、発表会を開く。

科 専
門 教
育 目

成績評価の方法

個人研究の定期的な提出。個人研究のプレゼンテーション。平常点（ゼミでの発表力、議論への貢献度等）。

教 科 書

ゼミ内で適宜指示する。

そ の 他

合宿は、年1～2回。後期の研究に関連した会社訪問、工場見学など。コンパは、課題の山終了毎に随時開催。

ゼミ情報は、ホームページに掲載：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kagami>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	か しま ひで あき 鹿 嶋 秀 晃	経営 A 4 選	4

講義のねらい

研究テーマは現代日本の人事労務管理。大学生活の中で、ゼミは最も勉強に打ち込み、一番思い出になるところだと考えます。よって、学力に関係なく、積極的に勉強し、行事を企画し、みんなで楽しくゼミを過ごしたいという学生を採用します。ゼミがより広い知識や考え方を得、友人関係を築く場となることを願います。

講義の内容・授業スケジュール

現代の日本企業とそこに働くサラリーマンが抱える問題に関して、入門書と専門書を読んでいます。企業と労働、社会について幅広い関心を持ち、科学的に考える力を養います。サブテーマは「終身雇用」「年功賃金と能力主義」「年俸制」「人事考課」「日本的経営」「女性労働」「日本的労使関係」「会社人間」「過労死」ほか。2ヵ月に1冊のペースで本を読みます。受講者全員はあらかじめテキストを熟読しておくこと。その中から報告者（レジュメを作成）、コメントーターを決め、その2人を中心に議論をしていきます。報告者とコメントーターは順番。毎回の「新聞発表」では担当者が最近の新聞から企業経営や労務に関するものを切り抜き、自分のコメントを加えてプレゼンテーション。

履修上の留意点

出席重視。無断欠席は2度目で単位認定なし。欠席は3度を越えると単位認定しません。ただし、特別な事情には個別に対応します。レジュメはワープロで作成すること。ゼミ以外の工場見学、コンパ、合宿等もゼミの一環なので必ず出席するように。

成績評価の方法

出席点、講義中の発表・発言、レポートを総合して判定。

教科書

適宜指定する。ちなみにこれまで使用したテキストは、高橋俊介『成果主義は怖くない』、玄田有史『仕事のなかの曖昧な不安』、熊沢誠『女性労働と企業社会』、日本経済新聞社編『できれば幸せに働きたい』など。

参考書等

演習時に適宜紹介。

その他

履修希望者は、可能な限り講義「経営労務論」を履修のこと。その他のゼミ活動には、卒業論文集の発行、個人ホームページの作成、ゼミ書評、全国コンテスト参加などがあります。ゼミHPも合わせて参照のこと。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/index.html>

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	かた 片 番り 桐 のぶ お 夫 伸 夫	経営A4選	4

講義のねらい

このゼミは3・4年次(演習Ⅱ・Ⅲ)で「就職希望会社の経営分析」を行うことを目的とします。

経営分析とは、文字通り「企業の経営を分析すること」であり、きわめて範囲の広いものです。具体的には、皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか(安定性分析)、
 - 2 「儲け」はどうだろうか(収益性分析)、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか(生産性分析)、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか(成長性分析)、
- といった内容です。

履修上の留意点

このゼミでは、経営分析の中でも、とくに財務諸表(貸借対照表や損益計算書など)の分析を中心とします。したがって、1年次の簿記学に興味を感じた人向けのゼミです。

成績評価の方法

成績評価の方法は平常点です。

4年次(演習Ⅲ)では、2年間の成果をゼミ論としてまとめます。

その他

プレゼミや合宿も行います。

ゼミ入室の決定方法は面接[志望理由書(500字程度)事前提出]とテスト(演習Ⅰは1年次学習中の簿記、演習Ⅱは日商簿記検定2級程度)によります。

なお、いうまでもなく無断欠席と遅刻は厳禁です。以上の方針に見合う、学習意欲十分な学生諸君の参加を希望します。

科 専
門 教
育 目 録

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	かね 兼 村 栄 哲	経営A4選	4

講義のねらい

受講生の1人1人が、マーケティングにかかわる諸現象を体感し、自分なりに論理的に説明できるようになることを主な目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

各字の問題意識にしたがって、卒論を作成してもらう。卒論は、ワープロ原稿で、A4版用紙1頁あたり1,200字(40字×30行)で25枚以上とする。

履修上の留意点

以上の3点をとくに要望する。

- (1)積極的に参加すること(通常の演習のみならず、合宿その他の課外活動にも積極的に参加すること。また、単に出席するのではなく、自発的に自分なりの疑問や意見を示すこと。)
- (2)お互いの親睦を深めること
- (3)授業開始後、諸般の事情で履修を取りやめる場合にも、必ず事前にその旨を申し出ること

成績評価の方法

授業態度、卒論の内容等を総合的に評価する。

参考書等

適宜、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	近藤 禎夫 <small>こん どう ぎだ き</small>	経営A4選	4

講義のねらい

「演習」(以下、ゼミという)は、たんに専門領域の知識を教師が教授するのではなく、教師がゼミの場をリードしながらも学生みずから主体的にゼミのテーマに取り組みなければならない。そのためには自己の属するゼミのテーマをよく理解し、文献をもとに得られた知識をゼミの場で報告し、問題点を明確にしつつゼミでの議論を深めていくことになる。

講義の内容・授業スケジュール

4年次はケース・スタディが中心である。テーマは3年次で決定した上記「独占・大企業ならびに産業部門別実証分析」とする。したがって、いうまでもなく4年次は新規補充をしない。

履修上の留意点

ゼミは学生相互間および教師との対話を重視し、研究テーマを体系的に把握するよう指導していきたい。また研究報告のみにとどまらず、その時間の議事運営もすべて学生に体験させるように指導している。もちろんゼミの運営そのものも、学生の主体性を重視して自由に取り組むように心がけている。

成績評価の方法

出席と報告を重視する。また、学年末に研究レポートの提出を要する。

教科書

特に使用しない。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	鈴木 幸毅 <small>すず き こう き</small>	経営A4選	4

講義のねらい

我々の生きる現代は、企業社会といわれ、また組織社会とも言われている。この社会において企業は、経済的権力を握り社会的及び政治的権力を行使しているが、国際化の真価を問われ、著しく進んだ情報化・技術革新によって革命的影響を受け、そして成熟化社会における価値観の多様化によって社会との関係枠組みの変革を求められている。こうした状況は、経営管理(論)の理論的及び実践的研究に対して影響を及ぼす。

以上の認識のもとに、今年度は、「企業責任と環境問題」について検討する。
(テーマ) 「企業責任と環境問題」

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 企業概念と理論について学習し、それを基礎に「企業責任」を考える。
- (2) 企業の環境問題とは何かについて現実的に捉え、それを理論的に整理し、「企業責任」と「社会的貢献」を明らかにする。

成績評価の方法

個人又は共同論文作成を中心に成績を評価する。

参考書等

鈴木幸毅著『環境問題と企業責任(増補版)』中央経済社(平成6年)
同 『環境経営学確立に向けて』税務経理協会(平成11年)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	<small>まる やま よし ひろ</small> 猿 山 義 広	経営A 4選	4

講義のねらい

ブランドをはじめとする無形資産、広告予算、および投資家向け広報活動(IR)に関するテーマを決め、レポート・論文を作成します。

講義の内容・授業スケジュール

前期は論文や各種資料の輪読を中心に進めます。後期は受講生それぞれの関心あるテーマを報告してもらったうえで、レポート・論文作成を指導します。

履修上の留意点

テーマの都合上、英文の論文や資料を読むことが多いので、指示があるときは英和辞典を持参すること。

成績評価の方法

平常点で8割、残り2割はレポート・論文によって評価します。

教 科 書

必要な資料は配布します。

参 考 書 等

その都度、指示します。

そ の 他

できるだけディスカッション形式の演習に近づけていきたいので、積極的に発言して下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	<small>たか い てつ お</small> 高 井 徹 雄	経営A 4選	4

講義のねらい

IT(情報技術)が社会のキーワードとされる今日、我々は、真の意味で情報が価値を持ち、情報が価値を生み出す、高度情報社会に生きています。皆さんが、企業や官庁の有能なスタッフとして「情報エリート」を目指すならば、少なくとも、

- 1) 発見力: 与えられるのではなく、自ら問題を発見する能力。
- 2) 洞察力: 必要な情報を選び、情報に基づき分析し、問題の本質を解明する能力。
- 3) 解決力: 他社と協力しあって、具体的な問題解決策を提案し、実行化する能力。
- 4) 表現力: 自らの提案を解り易く表現し、情報発信する能力。

が要求されるはずで。

4年次ゼミでは、卒業ゼミ論文の作成を通して、これまでの学習の成果を発揮していただきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 4-7月: 卒業ゼミ論文のテーマ選定と個人指導
- 9-12月: 卒業ゼミ論文作成に関する個人指導
- 1月: 卒業ゼミ論文の最終発表と提出

履修上の留意点

卒業ゼミ論文の作成と提出が、4年次演習履修の必須条件です。

成績評価の方法

個人指導の経過と、提出された卒業ゼミ論文及び発表を見て評価します。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	高田光明	経営A4選	4

講義のねらい

3年次からの演習に参加している間に、自分なりに問題意識を持ったうえで、どのようなゼミ論文のテーマを選ぶかという作業は、自発的な姿勢で取り組むことを要求される。したがって、この作業は、演習Ⅱで述べた大学での教育目的の達成を図る上で、きわめて重要な位置を占めている。テーマを絞り込み、論文作成に至るまでの準備過程には、論文の作成自体に劣らず重大な意義がある。

テーマ探しの過程で文献を探して読み、いろいろと考えるという経験を積むことは、大学卒業後に、仕事の必要に応じて、また自らの関心・興味にしたがい、自分で主体的に学べる能力である自己学習能力を身に付けるために有効である。そして、さらには、そのような経験を積むことにより、物事を自分なりに筋道立てて考える論理的思考能力が育ってくるはずである。

講義の内容・授業スケジュール

3年次に引き続いて、企業の資本調達に関する研究を行う。そして、本テーマでの研究を通して各自が持った問題意識のもとで選んだ個別テーマにより、ゼミ論文を作成する。

履修上の留意点

学部レベルでのゼミ論文の出来・不出来は、テーマをいかに絞り込むかにかかっている。扱うテーマが広いとどうしても掘り下げ不足となり、論文が、概説書の抄録のようなものになってしまうがちである。テーマについては、できるだけ絞る必要がある。したがって、自分が関心を持って扱おうとする領域に関して理解を深め、テーマを絞り込める眼を育てることが肝要である。

成績評価の方法

ゼミ論文を中心として、適宜提出を求めるレポートも加味して評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	高木克己	経営A4選	4

講義のねらい

4年次では、5月半ばから7月にかけて、3年次に作成した進級論文を教材にして論文の書き方、文章の構成、専門用語の使い方等、2、3人の少人数で個別指導を行います。そして後期には、各自選択したテーマの問題点の整理、今後の方向性(解決策等)を中心に報告を行い、4年次終了時には、卒業論文(30枚以上、400字)の作成します。

なお、合宿等の行事は、2年次と同じく例年通りです。

成績評価の方法

出席及び報告により評価します。

参考書等

各自選択したテーマにより紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	ひのけんた 日 野 健 太	経 営 A 4 選	4

講義のねらい

好むと好まざると、ひとは学校、職場、地域をはじめとする組織と無関係に過ごすことはできない。いかに組織とつき合うかは、現代人の究極のテーマといってよい。そこでこのゼミでは組織が直面するさまざまな問題を取り上げ、多角的に分析する。組織論の問題を中心に引き上げていくが、経営学全般について理解できるように配慮する。

演習Ⅲでは、演習Ⅱでの学習を発展させ、2万字程度のゼミ論文を完成させる。テーマは演習Ⅱと同じであることが望ましいが、就職活動等を通じて、問題意識が変わることもあり得るので変更も認める。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミも各自の研究テーマの発表を中心に進めるが、文献輪読も行う。必要に応じて、夏、秋の合宿を行う。ゼミ論文を提出してもらう。

履修上の留意点

ディスカッションに参加するためには、レポーター以外の学生も予習は必須であるし、自分の考えをまとめるために、小レポート（原稿用紙2枚以下）を頻繁に課す。

成績評価の方法

出席とゼミへの積極性、レポート内容による。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	たぎ た こう いち 滝 田 公 一	経 営 A 4 選	4

講義のねらい

演習Ⅰ、Ⅱで習得した、資料の分析的読み、批判的読み、データの情報処理技術などを活用して、ゼミ卒業論文を作成していただきます。ゼミ卒業論文の作成を義務づける理由は、次のようであります。すなわち、

(ア)どのようなトピックをゼミ卒業論文のテーマとしたらよいか、すなわち、論題の切り出し方を学ぶ、

(イ)自分の考えを論理的に明確にし、読者に理解しやすいように、幹線のわかる構造を持った論文の書き方を学ぶ、

と言った、知的作業については、その重要性にもかかわらず、これまで、日本の学校教育では、その教育が十分になされてこなかったように思われるからであります。最後に比較的入手が容易であろうと思われる参考文献をあげておきます。

成績評価の方法

成績評価は、提出していただいたゼミ論文によって行います。

参考書等

澤田昭夫『論文の書き方』（講談社学術文庫）昭和52年
 澤田昭夫『論文のレトリック』（講談社学術文庫）昭和58年
 梅棹忠夫『知的生産の技術』（岩波新書）昭和50年
 川喜田二郎『発想法』（中公新書）昭和51年
 中野不二男『メモの技術—パソコンで知的生産—』（新潮選書）平成9年

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	ながこ 長国強 <small>きょう</small>	経営A 4選	4

講義のねらい

現代は情報化社会といわれ、新聞・雑誌・インターネットを開いてもそこに大量の経済・経営データが見られる。ところで、経済・経営などのデータをそのまま見れば、単なる数字の山にすぎず、大切なことはそこから正しい見通しを得ることであろう。実際のデータから経済・経営など社会的な動きをどのように読みとるのかといった能力を養成できるようにすることを目的として、本演習はコンピュータを使つてのデータ解析の基本技術を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅲ（4年生）：総決算…卒業論文作成に挑戦
研究テーマを自主的に選び、演習Ⅰと演習Ⅱの2年間で学んだコンピュータとデータ解析の基本知識や手法を自ら実践し、卒業論文作成に取り込む。卒業論文については、11月の中間報告、1月の卒論発表会を経て、最終的に提出してもらう。

成績評価の方法

平常点：出席・レポートの成績などで総合的に評価する。

その他

継続性ということから、演習Ⅲの新規募集はいたしません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	ながた 永田智則 <small>のり</small>	経営A 4選	4

講義のねらい

世界の各地で生じている諸現象の中から、経済発展と貿易の関係に焦点を絞り、この問題の研究を通して、国際経済の仕組みやメカニズムについて理解を深めることを目標としている。

講義の内容・授業スケジュール

「演習Ⅲ」では研究活動の集大成としてゼミ論と取り組み、経済開発と貿易の関係を整理しながら、国際経済の仕組みやメカニズムについて理解を深める。

履修上の留意点

無断欠席、遅刻は厳禁。授業中は積極的に発言をすること。

成績評価の方法

提出されたゼミ論を評価対象にする。

教科書

教科書及び参考文献等については必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 III	なか がわ じゅん へい 中 川 淳 平	経営 A 4 選	4

講義のねらい

この演習では、経営学説について考察する（したがって、演習での研究テーマとしては、経営学説のなかから1つないし複数の学説から選択することとなる）。併せて、文献・資料の調査の仕方、報告のあり方、文章のまとめ方について習得する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、参加者が知識を共有できる様、経営学史の基本文献を輪読する。したがって、毎回担当を決め、報告をする。報告後、参加者で討論を行なう。後期は前期で学んだ諸学説の中から、適宜テーマを選択し、その研究内容を報告してもらい、討論を行なう。そして、一年間の学習の成果として、論文を提出してもらう。

履修上の留意点

予習・復習、あるいは論文作成のために多くの時間を割く必要があるため、積極的に勉強する、意欲ある学生の参加を望みます。

成績評価の方法

発表や討論の内容、論文、学習態度によって総合的に評価する。

教科書

宮田矢八郎『経営学100年の思想—マネジメントの本質を読む』（ダイヤモンド社）3,200円

参考書等

参加者が選択したテーマに応じ、適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 III	なか むら こう いち 中 村 公 一	経営 A 4 選	4

講義のねらい

本ゼミでは現代企業の置かれている環境とそれに対する経営戦略を紐解いていき、実践的な場面でも応用できる知識と考え方を身に付けるために、文献購読・資料調査・ケーススタディ・ビジネスプランニングなど多彩な課題に取り組みます。

ゼミは、単位を採るだけのものではなく、個人の「知的トレーニングの場」であり、他のゼミ生達と切磋琢磨する場であると考えて下さい。私の役割は、ゼミ生がゼミでの勉強をきっかけにして豊かな学生時代を築こうとする時のお手伝いをするだけに過ぎません。運営の主体は君達にあります。

- (1) 文献購読やケーススタディなどを通して、企業の置かれている環境とそれに対する戦略を的確に理解する専門知識の習得、分析力、洞察力の強化を図ります。
- (2) レポート作成を通してのアウトプット能力、論述能力、論理構成力の強化を図ります。
- (3) 毎週の報告や議論などを通じてプレゼンテーション能力やディスカッション能力の強化を図ります。
- (4) 実際にビジネスプランの策定を通して、事業戦略を構築する企画力と構想力の強化を図ります。

講義の内容・授業スケジュール

演習 III（4年生）

前期；戦略的思考・問題解決法（ロジカルシンキング・クリティカルシンキング）の実践
後期；ゼミ論文の作成
合宿；ビジネスプランニング大会

履修上の留意点

ゼミの理念は「知的トレーニング」にあるので、毎週レポートを宿題として課し、相当の勉強時間の確保が必要になります。また、ゼミでは議論が中心になるために、事前の準備も必要となります。入ゼミに当たっては、ホームページにも詳しい内容が掲載されていますので参考にして下さい。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~nakamura/>

成績評価の方法

遅刻の常連、無断欠席、各種課題や提出物の期限の遅れ、ひどい内容のレポートを提出した場合は、厳しくチェックします。成績は平常点によって判断します。なお、4年次にはゼミ論文があります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	にしむらかずお夫 西村和夫	経営A4選	4

講義のねらい

【テーマ：コンピュータ科学】 文書（英論文など）の読みかた、書きかた、発表のしかた、コンピュータの利用のしかたを体得し、論理的な思考力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

▲演習Ⅲ

論文の書きかたを習得する。

- ・資料の調査
- ・中間発表とレポート提出
- ・論文の作成と発表
- ・論文提出
- ・発表会

その他

- ◆就職活動についてのアドバイス。面接の実習。ビジネス文書の書きかた[2]。
- ◆情報処理技術者試験の受験のための学習。
- ◆合宿（年1度）・イベント（年1～2度）。

履修上の留意点

テーマは“コンピュータ科学”であって、コンピュータの操作方法ではない。コンピュータの知識がある人ではなく、やる気と実行力のある人を求む。入ゼミ者は、2年次までに“情報処理基礎”を必ず履修すること。

成績評価の方法

出席のほかに
演習3：ゼミ論文

参 考 書 等

- [1] R. Graham, D. Knuth and O. Patashnik, *Concrete Mathematics*, Addison - Wesley, 1989.
[2] 吉田幸生、仕事の文章が面白いほど書ける本、中経出版、1992.

そ の 他

西村ゼミのページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/du/nis/>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	はとりしげる 羽鳥茂	経営A4選	4

講義のねらい

現在の日本経済のさまざまな姿を基本データによって確認し、新しい動きを理解することが本演習の主要な課題である。

また、2002年3月にスタートした経済学検定試験（ERE）に諸君がチャレンジすることを薦めたいので、出題科目の学習についても指導する予定である。

履修上の留意点

積極的にゼミに参加することを学生諸君に要望する。

成績評価の方法

出席状況とゼミでの積極性ならびに年度末に提出する課題レポートによって成績を評価する。

教 科 書

田中隆之『現代日本経済』（日本評論社）2002年 2,800円

参 考 書 等

経済セミナー編集部編『経済学検定試験－ポイント解説と演習－』（日本評論社）2002年 1,680円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	ふじ 原 かつ し 藤 原 篤 志	経営 A 4 選	4

講義のねらい

本演習ではテーマを「企業における生産・技術・労働」としている。ゼミ生各人がこのテーマ・領域に関連して自分の興味・関心のあるテーマを選び、それについて研究を行い、4年のゼミ終了の時点までにゼミ論文を作成・完成させることを最大の目的としている。また授業の中で、ゼミ生には自分の論文の経過・成果についてプレゼンテーション（発表・報告）をしてもらい、それに対する質疑応答や議論・討論を他のゼミ生と活発に行うことにしている。以上のゼミ論文作成、プレゼンテーション、質疑応答、議論・討論を通じて、当該領域の知識を吸収することはもちろん、ゼミ生各人が物事に対して疑問や意見をもち、それらを論理的に思考し、自分の意見を的確に表現することを目指している。なお参考のために本演習のテーマに関連するキーワードを「一部」挙げるとすると以下の通りである。生産管理、作業管理、品質、生産性、製造業、生産の機械化、オートメーション、環境問題、大量生産、多品種少量生産、生産システム、フォードシステム、トヨタ生産システム、一人屋台生産方式、チーム生産方式、日本の生産システム、メーカーとサプライヤーの関係、下請システム、生産のリードタイム、生産の海外移転、ME技術、小集団活動、労働の単純化、労働強化、労働の豊富化、労働の人間化、自動車産業、家電産業、生産のアウトソーシング、モジュール生産方式、技能変化、熟練労働、教育訓練、製造業の労使関係など。

講義の内容・授業スケジュール

4年次でも3年次に引き続き、先述のように各人が論文作成のための研究を進めていく。ただ場合によっては必ずしも論文という形にはこだわらず、一つのテーマ（指定もしくは任意のテーマ）についてのレポート作成を目標にすることもある。授業自体はゼミ生各人によるプレゼンテーション（発表・報告）、質疑応答、議論・討論を中心に行われる。その中で、報告・発表、思考、発言・表現等の能力を養っていく。このような研究報告や議論・討論を活発に効果的に進めるために、ゼミ内に全員が積極的に発言できるような雰囲気を作りたい。それゆえ授業以外のイベント（工場見学、合宿、コンパなど）には全員が参加することが原則である。その他、一層の学習および親睦を深めるためのサブゼミの開講も予定している。

履修上の留意点

中途半端な気持ちで志願する学生には遠慮してもらいたい。本ゼミでは何よりもやる気のある学生を歓迎する。

成績評価の方法

特に出席を重視。規定の欠席回数に達したものは即除籍にする。その他、ゼミでの報告内容や参加態度も成績評価に入る。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	まえ だ かず とし 前 田 和 利	経営 A 4 選	4

講義のねらい

演習Ⅱのテーマを継続して検討する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①企業間競争の視点から事例研究をとりあげる。
- ②個人ないしグループによる研究成果の報告を行ない、論文（ワープロ、12000字以上）を作成する。

成績評価の方法

論文評価による。

参 考 書 等

論文の進行速度に応じて適宜指示する。

そ の 他

報告者は事前に要旨・資料を配付すること。

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	みやぎ 徹	経営A 4選	4

講義のねらい

演習Ⅲ（4年）

4年次ゼミ生は、400字詰原稿用紙30～50枚程度のゼミ論文の作成にとりかかる。そのさい、テーマに密接に関連のある邦訳書・邦語の文献を適宜指示するが、英語圏あるいはドイツ語圏の論文をゼミ論文の素材にしたいというゼミ生に対しては、然るべき論文を1本割り当てるので、それを翻訳してゼミ論文に加味してもよい。また、論文を仕上げるまでの日程等についてもアドバイスする。

※ ゼミは、毎回1人あるいは複数のリポーターが与えられた範囲をレジュメに基づいて報告し、その他のゼミ生もそれを中心にして活発にディベートするようを進める。

※ ゼミの中心的素材はゼミの開始時に指示する。

※ 斉藤 孝著『学術論文の技法』（日本エディタースクール出版部）平成9年、を入手のこと。

成績評価の方法

平常点評価。その際、(a) 出席を重視する。(b) 自分の思うところを述べ、他人の意見に注意深く耳を傾ける能力があるかどうかを重視する。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	やまだ まさる 勝	経営A 4選	4

講義のねらい

特に商業経営を中心にすえ、経営者（商人）の役割と資質を勉強する。商人を勉強の対象としながら、自分との比較を行い、自ら事業を起こす可能性とそのために必要な学習をしてもらう。

講義の内容・
授業スケジュール

経営の基礎として、年度始めに各ゼミごとに指定する教科書・副読本を読みレポートする。日本経済新聞は（毎朝夕）は必読とする。

毎週英語の経済雑誌から Cover Story などのコピーを配布するので読んできてもらい、内容についてディスカッションする。英語を学ぶのではなく、英語で（国際的センスで）現下の経営環境と問題を理解してもらう。ボーダレス時代に入り、グローバルな経営を理解し、そこで活躍するには国際語としての英語は必須であることを肝に銘じ、英語力の乏しい学生にはアルバイトではなく、英語力の強化に課外時間を充ててもらう。

成績評価の方法

平素の発表を評価していく。

そ の 他

- (Ⅰ) 商業活動には簿記・会計、商法、手形・小切手法の知識、パソコンの使用が必要である。授業時間外に学習してもらう。
- (Ⅱ) 授業時間はディスカッションに充てるので、十分な予習、欠席をしないこと、積極的な発表を求める。
- (Ⅲ) 時間外に出来るだけ補講として企業見学などを実施する。履修希望者にはそれらも授業の一部として理解してもらう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	わた なべ えいちろう 渡 邊 恵一郎	経営A4選	4

講義のねらい

会計の主な役割は、特定の経済主体（家計、企業、官公庁その他）の経済状況を計数（貨幣）的に表現すること、財産を管理保全することそれにこれを利用する人々に伝達することにある。私の演習では、特に現代の経済社会の重要な経済主体である企業の資金会計を中心に、実務に役立つ基礎知識が得られるよう指導する。

講義の内容・授業スケジュール

簿記の基礎を涵養し、次に資金会計の体系的な研究および有価証券報告書の見方などを修得させる。
4年次……3年次に引き続き、経営分析を含めた資金会計論を学修する。その後、わが国の主要企業が作成し市販されている有価証券報告書の一般的見方を解説する。この報告書には、企業に関する数多くの情報が多角的に開示（ディスクローズ）されている。最後に演習の総仕上げとして、卒業論文の作成指導を行う。毎年、自主的に卒業論文集「恵流」（本年第31巻）を刊行している。

履修上の留意点

2年次から4年次まで一貫して段階的に学修するので、出席率を重視し、3年間継続して履修すること。なお、授業時間外では、前述のゼミナール大会（11月関東、12月全国）に出場のため、夏合宿などを行う。

成績評価の方法

成績評価は、平常点、協調性および出席率を総合して判定する。

科専門教育
目

專科
專門
教育
目

Ⅲ 他学部履修科目

他学部
履修科目

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、
フレックスBの頁を参照してください。(→P.587)

履修科目
他学部

Ⅲ. 他学部履修科目

禅学概論	〈石井修道〉	377
中国禅宗史	〈石井修道〉	377
日本禅宗史	〈佐藤秀孝〉	378
禅籍講読Ⅰ	〈石井修道〉	378
禅籍講読Ⅲ	〈岩永正晴〉	379
仏教概論	〈池田練太郎〉	379
インド仏教文化史	〈金沢篤篤〉	380
中国仏教文化史	〈永井政之〉	380
日本仏教文化史	〈袴谷憲昭〉	381
中国古典語初級	〈吉村誠〉	381
中国哲学史	〈前川亨〉	382
上代文学研究Ⅰ	〈中嶋真也〉	382
中古文学研究Ⅰ	〈松岡智之〉	383
中世文学研究Ⅰ	〈櫻井陽子〉	383
近世文学研究Ⅰ	〈近衛典子〉	384
近代文学研究Ⅰ	〈榎本正樹〉	384
比較文学	〈満谷マーガレット〉	385
西洋思想史	〈柴野博子〉	385
演劇概論	〈阿部由香子〉	386
日本民俗学	〈谷口貢〉	387
イギリス文学特講Ⅰ	〈石原孝哉〉	387
イギリス文学特講Ⅱ	〈高野正夫〉	388
イギリス文学特講Ⅲ	〈岡崎寿一郎〉	388
イギリス文学特講Ⅳ	〈荒井良雄〉	389
イギリス文学特講Ⅴ	〈富士川義之〉	389
イギリス文学特講Ⅵ	〈丸小哲雄〉	390
アメリカ文学特講Ⅰ	〈東雄一郎〉	390
アメリカ文学特講Ⅲ	〈足田和人〉	391
演劇特講(イギリス・アメリカ)	〈落合和昭〉	391
時事英語	〈サンダース, L. P.〉	392
人口地理学	〈江崎雄治〉	392
文化地理学	〈小田匡保〉	393
応用地理学	〈高木正博〉	393
現代地理学特論	〈休講〉	
日本仏教史	〈松本信道〉	394
日本史特講Ⅶ(近代)	〈熊本史雄〉	394
哲学史	〈山口祐弘〉	395
東洋史特講Ⅲ(近世史)	〈趙軍〉	395
考古学特講Ⅲ(日本石器時代)	〈設楽博己〉	396
西洋文化史	〈石田恵子〉	396
産業・職業社会学	〈山田信行〉	397
マス・コミュニケーション論	〈休講〉	
社会福祉発達史	〈林千代〉	398
国民所得論	〈吉野紀〉	399
農業政策	〈溝手芳計〉	400
教育経済論	〈谷敷正光〉	401

履修科目
他学部

中国	経済論	〈小杉修二〉	402
アメリカ	経済論	〈瀬戸岡紘〉	403
EU	統合論	〈休講〉	
現代西欧	経済論	〈休講〉	
ロシア・東欧	経済論	〈山縣弘志〉	404
貿易	論	〈古沢紘造〉	405
行政法	各論	〈金子昇平〉	406
比較	憲法	〈西修〉	406
相	統法	〈竹中智香〉	407
西洋	法制史	〈北野かほる〉	408
英	米法	〈北野かほる〉	409
経	済法	〈若林亜里砂〉	410
国際	政治学	〈小堀訓男〉	410
ヨーロッパ	政治史	〈浦田早苗〉	411
地方	自治法	〈富井幸雄〉	411
比較	政治学	〈木暮健太郎〉	412
ヨーロッパ	政治論(1)	〈若松邦弘〉	412
ヨーロッパ	政治論(2)	〈若松邦弘〉	413
現代	国家論	〈大塚桂〉	413
比較	憲法	〈休講〉	
医療	宗教学	〈休講〉	
医療	経済学	〈休講〉	
国	語学	〈片山晴賢〉	414
国	語史	〈服部龍太郎〉	414
女	性史	〈高嶋めぐみ〉	415
文化	概論	〈蘭部幹生・井上優・佐藤憲昭・内藤寿子・藤田和美〉	415
国文学	特殊研究	〈小林治・鈴木裕子・蘭部幹生・松田直行〉	416
古典	戯曲演劇	〈岡田万里子〉	416
メディア	アと表現	〈松田直行〉	417
時事	英語	〈岡本誠〉	417
臨床	放射線特論	〈休講〉	

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学概論	いし い しゅう どう 石 井 修 道	経営A	4
		14以降入学生/経営B	

講義のねらい

この禅学概論の講義は禅とは何かを概観するものである。その場合、禅とは「学」の対象として成立しうるか。成立しうるとすれば、いかなる性格なのかを常に問題意識として持ち続けたい。禅学に取り組む勉強の仕方も折りに触れたい。具体的には、まず、「禅」の語の意味、インドの禅と中国で成立した禅宗について述べ、中国語のもつ性格と禅思想の関係を問題にしたい。つづいて、禅の研究の工具書の紹介や禅籍概論を踏まえて、圭峰宗密の『禅源諸詮集都序』の禅の分類の分析、禅と「心・身」、禅と「人」、禅と言葉、禅と教育、禅と生活に及び、禅と文化について幅広く言及したい。禅と禅宗の歴史は、講義の中で織り交ぜながら進めるが、講義内容としては、この講義では省略し、その専門の履修科目があるのでそれに譲る。

講義の内容・授業スケジュール

プリントの原典資料をできるだけ配布しながら講義を進めたい。

履修上の留意点

教科書の『中国禅宗史話』を読み、予備知識を付けておく。禅学概論の講義は、当然のこととして、禅宗の歴史を含むものであるが、この講義は教科書を読んで既に中国禅宗史の基礎知識を身につけたものと見なして講義を進める。

成績評価の方法

夏期休暇後に教科書の感想文のレポート(400字詰め5枚程度)の提出による20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

石井修道『中国禅宗史話』(禅文化研究所) 3,605円

参考書等

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』(更生社) 2,369円
 『全訳 漢辞海』(三省堂) 2,840円
 『禅学大辞典』(大修館書店)
 入矢義高等『禅語辞典』(思文閣書店)

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国禅宗史	いし い しゅう どう 石 井 修 道	経営A	4
		14以降入学生/経営B	

講義のねらい

この講義は中国禅宗史を概観するものである。禅宗史を学ぶのに必要な資料にまず触れ、勉強の仕方も折りに触れたい。具体的には、唐・五代・宋・元代の最も魅力ある禅者を一人一人禅宗史上で位置づける中で学んで行きたい。年間、数限られた人数しか触れられないであろうが、しかし、できるだけ数多くの禅者に触れてみたい。特に唐・五代を中心に①菩提達磨②二祖慧可③五祖弘忍④六祖慧能⑤青原行思⑥南嶽懷讓⑦石頭希遷⑧馬祖道一⑨薬山惟儼⑩百丈懷海⑪雲巖曇晟⑫南泉普願⑬趙州從璵⑭邨山靈祐⑮黄檗希運⑯洞山良价⑰臨濟義玄⑱雪峰義存⑲玄沙師備⑳雲門文偃などを取り上げる。宋・元では、①芙蓉道楷②宏智正覺③圓悟克勤④大慧宗杲⑤中峰明本などを取り上げる。興味ある行状はできるだけ触れるつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

プリントの原典資料をできるだけ配布しながら講義を進めたい。

履修上の留意点

教科書の『中国禅宗史話』を読み、予備知識を付けておく。

成績評価の方法

夏期休暇後に提出された教科書の感想文(400字詰め5枚程度)のレポート20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

石井修道『中国禅宗史話』(禅文化研究所) 3,605円

参考書等

『禅学大辞典』(大修館書店)、入矢義高等『禅語辞典』(思文閣書店)。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本禅宗史	佐藤秀孝	経営A	4
		14以降入学生/経営B	

講義のねらい

本講座は、日本における禅宗の歴史を講義するものである。唐・宋代に隆盛した中国禅宗がどのように日本に伝来し、如何なる展開・発展を遂げて日本禅を形成していったのか、その過程を探ることで、思想史的な意義と日本文化への影響などを論じたい。

講義の内容・授業スケジュール

禅宗の伝来、栄西と能忍、兼修禅の系譜、道元の仏法と初期永平寺僧団、来日僧と純粹僧、日本禅の二十四流、五山の成立と五山文学、中世文化と禅宗、応燈閣の一流、瑩山紹瑾と曹洞宗の地方展開、隠元の来日と黄檗宗、近世臨濟宗と白隠禅、近世の曹洞宗の宗統復古、近代国家と禅宗、といったテーマを順次進めていく。

履修上の留意点

禅の教理や思想の理解および日本史の一般的知識を習得しておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席）と試験による総合評価。

教科書

伊吹敦『禅の歴史』（法蔵館）3,800円

参考書等

田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版社）6,000円
 駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更正社）2,600円
 船岡誠『日本禅宗の成立』（吉川弘文館）2,500円
 その他、日本禅宗に関する諸文献

履修科目
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅籍講読 I	石井修道	経営A	4
		14以降入学生/経営B	

講義のねらい

この講義は中国禅宗典籍を原典テキストで味読するものである。今年度は圭峰宗密が裴休に答えた『裴休拾遺問』を読む。この禅籍は、唐代の北宗・牛頭宗・洪州宗・荷沢宗の宗風の特色を分類したものである。この分類は、唐代の初期の禅の分類を考えるのに貴重なものであり、その後の禅宗の展開を知るには、是非とも読まねばならないものである。幸いに名古屋の真福寺文庫本を私が紹介することができたので、それを講読したい。

講義の内容・授業スケジュール

原典にいきなり真っ正面からぶつかる。テキストはプリント配布。

履修上の留意点

必ず手持ちの漢和辞典を持参すること。無ければ『全訳 漢辞海』（三省堂）等を購入して欲しい。また、『中国禅宗史話』（禅文化研究所）を読み、中国禅宗史の予備知識を付けておく。

成績評価の方法

夏期休暇後に提出された圭峰宗密と裴休の伝記（400字詰め5枚以上）のレポート20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

プリント配布

参考書等

石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）3,605円。『全訳 漢辞海』（三省堂）2,840円。
 入矢義高等『禅語辞典』（思文閣書店）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅籍講読Ⅲ	いわ ^{なが} 岩 ^{しょう} 永 ^{せい} 正 晴	経営A	4
		14以降入学生/経営B	

講義のねらい

この科目は日本禅宗初期の典籍を講読するものである。また禅学科の選択必修科目であるので、これまで広く読まれてきた基本的な典籍を講読しなければならないと考える。よって本年度は道元禅師撰『学道用心集』を取り上げることとする。『学道用心集』は明治18年に定められた曹洞宗大学林専門学本校の授業科目でも宗部正講の初級に定められているほどで、曹洞宗旨を学ぶためには必須の基本的な典籍であり、この科目の目的に添うものと思う。

講義の内容・授業スケジュール

まず解題として『学道用心集』の成立・刊行状況・特徴・位置付けなどを講じた後、本文を読み進める。

履修上の留意点

漢文で書かれた典籍であるので、普段から漢文に慣れる努力をして授業に臨んで貰いたい。また、紹介する参考書等は積極的に読んで頂きたい。

成績評価の方法

学年末の試験の他に、出席点とレポート（数回）によって成績評価を行う。

教科書

コピーし製本したものを配布する。

参考書等

『道元禅師全集』第7巻（春秋社）、角田泰隆『道元入門』（大蔵出版）、大本山永平寺編『学道用心集の参究』（国書刊行会）、篠原寿雄『学道用心集—学習と修行のこころえ—』（大東出版）等。その他は講義で適宜紹介する。

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教概論	いけ ^だ 池 ^{れん} 田 ^{たろう} 練太郎	経営A	4
		14以降入学生/経営B	

講義のねらい

本講義は「概論」という性格上、仏教に関する細かい問題を掘り下げるのではなく、常に「仏教とは何か」という基本的な問題を意識しながら、大きな視点で仏教の輪郭を捉えることを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書として用いる『仏教入門』の次第に準じて、おおむね以下のように講義を進める。a, 仏教とは何か b, ブッダの生涯 c, 仏について d, 法について e, 輪廻と業・煩惱 f, 心について g, 修行について h, 戒律と教団 i, 仏教の歴史

履修上の留意点

講義を一つの材料として、自分自身で「仏教」について考える姿勢を持ってほしい。

成績評価の方法

基本的には年度末におこなう筆記試験によって評価する。

教科書

高崎直道著『仏教入門』（東京大学出版会）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
インド仏教文化史	かな ざわ あつし 金 沢 篤	経営A	4
		14以降入学生/経営B	

講義のねらい	インド生まれの仏教を、広範で多岐多彩なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。
講義の内容・授業スケジュール	神や人間などが織りなす奇想天外なインド的物語世界の解説を皮切りに、仏教の出現と展開と衰頽にまつわる文化的トピックを論究する。
履修上の留意点	仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。
成績評価の方法	年度末試験などで総合的に判断する。
教科書	渡辺照宏著『仏教（第二版）』（岩波新書）740円
参考書等	教場で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国仏教文化史	なが い まさ し 永 井 政 之	経営A	4
		14以降入学生/経営B	

講義のねらい	<p>仏教をさまざまな人間の営みの一環として捉えようとするのが本授業の中心となる。いささか具体的に述べるなら次のようになる。</p> <p>すなわち今から約2500年前、インドに起った仏教は、紀元前後に中国へ伝来する。中国人にとっては異文化であった仏教は、少なからぬ変容を遂げつつ、中国に定着する。言うまでもなく定着した仏教は、中国人の理解した仏教ということとなる。</p> <p>今年は、「仏教の葬送儀礼」にテーマを設定して論ずるものとした。</p>
履修上の留意点	適宜プリントを配布し、参考文献を指示する。
成績評価の方法	レポート及び出席点によって成績を評価する。
参考書等	曹洞宗総合研究センター編『葬祭—現代的意義と課題—』1,300円

他履修科目
学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教文化史	はかま や のり あき 袴 谷 憲 昭	経営A 14以降入学生/経営B	4

講義のねらい

下記の教科書により、仏教思想とはなにかという課題を断えず問いかけながら、日本における仏教文化の実態を検討する。

講義の内容・授業スケジュール

- I 仏教東漸—半跏思惟像
- II 「玉虫厨子」と捨身供養
- III 『往生要集』と地獄極楽
- IV 『一言芳談』と後世物語
- V 『日本史』における仏教
- VI 『新論』の国体論と仏教
- VII 仏教西来—靖国問題考

履修上の留意点

参加者には、文献を自ら読もうとすることが要求される。なお、必要に応じて資料を配布するが、資料の再発行は原則としてしないので、気をつけられたい。

成績評価の方法

学年末の定期試験による。ただし、参加者の状況によっては評価の方法の変更もありうる。

教科書

袴谷憲昭著『仏教入門』（大蔵出版）2004年

参考書等

渡辺照宏『日本の仏教』

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国古典語初級	よし むら まこと 吉 村 誠	経営A 14以降入学生/経営B	4

講義のねらい

著名な仏典を読みながら、漢文訓読の基本をマスターします。漢文の句法について学ぶとともに、仏教漢文特有の読み方に慣れ親しみ、仏典を正確かつ批判的に読む力を養います。前期は『維摩経』と『法華経』（『観音経』）の一部を読み、後期はその訳者である鳩摩羅什の伝記（『高僧伝』）を通読します。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) 漢文の読み方 (2) 仏典とは何か (3~7) 『維摩経』を読む (8~13) 『法華経』を読む (13) まとめ
- (後期) (1) 『高僧伝』の世界 (2) 鳩摩羅什の事跡 (3~12) 鳩摩羅什伝を読む (13) まとめ

履修上の留意点

初歩から丁寧に指導しますので、漢文や中国語を学習したことがない者、仏教関連の授業を受けていない者でも心配はいりません。ただし、語学の習得には継続した学習が不可欠ですので、毎回出席する覚悟のある者のみ履修してください。歴史・思想・文学・美術などの分野で仏教漢文を資料として読みたい者、東アジアの仏教を原典で学びたい者の受講を期待しています。

成績評価の方法

予習や出席の状況、およびレポートを総合して評価します。

教科書

プリントを使用します。

参考書等

漢和辞典は必携。『新字源』（角川書店）、『漢語林』（大修館書店）、『漢辞海』（三省堂）を推奨します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国哲学史	まえかわ とおる 前川 亨	経営A	4
		14以降入学生/経営B	

講義のねらい

東アジア世界の文化・社会に多大な影響を与えた中国の思想を学ぶ。儒教・道教・仏教それぞれの思想と相互の関連、それらが朝鮮・日本にどのようなかたちで影響を及ぼしたのか、などの課題をとりあげることになる。それを通して、中国人の思考様式を明らかにしていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は孔子の時代から唐代までを扱う。まず中国の思想史の全般的な問題を概括し、その後、孔子・孟子・荀子から始めて、儒家・道家・神仙思想、更に道教の成立や仏教伝来などに及ぶ。断代史的ではなく、問題史的に検討するように心掛け、思想史研究の面白さと困難さを伝えたいと思う。

履修上の留意点

当該テーマに関心を持ち、継続して出席し、積極的に授業に参加する意志と意欲を有する学生諸君の履修のみを、心から歓迎する。レポートのみ提出して単位を取得しようなどという安易な気持ちの者の履修は認めない。中国の文献を扱う関係上、中国語についての初歩的な知識を有することが望ましいが、授業そのものは中国語を履修していなくても理解することが可能である。東アジアの思想・宗教・社会・文化……など様々な分野に関心のある諸君の積極的参加を期待したい。

成績評価の方法

前期・後期それぞれにレポートを書いてもらう。テーマは授業で取りあげた内容に基づくものとする。

教科書

特に必要としない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

できるだけ多くの話題を提供するため、講義形式をとるが、受講者の意見を聞く機会もつくる。積極的な問題提起を歓迎する。

他履修科目
学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
上代文学研究 I	なか しま しん や 中嶋 真也	経営A	4
		14以降入学生/経営B	

講義のねらい

現存最古の歌集『万葉集』に収められた歌には、用いられた表現に基づき、類歌・類想と処理されるものが少なくない。しかし、同様な表現でありながら、すべてが同じなのではない。多様な表現性が見届けられ、また『万葉集』の中での歌の享受をも想定させるのである。表現を共有する歌を取り上げ、古代の歌のありようの一端を把握することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

『万葉集』の概説から始め、類歌・類想と説明される歌々を取り上げ、丁寧に読み解く。原文・訓みの確定と内容面の把握の関わりを提示していく。

履修上の留意点

出席を重視し、集中して講義内容を理解しようと努めること。

成績評価の方法

出席、授業態度、前期末のレポートと年度末の試験によって総合的に評価する。

教科書

鶴久・森山隆『万葉集』(おうふう)

参考書等

授業中に適宜指示する。

その他

テキスト以外の資料は、必要に応じてプリントで配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中古文学研究 I	まつ おか とも ゆき 松 岡 智 之	経営 A	4
		14以降入学生/経営 B	

講義のねらい

平安時代の仮名文学作品では、人生のいかなる局面でいかなる詩（和歌）が生まれるのかという関心が、作品生成の基盤となっているものが多い。本講義は、こうした作品形成のあり方をさまざまな作品の分析的読解を通して考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

①『伊勢物語』を出発点に、和歌と歌物語的ないし歌日記的なものに関する問題提起をする。②平安時代の和歌の特色を、前代とのつながりを考慮しながら把握する。③『伊勢集』冒頭部および『平中物語』を解説する。④『蜻蛉日記』『和泉式部』等、日記文学における和歌のあり方を考える。⑤①～④の検討を踏まえ、『源氏物語』を読解する。

成績評価の方法

レポート、筆記試験、出席状況を総合して評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中世文学研究 I	さくら い よう こ 櫻 井 陽 子	経営 A	4
		14以降入学生/経営 B	

他学部
履修科目

講義のねらい

軍記物語において、人物、特に英雄的な人物がどのように描きだされているのかを考える。人物の造型を鑑賞し、その面白さを味わうことも目的であるが、それ以上に、軍記物語にとって、登場人物に何が必要とされているのか、ひいては、軍記物語が何を描こうとしているのかを考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

具体的に多くの作品に触れながら進める。
 1～3 軍記物語にどのような特徴があるか。
 4～6 為朝を読む(『保元物語』)
 7～9 義平と義朝(『平治物語』)
 10～13 清盛・義仲・義経(『平家物語』)
 14・15 『承久記』
 16～18 楠正成・足利尊氏(『太平記』)
 19～21 義経・弁慶(『義経記』)
 22～24 曾我兄弟(『曾我物語』)
 25～30 まとめ

成績評価の方法

出席・授業態度・レポート・定期試験によって総合的に評価する。

教科書

授業時に適宜プリントを用意する。

参考書等

授業時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近 世 文 学 研 究 I	このえのりこ 近 衛 典 子	経営 A	4
		14以降入学生/経営 B	

講義のねらい	上田秋成の読本『雨月物語』を読む。
講義の内容・ 授業スケジュール	単に小説のストーリーを追うだけでなく、典拠となった中国白話小説、日本の古典作品の精読、本文との比較検討を通して、浮かび上がってくる作品の主題を考える。
履修上の留意点	出席重視。
成績評価の方法	出席状況、受講態度、レポート等を総合し評価する。
教 科 書	鷺山樹心編『講読雨月物語』（和泉書院）
そ の 他	講義

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近 代 文 学 研 究 I	えのむとまさき 榎 本 正 樹	経営 A	4
		14以降入学生/経営 B	

講義のねらい	村上龍と村上春樹、いわゆる W 村上の登場以後、八〇年代にデビューした作家たち（笹野 頼子、鳥田雅彦、高橋源一郎、辻仁成、松浦理英子、山田詠美、吉本ばなな）の後を受けて、九〇年代以降にデビューした新しい作家・作品について網羅的にとりあげ、その作家固有のテーマやモチーフを検証し、さらには同時代的な意義やジャンルの可能性を探っていきます。
講義の内容・ 授業スケジュール	講義では、現代日本文学のフィールドで重要だと思われる作家・作品を網羅的に解説・分析し、作品に内在するテーマ、モチーフ、表現や語りの方法、人物の関係性、周辺メディアとの関連性などを抽出していきます。扱う作品は主流系文学に限定せず、SF&ファンタジー、ミステリ、少女小説など、現代文学のあらゆるジャンルを対象とします。 参考までに授業で取りあげる可能性の高い作家を以下にあげておきます。阿部和重、赤坂真理、江國香織、角田光代、川上弘美、重松清、平野啓一郎、藤沢周、町田康、柳美里、長野まゆみ、多和田葉子、保坂和志、いしいしんじ、金城一紀、佐藤哲也、大道珠貴、嶽本野ばら、長嶋有、吉田修一、綿矢りさ、舞城王太郎、D[di:]など。また2004年にデビューした新人作品や文学界のトピックスについても、スポット的に言及していく予定です。 榎本は研究活動の一環として作家へのインタビューを積極的に行っていますので、授業では作家の生の情報なども盛り込んでいきたいと思っています。
履修上の留意点	現代日本文学、同時代のメディア全般に興味をもつ学生の履修を歓迎します。
成績評価の方法	出席点と授業の参加度をメインに、学期末に提出してもらうレポートの内容を加味し、総合的に評価します。
教 科 書	特に使用しません。
参 考 書 等	必要な資料はプリントで配付します。参考文献等は、教室で指示します。
そ の 他	履修に際しては、榎本のサイト（ www.asahi-net.or.jp/~fy5m-enmt/ ）も参考にしてください。

他学
履修
科目
部

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較文学	みつたに 満谷マーガレット	経営A 14以降入学生/経営B	4

講義のねらい

文化交流のもっとも重要な手段である翻訳の問題について考えてみたい。まず、最近話題となっているジェンダー翻訳論やポスト・コロニアル翻訳論を含めて、さまざまな翻訳論を紹介しながら、言語と文化の問題を幅広く扱う。比較文学の伝統的な主題である「影響関係」の枠を超えて、翻訳が創作活動をどう刺激したかが見えてくるはずだ。また、翻訳は「読む」ことから始まるとすれば、それは当然「誤読」を伴う。日本の近代は西洋を「誤読」することから出発したといえるだろうし、西洋も日本を「誤読」し続けているといえるだろう。小説、詩、児童文学など、具体的なテキストを読みながら、明治の翻訳者が西洋から何を、どのように取り入れようとしたのかを見るとともに、十九世紀のジャポニズム（日本趣味）から戦後のハイク・ブームにいたるまで、西洋が日本をどのように読んできたのかを見ていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業は講義を中心に進めるが、テキストを読むこともある。教科書はないが、必要に応じてプリントを配る。外国語のテキストには必ず日本語訳か解説がつく。横文字アレルギーの人は困るだろうが、英語に堪能である必要はない。

成績評価の方法

前期、後期と試験を行う。

教科書

プリント

参考書等

秋山勇造『翻訳の地平』（翰林書房）1995年
日本近代思想体系15『翻訳の思想』（岩波書店）1991年
西田直敏『「新体詩抄」研究と資料』（翰林書房）1994年など

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋思想史	しばのひろこ 柴野博子	経営A 14以降入学生/経営B	4

講義のねらい

西洋思想の流れをたどりながら、より良く生きるための話題を提供したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、まず、古代（ギリシア、ローマ）と中世（キリスト教）の思想を概観し（4・5月）、その後、カントとショーペンハウアーをとりあげる（6・7月）。
後期は、現代哲学の一つである生（レーベン）の哲学を中心に、ニーチェ（9・10月）、ベルクソン、デイルタイ（11・12月）の思想を見てゆきたい。

成績評価の方法

年2回の筆記試験またはレポートによって評価します。

教科書

久保陽一・河谷淳『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 劇 概 論	あ べ ゆ か こ 阿 部 由 香 子	経 営 A	4
		14以降入学生/経営B	

講義のねらい

近代以降の日本演劇はいくつもの屈折を重ねて現代に至っている。「演劇」に対するイメージが多種多様であるのはなぜか？演劇と文学はどのような関係にあったのか？日本演劇をとりまく状況の変遷をたどりつつ、作品を読み、鑑賞していくこととする。受講者には実際に劇場へ足を運んでもらい、観劇してもらう。

講義の内容・
授業スケジュール

- [前期] (1, 2) 演劇の近代化
(3, 4) 堤春恵「仮名手本ハムレット」
(5, 6) 文学と演劇
(7, 8) 菊池寛「父帰る」
(9, 10) 女優の登場
(11, 12) 政治と演劇
(13) まとめ
- [後期] (1, 2) 青年と演劇
(3, 4) 演劇の中の「夢」
(5, 6) 演劇を描いた演劇
(7, 8) 三谷幸喜「ショーマストゴーオン」
(9～12) 現代演劇の上演状況について
(13) まとめ

履修上の留意点

授業で扱う作品をあらかじめ読んできてもらったり、実際に劇場へ行ってみて観劇してもらうので、演劇に対して積極的な興味関心がある者の受講が望ましい。

成績評価の方法

前期末の試験、観劇レポート、出席点、平常点から評価する。

教 科 書

特定のものはない。

参 考 書 等

授業時に指示する。

そ の 他

講義が中心ですが、レポートを発表してもらうこともあります。

他履修科目
学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本民俗学	谷口 貢	経営A	4
		14以降入学生/経営B	

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変わり、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。出席を重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）

他学部履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講 I	石原 孝哉	経営A	4
		14以降入学生/経営B	

講義のねらい

イギリスルネッサンス期の文学について、講義します。ヨーロッパ文学と古典、イギリスのルネッサンス、シェイクスピアの劇場、シェイクスピアの生涯、シェイクスピアの作品論、シェイクスピアの歴史劇、歴史劇と歴史などが中心的な課題です。このほかに Thomas More, Edmund Spenser, Christopher Marlowe, Ben Jonson, John Bunyan, John Milton などとも取り上げます。

成績評価の方法

この時代に関心がある意欲的な学生の受講を望みます。成績評価は、レポートと筆記試験によります。

教科書

『シェイクスピア喜劇の世界』（三修社）2,800円、配布プリント

その他

ビデオ、スライドなど補助教材を利用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅱ	たかのまさお 高野正夫	経営A	4
		14以降入学生/経営B	

講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心を持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、DrydenやPopeなどに代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomsonのように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward YoungやRobert BlairそしてThomas Grayなどのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年にWilliam WordsworthとSamuel Taylor Coleridgeによって出版された*Lyrical Ballads*という、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受け入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていった。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

成績評価の方法

前期のレポートと期末試験によって評価する。

教科書

教場にて指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅲ	おかさきとしちろう 岡崎寿一郎	経営A	4
		14以降入学生/経営B	

講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代性」modernityという言葉の感覚を理解することは、むづかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

講義の内容・授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を発売として、近代詩人イエーツ、エズラ・パウンド、T.S. エリオットの現代詩（モダニズム）、さらにD.H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

教科書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

参考書等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅳ	あら い よし お 荒 井 良 雄	経営 A 14以降入学生/経営B	4

講義のねらい

オースティンからモームまで、イギリス小説の代表的作家と作品に内在する「ブライス禅」を講義する。イギリス小説の映画化作品に関しても「ブライス禅」を探ってみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

R. H. Blyth の *Zen in English Literature* や *Twenty-Five*、*ZEN Essays*などを参照しながら、作品の言葉（名句）を引用しつつ講義を進める。

成績評価の方法

夏期休暇中に作成するレポートと、12月の最終講義の時間におこなうテストで評価する。

教 科 書

教科書は使用せず、プリントを用意する。

参 考 書 等

北星堂書店から出版されているブライスの全著作と、岩波書店発行の『鈴木大拙全集』40巻ほか。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅴ	ふ じ かわ よし ゆき 富 士 川 義 之	経営 A 14以降入学生/経営B	4

講義のねらい

英国文化史についての講義。イングランド、ウェールズ、スコットランド、アイルランドの特質と歴史、王室と宗教、カントリー・ハウスと風景式庭園、鉄道と旅、ジャーナリズムの誕生、子供の文化史などの話題について述べる予定。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 4つの文化圏
- 2 王室と宗教
- 3 貴族の城館とカントリー・ハウス
- 4 シェイクスピアと劇場
- 5 産業革命の影響
- 6 ジャーナリズムと出版の進展
- 7 子供の文化史
- 8 騎士道からジェントルマン教育へ
- 9 女性と文学
- 10 大英帝国の光と影
- 11 パラダイム・シフト

履修上の留意点

授業に積極的に取り組んでもらいたい。毎回出席をとる。

成績評価の方法

レポートと試験。

教 科 書

『概説イギリス文化史』（ミネルヴァ書房）

参 考 書 等

適宜指定する。

そ の 他

教材コピーを随時配布する予定。

他
学
部
履
修
科
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅵ	丸 小 哲 雄	経営A	4
		14以降入学生/経営B	

講義のねらい

文学はそもそも主観性が強いゆえに、その分だけ読み込みと思考が要求されます。批評行為は、テキストの読み・解釈・批評の過程にあって、テキストの構造の織り目をゆるめて、テキストの持つ価値や態度に対して対立し、そのイデオロギーと対決する最後の機会であり、読み手がテキストに対してどのようにして責任をとるかを発見することです。だが、外国文学を研究するにあたっては以下の4つの前提があります。一つ目の前提は英米文学を学ぶ受講生にとっては生得でない英語に依存しなければならない宿命的なハンディキャップがあること、二つ目の前提は近代においては日本・日本人・日本語・日本文化（文学）はあたかも一体であると考えたことには錯覚があること、三つ目の前提は世界に共通する美的で倫理的な文学の一致はありえないこと、そして最後の前提は文学テキストの読みについての論議のためにはテキストの読み・解釈・批評のについてのさまざまな方法論があることを講義します。従って、本講義は、文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、文学テキストの演習を行い、テキストの印象や感想に価値を見出せる方法について講義してゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 自然言語と虚構言語の相違について
2. 英米文学の制度の成立と文学研究の意義について
3. 文学テキストの機能と力について
4. さまざまな批評方法について

・伝統批評・伝記批評、ロシア・フォルマリズム・ニュー・クリティシズム、受容理論、精神分析批評、構造主義・記号論批評、ポスト構造主義批評、ニュー・ヒストリシズム批評、ポストコロニアル批評などを講義し、批評方法を修得するためにテキスト演習も行います。

成績評価の方法

出席、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教科書

Elements of fiction by R. Scholes（英宝社）
プリント使用：プリントのファイルを用意すること：読書リストのプリント配布

参考書等

『楽しく読めるアメリカ文学』（ミネルヴァ書房）
『楽しく読めるイギリス文学』（ミネルヴァ書房）

履修科目
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ文学特講Ⅰ	東 雄一郎	経営A	4
		14以降入学生/経営B	

講義のねらい

アメリカ詩の概観、アメリカン・ルネッサンス、モダニズム、ポストモダニズムの流れにそって、Walt Whitman, Emily Dickinson, Robert Frost, Wallace Stevens, W. C. Williams, Ezra Pound, T. S. Eliot, John Crowe Ransom, E. E. Cummings, Hart Crane, Langston Hughes, Elizabeth Bishop, John Berryman, Robert Lowell, Robert Bly, Allen Ginsberg, Gary Snyder, Sylvia Plath, Mark Strand 等の詩人の作品を読んでゆきます。それぞれの詩人の作品を通して、アメリカの歴史、文化、人種差別、ジェンダー、宗教、自然、自我のヴィジョン、絵画、音楽等の問題を採り上げ、論じてゆきます。アメリカの自由詩をおおいに楽しんで下さい。新しい詩のスタイルは、一個人の技巧的な変革ではなく、新しい思想から生まれます。

成績評価の方法

欠席率が3分の1を超えた場合は評価対象外とし、授業内の小テスト、小レポート、前期・後期のレポートによって総合的に評価する。

教科書

新倉俊一『アメリカ詩入門』（研究社）2,200円

参考書等

新倉俊一『アメリカ詩の世界』（大修館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ文学特講Ⅲ	あし だ かず ひと 足 田 和 人	経営A 14以降入学生/経営B	4

講義のねらい

ロスト・ジェネレーションといわれる作家の特徴を探る。また、歴史的、文学史的背景を考慮に入れながら、彼らの短編小説の技法を学んでゆく。

講義の内容・授業スケジュール

それぞれの作家の代表的な短編小説を読みながら講義を行う。

履修上の留意点

あらかじめ指定されたテキストを読んでいることを前提に講義を進める。授業中に発言を求めることも少なからずあるので、積極的な参加を希望する。

成績評価の方法

毎時間の小レポート、及び前後期2回の期末レポートで評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

必要に応じて配布・紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演劇特講 (イギリス・アメリカ)	おち あい かず あき 落 合 和 昭	経営A 14以降入学生/経営B	4

他学部
履修科目

講義のねらい

主として、20世紀のアメリカの著名な劇作家、および、現在、活躍中の劇作家を取り上げ、彼等の劇の特徴を、劇の構成要素(「筋」、「登場人物」、「テーマ」、「台詞」、「視覚効果(背景、照明等)」、「効果音(音楽も含む)」等を通して、できるだけ多角的に考察する。その際、演劇史における思潮も考慮に入れるつもりであるが、講義が抽象的にならないように、必ず、劇作品を通して、具体的に、劇の構成要素等を考察する。

アメリカの劇作家以外にも、数人ではあるが、20世紀のアイルランドやイギリスの劇作家も取り上げる予定である。さらに、一般には、あまり知られていない劇作家、特に、一幕劇(短い劇、小説で言うなら、短編小説、通常、「場所」が一つだけの劇)を書いた劇作家も取り上げ、劇の持つ多様性をも考察する。また、講義のなかで、折に触れ、重要な演劇用語や劇場の種類等も学ぶ。さらに、時間があれば、ビデオを通して、劇作家の生い立ちや背景についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

講義のなかで取り上げる主なる劇作家は、アメリカでは、Susan Glaspell(1882-1948)、Alice Gerstenberg(1885-1972)、Eugene O'Neill(1888-1953)、Thornton Wilder(1897-1975)、Tennessee Williams(1911-83)、Arthur Miller(1915-), Shirley Jackson(1919-65)、Edward Albee(1928-), Sam Shepard(1943-), David Mamet(1947-), アイルランドでは、John Millington Synge(1871-1909)、Samuel Beckett(1906-89)、イギリスでは、John Boynton Priestley(1894-1984)、Peter Shaffer(1926-), Harold Pinter(1930-), 等である。

履修上の留意点

講義の内容をふまえて、劇作品を分析してもらうので、積極的な参加が望ましい。

成績評価の方法

期末試験が全評価の40%、前期の課題が30%、後期の課題が30%とする。一回の課題は原稿用紙400字詰め5枚から10枚(ワープロの場合は、2000字から4000字)とする。出席率が3分の2以上を越えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

- 1) 『楽しく読める英米演劇』 ミネルヴァ書房
- 2) プリント

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語	サンダース, L.P.	経営A 14以降入学生/経営B	4

講義のねらい

このクラスでは、様々なマスメディア（ドキュメンタリーフィルム、TV ニュース、雑誌、タブロイドなど）で使われている英語を通じて、表現や文化を学んでいく。
media studies のメソッドで行う。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み内容を把握し、ビデオを見てエクササイズを行う。後半はディスカッションを行う。

成績評価の方法

年に2回テストを行う。

教科書

教科書は使用せずプリントを配布する。

その他

ビデオを使用する。授業は英語で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人口地理学	江崎雄治	経営A 14以降入学生/経営B	4

講義のねらい

人口現象が社会問題として表出する際には、少子化、高齢化、過密・過疎といった形をとるが、これらの理解のためには、出生、死亡、移動に関する概念や諸指標を理解する必要がある。前期ではこれらに関する基礎的な学習をもとに、日本の人口問題に関する様々な論点について理解を深める。また、地域の人口問題を扱う際には、人口の地域分布変動にもっとも大きな影響を与える地域間の人口移動についての理解が不可欠である。そこで後期では、戦後日本における人口移動の動向を学ぶとともに、移動発生と社会経済的諸要因との関連性について理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

- 〔人口分析の基礎〕 人口学的方程式、人口構造の把握（性比、年齢構造）
- 〔少子化問題と出生の分析〕 出生の指標（合計特殊出生率）、出生率の低下とその要因
- 〔人口高齢化と死亡の分析〕 死亡の指標（生命表、平均寿命）、人口高齢化とその要因

(後期)

- 〔人口移動の概念とデータ〕 人口移動の概念、人口移動データとその特徴
- 〔日本国内の人口移動〕 戦後日本の人口移動の概観、地方圏と大都市圏の間の人口移動
- 〔日本人の居住地移動〕 地方圏出身者の居住地移動プロセス、Uターン移動とその要因
- 〔将来人口の推計〕 将来人口推計の理論、コーホート変化率法による人口推計の実際

履修上の留意点

あらゆる地域において、現在の人口ピラミッドの形は将来の地域人口のあり方を大きく規定する。例えば郊外のニュータウンにおいては今後急激な高齢化が不可避である。このような地域人口変化のメカニズムを本講義を通じて理解して欲しい。

成績評価の方法

授業時間内に複数回の試験を実施し、その結果に基づき成績評価を行う。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業時間内に適宜提示する。

履修科目
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化地理学	小田 匡保	経営A 14以降入学生/経営B	4

講義のねらい

文化地理学の内容は幅広いが、特に宗教地理学の代表的な研究テーマについて研究例に基づき述べる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 文化地理学とその概要
2. 宗教地理学
3. 宗教分布
4. 信仰圏
5. 宗教集落・宗教都市
6. 巡礼・社寺参詣
7. 墓地

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、レポート、試験によって行なう。レポートの提出は必須で、レポートが受理されない場合は、単位も認定されない。

教科書

使用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用地理学	高木 正博	経営A 14以降入学生/経営B	4

他学部
履修科目

講義のねらい

この科目は地理学と他の研究分野を視野に入れた学際的なテーマを考えている。講義では「河川」を対象とし、これの専門分野である河川工学や農業水利学などの成果をふまえて、地理学として河川をどのように扱うかを考える。河川は、河道だけでなく流域全体を捉えることが必要である。流域(地域)における自然的特性とその土地の人々とのかかわりあいを、水災害・水資源・河川環境などの視点から講ずる。

講義の内容・授業スケジュール

まず、河川の流出に関する基本特性について水文学的に講ずる。つぎに、いくつかの具体的な河川を事例として、利水・災害・河川環境などの視点からそれぞれの河川特性を考える。また、都市の水環境など、川をめぐる現実的な課題について考える。年間の授業内容は下記の通り予定している。

1. 河川と関連学問分野
2. 河川流域の水収支
3. 日本の河川流況特性
4. 河成平野の地形分類と防災
5. 河道治水から流域治水へ
6. 水防の再構築
7. ダムと森林
8. 日本の水利用
9. 農業用水の利用と問題点
10. 渇水とは…
11. 水資源の有効利用
12. 農業用水を考える
13. 多摩川における水利権の変遷
14. 地域用水と環境用水
15. 河川環境など

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。

成績評価の方法

学年末試験と夏休みのレポートの他、授業中の課題など平常点も加算する。

教科書

授業時間にプリントを配布する。

参考書等

配布プリントをとおし随時紹介する。

その他

講義中心。事例紹介のためのスライドやOHP、ビデオも使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教史	まつもと のが みち 松本 信 道	経営A 14以降入学生/経営B	4

講義のねらい

本講座は、「仏教の日本的受容」というテーマを中心として、日本の古代史を再検討してみようというのがねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

仏教が日本に受容された背景を、政治的・社会的・思想的・宗教的環境の中で有機的にとらえていくということを基本的姿勢として講義を進める。とくに、インド・中国・朝鮮半島などの動向も視野に入れた国際的視点と、日本古代社会の皇族・貴族・豪族のみでなく、一般民衆の「苦悩」と「祈り」と「救済」をも視野に入れた民衆史的視点からもアプローチしてみたい。

成績評価の方法

前期・後期2回のレポートと出席点を総合して評価する。

教科書

随時、プリントにて配布します。

参考書等

速水侑『日本仏教史 古代編』（吉川弘文館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史特講Ⅶ (近代)	くまもと ふみ お 熊本 史 雄	経営A 14以降入学生/経営B	4

講義のねらい

第一次大戦から第二次大戦を経て、戦後のサンフランシスコ平和条約締結に至るまでの日本外交につき史料を交えて講述し、その外交方針の根底に潜む思想を解明する。戦前期の外交については、対外機構の改変問題も関連づけながら当該期日本外交の中心であった対中関係を考察しつつ、日本が如何なる途を模索し最終的には戦争に進んでいったのかを検討する。戦後期の外交については、占領下において、当時の外務省さらには戦後日本の政治指導者として大きな役割を担った吉田茂が如何にして日本再生の途を模索したかを、条約締結交渉とその準備過程を通じて検証する。

講義の内容・授業スケジュール

前期：第一次大戦と日本／「新外交」の模索／対中文化政策への視線／ワシントン体制の成立と対米英関係／満州事変から日中戦争へ／日米交渉と太平洋戦争

後期：終戦工作／占領の開始／「自主外交」の模索／平和条約締結の準備／サンフランシスコ平和会議／安保条約と行政協定

履修上の留意点

史料の講読を通じて外交政策の決定過程を追体験して欲しい。外交指導者が下した決断の理由は何か、その根底にある主張とは何か、といった問題意識を常に持つことが重要。

成績評価の方法

前・後期2回の定期試験の成績、および出席状況で評価する。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

適宜紹介する。

その他

基本的に講義形式で進め、必要に応じてレジュメと史料を適宜配布する。

他履修科目
学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学史	やまぐち まさひろ 山口 祐弘	経営A 14以降入学生/経営B	4

講義のねらい

カントを源とするドイツ観念論の諸思想は現代に様々な照明を与えてくれる。今日確実な思索を行おうとするならば、繰り返してそこに立ち返ることが求められ、またその意義は尽きない。だが、その発展を一望のもとに収めることはたやすいことではない。その根本にあった問題は何か、それを駆動したものは何か、が問われねばならない。そうした問題論的展開として捉ええた時に、ドイツ観念論は一つの歴史となるのである。本講は、この意味でドイツ観念論に歴史を発見しようとする試みである。カントが提起しかつ後世に残した課題を明らかにし、それが如何なる方向に解決を求めていったかをフィヒテ、シェリング、ヘーゲルを軸として考察する。

成績評価の方法

定期試験は行なわない。小論文を課し、評価する。平常点も加味する。

参考書等

山口祐弘『カントにおける人間観の探求』、『ドイツ観念論における反省理論』（勁草書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史特講Ⅲ (近世史)	ちようぐん 趙 軍	経営A 14以降入学生/経営B	4

講義のねらい

〈近・現代日中関係史〉と題して講義する。その目的は外交・貿易・文化往来などの方面を通して、二千年以上にわたる日本と中国の間の友好と不友好の歴史を概要的に解説し、日本とアジア諸国とりわけ中国との関係を正しく理解できる知識や教養を高めることである。

講義の内容・授業スケジュール

近代以前の日中関係史を概要的に紹介し、「西力東漸」以後、とりわけ第一次世界大戦以後の日中関係史を具体的に解説する。

1. 近代以前の日中交通史
2. 「日清提携」と「征亜論」の創生
3. 「アジア連帯」と国権主義の台頭
4. 宮崎滔天と中国
5. 頭山満と中国
6. 辛亥革命・孫文と日本
7. 内田良平と中国
8. 中国の国民革命と日本の対応
9. 「満州事変」から日中戦争へ
10. 日本の敗戦と台湾との「国交」
11. 政経分離と政経不可分
12. 国交正常化と日中平和友好条約
13. フィーバーと摩擦
14. 改革開放と「新アジア主義」
15. 真のアジア共生をめざして

履修上の留意点

受講者とのコミュニケーションを図るため、毎回出席カードを配り、授業内容に関する質問・感想・提言などはそのカードの裏に積極的に記入して提出してほしい。

成績評価の方法

年に2回レポートの提出を要求し、課題は数週間前に提示する。成績評価には出席日数を参考にする。

教科書

趙軍著『大アジア主義と中国』（亜紀書房）1996年
竹内実著『H中国交基本文献集』上・下巻（蒼々社）1993年

参考書等

田中明彦著『日中関係 1945-1990』（東京大学出版会）1991年
ホームページ「日中関係資料館」<http://www.est.hi-ho.ne.jp/~zhaojun/> など。

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学特講Ⅲ (日本石器時代)	したらひろ 設楽博己	経営A	4
		14以降入学生/経営B	

講義のねらい

考古学の年代論 弥生時代が500年さかのぼるのではないか、という新聞記事は記憶に新しい。でもなぜなのか、知っている人は少ないだろう。日本に前期・中期旧石器時代があったという詐欺に、日本考古学がまんまとだまされてしまったのはなぜか。年代には相対年代と絶対年代がある。考古学独自の年代決定方法は相対年代の決定にとくに有効であるが、歴史学の基礎になる実年代を求めていくには自然科学的手法の助けを借りなくてはならない。考古学により実年代がどのように決められてきたのか、現在の年代論の到達点と問題点をさぐるとともに、AMS法という高精度な炭素14年代測定法によって純粹考古学の年代観が大きく揺さぶられている状況を紹介し、これからの考古代論のあるべき姿をともに考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期 ①AMS法による高精度編年とはなにか ②考古学的手法による年代決定法
③自然科学的方法による各種の年代測定 ④前期・旧石器捏造問題と年代論
後期 ①縄文時代の土器編年と実年代 ②弥生時代の実年代を論じる ③古墳時代の始まりと邪馬台国問題 ④考古学と年代論

履修上の留意点

考古学の基礎は年代論にあるので、しっかりと講義を聞いてほしい。講義中の私語厳禁。真剣に聞いている者の迷惑になる者は退席を願うので要注意。

成績評価の方法

年度末の試験による評価。

履修科目
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋文化史	いしだけい 石田恵子	経営A	4
		14以降入学生/経営B	

講義のねらい

東洋に対する西洋文化のルーツをたどっていくと、ギリシャ・ローマの地中海世界を経て、古代西アジア地域の文化にまでたどっていくことが出来る。特に西アジアに起源する印章文化の展開を柱として、それにまつわる古代オリエントの歴史、印章の種類、役割の多様性などを紹介しつつ、ヨーロッパ世界に伝えられていった指輪型印章や封ロウをルネサンス時代まで追いつき、今日まで残る印章の意義を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期はメソポタミアで誕生したスタンプ印章の使用開始から円筒印章の登場、メソポタミアに栄えた円筒印章の変遷、その素材と技術、メソポタミア周辺の印章文化も紹介する。後期は書写材料・文字の変遷による円筒印章の終焉とスタンプ印章の復活、ギリシア・ローマ世界、ビザンチン・イスラム世界、中世ヨーロッパ及びそれ以降の印章及び印章に関わる文化を概観する。

履修上の留意点

広く興味を持って本や展覧会など見るようにすること。

成績評価の方法

出席点と課題レポート

教科書

特になし

科目名	担当者名	配当学科	単位
産業・職業社会学	やま だ のぶ ゆき 山 田 信 行	経営A	4

講義のねらい

“労使関係”をキイ概念として、産業社会学を体系的・概論的に講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は2部から構成される。第1部（前期）では、産業（・職業）社会学の主要な分野について日本での事例について紹介しながら概説する。

第2部（後期）では、“グローバル化”をポイントにして労使関係の歴史比較分析を行う。具体的な講義プランは、以下のとおり。

第1部 現代日本の産業・労働・職業

1. 産業（・職業）社会学の対象・方法・課題
2. 労使関係とはどんな関係なのか
3. 賃金・雇用・労働者
4. 労働者の統制と参加
5. 労働組合と労働運動
6. 技術革新と技能の変化
7. 国家と労使関係
8. 変容する産業・労働・職業の世界

第2部 労使関係の国際比較

1. グローバリゼーションと労使関係
2. インダストリアリズムと多元的資本主義発展
3. アメリカ合州国と不自由労働
4. 資本・賃労働の国際化と日本的労使関係
5. 周辺社会マレーシアの労使関係と資本主義発展
6. 労使関係と社会変動・再論

履修上の留意点

必修科目ではないので、自覚的な参加を希望する。

成績評価の方法

主として、学年末試験による。

教科書

山田信行『労使関係の歴史社会学』ミネルヴァ書房

参考書等

適宜、指示する。

他
学
部
履
修
科
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉発達史	はやし 林 ちよ 代	経営A 14以降入学生/経営B	4

講義のねらい

いつの時代にも人々の生活不安は、自然の変化と社会の変動によって生じる。社会の変動期には、常に多くの生活問題が発生し、大多数の人々は、生活困難におちいった。それに対応する社会福祉は一定の歴史的産物であること、そしてその理解に立って本質を把握し、現状と今後の方向を考える力をつけたい。

講義の内容・
授業スケジュール

主に、英国と日本を中心に、資本主義社会の成立とともに生成した社会事業から社会福祉へ至る歩みを講述する。さらに、こんにちの福祉社会をも検証したい。単に事実の羅列ではなく、対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす思想、それらの関連などを立体的、構造的にとらえるというのが本講義の内容である。なお今も存在しつづける慈善（事業）をもとり上げたい。

特に日本の場合、社会福祉（事業）の前段階は、厚生事業といった。きわめて日本の特質を示すものとして深い考察が必要であると考えている。

履修上の留意点

熱心にとり組もうという意欲を持ってもらいたい。

成績評価の方法

最後にレポート提出を課す。

教 科 書

特に無い。

参 考 書 等

その都度紹介する予定である。

そ の 他

特に無し。

他履修科目
学部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 民 所 得 論	吉 野 <small>よし の おさむ</small> 紀	経営A・経営B	4

講義のねらい

為替レートや株価はなぜ減価したり、高騰するのか。失業率はなぜ上昇するのか。物価の変動はどのような影響を我々の生活に及ぼすのか。これらはいずれもマクロ経済学の主要な課題である。

失業率5.4%といえば実数にして300万人余の労働力人口が失業していることを意味する。特定の個人が終業しているか失業しているかは、その個人のスキル（能力）などによるところが大きく、国民経済全体の失業率とは直接の関係はない。しかし、後者は国民経済全体の景況状態の良い指標ともなる。

この授業では相対的な国民経済の動きを説明することが主題となる。個々人の日常的な経済活動の意志決定は受動的に大きな影響を受けるが、能動的に影響を及ぼすことを直感的にも経験的にも把握することは難しい。したがって、マクロ経済の仕組みを理解するには豊かな想像力と鋭い推理力が求められる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」……………5回
GDP、GNPなどの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解することと、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。
《参考》経済企画庁「平成13年日本経済の循環図」（配布資料）
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」……………4回
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。
《参考》中谷巖 『入門マクロ経済学』（日本評論社）第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」……………8回
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。
《参考》伊達邦春（編）『マクロ経済学』（八千代出版）第9章
4. 「金融政策、財政政策」……………4回
前講までの内容が理解できれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内のおよび国際的クラウディング・アウト効果を取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学（上）』（CAP出版）第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」……………5回
ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

他
学
部
履
修
科
目

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。再試験は実施。

教 科 書

R. J. ゴードン『現代マクロエコノミクス（上）』（第6版）（多賀出版）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
農 業 政 策	みぞ て よし かず 溝 手 芳 計	経営A・経営B	4

講義のねらい

“工業が先進国型産業であるのに対して農業は途上国型の産業だ”、“工業が環境負荷になりやすいのに対して、農業は環境に優しい産業である”、“食料価格は主に農業の生産性の高さによって決まる”、“日本農業の競争力が低いのは、主に農家の人が甘えているせいだ”、、、こうした認識は果たして正しいでしょうか。

農業は、一方では、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が強まり、他方で、WTO農業交渉に象徴される国際化への対応を求められるなど、かつて見られなかった激動の時代を迎えています。こうした時代に農業政策のあり方を考えるためには、農業という産業の特質と現代の農業問題の構図を理解するとともに、政策ツールについて批判的に検討していくことが必要です。

授業では、現代の主要な農業問題と農業政策をいくつか取り上げて、経済学の視点から説明します。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 「農業政策」とは (1~2回)
2. 食料問題と食料政策 (3~7回)
3. 農家所得問題と農産物価格政策・直接支払い (8~12回)
4. 農業構造問題と構造政策 (13~18回)
5. 戦後における日本と世界の農業政策 (19~25回)

履修上の留意点

充実した授業は、教員の努力だけでできるものではありません。授業中に「コミュニケーション・カード」を配布しますので、授業の感想や質問、意見を書いてください。授業改善の参考にします。

成績評価の方法

成績評価は定期試験を基本とします。再試験は行いません。

教 科 書

田代洋一『新版農業問題入門』(大月書店)

参 考 書 等

F. マグドフ他編 (中野一新監訳) 『利潤への渴望』 第5章 (大月書店)
梶井功『新基本法と日本農業』(家の光協会)

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育経済論	谷 敷 正 光 <small>やしきただみつ</small>	経営A	4
		14以降入学生/経営B	

講義のねらい

この講義は経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について明らかにするのがねらいである。

日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を解明するとともに、2000年に向けて一連の教育改革を行ってきた。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「アメリカ教育法」、イギリスの「教育改革法」「二十一世紀に向けての教育・訓練」、フランスの「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした欧米先進国の経済再建と教育改革の動向、日本の経済と教育の現状をまず明らかにする。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した経済復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた産業界の人材教育要求と国の教育政策、産業教育政策を明らかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 先進国の経済発展と教育

- (1) 日本の産業化とリテラシー・識字率
- (2) 日本の経済成長と教育
- (3) アメリカの教育最前線 (ビデオ)
- (4) レーガン大統領の経済と教育1 「危機に立つ国家」(一部ビデオ)
- (5) レーガン大統領の経済と教育2 「国家は応える」(一部ビデオ)
- (6) ブッシュ大統領の経済と教育1 「全米教育サミット」(一部ビデオ)
- (7) ブッシュ大統領の経済と教育2 「2000年のアメリカ」(一部ビデオ)
- (8) クリントン大統領の経済と教育「アメリカ教育法」(一部ビデオ)
- (9) サッチャー首相の経済と教育「教育改革法」(一部ビデオ)
- (10) ブレア首相の経済と教育「福祉のニューディールとオペティングアウト」(一部ビデオ)

2. 戦前日本の経済発展と実業教育政策

- (11) 学制時代における経済と教育1 富国強兵・殖産興業 (映画)
- (12) 学制時代における経済と教育2 学制公布と「行政管理学校」
- (13) 教育令時代における経済と教育1 工場私下と産業の勃興 (一部ビデオ)
- (14) 教育令時代における経済と教育2 教育令公布と実業補習学校・徒弟学校
- (15) 学校令時代における経済と教育1 産業革命と紡績業の発展 (一部ビデオ)
- (16) 学校令時代における経済と教育2 学校令公布と実業教育・「機業地学校」
- (17) 実業学校令時代における経済と教育1 重工業の発展と資本主義の確立 (一部ビデオ)
- (18) 実業学校令時代における経済と教育2 実業学校令公布と「委託教育」「工場内学校」

3. 戦後日本の経済発展と産業教育政策

- (19) 復興期の経済発展と教育 産業教育振興法 (一部ビデオ)
- (20) 高度成長第1期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (21) 高度成長第2期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (22) 高度成長第3期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (23) 高度成長終焉後の経済発展と教育

履修上の留意点

- ① 年間5～6回程度小テストを実施し、平常点とする。
- ② 現実的理解のためビデオ・映画・OHPを使用する。
- ③ 毎時間、講義用のプリントを配布する。一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。
- ④ 毎時間かなり板書するので、黒板が見えにくい人はできるだけ前に着席のこと。

成績評価の方法

- ①授業中の小テストと期末試験の成績によって評価する。
- ②再試験を実施する。

教科書

毎時間、講義の教材として年間40～50枚のプリントを配布するので、教科書は特に使用しない。

参考書等

参考文献は講義の中で適宜紹介するので、興味のある人は読んで講義の参考にして下さい。
小林泰宏『アメリカで進む教育改革』(朝日新聞社)

森嶋通夫『サッチャー時代のイギリス』（岩波新書）
 G・メイナード『サッチャーの経済革命』（日本経済新聞社）
 舟場正富『ブレアのイギリス』（PHP新書）
 ブライアン・サイモン『現代の教育改革・イギリスと日本』（エイデル）
 A・グリーン、J・ハリスン『英国病』（新評論社）
 揖西光速『日本資本主義発達史－産業資本の成立と発展－』（有斐閣）
 猪木武徳『学校と工場』（読売新聞社）
 三好信浩『日本の女性と産業教育－近代産業社会における女性の役割－』（東信堂）
 天野郁夫『教育と近代化』（玉川大学出版部）
 沼口博『学校教育と経済発展』（学文社）
 その他は講義の中で紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 経 済 論	こ 小 すぎ 杉 しゅう 修 じ 二	経営A・経営B	4

講義のねらい

前期は中華人民共和国の経済を歴史的に学ぶ。その開発目標に着目して、中ソ同盟下の大国志向としての「ソ連モデル」（1949-57）、独自の超大国を志向して米ソと対立した「毛沢東モデル」（1958-78）について学ぶ。

ソ連モデル期に中国は途上国の特徴＝機械の生産能力の欠如を克服し、国民生活を改善した。

毛沢東モデル期に兵器の一定の自給と核ミサイルの保有に至った。この時期、国民生活は改善されず、臨戦体勢づくりのため経済効率は低下し行きづまった。

後期はこの状況を打開した「鄧小平モデル」（1978-）を学ぶ。独自の超大国志向は維持しながらも平和共存政策への転換の下、開放政策による外資の呼びこみ、沿海部重点開発、軽工業優先開発、「独立した工業体系」づくりからの脱却、生産請負等の農業改革、市場経済への移行によって高度成長を達成、また、国民生活を改善し、「世界の生産現場」になった。後期には中国のかかげていた社会主義、「中国脅威論」等の問題をも考えてみたい。

履修上の留意点

言うまでもないが、私語、飲食、携帯電話は禁止（授業に集中できない人は出席不可）。

成績評価の方法

前期レポート、後期試験。

教 科 書

前期 小杉修二『増補 現代中国の国家目的と経済建設』（龍溪書舎）4,000円

参 考 書 等

平田幹郎『中国データブック2000-2001』（古今書院）3,800円

そ の 他

授業方法 講義＋ビデオ映像の活用

他履修科目
学部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア メ リ カ 経 済 論	瀬戸岡 <small>せとおか</small> 紘 <small>ひろし</small>	経営A・経営B	4

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・
授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。
 ◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇
 ヴェンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学
 技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリ
 ティー、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、
 ◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEC、◇アメリカと日本、◇アメリ
 カとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、
 つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとりいれ
 た授業です。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためま
 くら、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。それゆえ再試験
 も実施しません。

教 科 書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随
 時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカ
 ものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、
 グリーンバーグ『資本主義とアメリカの政治理念』（瀬戸岡訳 青木書店）1994年
 瀬戸岡ほか編著『グローバル時代の貿易と投資』（桜井書店）2003年
 をおすすめします。

他
学
部
履
修
科
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア・東欧経済論	やま がた ひろ し 山 縣 弘 志	経営A・経営B	4

講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることはできないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

講義の内容・授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達したか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに答えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上で、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
 - (1) 社会主義論とマルクス
 - (2) ロシア革命のめざしたもの——レーニン時代——
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
 - (1) 1920年代から30年代への転換
 - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と经济管理システム
 - (1) 「計画経済」の成立と実態
 - (2) ソ連型经济管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
 - (1) 経済構造の特質と軍事生産
 - (2) 工業生産力と工業技術
 - (3) 農業問題
5. 停滞からベレストロイカへ
 - (1) 経済改革の時代
 - (2) プレジネフと停滞の時代
 - (3) ベレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
 - (1) ロシア・東欧の文化と社会
 - (2) 資本主義化の諸問題
 - (3) ロシアと日本——比較経済史——

履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。再試験実施。

教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

その他

教科書はないので、授業中にノートを取るのとは当然のことになるだろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
貿 易 論	ふる さわ こう ぞう 古 沢 紘 造	経営A・経営B	4

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまで来ています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

I. 生産・消費と貿易

1. 農産物と貿易
2. 水産物と貿易
3. 林産物と貿易
4. 鉱物資源と貿易
5. 工業製品と貿易

II. 政治・経済・社会と貿易

1. 開発援助と貿易
2. 環境と貿易
3. WTOと貿易
4. グローバリゼーションと貿易
5. 持続可能な発展と貿易

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デットな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

成績評価の方法

テスト、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期の終り 授業で書いてもらう講義全体のまとめ）などを総合して評価を行う。テストやまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

再試験を実施しない。

教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
行政法各論	かねこしょうへい 金子昇平	経営A・経営B	4

講義のねらい

現代の行政法は、従来、対象とされていない、新たな法分野が続出している。例えば、行政手続法、情報公開法等の制定をはじめ、各行政分野ごとの基本法が整備されようとしている。また現実の行政需要も変化、発達し、その適正化が求められている。

講義は、行政紛争解決の手法として、行政救済法を、主な内容として行う。そこで具体的に、どのような国家賠償事件、行政事件が存在し、何が法律上の問題となっているのか、また、どのように法的解釈を、すべきかについて解明していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

行政法の基本的な原理や原則に対する、再学習をし、総論と各論とのリンケージを確認しながら講義を行う。

- (1) 国家補償（国家賠償法、損失補償）
- (2) 行政上の苦情処理
- (3) 行政上の不服申立（行政不服審査法）
- (4) 行政訴訟（行政事件訴訟法）

履修上の留意点

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教科書

原田尚彦『行政法要論』（学陽書房）

その他

塩野宏他編『行政判例百選Ⅰ・Ⅱ』第四版（有斐閣）

他履修科目
学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較憲法	にしおさむ 西修	経営A・経営B	4

講義のねらい

比較憲法は、世界の憲法動向を知り、日本国憲法を広い視野から眺めるという点で非常に大きな効用をもっている。本講義は、主要諸国のみならず、アジアや発展途上国の憲法をも対象にして、立体的に組み立てる。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね以下の内容になる。①比較憲法とは（研究の意義、比較の対象、方法、限界など）②主要諸国の憲法（アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、中国など）の概要、③アジアおよび発展途上国の憲法（韓国、北朝鮮、タイ、イスラム圏）の概要、④項目別の比較（平和主義、人権条項、有事対処、憲法改正など）。

履修上の留意点

①開講時にシラバスを配付するか、KOMSYに詳細を記載するので、よく読んでおくこと
②日本国憲法との関連で問題意識をもつこと ③私語は絶対に慎むこと ④途中からの入退室はしないこと。

成績評価の方法

①出席・レポート 30点 ②前期試験 30点 ③後期試験 40点。

教科書

年度内に作成の予定だが、コピーなどを配付する。

参考書等

- ①西修著『ここがヘンだよ！日本国憲法』（アスキー）2001年。とくにPART3「世界の憲法はこうなっている！」
- ②アルパート・ブラウスタイン著、西修訳『棋界の憲法—その生成と発展—』（成文堂）1994年
- ③西修著『憲法体系類型的研究』（成文堂）1997年

その他

授業中に試験をする可能性があるので、注意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
相続法	竹中智香	経営A・経営B	4

講義のねらい

民法典第五編「相続法」は第4編「親族法」と大きくリンクしていることから、前期に親族法を概説したうえで、後期で相続法の説明に入ります。親族法は、われわれにとって最も身近な家族生活を規制する法律であり、「家制度」の存在とその解体、高度・低度経済成長期やバブル前後の経済的变化、さらには少子化・超高齢化、女性の社会進出といったさまざまな社会の動向に影響を受けています。社会の変化に伴って生じてきた問題に対して、親族法がどのように対応しているかを、具体的な裁判例の紹介も交えながら、検討していきます。一方、後期に取り上げる相続法も、第二次大戦の敗戦後、戦前の家督相続が庶子均分共同相続へと変遷し、さらに近年、遺言制度の利用も増加するなど、著しく変化している分野です。本講義では、こうした変遷の内容とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

- [前期]
- (1) 家族法と財産法の相違と家族法の特徴、欧米家族法との比較とわが国の家族法の特徴
 - (2) 氏と戸籍、親族
 - (3・4) 婚姻：婚約、婚姻成立の要件
 - (5・6) 婚姻：婚姻の効果、夫婦財産制
 - (7) 婚姻解消
 - (8・9) 親子：実親子関係
 - (10・11) 親子：養親子関係
 - (12) 後見・保佐・補助、扶養
- [後期]
- (1) わが国の相続法の変遷とその背景
 - (2) 相続人
 - (3～5) 相続の効力：相続財産の範囲
 - (6) 相続の効力：相続分
 - (7) 相続の効力：遺産の共有
 - (8・9) 相続の効力：遺産分割、相続回復請求権
 - (10) 相続の承認・放棄、財産分離、相続人の不存在
 - (11・12) 遺言と遺留分

他
学
部
履
修
科
目

履修上の留意点

身近な問題を取り上げる分野とはいえ、難解なテクニカルタームが多用されています。講義を受ける際には、教科書の該当部分を読んだうえで、分からない文言を調べておくことが望まれます。

成績評価の方法

学年末の筆記試験の他、出席状況などの平常点も重視します。

教科書

有斐閣双書『民法 (8) 親族 [第4版増補版]』(有斐閣) 1,600円
有斐閣双書『民法 (9) 相続 [第4版増補版]』(有斐閣) 1,600円

参考書等

六法
久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選 [第5版]』(有斐閣) 2,200円
『法律学小辞典』(有斐閣) 4,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 法 制 史	きたの 北野 かほる	経営A・経営B	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066-1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造 封建制
 - 第3節 統治構造 封建制の解体
 - 第4節 法構造
 - 第3章 近世 (1350-1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

他学部
履修科目

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 米 法	きたの 北 野 かほる	経営A・経営B	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、判例法を中心に考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1章 法系
 - 第1節 近代法の法系
 - (1) 西洋近代法 (2) 二大法体系 (3) 大陸法系あるいはローマ法系
 - (4) 英米法系あるいはコモン・ロー法系
 - 第2節 イギリス法の特徴
 - (1) 一般的特徴 (2) 歴史的特徴
 - 第3節 英米法の分類
 - (1) 法域 (2) 法源 (3) コモン・ロー
- 第2章 英米法の特徴
 - 第1節 法内容の歴史性
 - (1) 歴史的連続性 (2) 法系としての特徴
 - 第2節 法観念の社会性
 - (1) 法の観念 (2) 法システムにおける裁判の位置 (3) 救済と権利
 - 第3節 法思考の実務性
 - (1) 総論 (2) 法曹一元
- 第3章 判例法の理論
 - 第1節 判例法
 - (1) 判例法 (2) 判決における法考察 (3) 判例法の考察
 - 第2節 判例法の理論
 - (1) 外枠 (2) 内実 (3) 先例性の判断
 - 第3節 制定法の解釈
 - (1) 制定法の位置づけ (2) 厳格な分離解釈の理論

他
履
修
学
科
目
部

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

望月礼二郎『英米法（新版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円
その他の参考書：年度当初に指示する。

そ の 他

試験準備には講義ノートが最も有効である。各自注意して出席し、ノートをとること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済法	わかばやしありさ 若林 亜理砂	経営A・経営B	4

講義のねらい

経済法の中心をなす独占禁止法を理解することを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持をになうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解できるように進める予定である。

講義の内容・授業スケジュール

以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不公正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

成績評価の方法

期末試験により評価を行う。

教科書

丹宗・厚谷編『新現代経済法入門（第2版）』（法律文化社）

参考書等

別冊ジュリスト『独禁法審決・判例百選（第六版）』（有斐閣）

その他

授業は毎回配布するレジュメに基づいて進めることとする（基本的には教科書に沿ったものとなる予定である）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際政治学	こほりのけお 小堀 訓 男	経営A 14以降入学生/経営B	4

講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生とともに考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業を進めたい。よって、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治史	うらたさなえ 浦田早苗	経営A	4
		14以降入学生/経営B	

講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

講義の内容・授業スケジュール

- ・近代の始点—ルネサンス期と18世紀
- ・英国革命とIRA
- ・ジャコバイトと英国王室
- ・議院内閣制の成立変遷過程
- ・英国における政治腐敗防止過程
- ・フランス革命と国家の概念
- ・フランス政治におけるジャコバン主義
- ・「後発国型近代化」の問題点—ドイツの場合—
- ・統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法

年5～6回となる出席点は学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した4問から2題出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方自治法	とみいゆきお 富井幸雄	経営A	4
		14以降入学生/経営B	

履修科目
他学部

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをききしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験(40%)と学年末試験(60%)で総合的に評価する。

教科書

原田尚彦『地方自治の法としくみ』(学陽書房) 2,000円

参考書等

『地方自治判例百選(第2版)』(別冊ジュリスト)。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』(良書普及会)は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』(岩波書店)、同他『概説日本の地方自治』(東京大学出版会)は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法(『地方自治小六法』(学陽書房)があるがポケット六法でよい。)は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較政治学	木暮健太郎	経営A	4
		14以降入学生/経営B	

講義のねらい

本講義の目的は、20世紀に発展をとげた比較政治学の諸理論を中心に考察を行い、各国の政治の類似点や相違点を明らかにするための視座を提供することである。それぞれの理論の解説を通じて、比較政治学のさまざまな理論が、現実政治を考察する上でいかに適応可能なのかという点についても言及する。政党システムや政治システムに関する代表的な理論から、討論型民主主義や電子民主主義といった近年の新しい理論まで、幅広くとり上げる。

前期（4～7月）は、比較政治学の基本的な前提について考察した後、政党システムをめぐる理論を中心に講義を進める。後期（9月～1月）は、現代世界の民主主義理論を中心に講義を進める。後期後半では、比較政治学と国際関係との関連性についても言及する。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）（1～2）イントロダクション。（3～9）政党システムと政党システムの規定要因。（10～12）政党システムの変化といくつかの事例。（13）前期まとめ。
（後期）（14～17）現代民主主義の基礎理論。（18～19）現代民主主義のタイプ。（20～22）新しい民主主義理論。（23～25）民主化と国際関係。（26）後期まとめ。

履修上の留意点

関連する他の科目と併せて履修することが望ましい。また、この科目に関連する情報を新聞やニュース、インターネットなどを通じて日常的に収集し、理解を深める努力を求めたい。

成績評価の方法

定期試験およびレポートの評価を総合して判断する。前期もしくは後期のいずれかを筆記試験とし、もう一方の学期をレポートとするような形態を考えている。

教科書

岩崎正洋『政党システムの理論』（東海大学出版会）2,800円

参考書等

河野勝・岩崎正洋編『アクセス比較政治』（日本経済評論社）2,500円

その他

講義形式を中心とする。

他履修科目
学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治論(1) (前期)	若松邦弘	経営A	2
		14以降入学生/経営B	

講義のねらい

市場と国家の対立、民主主義の保証と統治の改善、国際統合の進展など、西ヨーロッパの諸国が今日抱える政治上の課題を理解するために重要な枠組みについて概説的な講義を行います。各国の相違というより地域の共通性、個別の事象というより基底の構造を明らかにすることに重点を置きます。

講義の内容・授業スケジュール

以下のトピックを順に各1～2回の講義で扱います。
①ヨーロッパ政治をみる視点、②歴史的背景、③イデオロギーと政党グループ、④対外関係、⑤西欧における国際統合、⑥西欧の民主主義

履修上の留意点

現代政治は現実の問題であるため、新聞、国際ニュース、インターネットのニュースサイト等により、最新の国際ニュースに触れておくことが望まれます。参考書を随時紹介しますので、それらを含めた関係分野の文献を自発的に検索し、授業外での学習を進めることを期待します。また、高校の「世界史」の知識を前提に授業を進めますので、自信のない人は復習しておいてください。

成績評価の方法

学期末試験の結果を成績とします。

教科書

とくに指定しません。

参考書等

授業内で各トピックごとに参考書を紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治論(2) (後期)	わか まつ くに ひろ 若 松 邦 弘	経営A 14以降入学生/経営B	2

講義のねらい

議会政治の祖国であり、日本の政治制度にも大きな影響を与えてきたイギリスの政治を取りあげ、そのしくみを理解するために基礎となる見方を概説します。幅広く関心をもってもらうため、現代のイギリスを中心に講義を進めていきますが、表面的な知識の寄せ集めではなく、その裏にあるイギリス政治・社会の構造を理解してもらえよう期待しています。

講義の内容・授業スケジュール

以下のトピックを順に各1～2回の講義で扱います。
①「連合王国」の構成、②自由主義の歴史、③立憲体制、④議会、⑤行政機構、⑥政党制と選挙制度、⑦第二次大戦後の政治史

履修上の留意点

新聞、国際ニュース、インターネットのニュースサイト等により、最新のニュースに触れておくことが望まれます。また、参考書を随時紹介しますので、それらを含めた関係分野の文献を自発的に検索し、授業外での学習を進めることを期待します。

成績評価の方法

学期末試験の結果を成績とします。

教科書

とくに指定しません。

参考書等

授業内で各トピックごとに参考書を紹介します。

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代国家論	おお つか かつら 大 塚 桂	経営A 14以降入学生/経営B	4

講義のねらい

近年、政治制度の諸改革（1府12省庁、地方分権、規制緩和 etc）がすすんでいます。これにより、21世紀型国家が構築されたものと評価されています。ところで、第2次大戦後、新生日本国家がスタートしました。民主化の徹底、人権意識の高揚がはかられました。これにより、大日本帝国体制が清算されたと考えられています。しかし、果たしてそうといえるのでしょうか。明治国家のフレームワークは、今日にあっても直接間接に影響を与えていますし、その痕跡もはっきりと残っています。現代国家を理解するにあたっては、明治国家の構造を知ることが有益です。本講義では、明治国家における制度、思想、運動について究明していきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 国家論の課題 2. 幕末政治過程 3. 幕末政治思想（水戸学、国学） 4. 公議政体論 5. 太政官制・内閣官制 6. 大日本帝国憲法 7. 法典整備・司法制度 8. 統帥権・戒厳（令） 9. 地方官官制 10. 自由民権運動 11. 帝国議会 12. 財政制度 13. 教育勅語 14. 国家神道 15. 社会主義運動 16. 大正デモクラシー 17. 天皇機関説 18. 天皇制ファシズム 19. 統制経済 20. まとめ

成績評価の方法

受講生と相談の上で、以下のいずれかの方式によって単位を認定します。
A方式（レポートによる単位認定）～年4回の課題報告を提出してもらい成績を評価します。レポート作成を通して、読解力と書く能力を涵養します。
B方式（試験による単位認定）～中間、期末試験により評価します。
※なお、B方式のみ追・再試験を実施します。

教科書

大塚桂『明治国家の基本構造』（法律文化社）3,300円

参考書等

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）3,000円

その他

私の研究室は、第2研究館8階（2835）です。電話は3418-9377（直）です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語学	かた やま ほる かた 片 山 晴 賢	経営A 14以降入学生/経営B	4

講義のねらい

国語学というのは、日本語そのものを研究対象とする学問です。私たちが日常使用している日本語を、どのような過程を経て成立してきたのか、また、どのようなメカニズムを持っているのか、といった視点から分析していきます。

講義の内容・授業スケジュール

まず、日本語の特徴を概観し、それから、音声・音韻・文字・語彙の各方面から概説します。なお、概要は次の通りです。

- ・音声/音韻：どの器官を使って声をだしているのか
どのように声を作っているのか
音声をどのように表記するのか
アクセント・イントネーション・プロミネンスとは何か
- ・文字：漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字の成立と変遷
仮名遣いの諸問題
- ・語彙：語彙の種類とその特徴

履修上の留意点

授業には、受身でなく、自ら考え、分析し、発表するという態度で臨むこと。

成績評価の方法

筆記試験の結果/授業態度（出席）/課題の提出状況

教科書

適宜プリントを配布します。
春日正三・古瀬順一・輝博元・川口明美著『国語学概説』（双文社出版）1,800円

参考書等

その都度指示します。

他履修科目
学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語史	はつ とり りゅう たろう 服 部 龍 太 郎	経営A 14以降入学生/経営B	4

講義のねらい

各時代の資料により、国語の様相を具体的に確認することによって、国語の歴史を概観する。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) 概説 (2~4) 上代語 (5~8) 中古語 (9~11) 中世語 (前期)
(12・13) まとめ
(後期) (14~17) 中世語 (後期) (18~20) 近世語 (前期)
(21・22) 近世語 (後期) (23) 近代語 (24) 現代語
(25・26) まとめ

成績評価の方法

試験やレポート、受講状況等によって判断する。

教科書

適宜プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
女性史	高嶋めぐみ	経営A 14以降入学生/経営B	4

講義のねらい

日本古代・中世・近世・近代・現代の家族・婚姻の具体像を探りながら女性の生き方を考える。また新聞などの記事・統計をもとに、現在わきあがっている女性周辺のさまざまな問題について考察していく。

講義の内容・授業スケジュール

時代を①原始古代②中世③近世④近代⑤現代に分け、各時代の社会、家族、そして女性の社会的地位の変遷などについて実態面および法的側面などから講述していく。

履修上の留意点

講義に集中すること。他人を思いやり、迷惑をかけないこと。

成績評価の方法

総合評価 (①出席、受講の状況②レポートまたは試験)

教科書

特に指定はしない。

参考書等

講義内容と関連して、適宜指示する予定。

その他

ビデオ・OHP など適宜使用する予定。

履修科目
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化概論	菌部幹生・井上優 佐藤憲昭・内藤寿子 藤田和美	経営A 14以降入学生/経営B	4

講義のねらい

「タブー」(taboo) を共通のテーマとして、下記のような日程と担当者によって、それぞれの専門とする立場からアプローチがなされる。

講義の内容・授業スケジュール

以下に示す日程にしたがって授業を進める。講義の内容をはじめとするその他の詳しいことからは、各担当者により指示があるのでそれにしたがうこと。

本年度の日程と内容は以下の通りである。

◎4月14日(水) オリエンテーション

- ① 文学とタブー 《4/21、4/28、5/12、5/19、5/26、6/2 (6回)》
- ② タブーと宗教 《6/9、6/16、6/23、6/30、7/7、7/14 (6回)》
- ③ メディアとタブー 《9/22、9/29、10/6、10/13、10/20、10/27 (6回)》
- ④ 慣習のタブー 《11/10、11/17、11/24、12/1、12/8 (5回)》

◎12月15日 まとめ

◎1月8日 レポート提出(資料室)

菌部幹生
井上優
佐藤憲昭
内藤寿子
藤田和美
菌部幹生
菌部幹生

履修上の留意点

最初の授業時(4/14)にオリエンテーションを行うので、受講者は必ず出席すること。

成績評価の方法

レポート及び出席状況等により評価する。

教科書

各担当者より指示する。

参考書等

各担当者より指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特殊研究	小林 治・鈴木 裕子 園部 幹生・松田 直行	経営A	4
		14以降入学生/経営B	

講義のねらい	「音」をテーマとして、下記の日程と担当者によりそれぞれの立場からの考察がなされる。
講義の内容・授業スケジュール	各担当者から、その都度指示があるので、それに従うこと。本年度の内容と日程及び担当者は、次の通りである。 ① 近現代文学の中の音と音楽〈4/15. 4/22. 5/6. 5/13. 5/20. 5/27. 6/3〉小林治 ② 説話文学における音〈6/10. 6/17. 6/24. 7/1. 7/8. 7/15〉園部幹生 ③ 歌の近代史～J-POPへの道程 〈9/16. 9/30. 10/7. 10/14. 10/21. 10/28. 11/4〉松田直行 ④ 王朝人が聞いた「音」—古代の物語と日記から— 〈11/11. 11/18. 11/25. 12/2. 12/9. 12/16〉鈴木裕子
履修上の留意点	最初の授業時(4/15)にオリエンテーションを行うので、受講生は必ず出席すること。
成績評価の方法	レポートおよび出席状況等により総合的に評価する。
教科書	担当者により指示する。
参考書等	授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
古典戯曲演劇	岡田 万里子	経営A	4
		14以降入学生/経営B	

講義のねらい	テーマ：歌舞伎と日本文化論 日本の古典劇のひとつにかぞえられる歌舞伎は、今日まで、いわゆる日本論、日本人論、日本文化論に、日本人のエトスの表象として引用されてきました。本講義は、履修者に対する歌舞伎へのガイダンスではありますが、歌舞伎を高尚な趣味として鑑賞するのではなく、歌舞伎、さらには歌舞伎に託されたいわゆる「日本文化」を対象化し、分析、批判的に考察することを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	歌舞伎を用いた日本文化論を講読します。関連する舞台のビデオ鑑賞や戯曲講読を通して理解を深めた上で、討議を行っていきます。
履修上の留意点	履修前の歌舞伎に関する予備知識は問いませんが、履修後は積極的に歌舞伎を含む古典芸能を鑑賞してほしい。土日あるいは夜間を利用して、団体鑑賞の機会を設けます。
成績評価の方法	前期および後期末のレポートと授業への貢献度などを総合的に勘案します。
教科書	河竹登志夫『舞台の奥の日本—日本人の美意識』（ティービーエスブリタニカ）新装版2000年7月、1,500円 ISBN4484002132、このほかの講読資料はコピーを配布します。
参考書等	教場において指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
メディアと表現	まつ松 だ田 なお直 ゆき行	経営A 14以降入学生/経営B	4

講義のねらい

マルチメディア社会における多様な表現形態の全体像を俯瞰するとともに、実際の表現現場における仕事の具体性に触れることによって、メディアと表現の現在を多角的に考察する。

講義の内容・授業スケジュール

担当者からのガイダンスと総論の講義のあと、現在様々なメディアと表現にかかわる分野で、実際に仕事をされている方々を毎回ゲストとしてお招きし、現場の具体的な状況についてのお話をうかがう特殊形態授業となる。ゲストのスケジュールは初回の授業で発表するが、1人1回から3回で交代し、テレビ局、広告代理店、出版社、通信会社、映画・演劇・音楽関係、俳優ほか、できる限り多様な職種の方々をお招きしたい。

履修上の留意点

受講希望者が教場の定員を越える場合は、他学部履修生については抽選とすることもある。初回の授業でガイダンスと受講生の確認を行うので、必ず出席すること。

成績評価の方法

学年末の定期試験期間中に提出していただくレポートによって採点する。それ以外に、適宜提出していただく小レポートにより、出席を確認する。

教科書

指定しない。

参考書等

教場で適宜指示する。

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語（前期）	おか岡 もと本 まこと誠	経営A 14以降入学生/経営B	4

講義のねらい

「時事英語」なる英語があるわけではない。英語でしいて言えば”Current English”ということになる。文学作品でお目にかかるような構成や文体のものではないわけである。メディアの英語と考えてよい。

小説やドラマには起承転結というか、順を追ってプロットが展開され、終りに近くなってクライマックスに達する。時事英語では、これとは逆に、最初に話の内容を全部さらけ出し、重要な点から説明していく。この最初の部分を lead という。

かくして、内容の構成や文体の点で新聞・雑誌・放送といったメディアで接する英語についてはそれなりの認識が必要となる。本講義ではそういった分野の英語にふれることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

その日の朝のアメリカからの短波放送のニュースを聴き、そのニュースキャスターの原稿を作ってみる。インターネットも利用した内外の新聞やNewsweekなどの記事も併用する。受講する諸君はこの分野の語法である journalese に親しみ、新聞英語ぐらいは読み慣れるようにしてほしい。

履修上の留意点

世界の政治・経済の動きに注意を払ってほしい。それが社会の事象に対して問題意識をもつことに通ずる。こういう態度はいよいよ社会人になるときにモノを言う。講義中にケータイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

受講中の発表。小テスト。出席情況。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

『時事英語講座』（研究社）

履修科目
他学部

IV 「日本語」・「日本事情」科目



〔日本事情〕
〔日本語〕

IV. 「日本語」・「日本事情科目」

(対象：外国人留学生・海外帰国子女)

《日本語科目》

日	本	語	I	〈佐野典子〉	423
日	本	語	I	〈多田羅哲子〉	423
日	本	語	II	〈佐野典子〉	423
日	本	語	II	〈多田羅哲子〉	424
日	本	語	III	〈多田羅哲子〉	424
日	本	語	III	〈湯村礼子〉	425
日	本	語	IV	〈石川守〉	425
日	本	語	IV	〈湯村礼子〉	425
日	本	語	V	〈石川守〉	426
日	本	語	V	〈多田羅哲子〉	426
日	本	語	VI	〈石川守〉	427
日	本	語	VI	〈多田羅哲子〉	427

《日本語科目》

日本事情 I	〔地理〕	(前期)	〈高橋健太郎〉	428
日本事情 II	〔自然〕	(前期)	〈清水善和〉	428
日本事情 III	〔歴史〕	(後期)	〈浅倉直美〉	429
日本事情 IV	〔思想〕	(前期)	〈赤羽由規子〉	429
日本事情 V	〔社会〕	(後期)	〈川本勝〉	430
日本事情 VI	〔政治・法律〕	(後期)	〈三竹直哉〉	430
日本事情 VII	〔文学〕	(後期)	〈近衛典子〉	431
日本事情 VIII	〔文化・芸術〕	(後期)	〈赤羽由規子〉	431
日本事情 IX	〔経済〕	(前期)	〈吉田敬一〉	432
日本事情 X	〔経営〕	(前期)	〈永田智則〉	432



「日本事情」
「日本語」

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 I	佐野典子	経営A	2

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 I	多田羅哲子	経営A	2

講義のねらい

常用漢字の読み方を中心に日本語の知識を強化する。
漢字の正確な読み、語彙の様々な意味・使い方、表現等を知ること、日本での生活および専門教科の学習に役立つ日本語の知識を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- ・まず常用漢字を基本とした語句の読み方を覚え、様々な使い方を知る。
- ・それらを使った例文を通してかたい文章を読むことにも慣れる。
- ・また用例から助詞・機能語・慣用表現・文法等の復習もする。

成績評価の方法

平常点（出席、授業への参加度、小テスト）および期末テスト等で総合的に評価する。

教科書

プリント教材（常用漢字を基本とした語彙集、および文科系教科の概論・入門書・新聞等から抜粋した例文集）を配布する。

「日本語
日本事情」

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 II	佐野典子	経営A	2

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、前期は、日本の映画を中心に、日本語を勉強する。後期は、同じテーマを持った、外国の映画との、比較を通して、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 II	多田羅 哲 子 <small>たたら あきこ</small>	経営A	2

講義のねらい

- 話すことを中心に日本語の運用能力を養う。
- ・教室活動を通して正しく適切な表現を用いて言いたいことが自由に話せるようになることを目指す。
 - ・発音、アクセント、イントネーション等、自分の日本語を自分で見直し矯正する習慣をつける。
 - ・短時間で文章が書けるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・説明、意見・提案などのスピーチ、その内容について質疑応答・意見交換・討論、ディベートなどを行う。
- ・テープで自分が話した日本語を聞く。
- ・話の内容、感想、意見などを限られた時間内で文章にまとめる。

履修上の留意点

授業活動が大切なので毎時間出席すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教 科 書

必要に応じてコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 III	多田羅 哲 子 <small>たたら あきこ</small>	経営A	2

講義のねらい

- 聴きとることを中心に日本語の総合的能力を養う。
- 話題になっていることについて日本語で聞き取り、その内容や自分の考えを口頭および文章での確に表現できるようになることを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・今話題になっているテーマについてビデオを使って内容を把握し、必要に応じて細部まで理解する。
- ・その内容を口頭で説明したり自分の考えを述べたり討論したりする。
- ・また、書き言葉でも表現する。

履修上の留意点

必ず出席し、授業に積極的に参加し毎時間提出物を出すこと。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教 科 書

ビデオを使用。プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ	湯村礼子	経営A	2

講義のねらい

これまで修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようにする。さらに、文献を通して、考え、意見を持ち、発表・説明ができるようになることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・文学作品・専門書などから教材を選び、読む。読んだ後に、意見を出し合い、討論を行ったりし、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。後期は、各自分担を決めて、調べたり資料を収集したりして発表を行なう。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

テスト（漢字・語彙テストなど）、小レポート、授業での発表、その他の授業活動（発言、他の人の話の聴き方、授業態度など）を総合的に評価する。

教科書

授業中にプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅳ	石川守	経営A	2

講義のねらい

日本の多くのことわざのもとになっている「いろはかるた」を使って日本語の中上級の文法・表現・文法・アクセントなどを勉強していく。

講義の内容・授業スケジュール

- 本年度は、「ぬ」から行っていくことにする。
1. 「盗人の昼寝」
 2. 「糠に釘」
 3. 「瑠璃も玻璃も照らせば光る」
 4. 「類をもって集まる」
 5. 「老いては子に従う」

履修上の留意点

受身の立場ではなく、できるだけ発言することが望ましい。

成績評価の方法

授業へのとりくみ（出席と授業への参加態度）と期末試験等で総合的に評価する。評価の比率は、50：50ほど。

教科書

授業中にプリントを配布する。

参考書等

特になし。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅳ	湯村礼子	経営A	2

講義のねらい

書くことを中心に授業を進める。大学生活に必要な文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

文・段落・文章の書き方、文章の種類などについて講義、そして実践し、原稿用紙に書く。書いたものを再度見なおす。

履修上の留意点

講義・授業中の活動が重要なので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

作文（5回程度）
授業活動（発言、授業態度、提出物など）

「日本語」
「日本事情」

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 V	いし ^{かわ} ^{まもる} 石川 守	経営 A	2

講義のねらい

日本語の「基礎文法」についてより深く理解するために詳しく分析し、そこに潜む日本語文法の特徴を考え、ひいては話し、聞き、書き、読む際により正確に深く日本語が理解できるようになることを目指したい。したがって、基礎的な文法に特に自信のない学生に受講してもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は、自作プリントを使って、そこに出てくる項目を中心に、ともに考え分析しながら進めていきたい。始めは、呼称からはじめ、指示詞、場所関係の表現、形容詞・形容動詞、テンスとアスペクト、依頼、などの順で進んでいく。

履修上の留意点

扱う学習項目は主に初級文法であるが、文法的な問題は、基礎的なものほど難しく、また深く掘り下げて分析して行くので、内容は単なる初級であると考えないでほしい。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度・態度など＝質問への答え）の二つで評価する。比率は50：50ぐらいである。

教科書

教材は、授業中にプリントを配布する。

参考書等

特になし

その他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行なっていく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 V	た ^{たら} ^{あき} 多田羅 哲 子	経営 A	2

講義のねらい

来日後間もない人を対象に、日本で生活する上で必要な基本的日本語を中心に、総合的に学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

初中級レベルからスタートし、話すことを中心に進める。また、聞く、必要に応じて読み・書き（漢字）も練習する。

履修上の留意点

出席して、積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

平常点を中心に判断する。

教科書

後日、授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI	いし かわ まもる 石川 守	経営A	2

講義のねらい

日本語 V で学習した基礎文法の残りを学習していく。

講義の内容・
授業スケジュール

日本語 V で学習した内容は引き続き、更にその残りの文法と中上級全般とのかかわりを中心に講義を進めていく。

主たる項目は以下の通りである。

- ・目的の表現
- ・試みの表現
- ・条件の表現 「と」「たら」「なら」
- ・原因・理由の表現
- ・逆接の表現
- ・依頼の表現
- ・使役の表現と用法
- ・受身の表現
- ・自動詞と他動詞
- ・使役の受身
- ・～てしまうの用法
- その他

順番は必ずしも上の通りとはならない。

履修上の留意点

授業は学生への質問という形をとって進めていくので、積極的に発言すること。

成績評価の方法

期末試験の成績と平常点（出席、授業態度＝授業への参加度）、比率は50：50ほど。

教科書

コピーを配布する。

参考書等

随時、教室で指示する。

その他

特になし。

「日本語」
「日本事情」

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI	たたら あき こ 多田羅 哲子	経営A	2

講義のねらい

- ・読解能力を向上させる。
- ・文章を読むことを通して、文法や適切な表現・語彙の使い方を確かめ、表現力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・さまざまな種類の文章を、自分で調べながら読んでいく。
- ・そこに出てくる表現、語彙の使い方、文法などを確かめ、必要なものについてはより適切に使えるよう練習する。

履修上の留意点

出席するだけでなく、授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点と筆記試験

教科書

プリント配布

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 I (前期) 〔地理〕	たか はし けん たろう 高 橋 健太郎	経 営 A	2

講義のねらい

空間的側面と関連づけて、人々の生活や地域社会の仕組みと変化について考えるという人文地理学の視点から、日本の諸地域に対する理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の文化や人々の生活、地域社会の取り組みについて、主に以下の項目について検討する予定である。◇日本の地域性、◇農山村の生活と地域振興、◇都市の構造、◇観光開発、◇地図と地名。

また、日本の地域的な特徴についての理解を深めてもらうために、統計資料の計算や地図作りなどの作業も取り入れる。

履修上の留意点

第1回目に授業の案内を行うので必ず出席のこと。

成績評価の方法

頻繁に教場で作成してもらう小レポートと学期末の筆記試験で評価。

教 科 書

使用しない。授業中にプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 II (前期) 〔自然〕	し みず よし かず 清 水 善 和	経 営 A	2

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わせり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。

本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物の4章に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1)アジア全体の自然の中に日本を位置付ける、(2)現在の状態と過去の歴史とのつながりを重視する、(3)自然と日本人の生活、文化との関わりにも注目する。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることにより、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。なお、日本の自然破壊の歴史や自然保護のあり方等についても適宜言及する。

講義の内容・
授業スケジュール

第I章 位置

1. 国土の範囲 2. 行政区分 3. 位置の特徴

第II章 気候

1. 気候帯 2. 日本近海の海流 3. 気候の特徴 4. 気団と季節 5. 気象観測
6. 気候と文化

第III章 地質・地形

1. 弧状列島 2. 変動の歴史 3. 多様な地形 4. 火山 5. 地震

第IV章 生物

1. 気候帯と植生帯 2. 生物多様性 3. 生物地理区 4. 里山の生物 5. 帰化生物

第V章 自然保護の諸制度

1. レッドデータブック 2. 国内の法律 3. 国際条約

成績評価の方法

レポート(2回)と出席回数に基づいて評価する。

教 科 書

講義のアウトラインを記したweb版教科書(清水執筆)を紹介する。

参 考 書 等

web版教科書で分野ごとの参考書を紹介する。

そ の 他

必要な図表をまとめた補助教材のプリントを適宜配布する。講義は日本語で行い、板書には漢字も使用する。漢字にはできるだけ読みがなをつける。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅲ(後期) 〔歴史〕	あき くら なお ろ 浅 倉 直 美	経営A	2

講義のねらい

日本の歴史を学ぶにあたって、とくに日本史上の大変革期である16世紀から17世紀前半を取り上げ、テーマを設けて、日本の諸事情および朝鮮半島・中国大陸と日本との関係について考えていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 京と江戸
- (2) 織田信長と室町幕府の滅亡
- (3) 豊臣秀吉と天下一統
- (4) 城
- (5) 中世後期の文化
- (6) 古文書
- (7) 徳川家康と江戸幕府
- (8) 環日本海と鎖国
- (9) 江戸の大手と長屋
- (10) 江戸の町人文化 など

成績評価の方法

出席日数を評価の参考とし、レポートを提出してもらいます。

教科書

随時プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅳ(前期) 〔思想〕	あか ぼ ゆきこ 赤 羽 由 規 子	経営A	2

講義のねらい

日本人が古くから伝承してきた民族音楽の中に、日本人の精神世界を見ていく。
民族音楽とは、古来、人々が生きていく上で、衣食住と同じように必要としてきた音楽で、それは、例えば信仰、祭り、作業、遊びなどに伴う形で存在している。ほとんどは作者不詳であり、楽譜もなく、普通の人々の間で口頭伝承されていく性質のものである。テープやビデオを用いて、実際に音楽を視聴しながら講義を進めていきたい。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参考書等

その都度知らせる。

「日本語」
「日本事情」

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅴ(後期) 〔社会〕	かわもとまさる 川本勝	経営A	2

講義のねらい

日本社会にはどのような特質があるかを考えてみたい。情報化が進出し日本社会は変貌している。それにともない、日本人の人間関係、社会的行動、社会生活も変化してきている。それらの様相と問題点を検討してみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 変貌する日本の社会－都市化社会、高度情報社会の出現－
2. 生活環境の変容と生活行動－情報環境の変容と情報行動を中心として－
3. 新しい時代の人間関係と社会生活
4. まとめ－日本社会の特徴とは何か－

履修上の留意点

講義内容に関連する社会事象を見つけて発表してもらいます。さまざまな社会問題等に関心を持つよう心がけ、積極的に参加、発言することが望まれる。

成績評価の方法

授業時間内での発表等の平常点とレポートによって評価する。

参考書等

その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅵ(後期) 〔政治・法律〕	み たけ なお や 三竹直哉	経営A	2

講義のねらい

この授業は、留学生のみなさんとともに、日本の政治について、楽しく考える授業です。

講義の内容・
授業スケジュール

授業の内容は、最初の回に、履修するみなさんにアンケートをとり、みなさんが、日本政治のどの点に興味や疑問をもって、どういうことを授業でディスカッションしたいかを把握してから決めます。

人数にもよりますが、みなさん自身で、日本の政治について、調べてきてもらったり、発表してもらったりすることもあります。

履修上の留意点

辞書を使いながらでよいので、日本語で新聞を読めること、また、日本語で政治についてディスカッションできることを前提条件とします。また、口頭から、日本の新聞やテレビで、日本の政治についての情報に接していることも条件とします。

成績評価の方法

平常点（発言点など）と期末試験を総合して素点を出します。

教科書

今のところ使う予定はありません。

参考書等

適宜、授業中に紹介します。

その他

たくさん発言してください。
最新情報は、下記のホームページで確認してください。
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅶ(後期) 〔文学〕	このえのりこ 近衛典子	経営A	2

講義のねらい

本講義は、日本語を母語としない留学生を対象に、問題発見能力の涵養と、日本文学・日本語に対する理解を深めることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

日本文学作品を読み進めながら、年中行事、日本の美意識の変遷、文学と絵画の関係など、幅広く日本文化のあり方を考える。各自がテーマを選定し、調査研究して発表する、という方法で授業を進める。

履修上の留意点

受身でなく積極的な姿勢で臨むこと。第1回目にオリエンテーションを行うので、必ず出席すること。

成績評価の方法

出席・提出物・発表・授業態度

教科書

その都度指示する。

参考書等

その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅷ(後期) 〔文化・芸術〕	あかばゆきこ 赤羽由規子	経営A	2

講義のねらい

いわゆる「伝統邦楽」といわれている、日本の古くからの和楽器による音楽や芝居の中に、日本人の義意識を探っていく。

また、日本の伝統音楽は、そもそもアジア諸国の音楽を学ぶことから始まり、そこから次第に日本人に合った独特のものを生み出していったのであり、更に明治以後には西洋音楽からも多くの触発を受け、戦後には「現代邦楽」を目差している。そのような過程をも合わせて見て行きたい。テープやビデオを用いて、わかりやすく講義を進めていく。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参考書等

その都度知らせる。

「日本語」
「日本事情」

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 Ⅹ (前期) 〔経済〕	よし だ けい いち 吉 田 敬 一	経営 A	2

講義のねらい

第2次世界大戦に破れ、廃墟の中から経済復興に挑戦し、80年代には「Japan as No.1」と称されるに至った経済発展の秘密を、できるだけ分かりやすく説明し、留学生諸君が母国に帰った後で役に立つ経済的知識を身につけてもらうことが、この講義の目的です。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 日本経済入門の入門
- II 戦後日本の高度経済成長の秘密
- III 経済大国日本とバブル景気
- IV 空洞化問題に苦しむ日本
- V 21世紀の日本経済の課題

履修上の留意点

難しい経済学の予習・復習は必要ありませんが、日々の経済動向に対する鋭い感受性を磨くことが必要です。そこで受講生は、新聞やテレビの経済報道に関心を持つことが望ましい。

成績評価の方法

定期試験とレポートで評価します。再・追試験は実施しません。

教 科 書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。必要に応じてプリント資料を配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 X (前期) 〔経営〕	なが た とも のり 永 田 智 則	経営 A	2

講義のねらい

いかなる国も海外との交易を遮断して経済を発展させることはできません。この視点から本講義では、日本の貿易に焦点をあて、東アジア経済の変貌と日本経済について概説します。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1. 日本経済と国際貿易、
- 2. 為替変動と日本経済、
- 3. 東アジア経済の発展と日本の貿易構造、

履修上の留意点

授業では講義に関連する世界の出来事を取り上げ、ディスカッションの場を設けます。活発に発言し積極的に授業に参加することを期待しています。

成績評価の方法

課題レポートを参考に、授業への出席を重視して平常点で評価します。

教 科 書

教材は、プリントを配布します。

参 考 書 等

適宜紹介します。

経営学科フレックスB

第 2 部 経 営 学 科

I 全 学 共 通 科 目

1. 宗 教 教 育 科 目

宗教教育

1. 宗教教育科目

仏教と人間〈四津谷 孝道〉	441
仏教と人間〔再クラス〕	
仏教と人間〔再クラス〕〈皆川 広義〉	442
仏教と人間〔再クラス〕〈熊本 英人〉	443
仏教と人間〔再クラス〕〈松本 史朗〉	443

宗教教育

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	よつや こう どう 四津谷 孝 道	経営B1必	4
仏教と人間〔再クラス〕		経営B2・3・4年	

講義のねらい

受講生諸君は、今後少なくとも4年間の大学生活において、様々な機会に仏教というものに接することとなるであろう。そのような機会のひとつであるこの授業において、「仏教と自分との接点を探る」という営みの端緒を見い出してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

この授業においては、仏教が現代社会の諸問題に対して如何に関わっているかをできるだけわかりやすく説明してゆきたい。まず、仏教というものを「文明の発展」という脈絡の中で理解し、更に他の宗教、特にキリスト教やイスラム教等との比較の中でその宗教としての特色を浮き彫りにする。そして、現代社会の諸問題、特に「死」を巡る様々な問題に仏教をはじめとする諸宗教がどのように対処しているかについて検討を加えてゆきたい。その他、「環境問題と仏教」、「仏教にみられる女性差別」等のテーマも扱ってみたい。

履修上の留意点

授業において、小作文を書いてもらうことがある。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

特になし。必要な資料等は、授業において随時配付する。

参考書等

授業において随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間 〔再クラス〕	みな がわ ひろ よし 皆 川 広 義	経営B2・3・4年	4

講義のねらい

仏教の開祖・釈尊（おしゃかさま）の生涯と教えを学ぶことによって、現代に生きる私たちの人間としての道を学んでゆきたい。

釈尊は、約2500年まえ、インドのヒマラヤ南麓にあった釈迦国の皇太子として生まれた。彼は、青年時代までは幸せな人生を歩んでいたが、ある日身近にいる人々の老病死の苦悩をみて、自分もいつかはあのような一大事に直面することを自覚させられた。

釈尊は、その生死の苦悩から解脱して、安心と生きがいを求めて、沙門という宗教者になられた。沙門は、樹下石上に生活し、三衣一鉢しか所有しないで、道を求める宗教者であった。彼は幸いにも六年の修行の後に、菩提樹下で座禅瞑想中に悟りを得て、生死の苦悩からの解脱道を発見せられた。人間が、なんのために生まれ、成長し、そして老い、病にたおれ、死してゆくのかという人生の目的をも悟られたのである。

釈尊は、悟りを得てから45年間、八十歳で亡くなるまで、自分が悟り発見した生死の苦悩からの解脱道と人生の目的とを、多くの苦悩に打ちひしがれている人々に伝道されたのである。

本学は、曹洞宗がこの釈尊の教えにもとづいて設立した大学であり、この『仏教と人間』の講義を通して、各自がおのれの人間としての道を学びとっていただきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめに、人間と宗教について、社会学、心理学、宗教学、仏教などをふまえて、わかりやすく語りたい。

次に、釈尊の生涯と教えを考察し、彼の宗教の成立とその教えへの世界へのひろがりについて述べる。

結びに、仏教の教えを通して、私たちがなんのために生まれ、成長し、老病死してゆくのか、つまり、人生の目的について、各自が自分の問題として明らかにできるようにしてゆきたい。

I 人間と宗教

- 1 現代人の意識と行動
- 2 世界の宗教状況
- 3 我國の宗教と問題点
- 4 有所得の宗教と無所得の宗教
- 5 人間存在の有限性 生老病死

II 仏教 仏教の開祖 釈尊の生涯と教え

- 1 釈尊の国インドと時代
- 2 誕生と成長
- 3 出家求道 沙門の道
- 4 菩提樹下の悟り 自己の真実 生命
- 5 初めての説法 釈尊の教え ①縁起説 ②血諦説
- 6 45年の伝道
- 7 沙羅双樹下の入滅
- 8 弟子たちによる仏教の誕生
- 9 釈尊仏教の世界へのひろがり

III 人生の目的

私たちは、なんのために生まれ、成長し、老い、病にたおれ、そして死してゆくのか。

履修上の留意点

積極的に聴講し、学習することを希望する。

宗教教育科目の「仏教と人間」は、本学がほこりうる講座であり、この授業を通して他大学ではなかなかなし得ない人間の陶冶と人格の完成をなしとげて、豊かな人生をつくりだしていただきたい。

成績評価の方法

聴講態度（出席率など）、レポート、年度末の定期試験などによって、総合的に評価する。

参 考 書 等

奈良康明『仏教と人間』（東京書籍）1,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	くまもと 熊本英人	経営B2・3・4年	4

講義のねらい

仏教の教えと歴史を知ることによって、自分にとって宗教とは何かを考える。

講義の内容・
授業スケジュール

仏教に限らず、宗教は、社会の変容と相互関係をもって展開してきた。ブッダの伝記や仏教史上の事件、人物などのなかから、現代につながる話題を取り上げて解説していく。
日本人は、なぜ宗教に無関心なのか。実は、意識していないだけで、日常生活の中で宗教的要素に囲まれて生きている。仏教を学ぶことによって、宗教に対する無関心、無自覚の持つ問題を考えてもらいたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	まつもと しろう 松本史朗	経営B2・3・4年	4

講義のねらい

本学の建学の理念である「仏教の教義と曹洞宗立宗の精神」を学生諸君に理解してもらうことが、この講義のねらいである。従って、仏教とは何か、それは人生において如何なる意味をもつのかを、分かりやすく説明したい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は、仏教成立以前のインド思想から始めて、仏教の開祖である釈尊の思想、さらに大乘仏教の教典の思想、及び、日本仏教の思想の説明へと進みたい。

成績評価の方法

年度末の試験によって、成績を評価する。

教科書

松本史朗『仏教への道』（東京書籍）1,400円

宗教教育

2. 教養教育科目

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、
フレックスAの頁を参照してください。(→P. 23)

教養教育

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

宗教学〔聖と俗〕〈菅原壽清〉	449
宗教学〔比較宗教文化〕〈田中かの子〉	450
文学〔日本文学「古典」〕〈田中伸作〉	450
文学〔日本文学「近代」〕〈保明陽子〉	451
歴史学(1)〔日本近代史〕〈林彰〉	451
歴史学(2)〔中国史概観〕〈小林惣八〉	452
歴史学(3)〔アジア史概観〕〈小林惣八〉	452
哲学〔西洋思想の源流〕〈河谷淳〉	452
哲学〔近代の人間観と世界観〕〈伊古田理〉	453
哲学〔現代文明と人間〕〈鈴木聡〉	453
論理学〔科学方法論と現代論理学〕〈伊古田理〉	454
論理学〔科学方法論と現代論理学〕〈麻生享志〉	454
倫理学〔現代と倫理〕〈古田知章〉	455
倫理学〔人生と倫理〕〈末木恭彦〉	456
教育の思想〈伊藤茂樹〉	456
教育と社会〈伊藤茂樹〉	457
発達と学習の心理学〈川田三夫〉	458
カリキュラムと学習〈川田三夫〉	459

(2) 社会分野

法学・憲法〔法と権利〕〈鷓徳啓登〉	460
法学・憲法〔法と社会生活〕〈長谷川日出世〉	460
社会科学論〔社会認識の思想〕〈枝松正行〉	461
社会学〔現代社会を考える〕〈呉炳三〉	462
社会学〔現代文化を考える〕〈橋爪敏〉	462
統計学〔社会現象の統計的決定〕〈新行内康慈〉	463
文化人類学〔文化と人間〕〈川上新二〉	463
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕〈杉井純一〉	464
政治学〔政治システムと政治参加〕〈清滝仁志〉	465
政治学〔国際社会と日本〕〈山村恒雄〉	466

(3) 自然分野

心理学(1)〔ヒューマン・ウォッチング〕〈鈴木順一〉	467
心理学(2)〔人間関係を考える〕〈鈴木順一〉	468
生物学〔生態と進化〕〈清水善和〉	469
生物学〔生物と環境〕〈中村敏枝〉	470
地球科学〔地球環境の現在・過去・未来〕〈山縣毅〉	471
地球科学〔変動帯としての日本列島〕〈藤井享〉	472
自然環境論〔宇宙から見た地球環境〕〈篠原正雄〉	473
自然環境論〔環境と保全〕〈山縣毅〉	474
情報数学〔情報と論理〕〈小沢誠〉	474

教養教育

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 〔聖と俗〕	すが 原 とし きよ 菅 原 とし きよ	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠であると思われます。そこで、本講義では「聖と俗」というテーマで、人びとの暮らしと宗教について、その宗教的営みを宗教人類学の視点からとらえてみたいと思います。

授業は講義形式とし、前半は宗教学・宗教人類学についての基礎的な講義を、後半はこれまで私が調査してきた東南アジアや中国雲南などにおける人々の暮らしや宗教（スライド使用）を事例としながら聖と俗の問題、さらには日本人の生死観、宗教と現代社会との関わりなどについても考えてみたいと思います。

講義の内容・ 授業スケジュール

〈宗教人類学入門〉

- 1、宗教と宗教人類学（宗教をとらえる視点）
- 2、宗教人類学の研究領域（多様なアプローチ）

〈宗教の多様性〉

- 3、さまざまな宗教形態（その多様な形態）
- 4、宗教の分類方法（現代の分類方法）

〈聖なるコスモロジー〉

- 5、聖と俗
- 6、東南アジア・中国雲南の人びとの暮らしと宗教
- 7、シャーマニズム
- 8、日本人の生死観

成績評価の方法

試験＋出席点＋レポート点（詳細は、講義の時説明）

教科書

指定なし。

参考書等

『宗教学ハンドブック』（世界書院）

その他

ビデオ・スライドなども使用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 〔比較宗教文化〕	たなか のこ 田 中 かの子	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

「～教」という名称に慣れていると、あたかもそれが視えない壁をなして他宗教との境界をつくっているかのように思えてくる。けれども諸宗教のおこなわれている現地に行ってみると、そこには「～教徒」である以前の、「人間」として限りある生命（いのち）をまっとうするための様々な生き方がみられ、宗教の多様性よりもはるかに個性豊かで、意外性に富んでいる。宗教文化は、そのような「人間」の諸相を信仰生活によりまとめあげるものであるが、共に生きる信仰の異なる人々との交流をとおして伝播する思想の影響力は測りがたく、実際の「～教」というのは、世界地図では表示できない範囲と次元において展開してゆくものである。本講は、このように融通性のある宗教観にもとづき、世界の主要な宗教文化を誤解や偏見を廃した正しい観点から理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

現代世界に生きつづける諸宗教のなかから、講義担当者自身の現地調査と人々との交流経験をともなうゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教を選び、それぞれの歴史・思想・文化、および、相互の歴史的連関について解説する。その予備知識として、前期の初めには、比較宗教学の基本的立場、宗教多元主義の問題点、諸宗教を比較する方法などを講ずる。

履修上の留意点

生きた諸宗教の実相を垣間見るため、祈りの声や聖歌（録音テープ）を聴き、スライドを鑑賞することを重視する。

成績評価の方法

出席状況、夏休みのレポート（B5版に収まる短文のなかで自己表現できるような課題）、各自の創意工夫を「答え」とする論述式の学年末試験（たんなる答案であるにとどまらず、在学中の貴重な時間を費やした一つの作品となるような問いをたてる予定）。

教科書

田中かの子著『比較宗教学—「いのち」の探求』（北樹出版）2004年

科目名	担当者名	配当学科	単位
文 学 〔日本文学「古典」〕	たなか しん さく 田 中 伸 作	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

『平家物語』は軍記物語の代表として知られるが、そこには平家一門をとりまく人々のドラマが実に生き生きと描かれている。その内容・叙述において『平家物語』は非常に中世らしい文学の一つと言えるだろう。この作品を読むことで、古典文学に親しみ、中世における文学のあり方を考えることを目的とする。

また、史実が文学に取り込まれたとき、どういう世界として描かれるのかという歴史文学としての側面も考察したい。

講義の内容・授業スケジュール

『平家物語』の代表的な句を読み、内容と特色を把握する。また、関連する史料を紹介し、時代背景や文化史的な問題も追及する。

成績評価の方法

定期試験の成績による評価。出席状況も重視する。

教科書

『平家物語抄』（おうふう）

科目名	担当者名	配当学科	単位
文 学 〔日本文学「近代」〕	ほ 保 明 陽 子 あき よう こ	経営B選	4
		14以降入学生/経営A選	

講義のねらい

明治期以降における日本の「近代化」を、「文学」という切り口で考える。これまで日本という国は、西欧の「近代化」に多大な影響を受けてきた。しかし昨今の風潮は、その流れを端に押しやる勢いがある。そこで、これまでの過去の歴史的経緯を考慮しつつも、近代社会において文化後進国ゆえの、曖昧かつ複雑な構造をもつ日本独自の「近代化」を、文学的視座から改めてとらえ直す。主に、啓蒙色の強い明治三十年代の文学的素材をもとに、現代社会の背景をかいま見る。

講義の内容・授業スケジュール

文学作品に現れた「英雄」「恋愛」「家」「武士道」「宗教」「癒し」「救い」といった様々なテーマは、作品の古今にかかわらず、現代社会を個人レベルで読み解く鍵である。このような日常にある「文学」的なものという身近な視点から、敢えて通俗性という枠組をとおして、そこに潜む「社会」の様相をかいま見る。近年話題になっている現代作家の作品と、明治時代の文学作品を比較しながら、そこにある「文学」とは何かを探求するが、具体的な作品についてはそのテーマごとに適宜講義において明らかにする。

履修上の留意点

この講義では、みなさんと共に年間を通して、文学作品について本格的に考えることになる。授業に出席することで新しい考え方を探求し、そして実際に本を読み、そこで獲得した考察の成果を表現することが望まれる。

成績評価の方法

毎回の授業を通して話題になるテーマについて、その都度みなさんが考察してきたことが、不定期に課されるレポート提出という形で問われ、その提出状況と内容が成績に反映される。

教科書

畑有三・山田有策・長野隆『作品で綴る近代文学史』（双文社出版）2,000円
随時プリントも配布する。

参考書等

適宜講義で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 (1) 〔日本近代史〕	ほ やし 林 彰 あき ら	経営B選	4
		14以降入学生/経営A選	

講義のねらい

幕末から明治・大正時代にかけての歴史的な流れを、思想・思潮を中心に政治社会の動向をふまえて概観していく予定である。西欧から輸入された近代思想が日本でどのように浸透し、知識人・民衆がどう受容し、在来の伝統的な思想といかに対立・錯綜・混在していくのか。それらを人物・ジャーナリズムなどを中心にみていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、幕末から明治・大正・昭和前期の、いわゆる近代史の概説をこころみる。後期には、人物・メディアを中心に具体的に近代の思想の流れをおっていく。とくに、体制側の思想と運動、反体制側の思想と運動に留意しながらみていく。

成績評価の方法

レポートと定期試験。

参考書等

講義中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 (2) 〔中国史概観〕	小林 惣八	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

中国史の歩みを大別すると、黄河文明、殷周時代、秦漢時代、魏晉南北朝時代、隋唐時代、五代・宋時代、元・明・清時代、新生中国とに分けられる。本講義ではその歩みを多角的にとらえ通観するものである。

成績評価の方法

前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。
詳細は追って指示する。

教科書

特別定めないが、中国史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを望む。

その他

出席を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 (3) 〔アジア史概観〕	小林 惣八	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

ユーラシア大陸の歴史の歩みは、中国を中心に北アジア、中央アジア、西南アジア、東南アジア、インドが相互に影響しあいながら進展していく。本講義では、中国の歩みを多角的にとらえ、時に周辺諸民族の歩みにも触れながらこれらを通観するものである。

成績評価の方法

前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。
詳細は追って指示する。

教科書

特別定めないが、アジア史の概説書や図表を座右において聞くことを望む。

その他

出席を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔西洋思想の源流〕	河 谷 淳	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

この授業ではギリシア哲学（古代哲学）とキリスト教哲学（中世哲学）とを主要なテーマとして取り上げることで「考える」ということがどのような営みなのかを一緒に考えることにしたい。これらふたつの哲学思想は西洋思想の二大源流に対応するものであり、それぞれは知と信という対立のもとに理解することができよう。しかしながら、ふたつの源流は不連続と同時に連続性という側面も併せ持ち、複雑に分岐・合流を繰り返しながら近現代の思想へと流れ込んでいる。そうだとすれば現代の私たちが古代・中世哲学について考えるということは現代哲学の一形態であると言ってもよいであろう。

講義の内容・授業スケジュール

講義では次のような内容を取り扱う。
前期：（1）ギリシア哲学（ソクラテス以前の哲学・ソクラテスにおける「無知の自覚」・プラトンのイデア論・アリストテレスによるイデア論批判）
後期：（2）キリスト教哲学（信仰と合理性・神の存在証明・普遍論争）
（3）近代哲学（大陸合理論とイギリス経験論、カント哲学）

履修上の留意点

授業を受け身的に聴くというよりは一緒に問題を考えていくという積極的な姿勢が望ましい。

成績評価の方法

中間・期末試験（それぞれ40点満点）と夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔近代の人間観と世界観〕	伊古田 理 <small>いこた まさる</small>	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

現代文明の形成にあたって中核をなした思想である、近代ヨーロッパ思想を紹介し、その問題点をさぐる。今年度は、特に「真理（ホントであること）」について検討する。近代において、「真理」の概念がどのように形成され、現代文明を考えるうえでどのような意義と問題点をもっているかを解説する。

講義の内容・授業スケジュール

まず、ヨーロッパ思想の源流である古代ギリシャ哲学、キリスト教思想について、必要などころをおさえ、そのうえで近代以降の思想の発展を解説する、という方針をとる。

成績評価の方法

夏期中間試験と冬期定期試験の成績を素点とし、100点満点での素点に対する失点の一定割合を、夏期レポート課題によりリカバーする。

教科書

久保他編『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔現代文明と人間〕	鈴木 聡 <small>すずき さとる</small>	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

本講義では、イギリス経験論・プラグマティズム・現象学・生の哲学・分析哲学などにおける素材の中で厳選されたものを叩き台として、一つの問題をとことん考え抜くという態度を学生諸君が身につけるための機会を提供したいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

以下の素材のうちのいくつかを叩き台として講義を進める予定である。

1. ヒュームの因果論
2. 演繹
3. 帰納
4. 仮説形成
5. グルーのパラドクス
6. 懐疑的パラドクス
7. ニューカムのパラドクス
8. 囚人のディレンマ
9. 言語哲学

履修上の留意点

毎回の出席が要求される。

成績評価の方法

成績は、中間試験・期末試験・小テスト・出席点で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

その他

本講義は、講義→小テスト（チュートリアル）→前回の講義の復習→小テストの解説→…という形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	伊古田 まさる い こと た まさる 理	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

現代論理学の内容を、「ことばの正しさ」のうちで「推論の正しさ」のかたちづくる領域がどのようなものかを考えることにより、紹介してゆく。

具体的には、「推論の正しさ」の領域がどのようなメカニズムで機能しているかを習得することを第一の目標として、そのうえで（時間の許すかぎり）こうした領域の位置づけについて論ずることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

①古典的三段論法 ②公理系I～命題論理 ③公理系II～述語論理 ④コンピュータと論理

成績評価の方法

年2回の試験（夏期中間試験＋年度末定期試験）を実施し、それとは別に各学期にそれぞれレポート課題を出す。

詳細については、授業開始時のガイダンスの際に説明する。

教科書

野矢茂樹著『論理学』（東京大学出版会）

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	あさ お たか し 麻 生 享 志	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

西洋哲学の中で、論理学は常に大きな位置をしめてきた。論理とは何か、正しさをどう説明すればよいか、真理をどのようなものかと考えるか、といった問題の考察に、「論理学」は欠かせない。このような「論理の本性への考察」には、古代ギリシャの哲学者、アリストテレスの論理学を知る必要がある。彼の論理学には、当時の学問がおかれた状況が強い影響を与えていたと考えられる。その後、自然科学の発達によって学問状況は変化した。その変化に対応する形で論理学の変革も試みられた。さらに、二十世紀に入って、数学研究と論理学研究の交流・接触が考えられるようになる。このように論理学は変化の歴史を持つ。そこで(1)論理とは何かを考え、(2)変化する論理学の各内容についての知識を持ち、(3)日常生活における論理の活用について、自分で考えることの手引きを与えることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

論理の本性、真理論、パラドックス、アリストテレス論理学、帰納法論理、実験主義論理学、論理学方法論、記号論理学概観、日常生活における正しい推論、学問と論理などの話題を考えたい。

履修上の留意点

大学という学問の場においては、講義内容を聞いて理解し、練習問題をこなし、内容を記憶するだけでは、十分ではありません。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要であると考えます。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わるでしょう。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めます。

成績評価の方法

平常点として、出席と、講義中に行う問題や論述を主な評価材料にし、前期・後期試験・夏休みのレポート成績を加味します。

教科書

なし。

参考書等

多数。講義内にて詳細に説明します。

その他

講義と問題演習（ないし論述筆記）。早退は、許可のない限り認めません。主体的な質問を大いに歓迎し、期待します。初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要なですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 〔現代と倫理〕	ふるたあき 古田知章	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

今日、多くの領域で、倫理の確立、再構築が求められている。これは、言い換えると、現代において倫理というものが分からなくなっていることの現れである。そして、このような状況のもと、われわれは、ひとつの人格をもつ個人として、自らの倫理観を模索していかなければならない。しかし、倫理とは何かを考えると、個々の領域、場面での「正しさ」の中身を検討すると同時に、その際の倫理的主体となるべき「自己」のあり方が知らなければならない。逆に言うと、この生きている自分が外的世界や他者と結んでいる関係、あるいは、自分が自分自身について考えることの意味などを明確にすることで、現代社会に生きるわれわれの向かうべき方向も見えてくる。そして、この見通しの上に立ってこそ、個々の領域での倫理観も意義あるものとなると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。

〔前期〕倫理的原理についての検討

1. 倫理学における問題の所在 —倫理的であること—
2. 古代ギリシアにおける様々な倫理思想
3. 中世における宗教的倫理観
4. ルネサンスと宗教改革 —個としての人間—

〔後期〕

- I. 倫理的原理についての検討（前期の続き）
近・現代における倫理思想 —主体性と自由の問題—
- II. 応用倫理学の諸問題への基礎的な検討
 1. 生命の尊厳
 2. 人間の環境との関係
 3. 情報と倫理

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 〔人生と倫理〕	末木 恭彦 <small>すえ き やす ひこ</small>	経営B選	4
		14以降入学生/経営A選	

講義のねらい

人は一人では生きることができない。生きることは、必然的に人と人の関わりの場に身を置かねばならない。人倫の中に生きるのである。人は、また、「よく」生きることを求める。ここに、どう生きるのが「よく」生きることか、また、それがどうして「よく」生きることになるのかという問題が生じる。これらは、「倫理学」の主要な内容をなす。本講義は、我々が生きることの「倫理」性に自覚を深めることを目的として、その参考となるように先人の「倫理」をめぐる諸説を紹介する。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、特に環境との関わりに問題をしぼる。又、参考とする先人は、東洋（特に中国・日本）に限り、東洋の伝説的な思想が現代に於ていかに役立つかを課題としたい。教科書は、国際シンポジウム「東洋の伝統的環境思想の現代的意義」の報告論文集である。講義は、教科書に収める論文の中から講師が重要と考える論文を選び、順次読み進みながら考察を深めてゆく。

履修上の留意点

ノートは確実にとる（板書を書き写すだけでなく口頭説明も的確に要をとらえ記録すること）

成績評価の方法

中間試験と学年末試験、レポートに出席態度を加味して判断する。

教科書

『東洋的環境思想の現代的意義』（農山漁村文化協会）

参考書等

講義中に適宜に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	伊藤 茂樹 <small>いとう しげき</small>	経営B2選	2
		12以降入学生/経営A2選	

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的帰納について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
 ・近代社会と教育
 ・学校という場

履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	伊藤 茂樹	経営B 2選 12以降入学生/経営A 2選	2

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。

- ・現代の教育問題
- ・教育改革の現在

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	かわだみつお夫 川田三夫	経営B2選 12以降入学生/経営A2選	2

講義のねらい

- 1) 子供の成長・発達の概要を理解する。
- 2) 学習心理学の基本的な事項を理解する。
- 3) 発達に影響を与える広義の環境の問題について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) ガイダンス、発達や学習をめぐる現状と問題点
- 2) 発達や学習の理論、乳児期・幼児期の発達の特徴と留意点
- 3) 児童期の発達の特徴と留意点
- 4) 青年期の発達の特徴と留意点
- 5) 青年後期・成人期の発達の特徴と留意点
- 6) 人格の発達と問題点
- 7) 社会性の発達と問題点
- 8) 情緒や性意識の発達と問題点
- 9) 交友・対人関係の発達と問題点
- 10) 若者文化や社会風俗の歴史の変遷と現状の問題点
- 11) 青少年の非行等の問題行動
- 12) 人格障害、情緒障害、神経症的な問題行動等
- 13) 学校生活をめぐる諸問題
- 14) 試験

履修上の留意点

- 1) 教科書は指定せずレジメ、資料等を配布し講義を行う。
- 2) 板書を少なくして、学生自身がノートを取るようにさせている。
- 3) 日頃から努力して言葉や文章力を高めてほしいと思っている。

成績評価の方法

- 1) 学期末に定期試験を行う。
- 2) それ以外にも不定期に小試験（論述、レポート）を行うことがある。
- 3) 授業の際に口頭試問や提出物もあり、評価の際に考慮される。
- 4) 以上の合計得点で所定の基準に従い評価される。

教科書

『よくわかる発達と学習』（福村書店）2,400円

参考書等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

その他

- 1) 授業の方法は講義が中心だが、毎回何らかの形でいろいろ質問される。
- 2) 現実を見聞しながら色々なことを考えてほしいと思っている。
この科目は、平成11年度までに「教育心理学」「青年心理学」の単位を取得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	かわ だ みつ お 川 田 三 夫	12以降入学生/経営B 2選 12以降入学生/経営A 2選	2

講義のねらい

- 1) 教授-学習課程に関わる基本的な事項を学習する。
- 2) 教育目標、教育課程を中心に学習活動の効果的な展開について考える。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) ガイダンス、発達と学習(教育)をめぐる現状と問題点
- 2) 発達と学習
- 3) 学習理論の基本と応用
- 4) 教育(学)・教育心理学の基本と応用
- 5) 教育理論や方法の歴史的変遷、現状と課題
- 6) 教育目標
- 7) 教育課程(学校教育の基本について)
- 8) 教授-学習過程(学習指導、学級集団、生徒指導)
- 9) 教育評価の歴史的変遷、現状と課題
- 10) 学習指導要領(改訂の歴史、『学校教育法』、『学校教育法施行規則』等)
- 11) 総合的学習、職業教育、生涯学習、障害児教育
- 12) 学校、教師、生徒の諸問題(授業時間、教科書、教科書検定、等)
- 13) その他(教員養成、教員採用の問題、教育制度・教育行政等の問題、等)
- 14) 試験

履修上の留意点

- 1) 教科書は指定せずレジメ、資料等を配布し講義を行う。
- 2) 板書を少なくして、学生自身がノートを取るようになっている。
- 3) 日頃から努力して言葉や文章力を高めてほしいと思っている。

成績評価の方法

- 1) 学期末に定期試験を行う。
- 2) それ以外にも不定期に小試験(論述、レポート)を行うことがある。
- 3) 授業の際に口頭試問や提出物もあり、評価の際に考慮される。
- 4) 以上の合計得点で所定の基準に従い評価される。

教科書

『よくわかる発達と学習』(福村書店) 2,400円

参考書等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

その他

- 1) 授業の方法は講義が中心だが、毎回何らかの形でいろいろ質問される。
- 2) 現実を見聞しながら色々なことを考えてほしいと思っている。
この科目は、前期に「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕	はいとくひろとう 鶏徳啓登	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

人間は社会の中で生まれ、他の人と利害を対立しながら社会生活を営むものである以上、そこには相互の利害を調整し、紛争を解決するためのルール（規範）が必要である。「社会あるところ法あり。」（法諺）といわれるのはそれを如実に示すものである。この授業では、法の概論と基礎的な実定法上の権利・義務との二つに分けて、「法」とそこに認められる「権利」を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

- 法の概論は次の内容を中心として行う。
 - ①法の意義 ②法発生の背景 ③法とその近辺の社会規範 ④法の種別と解釈 ⑤法の適用
- 実定法上の権利・義務の講義は次の内容を中心として行う。
 - ①民法上の権利－権利の主体と客体、権利能力・行為能力、権利の種類と内容（財産法上の権利、親族法上の権利、相続法上の権利）、権利の発生・消滅。
 - ②憲法上の権利－自由権（経済的自由権、精神的自由権、身体的自由権）、平等権、社会権（生存権、教育権、勤労権、労働者の権利）、参政権（選挙権、被選挙権）、受益権（請願権、国家賠償請求権、裁判を受ける権利、刑事補償請求権）。
 - ③国家・地方公共団体の権利－国家作用と三権分立の意義・統治機構、立法権と立法機関、行政権と行政機関、司法権と司法機関、地方公共団体の自治権と住民の権利。

成績評価の方法

出席状況と試験。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円

参考書等

『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種類）、その他参考書等については教場にて説明。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と社会生活〕	はせがわ ひでよ 長谷川 日出世	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。
本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわりあいを検討する。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の修得を目指す。具体的には法と道徳の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。
後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教科書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』（成文堂）

参考書等

『ポケット六法』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 科 学 論 〔社会認識の思想〕	えだ まつ まさ ゆき 枝 松 正 行	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

社会科学には自然科学や人文科学とは独自の対象把握の方法や体系がある。社会現象を形成する個々の人間は、生産的労働を中心とする活動の担い手としてつねに目的意識的な社会活動を行う能動的主体であるにもかかわらず、総体としての社会現象は、市場メカニズムに象徴されるように人間の意識を超えた物理現象の如き客観的な運動法則に従っている。しかもそれは連続的であると同時に、飛躍や発展を伴う固有の歴史法則でもある。グローバルトリレンマに直面した現代世界は過去に例を見ない大転換期であるが、社会科学こそは歴史科学であると同時に未来科学なのであり、社会の変化・生成・発展法則の先見とリスクの回避には大きな責任がある。

講義ではマルクス経済学、ヴェーバー社会学、ドラッカー経営学などに学びつつ、現代の社会経済システムの転換メカニズムを解明し、オルタナティブな持続可能社会への移行を展望する。

講義の内容・授業スケジュール

上記のような社会科学的視座を基礎として、これらを現代社会に適用し、同時多発テロ以降の世界情勢や日本「構造改革」の歴史的な性格を解明するとともに「循環型・男女共同参画社会」への現実的転換を加速しうる実践的な政策・管理科学についても明らかにしていく。

履修上の留意点

日々の経済・社会報道に関心を注ぎ、たえず生の現実素材をとりいれておくこと。

成績評価の方法

前・後期の中間試験ないしレポートと平常点により評価する。

教科書

とくに指定しないが、参考文献はその都度紹介する。

参考書等

大塚久雄著『社会科学の方法』（岩波新書）など。

その他

毎回授業の冒頭でカードによる前回授業時の学生諸君の質問・意見・要望を紹介し、出来るだけ授業内容に反映させていく。個別の質問・相談は授業終了時に対応する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代社会を考える〕	お 吳 びよん さん 炳 三	経営B選	4
		14以降入学生/経営A選	

講義のねらい

社会学は個人、集団、社会などを対象とし、その分野は、「家族」「経済」「企業」「教育」「宗教」「文化」など様々である。このような分野において特徴的であるといえる問題は何だろうか。また、われわれは、それらの問題を解決するためにどのような手段を取りうるのか。この講義は、前期は社会学の基礎となる諸概念を踏まえた上で、後期よりは、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会の特徴的な問題について考察を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 現代の社会変動にともなう家族の変化をおう。特に乳幼児期における親との関わりや家庭生活における様々な要因によって子供の社会化に影響を与え、または青春期や高齢期に様々な問題が現れる。このような一連をみていくとともに、少子化・高齢化といった家族に関する諸問題の検討。
- (2) 経済のグローバル化にともなう企業活動の意義、特に企業人の「豊かさ」と「余暇」の問題。
- (3) 社会・文化的産物として男性・女性はいかにして生産されていくのだろうか。「恋愛」、「性」、「結婚」といった事項を中心に「ジェンダー（社会的な性）」の問題を考える。
- (4) 若者文化（ユース・カルチャー）が現代において果たす役割とは？など文化を通じて日本人の心を分析していく。

履修上の留意点

授業を通じて、何かを学びたい学生は歓迎します。何の目的意識もなく、時計の振り子のように「出席さえすればよい」、また「教養科目なので、簡単に単位がとれる」と思っている学生は履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

開講時に説明する。

教科書

労働・福祉研究会『21世紀の労働と福祉』（学文社）2,500円

参考書等

講義の中に、その都度お知らせします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代文化を考える〕	はし づめ さとし 橋 爪 敏	経営B選	4
		14以降入学生/経営A選	

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」の見方を通して「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題－文化とは何か、現代文化とは何か、大衆文化等－を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』（学文社）

参考書等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』（犀書房）
R. ニスベット『現代社会学入門1～4』（講談社学術文庫）
その他授業中に適宜指示したい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
統計学 〔社会現象の統計的決定〕	しんぎょうち こうじ 新行内 康 慈	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門としてその基本的な考え方と諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) 統計学の概要 (2) 度数分布表とヒストグラム (3) 基本統計量
(4) 確率の定義 (5) 場合の数 (6) 和事象・積事象の確率
(7) 演習 (8) 確率変数と確率分布 (9) 平均・分散と期待値
(10) 確率変数の標準化 (11) 正規分布表問題 (12) 演習 (13) まとめ
- (後期) (14) 母集団と標本 (15) 点推定と区間推定
(16・17) 正規母集団の区間推定 (18) 仮説検定
(19・20) 正規母集団の検定 (21) 推定・検定の応用 (22) 演習
(23) 散布図と相関係数 (24) 回帰分析 (25) 回帰分析の応用 (26) まとめ

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

3回の演習と期末試験を総合的に評価します。

教科書

テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。

参考書等

適時指定します。

その他

配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするために課題演習を実施します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔文化と人間〕	かわかみ しんじ 川 上 新 二	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

文化人類学とは「文化」を通じて人間を研究する学問です。ここでいう「文化」とは、私たちの誰もが身につけている生活様式や慣習をいいます。地球上のさまざまな地域にはさまざまな生活様式をもった人々が暮らしています。それら数多くの生活様式の中には、私たちから見ると「変だな」と感じるものや、私たちと「似ているな」と見えるものがあるかもしれません。ところで「変だな」とか「似ている」と感じるのは私たちの規準から見てのことであり、相手から見れば私たちの生活様式の方が「変だ」と思われるかもしれません。自分の文化を規準にして相手の文化を見てしまうと、もうそのときから相手を誤解してしまうことが始まります。私たちから見れば「変だ」と見える文化も、それが存在しているのには相応の理由があるかもしれません。文化人類学では、さまざまな文化の客観的理解を通じて相手すなわち人間を理解しようと努めます。文化の異なる相手を正しく理解しようとするための学問ともいえるでしょう。この講義では、前期では文化人類学の特色や方法について紹介し、後期では特に韓国の文化を中心にその他の地域の文化と比較しながら異文化理解の視点を養うことを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期(1)文化人類学とは、(2~3)人類学の範囲・形質人類学、考古学、(4~5)言語学、(6~7)人間と動物の違い、(8~9)「文化」とは、(10~11)異文化理解について、(12~13)文化人類学の歴史・方法について。
- 後期(1)韓国の婚姻規定(誰と結婚できるか)、(2~3)韓国の親族組織(どこまでが近いシンセキか)、(4~6)死後結婚(なぜ死んだ人を結婚させるのか)、(7~9)巫女になる(なぜ霊は憑依するのか)、(10~12)祖先を祀る(なぜ祖先を祀るのか)、(13)まとめ。

成績評価の方法

試験の結果と提出物の内容、授業出席の姿勢などを総合して成績評価を行ないます。

教科書

教科書は特に指定しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔諸民族とコスモロジー〕	すぎい じゅんいち 杉井 純 一	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解する」ことの面白さ、そして、むずかしさを味わいながら、「異質なものと共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 文化人類学の基礎
 1. 文化人類学とは何か
 2. 文化人類学の歩み (1)
 3. 文化人類学の歩み (2)
 4. 文化とコミュニケーション
 5. 環境と人間 (1) 狩猟採集民
 6. 環境と人間 (2) 牧畜民
 7. 環境と人間 (3) 農耕民
 8. ジェンダー
 9. セクシュアリティ
 10. 婚姻の形態
 11. 家族の多様性
 12. 親族と社会
- II 民族とコスモロジー
 1. 呪術と宗教
 2. アニミズム
 3. シャーマニズム
 4. シンクレティズム
 5. 儀礼の構造
 6. コスモロジー
 7. 神話
 8. 政治組織
 9. 民族とエスニシティ
 10. 民族紛争と戦争
 11. 開発と文化
 12. 移動の民族誌

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

成績評価の方法

夏期レポート (20%)、期末試験 (60%)、平常点 (20%) で評価します。

教科書

特に指定しません。適宜、プリントを配布します。

参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書) 800円
 山下晋司ほか『文化人類学キーワード』(有斐閣) 1,700円
 佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』(新曜社) 2,200円

その他

できるだけ、ビデオを利用します (年に4~5回程度)。

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 〔政治システムと政治参加〕	きよ たま ひと し 清 滝 仁 志	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

この講義では、グローバル化を中心課題において、社会の変化を政治学の観点から学んでいきます。皆さんの生きている時代は今までになく将来が見えない状況となっています。たとえば「定年まで同じ会社にいる」「土地は値上がりする」「銀行はつぶれない」など以前における社会常識の多くが通用せず、この状況は、ほとんど誰もが経験していません。

講義では、この社会変化を考察しながら、来自分がどのような知的態度をもって対応すべきか、を解明する手がかりとなるような内容をめざします。授業を通じ、自分で未来を切り開くための知識と知的習慣を身につけ、どのように自分が能力を磨き、何をしたいのかを考えることを期待しています。

講義の内容・授業スケジュール

詳細は初回の授業で説明

- 1 グローバル社会における諸問題
 - (1) グローバル化の時代—市場と国家の新たな関係—
 - (2) 市場経済の展開—「大きな政府」から「小さな政府」へ—
- 2 日本における「構造改革」の推進
 - (1) グローバル化と日本—日本型経済システムとその限界—
 - (2) 日本の政治と「構造改革」
- 3 政治制度の比較考察
 - (1) 選挙制度と日本の政党政治
 - (2) アメリカ大統領制の考察
- 4 日本における政策課題
 - (1) 福祉国家の形成と動揺
 - (2) 地方分権と地方自治
 - (3) 日本農業の変革と国際化

履修上の留意点

この講義では次のことをおこないます。

- 1 身近な時事問題を取り上げ、そのポイントの解説
- 2 授業の冒頭で皆さんの質問に答え、復習
- 3 授業中、文章の表現能力を身につけるための練習
さらに公務員試験等に対応できるように配慮します。

成績評価の方法

定期試験を中心としますが、レポート、出席状況を勘案。講義を通じて、いかに力をつけたか、を評価します。

教科書

文献は講義・HPを通じて随時紹介します。

参考書等

毎回、レジュメと資料を配布します。レジュメはHPを通じても入手可。

その他

講義を受け身に聴くのではなく、取り上げた話題を自発的・積極的に考えていくことを期待します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 学 〔国際社会と日本〕	やまむら つねお 山 村 恒 雄	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

「法学」や「経済学」とは違い、「政治学」に対して抱くイメージは、人によってかなり異なるようである。この授業は副題にある通り「国際社会」のなかで日本が直面するさまざまな課題を取り上げ、それを素材として「政治を見る眼」を養うことを目的とする。具体的には、近代国際社会成立以降第二次世界大戦終了後に至るまでの国際政治の主な出来事を解説し、それを基にして現在生じている時事問題を考える素材を提供しようとするものである。したがって、授業は時事問題の解説が目的ではなく、受講生のひとりひとりが、政治問題に対して自分の意見を形成できるよう、「分析の道具」を提供しようとするものである。

講義の内容・
授業スケジュール

時事問題を素材として用いるため、具体的な問題を予め示すことはできないが、分析のための基本的な知識として、以下の項目を取り上げる。

- 1 ウェストファリア体制の形成
- 2 近代の国際政治
- 3 地球的問題群
- 4 第二次世界大戦後の国際政治の変容
- 5 冷戦と核兵器
- 6 食糧問題
- 7 環境破壊と持続可能な開発
- 8 日本をめぐる諸問題

履修上の留意点

受け身ではなく、積極的に授業に参加できる意欲のある人を歓迎します。

成績評価の方法

夏休み明けのレポートと学期末試験による。なお、夏休み明けのレポートを提出しない者は、学期末試験の受験資格を失うので注意すること。

教 科 書

特定の教科書は使用しない。

参 考 書 等

授業中、随時指定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 (1) 〔ヒューマン・ウォッチング〕	すずき じゅん いち 鈴 木 順 一	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受身のバケツ的学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方向的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める（勉強することではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証（反証）し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を持った人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩みだすようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスと、遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見から得られるモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。ヒューマン・ウォッチング（人間観察）の対象は、他者の行動ばかりではない。自己の内面の動きや行動を観察することでも、深い人間理解が得られるのである。

講義の内容・授業スケジュール

学習計画は、進行状況により変更することがあります。

〔前期〕 (1)学習とは？ 授業方針 (2)心とは何か (3)性格検査による自己理解 (4)パーソナリティ理論 (5)精神分析的人格理論 (6)グループ形成とエンカウンター (8)コミュニケーションの促進 (8)感覚・知覚・認知 (9)自己認知 (10~11)カウンセリングの理論と技法 (11~12)発達心理学

〔後期〕 (13)心の病と心理療法 (14)交流分析による自己理解 (15)自他肯定の人間関係 (16~17)学習理論と行動療法 (18)relaxation法 (19~22)社会的行動

履修上の留意点

単独・聴講学習ではなく、グループによる協学習習・相互学習・体験学習ですので、毎回、グループごとに自筆で出席を取ります。欠席しがちな人は履修しないでください。

成績評価の方法

出席点と平常の小試験・小レポート・グループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。

教科書

中村昭之編著「心理学概説」(八千代出版)

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 (2) 〔人間関係を考える〕	すずき しゅんいち 鈴木 順一	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受身のバケツの学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める（勉強する）ことではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証（反証）し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を持った人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩みだすようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスと、遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見から得られるモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具（理論と技法）を体験的に学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

学習計画は、進行状況により変更することがあります。

〔前期〕 (1)学習とは？ 授業方針 (2)心とは何か (3)性格検査による自己理解 (4)パーソナリティ理論 (5)精神分析的人格理論 (6)グループ形成とエンカウンター (8)コミュニケーションの促進 (8)対人関係の心理 (9~10)カウンセリングの理論と技法 (11)生涯発達心理学 (12)親子関係の心理

〔後期〕 (13)青年の心理 (14)交流分析による自己理解 (15)自他肯定の人間関係 (16~17)学習理論と行動療法 (18)relaxation法 (19)職場の人間関係 (20)恋愛と結婚の心理 (21)流行とマス・コミュニケーション (22)社会病理と犯罪

履修上の留意点

単独・聴講学習ではなく、グループによる協力学習・相互学習・体験学習ですので、毎回、グループごとに自筆で出席を取ります。欠席しがちな人は履修しないでください。

成績評価の方法

出席点と平常の小試験・小レポート・グループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。

教科書

蓮見将敏・小山望編著『人間関係の心理学—体験をとらえて学ぶ心理学—』（福村出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
生物学 〔生態と進化〕	清水善和	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後には連綿と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所にいて独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この複雑、多様な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の進化、多様性、遺伝子を3つのキーワードにして、生物の分類や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化－我ら生物みな兄弟
 - (1) 生命の歴史性 (2) 遺伝子と生命現象 (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化－偶然と必然が織りなす奇跡
 - (1) 地質年代図 (2) マーグリスの共生説 (3) カンブリアの爆発 (4) 大量絶滅 (5) 生物の上陸
- 第3章 系統と分類－名もなき雑草はない
 - (1) リンネ式分類体系 (2) 生物五界説 (3) 種の定義と属性 (4) 分子時計 (5) 動物と植物の系統
- 第4章 行動と進化－生き物は誰がために生きるか
 - (1) 動物行動学の歩み (2) 適応度とゲーム理論 (3) 性選択と性比 (4) 利他的行動と血縁淘汰 (5) 利己的遺伝子
- 第5章 個体群生態学－産めよ殖えよ地に満てよ
 - (1) 潜在的な増殖率 (2) 密度効果とr-K淘汰 (3) 食う・食われる関係 (4) 生命表
- 第6章 共生と競争－出し抜きながら深い仲
 - (1) 種間関係(共生と寄生) (2) 花と昆虫の共進化 (3) 菌根 (4) 擬態
- 第7章 人類の進化－ヒトは唯一の生き残り
 - (1) 霊長類の系統 (2) ヒトの発展段階 (3) ホミニゼーション(ヒト化) (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論－進化論も進化する
 - (1) ダーウィン以前 (2) ダーウィン進化論 (3) ネオ・ダーウィニズム (4) 進化論批判
- 第9章 生態系－命は無数のつながりの中で
 - (1) 生態系(エコ・システム) (2) 食物連鎖と生物濃縮 (3) 光合成と呼吸 (4) 生産諸量
- 第10章 物質の循環－元素はめぐるよどこまでも
 - (1) 物質循環の大原則 (2) 水の循環 (3) 炭素の循環 (4) 窒素の循環 (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移－裸地もいずれは森林に
 - (1) 遷移のモデル (2) 遷移の実例 (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性－多様な世界に未来あり
 - (1) 3つの多様性 (2) 多様性の尺度 (3) 生物地理区と植生帯 (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物－生物界のグローバリゼーション
 - (1) 里山の生物 (2) 都市と生物 (3) 帰化種の侵入

教養教育

成績評価の方法

試験、レポート、出席を勘案して評価する。

教科書

受講者には清水が執筆したweb版教科書(無料ダウンロード可)を紹介する。

参考書等

章ごとに適宜紹介する。

その他

講義で必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 物 学 〔生物と環境〕	なかむらとしえ 中村敏枝	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

この地球が誕生したのは46億年の昔といわれる。40億年前にはすでに生命が誕生し、以後それは地球の環境を変えつつ、自らも進化の歴史を歩みながら現在に至っている。この長い歴史の中で、種の構成は変わり、あるものは絶滅してしまったけれど、現存する生物は40億年の間、生まれ・成長し・繁殖し・死ぬ ということを営々と繰り返してきた。この生物たちの営みをいろいろな段階（細胞・個体・個体群・生態系）で紹介したい。

後期には、環境問題をとりあげる。地球温暖化についてその背後にある社会・経済問題も視野にいれながら考察したい。

講義の内容・
授業スケジュール

- (前期) (1-5) 地球の歴史と生命の期限
(6-13) 生態系のしくみ
(後期) (14-21) 生物の生活-植物群落の遷移・動物の生殖行動
(22-26) 地球温暖化-生態系に与える影響・代替エネルギー

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教 科 書

赤堀他著『生物学-地球に生きるいのちを考える』（宣協社）2,700円

参 考 書 等

授業時間内に随時紹介します。

そ の 他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地球科学 〔地球環境の現在・過去・未来〕	やまがた 山 縣 毅	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

現在、地球温暖化、海水準の上昇、オゾン層の破壊などの地球規模の自然環境の変化が、21世紀の大きな問題として捉えられています。これらの問題に対処する手段、特に自然環境がどのように過去、将来において変化し、それが何に起因するかを推定・予測する手段の一つとして地球科学があります。本講義では、地球科学による過去の環境（古環境）の推定・復元方法を、地球環境の変遷を創生期から現在までたどりながら、理解してもらうことを目標としています。

また、私たちが住んでいる関東地方の古環境の復元も、いくつかの地域を例に取りながら解説していきます。受講者にとって、自分の居住地域と共にグローバルな自然環境についても考える契機になることを期待します。

講義の内容・ 授業スケジュール

前半に地球科学の概説を行い、後半に地球環境の変遷、関東地方の地質について講義をしていきます。

1. 地球の内部構造と地質変動
2. 地球の環境変遷
3. 関東地方の地質
 - ・関東平野の断層と地震
 - ・房総・三浦半島の地質－付加テクトニクス－
 - ・伊豆大島、箱根の火山活動
 - ・関東山地の地質
 - ・関東平野の地下表層部の地質

成績評価の方法

期末試験で評価します。

教科書

特に定めない。

参考書等

『最新 図表地学』（浜島書店）ISBN 4 - 8343 - 4002 - 3 C7344

その他

OHP、スライド等を使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 球 科 学 〔変動帯としての日本列島〕	ふじ 藤 井 すすむ 享	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

地球科学は、地形、岩石、地質、火山、地震、重力など地球に関するさまざまな現象を研究する分野であるが、地殻の変動や地形・地質の形成史を究明することが特に重要である。日本列島はユーラシア大陸と太平洋に挟まれており、島弧-海溝系（海溝を伴う弧状列島）の変動帯である。日本列島付近は4種類のプレートが衝突しており、火山活動、地震が多発、地形の起伏が大きく地質構造も複雑である。したがって、日本列島は世界でも第一級の変動帯といって過言ではない。

日本列島は火山活動や地震の頻発する自然条件下にあるため、否応なしにそれらに遭遇することも止むを得ない。したがって、これらの自然現象を正しく理解し、日頃から関心を抱くとともにその対策を講じることが重要である。本講義は、以下のような変動地形と日本列島の地形の由来を十分理解できるように展開したいと思う。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は地図を多用して、世界で最も活動的な変動帯としての日本列島の地形を多角的に扱ってみたい。主な内容とスケジュールは次のとおりである。

- ① 地球上の変動帯とプレートテクトニクス
- ② 島弧-海溝系の変動帯と日本列島
- ③ 島弧と火山帯
- ④ 本州中部の地形とフォッサマグナ
- ⑤ 第四紀の地殻変動と変動地形
- ⑥ 関東平野の地形と造盆地運動
- ⑦ 中部地方の傾動運動
- ⑧ 西南日本弧の曲動地形
- ⑨ 日本列島の活断層
- ⑩ 日本列島の巨大地震と変動地形
- ⑪ 火山活動と火山地形
- ⑫ 最終氷期と後氷期の日本列島

スケジュールは前期：①～⑤、後期：⑥～⑫を予定

履修上の留意点

「地球科学」は、地球の内部や地表で行われる自然現象を扱うために、地図を多用する。そのため、「地図帳」（高校で使用したもので可）を準備すること。また、講義ノートをとることは重要。地図やその他の図を書くことが多いので、色鉛筆（12色）を準備してほしい。

成績評価の方法

テスト、レポート、出席状況を総合して評価する。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

貝塚爽平著『日本の地形-特質と由来』（岩波新書）1977年
貝塚爽平著『発達史地形学』（東大出版）1998年

そ の 他

講義形式であるが、必要によりビデオ、スライド等を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔宇宙から見た地球環境〕	篠原正雄 <small>しのはらまさお</small>	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

現代の天文学と惑星科学の成果の上に立ち宇宙の視点から地球の自然環境について講義します。

太陽系の惑星の一つである地球の自然環境は46億年の太陽系の歩みの結果形成されてきました。現在も、太陽はもちろんのこと、太陽系内外の宇宙からのさまざまな影響の下にあります。また、過去30年間の太陽系探査により多くの天体が調べられ、地球をこれらの天体と比較しながら研究できるようになってきました。その成果をふまえて、「地球環境」とはそもそもどんなものであり、どのように形成され、変化してきたかを中心に取り上げます。

日常生活でのある行為が「地球に優しい」のか逆に「地球を傷つける」のかという判断は立場により、また時代により異なります。環境問題は「健康法」と似ていて、仕組みもわかっていないうちに、効果も立証されていない手段でともかく対処しなければいけないという場合もあります。その結果、認識が少し進むと「善」と「悪」が入れ替わることも起こります。表面だけを見ると、環境に確かなものは何もないかのように思われてきます。

この講義を通して個別の環境問題の背後にある地球環境システムについて理解し、より深いところから地球環境を考えられるようになっていただきたいと思います。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 宇宙と地球
宇宙の中の地球 宇宙の起源と進化 太陽系と地球の起源
2. 宇宙と地球環境
太陽 地球磁気圏 海と大気 生命 地球環境の進化
3. 地球環境の変動
宇宙環境と地球環境変動 地球システムと地球環境変動 人類と地球環境変動
4. 地球環境問題
オゾン層破壊問題 地球温暖化問題 エネルギー その他の環境問題
5. 宇宙と地球の未来
文明の未来 地球と宇宙の未来 SETI (地球外文明探査)

成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

教科書

石田恵一著『宇宙と地球環境』（成山堂書店）1,600円

参考書等

小宮山宏著『地球持続の技術』（岩波新書）660円
その他、講義の中で適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔環境と保全〕	やまがた たけし 山 縣 毅	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきています。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が自然環境に与える影響、環境保全の意義について考えてもらうことを目標としています。実生活で体験したり、各種報道により伝えられる地球環境に関する諸事象を正しく理解するための教養を、受講者に身につけてもらえるように、講義を進めていきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 地球表層の環境変遷とその要因
2. 人間活動による環境変化
(地球温暖化、大気酸性化、オゾン層の破壊)
3. 資源・エネルギーと環境
4. 地質変動による環境変化と自然災害
(地震、火山活動、崖崩れ)
5. 地球環境に対する海の影響
6. 環境保全

成績評価の方法

期末試験で評価します。

教科書

特に定めない。

参考書等

講義の中で紹介します。

その他

OHP、スライド等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報数学 〔情報と論理〕	おざわ きこと 小 沢 誠	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

情報科学における離散数学の概要を知ることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、離散集合と述語・対応と写像・帰納法とアルゴリズム・離散関係を学ぶ。
後期は、離散グラフ・木グラフ・離散代数系・形式言語を学ぶ。
時間があれば、有限順序集合と束・ブール関数・デジタル論理回路・ブール代数についても学びたい。

履修上の留意点

毎回必ず出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の期末試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

小倉久和「情報の基礎離散数学」(近代科学社) 2,500円

参考書等

情報数学として扱われる数学は多岐にわたる為、上記の教科書に記載の参考図書を参照されたい。

その他

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

3. 外 国 語 科 目

外
国
語

3. 外国語科目

[英 語]

英語 I A	〈佐藤 アヤ子〉	479
英語 I A	〈落合 和 昭〉	479
英語 I A	〈丸小 哲 雄〉	480
英語 I A	〈町田 成 男〉	480
英会話 I	〈永野 光 一〉	480
英語 L L I	〈ラッセル、S. J.〉	481
英語 I B	〈佐々木 隆〉	482
英語 I B	〈佐藤 アヤ子〉	482
英語 I B	〈樋渡 俊 光〉	483
英語 I B	〈太田 美智子〉	483
英語 I B	〈林 明 人〉	483
英語 I A・I B [再クラス]	〈丸小 哲 雄〉	484
英語 I A・I B [再クラス]	〈伊勢村 定 雄〉	484
英語 I A・I B [再クラス]	〈山 縣 裕〉	484
英語 I A・I B [再クラス]	〈荻野 一 成〉	485
英語 I A・I B [再クラス]	〈本間 俊 一〉	485
英語 I A・I B [再クラス]	〈伊勢村 定 雄〉	485
英語 II A	〈芝田 興太郎〉	486
英語 II A	〈甲斐 捷 子〉	486
英語 II A	〈川崎 浩太郎〉	487
英語 II A	〈吉川 直 澄〉	487
英語 II B	〈芝田 興太郎〉	488
英語 II B	〈落合 和 昭〉	488
英語 II B	〈北村 弘 文〉	489
英語 II B	〈濱口 真 木〉	490
英語 II A・II B [再クラス]	〈大 瀨 利 春〉	490
英語 II A・II B [再クラス]	〈山 縣 裕〉	490
英語 II A・II B [再クラス]	〈高見 陽 子〉	491
英語 II A・II B [再クラス]	〈澤田 真 弓〉	491
英語 II A・II B [再クラス]	〈萩原 輝〉	491

[ド イ ツ 語]

ドイツ語 I A	〈松岡 晋〉	492
ドイツ語 I B	〈百 濟 勇〉	492
ドイツ語 I A・I B [再クラス]	〈百 濟 勇〉	493
ドイツ語 II A	〈清 水 修〉	493
ドイツ語 II B	〈篠原 敏 昭〉	494
ドイツ語 II A・II B [再クラス]	〈百 濟 勇〉	494

[フ ラ ン ス 語]

フランス語 I A	〈今 関 ア ン〉	495
フランス語 I B	〈前 田 祝 一〉	495
フランス語 I A・I B [再クラス]	〈前 田 祝 一〉	495
フランス語 II A	〈八 木 明 美〉	496
フランス語 II B	〈木 下 雄 介〉	496

フランス語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕〈前田 祝一〉 496

〔中国語〕

中国語ⅠA・ⅠB	〈秋元 翼・王 聡〉 497
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈大久保 明 男〉 497
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈曹 泰 和〉 498
中国語ⅡA	〈秋 元 翼〉 498
中国語ⅡA	〈東 映 全〉 498
中国語ⅡB	〈王 聡〉 499
中国語ⅡB	〈上 原 かおり〉 499
中国語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈弘 兼 加奈子〉 499

〔スペイン語〕

スペイン語ⅠA	〈大 岩 功〉 500
スペイン語ⅠB	〈大 岩 功〉 500
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈栗 林 ゆき絵〉 501
スペイン語ⅡA	〈亀 山 晃 一〉 501
スペイン語ⅡB	〈中 山 直 次〉 502
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈栗 林 ゆき絵〉 502

〔ロシア語〕

ロシア語ⅠA・ⅠB	〈廣 田 英 靖〉 503
ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈杉 山 秀 子〉 503
ロシア語ⅡA	〈廣 田 英 靖〉 504
ロシア語ⅡB	〈廣 田 英 靖〉 504
ロシア語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈杉 山 秀 子〉 504

〔英語〕

英 会 話	Ⅰ	〈永 野 光 一〉 505	
英 会 話	Ⅱ	〈永 野 光 一〉 505	
英 語	L L	Ⅰ	〈ラッセル, S. J.〉 506
英 語	L L	Ⅱ	〈加 藤 佐和子〉 506

英 語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。文章表現の場合、文から段落へ、会話表現の場合、日常基本表現から、多様な会話表現の理解と運用能力を目指します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	佐 藤 アヤ子	経営B1年	2

講義のねらい

私たちは英語で文章を書くとき、コロケーション (連語) の間違いや日英発想の違いによる誤りをよく犯します。本講義では、私たちが犯しやすい共通の間違いを具体例にみつけて、exercises に取り組みます。

講義の内容・授業スケジュール

毎回問題を解き、実際に英語で作文をします。

履修上の留意点

毎回、ショート・テストをします。

成績評価の方法

毎回のショート・テスト、前期・後期の試験結果、平常点を総合的に評価します。

教 科 書

木塚晴夫/Roger Northridge 著『Common Errors in English Writing Fourth Edition』(マクミラン・ランゲージハウス)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	おち 落 合 和 昭	経営B1年	2

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級 (英検準二級、二級、準一級) 程度とし、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験 (英検、TOEIC[®]、TOEFL[®]、国連英語等) の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階はヒヤリングのなかで使用されている慣用表現の意味を、テキストを通して、確認する。第四段階は学生に登場人物になってもらって、その会話を再現する (一人の場合と、対話形式の場合がある)。

履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の積極的な参加を前提にして、進める。

成績評価の方法

前期試験は20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等は60% (課題は年間約10回前後提出。授業中の発表等に関しては、全員が一回の授業に最低一回は当てるように心がける)。出席率は3分の2を越えなければ、成績は「不可」とする。

教 科 書

- 1) 『口語英作文演習』(南雲堂)
- 2) 『大学英語ディクテーションのエッセンス』(朝日出版社) 900円
ISBN4-255-15282-9 C1082
- 3) プリント

外
国
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	丸小哲雄	経営B1年	2

講義のねらい

環境問題を扱う。読みと表現の総合です。社会現象の捉え方とその分析と表現力に力点を置き、語彙を増やし、英語のヴァリエーション、パラグラフの捉え方・作成の仕方に留意し、速読の要領を捉えるように目指します。時に、問題意識をもつために英字新聞・雑誌のコピーを配布して議論していきます。

講義の内容・授業スケジュール

サブテキストを利用し、ウォーミングアップとして文法問題を10分間演習し、その後をリーディングとライティング・タイムとします。レポート提出もあります。

成績評価の方法

出席、平常テスト、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教科書

リーディング・テキスト：Your World : Nature, Health, and Lifestyles (英宝社)
英文法・サブテキスト：『TOEIC Test 英文法ワークブック』(英宝社)

参考書等

参考書：参考書を随時指示し、日常言語プリントや時事英語ニュースのコピーも適宜配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔基礎英語特別クラス〕	町田成男	経営B1年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をめざす。文章表現の場合、センテンスからパラグラフへ、また、会話表現の場合、日常の基本表現からダイアログをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

テキストにしたがって読みすすめることを原則とする。

履修上の留意点

テキストと辞書は忘れずに持参すること。

成績評価の方法

出席＋発表＋試験の総合評価とする。

教科書

検討中のため、第1回の授業時に、オリエンテーションの中で発表する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話 I	永野光一	経営B1年	2

講義のねらい

英会話の基礎的な力を養成。

講義の内容・授業スケジュール

Q&A やペア・ワーク、グループ・ワーク、ロール・プレイなどを通して英語を聞く・話すことに慣れていきます。会話表現の学習やスピーチ・ライティングと発表も行います。

履修上の留意点

授業中の様々な学習活動に積極的に参加すること。

成績評価の方法

出席と授業中の学習活動への積極的な参加を重視。スピーチ・ライティングと発表の成績を入れて総合的に評価。

教科書

初回授業時に指定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 LL I	ラッセル, S. J.	経営B1年	2

講義のねらい

English LL I is for students who really want to improve their listening and speaking skills in English.

講義の内容・授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required. We will also use a range of audio and video materials to check students' listening comprehension and to prompt class discussion.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to listen to and speak English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a good English dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a challenging listening and speaking tests in the middle and end of the course.

教科書

Alive fives (Published by Nan'Un - Do Japan)
ISBN 4 - 523 - 17400 - 8

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。読解力の場合、精読に加えて段落、章などの大意が把握できること、聴解力の場合、大意が把握できることを目指します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	さ さ き たかし 佐々木 隆	経営B1年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身につける。Reading Comprehension の場合、精読に加えて、段落・文章等の大意を把握する。Listening Comprehension の場合、聞きながら文章の大意を把握する。

講義の内容・ 授業スケジュール

テキストを読み進めると同時に、関連した専門用語にも触れる。

成績評価の方法

試験の結果を含めた総合判断。

教 科 書

『ザ ジャパニーズ』(日栄社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	さ とう こ 佐藤 アヤ子	経営B1年	2

講義のねらい

英語の文章を読むときに大切なパラグラフの概念を学び、英語文章の早読みのコツを学習します。

講義の内容・ 授業スケジュール

one paragraph の短いエッセーからはじめ、次に TOEFL の問題で練習していきます。

履修上の留意点

毎回、前週で読んだエッセーの単語テストをします。

成績評価の方法

毎回の単語テスト、前後期の試験結果で総合的に評価します。

教 科 書

毎回プリントを用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	樋渡俊光	経営B1年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と Speed Reading の技術的基礎を身につける。(段落・文章等の確実な大意の把握の仕方。文章の音読の仕方等)

講義の内容・授業スケジュール

教材を通して日米の考え方の違いや、文化・生活の違いを学ぶ事によって国際人としての人間を育てる。(教材は Japan Times を使用)

履修上の留意点

予習に重点をおく。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、試験の結果及び出欠(欠席3日迄)を見て、総合的に判断する。

教科書

SIMPLY AMERICA, SIMPLY JAPAN (南雲堂) 1,300円+税 ISBN4-523-17308-7

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	太田美智子	経営B1年	2

講義のねらい

コミュニケーションの手段として英語の運用能力を高めることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

英語の歌を素材として、様々な表現を幅広く学ぶ。広範な基本フレーズを覚えることにより、状況に合わせて応用できる基礎力を培うべく、多くの表現方法を身につける。

履修上の留意点

必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持つ。単に椅子に座しているのみで、授業参加していない場合には出席とはみなさない。

成績評価の方法

平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。

教科書

『English With Hit Songs』(成美堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B [基礎英語特別クラス]	林 明人	経営B1年	2

講義の内容・授業スケジュール

簡単な読み物を使用しながら、英文の構造を学び、さらに自ら英文を書けるようになることを目的とします。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、発表、小テスト、出席の総合評価。

教科書

『構文から学ぶやさしい日常英語』(南雲堂) ISBN4-523-17440-7

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A ・ I B 〔再クラス〕	^{まる} 丸 ^こ 小 ^{てつ} 哲 ^お 雄	経営B2・3・4年	2

講義のねらい

インターネットの普及にともない、英語を書くことの必要性が増大しています。それに対応するために思考力と論理的表現力を高め、書くことの鍛錬のために読むことも目指します。

講義の内容・授業スケジュール

リスニング・テキストで総理解をして、ライティング・テキストでト自己表現できるように発信型の能力を涵養してゆきます。レポート提出もあります。

成績評価の方法

出席、平常テスト、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教 科 書

ライティング・テキスト：コミュニケーションのための英文法・英作文 英宝社
リスニング・サブテキスト：12 Great Hit Songs: Listening Workbook 英宝社

参 考 書 等

参考書：参考書を随時指示し、日常言語プリントや時事英語ニュースのコピーも適宜配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A ・ I B 〔再クラス〕	^い 伊 ^{せむら} 勢村 ^{さだ} 定 ^お 雄	経営B2・3・4年	2

講義のねらい

実際のE-mailを通して、英語の基礎と日米の考え方の違い等にふれる。

講義の内容・授業スケジュール

進め方は特に変わったやり方はしないが、音読なども取り入れつつ英語の音と内容把握もめざす。

1課を2～3時間で進む。

履修上の留意点

予習必要！辞書持参のこと！

成績評価の方法

年2回のペーパーテスト及び授業態度。

教 科 書

伊勢村定雄、John Hulgin『英文Eメール：リーディング・プラクティス』（北栄堂書店）1,600円

そ の 他

水曜日・6時限

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A ・ I B 〔再クラス〕	^{やま} 山 ^{がた} 縣 ^{ゆたか} 裕	経営B2・3・4年	2

講義のねらい

日常会話・日常表現の修得に力点を置く。

成績評価の方法

出席・定期試験などから総合的に評価する。

教 科 書

宍戸 真、Bruce Allen 著『アメリカ西海岸へ行こう』（成美堂）1,700円
ISBN4-7919-4051-2

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A・I B 〔再クラス〕	おぎの 萩野 かずしげ 一成	経営B2・3・4年	2

講義のねらい

高校卒程度の文法力で読める英文を読み、正確に情報を読みとる訓練をする。

成績評価の方法

平常授業時の出席はもちろんのこと、授業への積極的な参加姿勢が評価の重要なポイントとなる。欠席が全体の3分の1を超えた場合は失格となる。レポート、小テスト等有。

教科書

テキスト・教材については、開講時に指示する。辞書は必携。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A・I B 〔再クラス〕	ほんま としかず 本間 俊一	経営B2・3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書

『愛の諸相』（朝日出版社） 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A・I B 〔再クラス〕	いせむら さだお 伊勢村 定雄	経営B2・3・4年	2

講義のねらい

アメリカン・ストーリーを通して、アメリカ英語を学ぶ。及び英語の基礎や辞書のひき方にもふれる。

講義の内容・
授業スケジュール

音読と訳読を交互に混えて進めるが、演習形式という授業形態上、受講者は全員参加することになる。1課を2～3時間で進む。

履修上の留意点

予習必要！辞書持参のこと！

成績評価の方法

年2回のペーパーテスト及び授業態度。

教科書

Erich Segal『ある愛の詩』（英光社）1,800円

その他

水曜日・7時限

英 語 II A

〈英語 II A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。文章表現の場合、段落から自由作文へ、会話表現の場合、ダイアログからディスカッションを目指します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	しほ た こうたろう 芝 田 興太郎	経営B 2年	2

講義のねらい

言いたいこと、思っていることをのびのびと書いてみよう。英語で発表してみよう。表現しようとする意欲と表現できた達成感を育ててゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (A) 幾つかのテーマの中から自由に選択し、年間3~4篇の ESSAY (自由作文) を書き上げる。
- (B) 併行して和文英訳演習プリントを継続的に使用。基礎力を増進する。

履修上の留意点

表現しようとする意欲を最重視する。欠席、遅刻、駒澤大学学生にふさわしくないマナーには厳しく対処するつもり。辞書必携。

成績評価の方法

定期試験は行わず、ESSAY、小テスト、平常の積極性、出席率を総合的に判断する。

教 科 書

テキスト、参考書は使わない予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	か い かつ こ 甲 斐 捷 子	経営B 2年	2

講義のねらい

ブラウン氏はアメリカ企業から日本へ派遣されたビジネスマン。彼の日本でのビジネス体験を写したビデオを教材に、コミュニケーションのための英語の運用能力を高めることを目的とします。毎回の授業は、「聞き」、「話し」、「読み」、「書く」、徹底的な総合演習です。

講義の内容・授業スケジュール

前後期を通してビデオ一本を終了する予定です。

履修上の留意点

一単元終わるごとに小テストを行います。これは詳細な復習のためのテストで、本試験と同じような傾向のものです。このテストで70%以上得点できるよう、復習に重点を置いて学習して下さい。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。総合点が基準に達しない場合、欠席が三分之一を超えた場合、および前後期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから、特に欠席をしないよう、十分注意して下さい。

教 科 書

『ブラウン氏の日本体験』(朝日出版社) 1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	川崎浩太郎	経営B2年	2

講義のねらい

IAを基礎としてさらに高度な意思伝達能力の向上を目的とする。最終的には数パラグラフからなるエッセイで自分の意見を具体的かつ論理的に表現できるようになることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

テキストをもとに、パラグラフを書く手順、パラグラフの基本構成、論理展開等を学習する。それを踏まえた上で、教科書のUnitごとに適切な課題を出すので、それにしたがってエッセイライティングをおこなってもらう。また、口語表現の学習のため、TOEICのリスニングなどもおこなう。

履修上の留意点

毎時間必ず辞書を持ってくること。

成績評価の方法

出席点、発表点40%、授業中のレポート60%。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

教科書

『Skills for Better Writing－構造で書く英文エッセイ』（南雲堂）1,800円（税別）
ISBN4-523-17448-2

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	吉川直澄	経営B2年	2

講義のねらい

英語IAを基礎として、より高度な英語運用能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な基本表現を復習しつつ、英語での自己表現を拡大させる。前期は、主に音声を通じて、目から覚えられていた英語表現が“運用可能”となっているかどうか確認してゆく。後期は、前期の目標を継承しつつ、可能な限りプレゼンテーションを学生諸君にしてもらう。

履修上の留意点

とにかく繰り返し練習すること。付属のCDは聞くだけではなく、声を出して練習するためにある。練習する場合には、英語のリズムとイントネーションを極力“模倣”するように心掛けること。

成績評価の方法

3分の2以上の出席、授業内提出物、プレゼンテーション、前期試験もしくは夏休みレポート、後期末試験を総合して評価する。なお、欠席と遅刻の回数についての問い合わせには一切応じない。

教科書

『スコアアップをめざす語い中心のTOEIC総合講座：基礎編』（松柏社）1,700円
ISBN4-88198-533-7

英 語 II B

〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading：I B を基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	しば た こうたろう 芝 田 興太郎	経営B 2年	2

講義のねらい

「読解力の増進は多読から」。平易な英文に絶えず親しみ、語学力を高めたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

教科書に沿って読んでゆく予定。随時、別の読み物を加えたい。

履修上の留意点

自宅学習が欠かせない。辞書必携。

成績評価の方法

授業の始めと終りに行なう小テスト。出席率、積極性、礼儀を総合的に判断。

教 科 書

Lori Howard 著 *Read All About It Book 2* (OXFORD)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	おち あい かず あき 落 合 和 昭	経営B 2年	2

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを目標とする。現代口語英語の文章が読めるだけでなく、必ず、それを運用できるようにする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階はヒヤリングのなかで使用されている慣用表現の意味を、テキストを通して、確認する。第四段階は学生に登場人物になってもらって、その会話を再現する（一人の場合と、対話形式の場合がある）。

履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の積極的な参加を前提にして、進める。

成績評価の方法

前期試験は20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等は60%（課題は年間約10回程度提出。授業中の発表等に関しては、全員に一回の授業に最低一回は当てるように心がける）。出席率は3分の2を越えなければ、成績は「不可」とする。

教 科 書

- 1) 『英語-語法・慣用表現』（英宝社）
- 2) 『フレッシュマン英作文』（金星堂）
- 3) プリント

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	きたむらひろふみ 北村弘文	経営B2年	2

講義のねらい

今年は、従来と少し趣向を変えて、地球の環境問題を扱ったテキストを講読の授業の教材として使ってみることにしました。地球の温暖化の問題、熱帯林が消失して行く問題、水や大気の汚染問題、都市公害の問題、また人口の爆発的増加の問題とそれに伴う貧困と飢えの問題などの諸問題を考えつつ、併せて英語の読解力の向上を目指します。

成績評価の方法

定期試験（前・後期）の成績以外に、授業中の発表、レポート、出席状況などを勘案して評価します。

教科書

Planet Problems (成美堂) 1,600円
 なお、テキストの目次は以下の通り（参考までに）

I. The Environment	
Chapter	
1. The Retreat of the Glaciers in the Alps (アルプス氷河の後退)	1
2. The Pollution of Lake Baikal and Lake Biwa (バイカル湖と琵琶湖の汚染)	7
3. The Rapid Decrease of Mayan Tropical Forest (マヤ熱帯林の急速な減少)	13
4. The Spread of Groundwater Pollution (地下水汚染の広がり)	19
5. Serious Air Pollution in China (中国のひどい大気汚染)	25
6. The Advance of Sand Dunes in India (インドの砂丘の移動)	31
7. The Loss of Japan's Beaches and Beech Forests (日本の砂浜とブナ林の消失)	37
8. Serious Pollution in Asian Cities (アジアの深刻な都市公害)	43
9. A Crisis for Our Mother Earth (母なる地球の危機)	49
II. Global Issues	
10. Poverty and Hunger (貧困と飢え)	55
11. Food Shortages (食糧難)	61
12. Severe Water Shortage in Cities (都市の深刻な水不足)	67
13. The Problem of Garbage Disposal in Cities (都市のごみ処理問題)	73
14. The Heat Island Phenomenon in Big Cities (大都市のヒートアイランド現象)	79
15. Natural Gas - Powered Vehicles and Electric Cars Become the Main Means of Transport in the 21st Century (21世紀の足は天然ガス自動車と電気自動車)	85
16. Clean and Non - Depleting Energy Sources (クリーンで枯渇しないエネルギー源)	91
17. The Birth of a Cloned Sheep in Britain (イギリスでクローン羊の誕生)	97
III. Health Problems	
18. Food Contamination (食品汚染)	103
19. Death from Secondhand Smoke (間接喫煙による死亡)	109
20. The Safety of Food Produced by Gene Recombination (遺伝子組み換え食品の安全性)	115

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	濱口真木	経営B2年	2

講義のねらい

I Bで学んだことを基礎として英語の読解力の向上を目指す。また必要に応じてリスニングの練習も行い、総合的な英語力を強化する。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを進めながら、必要に応じて新聞や雑誌の記事も取り上げて表現力を養っていく。

履修上の留意点

予習をして授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

平常点50%、前期・後期の試験50%による総合評価とします。

教科書

『English in the Media 2004 - メディア英語で読む現代社会2004 -』（金星堂）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	大瀬利春	経営B3・4年	2

講義のねらい

総合的な英語力（リスニング、スピーキング、ライティング、リーディング）の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

テキスト中心にすすめますが、ライティング力をつけるための問題もプリントで行います。リスニングの小テストも行います。

履修上の留意点

毎回しっかりと予習を行い、辞書を携帯するようにして下さい。

成績評価の方法

平常点50%、前、後期試験50%で評価します。平常点は出席率、発表の内容などから総合的に評価します。

教科書

Broadening Your Cultural Horizons（成美堂）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	山縣裕	経営B3・4年	2

講義のねらい

日常会話・日常表現の修得に力点を置く。

成績評価の方法

出席・定期試験などから総合的に評価する。

教科書

WM.B. ホワイト、松居 司著『現代アメリカ英語の運用』（南雲堂）1,700円 ISBN4-523-17096-7

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	高見陽子 <small>たか み よう こ</small>	経営B3・4年	2

講義のねらい

重要な情報を漏らさず大意を把握しながら、英文をより速く読む力をつけることを主な目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

音読やリスニングを通して英語のリズムに慣れることと、精読とは異なる「理解しながら読む」方法に慣れること、この二点を軸に英文を読みこなすための基礎的な練習をします。また、文法や構文についての基本事項を確認し、その知識をもとに英語で書いたり話したりする練習も取り入れます。

履修上の留意点

辞書を毎回必ず持参すること。

成績評価の方法

全授業回数の3分の2以上の出席が必要です。前・後期試験の結果をベースに、授業中の取り組み方や発言を重視した平常点と、小テスト・レポート等の課題を加味して、総合的に評価します。

教科書

テキストについては、第一回目の授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	澤田真弓 <small>さわ だ まゆみ</small>	経営B3・4年	2

講義のねらい

簡単な英語表現を学び、リスニングやライティングの能力を総合的に伸ばすことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

毎時間さまざまな英語表現を学び、暗記してもらいます。

履修上の留意点

積極的に授業に参加することが望ましい。単語の意味調べは必ずやっておくこと。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、前期後期試験の結果を総合的に判断して評価します。

教科書

木村ゆみ、Margaret Yamaguchi 著『知っておきたい英語表現』（開文社出版）900円
ISBN4-87571-538-2 C1382

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	萩原輝 <small>はぎ わら てる</small>	経営B3・4年	2

外国語

講義のねらい

自由英作文を作る能力の修得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は“Happiness”“Money”“work”について、後期は“Love and Hate”“Humor and Laughter”について学ぶ。

履修上の留意点

教科書、英和・和英辞典を毎時間持参すること。

成績評価の方法

3分の2以上の出席、授業態度、試験の結果等の総合評価。

教科書

Jim Knudsen 著『名句で英語を学ぶ』（南雲堂）1,957円

[ドイツ語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A	まつ おか すずむ 松 岡 晋	経営B1年	2

講義のねらい

下に記した教科書を用いて一年間でドイツ語の初等文法を学習します。

講義の内容・授業スケジュール

ドイツ語の文字、発音規則の説明から始めて徐々に積み重ね、一年後には簡単なドイツ語の文章を読めるレベルに到達できれば、と考えております。授業では文法規則の説明が中心になりますが、それ以外に短文の和訳練習を行います。初等文法を一通り終える予定ですが、とりわけ動詞に関わりのある項目を重点的に学習することになります。

履修上の留意点

教科書以外に、最初の授業で紹介する各種の独和辞典のうち一点を必ず入手して下さい。また、文法の学習は継続的に行われますので、定期的に参加し、積極的に授業に参加されることを切に願っております。

成績評価の方法

成績評価は、最低二回以上おこなう筆記試験の結果および平常点（出席率、授業に取り組む姿勢など）によっておこないます。したがって、試験結果もさることながら、定期的出席、授業中の熱意なども重視します。

教科書

在間進ほか著『明るく楽しくドイツ語を』（三修社）2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B	もも すずみ いさむ 百 済 勇	経営B1年	2

講義のねらい

自分が客員研究員をしている「ベルリン・ドイツ経済研究所」(DIW)のドイツ人の経済専攻院生は勿論のこと、フランス、ロシアなどの学生・院生は、明白な問題意識をもって勉強をしていると同時に、それに必要な外国語学修得が前提となっていることだ。そうした学習方法を学ぶ必要がある。

講義の内容・授業スケジュール

諸君は、初めてドイツ語を履修する。それに受講生は法学、経営学を学ぶ諸君である。それ故に諸君が、ヨーロッパの政治・経済を学習対象とする場合には、ドイツ語の履修が不可欠だ。その修得には、まず徹底して声をだして読み、慣れることだ。毎時間、一人一人数回当ての徹底した口答対話を行う。

履修上の留意点

ドイツ人が英国訪問をした際の「ドイツ人の為の英語会話」をテキストを使うので、毎回の授業出席が前提になる。そしてこうした学習方法は、結果として英会話も力がつくだろう。時には、ドイツの新聞の政治・経済記事なども、テキストとして使用する。熱心な学生の受講を希望する。

成績評価の方法

前期、後期の定期試験は行わないが、毎時間のそれを総合して年度末の成績として評価する。

教科書

日本で作成した教科書は使わず、その都度、既に指摘したプリントを配布する。ドイツ語辞書等については、授業の際に指摘する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 I A・I B 〔再クラス〕	もも すみ いさむ 百 清 勇	経営B2・3・4年	2

講義のねらい

自分が客員研究員をしている「ベルリン・ドイツ経済研究所」(DIW)のドイツ人の経済専攻院生は勿論のこと、フランス、ロシアなどの学生・院生は、明白な問題意識をもって勉強をしていると同時に、それに必要な外国語学修得が前提となっていることだ。そうした学習方法を学ぶ必要がある。

講義の内容・
授業スケジュール

受講生は経営学部3年、4年である。それ故に諸君が、ヨーロッパ経済を学習対象とする場合には、ドイツ語の履修が不可欠だ。その修得には、まず徹底して声をだして読むことだ。経済学部、経営学部及び短期大学の学生を対象としている授業であるが、ドイツの新聞の文化・政治・経済記事なども、テキストとして使用する。

履修上の留意点

ドイツ人が英国訪問をした際の「ドイツ人の為の英語会話」をテキストを使うので、毎回の授業出席が前提になる。そしてこうした学習方法は、結果として英会話も力がつくだろう。熱心な学生の受講を希望する。

成績評価の方法

前期、後期の定期試験は行わないが、毎時間、一人一人数回当てての徹底した口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教 科 書

日本で作成した教科書は使わず、その都度、既に指摘したプリントを配布する。その際に初年度で使用したドイツ辞書、ドイツ語教科書を持参すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 II A	し みず おさむ 清 水 修	経営B2年	2

講義のねらい

ドイツ語でのコミュニケーション能力の養成をめざします。基本的な会話能力と、辞書の助けを借りて簡単な文章が読めるようになるのが目標です。

講義の内容・
授業スケジュール

最初は特に、基礎的な能力の復習に力を入れます。受講者の習熟度、意欲に合わせて授業を進めて行きます。

履修上の留意点

ドイツの文化を知り、それについて考えるということは、日本の文化を知り、それについて批判的に考えるということです。受講者には自分自身の意見を持つこと、主体的に考えるという態度を期待します。

成績評価の方法

主に平常点で評価します。

教 科 書

プリントを用意します。

参 考 書 等

授業中に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II B	しの はら とし あき 篠 原 敏 昭	経営B 2年	2

講義のねらい

ドイツ語 IA・IB で習った基礎的なことがらをもとに、少し進んだレベルのドイツ語の文章が理解できるようになることをめざします。あわせてより進んだレベルの文法項目の学習もおこないます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて授業をおこないますが、ドイツの風土、ドイツ人の考え方、行動スタイルなどもテキストをとおして学んでいきたいと思っています。

履修上の留意点

予習をやってくること、欠かさず出席すること、辞書を必ずもってくること。

成績評価の方法

毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になります。小テスト、期末試験、学年末試験などを含めて総合的に評価します。

教 科 書

『CD付きドイツ語万華鏡』（三修社）2,500円

参 考 書 等

授業の中で指示します。

そ の 他

CDをつかった授業をおこなう予定です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II A・II B 〔再クラス〕	もも ずみ いさむ 百 済 勇	経営B 3・4年	2

講義のねらい

受講生は経済学部、法学部、経営学部の3年、4年次生である。それ故に諸君が、ヨーロッパ経済を学習対象とする場合には、ドイツ語の履修が不可欠だ。その修得には、まず徹底して声をだして読むことだ。経済学部、法学部、経営学部の学生を対象としている授業故に、ドイツの新聞の政治・経済記事なども、テキストとして使用する。

履修上の留意点

ドイツ人が英国訪問をした際の「ドイツ人の為の英語会話」をテキストを使うので、毎回の授業出席が前提になる。そしてこうした学習方法は、結果として英会話も力がつくだろう。熱心な学生の受講を希望する。

成績評価の方法

前期、後期の定期試験は行わないが、毎時間、一人一人数回当ての徹底した口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教 科 書

日本で作成した教科書は使わず、その都度、既に指摘したプリントを配布する。その際に初年度で使用したドイツ辞書、ドイツ語教科書を持参すること。

〔フランス語〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I A	いま げき 今 関 ア ン	経営B1年	2

講義のねらい

フランス語初級文法の確実な習得を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

文法の問題点を学生自身が発見し、読み・書き・話し・聞く、という全ての能力を使ってフランス語文法を身につける。

履修上の留意点

毎回必ず仏和辞典を持ってきて、実際に作業しながら授業を進めてゆく。宿題は必ずすること。欠席すると小テストに不都合が生じるので皆勤を目指して欲しい。

成績評価の方法

各単元毎の小テストを含む出席点 50%、定期試験 50%

教 科 書

伊勢見『グラメール』（草美出版社）2,500 円

参 考 書 等

仏和辞典、清岡智比古『フラ語動詞、こんなにわかっていいかしら？』（白水社）1,500 円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I B	まえ だ のり かず 前 田 祝 一	経営B1年	2

講義のねらい

まず、音としてのフランス語に慣れ親しんでもらうことを、第一の目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

生活上の基本語・基本動詞・基本文型を習得することが、この一年間のスケジュールです。

履修上の留意点

毎回の授業が新しいことの学習であり、その積み重ねで一年間の勉強が成り立っているのですから、欠席すれば先のことが分からなくなります。このことに留意しておいて下さい。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで成績を評価しますが、出席状況や平常の課題なども考慮します。

教 科 書

家島光一郎編《新装版》『新初歩フランス語』（第三書房）1,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I A ・ I B 〔再クラス〕	まえ だ のり かず 前 田 祝 一	経営B2・3・4年	2

講義のねらい

初めてフランス語を学習するものとして、ABC の基礎から開始します。

講義の内容・授業スケジュール

練習問題をくりかえし教室で実践して、その積み重ねで少しずつ理解を深めてもらいます。

履修上の留意点

毎週の授業が、その前までの学習成果の上に立っての新しい項目の勉強ですから、決して欠席しないこと。欠席を重ねると取り残されてしまいますから、御用心。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで成績評価をしますが、出席状況や教室での課題の消化状況にも配慮します。

教 科 書

齊藤昌三編『ル・フランセ・ファシル』（白水社）1,750円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 Ⅱ A	や ぎ あげ み 八 木 明 美	経 営 B 2 年	2

講義のねらい

初級文法をひととおり学習した者を対象にさらに文法学習を通してフランス語を理解することを目的として授業をすすめる。
出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。

成績評価の方法

出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。

教 科 書

『ル・フランセ』（白水社）1,750円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 Ⅱ B	きの した めう すけ 木 下 雄 介	経 営 B 2 年	2

講義のねらい

1年次の授業で修得した文法の知識をもとに、辞書と相談しながら文章を読み解く練習をする。

講義の内容・
授業スケジュール

平易な文章で書かれた童話をテキストに用いる。

履修上の留意点

予習復習が必要なことは言うまでもない。テキスト中のすべての単語について、意味ばかりでなく、品詞・用法を確認して授業にのぞむこと。

成績評価の方法

平常点を重視し、前期末・学年末の試験成績を加味して採点する。かならず予習をして出席すること。

教 科 書

安東次男編注『仔象のパパール』（第三書房）825円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 Ⅱ A ・ Ⅱ B 〔再クラス〕	まえ だ のり かず 前 田 祝 一	経 営 B 3 ・ 4 年	2

講義のねらい

中級フランス語ですが、初級の後半部分を重点的に復習しつつ、平易な物語を少しずつ読み進めてゆきます。

講義の内容・
授業スケジュール

学生の側が主体的に授業参加できるように、工夫しましょう。

履修上の留意点

フランス語ⅠA・ⅠBの単位未修者は自分で参考書などを求めて、勉強するよう努めて下さい。

成績評価の方法

成績は基本的には、前・後期のペーパー・テストで評価しますが、出席状況や課題にも配慮します。

教 科 書

数江編『合本・愉快的なコント』（第三書房）1,100円

中 国 語

中国語ⅠA・ⅠB・ⅡA

(P.117) 参照

中国語ⅡB

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。長文読解中心のⅡAに対し、ⅡBの教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで日標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既修の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記ⅠA-ⅠBに準ずる。

【辞書について】

(P.118) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 Ⅰ A	あきもと 秋元 翼	経営B1年	2
中 国 語 Ⅰ B	おう そう 王 聡		2

講義の内容・ 授業スケジュール

前期はピンイン（中国式ローマ字表記）で中国語の音節の発音の仕方を学んだ後、簡単な文型の学習に入る。後期もひきつづき発音訓練をしながら、初級文法の知識をつみ重ねる。文法事項はプリントで補充することもある。

履修上の留意点

4分の3以上の出席を要する。初級は特に発音が大事なので、中国人教師の正しい発音をよく聞き、大きな声で練習してほしい。学んだ文型を用いての会話練習も積極的姿勢で臨むように。

成績評価の方法

平常の学習態度・到達度を重視し、各期末の試験と合わせて評価する。

教 科 書

尹景春・竹島毅著『《新版》中国語はじめの一步』（白水社）2,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	おおくぼ あき お 大久保 明 男	経営B2・3・4年	2

講義のねらい

正確な発音と基礎文法の習得、中国語コミュニケーション能力の養成をめざす。

履修上の留意点

毎回予習、復習が必要。

成績評価の方法

出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。

教 科 書

塚本慶一監修・劉穎著『新版 一年生のコミュニケーション中国語』（白水社）2,200円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	曹 泰 和	経営B2・3・4年	2

講義のねらい

バラエティに富む楽しいテキストで、実際に役立つような会話文を習う。基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。

履修上の留意点

元気よく、積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。

教科書

相原茂・陳淑梅・飯田敦子『恋する莎莎』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	秋 元 翼	経営B2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

中国語の初級を学び終った学生が対象だが、初級の文法を再確認しながら、無理なくやさしい読み物が読める能力を身に付けることを目標にする。内容は、日本語でも使われている成語の由来などがあり、興味深いものである。

履修上の留意点

出席重視、4分の3以上の出席を要する。予習・復習をすること。音声面も重視するので授業中の音読の時には大きな声を出してほしい。

成績評価の方法

平常の学習態度・到達度を重視し、各期末の試験と合わせて評価する。

教科書

讃井唯允著『着実にまなぶ中国語 初級～中級編』（朝日出版社）2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	東 映 全	経営B2年	2

講義のねらい

本講座は一年生で習得したAとBを基礎として、拼音を復習しながら、音読を再確認し、さらに短文を作る能力を高める。それからテキストを通じて、中国の風俗習慣をより多く理解することを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストの文法的解説及び初級文法を復習しながら、本文の読みと日本語の翻訳を中心に授業を進める。読みと翻訳については、時に受講生を指名し、正確な発音ができているかどうかを重視する。

履修上の留意点

出席重視、時間厳守、また事前予習することが大切である。

成績評価の方法

出席・授業態度そして試験等、総合的に評価する。

教科書

斎藤道彦等共著『中国に行こう』（神保出版）1,650円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	おう 王 そう 聡	経営B2年	2

講義のねらい

発音の復習や簡単な日常会話の学習と並行しながら、文法の基礎事項を順次学んでいく。中国語のヒアリングと会話の能力を高めることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期：発音の復習。実際に使われる基本表現の習得。基礎文法の解説。
後期：日常会話と基礎文法の習得を中心にし、発音の復習も念頭に。

履修上の留意点

予習を済ませてあることを前提に授業をする。

成績評価の方法

最終評価は平常点・中間テスト・期末テストの3つの成績で構成する。欠席時間数が授業時間数の4分の1を超えた者は試験を受けられない。

教科書

三瀧正道他『たのしく話そう中国語』（朝日出版社）2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	うえ 上 はら 原 かおり	経営B2年	2

講義のねらい

一年次に学んだ文法事項を基に、日常生活に必要な会話力・文章力を高めることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書を使用し、通年で教科書を終えるペースで授業を進めます。

履修上の留意点

中国語Ⅰの単位取得者にあわせて教科書を選んでいきます。

成績評価の方法

年間4回以上のテスト（前後期末試験を含む）と出席率で総合評価します。

教科書

葉燕・遠藤光暁『話す中国語 北京篇2』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	ひろ 弘 かほ 兼 かなこ 加奈子	経営B3・4年	2

講義の内容・授業スケジュール

めざましい発展をとげている現在の中国を「住宅の話」「結婚の話」等の十二の項目に分けて授業を行なう。
翻訳が中心となるが、発音・声調も重視していく。

成績評価の方法

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

三瀧正道・楊光俊 新訂版『現代中国 走馬看花』（朝日出版社）2,000円

[スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A	おお いわ いまお 大 岩 功	経営B1年	2

講義のねらい

初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

文法事項の解説と演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点

予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、かならず予習をして授業に臨むよう心がけてください。予習して損をすることは絶対にありません。なお、授業には辞書を必ず持参してください。

成績評価の方法

年数回のテストと日頃の出席状況、受講態度を総合して評価します。

教科書

寿里順平他著『スペイン語－基礎と演習－』（教材マルコ社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

辞書
有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B	おお いわ いまお 大 岩 功	経営B1年	2

講義のねらい

I-A で学ぶ初級文法をふまえて、スペイン語の初歩的な運用能力を身につけることをことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

I-B は作文を中心とした演習がメインとなりますが、適宜、文法項目の解説もします。

履修上の留意点

演習が主ですから、必ず予習して授業に臨んでください。宿題をやってくることは最低条件です。授業には辞書を持参してください。

成績評価の方法

年数回のテストと日頃の出席状況、受講態度を総合して評価します。

教科書

寿里順平他著『スペイン語－基礎と演習－』（教材マルコ社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

辞書
有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	栗林 ゆき絵 <small>くりばやし ゆきえ</small>	経営B2・3・4年	2

講義のねらい

基本的な文法事項を整理して、スペイン語のことはのしくみを学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は文法事項の説明とそれを応用した練習問題という構成で進める。前期は現在形、後期は過去形、未来形、現在完了を中心に学習する。随時、課題、小テストを実施。

履修上の留意点

指示された課題は必ずやってくること。

成績評価の方法

平常点（出席、課題）6割以上、試験（小テストおよび前後期末）6割以上で合格とする。出席が6割に満たない者には単位を与えない。

教科書

堀田英夫『現代感覚でおぼえるスペイン語のエッセンス』（朝日出版社）1,900円

参考書等

『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）
*辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するように。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA	亀山 晃一 <small>かめやま こういち</small>	経営B2年	2

講義のねらい

基礎的な文法知識と日常会話によく出て来る表現を確実に身に付け、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って困らない為のコミュニケーション能力を養成する。演習の機会を多くすることにより習得した知識を定着させる。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 Ⅱ B	<small>なか やま なお し</small> 中 山 直 次	経営B 2年	2

講義のねらい

辞書が一冊あれば、スペイン語の文献を何とか読解できるようになることをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回、場面別の対話分を訳読する。次いで、そこから抽出した文法事項を説明し、関連した応用表現を演習する。なお文法については、テキスト形（変化形）から辞書形（基本形）を復元する作業に重点をおいて説明するなどしながら、読解力の増進を図りたい。

履修上の留意点

毎時間、必ず予習をして授業に臨んで欲しい。

成績評価の方法

授業中の演習や応答の状況、および宿題や小テストの成績などを記録しておき、その合計を数値化して成績の評価とする（いわゆる学期末定期試験は行わない）。

教 科 書

中山著『トーレス一家の人たちと』（芸林書房）

参 考 書 等

辞書・参考書等は、現在持っているもので十分間に合うと思う。ただし、辞書は小型の携帯用だけではやや物足りなくなるので、その場合は、『現代スペイン語辞典』（白水社）・『西和中辞典』（小学館）・『新スペイン語辞典』（研究社）などのうちいずれか一冊を補充して欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 Ⅱ A ・ Ⅱ B 〔再クラス〕	<small>くり ほやし え</small> 栗 林 ゆき絵	経営B 3・4年	2

講義のねらい

本年度は会話表現の習得に重点をおく。動詞の活用形を学びながら、基本表現の応用の仕方を理解し、それを用いて様々なニュアンスの文を作ることを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

活用・文法事項の確認→応用作文、会話表現の説明→応用作文、を交互に行う。

履修上の留意点

辞書（和西つきが望ましい）は授業中に使用するので必ず持ってくること。基本表現は口をつけて出るよう発音練習を繰り返してほしい。

成績評価の方法

出席日数が6割に満たないものは、試験の採点を行わない。小テスト、前後期の試験を合わせて60%以上とることが単位取得の最低条件。

教 科 書

木村琢也『スペインへのパスポート』（同学社）

参 考 書 等

『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）
*辞書を所有しない者は上記の辞書を購入するように。

〔ロシア語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A	ひろ た ひて やす 廣 田 英 靖	経営B1年	2
ロシア語 I B			2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A・I B 〔再クラス〕	すぎ やま ひて こ 杉 山 秀 子	経営B2・3・4年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に重点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円＋税

参考書等

『露和辞書』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 II A	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	経営B 2年	2

講義のねらい

ロシア語 IA で学んだ基本的な語尾変化、基礎文法を復習しながら、複文（関係代名詞、形動詞、副動詞など）をさらにわかりやすく具体的に解説し、辞書の引き方を学び、辞書をたよりに簡単な文章を読んだり、日常会話も試みます。

授業の合間には、ロシア文化圏を紹介するビデオを鑑賞し、また Windows で日本語ワープロソフト Word を用いてロシア語の文書を作り、「パソコンでロシア語の処理ができる」ことを実感します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教 科 書

教場にてプリントを配布。

参 考 書 等

『露和辞書』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 II B	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	経営B 2年	2

講義のねらい

ロシア語 IB で学んだことを基礎に、新聞・雑誌などから選んだ生の興味ある見出しや短い文章を教材として利用し、ロシア語の理解力を向上させるために、辞書を実用的な文章の学習に取り組みます。

授業の合間には、旧ソ連、新しいロシアおよびその近隣諸国の文化、歴史の理解に役立つビデオを鑑賞し、またユーモアあふれるロシアのアネクドット（小話）や含蓄に富んだことわざにもふれ、生き生きとした実践的なロシア語学習を目指します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教 科 書

教場にてプリントを配布。

参 考 書 等

『露和辞書』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 II A ・ II B 〔再クラス〕	すぎ やま ひで こ 杉 山 秀 子	経営B 3・4年	2

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・
授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教 科 書

1年次に使用した教科書と文法表。

そ の 他

プリント配布。教場にて指示します。

英 会 話 I ・ II

初級の会話クラスです。基本的な日常表現ができることを目指します。達成目標の目安は英検2級合格、TOEFL®のスコアー450点、TOEIC®のスコアー500点程度です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	なが の こう いち 永 野 光 一	11以前経営B選	2

(P.480参照)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	なが の こう いち 永 野 光 一	経営B選	2

講義のねらい

中級レベルの英会話力を養成。前年度、英会話Iを終了していることが望ましい。

講義の内容・
授業スケジュール

Q&A やペア・ワーク、グループ・ワーク、ロール・プレイなどを通して英語を聞く・話す力に更にもがきをかけていきます。会話表現の学習やスピーチ・ライティングと発表も行います。

履修上の留意点

授業中の様々な学習活動に積極的に参加すること。

成績評価の方法

出席と授業中の学習活動への積極的な参加を重視。スピーチ・ライティングと発表の成績を入れて総合的に評価。

教 科 書

初回授業時に指定。

英語 L L I ・ II

ランゲジ・ラボラトリ（1号館3・4階のPC教場）を使用し、英語の発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。I、IIともTOEFL®で450点、TOEIC®500点、英検2級合格程度を達成目標とする初級レベルのクラスです。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	ラッセル, S.J.	11以前経営B選	2

(P.481参照)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L II	かとう まわこ 加藤 佐和子	経営B選	2

講義のねらい

コミュニケーション向上と TOEIC®のスコアアップを中心にリスニングを強化する。

講義の内容・ 授業スケジュール

授業は、前半と後半に分けて行う。前半は、動詞のユースージを中心としたテキストをレッスン1ずつ進む。後半は、TOEIC®の練習問題のテキストを毎回 Unit 1ずつ進む。また、最新の海外の話題・ニュースのリスニングも随時行う。毎回小テストを行う。

履修上の留意点

各自カセット・テープを用意すること。必ず復習をすること。

成績評価の方法

平常点（小テストを含む）50%
まとめテスト50%

教科書

English 20（英進社）
5 - Minute Quizzes for the TOEIC Test（マクミラン・ランゲージハウス）

4. 保 健 体 育 科 目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

保健体育科目時間表

(於：本校体育館)

	月 曜 日		火 曜 日		水 曜 日		木 曜 日	
6 時 限	※大石	ニュースポーツ			※村松	卓球	鈴 木	健康・スポーツ論*
	秋 田	バドミントン			高 橋	空手道		
	山 口	室内球技			三 幣	バドミントン		
7 時 限	※秋田	バドミントン	田 中	健康・スポーツ論*	※高橋	空手道		
	大 石	ニュースポーツ			村 松	卓球		
	山 口	室内球技			三 幣	バドミントン		

※は、科目の担当者 *時間表で教場を確認のこと。

4 . 保健体育科目

健康・スポーツ論 (前期)	〈鈴木淳平〉	511
健康・スポーツ論 (前期)	〈田中佳孝〉	512
健康・スポーツ実習 (卓球)	〈村松誠〉	513
健康・スポーツ実習 (バドミントン)	〈秋田浩一・三幣晴三〉	514
健康・スポーツ実習 (室内球技)	〈山口良博〉	515
健康・スポーツ実習 (空手道)	〈高橋俊介〉	516
健康・スポーツ実習 (ニュースポーツ)	〈大石武士〉	517
生涯スポーツ実習 (集中前期・基礎／応用)	〈休講〉	
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎／応用)	〈休講〉	
生涯スポーツ演習 (シーズン前期) (ゴルフ)	〈森本葵 他〉	518
生涯スポーツ演習 (シーズン後期) (スキー・スノーボード)	〈鈴木淳平 他〉	519

保健
体育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 (前期)	すずき じゅん べい 鈴 木 淳 平	経営B選	2

講義のねらい

健康としての具備すべき条件（13項目）の追求と、それに深くかかわる体育、スポーツの本質を見つめて、その科学的、医学的知識を持って、将来の社会的な生活拡充化の意識の育成を図る。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：体育の発生と今日までの各々の時代的変遷と併せて古代体育の目的と現代の体育の具体的目標について。
- 2 時限目：健康のための条件を再確認し、健康と身体運動の意義を人間以外の動物の寿命等を例として認識させる。
- 3 時限目：スポーツの発生経緯、発案者、命名の様相、各々の特徴、分類について
- 4 時限目：スポーツと体力の関係について
- 5 時限目：運動能力発達の原理
- 6 時限目：運動能力の領域
- 7 時限目：運動能力の構造
- 8 時限目：運動能力とスポーツ技能の分析
- 9 時限目：総合体力の定義と要素
- 10 時限目：スポーツ実施上の功罪、その一つとしてのスポーツ生涯について
- 11 時限目：　　〃
- 12 時限目：トレーニング理論全般
- 13 時限目：　　〃
- 14 時限目：　　〃
- 15 時限目：まとめ

成績評価の方法

成績評価は学期末の筆記試験による。

教 科 書

不要。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 (前期)	たなか よし たか 田 中 佳 孝	経営B選	2

講義のねらい

煩雑な現代社会の中で、人間が健康を維持しながら日常生活を営む為には安定した栄養摂取、十分な休養(睡眠)と適度な運動が必要である。これら三つは全て不可欠なものであるが、この講義では殊に栄養の観点から健康に係る諸問題を識り、より積極的な健康維持の為の栄養学的方法を学び、ストレスの多い現代社会生活に対抗できる食生活や健康な学生生活を送る為の栄養学をビタミンを中心に学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 人間に必要な栄養素
- 2 戦前・戦後に於ける栄養不足の違いについて
ビタミンとは
- 3 ビタミンの生理作用と薬理作用について
- 4 ビタミン欠乏症について
潜在性ビタミン欠乏症と自律神経失調症について
- 5~7 主なビタミンの働きについて
A、B群、C、D、E、K、U等
- 8~10 健康な学生生活を送る為のビタミン
○飲酒
○喫煙
○スポーツ
○外食、甘党
○ダイエット
○妊娠
- 11~12 健康を保つ食べ物
- 13 筆記試験

履修上の留意点

1. 遅刻は認めない。
2. 授業中の携帯電話の使用は厳禁。違反者は不合格とする。

成績評価の方法

2/3以上の出席をした者に対し筆記試験を行ない、優~不可の評価を行なう。出席回数不足した者は不合格とする。

参 考 書 等

『健康科学ライブラリー』1、4、7、8、9巻(大修館)
『0歳からのビタミンバイブル』／『貝原益軒の養生訓』／『サーロインステーキ症候群』
『食事療法』／『新健康になるシリーズ』(女子栄養大学)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (卓球)	むら まつ まこと 村 松 誠	経営B1必	2
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(卓球)		経営B2・3・4年	

講義のねらい

文明発達の著しい今日、日常生活の中での動的プログラムは、益々減少しつつある。このような生活環境、特にフレックスB学生に対して、例え少ない時間であっても、卓球を通じて体を動かすことを主なねらいとしたい。特に卓球は瞬時の動きを必要とするから、意識的に敏捷な動きを課したい。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、目標の説明
- 2 時限目：ラケットの種類の特徴、ラケットの握り方、ラケットとボールを使った遊び
- 3 時限目：サービス、レシーブ、フォアハンドドライブ
- 4 時限目：サービス、フォアハンドドライブ、スマッシュ
- 5 時限目：サービス、バックハンド
- 6 時限目：サービスレシーブ、バックハンド
- 7 時限目：総合練習
- 8 時限目：総合練習 シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10時限目： 〃
- 11時限目： 〃
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目： 〃
- 14時限目： 〃
- 15時限目：まとめ、テスト

成績評価の方法

出席を重視する。

教 科 書

服装は運動着、体育館用シューズ。
用具は全て貸与する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (バドミントン)	あきた こういち みぬさ はるみ 秋田 浩一・三幣 晴三	経営B1必	2
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(バドミントン)		経営B2・3・4年	

講義のねらい

バドミントンは、大衆スポーツとして日本人には非常に親しい存在である。幼いころからバドミントンラケットとシャトルコックで遊びとしてラリーを楽しんでいる。にもかかわらず、バドミントンを正式のルールのもとで実施できる人は非常に少ない。これは、おそらく学校体育の中で実施している学校がすくないことによるものであろう。

本講義では、手軽に実施できて、しかも運動量も予想以上に多く、虚々実々の駆け引きを必要とするバドミントンを、生涯スポーツとして長く楽しめるように、そのための基礎知識と技術を提供しようとするものである。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション・バドミントンの基礎知識・ラリー練習
(バドミントンのスイング技術・グリップ)
- 2 時限目：サーブの基本技術・フォアとバックスイングの基本技術
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 3 時限目：スマッシュの基本技術/ネット際のプレー技術
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 4 時限目：バドミントンコートの説明・ダブルスゲームの運び方、ルールの説明
正式ルールでのダブルス練習試合
- 5 時限目：ダブルスゲーム、1部リーグから4部リーグまでのリーグ戦第1日目
- 6 時限目： 同 第2日目
- 7 時限目： 同 第3日目
- 8 時限目： 同 第4日目
- 9 時限目： 同 第5日目
- 10 時限目：シングルスゲームの運び方、ルールの説明、正式シングルスゲームでの練習試合
- 11 時限目：シングルスゲーム、1部から7部までのリーグ戦
- 12 時限目： 同 第2日目
- 13 時限目： 同 第3日目
- 14 時限目：ダブルス、トーナメント優勝戦
- 15 時限目：シングルス、トーナメント優勝戦

成績評価の方法

服装：一般的な運動服装
シューズ：運動靴 (体育館用として中履きのシューズを使用すること)

教 科 書

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

そ の 他

バドミントンラケット・シャトルコックは大学で用意する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (室内球技)	やま くち よし ひろ 山 口 良 博	経営B1必	2
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)		経営B2・3・4年	

講義のねらい

バスケットボール、バレーボールを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
- 2時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3時限目：ハーフコート2対1、ゲーム (1次リーグ)
- 4時限目：ハーフコート3対2、ゲーム (1次リーグ)
- 5時限目：ハーフコート4対3、ゲーム (1・2次リーグ)
- 6時限目：ハーフコート3対3、ゲーム (2次リーグ)
- 7～9時限目：ゲーム (2次リーグ)
(バレーボール)
- 10時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム (リーグ戦)
- 11時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム (リーグ戦)
- 12時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム (リーグ戦)
- 13～15時限目：ゲーム (トーナメント)

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点 (70点)、実技点 (20点)、態度点 (10点)、60点以上を合格とする。

そ の 他

種目の内容については、第1回目の授業時に決定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (空手道)	たか はし しゅん すけ 高 橋 俊 介	経営B1必	2
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(空手道)		経営B2・3・4年	

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10 時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11 時限目：総合的に反復して練習
- 12 時限目：総合的に反復して練習
- 13 時限目：総合的に反復して練習
- 14 時限目：総合的に反復して練習
- 15 時限目：実技試験

履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 (ニュースポーツ)	おお いし たけ し 大 石 武 士	経営B1必	2
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(ニュースポーツ)		経営B2・3・4年	

講義のねらい

現在、ニュースポーツとして注目されている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやミニサッカー・バウンドテニスなど、それぞれのスポーツを余暇ゲーム感覚で楽しみながら、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 時限目：スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 時限目：スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 時限目：スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 時限目：スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 時限目：スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ミニサッカー
- 8 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 9 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 10 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 11 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 12 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎/応用) ゴルフ	もりもと まもる 森 本 葵 他	経営B選	2

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。
生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション 1回目 4月10日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2回目 4月17日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業 7月23日(金) 13:00~16:00 2研-102教場「ゴルフの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目 9月6日(月) 実技:12:50~17:20 打撃練習
講義:10:40~12:10 17:30~18:00 《ゴルフスイングの基本》
※注意:1日目は、玉川校舎で実施する。
 - 2日目 9月7日(火) 実技:13:30~16:30 打撃練習
講義:19:00~21:00 《ゴルフのマナーやエチケット》
 - 3日目 9月8日(水) 実技:9:00~16:30 打撃練習・ラウンド
講義:19:00~21:00 《ゴルフのルール・ラウンドについて》
 - 4日目 9月9日(木) 実技:9:00~16:30 打撃練習・ラウンド
講義:19:00~21:00 《ラウンドの反省と総括》
 - 5日目 9月10日(金) 実技:9:00~12:00 ラウンド

履修上の留意点

- 生涯スポーツ演習 シーズン前期・基礎/応用 ゴルフを履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。
- 実習日程:9月6日(月)~9月10日(金)の3泊5日(現地集合解散)
 - 場 所:①宿泊 ホテル安比グランド 電話0195-73-6400 FAX0195-73-5025
岩手県岩手郡松尾村安比高原
②練習場 玉山ゴルフクラブ 電話019-683-3100 FAX019-683-3100
③コース 安比高原ゴルフクラブ 電話0195-73-5311 FAX0195-73-5044
 - 定 員:40名
 - 集合解散:現地(ホテル安比グランド)
※希望者多数であれば、格安なバスの利用も可能です。詳細については、オリエンテーションにおいて説明します。
 - 受講料:39,500円(左記金額には、交通費は含まれない。)
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間:5月24日(月)~6月5日(土)
 - 服装・用具
 - ① 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
 - ② ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 - ③ グローブは、必ず各自で用意すること。
※ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)によって2単位が認められる。成績は、講義・実技の出席状況、講義・実技テスト、実習参加態度等、総合的に評価される。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階資料室)に連絡すること。なお、受講料の一部は、返却されないことがあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎/応用) スキー・スノーボード	すず き じゅん ぺい 他 鈴木 淳平 他	経営B選	2

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

○スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。

○スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション 1回目 4月10日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2回目 4月17日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業 12月20日(月) 13:00~16:00 2研-102教場「スノースポーツの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目 2月14日(月)
午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目 2月15日(火)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
 - 3日目 2月16日(水)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
 - 4日目 2月17日(木)
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5日目 2月18日(金)
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習 シーズン後期・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成17年2月14日(月)~2月18日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グランド 電話 (0195) 73-5019
- 3) 定 員：スキー 30名
スノーボード 20名(但し、初心者に限る)
- 4) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間：5月24日(月)~6月5日(土)
- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生の追再試、1~3年生の追試験と重なっているのに特に注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

Ⅱ 専 門 教 育 科 目

経営学科フレックス B・第 2 部経営学科

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、
フレックス A の頁を参照してください。(→P.265)

科
專
門
教
育
目

Ⅱ. 専門教育科目

簿記	学	(中)	村	公	一)	525
簿記	学	(高)	田	光	明)	526
簿記	学	(小)	田	幹	雄)	527
簿記	学	(猿)	山	義	広)	528
簿記	学	(大)	野	満	奈)	529
簿記	学	説	滝	田	公一)	529
簿記	学	高	木	克	己)	530
簿記	学	飯	田	哲	夫)	531
簿記	学	橋	場	利	幸)	532
簿記	学	加	藤	武	信)	533
簿記	学	加	藤	武	信)	534
簿記	学	加	藤	武	信)	535
簿記	学	中	川	淳	平)	535
簿記	学	宮	城	徹		536
簿記	学	高	橋	成	夫)	537
簿記	学	枝	松	正	行)	538
簿記	学	日	野	健	太)	539
簿記	学	鹿	嶋	秀	晃)	540
簿記	学	藤	原	篤	志)	541
簿記	学	兼	村	栄	哲)	542
簿記	学	高	田	光	明)	544
簿記	学	茂	垣	広	志)	545
簿記	学	休	講			
簿記	学	休	講			
簿記	学	休	講			
簿記	学	園	田	哲	男)	545
簿記	学	休	講			
簿記	学	前	田	和	利)	546
簿記	学	大	島	久	幸)	546
簿記	学	山	田	勝		547
簿記	学	石	名	坂	邦昭)	547
簿記	学	服	部	昌	久)	548
簿記	学	休	講			
簿記	学	小	田	幹	雄)	549
簿記	学	渡	邊	惠	一郎)	550
簿記	学	猿	山	義	広)	551
簿記	学	阿	部	一	人)	552
簿記	学	近	藤	禎	夫)	553
簿記	学	高	木	克	己)	554
簿記	学	片	桐	伸	夫)	555
簿記	学	休	講			
簿記	学	休	講			
簿記	学	明	石	博	行)	556
簿記	学	休	講			
簿記	学	休	講			
簿記	学	速	水	昇		557

金	融	論	〈北	見	良	嗣	557
国	經	論	〈永	田	智	則	558
日	市	論	〈羽	鳥		茂	559
証	場	論	〈佐	藤		昇	560
計	經	学	〈吳		逸	良	561
イ	済	論	〈羽	田	尚	子	562
ノ	ヨ	史	〈北	島	万	次	562
日	ン	論	〈高	井	徹	雄	563
経	概	Ⅱ	〈宇	谷	明	秀	563
情	用	Ⅲ	〈宇	谷	明	秀	564
情	用	論	〈西	村	和	夫	565
情	用	学	〈小	沢	利	久	566
経	報	論	〈休		講		
シ	ム	論	〈宇	谷	明	秀	567
統	原	論	〈山	内	慎	二	567
経	統	計	〈休		講		
民		法	〈織	田	晃	子	568
商		法	〈川	口	幸	美	568
勞	働	法	〈藤	本	正	郎	569
税		法	〈奥	村	正	郎	570
演	習	I	〈高	井	徹	雄	571
演	習	I	〈岩	淵	昭	子	572
演	習	I	〈依	田	聖		572
演	習	I	〈服	部	昌	久	573
演	習	I	〈羽	鳥	茂		573
演	習	I	〈飯	田	哲	夫	574
演	習	I	〈兼	村	哲		574
演	習	I	〈大	島	久	幸	575
演	習	I	〈茂	垣	広	志	575
外	講	(英書)	〈日	野	健	太	576
外	講	(英書)	〈速	水		昇	576
ビ	講	英語	〈町	井		靖	577
特	講	(前期)	〈代	田		純	577
演	習	Ⅱ	〈北	島	万	次	578
演	習	Ⅱ	〈加	藤	武	信	579
演	習	Ⅱ	〈前	田	和	利	579
演	習	Ⅱ	〈鈴	木	幸	毅	580
演	習	Ⅱ	〈阿	部	一	人	580
演	習	Ⅱ	〈長		一	強	580
演	習	Ⅱ	〈大	野	満	奈	581

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営学	なかむらこういち 中村公一	経営B1必	4

講義のねらい

我々が日常生活をしていく上で、企業は必要不可欠な存在となっている。例えば、洋服を買う場合を考えてみたい。洋服をデザインし、生地から商品を作り、在庫として管理し、各店舗に必要なものを運搬し、販売する。そして、我々の手に届くのである。この一連の流れの中心には、企業が関わっており、より良い商品や、販売までの仕組みを作ることを課題としている。さらに、卒業後は企業に就職を希望する人たちが大半であろう。経営学は、そのような企業の分析を中心に展開されてきた。

本講義では、今まで培われてきた豊富な経営学の理論と、できる限り身近な企業の実例を用いながら、理論と事例の融合を図り、経営学とは一体何を勉強する学問なのかということを常に問い続けたい。1回の講義で1つの重要テーマに関する内容を扱い、さらなる専門科目の学習への基盤になるような知識と考え方の習得を目指していく。

したがって、この講義は、経営学関連科目の基礎として位置付けられるものである。

講義の内容・授業スケジュール

第1部 経営学の基本課題

1. 経営学を学ぶ意義
 2. 経営学の対象（経営とは何か、経営の概念）
 3. 経営学の展開（経営学の過去と現在）
 4. 企業・組織とは何か
 5. 経営者とは何か
 6. 日本と海外の企業（経営的特徴の比較）
 7. 企業を取り巻く諸問題
- ・前期では、経営学に関する基礎知識の習得を目的に学習していく。

第2部 経営学の諸課題

1. 組織をつくる（組織に関わる問題）
 2. 組織を管理する（管理に関わる問題）
 3. 組織を成長させる（戦略に関わる問題）
 4. 組織とヒト（労務に関わる問題）
 5. 組織とモノ（生産、販売に関わる問題）
 6. 組織とカネ（財務に関わる問題）
- ・後期では、経営学の各論部分を学習していく。多くの関連専門科目につながっていく内容である。

履修上の留意点

経営学を勉強する上では、日頃から新聞や雑誌、テレビなどで関連する情報にはできる限り目を通すことが効果的である。我々の周りではどのようなことが起きているのか、常に把握していくことが、経営学への学習意欲の向上につながるだろう。

本講義は、大教室で行われ、多数の学生が受講するので、他人の迷惑になる私語は絶対にしないように注意すること。

成績評価の方法

学年末定期試験を中心に、授業中に行う復習テスト、小レポートなど、多面的な尺度から評価する。

教科書

特定の教科書は用いずに、配布プリントによって講義を進める。経営学の基本書や参考書、用語辞典などの紹介は講義の中で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
簿記学	高田 光 明 <small>たか だ みつ あき</small>	経営B1必	4

講義のねらい

〔複式簿記〕

この授業では、企業が採用している簿記システムである複式簿記について学ぶ。企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態では通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを製品として生産し販売するという営業活動を遂行する。こうした営業活動として具体化しているのが、資本の運用活動である。生産した製品が社会に受け入れられ販売が順調に進めば、製品の販売により回収獲得されてくる資本は、生産要素の取得に投じた資本よりも増加している。企業の営業活動を通じた資本のこのような自己増殖分が利益である。他方、製品が期待したようには社会に受け入れられず販売が滞り、製品の販売により回収獲得されてくる資本が、生産要素の取得に投じた資本よりも少なく、営業活動で資本が減少してしまうこともある。このような資本の日減り分が損失である。

企業が資本調達活動や、購買・生産・販売という営業活動として観察される資本の運用活動を実施すると、企業資本が増減変化する。企業が資本を調達すれば、その資本を具体化している現金の増加という形をとって企業資本の有高がそれだけ増加する。調達資本で営業活動を遂行していくと、資本は調達時の現金の状態から、原材料や機械といった非現金資産に転換し、さらにはその姿を次々と変え、最終的には元の現金の状態に戻ってくる。そして、営業活動が順調に推移するならば、この過程を通じて資本は自己増殖しているという具合である。企業の諸活動に伴う以上のような資本の動きを把握するために必要とされるのが、複式簿記である。

〔大学における簿記学〕

簿記学は、大学における会計関係の科目を学ぶ基礎・出発点としての位置にある。簿記学のカリキュラム上におけるこのような性格に配慮し、この授業では、受講者が、会計関係の諸科目をこれから学んでいける発展性のある学力を身に付けられることを目指す。そのためには、複式簿記を理論的に理解できるようにする必要があるため、会計学との関連に留意しながら授業を行う。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、複式簿記について、その基本構造と、帳簿の開始記入時から決算手続きを経て帳簿の締切り手続きに至る一巡の主要手続きを、系統的に理解できるようになることをまず主眼とする。そこで、授業の前半では、次の順番で授業を進めていく。

1. 資本と資産
2. 勘定の記入
3. 取引の分解
4. 収益と費用
5. 仕訳と転記
6. 試算表
7. 精算表と財務諸表
8. 決算と決算手続

履修上の留意点

簿記の学習には、記帳練習が不可欠である。授業中にあるいは宿題の形で課す記帳練習のノルマを果たし、簿記の仕組みを言わば体得するという姿勢も大事である。

成績評価の方法

期末の筆記試験と、適宜提出を求める記帳練習問題を総合して評価する。

教科書

沼田嘉穂著『簿記教科書』(同文館)
 同著『簿記教科書・記帳練習帳』(同文館)

参考書等

染谷恭次郎著『簿記の手ほどき』(日経文庫)

科目名	担当者名	配当学科	単位
簿記学	小田幹雄	経営B1必	4

講義のねらい

簿記を初めて学ぶ学生のために設けられた、簿記の基礎知識を理解してもらうクラスです。簿記は、日常の経済活動の状態を数値的に把握し、記録するための大切な手段であるので、本講座では「簿記とはどのようなものか」ということを認識してもらうために、プリントや練習問題により、簿記学習の基礎である資産・負債・資本の概念や、収益・費用の意味について理解してもらいたい。また、いろいろな勘定科目の意味を理解し、簿記一連の流れである仕訳・転記・試算表・決算修正・決算等についての基本的問題について正確に理解してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容は次のようになります。

- I 複式簿記の原理：複式簿記の計算構造・簿記一巡の手順
- II 期中取引の処理：現金預金、商品売買、売掛金・買掛金、受取手形・支払手形など
- III 決算に必要な処理：決算修正仕訳・残高試算表の作成など
- IV 帳簿処理の合理化：伝票制度

履修上の留意点

簿記の学習は「自分自身がペンと電卓をもって練習問題を数多く解くこと以外にはない」と私の教育方針から、練習問題を解かせるし、テストや宿題を出すこともある。テスト用紙は必ず提出すること。出欠席のチェックは毎回行う。

成績評価の方法

講義の際のテストの点数および、宿題の点数を台計し、定期試験の点を加算し、再び平均点を出して評価する。そのため、講義中のテストや宿題の未提出者は当然平均点が下がることになるから注意をすること。

教科書

羽瀧信宏監修『簿記テキスト—商業簿記—初級編』（共栄出版）2,000円程度
中村義彦編著『基本簿記演習』（プレスウェーブ）1,524円

参考書等

鵜飼哲夫・中村義彦著『簿記イントロダクション』（森山書店）2,625円

科目名	担当者名	配当学科	単位
簿記学	さる やま よし ひろ 猿 山 義 広	経営B1必	4

講義のねらい

この講義では、会計学の初心者を対象として日商簿記3級レベルの商業簿記を学びます。簿記を通して企業の経済活動の実態が見えてきます。また簿記は、企業社会のみならず、広く社会一般において役立つ計算技術です。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 簿記の意味・目的・種類
- 第2章 簿記の基本概念
- 第3章 取引と勘定記入
- 第4章 仕訳と転記
- 第5章 仕訳帳と総勘定元帳
- 第6章 試算表と精算表
- 第7章 決算と財務諸表の作成
- 第8章 現金・預金
- 第9章 商品売買
- 第10章 売掛金と買掛金
- 第11章 その他の債権・債務
- 第12章 手形
- 第13章 貸倒損失と貸倒引当金
- 第14章 有価証券
- 第15章 固定資産
- 第16章 費用・収益
- 第17章 資本と税金
- 第18章 帳簿と伝票
- 第19章 決算

履修上の留意点

「簿記学」は計算科目なので、かならず電卓を持参すること。

成績評価の方法

期末試験に平常点を加味して評価します。ただし、中心になるのは期末試験の結果です。

教科書

加古宜士・穂山幹夫監修『段階式日商簿記3級商業簿記』（税務経理協会）

参考書等

加古宜士・穂山幹夫監修『段階式日商簿記ワークブック3級商業簿記』（税務経理協会）

科目名	担当者名	配当学科	単位
簿記学	おののまん 大野満奈	経営B1必	4

講義のねらい

簿記は会計学の基本であり、複式簿記の計算構造は、会計学のどの分野を学ぶにしても前提的に理解されることが必要である。この意味において、簿記の基本原則を理解し、経営学部に学ぶ者が最低必要とされる簿記知識を修得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期

1. 簿記・会計の意義と目的
2. 企業の財政状態—貸借対照表
3. 企業の経営成績—損益計算書
4. 取引と仕訳
5. 勘定記入と元帳の締め切り
6. 帳簿・伝票・証ひょう
7. 試算表の作成 (1)
8. 精算表の作成 (1)
9. 現金・預金
10. 小口現金
11. 商品売上の処理と仕入帳・売上帳
12. 総合復習
13. 総合復習

後期

1. 商品有高帳
2. 売掛金・買掛金と人名勘定
3. 有形固定資産の取得と売却
4. 資本金と引出金
5. 試算表の作成 (2)
6. 売上原価の計算と決算仕訳
7. 貸し倒れの見積りと減価償却
8. 精算表の作成 (2)
9. 有価証券
10. 手形取引
11. 費用・収益の見越しと繰り延べ
12. 精算表の作成 (3)
13. 総合復習

履修上の留意点

簿記は自分で練習問題を解き、照合することによって初めて修得できるものであるから、原則として毎回出席して要点を理解し、自宅では毎回の復習に心掛けること。また、疑問点は、積極的に質問することによって早期に解決しておくこと。

成績評価の方法

試験の点数・出席回数・提出物の三点をもって総合的に評価する。

教科書

『要点整理 日商簿記検定練習問題集』3級 (一橋出版)

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学概説	たまたこういち 滝田公一	経営B1・2・3・4選	4

講義のねらい

入門用の経済学の講義を行います。経済学の知識は、将来、経営学や会計学を勉強する際に役に立ちます。前期はミクロ経済理論を、後期はマクロ経済理論を講じる予定です。

講義の内容・授業スケジュール

1. 消費者行動
2. 個人需要と市場需要
3. 生産と費用
4. 完全競争下の企業
5. 独占と寡占
6. 生産要素市場
7. 一般均衡と経済厚生
8. 市場の失敗
9. 不確実性と情報
10. GNPと物価指数
11. 国民所得決定の理論
12. 貨幣市場の理論
13. IS-LM分析
14. 消費関数の理論
15. 投資関数の理論
16. 財政政策と金融政策
17. 失業とインフレーション
18. 国際マクロ経済理論
19. 景気変動の理論
20. 経済成長

履修上の留意点

特にありません

成績評価の方法

学年度末の筆記試験によって評価します。

教科書

ブレア&ケニー、『現代ミクロエコノミクス』、(多賀出版) (前期用)
マンキュー、『マクロ経済学I』、(東洋経済) (後期用)

参考書等

倉沢資成、『入門価格理論』(日本評論社)
中谷巖、『入門マクロ経済学』(日本評論社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会 計 学	たか き かつ み 高 木 克 己	経営B1・2・3・4選	4

講義のねらい

今日、企業活動の国際化に伴い、会計制度も大きく変わろうとしている。その中で、我々は、個人又は組織体としていろいろな経済活動を行なっている。このような経済活動を営む主体を経済主体というが、会計の役割は、この経済主体が行なう経済活動及びこれに派生して起こる経済事象を、主として貨幣額で測定・記録・報告をすることにある。会計学は、通常、株式会社の会計を研究対象とする学問である。

本講義では、簿記学を学ぶ上でも参考になるように、企業会計の仕組みを明らかにしていくことにする。特に、企業会計に大きな影響を及ぼしている国際会計基準(国際財務報告基準)、商法、証券取引法、法人税法等の規定との関係、あるいは、近時、次々と公表されている会計処理基準についても、できるだけやさしく説明しながら、その根拠、背景を明らかにしていきたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 会計の意義・役割等
2. 貸借対照表と損益計算書、利益処分計算書
3. 企業会計の理論構造
 - (1) 会計公準
 - (2) 企業会計原則
 - (3) 国際会計基準
4. 会計の制度的枠組み
 - (1) 商法による会計規定
 - (2) 証券取引法による会計規定
 - (3) 法人税法による会計規定
5. 資産会計
 - (1) 意義と分類
 - (2) 評価基準
6. 負債会計
 - (1) 意義と分類
 - (2) 引当金、社債等
7. 資本会計
 - (1) 意義と分類
 - (2) 利益剰余金、資本剰余金、自己株式
8. 損益会計
 - (1) 意義と分類
 - (2) 損益の認識基準
9. 財務諸表の作成
10. 連結財務諸表

履修上の留意点

簿記学での学習と常に平行しながら、受講するとより理解が深まると思われる。この分野の勉強をより深めるには、2年次以降履修可能な財務会計論を履修するとよい。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。

教 科 書

講義で使用する教科書、参考書等については開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 数 学	飯 田 哲 夫	経営B1・2・3・4選	4
		14似導入学生経営A1・2・3・4選	

講義のねらい

企業経営上の諸問題を扱う際、問題を定量的に分析したり、合理的な意思決定を行うために数理的な方法論を用いることがしばしばある。また、近年の情報化の発展に伴い、多種大量のデータを収集し、企業経営に活用することが容易になっており、そのための情報利用技術もまた発展してきている。

合理的な意思決定を支援する方法論や情報利用技術については、経営科学や経営情報学といった専門科目で学ぶことになるが、それらを理解する上で、ある程度の数学的素養があることが望ましい。

この講義では、経営科学や経営情報学、そして、その他の経営学関連の専門科目に関係する数学的知識のみを対象とし、数学をあまり得意としない人でも理解できるように、応用例を交えて、数学がどのように用いられるのかを具体的に紹介しながら基礎的なことから講義を進めていく

講義の内容・授業スケジュール

講義は高校で習った数学の復習を含めて基本的な内容から始め、微分および線形代数を扱う。具体的には以下の内容を予定している。

1. 1次関数、2次関数
2. 分数関数、指数関数
3. 数列、極限
4. 微分法とその応用
5. 多変数関数、多変数関数の微分とその応用
6. ベクトル、行列、逆行列
7. 連立1次方程式、連立1次不等式
8. 確率の基礎

ただし、応用例などを紹介するにあたり、関連性の強いいくつかの内容をまとめて説明することもあるため、必ずしも上記の順番で講義を行うものではない。

履修上の留意点

講義では理解を助けるために例を用いて説明を行うけれども、数学を学ぶ上では、抽象的な概念に慣れることが必要であり、かつ、講義の積み重ねを経ないと理解できないことも多いため、毎回出席すること。

成績評価の方法

前期・後期それぞれに数回小テストを行う。必要に応じてレポートの提出を求めることもある。それらの成績を年度末の筆記試験に加味して評価する。

教科書

特に指定しない。プリントを適宜配布する。

参考書等

講義中に適宜紹介する。

その他

〔関連科目〕 経営科学概論、経営科学、経営情報論、情報理論、経営統計、統計原論

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理基礎(前期)	はし ば とし ゆき 橋 場 利 幸	経営B1・2・3・4選	2

講義のねらい

この講義は以下のような目的を持っている。

- 1) 情報化社会で活躍してゆくための基礎的なコンピュタリテラシーを身につけること
- 2) 技術を身につけるだけでなく情報化社会に対する自己判断ができるようにすること
- 3) 社会人としてのモラルをもてるようにすること

講義の内容・授業スケジュール

以下のような予定であるが、内容は受講生の希望や技術力によって変更する可能性もある。

- 1) コンピュータやインターネットの基本的な仕組みについての講義・演習
- 2) Windows上で稼動するワードプロセッサ Wordに関する演習
- 3) 表計算ソフト Excelの基本的な部分に関する演習
- 4) WWWシステムについての講義と利用に関する演習

授業では上記の内容に関する課題を随時出してゆき、皆さんに課題をこなしていただくと。課題は印刷物で提出してもら場合と、コンピュータファイルで提出してもら場合の両方ある。

履修上の留意点

この授業では「社会人としてのモラルをもてるようにすること」も目標に掲げている。授業では実際の業務についたときと同様の「厳しさ」を受講生の皆さんに求めたい。具体的には以下の通りである。

- 1) 遅刻や欠席がないように注意していただきたい
あなたの取引相手が無断で商談の時間に遅れたら、あなたは相手を信用して取引を進めることができるだろうか。授業では、講義開始後には教室への入室を遠慮していただく場合がある。
- 2) 課題の提出時間は厳密に守ってほしい
あなたの取引している相手の商品が、期日までに納品されなかったらどうなるだろうか。授業の課題は、講師に対する一種の「納品物件」だと思っただきたい。
- 3) 社会人として恥ずかしくない言葉遣いをしてほしい
ここでいう「言葉遣い」は、話す場合だけではなく、書く場合のことも指している。社会にできれば言葉遣い一つで信用を失うこともありうることを忘れないでいただきたい。
これらはいずれも社会人としては当然のことであるので、この姿勢を学生時代から是非身につけておいていただきたい。ただし上記の1)と2)に関しては、正当な理由(電車の遅れ、急病、冠婚葬祭など)がある場合は例外である。当日か後日に証明書類を提出していただければ、期限内でも課題を受取る。また何か質問などがあれば、電子メール(hashiba@komazawa-u.ac.jp)で遠慮なくご連絡いただきたい。

成績評価の方法

課題の提出状況と内容、および出席状況から評価させていただく。

教科書

太田忠一編/植松康祐・草薙信照著『文科系のためのコンピュタリテラシ [第2版]』(サイエンス社) 2,150円

参考書等

必要に応じて随時紹介する。

その他

講義、実習ともすべて情報教育センター(4号館)でコンピュータを使いながら行う。
〔クラス定員〕 60名
〔関連科目〕 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目は4月初旬に教務部で受講票を受け取らなければ履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 処 理 基 礎 (前期)	かとう たけのぶ 加藤 武 信	経営B1・2・3・4履	2

講義のねらい

情報化社会の電子文房具であるパソコンは、個人レベル、組織レベルおよび社会レベルで益々必要性を増している。ここではパソコンの原理とその活用法の基礎部分を総合的に学習し、それを自在に使って、インターネットを用いた情報検索やワープロによる文書の作成、表計算によるデータ加工の技法などを修得する。パソコンの実習環境は、Windowsを用いる。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) コンピュータの仕組みと Windows の基本操作
アクセサリとペイントの活用、タイピング、ファイルシステムの操作を含む
- (2) ワードプロソフト Word による文書作成
日本語入力、手紙、納品書、履歴書などの作成、図形描画の活用
- (3) 表計算ソフト Excel による作表・作図（基本レベル）
売上集計、成績処理と各種グラフ、納品書、履歴書、精算表の作成
基本関数、論理関数、データベースの活用
- (4) インターネットと電子メールの活用
Web ページの検索、ダウンロード、メールの送受信など

履修上の留意点

パソコン実習が全体の80%を占めるので、欠席せず、熱意をもって受講することを望む。習熟するためには、時間外のパソコン実習が必須である。また、テキストや配布教材を熟読しなければならない。

成績評価の方法

出席、レポートおよびテストにより総合評価する。

教 科 書

加藤武信他『コンピュータ活用』（サンウェイ出版）2,300円（改訂版を使用）

そ の 他

授業の方法：パソコン実習〔クラス定員〕60名
〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目は4月初旬に教務部で受講票を受け取らなければ履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理応用 I (後期)	はし ば とし ゆき 橋 場 利 幸	経営B1・2・3・4選	2

講義のねらい

この講義は以下のような目的を持っている。

- 1) 効果的に情報を表現するために必要なコンピュータ技術を身につけること
- 2) 技術を身につけるだけでなく情報化社会に対する自己判断ができるようにすること
- 3) 社会人としてのモラルをもてるようにすること

講義の内容・ 授業スケジュール

以下のような予定であるが、内容は受講生の希望や技術力によって変更する可能性もある。

- 1) 表計算ソフト Excel のさまざまな応用的な部分に関する演習
 - 2) さまざまなソフトの連携利用に関する演習
 - 3) Web ページ作成などを通じた情報の自己発信に関する演習
 - 4) ネットワークの原理、情報倫理、情報化社会の問題点などに関する講義
- 授業では上記の内容に関する課題を随時出してゆき、皆さんに課題をこなしていただく。課題は印刷物で提出してもら場合と、コンピュータファイルで提出してもら場合の両方ある。

履修上の留意点

この授業では「社会人としてのモラルをもてるようにすること」も目標に掲げている。授業では実際の業務についたときと同様の「厳しさ」を受講生の皆さんに求めたい。具体的には以下の通りである。

- 1) 遅刻や欠席がないように注意していただきたい
あなたの取引相手が無断で商談の時間に遅れたら、あなたは相手を信用して取引を進めていくことができるだろうか。授業では、講義開始後には教室への入室を遠慮していただく場合がある。
- 2) 課題の提出時間は厳密に守ってほしい
あなたの取引している相手の商品が、期日までに納品されなかったらどうなるだろうか。授業の課題は、講師に対する一種の「納品物件」だと思っていただきたい。
- 3) 社会人として恥ずかしくない言葉遣いをしてほしい
ここでいう「言葉遣い」は、話す場合だけではなく、書く場合のことも指している。社会にできれば言葉遣い一つで信用を失うこともありうることを忘れないで頂きたい。
これらはいずれも社会人としては当然のことであるので、この姿勢を学生時代から是非身につけておいていただきたい。ただし上記の1)と2)に関しては、正当な理由（電車の遅れ、急病、冠婚葬祭など）がある場合は例外である。当日か後日に証明書類を提出していただければ、期限外でも課題を受理する。また何か質問などがあれば、電子メール（hashiba@komazawa-u.ac.jp）で遠慮なくご連絡いただきたい。

成績評価の方法

課題の提出状況と内容、および出席状況から評価させていただく。

教科書

太田忠一編／植松康祐・草薙信照著『文科系のためのコンピュータリテラシ〔第2版〕』（サイエンス社）2,150円

参考書等

必要に応じて随時紹介する。

その他

講義、実習ともすべて情報教育センター（4号館）でコンピュータを使いながら行う。
〔クラス定員〕60名
〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得たうえで履修登録してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理応用Ⅰ (後期)	加藤 武信	経営B1・2・3・4選	2

講義のねらい

「情報処理基礎」の授業で確立したパソコンに関する知識・技術をさらに発展させ、実社会で応用できる活用能力に高める。すなわち Excel による応用処理と PowerPoint を用いたプレゼンテーション、さらに関係データベース Access を活用した「仕事の仕組み」の具体化を試みる。パソコンの実習環境は、Windows を用いる。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 表計算ソフト Excel による応用処理
データベース応用、ピボットテーブルの活用、各種計算モデルの活用、管理資料の作成
- (2) プレゼンテーションソフト PowerPoint によるデータの視覚化
表題、箇条書き、組織図、表、グラフ、挿絵入りスライドなどの作成
- (3) データベースソフト Access による成績処理業務の設計と処理
テーブルの設計、フォームによるデータ入力、テーブルの結合、クエリによる各種集計、SQL の基礎

履修上の留意点

パソコン実習が全体の80%を占めるので、欠席せず、熱意をもって受講することを望む。習熟するためには、時間外のパソコン実習が必須である。また、テキストや配布教材を熟読しなければならない。

成績評価の方法

出席、レポートおよびテストにより総合評価する。

教科書

加藤武信他『コンピュータ活用』（サンウェイ出版）2,300円（改訂版を使用）

参考書等

授業の中で示す

その他

授業の方法：パソコン実習
〔クラス定員〕60名
〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得たうえで履修登録してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営学史	中川 淳平	経営B2・3・4選 140以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、100年あまりにわたる経営学の歴史上、重要なものと位置づけられる学説の展開を、企業経営の背景にある社会経済システムの動きと関連させながら検討する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 経営理論のジャングルの状況
2. 科学的管理法と人間関係論
3. 所有と経営の分離
4. 近代組織論の展開
5. 社会経済構造の変動と経営学説の変容
6. 経済学の企業理論
7. 企業と社会（ドイツ経営学の発展）

履修上の留意点

講義中の私語は慎んで下さい。

成績評価の方法

試験による。また必要に応じてレポートの提出を求められることがある。

教科書

適宜プリントを配布する。

参考書等

配布するプリントに適宜指示する。

科専門教育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ経営学	みやぎ 徹	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必修科目である「経営学」の授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の7つの要目について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

講義の内容・授業スケジュール

マイクと板書。教科書は指定しない。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数（ただし、期末試験日を入れて）から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコ内の授業回数（合計29回）で完結する予定である。

なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当る場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

〈2004年度『アメリカ経営学』授業計画〉

- I 1年間の授業の概要 (1)
- II 経営学の対象と方法 (2)
- III 意思決定と権力（パワー）(8)
- IV 戦略（特に提携、グループ、ファミリー）(4)
- V コンティンジェンシー理論 (4)
- VI 取引コスト理論 (6)
- VII プロパティ・ライツ理論 (2)
- VIII プリンシパル－エージェント理論 (2)

成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確認するために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

参考書等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』（税務経理協会）1997
- 2 宮城徹「企業制度とプロパティ・ライツ理論」『商学研究紀要』（早大、第20号）1985
- 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』（千倉書房）1987
- 4 宮城徹「経営者論」鈴木英寿編『経営学総論』（第2版）（成文堂）1998
- 5 宮城徹「経営学の歴史」藤芳誠一編『新版・新時代の経営学』（学文社）1993
- 6 宮城徹「組織の経済理論の基礎構造」日本経営学会編『現代経営学の課題』（千倉書房）1997
- 7 宮城徹（単独訳書）『情報時代の企業管理の教科書—組織の経済理論の応用—』（税務経理協会）2000（A. Picot u. a., Die grenzenlose Unternehmung, Gabler, 1998）
- 8 宮城徹（共訳書）『新制度派経済学による組織入門』（白桃書房）1999（A. Picot u. a., Organisation. Eine ökonomische Perspektive, Schaffer - Poeschel, 1997）

ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文・訳書だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介してゆく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 経 営 学	たか 高 橋 せい 成 夫	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

ドイツ経営学の性格や内容を、この学問の歴史の中で明らかにするとともに、現代のドイツの企業経営制度の特徴を解明することにある。

講義の内容・授業スケジュール

- I. ドイツ経営学の生成
- II. ドイツ経営学の展開
 - (1) 科学的私経済学と技術論的私経済学
 - (2) 私経済学的企業経済学と規範的・技術的経営経済学
 - (3) 理論科学的経営経済学と応用科学的経営経済学
- III. ドイツ経営学の動向
 - (1) 意思決定志向的経営経済学
 - (2) システム志向的経営経済学
 - (3) 労働志向的経営経済学
- IV. ドイツの企業経営制度

履修上の留意点

積極的に出席することが望ましい。

成績評価の方法

定期試験や出席状況等を総合して評価する。

教 科 書

特定の教科書は使用しない。

参 考 書 等

北野利信編『経営学説入門』（有斐閣新書）
北村健之助『経営経済学』（学文社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営管理論	えだ まつ まさ ゆき 枝 松 正 行	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

経営管理の理論と現実について、経済社会の動向、資本主義企業の現在の姿を視野に入れつつ、説明する。

講義の内容・
授業スケジュール

下記の1、2、3を前期にとりあげ、それとの関連において後期には4を中心に講義する。

- 1 古典的理論
 - (1) テイラーの科学的管理論
 - (2) 管理過程論（職能論）
 - (3) 管理構造論（組織論）
- 2 新古典的理論
 - (1) ホーソン実験と人間関係論的管理論
 - (2) 行動科学的管理論
 - (3) 管理開発論
- 3 近代理論
 - (1) バーナード革命
 - (2) 組織論的管理論
 - (3) 意思決定論的管理論
- 4 現代企業論
 - (1) 環境適応的管理論
 - (2) 戦略的管理論
 - (3) 環境問題と企業責任論

履修上の留意点

毎回出席をとり、カードにより質問・意見・要望を次回授業に反映させる。

成績評価の方法

成績は前・後期の中間テストと平常点により評価する。

教科書

鈴木幸毅著『企業と管理の理論』（税務経理協会）2001年4月

参考書等

鈴木幸毅著『バーナード組織理論の基礎』（税務経理協会）1998年
 鈴木幸毅著『環境ビジネスの展開』（税務経理協会）2001年5月
 鈴木幸毅著『地球環境問題と各国・企業の環境対応』（税務経理協会）2001年6月

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営組織論	ひのけんた 日野健太	経営B2・3・4選 14以導入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

組織論のフレームワークによって、企業をはじめとする組織を分析できるようになることを目的とする。そのため、この講義では、組織論で扱われる基本概念を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

経営組織論の内容は、大きく分けて、組織の環境適応を扱うマクロ組織論と、組織における集団、個人を扱うミクロ組織論に大別される。ここでは、ミクロ組織論、マクロ組織論の順序で講義を進める。学生諸君が具体的なイメージを持てるように、何回かケースを取り上げる。また、学年末の数回は、組織論の分野の新しい理論やトピックについて扱い、全体的な理解が深まるように配慮する。

講義の対象は以下の通り（番号と講義の回数は対応しない。また必要に応じて順序を入れ替えることがある。）。

- (1) 組織論における組織観と人間観
- (2) モチベーション
- (3) 組織文化
- (4) リーダーシップ
- (5) 組織の環境適応
- (6) 戦略と組織構造
- (7) 情報処理の理論
- (8) 知識創造理論
- (9) 資源依存モデル
- (10) まとめ

履修上の留意点

特に、前提となる特別の知識は必要としないが、自分の所属する組織や見聞する組織を思い浮かべながら学習すると理解が深まるであろう。また、授業中質問することがあるが、そんなに難しいことを訊くつもりはないので、大きな声で答えてほしい。

成績評価の方法

前期授業の最終回にテストを行う。このテストのウエイトが30%程度、学年末の定期テストのウエイトが70%程度。大まかには、この二つが成績を決める。前期のテストを欠席するのは、即不可ではないが、致命的である。

授業中に小テストを行ったり、講義の内容に対してフィードバックを得るために出席をとることがあるが、必要に応じて成績評価に加味する。

教科書

金井壽宏『経営組織』（日経文庫）

参考書等

桑田・田尾『組織論』（有斐閣）

大月・藤田・奥村『組織のイメージと理論』（創成社）

田尾『モチベーション入門』（日経文庫）

経営学辞典の類、例えば、二神編著『ビジネス・経営学辞典』（中央経済社）などもなにかと重宝である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 労 務 論	か しま ひて あき 鹿 嶋 秀 晃	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。具体的には経営学と経営労務論、戦後日本経済と日本の経営論、終身雇用、年功序列賃金、企業別組合制度、福利厚生制度、異動と昇進、人材形成、労働時間問題、ホワイトカラーの労働問題、女性労働問題、新しい労働法制と労働問題などの小テーマを設けて講義していく。学生には経営労務論を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は1コマ1テーマの原則。各回の最初に「日本は本当に終身雇用なのか？」といったような問題点を掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。

履修上の留意点

詳細は最初の講義で説明する。出席は取らないので、出席点は無し。(1) 私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるのでしないこと。(2) 携帯電話は消音すること。ひどいときには退室してもらい、単位の認定をしない。

成績評価の方法

評価は学期末試験とレポート提出の合計点で成績評価を実施する。

教 科 書

テキストは特に指定しない。

参 考 書 等

参考図書としては、津田真澄『人事労務管理』ミネルヴァ書房、1993(定価3000円程度)、労務学説史をわかりやすく説明したものとして渡辺峻『企業組織の労働と管理』中央経済社、1995(定価2600円程度)、経営労務をより体系的に深く学習するのによい白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』東洋経済新報社、1992(定価3500円程度)をあげておく。この他にも講義の中で適宜いろいろな文献を紹介していく。

そ の 他

授業は講義形式でおこなうが、図表やグラフを多用し、ただ聞いてノートを取るだけでなく「頭をつかう」ような形にする。ホームページでも授業に関する情報提供をしていく。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/>

科目名	担当者名	配当学科	単位
生産管理論	藤原篤志	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では企業における経営管理の一部門としての生産管理と、生産に関する諸活動、諸現象、諸問題を幅広く取り上げ解説する。

生産管理は財務管理、販売管理、労務管理とならぶ企業における経営管理の部門管理の一つである。それは文字通り、企業の経営活動における生産の管理であり、財の生産に投入する生産諸要素（資材、設備、労働力）を総合的に調整することにより、企業の生産効率を最大にすることを目的として展開されている。このような生産管理は職能・機能別の多様な管理・活動から成る総合的な管理機能である。本講義ではこのような様々な管理・活動から成る生産管理を体系的に解説したい。

また本講義では企業内の管理機能としての生産管理に留まらず、企業内外での生産に関する諸活動、諸現象、諸問題を幅広く取り上げ解説する。

最後に、企業における生産活動は言うまでもなく労働者による労働なくしては成り立たない。企業における生産活動と労働者は密接な関係にある。それゆえ、企業において展開される生産管理や生産システムが労働者に及ぼす影響もまた本講義での対象となっている。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、まず最初に企業の生産活動に関する基本的な用語の解説・確認を行う。その後、生産管理を体系的に解説したい。より具体的には、まず企業の利益計画と生産管理との関連について解説した後、生産管理の構成内容である生産計画、設備管理、資材管理、作業研究、工程管理、品質管理、原価管理について資料を用いて講義する。次に、生産システムの歴史的展開として、テイラー・システム（科学的管理法）、フォード・システム、トヨタ生産システムについて解説したい。

後期では、まず生産の機械化、自動化・オートメーションの展開について講義を行う。その後、TQM、新たな生産方式（セル生産方式、モジュール生産方式）、日本の生産システムの海外移転と生産のグローバル化について解説し、時間があれば製造業の現状紹介として日本の自動車産業や家電産業についての話をしたい。また後期ではビデオを用いた講義も予定している。

履修上の留意点

講義ではできるだけわかりやすくゆっくりと解説し、かつ極力板書するが、前期の内容は複雑なものも含むので、講義に対する受講者の熱心な姿勢が不可欠である。そのため講義中の私語は厳禁である。私語や携帯電話の呼出音等、講義を妨げる者は即座に退室扱いになり、また場合によっては減点や単位取得不可になることもあるので注意すること。

成績評価の方法

主として定期試験で行う。またレポートの課題が出ることもあるが、その場合は事前に通知する。

教科書

指定しない。

参考書等

山下高之『体系 生産管理論』（中央経済社）1990年
その他の参考書は講義の中で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マ ー ケ テ ィ ン グ 論	かねむらえいつ 兼 村 栄 哲	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

社会的な分業体制が成立している今日の経済においては、生産と消費の間にさまざまな隔たりが発生しており、そのために、円滑な交換が阻害されていることが少なくない。こうした隔たりは、一般に、「経済的懸隔」ないし「経済的隔離」と呼称されている。

マーケティング論は、この経済的懸隔を架橋し、円滑な交換を実現するメカニズムを研究する学問であり、マクロ・マーケティング論とミクロ・マーケティング論の2つに大別される。前者は、社会経済的な視点から、経済的懸隔を架橋するメカニズムを把握しようとするものであり、「流通論」とほぼ同義である。後者は、個別企業のマネジメントの視点から、所定企業の商品についての経済的懸隔を架橋するメカニズムのあり方を検討するものであり、当該企業の商品を消費者に効率的かつ効果的に到達させるにはどうすればよいかを考察する。なお、「マーケティング論」といえば、通常、このミクロ・マーケティング論を指している。

マクロ・マーケティング論とミクロ・マーケティング論は密接に関連しており、一方をより深く理解するためには、他方を理解しておくことが必要不可欠である。そこで、本講義では、主として、前半にマクロ・マーケティング論を、後半にミクロ・マーケティング論を扱っていく。

講義の内容・
授業スケジュール

〔オリエンテーション〕

- 1) オリエンテーション
- 2) マーケティングの2義性
・経済的懸隔の意義と内容 ・マーケティングの2義性

〔マクロ・マーケティング論〕

- 1) 流通機能
・流通機能の意義と領域 ・流通フロー
- 2) 流通機構
・流通機関の意義と内容 ・卸売業者の意義と分類 ・小売業者の意義と分類
・流通の客体 ・流通機構を取り巻く環境 ・流通経路
- 3) (ミクロ・) マーケティングの台頭
・商業者の存立根拠 ・流通における商業者の地位の後退
・伝統的流通経路と垂直的マーケティング・システム

〔ミクロ・マーケティング論〕

- 1) 企業におけるマーケティングの役割
・経営戦略 ・マーケティングの役割 ・マーケティング・コンセプト
・マーケティング概念の拡張傾向
- 2) マーケティング管理
・マーケティング管理過程 ・環境分析 ・市場細分化 ・マーケティング・ミックス
- 3) 市場概念
・市場の2義性 ・消費財市場と産業財市場の比較 ・市場構造
- 4) 製品戦略の領域
・製品の意義 ・製品ミックス ・新製品の意義 ・新製品開発プロセス
・製品ライフ・サイクル ・製品廃棄と計画的陳腐化 ・ブランドの意義と役割
・ブランドの分類
- 5) 価格戦略の領域
・価格の設定方法 ・新製品導入時の価格設定方法 ・価格の管理方法
- 6) チャンネル戦略の領域
・チャンネル・タイプ ・チャンネルの構築方法 ・チャンネルの管理方法
- 7) プロモーション戦略の領域
・広告活動 ・人的販売活動 ・セールス・プロモーション活動 ・パブリシティ活動
- 8) マーケティング・リサーチ

専 門
教 育
目 的

履修上の留意点

- 1) 出席すること。
- 2) 携帯電話や私語など、講義の妨げになるような行為は絶対にしないこと。
- 3) 講義中にプリントを配布することがあるが、このプリントは当該講義時間内にしか配布しないので注意すること。

成績評価の方法

テスト-90点、出席状況など-10点

教 科 書

兼村栄哲編著『マーケティングの基礎知識』（白桃書房）2003年発行予定。

参考書等

兼村栄哲他4名著『現代流通論』（八千代出版）1999年
宮澤永光監修『基本流通用語辞典』（白桃書房）1999年
宮澤永光・亀井昭宏監修『マーケティング辞典』（同文館）1998年
その他の参考書などについては、適宜紹介する。

その他

マーケティング論も、他の学問からまったく独立しているわけではない。実際に、さまざまな学問における概念や手法を援用ないし応用している。そこで、事前に履修しておいたり、並行して履修するのが望ましい科目を示しておく。

〔マーケティング論全般〕

商業経営論

〔マクロ・マーケティング論〕

企業形態論—とくに、「2）流通機構 小売業者の意義と分類」において。

〔ミクロ・マーケティング論〕

経営戦略論—とくに、「1）企業におけるマーケティングの役割 経営戦略」において。

経済学概説・近代経済学—とくに、「3）市場概念、市場の2義性」、「同 市場構造」、

「5）価格戦略の領域、価格の設定方法」において。

統計学・統計原論・経営統計—とくに、「8）マーケティング・リサーチ」において。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営財務論	たか だ みつ あき 高 田 光 明	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

〔財務の意味〕

経営財務は、企業という組織体の財務を研究する学問分野である。企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態では通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを生産して販売するという営業活動を遂行し、その結果として資本が自己増殖することを目指す。このことが資本の運用であり、企業の営業活動を通じた資本の自己増殖分が利益である。企業の財務とは、現在では、企業による以上のような資本の調達と運用をいっている。

〔資本調達の位置〕

企業が資本を調達するのは、調達資本をできるだけ効率的に運用して自己増殖させ、利益を生み出すためである。その意味では、資本の運用あつての調達であるといつてよい。しかしながら、企業は、用途に合った種類の資本を、必要とする額だけ必要なときに調達できなければ、資本の運用を意図したように行い難くなる。資本運用の効率性は、企業が、資本の運用に合わせた調達をいかに行えるかに制約される。資本の運用がうまくいくかどうかの出発点は、資本をどのように調達するかにあるといえる。

資本の調達問題は、経営財務において、依然として重要な位置を占めていることに変わりがない。資本の運用あつての調達であるからといって、そのことは、資本の調達面の意義が小さくなることをけっして意味してはいないのである。この授業では、以上のような問題意識のもとで、資本の調達を中心に、必要に応じて資本の運用面と関連させながら講義するつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

基礎知識を体系的に理解し、この学問の基本的考え方を身に付けられるようにするために、まず基礎的・総論的事項から講義していく。

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 資金調達の基本原則
6. 流動・固定分類法的重要性
7. 資金概念
8. 企業利益の概念
9. キャッシュ・フロー
10. リスクとリターン
11. 資本のコスト
12. 内部資金
13. 株式資本と他人資本との相違
14. レバレッジ
15. 資金調達の手順

履修上の留意点

経営財務論を理解する上で必要となる最小限の会計的知識も授業では説明する。しかし、簿記学と会計学を前もって履修してあることが望ましい。

成績評価の方法

原則として、期末筆記試験により評価し、出席点を加味する。

参考書等

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）
染谷恭次郎著『資金計画の手引き』（日経文庫）

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際経営論	茂垣広志	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

国際経営とは、国境を越えて事業を展開している企業（多国籍企業）の経営戦略およびマネジメントの課題に取り組んでいる経営学の一領域である。本講義のねらいとしては、経営戦略論、管理論、組織論をベースとして、比較経営や異文化マネジメントの視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントの特徴を理解することにある。つまり、国内的企業ではあまり問題とならないような、企業の国際化、多国籍化にかかわる諸問題を企業経営の視点から多面的に捉え、検討することを通じて国際経営に関する基本的理解を深めることを講義の目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

日本企業を念頭において授業を進めるが、欧米系多国籍企業との比較、ケースを用いて理解が深められるような講義の内容を予定している。授業のスケジュールに関しては、下記のような構成となっている。

1. 国際経営論入門、2. 経営戦略の基礎と国際経営戦略、3. 企業の国際化と国際経営環境、4. 企業の多国籍化と国際化の発展段階、5. 国際競争戦略のパターン、6. 国際戦略提携、7. 国際経営組織、8. 国際経営のモデル、9. 日本企業の国際経営（日米欧多国籍企業比較）、10. 海外子会社のマネジメント、11. 異文化マネジメント、12. 海外派遣（出向）者の育成・選抜・処遇、13. 日本企業の国際経営上の課題と展望

履修上の留意点

教科書を用いて講義を進めるため、授業に教科書を携帯のこと。

成績評価の方法

成績は、期末試験の結果によるが、その際、出席状況を加味する。

教科書

茂垣広志『グローバル戦略経営』（学文社）2,800円

参考書等

必要に応じて指示する。

その他

プロジェクターを用いて講義形式で授業を進行する。また、必要に応じて資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
公益企業論	園田哲男	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

公益企業論の主要内容は、企業規制に関連する諸問題であり、とくに一般的企業規制と区別された意味における公益企業規制である。つまり、公益企業は、料金およびサービスに関し、規制をうけている問題であり、また、公益企業概念が、本来、制度的色彩の濃いものである。本講では、今日、企業の社会的責任の問題が論じられ、国民福祉という観点から、企業のあり方が問われ、政策事項として企業規制が問題とされている中で、公益企業の規制とは何か、また、公益企業の特質とは一体どのようなものかについて理解を深めることにある。

講義の内容・授業スケジュール

講義のすすめ方としては、前期は、公益企業概念の発達と、その問題点および公益企業概念の再検討を行なう。後期は、公益企業における持株会社の形成（前期と後期）および評価について考察し、その上で公益企業の特質について理解させる。

履修上の留意点

学問は、単に知識だけを増殖するのではなく、適切な判断と意思決定を行なうための基礎となるものと考えている。本当に学お意思のある学生だけが履修してくれることを望む。

成績評価の方法

成績評価は、單元ごとに小テストやレポートを課し、総合評価とするが、大学卒業レベルの知識と問題解決能力を養う努力をしない者は厳しい評価を行なうつもりである。

教科書

園田哲男著『企業論』（八千代出版）2,800円
適宜プリントの配布を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営史	まえ だ かず とし 前 田 和 利	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

経営史を学ぶことによって企業経営の変化のダイナミズムを理解することが可能となる。本講義では、方法論を検討した上で、経営発達史における各段階の典型国をとりあげて講義するが、その際できるだけ産業・企業の歴史や国際比較の視点をふまえて論じていく。その結果、日本の企業経営の特質を鮮明に浮かび上がらせることができよう。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 経営史研究の課題と方法
- II. 企業経営発達史
 1. 企業経営の生成
商人資本の経営、マニファクチュア経営
 2. 企業経営の確立
産業革命、工場制度、企業経営の諸様相－企業経営者のタイプと理念、企業・経営諸機能
 3. 企業経営の発展
市場と技術、大量生産システム、大企業の形成と戦略・組織、巨大企業の成立と管理機構
 4. 企業経営の変容
以上のうち、前期において企業経営の確立のうち企業経営の諸様相の一部まで終える。なお、後期には事例研究をとりあげることがある。

履修上の留意点

教科書は使用しないので、下記の参考書を参照し、必ずノートを整理しておくこと。年に数回簡単な問題等を提示して回答してもらう予定である。適宜資料を授業開始時に配布する。

成績評価の方法

学年末試験による評価を原則とするが、出席時に提出した回答を多少加味する。

教科書

使用しない。

参考書等

榎本悟『アメリカ経営史学の研究』（同文館）、大河内暁男『経営史講義』（第2版）（東京大学出版会）、米倉誠一郎『経営革命の構造』（岩波新書）、安部悦生『経営史』（日経文庫）、宮本又郎ほか『日本経営史』（有斐閣）その他随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本経営史	おお しま ひさ ゆき 大 島 久 幸	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

株主との利害調整、持株会社の機能、経営者の役割など現代企業が直面する様々な問題に対処するうえで、近代以降の企業経営の歴史から多くの示唆を得ることができよう。本講義では、近代日本において経済発展を担う主体として、また日本的な企業類型の主要なルーツとして中心的な地位を占めてきた財閥に着目して、それら財閥が、どのようなプロセスで誕生し、日本の経済発展とともにどのように成長していったのかという点を考察し、そこから日本経済の歴史的な期限や日本の経済発展を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 【前期】 1. 財閥の定義 2. 幕末維新の危機 3. 資本生社会論 4. 政商の誕生 5. 政商と華族資本 6. 政商からの脱皮 7. 運輸・通信システムの建設 8. 産業化の光と影 9. 家政改革と家憲 10. コンツェルンと持株会社 6. 専門経営者の登場① 12. 専門経営者の登場② 13. 前期のまとめ
- 【後期】 1. 第一次大戦期における商社ブームと破綻 2. 三井物産の形成 3. 鈴木商店と金融恐慌 4. 都市化の進展と大衆生活の洋風化 5. 三大財閥の覇権 6. 恐慌とドル買い事件 7. 財閥の転向 8. 戦時体制と財閥 9. 財閥解体 10. 企業集団の形成 11. 高度成長期の日本経済 12. 高度成長期の専門経営者 13. 後期のまとめ

成績評価の方法

前期レポートと定期試験で総合的に評価する。

教科書

武田晴人『財閥の時代』（新曜社）1996年

参考書等

宇田川勝・中村青志『マテリアル日本経営史』（有斐閣）1999年。老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史』（税務経理協会）2002年。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
商 業 史	やま だ 山 田 勝	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

商業経営の歴史的発展の過程を、文化との関係に留意しながら講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容の主なテーマは次のとおりである。

- | | |
|-----------------|---------------|
| (1) 商業史の視点 | (6) 継続性 |
| (2) 歴史研究とパラダイム論 | (7) 流通量 |
| (3) 利潤 | (8) 大衆消費社会の特質 |
| (4) 商品 | (9) 価格革命 |
| (5) 市場 | (10) 情報社会と商業 |

履修上の留意点

講義を聴くことのみが学習の方法ではないが、講義は各自の学習の導きとしては有益であると思う。出席はとらないが、聴講に努めて欲しい。質問は歓迎する。教場での私語は他人の迷惑となるので厳禁とする。必要があれば教場から出て話すこと。

成績評価の方法

成績評価は定期試験による。

教 科 書

山田勝著『現代商業の歴史と展開』（創成社）2,850円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
保 険 経 営 論	いしな ざか くに あき 石名坂 邦 昭	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済的アプローチ、保険経営学のアプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた、「危機管理論」（リスク・マネジメント）研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本的体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は、理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況および授業時の質疑応答と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教 科 書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』（白桃書房）3,500円

参 考 書 等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメントと保険』（白桃書房）
石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』（白桃書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
銀 行 経 営 論	はっ とり よし ひさ 服 部 昌 久	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

金融制度は一国の歴史的発展の産物であり、その国の繁栄を築くための社会的インフラである。社会が今日のように大きな変革期にあるときには、長期的な展望に立って変化を先取りして新たな制度を構築しなければならない。経営環境が大きく変化した中で、銀行は新たな道を求めて模索しているが、本講義においては、戦後のわが国の金融システムの変遷を振り返るとともに、欧米主要銀行の動きにも注目しながら、利用者のニーズに応える銀行のあるべき姿を探りつつ、時事問題も含め、銀行経営にかかわる諸問題を、わかりやすく解説する。

講義の内容・授業スケジュール

講義はおおよそ次のような内容を予定している。

- ① わが国の金融制度の沿革と特徴
- ② 銀行の機能
- ③ 銀行の業務
- ④ 銀行経営と不良債権問題
- ⑤ 銀行経営とリスク管理
- ⑥ 信用秩序の維持と諸規制
- ⑦ これからの銀行経営のあり方

履修上の留意点

講義は基本的な事柄を取り上げ、わかりやすく解説するよう心がけるが、それでも不明な点があれば、質問を歓迎する。

成績評価の方法

学年末の定期試験(50%)、読書感想文(20%)、授業への出席(30%)を総合して評価する。読書感想文の課題図書は開講時に指示する。

教 科 書

服部昌久『日本型金融システムの転換』(財外国為替貿易研究会)2001年 2,700円

参 考 書 等

- ・高木仁、高月昭年『入門 日本の金融機関』(東洋経済新報社)2000年 2,900円
- ・鹿野嘉昭『日本の金融制度』(東洋経済新報社)2001年 3,200円
- ・藪下史郎、武士俣友生『中小企業金融入門』(東洋経済新報社)2002年 2,800円
- ・全国銀行協会金融調査部『図説 わが国の銀行(2003年版)』(財経詳報社)2,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上 級 簿 記	お だ み き お 雄	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

商業簿記の基礎学習を終えた学生を対象とする講座で、やや高度な内容を加えて、簿記の知識を一層深めてもらうクラスで、簿記の知識の応用を目的に講義と共に計算練習を行いたい。簿記の学習は受講生の積極的な取り組み姿勢が欠かせないので、欠席の無いようにして欲しい。

講義の内容・授業スケジュール

まずは、日商簿記の3級のおさらいから始める事にする。例年、簿記の原理を良く理解しないで上級簿記を受講する学生が多く見られる傾向があるからである。講義の内容は大まかに次のようになる。

- I 諸取引の仕訳：現金預金・有価証券・商品。特殊な商品売買・手形の保証債務など
- II 株式会社会計：資本・利益処分と損失の処理・社債・株式会社の税金など
- III 本支店の会計：本支店間の取引・合併財務諸表・内部利益の控除など
- IV 特殊な仕訳帳：多桁式仕訳帳・特殊仕訳帳・伝票会計など

履修上の留意点

簿記の学習は「自分自身がペンと電卓をもって練習問題を数多く解くこと以外にはない」との私の教育方針から、練習問題を多く解かせるし、テストや宿題を出すこともある。テスト用紙は必ず提出すること。出欠席のチェックは毎回行う。

成績評価の方法

講義時のテストの点数および、宿題の点数を合計し、定期試験の点を加算し、再び平均点を出して評価する。そのため、講義中のテストや宿題の未提出者は当然平均点が下がることになるから注意をすること。

教 科 書

羽瀨信宏監修『簿記テキスト－商業簿記－中級編』（共栄出版）2,000円程度
中村義彦編著『展開簿記演習』（プレスウェーブ）1,800円程度

参 考 書 等

鵜飼哲夫・中村義彦著『簿記イントロダクション』（森山書店）2,625円

科目名	担当者名	配当学科	単位
財務会計論	わたなべ えいちろう 渡 邊 恵一郎	経営B2・3・4選	4
		14以降入学生/経営A2・3・4選	

講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者に、投資者、債権者その他企業と利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業財務情報を提供させることにある。この主たる手段が、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理（測定）と表示方法（伝達）を中心的課題とし、またこれに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容はおおむね下記の教科書によることとし、この授業スケジュールは次のとおりである。

- ① 4～5月 財務会計の機能と制度、利益計算の仕組み、会計理論と会計原則
- ② 6～7月 利益計算と資産評価の基本原則、現金預金と有価証券、売上高と売上債権、棚卸資産と売上原価
- ③ 9～10月 固定資産と減価償却、繰延資産、負債、資本
- ④ 11～12月 財務諸表の作成と公開、連結財務諸表、外資建取引等の換算

履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出（年1回）を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び定期試験点数の総合による。

教科書

桜井久勝著『財務会計講義』（中央経済社）

参考書等

日本公認会計士協会編『監査小六法』（中央経済社）

その他

- (1) 授業の方式は、講義による。
- (2) 簿記学・会計学の単位を修得していること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
管 理 会 計 論	さる やま よし ひろ 猿 山 義 広	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、すでに受講者が「簿記学」の単位を修得していることを前提として、企業における管理会計の基本的な理論と手法について学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 管理会計の意義と体系
2. 短期利益計画のためのC-V-P分析と経済性計算
3. 意思決定のための原価概念と利益概念
4. 原価管理会計
5. 予算統制
6. 投資意思決定

履修上の留意点

「管理会計論」は計算科目なので電卓を持参すること。

成績評価の方法

期末試験、夏季休業中のレポート、および平常点を考慮して、総合的に評価します。ただし、中心になるのは期末試験の結果です。

教 科 書

開講時に指定します。なお、適宜、プリントを配布します。

参 考 書 等

中原章吉編著『管理会計論』（税務経理協会）
 櫻井通晴著『管理会計〔第二版〕』（同文館）
 岡本清・廣本敏郎・尾畑裕・挽文子著『管理会計』（中央経済社）

そ の 他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計監査論	あべかずひと 阿部一人	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

“監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ”

もともと監査論は、その言葉自体がもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。

監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。

監査は、優れて社会的・人間的な用具として生みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実には存在することは、過去の事例からも明らかなことであるけれども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。

まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！

監査論は財務諸表監査として特徴づけられている。

これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。

本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 会計監査の意義と目的 (総論) (1)
 - ①監査の必要
 - ②監査の意義
 - ③監査の対象
2. 会計監査の意義と目的 (2)
 - ①監査の目的
 - ②監査思想の変遷
 - ③監査の効用
3. 監査の機能
4. 会計上の誤謬と不正
5. 監査の種類
6. 会計監査と財務諸表監査
7. 我国の監査制度
 - ①証券取引法監査
 - ②商法監査
 - ③その他の監査制度
8. 監査基準 (1)
 - ①必要性
 - ②生成と展開
9. 監査基準 (2)
 - ①意義
 - ②体系
 - ③一般基準
 - ④実施基準
 - ⑤報告基準
10. 監査人
11. 監査証拠
12. 監査計画
13. 内部統制
14. 試算
15. 監査技術と監査手続
16. 監査調書
17. 監査報告書
18. 連結財務諸表の監査
19. 中間財務諸表の監査
20. システム監査
21. 国際監査基準
22. 現代監査論の動向
 - ①監査概念の拡大化
 - ②監査保証に程度の差を認める監査概念

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」の科目を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

評価の方法は、前期と後期の定期試験、レポート(夏季)および出席状況を考慮して、総合的に判定する。なお、最初の講義時に詳細な講義内容、試験の方法および評価の方法等について説明するので、受講希望者は必ず出席すること。

教科書

小関・柳田共著『監査論セミナー』(東京経済情報出版) 3,200円

参考書等

- 大矢知浩司『監査論概説』(白桃書房) 3,300円
 田嶋四郎『最新監査論』(税務経理協会) 2,900円
 高田正淳『最新監査論』(中央経済社) 2,800円
 鳥羽至英『監査基準の基礎』(白桃書房) 3,900円
 三澤 一『会計監査の理論』(中央経済社) 2,800円
 山榎忠恕・松田信男『監査基準精鋭精説』(税務経理協会) 3,500円
 脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』(中央経済社) 3,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
原価計算論	近藤 禎夫	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

《科目の位置づけ》

原価計算論は、たんに製造原価の算定方法を取扱うというのではなく、日常の国民生活と直接に結びついた重要な役割を果たすものであるから、その対象領域はきわめて広いといえる。たとえば価格形成問題、原価管理、予算統制、利益計画および公表会計などに関連する。このような会計と経営の両分野を包摂した科学である。

《科目の概要》

原価計算は会計領域の全般にかかわり機能している。とりわけ経営管理活動と有機的に関連づけられ測定・情報伝達・利用がなされている。企業の経営管理活動とは通常大きく二つに分けて認識される。一つは社会的存在としての企業が、それをとりまく利害関係者（株主、債権者、投資家、徴税当局、労働組合、および広くは国民大衆）に対し社会的責任を遂行する分野である。いま一つは、企業活動について意思決定と業績評価を行ない、企業を活性化させ利益の獲得機会を拡大させるための活動分野である。

原価計算の役割は、前者においては公表財務諸表作成のための原価情報の提供にある。また後者についてはきわめて幅が広く、経営管理の全領域にわたって原価情報が提供される。いずれにせよ、企業経営の要となる会計情報が提供される。

本講義では、“授業の内容”等でもふれるように、「企業会計原則」を補完する「原価計算基準」の示す範囲に力点をおいて取り組むことになる。したがって、まず原価計算の基本概念および基本的計算構造をしっかりと身につけるよう講義することになる。講義のはじめに際しては、商業簿記から工業会計への橋渡しを平易に展開したい。

前期においては、原価計算が制度会計の枠組みのなかで重要な役割を担っている売上原価の算定、たな卸資産（原材料、製品、仕掛品、貯蔵品など）の評価といった技術的側面を取扱う。具体的には、製造原価計算の算定プロセスを理解しやすいように説明していきたい。順序としては原価の費目別計算、部門別計算、製品別計算の算定手続きを展開することになる。この場合、当初は実際原価計算制度を前提として述べるが、後期には管理手段としての原価計算にもふれるので標準原価計算にも及ぶ。なお、さらに一歩立ち入って、原価計算の管理会計分野での適用問題にもふれる。

原価計算論は製造工業を中心とした計算体系ではあるが、サービス業（電力、ガス、鉄道などの公益事業の運賃・料金問題）など適用範囲は多様にわたる。現実の事例などを紹介しながら講義をすすめていく予定である。

講義の内容・授業スケジュール

原価計算論を学習するにあたっては、制度会計の側面と管理会計の側面との両者に関連を有するので、会計法規集を常に携帯していただきたい。

とりわけ講義は「原価計算基準」（旧大蔵省・企業会計審議会中間報告、昭和37年）を中心に行なう予定である（テキストを補うプリント類は随時配布する）。さきの《講義のねらい》で述べた方針とともに、モットーは、「高度な内容をやさしく」である。

2004年度においては、以下に示す内容を講義する。

1. 原価計算の現代的役割とその考え方
2. 原価計算の概要
3. 原価の費目別計算
4. 原価の部門別計算
5. 個別原価計算の方法
6. 総合原価計算の方法
7. 標準原価計算
8. 経営計画と原価計算
9. 原価計算の新しい問題
10. 原価計算の歴史

成績評価の方法

基本的には平常の出席状況と学年末試験で評価する。

教科書

学期の始めに指示する。

参考書等

敷田礼二・近藤禎夫著『原価公開』（新日本出版社）1976年（絶版、図書館での閲覧を乞う）
中央経済社編『会計法規集』最新版（2003年7月頃新版発売）

科専門教育 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
税務会計論	たかき かつみ 高木 克己	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
 - (1) 企業利益と課税所得の関係
 - (2) 益金の額及び損金の額
 - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
 - (1) 引渡基準
 - (2) 特殊販売収益の計上基準
 - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
 - (1) 移転価格税制
 - (2) タックス・ヘイブン対策税制
 - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 分 析 論	かた ぎり のぶ お 片 桐 伸 夫	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
 - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
 - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

講義の内容・ 授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析を取りあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にふれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

- * レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」
：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆提出日（授業はじめに配布するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

- * テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

教 科 書

開講時、指示します。

参 考 書 等

随時、紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済原論	あかしひろゆき 明石博行	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

資本制の経済社会（資本制社会）を対象とする経済社会学の基礎理論について、入門的な講義をします。講義では、近代から現代にかけて生まれ発展し変化してきた、そして現在わたしたちがそのなかで日々暮らしている資本制社会をめぐる、どのような経済的な仕組みと運動法則がそこにあるのか、個々の国や社会における思想・法律・政策などは資本制の経済によってどのように規定されるのか、資本制の国々や社会の思想・法律・政策などの相対的な独自性は経済にどのような影響を与えるのか、といった問題に取り組みます。この取り組みをつうじて、わたしたちの社会生活を支えている経済の仕組みや、わたしたちの社会行動を支配し規制している法則の基礎について、科学的かつ系統的な理解を得られるよう援助することが、本講義の目的であり課題です。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、序論的な解説を行う序章ののち、7つの章からなる本論の第1章から4章までに重点をおいて進めます。

序章では、経済社会と経済社会学に関する基礎的な解説をします。予備的知識の修得をめざし、人類社会の特徴である経済を土台とする社会構成の把握、人類史におけるさまざまな経済社会の興亡と区分、経済社会学の研究史の概要など、資本制の経済社会を理解するうえでの基礎となることがらを説明するのです。

第1章では、市場と個人について説明します。本章では、市場はどのような生産の様式を基礎として発生し発展するのか、市場で売買される商品とはどのようなものなのか、商品が発生し発展するとともに貨幣が発生し発展するのはなぜなのか、貨幣はどのような機能をもつものなのかを説明します。また、市場で貨幣を仲立ちとする商品の売買がなされることを基礎として、自立した所有者としての私的個人という人間類型と市民社会が形成され発展してくることについても説明します。

第2章では、資本としての貨幣の運動について説明します。本章では、資本および資本家とは何か、資本としての貨幣の運動が可能となるための条件は何かを探求し、労働力の商品化が市場の一般化と近代的な資本発生条件であることを明らかにします。

第3章では、労働と資本について説明します。資本制社会は、資本としての貨幣を投ずる階級に属する人々が、労働をしなければならない階級の人々の労働力を商品として市場で買い、生産の過程でその労働力を使用し、最初に投じられた資本価値を越える剰余価値を獲得することによって成立します。階級社会としての資本制社会の法則や制度はこの仕組みを基礎として生まれ発展し変化することを、本章で明らかにします。

第4章では、資本の再生産と蓄積について説明します。資本の再生産とともに階級関係の再生産および階層の分化・再編がなされること、資本の蓄積により資本制の経済社会が発展し変化してゆくことを、この部分で論じます。

資本の流通の問題を扱う第5章、資本と利潤の問題を扱う第6章、資本の諸姿態の問題を扱う第7章については、十分な説明はできません。しかし、第4章までの関連部分と最後の部分で、これらの諸章で論ずべきことについても簡単に言及する予定です。

履修上の留意点

講義に出席して、ノートをとる必要があります。

成績評価の方法

講義のさいに適時提出してもらったレポートと年度末の定期試験の結果を総合的に判断し、評価をします。

教科書

教科書は使用しません。しかし、適時プリントを配布し、講義を理解できるよう援助します。参考書等は講義のさいに紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
財政学	速水昇	経営B2・3・4選	4
		14以降入学生/経営A2・3・4選	

講義のねらい

私たちの日常生活は、そのほとんどの側面で直接・間接的に政府の経済活動の恩恵を受けている。たとえば、出掛けに傘を持っていくべきか否かは、適確な天気予報によって判断できるし、病気や怪我をしたときにかかる医療費は医療保険のおかげで実際に支払った額の数割程度ですむ。また、道路・港湾などの社会資本整備は公共部門が供給しているなど、政府はさまざまな役割を担っている。さらに金融不安、国債の累積残高、高齢化・少子化社会、規制緩和など政府が解決しなければならない問題が非常に多くある。

その反面、わが国の政府は、平成15年度末で国債の発行残高が約450兆円、地方公共団体の赤字が約199兆円、これに約28兆円の旧国鉄の債務や「隠れ借金」といわれる林野事業等の特別会計の借金などを加えると、財政赤字は実に約686兆円になる。この数字は15年度わが国のGDP見込みの137.6%に相当する。EU（ヨーロッパ連合）の基準だと健全な国家の財政赤字はGDPの60%とされているから、わが国の財政はいかに不健全な状態であるかが理解できる。最近の景気低迷、これから高齢化・少子化社会に向けて、納税者としての立場、あるいは日本国民としての立場から財政の問題を考えていくことが大切であるという認識に立って授業を行う。尚授業中に勉強したことについて10回程度の小テストを予定しているので、出席に自信のある学生を希望する。

成績評価の方法

試験、授業中の小テスト、レポート（小テスト、レポートで成績の半分を評価する）

教科書

速水昇著 要説『財政学』第三版（学文社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
金融論	北見良嗣	経営B2・3・4選	4
		14以降入学生/経営A2・3・4選	

講義のねらい

本講義は、担当教官の金融実務経験を踏まえて、金融に関心のある学生、将来金融界での勤務を希望する学生を対象に、①金融の基礎からスタートして、金融システム、銀行行動と金融政策、国際金融取引、現代の金融問題までを幅広くカバーして、金融にかかる一通りの知識を与えるとともに、②現代の金融問題の中で、金融システム安定のためのブルーデンス政策（金融検査マニュアル、自己資本比率規制、預金保険制度）、金融システム改革に向けての新しい動き（証券化、デリバティブス）について若干の掘下げた説明を行うことを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

授業の冒頭（30分程度）において、日本経済新聞掲載記事から話題となっているテーマを取上げて題材とするほか、以下のとおりの内容とします。

（前期）下掲テキストを中心に、上記①の金融にかかる一通りの説明を行います。

（後期）前期の積み残し分に加えて、上記②の現代の金融問題にかかる若干の掘下げを行います。

履修上の留意点

履修者は、マクロ経済学の基礎知識のあることが望まれます。また、授業の前の予習は不可欠です。

成績評価の方法

前期末に中間レポートの提出を課すほか、期末に筆記試験を行います。なお、授業の出席状況も参考材料とします。

教科書

貝塚・奥村・首藤『エッセンシャル経済学シリーズ-金融（第2版）』（東洋経済新報）2002

参考書等

授業の進行に伴い、適宜紹介します。

その他

参加人員数にも依りますが、原則対話形式を取り入れた講義形式とします。

科専門教育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 経 済 論	なが た とも のり 永 田 智 則	経営B 2・3・4選 14以降入学生/経営A 2・3・4選	4

講義のねらい

現在の国際経済は、各国経済の急速なグローバル化の進展にともなって、ダイナミックに変動しています。その中で、各国経済は緊密な相互依存関係を構築することによって国際社会から大きな利益を得ています。同時に、相互依存関係の緊密化は、ややもすれば国際間に相互対立を生み出し、さまざまな国際経済現象を引き起こします。どの国の経済も国際経済の動向と無縁であることはできませんし、逆にどの国の出来事も国際経済に影響を及ぼします。

本講義の目的は、現実生じている国際経済現象の解明に役立つような基礎的理論を簡潔に提示することにあります。「なぜ貿易が行われるのか」から説き起こし、最近の東アジアの経済発展に大きな役割を演じている「直接投資」まで題材にして講義する予定です。

授業で展開される分析道具を習得すれば、現実の国際経済現象を自ら解明するのに役立つはずです。

講義の内容・ 授業スケジュール

本年度の講義内容は以下の6つのテーマを予定します。

1. 国際分業論
2. 貿易政策
3. 経済成長と貿易
4. 国際マクロ経済学
5. 外国為替と国際収支
6. 資本の国際移動

履修上の留意点

授業中は他の受講生に迷惑が及ばないように、私語を謹み、携帯電話の電源を切るなど全員が授業に集中できるように心がけて下さい。授業内容で不明な点や疑問点があれば遠慮なく質問して下さい。

成績評価の方法

成績評価は、原則として学年末の定期試験で評価しますが、授業への出席も重視します。途中、検討課題を出すことも考えていますので、総合的な評価になることもあります。

教 科 書

仙頭佳樹著『最もやさしい国際経済学』（多賀出版）2,800円

参 考 書 等

随時必要に応じて紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本経済論	ほ どり 羽 鳥 茂	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

日本経済の現状と課題について以下の12のテーマを中心に、データと経済理論にもとづいて講義します。経済理論の最近の発展は著しく、それらについても現実経済への応用を重視しながら解説します。

講義の内容・
授業スケジュール

前期：

- (1・2) 日本経済の全体像と国民経済計算
- (3・4) 成長と変動の理論と実際
- (5・6) 資産価格の決定とバブル
- (7・8) 雇用・賃金と労働経済
- (9・10) 企業とコーポレート・ガバナンス
- (11・12) デフレ・スパイラルとインフレーション・ターゲティング
- (13) まとめ

後期：

- (14・15) 為替レートの変動とデリバティブ
- (16・17) 日本経済空洞化論と直接投資
- (18・19) 財政赤字とサステナビリティ
- (20・21) 金融と不良債権および金融政策
- (22・23) 人口構造の変化とマクロ経済
- (24・25) 社会保障と年金
- (26) まとめ

履修上の留意点

経済は誰にとっても生活の1つの重要な要素であるからテレビや新聞で報道される経済ニュースに日頃から接するように心がけて、問題意識を養うようにしてください。

成績評価の方法

原則として年度末の定期試験によって評価します。

教科書

小峰隆夫『最新日本経済入門』第2版（日本評論社）2003年 2,500円

参考書等

必要に応じてプリントを配布します。また参考文献の紹介も講義のなかで行います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
証 券 市 場 論	さ とう のぼる 佐 藤 昇	経営B2・3・4選	4
		14以降入学生/経営A2・3・4選	

講義のねらい

従来、わが国の金融システムは銀行等を仲介者とする間接金融を中心として発展してきた。しかしながら、近年、銀行等の不良債権の大量発生によりこの方式がやや機能不全の様相を呈するとともに、有価証券を発行して投資家から資金を調達する手段である直接金融システムへの比重移行の必要性が提言されている。講義では有価証券市場の機能や市場構成など基礎的な解説とともに将来への展望についても検討し、経済動向に関する報道等を正しく理解し、みずから判断する能力を培うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

最初に証券市場で取り扱う対象である有価証券を定義し、その機能等を解説する。そのうえで伝統的有価証券である債券や株式の種類や機能、発行・流通市場について考察するが、わが国の財政事情と国債市場の動向あるいは株式市場動向と経済全般との関わり、など経済社会における重要な課題についても触れておきたい。

また、資金運用手段としての証券市場の役割も重要であるので、債券利回りの意味と計算の方式、株式の投資尺度やその利用方法、あるいは企業の債務返済能力を示す格付け制度の概要と活用方法など、いわば実務的側面についても解説する。

なお、近年における金融・証券市場のグローバル化にもなっており、資金の動きが速くなり、移動の範囲も急速に拡大しているため、市場改革のテンポも極めて速くなっている。今後も、内外共に市場の激変が予想されるため、証券市場に関連して重要な事態が発生した際には、その都度背景や影響などを解説する。

履修上の留意点

証券や金融市場に関するニュースに関心を持って欲しい。その上で、疑問点や不明な用語等があれば積極的に質問してもらいたい。授業に際しては出来るかぎり質問の時間を設ける予定である。

成績評価の方法

原則として学年末の定期試験によって評価する。

教 科 書

佐藤昇ほか著「入門 現代の証券市場（第2版）」（東洋経済新報社）2,800円

参 考 書 等

授業中に指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
計量経済学	ご 眞 逸 良	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

現実の経済データを用いた例題を実際に解くことを通じて、計量経済学を学ぶ。パソコンを利用して演習を行うことにより、抽象的になりがちな計量経済学を分かりやすく理解し、実際のデータ分析の能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

前 期

Excel を利用して例題を解きながら、以下の内容を講義する。

1. 統計学の基礎知識 (I)
2. 統計学の基礎知識 (II)
3. 単純回帰モデル
4. 重回帰モデル
5. 回帰モデルの仮説検定

後 期

TSP を利用して前期の例題を再計算することを通じて、TSP の扱いをマスターする。その上で、以下の内容を講義し、TSP を用いて演習を行う。

6. TSP の基礎
7. ダミー変数
8. 系列相関
9. 連立方程式

履修上の留意点

経済理論をある程度勉強していることと、統計原理と経営数学を履修すること。

成績評価の方法

日頃の宿題、レポート、学期末試験の結果により総合的に判断する。期末試験は授業中に行い、試験での持ち込みは自由。

教 科 書

白砂堤津耶『例題で学ぶ 初歩からの計量経済学』(日本評論社) 1999 2,800円(税別)

参 考 書 等

山本拓『計量経済学』(新世社)
 蓑谷千風彦『計量経済学』(東洋経済新報社)
 G. S. マダラ著・和合肇訳『計量経済分析の方法』(シーエーピー出版)
 唯是康彦『Excel で学ぶ計量経済学入門』(東洋経済新報社)
 縄田和満『Excel による回帰分析入門』(朝倉書店)
 蓑谷千風彦等『パソコンによる数量分析・Excel と TSP 入門』(多賀出版)
 縄田和満『TSP1 による計量経済分析入門』(朝倉書店)
 和合肇、伴金美『TSP による経済データの分析』(東京大学出版会)

科目名	担当者名	配当学科	単位
イノベーション論	ほね た しょう こ 羽田 尚子	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、経営学および経済学の知見を中心にイノベーションをとらえ、イノベーションとはどのような特性をもつ現象なのか、どのようにして生まれるのか、経済社会にいかなる影響を与えるのかといったイノベーションを理解するうえで重要かつ基礎的なトピックについて学びます。イノベーションの特性とメカニズムを知ることにより、企業かどのように進化するのか考える能力を身につけることが本講義の目的です。実際のイノベーションは幅広い形で企業経営や経済発展に関わるため、トピックは多岐に渡ります。前期では、産業発展における役割といった歴史的アプローチ、企業戦略や技術マネジメントといった経営的アプローチを中心にします。後期では、市場構造と経済発展といった経済学的アプローチ、知的財産権のような法制度的アプローチ、産学連携のような政策論的アプローチを中心にします。

講義の内容・授業スケジュール

- 【前期】(1~4)イノベーションとは何か (5~8)イノベーションと企業戦略 (9~12)イノベーションと企業間システム (13)まとめ
 【後期】(14~17)経済発展とイノベーション (18~20)知的財産権 (21~25)技術政策、ベンチャーキャピタル制度、大学の役割 (26)まとめ

履修上の留意点

一部経済学的な考え方が基礎となるため、経済原論といった経済学の基礎を受講することが望ましいと考えます(必須ではありませんが)。

成績評価の方法

成績は各期の学期末試験で評価します。履修人数によっては試験ではなく、興味ある産業のイノベーションメカニズムの分析に関するレポート提出に替える場合もあります。

教科書

一橋大学イノベーション研究センター編『イノベーション・マネジメント入門』(日本経済新聞社)2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本経済史	きた しま まん し 北島 万次	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

- 第I部 日本における無階級社会(原始社会)から階級社会(奴隷制社会・封建制社会・資本制社会)にいたるまでの経済史発展の移り変わりについて、そのあらましを述べる。
 第II部 幕藩体制社会の経済のしくみとその発展
 1. 幕藩体制社会の経済構造とその特質について述べる。
 2. その前提として、幕藩体制社会(封建社会の経済)のもとで、近代へ向けての経済発展がどのように展開したかについて述べる。その事例としてつぎのことについてふれる。
 ① 江戸時代後期、畿内における棉作経営の展開とその実態
 ② 開港直前における信州諏訪製糸業の展開
 ③ 江戸時代後期、上州における地主制とその経営
 第III部 幕末維新期の経済変動
 1. 明治維新と外圧についてのあらまし
 2. 幕末貿易の展開とその実態
 3. 日本における資本の形成
 ① 秩禄処分過程
 ② 銀行資本の創出
 4. 資本の投資
 5. 地租改正の実態とからくり

成績評価の方法

出席点とテスト。(注)出席の著しく悪い受講者には単位を認定しない場合がある。

教科書

教材はその都度配布する。

専科
教育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営科学概論	高井徹雄	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

生産活動には、本来の物作りの技術の他に、高能率・高商品、低コスト・短納期を達成するための効率的な生産システムの設計・改善および維持管理の技術が必要である。わが国の産業界はいち早くQC(品質管理)、IE(経営工学)・OR(運用研究)をはじめとする経営管理技術の導入を図り、実践することによって生産、品質、コスト面で飛躍的發展を成し遂げた。この講義ではQC、IE、ORを中心に、経営管理技術の基本的な理論と方法を概説する。

講義の内容・授業スケジュール

1. イントロダクション(1回)：経営工学の概略と歴史
2. 生産管理とIE技法(2回)：(1)生産方式 (2)生産計画
3. ORによる計画と決定(3回)：(1)数理計画法 (2)待ち行列理論 (3)シミュレーション
4. 工程管理と作業の平準化(3回)：(1)工程管理と工程分析(2)日程計画(3)ラインバランス
5. 在庫管理と品質管理(2回)：(1)在庫管理の必要性 (2)QCとTQC
6. 統計的手法(2回)：(1)需要予測 (2)回帰分析
7. FAとCIM(3回)：(1)FAとCIM (2)計測と自動制御 (3)CAD/CAMとFMS
8. システムの信頼性と性能評価(2回)：(1)信頼性と稼働率 (2)システムの構成と性能評価
9. 経済性工学と生産性(3回)：(1)原価管理 (2)経済性分析 (3)生産性分析

履修上の留意点

履修に際して予備的な知識は特に必要ないが、適宜演習を行うので毎回出席すること。

成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験により評価する。授業中の演習課題を平常点として加味する。

教科書

開講時に指定する。その他、適宜プリントを配って補う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理応用Ⅱ(前期)	宇谷明秀	経営B2・3・4選	2

講義のねらい

本講義では、単純なデータ処理であるならば、市販のデータ処理ソフトに頼ることなく、自らプログラムを作成してデータ処理できるようになることを黙唱に、プログラミングの基礎を学ぶ。演習で簡単なデータ処理ソフトを作成する。

講義の内容・授業スケジュール

1. プログラミング講義(6～7回)
C言語について、そのすべてを説明する。
2. プログラミング演習(5～6回)
C++Builderを使って、実際に幾つかの簡単なデータ処理プログラムを作成する。

履修上の留意点

- ・情報処理基礎及び応用Ⅰを履修しておくこと。
- ・情報処理系の科目、特にプログラミングは暗記科目ではない。
- ・講義は演習中心になるので、欠席は極力避けること。

成績評価の方法

中間試験と期末試験に出席状況を加味して評価する。

教科書

特に教科書は使用しない。講義内容をまとめた資料を配布する。

参考書等

授業の中で必要に応じて紹介する。

その他

〔クラス定員〕60名
〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目は4月初旬に教務部に受講票を受け取らなければ履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理応用Ⅲ(後期)	宇 谷 明 秀 <small>う たに あき ひで</small>	経営B2・3・4選	2

講義のねらい

インターネットの普及やコンピュータの性能向上によって、滋養法の収集・蓄積が容易になってきている。現在、多くの企業では、日々膨大なデータを収集し、収集したデータを分析して企業経営に役立てている。この講義では、
 ・基本的なデータ分析手法の習得
 ・プログラミング技術の習得
 を主たる目的として、基本的なデータ分析手法を紹介し、C++Builder を使って実際にデータ分析ソフトを開発する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. データ分析手法の講義 (3～4回)
いくつかの基本的なデータ分析手法を紹介する (様々なデータを用い、そのデータにどのような意味が隠されているのかを探る)。
2. プログラミング技術の講義 (4～5回)
演習を中心に進める。
3. データ分析ソフトの開発 (3～4回)
C++Builder を使って実際にデータ分析ソフトを開発する。

履修上の留意点

- ・情報処理基礎及び応用Ⅰ、Ⅱを履修しておくこと良い。
- ・C言語の基本的知識を前提として講義を進める。
- ・授業は演習中心になるので、欠席は極力避けること。

成績評価の方法

中間試験と期末試験に出席状況を加味して評価する。

教 科 書

特に教科書は使用しない。講義内容をまとめた資料を配布する。

参 考 書 等

授業の中で必要に応じて紹介する。

そ の 他

〔クラス定員〕60名
 〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
 ※この科目を履修するためには、「情報処理応用Ⅱ」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報理論	にしむらかずお夫 西村和夫	経営B2・3・4選	4
		(既修入学生/経営A2・3・4選)	

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量(情報量)を定義したシャノン(C. E. Shannon)流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として(シャノンという単位で)計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報記録するために十分なフロッピーディスクの枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値(平均値)であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後で、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をしします。現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

講義の内容・授業スケジュール

4月	3回	授業内容概説、情報とは、情報量への要求
5月	3回	対数の原理と性質、計算練習
6月	4回	情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
7月	3回	暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解説
9月	2回	現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
10月	2回	符号化(JISコード、万国共通文字符号)、対数・情報量の中間試験
10月	2回	確率過程およびマルコフ過程
11月	2回	遷移確率と同時確率
11月	1回	エントロピーの定義
12月	2回	冗長度、言語のエントロピー
12月	1回	価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
12月	1回	検査桁(CD)、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2～3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています(上表5月参照)。

成績評価の方法

10月の中間試験(30%)と定期試験(70%)との合計点によります。

教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクタとプリントを使います。適当な教科書はありません。

参考書等

そのつど紹介します。

その他

〔関連科目〕→ 経営情報論 この科目は、再試験を実施しません。

講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Nis/lecture/info.html>

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営科学	小沢利久	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

経営科学とは、経営活動において生じる様々な意思決定を科学的に支援するための方法論を考える学問である。また、モデルを用いて対象を定量的に分析する点に特徴がある。本講義では、経営科学的な問題のとらえ方と問題解決のための代表的な手法について学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、最適化のための手法を扱う。生産計画問題とは、使用可能な資源の量が限られている場合に利益を最大化する方法を求める問題であるが、このような最適化問題を扱う手法として線形計画法とネットワーク計画法を取りあげる。ゲームの理論では、競争下における最適な戦略について考えていく。後半は、不確実性を伴う状況下での意思決定と不規則に変動する現象を分析するための手法を扱う。不確実性の下で情報を多面的に分析するための考え方を示すのが意思決定の理論である。オプションの価格付け理論では、不規則に変動する株価をモデルに取り込んだ分析法を示す。待ち行列理論では、不規則に発生するサービス要求を処理するためのコンピュータシステムなどを解析する。以下は今年度の講義予定である。

1. 線形計画法：定式化、シンプレックス法、感度分析
2. ネットワーク計画法：最短経路問題、最小木問題、最大流問題
3. ゲームの理論：ナッシュ均衡、有限ゼロ和2人ゲーム
4. 意思決定の理論：意思決定の基準、情報の価値、階層的意思決定法
5. オプションの価格付け理論：コールオプション、1期間モデル、裁定定理
6. 待ち行列理論：ケンドールの記号、リトルの式、 $M/M/S$ モデル

履修上の留意点

理解を深めるために適宜演習を行う。

成績評価の方法

試験（前期末と後期末の2回）を主とし、それに演習課題と出席状況を加味して評価する。

教科書

プリントを配付する。

参考書等

田畑吉雄『経営科学入門』（牧野書店）
森雅夫他『オペレーションズリサーチⅠ、Ⅱ』（朝倉書店）

その他

経営数学と経営科学概論を先または同時に履修しておくことが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
シ ス テ ム 論	宇 谷 明 秀 <small>う たに あま ひで</small>	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

この科目では、複雑で大規模なシステムを理解し、構築し、運用するための方法論を学ぶ。なるべく具体的な事例をとりあげ、システム思考、システム論への理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|--|---|
| <p>〔前期〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. システム論（その歴史） 2. システム論（分類と展望） 3. モデル化の方法論（分類と特徴） 4. 数理モデリング 5. コンピューターシヨナルモデリング | <p>〔後期〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. システムの評価 2. システムの故障と信頼性 3. 危機管理と対策 4. 不確実な事象とシステム設計 5. システム導入における経済性の評価 |
|--|---|

履修上の留意点

特定分野の事前の知識は要求しないが、基本的な数学の学力が必要である。

成績評価の方法

講義への出席状況及びレポートの内容により評価する。

教 科 書

授業の中で指示する。

参 考 書 等

授業の中で必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
統 計 原 論	山 内 慎 二 <small>やまの うち しん じ</small>	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

大雑把に言えば、統計学は「確率と分布」の性質を用いたデータ処理を通して、「母集団」及び「標本」という2つの親子関係の言葉を繋げて、知識や技術を議論する学問である。本講義では、最初に簡潔に確率論の基礎を紹介し、次にデータ処理によって母集団と標本の関係を捉え、最後に統計的推測として推定と検定等を丁寧に説明する。本講義では、実用性を重視し、統計的方法や概念を豊富な例題や数値例によって説明し、数式の使用も必要最小限に止めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 講義内容は以下の通りです。
- | | | |
|-------------------|------------------------|----|
| 序説 | 生活のなかの統計学、量的データと質的データ | 1回 |
| 基礎的概念 | 階乗と総和、順列と組合せ | 2回 |
| 記述統計 | 度数分布表、平均と分散、相関係数 | 3回 |
| 確率論の基礎 | 集合、標本空間、確率、2項分布、正規分布 | 6回 |
| 前期復習と中間試験（7月中旬） | | 2回 |
| 標本分布 | カイ2乗分布、t分布、F分布 | 2回 |
| 統計的推定 | 点推定（不偏推定、モーメント法、最尤法） | 4回 |
| 仮説検定 | 片側と両側検定、有意水準、棄却域、適合度検定 | 4回 |
| 回帰と相関 | 線形回帰モデル、相関係数の標本分布 | 2回 |
| 後期復習と定期試験（翌年1月中旬） | | 2回 |

履修上の留意点

年間数回程度の練習問題を適時に配布します。これを本講義内容の基礎的部分をもとに、独自に解ければ、中間試験と定期試験は大丈夫でしょう。

成績評価の方法

講義への出席状況及び中間試験と定期試験の結果により総合的に判断します。

教 科 書

佐和隆光著『初等統計解析 改訂版』（新曜社）2001 1,500円（税別）

参 考 書 等

- 数値表としての参考書：
 森口繁一編『新編 日科技連数値表』（日科技連出版社）1996 510円（税別）
 P.G.ホエール著、浅井晃・村上正康共訳『初等統計学』（培風館）1996 1,700円

そ の 他

授業の方法－講義（OHPを使用する場合があります。）

科 専
門 教
目 育

科目名	担当者名	配当学科	単 位
民 法	織 田 晃 子 <small>おだ てる こ</small>	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

このクラスは民法及び民法1が講義の対象とされている。そこで、民法総則を中心に行うが、具体的には取引行為、特に契約を通して必要があれば物権にもふれながら、下記の講義内容を進める。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 権利の主体
 - (1) 自然人
 - ①権利能力 ②意思能力、行為能力 ③不在者、失踪宣言
 - (2) 法人
 - ①法人の意義・本質 ②法人格否認の法理 ③権利能力なき社団・財団
 - ④法人設立とその能力 ⑤法人の不法行為責任
- 2 権利の客体
 - (1) 物の概念 (2) 不動産と動産 (3) 主物と従物 (4) 元物と果実
- 3 権利の変動
 - (1) 法律行為 (2) 意思表示 (3) 代理 (4) 無効及び取消 (5) 条件及び期限、期間 (6) 時効

履修上の留意点

六法は必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績による。再試験を実施する。

教科書

河野弘矩著改訂版『民法総則講義』（八千代出版）3,100円＋税

参考書等

コンパクト六法（岩波）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
商 法	川 口 幸 美 <small>かわ ぐち ゆき み</small>	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

商法は企業の組織や活動および利害関係者を規制する法である。本講義では、このうち株式会社を中心に取り上げ、その構造につき基礎的な理解を得ることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 総論
 - ①会社の目的と権利能力 ②法人格否認の法理
- 2 設立
 - ①会社の設立と発起人の権限
- 3 株式
 - ①株式の種類と転換 ②株式の権利とその流通 ③株式の消却・併合・分割
- 4 機関
 - ①株主総会 ②取締役・取締役会 ③監査役・監査役会 ④委員会等設置会社 ⑤その他
- 5 計算
- 6 資金調達（新株発行と社債）
- 7 企業の再編（営業譲渡、合併、分割、株式交換・株式移転）

履修上の留意点

教科書と六法（平成16年度版）を持参。

成績評価の方法

期末試験の成績による。再試験実施。

教科書

神田秀樹『会社法（第4版補正版）』（弘文堂）

参考書等

適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
労働法	藤本 茂 <small>ふじもと しげる</small>	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

今日、労働関係は、雇用調整・リストラ、成果主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。現在は、変動期にあります。

労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。

この変動期において、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。労働基準法改正、解雇法制や男女雇用平等などです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に授業を進め、その基礎的知識を身につけることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、下記事項について、行います。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (10) 賃金、賞与、退職金
- (11) 労働時間、時間外・休日労働
- (12) 休憩、休日、休暇
- (13) 労働災害など

履修上の留意点

出席を心がけてください。私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo、そして無断で席を立つことはNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。

憲法、民法、社会保障法、社会政策は、近接科目であるので、ぜひ履修してください。

成績評価の方法

成績は、学年末試験がメインで、出席、レポートなどとともに、総合的に評価します。追・再試験は実施します。

教科書

ベーシック労働法（浜村彰ほか著・有斐閣）か労働法（浅倉むつ子ほか著・有斐閣）のうち1冊は用意してください。受講者は必ず1冊は用意してください。

参考書等

第1回目の授業で、プリントをして紹介します。

六法は、最新のもの（法律改正があるので特に注意）。そして労基法施行規則の載っているものを用意してください。

その他

皆さんが各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を挙げながら、授業を進めます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
税 法	おく 村 まさ ろう 興 村 正 郎	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

租税は、我々納税者が、税法の定めるところにしたがって、国や地方公共団体（都道府県及び市町村）に納付すべきものであり、それは公共サービスの資金となり、我々の生活に影響する。しかしながら税法は、多数の法律とそれを施行するための政令、省令で成り立ち、さらに多くの通達があり、しかも法律の解釈や手続きは難解で、改正も毎年ある。このような事情からかその重要性は認識していても、将来その専門家になりたいという人以外、積極的に税法の知識を身につけようとする人は少ないように思われる。このようなことから本講義により、我々の身近な法律である税法に、関心を持ち、具体的事例、計算を通じてその基本的知識を修得してもらいたい。

また将来、税理士試験を目指すものにとっても有用な知識が提供できるような内容にした。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義の内容は以下ようになります。Ⅰ～Ⅴ前期、Ⅵ～Ⅹ後期。

- Ⅰ 財政の役割と租税
- Ⅱ 税法の基本原則
- Ⅲ 租税の種類と分類
- Ⅳ 税制改革…シャープ税制改革以降、今日までの税制改革
- Ⅴ 相続税・贈与税…相続時精算課税制度他
- Ⅵ 所得税…各種所得の計算等
- Ⅶ 法人税…所得金額と税額計算等
- Ⅷ 消費税…消費税額の計算等
- Ⅸ その他の国税・地方税
- Ⅹ その他…徴収手続と納税者の権利他

履修上の留意点

本講義では簿記会計の知識は必須ではないが、上級簿記等の講義も受講することを勧める。

成績評価の方法

出席、期末試験により評価する。再試験は実施する。

教 科 書

大淵博義著『知っておきたい国税の常識』〔第6版〕（税務経理協会）

参 考 書 等

授業を進める中で適宜紹介する。

そ の 他

計算演習等プリントを随時配布する。電卓を使用することがあるので持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	高 井 徹 雄 <small>たか い てつ お</small>	経営B3選	4

講義のねらい

IT(情報技術)が社会のキーワードとされる今日、我々は、真の意味で情報が価値を持ち、情報が価値を生み出す、高度情報社会に生きています。皆さんが、企業や官庁の有能なスタッフとして「情報エリート」を目指すならば、少なくとも、

- (1) 発見力：与えられるのではなく、自ら問題を発見する能力。
- (2) 洞察力：必要な情報を選び、情報に基づき分析し、問題の本質を解明する能力。
- (3) 解決力：他者と協力しあって、具体的な問題解決策を提案し、実行化する能力。
- (3) 表現力：自らの提案を解り易く表現し、情報発信する能力。

が要求されるはずで。こうした能力を養って頂くために、毎週の演習、およびゼミ合宿において、適切な題材と環境を用意して行きます。

講義の内容・授業スケジュール

経営における意思決定の問題に、科学的・系統的にアプローチすること。これを念頭において、各週の題材を選んで行きます。どの題材についても、概念→理論→技法→道具、の4つのフェーズを通過します。

およそのスケジュールは以下のとおり。受講生とコミュニケーションをとりながら、理解度や興味の方角を見極めながら進めて行きます。

4-7月：情報リテラシ・・・文書、HTML文書作成、スプレッドシート基礎・応用
 6月：ソフトシステム方法論・・・演習IIと合同ゼミ合宿、SSMで社会的問題を扱う
 9-12月：計算機言語・・・スプレッドシートマクロ、Delphiプログラミング

履修上の留意点

合宿などの課外活動も含め、主体的に参加されることを期待します。

成績評価の方法

平常点の他、年2回程度与える課題により評価します。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	岩 ^{いわ} 瀧 ^た 昭 ^{しょう} 子 ^こ	経営B3選	4

講義のねらい

会計を取り巻く環境は激変し、ここ数年間にさまざまな会計基準が新設あるいは変更されました。こうした新しい動きを社会との絡みで学習しながら、会計の理論と実務、会計に対する幅広い視野と問題解決能力を身につけることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

日本経済新聞の会計に関連する記事を読み、関連した会計の理論や基準について学習します。また、汎用の会計ソフトを利用して、コンピュータ会計も学習する予定です。

履修上の留意点

簿記学の単位を取得済みで、簿記会計に興味があり、経理の仕事や税理士・公認会計士を希望するなど、簿記会計の知識を生かした仕事をしたい学生の履修を望みます。

成績評価の方法

レポート・出席・受講態度等から総合的に評価します。

教科書

岩瀧昭子著『ひとりで学べる簿記入門』（ナツメ社）1,400円（税別）

参考書等

適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	依 ^よ 田 ^だ 聖 ^{きよし}	経営B3選	4

講義のねらい

現代社会は知識社会と言われ、その場合科学技術がその中心に位置付けられている。従って科学技術の創造やマネジメントについて理解しそれをビジネスに結び付けていくこと、すなわちベンチャービジネスや新規事業を起こす機会がいろいろな局面で増加することであろう。理工科系学部ではMOT (Management of technology) 教育に力を入れ始めている。文科系学部出身者もそのような場面を想定して現代科学技術の役割と科学技術のマネジメントを学ぶ必要性が益々高まるであろう。そして科学技術をコアにした競争戦略の策定や事業計画の立案について訓練する必要に迫られる。

本演習では経営戦略や競争戦略の基礎的な事項を整理検討し、自ら科学技術によるビジネスシーズを探索し、それをもとにビジネスプラン（事業計画）を作成することで、演習のまとめを行っていく。

講義の内容・授業スケジュール

- 最終的には自ら策定したビジネスプランを発表するため、代表的なプレゼンテーションソフトであるパワーポイント（PPT）の使い方を覚える。
- 科学技術や競争戦略の基本的文献を各自分担して読み、PPTを使い発表・報告し、様々な課題をみんなでディスカッションをしていく。

履修上の留意点

科学技術に興味を持つ学生、熱意のある学生の受講を望む。

成績評価の方法

出席状況、報告発表、レポート等々により、総合的に評価する。

教科書

授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	服部 昌久	経営B3選	4

講義のねらい

日本経済の現状は、良きにつけ悪きにつけ、80年代後半からのバブル経済の発生と、90年代におけるその崩壊の余波を受けている。したがって、今日の状況を理解し、将来を展望するための基礎的知識として、バブルの形成と崩壊の過程についての理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

「バブルの形成と崩壊を考える」をテーマに、文献の輪読を行う。授業では、発表者が簡単なレポートを作成し、これを基に全員で議論を展開し、一定の方向に導く。

履修上の留意点

発表者だけでなく、他の受講生も積極的に議論に加わることを望む。

成績評価の方法

演習での活動状況をもって評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	羽鳥 茂	経営B3選	4

講義のねらい

現在の日本経済のさまざまな姿を基本データによって確認し、新しい動きを理解することが本演習の主要な課題である。

履修上の留意点

積極的にゼミに参加することを学生諸君に要望する。

成績評価の方法

出席状況とゼミでの積極性ならびに年度末に提出する課題レポートによって評価する。

教科書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	飯田哲夫	経営B3選	4

講義のねらい

情報処理および情報の分析が現在の企業経営において重要な役割を果たしていることは疑いありません。例えば、コンビニエンスストアやスーパーマーケットでの購買データが顧客の購買行動の分析に利用され、部品・原材料の納入業者との取引が取引の効率化および在庫情報の更新のために電子化され（電子商取引）、そして、逐次更新されている在庫情報をもとに原材料調達・生産・販売の各計画が作成されています。

また、大量の情報が入手可能となったことで、情報にもとづく客観的で合理的な意思決定を行うことがますます求められています。

一方で、大量の情報処理や合理的な意思決定の実践には、コンピュータの利用が必須となります。

このゼミでは、情報処理や情報の分析方法とそれらを実際に行うために必要となるコンピュータの高度な利用方法の両面について、基本的なことから応用まで、幅広く学びます。

講義の内容・授業スケジュール

情報処理および意思決定分析の基礎的な知識習得および、コンピュータの利用に関する知識習得のために、ゼミのメンバーによる輪読およびコンピュータ演習を行います。

履修上の留意点

このゼミは学生の主体的・積極的な参加を前提としています。また、意思決定分析やコンピュータの高度な利用方法を学ぶため、ある程度は数学的知識やコンピュータに慣れていることが望まれます。具体的には、「経営数学」「情報処理基礎」を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

平常点（出席とゼミへの積極性）、課題のレポートと発表により総合的に評価します。

教科書

用いる教科書や参考書については最初のゼミのときに紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	兼村栄哲	経営B3選	4

講義のねらい

受講生の1人1人が、マーケティングにかかわる諸現象を体感し、自分なりに論理的に説明できるようになることを主な目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

以下の3つを主な内容とする。

- (1) マーケティング論に関する基本的なテキストを全員で輪読し、基礎的な概念や理論を学んでもらう。これは、各受講生が、事前に割り当てられた担当箇所について作成したレジュメを発表し、その後討論するという形式をとる。
- (2) 年に数回、4～5人のグループで、マーケティング（論）にかかわるいくつかのテーマについて調べてきてもらい、その内容を発表してもらう。
- (3) 年に数回、工場見学を予定している。工場見学後、レポートを提出してもらう。

履修上の留意点

以上の3点をとくに要望する。

- (1) 積極的に参加すること（通常の演習のみならず、合宿その他の課外活動にも積極的に参加すること。また、単に出席するのではなく、自発的に自分なりの疑問や意見を示すこと。）
- (2) お互いの親睦を深めること
- (3) 授業開始後、諸般の事情で履修を取りやめる場合にも、必ず事前にその旨を申し出ること

成績評価の方法

授業態度、発表内容、レポート内容等を総合的に評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

適宜、紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	おおしまひさゆき 大 島 久 幸	経営B 3選	4

講義のねらい

本演習では、具体的な企業の事例研究を通じて、日本の企業の歴史を学びます。歴史を学んでも今すぐ役立つ知識は得られないかもしれませんが、しかし、絶えず変動する今日をじっくり見据える判断力を養うには歴史はとてもよい素材を提供してくれます。対象を相対化できることによる客観性が歴史の妙味だからです。事例研究では個人の実名の入った生き生きした歴史を学びます。そこから未来を生きる助けになる材料を皆さん自身で探してください。

講義の内容・授業スケジュール

前期の初めに文献輪読を通じて、論文の作成方法等を学んだ後、具体的テーマを設定して、有価証券報告書、社史、関連文献、雑誌記事等の資料を収集し、秋までに全員の共同作業で論文を作成する。

成績評価の方法

平常点ならびにゼミ活動への貢献度によって総合的に評価します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	もがきひろし 茂 垣 広 志	経営B 3選	4

講義のねらい

本ゼミでは、国際経営にかかわる問題を扱っていく。グローバル競争の中で、企業は様々な形で海外事業を展開している。しかし、国内とは異なり、海外では様々な問題に直面する。マーケティング、製品開発、生産、人事など国内とは異なる環境の下で問題に対処していかねばならない。ゼミでは、それらの問題にどのように対処すべきかを考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

3年次の初めは、経営戦略の基礎的なアプローチを理解し、その応用として国際経営戦略について考察する。その後、企業の海外事業展開についてのトピックについて取り上げ、より具体的な実際の問題について議論していく。たとえば、下記のようなトピックである。

- ・わが社のA製品で中国市場に参入するには、どのような製品範囲で、どのような価格、販売方法(ルート、営業方法)、調達方法が最適なのか?たとえば、上海でシェアの高いサントリーは、そのビール事業でどのような方法をとったのか。
- ・欧州統合に伴い、どのような地域統括方法が有効なのか?たとえば、ソニーや松下などは、どのような方法を用いているのか。
- ・研究開発や製品開発は国際的にどのような分業体制が考えられるのか。たとえば、ホンダは北米と欧州でどのような開発を行い、車種開発につなげているのか。
- ・本社と海外子会社をうまく連携させるにはどのような方法があるのか。たとえば、日本企業はどのような方法をとっており、どのような問題に直面しているのか。

履修上の留意点

報告および議論を通じて、国際経営にかかわる基本的問題の理解のみならず、自分の言葉でそれを表現できる能力の形成にも重きを置いている。

成績評価の方法

プレゼン内容および質疑応答により評価する

教科書

指定しない。

参考書等

必要に応じて紹介、指示する。

その他

ゼミ

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読 (英書)	ひのけんた 日野健太	経営B3・4選	4

講義のねらい

やさしめの英語の論文を読むことによって、経営学のホットなトピックについて英語で学ぶ。語彙力、読解力の向上に重点を置いて講義を進める。

講義の内容・授業スケジュール

最初は、英語の復習もかねて、一文ずつ逐語訳を行うスタイルで進む。予習は必須である。何となく感覚で読もうとするのではなく、きちんと日本語訳を用意してることが、英語の能力の向上にもつながるはずである。順番に一人一文ずつ訳してもらう。予習してこなかった場合は、欠席扱い。

履修上の留意点

語学の習得には予習・復習が必須である。

成績評価の方法

平常点による評価。出席と授業の準備を重視する。

教科書

使用しない。コピーを配布する。参考までに昨年担当したフレックス A の授業では、Bartlett, C. A. & S. Ghoshal "Building competitive advantage through people." Sloan Management Review winter2002. pp. 34-41
Kotter, J.P. "Matsushita: the world's greatest entrepreneur?" Fortune Mar. 31, 1997, pp. 33-38
を読んだ。今回は、これ以外のテキストを選ぼうと思う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読 (英書)	はやみのぼる 速水昇	経営B3・4選	4

講義のねらい

「外書講読」は1字1句言葉を確認しながら自分の力で訳すため、スピードは遅いが内容を把握する点では最適といえる。そして、経済・経営のテクニカル・タームを把握し、この大学を卒業するころには英字新聞の経済・経営の記事が読めるようにして欲しいというのが私の希望であり、講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

最初は辞書がなくても訳せるような易しい文献を選んで「外書講読」に慣れ親しんでもらう。そして、徐々に専門的な知識が身に付くような文献を講読し、専門的な知識を深めることにする。1年間で4つのテーマ、たとえば貿易摩擦 (Trade Friction)、財政赤字 (Deficit Finance) などについての講読を予定しているが、「外書講読」は休むと身に付かないので出席に自信のある学生を希望する。

成績評価の方法

レポート、小テスト、和訳等総合評価による。

教科書

授業時にプリントを配布

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ビジネス英語	町井 靖	経営B3・4選 14以降入学生/経営A3・4選	4

講義のねらい

「商品の輸出入に関する英文の手紙」を学習する。テキスト『ビジネス英語』に従って、取引先の発見からカタログの送付、オフア、見積り、交渉、注文、船積み、クレームなど、貿易取引の各段階で良く使用される表現を学ぶ。実際の輸出入業務では英文の手紙を書く必要があるため、英作文演習には力を入れたい。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは貿易取引の各段階で良く使用される表現を英文解釈で学び、それらの重要表現を使用して英作文をするようになっている。英作文は授業中に1題やり、数題が宿題となるが英文解釈、[研究]、[注]を良く読返して英作文を考え、それらの表現をしっかりと修得していただきたい。

貿易の専門用語の理解も必要なので、テキストの付録「貿易用語集」により、定型取引条件、為替相場、複合運送、信用状、手形買取り、海上保険などを講義する。

履修上の留意点

全員授業に参加していただくので予習（英文解釈）、復習（英作文）が必要である。英作文は間違いを恐れず挑戦していただきたい。個人的に添削指導する。

成績評価の方法

前期、後期の試験成績と出席による。

教科書

町井靖著『ビジネス英語』（創成社）1,600円（本体価格）

参考書等

教室で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
特殊講義（前期）	代田 純	経営B3・4選	2

講義のねらい

野村證券株式会社の提供による本講座は、「資本市場の役割と証券投資」をテーマとし、野村証券および野村総合研究所の現役スタッフによって前期13回で講義される。講義では、証券市場に密接に関連する経済情報の捉え方からスタートし、株式や、債券、投資信託などの基礎を解説した後、資産運用とライフプランニング、資本市場と投資家心理などの実践的課題に接近し、最後にはベンチャービジネスにも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 ガイダンス
- 2 経済情報の捉え方
- 3 経済成長と金融資本市場について
- 4 証券投資のリスク・リターンについて
- 5 株式市場の役割と投資の基礎知識について
- 6 債券市場の役割と投資の基礎知識について
- 7 投資信託の役割とその仕組みについて
- 8 ポートフォリオ・マネジメントについて
- 9 市場のグローバル化と証券投資について
- 10 資産運用とライフプランニング
- 11 資本市場における投資家心理について
- 12 個人投資家と証券ビジネスについて
- 13 ベンチャービジネスとIPOについて

履修上の留意点

遅刻、途中退室は認めない。講師の都合でテーマが変更されることもある。

成績評価の方法

定期試験による。再試験はない。但し、レポート提出者には加点する。

教科書

毎回、講義資料が配布される。指定参考書として、代田純『日本の株式市場と外国人投資家』（東洋経済新報社）2002年を使用する。

科 専
門 教
育 目 録

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	きたしまんじ 北 島 万 次	経営B 4選	4

講義のねらい

近代日本の起点は明治維新の政治および経済改革にあった。その場合、①産業革命をへて欧米で起こった世界資本主義体制がアジアに進出するいわゆる外圧、それが幕末の日本を資本主義体制に巻き込んだ問題、②その外圧をうける以前に、幕藩体制下の日本では資本主義経済への芽生えがどの程度進んでいたかという問題、この2点を考える必要がある。このことを念頭に置いて、この演習では明治維新にいたるまでの日本の経済発展を理解するように進めていく。その場合、経済史的な視点はもちろん、それと密接に関連する政治史・対外関係史についても目を配り、明治維新にいたるまでの総過程を捉えるようにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

日本経済史についてのテキストを輪読し、リポーターの報告にもとづき討論をする。

- * 戦国・織豊期の社会と経済
 - 1、東アジア世界の変動
 - 2、村落と都市の変貌
 - 3、戦国大名の経済政策
 - 4、織田政権の経済政策
 - 5、豊臣政権の経済政策
- * 幕藩体制成立期の社会と経済
 - 1、江戸幕府の経済基盤
 - 2、対外関係の変動と鎖国
 - 3、藩体制と城下町
 - 4、近世村落の形成と農業生産
- * 展開期幕藩制の社会と経済
 - 1、農村の変貌
 - 2、都市と商業の発展
 - 3、領主的対応—享保改革—
- * 動揺期幕藩制の社会と経済
 - 1、幕藩制農村の変質
 - 2、幕藩制市場構造の変化
 - 3、幕藩制経済の再編—田沼期・寛政改革—
- * 解体期幕藩制の社会と経済
 - 1、国内市場の形成
 - 2、天保改革
 - 3、開国と幕藩体制の解体

成績評価の方法

レポートおよび平常点。

教 科 書

逆井孝仁・北島万次・野田嶺志・富沢清人著『日本経済史』（有斐閣新書）950円＋消費税

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	加藤武信	経営B4選	4

講義のねらい

現代企業における情報システムの役割に関して、理論的・技術的な検討を行う。理論面では、競争戦略論・戦略情報システム論・管理会計論などに依拠しながら情報システムベースの企業経営に関して文献を踏まえて考察する。また情報技術の修得訓練では、販売管理を含むデータベース設計・システム設計について、3年次に引続き勉強を深める。

講義の内容・授業スケジュール

- ①競争戦略・戦略情報システム
今後の情報システムの構築は、経営戦略と深い係わりをもつ。その分野の論文や専門書を10点ほど精読し、理論的基礎を確立し、かつ、情報システムの現代的役割と今後の展開についての基礎知識を吸収する。
- ②キャッシュフロー経営・会計の理解と会計処理と経営分析
キャッシュフロー経営・会計の理解を深めると共に、工業レベルの会計知識を修得し、ソフトの分析モデルの学習による経営分析能力を養成する。
- ③販売管理や顧客管理を含むシステム設計・データベース設計の検討
専門書などによる Access による販売管理や顧客管理の設計事例を検討する。
- ④複数プログラミング言語の検討
通産省の情報処理技術者試験取得の目標をもつ諸君に対しては、プログラミング言語の勉強もやれるように工夫する。
さらに、諸君の卒業後の進路にふさわしいテーマを設定し、ゼミ論文としてまとめてもらう。

履修上の留意点

上掲の(1)～(4)の内の1つ以上のテーマを深く追求し、論文にまとめてもらいたい。

成績評価の方法

日常の出席状況、レポートおよび口頭発表などを総合的に評価する。

教科書

加藤武信他「プログラムとシステムの演習」(サンウェイ出版)1,800円
その他は授業の中で示す。

参考書等

授業の中で示す。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	前田和利	経営B4選	4

講義のねらい

演習Ⅰのテーマを継続して検討する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①企業間競争の視点から事例研究をとりあげる。
- ②個人ないしグループによる研究成果の報告を行ない、論文(ワープロ、12000字以上)を作成する。

成績評価の方法

論文評価による。

参考書等

論文の進行速度に応じて適宜指示する。

その他

報告者は事前に要旨・資料を配付すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	鈴木幸毅	経営B4選	4

講義のねらい

我々の生きる現代は、企業社会といわれ、また組織社会とも言われている。この社会において企業は、経済的権力を握り社会的及び政治的権力を行使しているが、国際化の真価を問われ、著しく進んだ情報化・技術革新によって革命的影響を受け、そして成熟化社会における価値観の多様化によって社会との関係枠組みの変革を求められている。こうした状況は、経営管理（論）の理論的及び実践的研究に対して影響を及ぼす。
以上の認識のもとに、今年度は、「企業責任と環境問題」について検討する。
〈テーマ〉 「企業責任と環境問題」

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 企業概念と理論について学習し、それを基礎に「企業責任」を考える。
- (2) 企業の環境問題とは何かについて現実的に捉え、それを理論的に整理し、「企業責任」と「社会的貢献」を明らかにする。

成績評価の方法

個人又は共同論文作成を中心に成績を評価する。

参考書等

鈴木幸毅著『環境問題と企業責任〈増補版〉』中央経済社（平成6年）
同『環境経営学の確立に向けて』税務経理協会（平成11年）

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	阿部一人	経営B4選	4

講義のねらい

演習Ⅰに引きつづきテキストにそって財務会計の基礎を体系的に学習する。後期は、企業会計の領域の中から各自がテーマを選び、それにもとづいて研究発表を行う。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、報告発表、レポート等により総合的に判定する。

教科書

広瀬義州著『財務会計』（白桃書房）3,500円

参考書等

授業中において適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	長国強	経営B4選	4

講義のねらい

現代は情報化社会といわれ、新聞・インターネットを開いてもそこに大量の経済・経営データが見られる。ところで、経済・経営などのデータをそのまま見れば、単なる数字の山に過ぎず、大切なことはそこから正しい見通しを得ることであろう。
実際のデータから経済・経営など社会的な動きをどのように読み取るのかといった能力を養成できるようにすることを目的として、本演習はコンピュータを使つてのデータ解析の基本技術を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅲ（4年生）：総決算…卒業論文作成に挑戦
研究テーマを自主的に選び、演習Ⅰで学んだコンピュータとデータ解析の基本知識や手法を自ら実践し、卒業論文作成に取り込む。卒業論文については、11月の中間報告、1月の卒業発表会を経て、最終的に提出してもらう。

成績評価の方法

平常点：出席・レポートの成績などで総合的に評価する。

その他

継続性ということから、演習Ⅱの新規募集はいたしません。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	おののまん 大野満奈	経営B4選	4

講義のねらい

この演習を通じて参加各人の個性や発想を生かし、意見交換等を通じて相互の交流を深めること、そして、大学での自己の専攻と呼べる領域を築きあげること、この二点をねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

財務会計の諸概念を理論的に追究する作業を行う。さしあたりは、企業会計原則を中心とする制度会計の理解が得られるよう指導していき、その後は今日における会計上の諸問題を取り扱っていく。

履修上の留意点

日商簿記検定3級取得者、または「簿記学」の単位を修得しその内容をよく理解している者が望ましい。

成績評価の方法

出席率・ゼミ論の内容等により成績を評価する。

その他

合宿を1回～2回予定しているので参加すること。

Ⅲ 他学部履修科目

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、
フレックス A の頁を参照してください。(→P.377)

Ⅲ. 他学部履修科目

商学総論	〈大吹勝男〉	587
社会思想	史〈阿部弘〉	588
商業政策	策〈岩下弘〉	589
アジア経済	論〈鄭章淵〉	590
社会政理	策〈光岡博美〉	591
価値格	論〈荒木勝啓〉	592
銀行	論〈齊藤正〉	593
中小企業	論〈休講〉	
人口	論〈休講〉	
法思想	史〈高橋洋城〉	594
日本法制	史〈茂野隆晴〉	595
西洋法制	史〈休講〉	
経済	法〈荒井登志夫〉	596
国際関係	論〈南山淳〉	596
地方自治	法〈富井幸雄〉	597
国際紛争解決	法〈王志安〉	598
倒産処理	法〈雨宮眞也〉	599
中国禅宗	史〈須山長治〉	599
日本禅宗	史〈石井公成〉	600
インド仏教	史〈池田道浩〉	600
日本仏教	史〈袴谷憲昭〉	601
日書仏教	道〈那須隆吉〉	602
と文	化〈木村誠司〉	602

履修科目
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
商学総論	大吹勝男	経営A・経営B	4

講義のねらい

近年ますます大学において、学問が軽視される風潮にあります。そして生残りをかけ、学生集めのために実学主義・実用主義を売りものにする大学が増加しています。大学は学生および社会的要請に答えねばならないという主張のもとに、会社・企業のために大学が存在することを主張し、かつ君たちに会社人間になることを勧めるマスコミや評論家等がいます。そして一方で、学問に背を向け、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は入学した君たちのためにあり大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学においてしか学ぶことのできない、物事の見方、考え方を学ぶことです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役立たないもの、これらを学ぶのが大学です。何年かキャリアを積んだビジネスマンから聞くことは、大学時代に学問をしておくべきであったということなのです。諸君も、過労死か過労自殺をすることなく、そして使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に思考する能力を身につけて下さい。そして、社会人として現実に困難な問題に出会った時に、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。母さん、学者の良心はどこまで転落してゆくのでしょうか。本講義では現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論（物流の基礎理論を含む）および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。そのためには一年間を通して授業に出席することが必要です。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策のための基礎理論を提供するとおもいます。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は下記の項目の通りですが、本年度は、これらの項目について講義しながら、現代企業の経営戦略において重要性を増している物流問題を考えるうえで、その基礎となる理論について特に力を入れるとともに、同時にロジステックスについても考え、さらに、サプライチェーンとそのマネジメント（管理）について検討します。また、マーケティングおよびブランドの問題についても検討する予定です。

- (1) 商品論（価値論）・電子マネー
- (2) 生産過程論（労働過程論）
- (3) 流通過程論（資本の流通過程 商品在庫と保管費用・市場と商品輸送）
- (4) 資本の回転と流通資本
- (5) 商業資本の本質論・自立化論・卸売排除論・電子商取引（eコマース）
- (6) 商業利潤論
- (7) 商業労働論・ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねてレポートを課すこともありうる。また各授業項目が終る毎に、小テストを実施し、君たちの理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とします。

期末試験は論述形式でおこなう。再試験は実施する。

教科書

大吹勝男『流通費用の基礎理論』（4月刊行予定）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会思想史	阿部 弘 <small>ひろし</small>	経営A・経営B	4

講義のねらい

「経済学」という科学は、人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持ちます。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入って、ヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしています。

この講義では「経済学」の成立と「市民社会」との関係を明らかにすることを目標にしていますが、「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた、「帝王学」的な政治・経済政策論に求められるから、最初にその実態を、東洋社会の「経世済民論」とインド・ヨーロッパの農業政策技術や重商主義的な政策論の展開に観ていくことにします。第2部として近代ヨーロッパ社会での、フランス革命に象徴される「ブルジョアジー」、およびその後に登場してくる「プロレタリアート」が「経済学」の成立過程にどのような影響を及ぼしたのかを考察します。そのうえで、現代社会にあって、「経済学」は何を問題提起しているのかを受講生諸君と共に考えていきたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

年間の講義は次の構成となります。

第1部：「経世済民」という考え方

第1章：古代中国での「経世済民」思想

第2章：インド・ヨーロッパ的帝王学

第3章：日本における輸入学問としての「経世済民論」

第2部：ヨーロッパ社会での「経済学」の形成過程

第1章：「個人主義」思想の形成と「道徳哲学」の新たな展開

－マンデヴィル思想から「道徳感情論」へ

第2章：フランス革命と「経済学」の形成過程

第3章：マルクスの経済学体系

成績評価の方法

1 「成績評価」は年間4回のレポートの作成で行います。

レポートは5月・7月・10～11月・12月におこないます。したがって「定期テスト」は行いません。

年4回のレポートを行うのは、講義形式のばあいには評価を年1回のテストで行いますと、とかく受講生の皆さんと講師との交通がみられなくなるからです。

レポートの形式は、5月の第1回目は講師が受講生全体に共通なテーマを設定し、第2回以後は作成されたそれぞれのレポートからのテーマをも設定します。

2 上記のように年間4回のレポートを皆さんとともに実施していくのですから、回数が少なくてもよいとか、1回だけレポートを密かに作成して「送りつけ」てきたり、私のポストに投げ入れたりしても、評価が悪くなるだけですから注意してください。

3 「評価」はレポートで行いますので、「定期試験」および「追試験」とか「再試験」は行いません。

教科書

阿部弘『労働と所有』（八千代出版）3,200円＋税

その他

受講生と講師が「レポート」外で連絡し得るようにするために、講師の住所を下に記しておきます。

阿部弘：〒179-0072 練馬区光が丘6-1-4-204／TEL03-3976-7984

研究室：第2研究館5F No. 2538／TEL03-3418-9360

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 政 策	いわた ひろし 岩 下 弘	経営 A・経営 B	4

講義の内容・
授業スケジュール

- 一 わが国の小売商業構造と蓄積構造
 - 1 90年代の小売商業構造
 - 2 80年代の大手小売業の資本蓄積構造
 - 3 90年代の大手小売業の資本蓄積構造
- 二 わが国の流通政策論
 - 1 中小小売商保護政策論
 - 2 流通近代化政策論
 - 3 流通システム化計画論
 - 4 流通革命論
- 三 流通ビジョンと流通政策
 - 1 70年代の流通
 - 2 80年代流通産業ビジョン
 - 3 90年代流通ビジョン
 - 4 21世紀へ向けた流通ビジョン
- 四 わが国の小売商業調整政策の展開過程
 - 1 百貨店法
 - 1) 第一次百貨店法 2) 第二次百貨店法
 - 2 中小小売商業振興法
 - 3 小売商業調整特別措置法
 - 4 大店法
 - 1) 1973年法 2) 1979年改正法
 - 3) 1991年改正法
 - 5 凍結宣言、要綱及び条例
 - 6 通産省による行政指導=抑制措置
 - 7 規制緩和
 - 1) 規制緩和の流れ-前川レポート、行革審報告
 - 2) 日米構造問題協議 3) 適正化措置
 - 8 特定商業集積法
 - 9 街づくりと都市計画
- 五 流通政策の転換
 - 1 大店立地法
 - 2 中心市街地活性化法
- 六 海外の流通政策
 - 1 イギリス
 - 1) 出店調整政策-都市・農村計画法
 - 2) 日曜営業問題-商店法
 - 2 フランス-ロワイエ法
 - 3 ドイツ-土地利用計画
 - 4 アメリカ-ゾーニング規制

成績評価の方法

定期試験、レポート、出席により評価。再試験は実施しない。

教科書

指定しない。

参考書等

その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
アジア経済論	ちよん 鄭 ちやん 章 よん 淵	経営A・経営B	4

講義のねらい

この講義では、受講生諸君のアジア経済に対する理解を深めるために、アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、できるだけその全体像に迫る予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化したアジアの経済発展を20世紀後半期に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾のメカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来のアジア経済論のように（典型的には、新古典派開発経済学）工業化の本格化した60年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」をなす時期（特に、植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、60年代以降の工業化過程において常に経済発展をリードしてきたアジア国家の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまでもアジアに視座を置きつつも、現在に至る歴史過程において、その都度、アジア経済に決定的な影響を及ぼしてきた世界経済の動向にも注意を払いたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

1. 経済発展の前史
 - (1) 植民地経済の概要
 - (2) 戦後経済発展の初期条件
2. アジアNIEsの経済発展
 - (1) アジアNIEsの範疇と経済発展の特徴
※NIEsの用語説明、経済開発戦略の特徴、産業的特徴
 - (2) 開発独裁体制の成立
※韓国の事例、その他の開発独裁
 - (3) 経済発展と民主化の弁証法
3. ASEAN諸国の経済発展
 - (1) タイ・マレーシア・インドネシアの経済発展過程
 - (2) ASEANの歴史
 - (3) 日本企業の進出状況

〔後期〕

4. アジア社会主義諸国の開放政策
 - (1) 中国の開放政策
 - (2) その他……ベトナム、北朝鮮
5. アジア経済発展論の系譜
 - (1) アジアNIEs論
 - (2) 東アジア経済発展論
6. アジアにおける地域経済協力
 - (1) APECの発展過程
 - (2) ASEANの自由化過程
 - (3) その他の中小規模経済圏
7. アジア経済の現状
 - (1) アジア通貨危機の発生とその影響
 - (2) その他の諸問題…環境問題 etc.
 - (3) 日本とアジアとの関係の展望

成績評価の方法

前期および夏期の2回のレポートと学年末の定期試験で総合的に評価する。試験の際に自筆のノートを参照にしてもらうので、講義中ノートをよくとってもらいたい。再試験を実施する。

教科書

特に定めないが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。
大野健一・桜井宏二郎『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税抜き）

参考書等

参考文献については、講義中に随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会政策	みつ 光 おか 岡 はく 博 み 美	経営A・経営B	4

講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の半ばに、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけでなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対峙していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問は発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が追られているのかを考えてみることにする。

講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととした。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上にのべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。但し、受講者が多い場合は実施できない場合もある。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
価 格 理 論	あら き よし ひろ 荒 木 勝 啓	経営A・経営B	4

講義のねらい

授業のあらまし：価格理論の目的は、経済の中でマイクロ主体が互いに競争と最適化を行うことにより、市場および経済一般がどのような方向に向かうかを研究することにある。もし競争が理想的に行われ、情報や資源移動の完全性が保証されるならば、市場はパレート最適と呼ばれるある種の理想状態に達し、価格は自然に社会的厚生を最大化する水準に定められる。しかし例えば市場参加者が2という少数者で行われるならば、たとえ同様の競争自体が行われても、結果はクールノ・ナッシュ均衡とよばれるような、完全競争とは異なった市場均衡に到達するであろう。またその競争のありようによっては同じ2という参加者の競争から、シュタッケルベルク均衡と呼ばれるさらに異なった均衡状態が作り出されるかもしれない。その点はもはやパレート最適からはほど遠い点である。

このように、価格理論は、一般に「物価水準」と呼ばれているような現実のデータとしての価格というよりも、経済の市場の枠組みやマイクロ主体の行動様式に関する様々な想定から導出される as if パフォーマンスとしての価格決定を調べる科目である。従ってその分析のためにはどこまでも「最適化」手法がつかまとう。しかも経済学の場合最適化はほとんどの場合「制約付き最適化」である。

制約のないところに経済は成立しない。近代経済学を生み出した限界革命の旗手であるカール・メンガーは次のように述べる。村にわき出る泉があり、その水をだれでもが飲めるならば、その水をめぐる「経済」現象は生じないのであろう。しかし、旅人が増えて村人が水を自由に飲めなくなったときから泉の水に経済現象が生じ始め、水に価値が生まれはじめる。

以上のように価格理論では内容の理解がほぼ制約付き最適化手法の理解如何にかかっているといってもよい。従って講義のかなりの部分がそのために準備と練習にあてられると考えていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 価格理論で学ぶこと
- (2) 多変数関数と曲面
- (3) 微分、偏微分、全微分
- (4) 対数関数の微分と成長理論
- (5) 生産関数、コブ・ダグラス生産関数
- (6) ベクトルの直交と勾配ベクトル
- (7) 制約付き最適化問題のグラフィカルな理解
- (8) ラグランジュ乗数法
- (9) 加重限界効用均等の法則
- (10) 練習問題
- (11) 代替効果と所得効果の計算
- (12) 需要曲線と需要の価格弾力性
- (13) パレート最適、ボックスダイアグラム
- (14) MR 曲線
- (15) 独占均衡
- (16) 消費者余剰と生産者余剰、独占均衡の死重的損失
- (17) 消費曲線と供給曲線
- (18) 生産関数から短期費用関数の導出
- (19) 生産関数から長期費用関数の導出
- (20) クールノ・ナッシュ均衡
- (21) クールノ・ナッシュ均衡解の練習問題
- (22) 等利潤曲線
- (23) シュタッケルベルク均衡解
- (24) シュタッケルベルク均衡解の練習問題
- (25) ゼロサムゲームの解法

成績評価の方法

試験はノート・教科書・参考書持ち込み可。再試験実施。

教 科 書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
銀行論	さいとう 藤 正	経営B 14以降入学生/経営A	4

講義のねらい

「フリー、フェア、グローバルな金融市場」の実現を掲げた「日本版金融ビッグバン」及び小泉「構造改革」の下で日本の金融制度は大きく様変わりした。一方では、大手銀行の統合や合併、外資系金融機関の対日参入攻勢、異業種によるネットバンキングや決済専門銀行への参入、など、グローバル化とIT革命を背景とした激しい競争が「華々しく」繰り広げられている。他方では、バブル崩壊後の長期不況、不良債権処理の遅れのなかで、「銀行不倒神話」が崩壊し、金融システム不安も依然解消されていない。その影響は、特に地域金融機関において厳しく、地域経済は深刻な衰退状況にある。

不良債権の「最終処理」、ペイオフ解禁への対応、など、銀行を取り巻く状況はきわめて厳しいが、銀行は依然として「貨幣の供給および決済システム」を同時に担う唯一の主体であり、社会的に不可欠の存在であることには変わりはない。それゆえ、いまこそ21世紀における「持続的成長」を保証する金融システム、銀行の健全なあり方が強く問われている。

本講義では、現代の銀行が直面している諸問題を銀行の基礎理論に関連づけながら検討し、あるべき銀行の姿を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) まず、講義へのガイダンスとして、1990年代以降、銀行が直面している諸問題を概観し、新聞紙上等でよく見聞きする基本的用語と「銀行論」との関連づけを行なう。
- (2) 前期は銀行の基礎理論の理解を中心に据える。
 - 1) 銀行経営の不振とは対照的に大手消費者金融会社や商工ローン会社（貸金業）は史上最高の収益を達成している。
銀行制度の成立以前からすでに存在していた「金貸し業者」や「高利貸し」と「銀行」の違いがどこにあるのかを考えながら、「銀行」の基本的機能および経済社会（メーカー、流通業、消費者、さらに国家など）との関連を明らかにする。
 - 2) 銀行が一方で預金を受け入れ、他方で貸出を行っていることは広く知られている。しかし、銀行は受け入れた預金をそのまま貸し出すのではなく、「信用創造」という銀行のみに認められた方法で行い、その際「預金通貨」という「マネー」を供給する。このメカニズムを明らかにするとともに、インターネットバンキングや電子マネーなど、エレクトロニクス技術の発展にもとづいた「キャッシュレス社会」の意味について考える。
- (3) 後期では戦後の日本経済に果たした銀行の役割を時期ごとに検証する。
 - 1) 「専門的金融機関制度」といわれる戦後日本の金融制度の特徴とそれぞれの専門機関（普通銀行、長期金融機関、中小企業金融専門機関、証券会社、保険会社など）の役割を理解する。
 - 2) 時期区分は、おおまかに高度成長期（1974年まで）、低成長・自由化期（1985年まで）、バブル経済期（1990年まで）、グローバル期（1990年代以降）とし、欧米の動向も参考にしながらそれぞれの時期にどのような「銀行理論」が展開されていたのかを紹介する。
 - 3) 現代の銀行制度が抱えている主要な問題を浮かび上がらせる契機となったのが、80年代後半以降の「バブル経済」と90年代以降の「バブル崩壊」、「グローバル化」である。戦後銀行制度の抜本的改革目指すビッグバン及び小泉「構造改革」を様々な角度から検討しながら望ましい銀行システムのあり方を考える。

履修上の留意点

- 理解をさらに深めるために
- 1) 前期科目の「現代産業事情 III（野村證券提供講座）」
 - 2) 通年科目の「金融論」、
- を併せて履修されることが望ましい。

成績評価の方法

成績は、定期試験（またはレポート）による評価を基本とするが、出席状況、授業態度における積極性も十分に加味するので、講義に対する質問、疑問を大いに歓迎する。再試験を実施する。

教科書

齊藤正『戦後日本の中小企業金融』（ミネルヴァ書房）2003年。
なお、授業は毎回配布するレジメに沿って進める。

参考書等

大橋・小西・齊藤・田村・平沢著『日本のビッグインダストリー6 金融業』（大月書店）
日本銀行『新版 わが国の金融制度』
建部正義『はじめて学ぶ金融論』大月書店

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 思 想 史	たか はし ひろ き 高 橋 洋 城	経営A・経営B	4

講義のねらい

法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な一様式なのだという事を自覚する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にはほぼ限定される（東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない）。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

講義の内容・授業スケジュール

- [1] 簡単に講義の意義・注意事項などについての説明したのち、プラトン思想の背景として、ソフィストとソクラテスの問題について概観する。
- [2] プラトンの法思想：『国家』を中心にその意義を検討する。
- [3] アリストテレスの法思想：まずアリストテレス哲学の基礎理論を形相質料論を中心に紹介する。その後、『ニコマコス倫理学』『政治学』等を題材として、正義論、政治体制論を中心に検討する。
- [4] ローマ法の思想史的意義：現代に至るまでヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたローマ法上の諸概念、思考方法について概説的な紹介を行なう。
- [5] キリスト教の法思想への影響を概念史的に考察する。
- [6] 中世自然法論：トマス・アクィナスの思想をとりあげ、古典的自然法論への理解を深める。また後半では、唯名論思想と近代的世界像への転換についても言及する。
- [7] 社会契約説総論とホッブズの法思想：『リヴァイアサン』を中心にホッブズの議論を紹介し、またその現代的意義について考察する
- [8] ロックの法思想：『統治論』を中心に、ホッブズとの比較を念頭に置きつつ考察を行なう。
- [9] ロックの所有権論に関連させつつ、同時に所有権論史全般について考察する。
- [10] ルソーの法思想：題材としては『社会契約論』『不平等起源論』が中心になる。
- [11] カントの哲学と法思想：法理論におけるカント思想の重要性を論じ、さらに現代のカント主義的理論の展開をとりあげる。

履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んだ上で講義に臨むことが要求される。

成績評価の方法

年度末の定期試験によって評価する。それ以外に課題レポート等を設定する可能性もあるが、その場合は自由提出課題とし加算点にのみ用いる（定期試験のみを受験するのでもかまわないということ）。

教科書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手元に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

参考書等

法思想史に関する概説書の例として
 ・三島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。
 ・田中成明他編『法思想史』（有斐閣Sシリーズ）1,800円：法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。
 講義開始時に、上記の他にもいくつかの概説的な入門書について、それぞれの特徴などを紹介するが、書店・図書館などで手に取ってみて自分にあったものを選ぶと良いと思う。また講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 法 制 史	しげのたがはる 茂野隆晴	経営A・経営B	4

講義のねらい

基礎法学の一つとしての法制史は、文字通り、法学教育における史学である。私の担当する「日本法制史」は日本国民の法生活の歴史的考察を行うものである。年間の通史の授業は時代区分に基づいて行うのがふつうである。近年では、近現代史のもつ重要性も強調されるようになってきているので、講義ではそうしたことにも配慮しつつも、本年は国初から近世までの4期の法制の特色を主に講述し、終りに『家』制度を行いたい。

年間の講義を受講することによって、日本の法文化への愛着が深まったといわれるようになればと思う。

講義の内容・ 授業スケジュール

序 日本法制史を学ぶにあたって

- I 日本法制史とは
- II 基礎法学のなかの法制史
- III 日本法制史の時代区分
- IV 日本法制史教育の沿革

第1章 上古（氏族法時代）

- (1) 総説 (2) 氏族制度 (3) 法の始源 (4) 法の分化

第2章 中古（律令法時代）

- (1) 総説 (2) 律令法

第3章 中世（武家法時代前期）

- (1) 法の系統 (2) 分国法〔国法〕 (3) 起請文

第4章 近世（武家法時代後期）

- (1) 織豊二氏の法令 (2) 徳川幕府の法令

終りに 『家』制度と現代の法意識

履修上の留意点

史資料に則して行う授業ですのでテキストは必ず揃えて欲しい。また、授業中の私語は当然ながら厳禁ゆえ、守れない者があれば直接にも指摘することになる。

成績評価の方法

年間1度の定期試験と出席点によって評価する。

教科書

大久保治男・茂野隆晴共編著『日本法制史史料60選』（芦書房）2,300円

参考書等

大久保治男・茂野隆晴共著『日本法制史』（高文堂出版社）3,000円。このほかにも、場合によりプリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済法	荒井 登志夫	経営A・経営B	4

講義のねらい

規制緩和・グローバル化の下で独占禁止法を中心とする経済法分野はいよいよ重要性を増し、近年、相次いで法改正等が行われています。本講では、独占禁止法、景品表示法、下請法及び官製談合防止法の規定を、①実体経済の動きや歴史的視点をバックに、②規定の意味内容を平易に解説するとともに、③抽象的な規定の適用実態を理解できるように具体的な適用事例を挙げて説明する計画です。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕(1~3)前史、全体像・基本的概念 (4~5)私的独占 (6~10)不当な取引制限等(価格カルテル・入札談合、事業者団体カルテル、官製談合防止法、課徴金) (11~13)不正な取引方法・前半
 〔後期〕(14~16)不正な取引方法・後半(景品表示法・下請法) (17~18)第四章規定(株式所有・合併・持株会社) (19)寡占問題(独占的狀態・価格の同調的引上げ) (20~23)公正取引委員会、手続規定・措置体系 (24~25)国際的環境(海外独禁法、国際的協定) (26)まとめ

成績評価の方法

学期末試験の結果と前期末の受講者の提出物の内容に基づいて行います。問題作成及び成績評価に当たっては、講義に出席し実態的な理解を深めた方が有利になるよう配慮します。

教科書

舟田正之・根岸哲『独占禁止法概説』(有斐閣)3,600円
 なお、適宜プリントを配付し、法改正情報、事例研究の参考となるようにします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際関係論	南山 淳	経営A・経営B	4

講義のねらい

近代ヨーロッパに成立した国際社会は、戦争による世界秩序の崩壊と新たな世界秩序の創造というサイクルを描きながら、地球全体を覆うまでにその規模を拡大してきている。他方冷戦構造の崩壊、グローバリゼーションの拡大、米国における同時多発テロ、イラク戦争等に象徴されるように、近年の国際関係は激しく変動し、複雑化の一途をたどっている。

本講義の目的は、伝統的な国家間関係とトランスナショナルな関係が相互に影響を与え合う現代国際関係の全体像を構造的に理解することにある。構造的な理解とは、近代から現代にいたる国際関係のダイナミズムのなかで、持続する領域と変容する領域を画定していく作業に他ならない。そのためには、歴史と理論を別々に考えるのではなく、共通の視角を設定して理解することが不可欠である。現実の国際構造の変動とともに学問としての国際関係論のあり方も大きく変化しており、できるだけ最新の研究動向とカレントな問題を関連させながら、講義を進めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、主権国家、国際的アナキー、権力政治、安全保障、相互依存など、国際関係論の基本概念の理解と主要理論の解説に重点をおき、後期は、国際組織、地域紛争、グローバル経済、地球環境問題、ジェンダーなど、現代国際関係の諸問題を近年の(特に理論的な)研究動向と併せてとりあげる予定である。

履修上の留意点

政治経済、国際関係史、時事問題に関する基本的な知識を整理したうえで受講すること。

成績評価の方法

学期末試験およびレポートにより評価する。

教科書

南山淳著『国際安全保障の系譜学—現代国際関係理論と権力／知—』(国際書院)
 進藤榮一著『現代国際関係学—歴史・思想・理論—』(有斐閣)

参考書等

国際関係論を体系的に学習するうえで必要な文献リストを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 方 自 治 法	<small>とみ い ゆき お</small> 富 井 幸 雄	経 営 A ・ 経 営 B	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・ 授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

教 科 書

原田尚彦『地方自治の法としくみ』（学陽書房） 2,000円

参 考 書 等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

そ の 他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大幅な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 紛 争 解 決 法	おう し あん 王 志 安	経営A・経営B	4

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界及び適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能及び事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決及び世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査及び調停といった制度の展開及び適用、国連における紛争処理の制度的展開及び現状、そして WTO の紛争処理制度の発展、手続き及び制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判及び国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立及びその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。power point で講義を進める。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

成績評価の方法

年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストと出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）（東信堂）2,000円 2002

参考書等

市販されている国際条約集及び国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

その他

授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めることもある。板書のかわりに、powerpoint を利用した講義を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倒産処理法	雨宮真也	経営A・経営B	4

講義のねらい

主として、破産法についての基礎理論と現行法の解釈論を中心に講義する。関連して会社更生法、民事再生法についても講義し、わが国の倒産処理体制の総合的理解が得られるよう講義する。

法理論は社会現象をリードするとともに、社会現象はまた法理論をリードする。両者の相互関係をふまえつつ、学生諸君の法的思考力の向上に努めたい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の構成に従って、順次講義を進める。

履修上の留意点

破産法は、法律のつぼと云われるように、実体法、手続法、刑事法から構成され、民法、商法、労働法等々を、いかに修正するかの学問でもある。破産法の学習を通して、学生諸君が実体法と手続法を総合して理解する力を養うことを期待する。

成績評価の方法

定期試験の成績により評価する。

教科書

山本和彦著『倒産処理法入門』（有斐閣）

参考書等

霜島甲一著『倒産法体系』（勁草書房）

その他

授業は講義方式となるが、受講生の数によっては、ゼミ方式を取り入れることもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国禅宗史	須山長治	経営B 14以降入学生/経営A	4

講義のねらい

『景德伝燈録』には1,700人余りの禅僧たちが登場する。その一人一人が語り出す世界は、今日の我々が見てもまことに感動的である。それは彼らが“己の現存”を言葉によって、いかに表現しようとしたかを、目の当たりにするからである。禅宗は自らを不立文字と標榜するが、実際には言語を断ち切らず、言語によって言語の届かない世界をあらわにしようとした精神運動なのである。この事実を、禅の語録を通して考察して行きたい。

講義の内容・授業スケジュール

昨年度に引き続き、本年度も『碧巖録』を解説しながら、達磨以降の禅僧たちの言行を調べていく。これにより、中国禅は時代とともにどういう問題意識を展開していったか、その軌跡をたどりながら、全体的に“中国禅”とはなにかを考えて行きたい。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

試験は基本的な内容を問う。具体的には、論述。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

『碧巖録』（岩波文庫）、『雪竇頌古』（禅の語録シリーズ）

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本禅宗史	いし い こう せい 石 井 公 成	経営B	4
		14以降入学生/経営A	

講義のねらい

禅宗以外の禅の日本への伝来、禅宗の伝来に始まり、道元禅師・瑩山禅師から、一休や良寛を経て、明治期から戦時中に至るまでの日本の禅宗の歴史を検討する。

講義の内容・授業スケジュール

時代別に概観してゆくが、重要な問題については、時代別にこだわらずに検討する。

履修上の留意点

漢文・古文の訓練をかねる。最初はまったくできなくても良いが、わかりやすく指導してゆくため、漢文・古文の力を少しでもつけようとする姿勢が望まれる。

成績評価の方法

平常点と秋のレポートによる。

教科書

コピーを配布する。

参考書等

伊吹敦『禅の歴史』（法蔵館）3,800円 2001年

科目名	担当者名	配当学科	単位
インド仏教史	いけ だ みち ひろ 池 田 道 浩	経営B	4
		14以降入学生/経営A	

講義のねらい

インドにおいて既に釈尊の教説に対する異なった解釈が多数存在していた。各学派はこれこそが正しい教えであることを主張し論争を繰り返していたことが伝えられている。仏教における論争の歴史を学習することによって各学派の主張が明瞭となり、一見多様な仏教の思想が理解しやすくなると思われる。この講義はインド仏教の思想的展開の理解を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

インド仏教のおおまかな思想史について考察する。釈尊の教え、釈尊滅後の教団、大乘仏教の発生と展開等が主な項目である。特に中観派と瑜伽行派との論争については、実際にいくつかの文献を講読していきたい。

成績評価の方法

受講者多数の場合、学年末の試験によって厳しく評価する。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

高崎直道『仏教入門』（東京大学出版会）
平川彰『インド仏教史』上下巻（春秋社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本仏教史	はかま 袴 谷 のり あき 憲 昭	経営B 14以降入学生/経営A	4

講義のねらい

下記の教科書により、日本仏教史を講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

ほぼ教科書の順序に従って進行する予定であるが、切れ目切れ目でプリントを配布して、文献の読解を促すかわら、講義内容の確認を行う。因みに、今念頭にある講義プランは、必ずしも全て実行するというわけではないが、ほぼ以下のとおりである。

- 序 仏教伝来以前の思想
 1古代宗教の解釈 2日本古来の宗教
- 第1章 中国朝鮮の文化と仏教の受容
 1大陸仏教の意味 2仏教伝来と影響 3聖徳太子と仏教 4作善主義と仏教
- 第2章 仏教の確立と南都六宗の教義
 1仏教思想と学問 2三論宗と成実宗 3法相宗と俱舎宗 4華嚴宗と律宗と
- 第3章 平安二宗の教義と仏教の展開
 1国家体制と仏教 2天台宗教義概観 3真言宗教義概観 4浄土教と諸思想
- 第4章 中世社会の展開と仏教の変様
 1権門体制と仏教 2法然と浄土思想 3親鸞道元日蓮と 4本迹思想と神道
- 第5章 近世と近代の体制的仏教思想
 1キリスト教伝来 2寺檀制度の確立 3排仏毀釈と仏教 4近代科学と仏教
- 結 現代社会と仏教
 1現代思想と仏教 2現代と批判仏教

履修上の留意点

単に講義を聞くだけではなく、配布されたプリントを中心とした文献の読解を自らに課さんとすることが望まれる。

成績評価の方法

学年末にレポートを課して評価したいと考えているが、状況しだいで変更もありうる。

教科書

末木文美士『日本仏教史——思想史としてのアプローチ——』（新潮文庫）560円

参考書等

袴谷憲昭著『仏教入門』（大蔵出版）2004年

科目名	担当者名	配当学科	単位
書道	那須隆吉	経営B	4
		14以降入学生/経営A	

講義のねらい

世界で唯一、古代から一貫して同じ文字を使用し、それを鑑賞に耐えうる芸術にまで高めた「書」の美しさを味わい、そのよってきたところを理解し、更に応用力を身につけたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ・漢字仮名の書の古典名跡により、書の基本的技法を習得する。
- ・書の基本的知識（書式、文房四宝、篆刻、拓本、表装、写経、書論等）について理解を深める。
- ・中国日本の書道史（文字の歴史）を概観する。

履修上の留意点

テキスト、用具は常に整備しておく。（墨汁は使用不可。硯、筆は常に洗っておく。）

成績評価の方法

出席点、平常点（遅刻等）、清書、レポート等による。

教科書

『書の世界』（中教出版）約1,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と文化	木村誠司	経営B	4
		14以降入学生/経営A	

講義のねらい

『チベットの死者の書』は、チベット仏教の書物の中で、おそらく、最も知名度の高いものである。同書は、1927年、エヴァンス・ヴェンツというアメリカ人によって出版され、以来、たくさんの人々に多大な影響を与えてきた。本講義では、『チベットの死者の書』に対する様々な評価を詳しく見ていきたい。資料はコピーして、適宜配布する。

成績評価の方法

レポートによって行う。

